

2024年度
Sセメスター(S1・S2)
科目紹介(シラバス抜粋)

東京大学教養学部前期課程

はじめに

この冊子には、2024年度のSセメスターに教養学部前期課程の1・2年生に対して開講される講義内容の概要（『科目紹介』）が記載されています。

『科目紹介』では、授業計画時点での時間割ごとに講義に関する情報を記載していますが、より詳しい・最新の情報は、UTAS (<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>) のシラバスで公開・更新していますので、履修を検討している講義については必ず参照してください。

それぞれの講義内容をよく比較して、各自履修計画を立ててください。なお、こちらは『履修の手引き』のI-4に掲載されている、(表2)「前期課程で各科類の学生が取得すべき必要最低単位数」の順に記されています。

入学時に配付された『履修の手引き』を参照して、前期課程の修了要件を満たすためにはどの科目群からどの程度の単位の履修が必要か、進学志望の学部・学科等の要望科目・要求科目はどうなっているか、将来進むべき専門分野の基礎知識を十分につけ、あわせて幅広く深い教養を身につけるためにはどのような組み合わせで講義を履修するのがよいかなどを十分に考えて、バランスよく履修計画を立ててください。

S セメスター (S1・S2 ターム) 科目紹介

この電子ブックにはSセメスター (S1・S2 ターム) に開講される科目の科目紹介 (シラバス抜粋) が掲載されていますので、履修計画を立てる際の参考にしてください。各授業のシラバスは、UTAS にログインの上、画面上「シラバス」メニューから「(シラバス参照)」を選択することで参照ができます。UTAS 上のシラバスは本冊子の科目紹介よりも多くの情報が掲載されていますので、履修を考えている授業については、必ず UTAS 上のシラバスを参照するようにしてください。

科目紹介 (シラバス) 例 (科目ごとに掲載されている項目・情報は異なります)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	単位	対象
①	②	東大概論	駒場 太郎	③	④	⑤	⑥
講義題目 ⑦							
目標概要							
成績評価方法							
教科書							
ガイダンス							

①時間割コード

それぞれの授業に割り振られている固有の番号です。UTAS でシラバスを参照する際などに使用します。

②開講区分

授業が開講される期間を示します。それぞれの表示は以下の期間での開講を表します。

開講区分	正式名称	授業の開講期間
S	S セメスター	概ね 4～7 月
S1	S1 ターム	概ね 4～5 月
S2	S2 ターム	概ね 6～7 月

授業日の詳細については、授業日程を参照してください。

英語の履修について

既修外国語の英語は各科目 1 単位または 2 単位で、計 5 単位の科目群であり、英語一列（教養英語）・英語二列 S（アカデミック・ディスカッション）・英語二列 W（アカデミック・ライティング）に分けられます（その他に総合科目 L 系列 3 単位）。

英語一列（教養英語）は共通教科書とこれに関連する音声教材を使用する習熟度別の授業です。英語二列 S も同じく習熟度別の授業であり、文科生、理科生とも FLOW(Fluency-Oriented Workshop)のプログラムにより実施します。英語二列 W は、文科生は ALESA(Active Learning of English for Students of the Arts)、理科生は ALESS(Active Learning of English for Science Students)のプログラムにより実施します。

●「英語一列」「英語二列 S」「英語二列 W」は所属クラスに応じてあらかじめ指定された授業を履修します。「英語一列」「英語二列 S」は習熟度別にクラスが分けられています。UTAS ログイン後の「履修登録」画面より自分のクラスを確認してください（授業期間開始までには UTAS に反映されます。）。

●「英語二列 S」の履修には英語スピーキング能力の申請（クラス分け申請）が必要です。3 月末の初回クラス分け申請をしていない 2024 年度入学 1 年生（および申請に不備がありクラス分けできなかった 1 年生）は、各ターム開始前に、追加クラス分けに関する案内を前期課程 HP「お知らせ」に掲示するので、自分が履修するタームの前に必ず確認し、所定の手続きを行ってください。手続きに不備があると履修できないことがあります。

●「英語一列」「英語二列 S」「英語二列 W」の 3 科目をそれぞれのターム・セメスターに履修するかについては、所属クラスにより異なり、下表の 4 つのグループにあらかじめ分けられています。「(クラス指定総合科目 L)」と記載されている部分については、総合科目 L 系列「英語中級」が所属クラスに対するクラス指定の授業として開講されます。

所属クラス	ターム・セメスター			
	1S1	1S2	1A1	1A2
	1S		1A	
文一二 (8,11,22,25-26) 文三 (5,7,11,14,19) 理一 (1-4,12,17,18,20,23,31,35-36,39) 理二三 (11,13,20,23)	英語一列① (クラス指定総合科目 L)	英語二列 S	(クラス指定総合科目 L)	英語一列②
文一二 (5-6,13,15,16,18-19,24) 文三 (6,10,12,17) 理一 (7,9,13,19,25,28,30,34,37) 理二三 (6-7,18,19,22)	英語一列① 英語二列 W	(クラス指定総合科目 L)	英語二列 S	英語一列② (クラス指定総合科目 L)
文一二 (1-3,7,10,17,20-21,23,27-28) 文三 (1-3,9,15-16) 理一 (8,11,16,21,24,27,29,33) 理二三 (4,8,9,14,17,21)	英語二列 S (クラス指定総合科目 L)	英語一列①	英語一列②	(クラス指定総合科目 L)
文一二 (4,9,12,14) 文三 (4,8,13,18,20) 理一 (5-6,10,14-15,22,26,32,38) 理二三 (1-3,5,10,12,15-16,24)	(クラス指定総合科目 L) 英語二列 W	英語一列①	英語一列②	英語二列 S (クラス指定総合科目 L)

英語一列

英語一列・特別クラス

≪ 英語一列① (教養英語) ≫

目標・概要	英語一列は本学教養学部の英語部会教員が教養課程における英語学習のために作成した、理科学、文科学を問わず学生の知的関心に応える高度で分野横断的な内容をもつ教科書を使用して行う授業である。クラスは学生の習熟度に合わせて3段階に分かれており、それぞれのグループの学生にもっとも適した進度や授業方法を採用する。全クラスで共通して学習する部分を一定量設けて試験範囲とし、これに実力問題を加えた統一定期試験を実施する。
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> 英語一列が行われる曜限にはそれぞれ複数のクラスが設けられている。各クラスの教室割り当てについては教務課からの掲示を参照し、必ず指定されたクラスで受講すること（他の語学クラスとは違うので注意すること）。 英語一列では習熟度に応じて3つのグループを設定している。教務課からの教室割り当ての掲示にそれぞれのクラスがどのグループに該当するのかも示されている。G1・G2・G3の違いが成績に影響することはない。 <p>グループ1 (G1)：授業は英語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲をカバーすることもあり、テキストの内容理解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。</p> <p>グループ2 (G2)：授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲をカバーすることもあり、テキストの正確な読解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。</p> <p>グループ3 (G3)：授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分をカバーし、語彙・文法等を重視しながら読解力の養成を目指す。それをもとにした発展的な活動を含むこともある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な授業の方法（教材の選択と利用方法、必要な準備、課題や小テストなど）についてはUTOLの各クラスのページを参照し、初回授業時に担当教員から説明を受けること。
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 平常点5割、定期試験（統一試験）5割で評価が決定される。 定期試験を受けなかった場合は平常点のみ（つまり50点以下）の成績がつくことになるので必ず受験すること。 期末試験日以前に休学し試験当日に在籍していない場合は成績はつかない。
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook</p> <p>書名 多元化する世界を英語で読む</p> <p>著者（訳者） 東京大学教養学部英語部会（編）</p> <p>出版社 東京大学出版会</p> <p>ISBN 978-4-13-082135-3</p>

関連ホームページ

≪ 英語特別クラス ≫

非英語圏からの留学生、及び入試の外国語を英語以外で受験した者で、かつ英語の履修を希望する者は、英語部会の許可を得て「英語特別クラス」の履修で「英語一列②」「英語二列」「総合科目L系列 英語中級」の単位に充当することができる。履修希望者は第一週のガイダンス（日時、場所は掲示を参照）に出席すること。

授業科目名	担当教員	教室	開講	曜限	対象クラス
英語一列①	教養英語 担当教員	各教室	S1	火3	1年文一二(13・24・25) 文三(11・17) 理一(1・4・9・18・19) 理二三(7・13)
				火4	1年文一二(6・8・18) 文三(5・7・12) 理一(20・30・31・34・35) 理二三(11・18・22)
				水2	1年文一二(5・15・19・26) 文三(6・19) 理一(7・12・23・28・36) 理二三(6・23)
				水3	1年文一二(11・16・22) 文三(10・14) 理一(13・17・25・37・39) 理二三(19・20)
			S2	火3	1年文一二(1-3,7,9,27) 文三(1-3,8-9) 理一(5-6,16,27) 理二三(1-3,5,12,17)
				火4	1年文一二(4,21,23) 文三(16,18) 理一(21-22,32,38) 理二三(8,14-15)
				水2	1年文一二(10,14,20) 文三(4,13) 理一(11,14-15,24) 理二三(4,9-10)
				水3	1年文一二(12,17,28) 文三(15,20) 理一(8,10,26,29,33) 理二三(16,21,24)

英語二列 S (FLOW)

Fluency-Oriented Workshop (FLOW)				
授業の目標・概要		The course aims to build students' confidence and ability to engage fluently and critically in an academic discussion, to be aware of their weaknesses in holding a discussion in English, and to have the tools to improve autonomously.		
成績評価方法		Grades are based on active participation in class activities and on related assignments.		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	開講	曜限	担当教員	対象クラス
30380	S 1	火 3	Greg Dalziel	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30381	S 1	火 3	Erika D'Souza	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30382	S 1	火 3	Alex Bueno	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30383	S 1	火 3	Naomi Berman	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30385	S 1	火 3	Isaac Tyrone Ghampson	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30386	S 1	火 3	Candler Hallman	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30387	S 1	火 3	Graham Peebles	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30388	S 1	火 3	Elisa Ruiz-Tada	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30389	S 1	火 3	SENNA IV MANUEL	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30390	S 1	火 3	Dennis Stromback	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30391	S 1	火 3	Stefanie Mack	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30392	S 1	火 3	PEEBLES GRAHAM	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30393	S 1	火 3	Doris Zhang	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30616	S 1	火 3	Raquel Moreno Penaranda	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30486	S 1	火 4	Leonard Sprague	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30487	S 1	火 4	John Quayle	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30488	S 1	火 4	Simon Perry	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30489	S 1	火 4	SENNA IV MANUEL	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30490	S 1	火 4	Dennis Stromback	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30491	S 1	火 4	Ian Wash	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30492	S 1	火 4	Elisa Ruiz-Tada	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30493	S 1	火 4	Jesus Alberto Pulido Arcas	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30494	S 1	火 4	Graham Peebles	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30495	S 1	火 4	PEEBLES GRAHAM	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30496	S 1	火 4	Candler Hallman	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30497	S 1	火 4	Isaac Tyrone Ghampson	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30498	S 1	火 4	Erika D'Souza	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30499	S 1	火 4	Alex Bueno	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30500	S 1	火 4	Naomi Berman	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30501	S 1	火 4	Tito Akindele	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30607	S 1	水 2	Simon Perry	1年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30608	S 1	水 2	Stefanie Mack	1年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30609	S 1	水 2	Sylvia Ejmont	1年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30610	S 1	水 2	Christopher Nicklin	1年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30611	S 1	水 2	Eric Vanden Bussche	1年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)

英語二列 S (FLOW)

30612	S 1	水 2	Aurora Tsai	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30613	S 1	水 2	Manuel Senna	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30614	S 1	水 2	SENNA IV MANUEL	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30615	S 1	水 2	John Pazdziora	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30617	S 1	水 2	John Solomon Maninang	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30618	S 1	水 2	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30619	S 1	水 2	Catherine Hansen	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30620	S 1	水 2	Richard Dietz	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30621	S 1	水 2	Naomi Berman	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30699	S 1	水 3	Aurora Tsai	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30700	S 1	水 3	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30701	S 1	水 3	Christopher Nicklin	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30702	S 1	水 3	Tito Akindele	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30704	S 1	水 3	Leonard Sprague	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30705	S 1	水 3	Doris Zhang	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30706	S 1	水 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30707	S 1	水 3	Greg Dalziel	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30708	S 1	水 3	Richard Dietz	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30709	S 1	水 3	Catherine Hansen	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30710	S 1	水 3	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30711	S 1	水 3	John Solomon Maninang	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30712	S 1	水 3	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30713	S 1	水 3	John Pazdziora	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30715	S 1	水 3	Alexandra Terashima	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
40137	S 2	火 3	Graham Peebles	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40138	S 2	火 3	Elisa Ruiz-Tada	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40139	S 2	火 3	Ian Wash	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40140	S 2	火 3	Dennis Stromback	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40141	S 2	火 3	Stefanie Mack	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40142	S 2	火 3	John Quayle	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40143	S 2	火 3	Doris Zhang	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40144	S 2	火 3	Candler Hallman	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40145	S 2	火 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40147	S 2	火 3	Naomi Berman	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40148	S 2	火 3	Alex Bueno	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40150	S 2	火 3	Greg Dalziel	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40151	S 2	火 3	Erika D'Souza	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40194	S 2	火 3	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40159	S 2	火 4	Leonard Sprague	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40160	S 2	火 4	John Quayle	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40161	S 2	火 4	Simon Perry	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40162	S 2	火 4	Stefanie Mack	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40163	S 2	火 4	Dennis Stromback	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)

英語二列 S (FLOW)

40164	S 2	火 4	Ian Wash	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40165	S 2	火 4	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40166	S 2	火 4	Jesus Alberto Pulido Arcas	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40167	S 2	火 4	Graham Peebles	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40168	S 2	火 4	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40169	S 2	火 4	Candler Hallman	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40170	S 2	火 4	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40171	S 2	火 4	Erika D'Souza	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40172	S 2	火 4	Alex Bueno	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40173	S 2	火 4	Naomi Berman	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40174	S 2	火 4	Tito Akindele	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40185	S 2	水 2	Simon Perry	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40186	S 2	水 2	Stefanie Mack	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40187	S 2	水 2	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40188	S 2	水 2	Christopher Nicklin	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40189	S 2	水 2	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40190	S 2	水 2	Aurora Tsai	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40191	S 2	水 2	Manuel Senna	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40193	S 2	水 2	John Pazdziora	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40195	S 2	水 2	Jesus Alberto Pulido Arcas	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40196	S 2	水 2	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40197	S 2	水 2	Catherine Hansen	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40198	S 2	水 2	Richard Dietz	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40199	S 2	水 2	Naomi Berman	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40200	S 2	水 2	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40201	S 2	水 3	Alexandra Terashima	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40203	S 2	水 3	John Pazdziora	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40204	S 2	水 3	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40205	S 2	水 3	John Solomon Maninang	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40206	S 2	水 3	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40207	S 2	水 3	Catherine Hansen	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40208	S 2	水 3	Greg Dalziel	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40209	S 2	水 3	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40210	S 2	水 3	Doris Zhang	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40211	S 2	水 3	Leonard Sprague	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40213	S 2	水 3	Tito Akindele	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40214	S 2	水 3	Christopher Nicklin	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40215	S 2	水 3	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40216	S 2	水 3	Aurora Tsai	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40217	S 2	水 3	Richard Dietz	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)

英語二列 W (ALESA)

Active Learning of English for Students of the Arts (ALESA)		開講区分	S
授業の目標・概要	This course introduces students to the skill of building an effective written argument in English supported by sources and evidence, and to the conventions of formal writing. By the end of the course, students will:		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> - be able to present a clear position which is supported by evidence and addresses alternative points of view; - understand the organisation and rhetorical features of an argumentative essay; - be familiar with basic stylistic conventions of academic writing. 		
成績評価方法	Class activities will include reading and analyzing argumentative writing in English; developing a position on an issue on the basis of individual research; engaging in a variety of pre-writing exercises; writing and revising; and using peer feedback to improve students' own and others' work in discussion and written comments.		
関連ホームページ	The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and discussion.		
	Grades are based on writing assignments, discussion, and participation in class activities.		
	https://ale2.c.u-tokyo.ac.jp/		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30042	月 2	Doris Zhang	1年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30043	月 2	Simon Perry	1年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30044	月 2	Sylwia Ejmont	1年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30045	月 2	Ian Wash	1年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30046	月 2	Eric Vanden Bussche	1年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30047	月 2	Candler Hallman	1年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30048	月 2	Naomi Berman	1年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30049	月 2	Dennis Stromback	1年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30050	月 2	Natsuno Funada	1年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30840	木 2	John Pazdziora	1年 文一二(4,9,18)文三(17)
30841	木 2	Sylwia Ejmont	1年 文一二(4,9,18)文三(17)
30842	木 2	Dennis Stromback	1年 文一二(4,9,18)文三(17)
30843	木 2	Aurora Tsai	1年 文一二(4,9,18)文三(17)
30844	木 2	Manuel Senna	1年 文一二(4,9,18)文三(17)
30845	木 2	Alex Bueno	1年 文一二(4,9,18)文三(17)
30846	木 2	Erika D'Souza	1年 文一二(4,9,18)文三(17)
30847	木 2	Richard Dietz	1年 文一二(4,9,18)文三(17)
30848	木 2	Catherine Hansen	1年 文一二(4,9,18)文三(17)
30849	木 2	Incoronata Nadia Inserra	1年 文一二(4,9,18)文三(17)
30911	木 3	Dennis Stromback	1年 文一二(13,15,24)文三(13)
30913	木 3	Eric Vanden Bussche	1年 文一二(13,15,24)文三(13)
30914	木 3	Aurora Tsai	1年 文一二(13,15,24)文三(13)
30915	木 3	Candler Hallman	1年 文一二(13,15,24)文三(13)
30916	木 3	Richard Dietz	1年 文一二(13,15,24)文三(13)
30917	木 3	Sylwia Ejmont	1年 文一二(13,15,24)文三(13)
30918	木 3	Alex Bueno	1年 文一二(13,15,24)文三(13)
30919	木 3	Erika D'Souza	1年 文一二(13,15,24)文三(13)
30920	木 3	Catherine Hansen	1年 文一二(13,15,24)文三(13)

英語二列 W (ALES A)

30921	木 3	John Pazdziora	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
31027	金 1	John Pazdziora	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31028	金 1	Catherine Hansen	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31029	金 1	Greg Dalziel	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31030	金 1	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31031	金 1	Alex Bueno	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31032	金 1	Erika D'Souza	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31033	金 1	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31034	金 1	Aurora Tsai	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31126	金 3	Erika D'Souza	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31127	金 3	John Pazdziora	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31128	金 3	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31129	金 3	Catherine Hansen	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31130	金 3	Alex Bueno	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31131	金 3	Dennis Stromback	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31132	金 3	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31133	金 3	Aurora Tsai	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31134	金 3	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31135	金 3	Greg Dalziel	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)

英語二列 W (ALESS)

Active Learning of English for Science Students (ALESS)		開講区分	S
授業の目標・概要	In this course, students learn about formal scientific writing and style in English; the organization, language, and rhetoric of scientific papers; and the process of writing and preparing formal papers through peer review and revision.		
授業の方法	Class activities include reading and analyzing scientific writing in English, designing a research project, group work, peer review of student writing, and speaking activities. Each student writes a research paper based on an application of the scientific method. The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the ALESS Lab and the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and presentation.		
成績評価方法	Grades are based on writing a research paper, speaking activities, written assignments, and participation in class activities.		
関連ホームページ	https://ale2.c.u-tokyo.ac.jp/		

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること

時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30068	月 2	Tomoko Kamishima	1年 理一(5,13,19)
30069	月 2	Alexandra Terashima	1年 理一(5,13,19)
30070	月 2	Manuel Senna	1年 理一(5,13,19)
30071	月 2	Raquel Moreno Penaranda	1年 理一(5,13,19)
30072	月 2	Graham Peebles	1年 理一(5,13,19)
30073	月 2	John Solomon Maninang	1年 理一(5,13,19)
30074	月 2	Leonard Sprague	1年 理一(5,13,19)
30112	月 3	Alexandra Terashima	1年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30113	月 3	Christopher Nicklin	1年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30114	月 3	Natsuno Funada	1年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30115	月 3	Candler Hallman	1年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30116	月 3	Tomoko Kamishima	1年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30117	月 3	John Solomon Maninang	1年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30118	月 3	Graham Peebles	1年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30119	月 3	Manuel Senna	1年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30120	月 3	Ian Wash	1年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30121	月 3	Stefanie Mack	1年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30122	月 3	John Quayle	1年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30123	月 3	Doris Zhang	1年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30124	月 3	Leonard Sprague	1年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30126	月 3	Raquel Moreno Penaranda	1年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30127	月 3	Elisa Ruiz-Tada	1年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
31212	月 3	Jesus Alberto Pulido Arcas	1年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30203	月 4	John Solomon Maninang	1年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30204	月 4	Elisa Ruiz-Tada	1年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30205	月 4	Raquel Moreno Penaranda	1年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30206	月 4	Ian Wash	1年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30207	月 4	Christopher Nicklin	1年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30208	月 4	Doris Zhang	1年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30209	月 4	Stefanie Mack	1年 理一(7)理二三(1-3,10,15)

英語二列 W (ALESS)

30284	火 1	Simon Perry	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30285	火 1	John Quayle	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30286	火 1	Leonard Sprague	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30287	火 1	Elisa Ruiz-Tada	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30288	火 1	John Solomon Maninang	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30290	火 1	Naomi Berman	1 年 理一(10)理二三(12,19)
31052	火 1	Jesus Alberto Pulido Arcas	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30563	水 1	Christopher Nicklin	1 年 理一(6,22,32,38)
30564	水 1	Stefanie Mack	1 年 理一(6,22,32,38)
30565	水 1	Simon Perry	1 年 理一(6,22,32,38)
30566	水 1	Tito Akindele	1 年 理一(6,22,32,38)
30567	水 1	Naomi Berman	1 年 理一(6,22,32,38)
30568	水 1	Manuel Senna	1 年 理一(6,22,32,38)
30569	水 1	Jesus Alberto Pulido Arcas	1 年 理一(6,22,32,38)
30570	水 1	Doris Zhang	1 年 理一(6,22,32,38)
30571	水 1	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 理一(6,22,32,38)
30880	木 2	Greg Dalziel	1 年 理一(26)
30881	木 2	Candler Hallman	1 年 理一(26)
30882	木 2	Simon Perry	1 年 理一(26)
31050	金 1	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 理二三(5-6,18)
31051	金 1	John Quayle	1 年 理二三(5-6,18)
31053	金 1	Richard Dietz	1 年 理二三(5-6,18)
31054	金 1	Tito Akindele	1 年 理二三(5-6,18)
31055	金 1	Graham Peebles	1 年 理二三(5-6,18)
31165	金 3	Alexandra Terashima	1 年 理二三(7,22)
31166	金 3	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 理二三(7,22)
31167	金 3	Graham Peebles	1 年 理二三(7,22)
31168	金 3	Elisa Ruiz-Tada	1 年 理二三(7,22)
31170	金 3	Tito Akindele	1 年 理二三(7,22)
31205	金 4	Christopher Nicklin	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31206	金 4	Tomoko Kamishima	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31207	金 4	Richard Dietz	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31208	金 4	John Quayle	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31209	金 4	Leonard Sprague	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31211	金 4	Alexandra Terashima	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31213	金 4	Ian Wash	1 年 理一(37)理二三(16,24)

基礎科目 ドイツ語

ドイツ語		開講区分	S	
授業の目標・概要		<p>一列・二列では共通教材『Einblicke』（東京大学教養学部ドイツ語部会編）を用いて、週二回の授業により、文法と読解を中心に、会話練習を交えながら総合的にドイツ語を学習する。 履修者は必ず、同一クラスの一列と二列を履修すること。一列もしくは二列のみの履修は認められない。 なお、総合科目L系列のドイツ語科目も積極的に履修することを勧める。</p>		
成績評価方法 教科書		<p>平常点および試験等によって行う。なお、1年生Sセメスターの一列・二列には同一の成績がつく。 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 書名 ドイツ語共通教科書『Einblicke』 著者（訳者） 東京大学教養学部ドイツ語部会編 出版社 ISBN その他</p>		
関連ホームページ		<p>http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/ ※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること</p>		
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30961	木 4	ドイツ語一列①	北川 千香子	1年 文一二(1)文三(1)理一(1)理二三(1)
30267	火 1	ドイツ語二列	I・カウフマン	1年 文一二(1)文三(1)理一(1)理二三(1)
30063	月 2	ドイツ語一列①	速水 淑子	1年 文三(15)
30084	月 2	ドイツ語一列①	川喜田 敦子	1年 理一(32)
30147	月 3	ドイツ語一列①	石原 あえか	1年 理一(29)
30423	火 3	ドイツ語一列①	梶谷 真司	1年 文一二(20)
30424	火 3	ドイツ語一列①	竹峰 義和	1年 文一二(21)
30425	火 3	ドイツ語一列①	一條 麻美子	1年 文一二(22)
30432	火 3	ドイツ語一列①	稲葉 治朗	1年 文三(16)
30446	火 3	ドイツ語一列①	大石 紀一郎	1年 理一(31)
30883	木 2	ドイツ語一列①	針貝 真理子	1年 理一(28)
31173	金 3	ドイツ語一列①	大石 紀一郎	1年 理二三(17)
31174	金 3	ドイツ語一列①	森井 裕一	1年 理二三(18)
31175	金 3	ドイツ語一列①	平松 英人	1年 理二三(19)
31204	金 4	ドイツ語一列①	斉藤 渉	1年 理一(30)
30445	火 3	ドイツ語二列	針貝 真理子	1年 理一(28)
30515	火 4	ドイツ語二列	瀬尾 文子	1年 理二三(19)
30539	火 5	ドイツ語二列	瀬尾 文子	1年 理二三(18)
30640	水 2	ドイツ語二列	速水 淑子	1年 文三(15)
30661	水 2	ドイツ語二列	時田 郁子	1年 理二三(17)
30729	水 3	ドイツ語二列	時田 郁子	1年 理一(30)
30863	木 2	ドイツ語二列	稲葉 治朗	1年 文三(16)
30884	木 2	ドイツ語二列	大石 紀一郎	1年 理一(31)
30885	木 2	ドイツ語二列	一條 麻美子	1年 理一(32)
30931	木 3	ドイツ語二列	北川 千香子	1年 文一二(22)
30968	木 4	ドイツ語二列	有信 真美菜	1年 文一二(21)
31036	金 1	ドイツ語二列	林 志津江	1年 文一二(20)
31203	金 4	ドイツ語二列	工藤 達也	1年 理一(29)

基礎科目 フランス語

フランス語		開講区分	S	
授業の目標・概要	<p>文科学クラス、理科学クラスとも、一列・二列を通じて文法および講読の基礎を固める。 文科学は、これに加えて演習を履修し、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。 理科学には、自由選択が可能な国際コミュニケーションの初級科目への積極的な参加を勧める。 平常点（出席・授業への参加態度および小テストなど）と学期末試験で総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook</p>			
成績評価方法 教科書	<p>書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他</p>			
関連ホームページ	<p>http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp</p>			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30268	火 1	フランス語一列①	クリス ベルアド	1年 文一二(2)文三(2)理一(2)理二三(2)
30962	木 4	フランス語二列	ビゼ	1年 文一二(2)文三(2)理一(2)理二三(2)
30061	月 2	フランス語一列①	斎藤 かぐみ	1年 文一二(24)
30064	月 2	フランス語一列①	郷原 佳以	1年 文三(18)
30085	月 2	フランス語一列①	片岡 大右	1年 理一(37)
30152	月 3	フランス語一列①	藤岡 俊博	1年 理一(38)
30153	月 3	フランス語一列①	治山 純子	1年 理一(39)
30188	月 4	フランス語一列①	治山 純子	1年 文一二(23)
30198	月 4	フランス語一列①	谷本 道昭	1年 文三(17)
30199	月 4	フランス語一列①	西川 純子	1年 文三(19)
30200	月 4	フランス語一列①	實谷 総一郎	1年 文三(20)
30449	火 3	フランス語一列①	藤岡 俊博	1年 理二三(21)
30451	火 3	フランス語一列①	桑田 光平	1年 理二三(24)
30450	火 4	フランス語一列①	富成 信	1年 理二三(23)
30503	火 4	フランス語一列①	松村 剛	1年 文一二(25)
30504	火 4	フランス語一列①	西川 純子	1年 文一二(26)
30505	火 4	フランス語一列①	渡邊 淳也	1年 文一二(27)
30506	火 4	フランス語一列①	桑田 光平	1年 文一二(28)
30516	火 4	フランス語一列①	實谷 総一郎	1年 理二三(20)
30533	火 5	フランス語一列①	桐谷 慧	1年 理一(34)
30534	火 5	フランス語一列①	西川 純子	1年 理一(35)
30535	火 5	フランス語一列①	渡邊 淳也	1年 理一(36)
30540	火 5	フランス語一列①	富成 信	1年 理二三(22)
31162	金 3	フランス語一列①	小西 英則	1年 理一(33)
30577	水 1	フランス語二列	赤羽 悠	1年 理一(33)
30653	水 2	フランス語二列	谷本 道昭	1年 理一(37)
30654	水 2	フランス語二列	飛嶋 隆信	1年 理一(38)
30655	水 2	フランス語二列	今橋 映子	1年 理一(39)
30662	水 2	フランス語二列	桑田 光平	1年 理二三(20)
30887	水 3	フランス語二列	平澤 暢之	1年 理一(36)

基礎科目 フランス語

30751	水 4	フランス語二列	谷本 道昭	1年 文三(17)
30860	木 2	フランス語二列	松村 剛	1年 文一二(23)
30864	木 2	フランス語二列	郷原 佳以	1年 文三(18)
30865	木 2	フランス語二列	渡邊 淳也	1年 文三(19)
30866	木 2	フランス語二列	實谷 総一郎	1年 文三(20)
30886	木 2	フランス語二列	坂本 さやか	1年 理一(35)
30892	木 2	フランス語二列	関俣 賢一	1年 理二三(22)
30932	木 3	フランス語二列	松村 剛	1年 文一二(25)
30934	木 3	フランス語二列	関俣 賢一	1年 文一二(27)
30935	木 3	フランス語二列	片岡 大右	1年 文一二(28)
30969	木 4	フランス語二列	桐谷 慧	1年 文一二(24)
30988	木 4	フランス語二列	野崎 夏生	1年 理二三(23)
30933	金 1	フランス語二列	寺田 寅彦	1年 文一二(26)
31058	金 1	フランス語二列	小西 英則	1年 理二三(21)
31163	金 3	フランス語二列	鈴木 順子	1年 理一(34)
31176	金 3	フランス語二列	斎藤 かぐみ	1年 理二三(24)

基礎科目 中国語

中国語	開講区分	S
授業の目標・概要 中国語の要である発音をしっかりと身につけた上で、文法の基礎を一年かけて一通り学習する。 ●文科生は選択必修科目の初級演習をあわせて履修し、コミュニケーション能力を養成する。クラス別に開講するので、自分のクラスの初級演習を履修すること。 ●理科生向けには、選択科目の「初級演習」を開講しているので、一、二列で習ったことをもとに、コミュニケーション能力を高めることが望ましい。(木5に開講)		
成績評価方法 期末試験、小テストなどで評価をするが、具体的には学期途中で指示をするので各教員の指示に従うこと。		
教科書 次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook 書名 漢語課本 著者(訳者) 小野秀樹・賈黎黎・吉川雅之・小嶋美由紀・李佳樑 著 出版社 白帝社 ISBN その他		
関連ホームページ ※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること		

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30963	木 4	中国語一列①	賈 黎黎	1年 文一二(3)文三(3)理一(3)理二三(3)
30269	火 1	中国語二列	毛 興華	1年 文一二(3)文三(3)理一(3)理二三(3)
30058	月 2	中国語一列①	大橋 義武	1年 文一二(16)
30081	月 2	中国語一列①	小野 秀樹	1年 理一(24)
30140	月 3	中国語一列①	賈 黎黎	1年 理一(20)
30194	月 4	中国語一列①	中村 元哉	1年 文三(11)
30196	月 4	中国語一列①	瀬地山 角	1年 文三(13)
30280	火 1	中国語一列①	石井 剛	1年 文三(14)
30282	火 1	中国語一列①	菊池 真純	1年 理一(3)理二三(3)
30510	火 4	中国語一列①	王 欽	1年 理一(27)
30576	水 1	中国語一列①	田中 雄大	1年 理一(26)
30633	水 2	中国語一列①(TLP)	岩月 純一	1年 文一二(17)
30639	水 2	中国語一列①(TLP)	伊藤 徳也	1年 文三(12)
30648	水 2	中国語一列①	張 政遠	1年 理一(19)
30650	水 2	中国語一列①	及川 茜	1年 理一(22)
30660	水 2	中国語一列①	小野 秀樹	1年 理二三(16)
30746	水 4	中国語一列①	毛 興華	1年 文一二(18)
30856	木 2	中国語一列①	下出 宣子	1年 文一二(14)
30857	木 2	中国語一列①	久保 茉莉子	1年 文一二(15)
30879	木 2	中国語一列①	松本 秀士	1年 理一(25)
30924	木 3	中国語一列①	下出 宣子	1年 文一二(19)
30947	木 3	中国語一列①	河野 直恵	1年 理二三(15)
30967	木 4	中国語一列①	渡辺 剛	1年 文一二(13)
30987	木 4	中国語一列①	河野 直恵	1年 理二三(13)
31156	金 3	中国語一列①	谷垣 真理子	1年 理一(23)
31172	金 3	中国語一列①	前田 恭規	1年 理二三(14)
31202	金 4	中国語一列①	前田 恭規	1年 理一(21)
30145	月 3	中国語二列	大橋 義武	1年 理一(26)
30186	月 4	中国語二列(TLP)	李 彦銘	1年 文一二(17)

30195	月 4	中国語二列(TLP)	白 春花	1年 文三(12)
30197	月 4	中国語二列	比護 遥	1年 文三(14)
30294	火 1	中国語二列	賈 黎黎	1年 理一(23)
30420	火 3	中国語二列	王 英輝	1年 文一二(15)
30440	火 3	中国語二列	石井 剛	1年 理一(21)
30444	火 3	中国語二列	岩月 純一	1年 理一(25)
30484	火 4	中国語二列	田原 史起	1年 文一二(14)
30514	火 4	中国語二列	毛 興華	1年 理二三(13)
30575	水 1	中国語二列	青木 正子	1年 理一(24)
30632	水 2	中国語二列	田中 雄大	1年 文一二(16)
30658	水 2	中国語二列	青木 正子	1年 理二三(14)
30659	水 2	中国語二列	張 ユエ	1年 理二三(15)
30698	水 3	中国語二列	岩月 純一	1年 文一二(13)
30716	水 3	中国語二列	瀬地山 角	1年 文一二(19)
30719	水 3	中国語二列	及川 茜	1年 文三(11)
30727	水 3	中国語二列	毛 興華	1年 理一(20)
30923	木 3	中国語二列	久保 茉莉子	1年 文一二(18)
30937	木 3	中国語二列	鄧 芳	1年 理一(3)理二三(3)
30948	木 3	中国語二列	松本 秀士	1年 理二三(16)
30974	木 4	中国語二列	松本 秀士	1年 文三(13)
31047	金 1	中国語二列	賈 黎黎	1年 理一(19)
31048	金 1	中国語二列	王 英輝	1年 理一(27)
31155	金 3	中国語二列	吉川 雅之	1年 理一(22)

※TLP履修者は、対象クラスでTLPと指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

基礎科目 ロシア語

ロシア語		開講区分	S	
授業の目標・概要 成績評価方法	ロシア語文法の基礎の修得。 定期試験と平常点。 Sセメスターの期末テストは、「ロシア語一列」と「ロシア語二列」を1回に統一して行う。			
教科書	適宜小テストを行うことがある。 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 書名 ロシア語をはじめよう 著者(訳者) 西中村浩、朝妻恵理子 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-55504-1 その他			
関連ホームページ				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30108	月 3	ロシア語一列①	畔柳 千明	1年 理一(4)
30109	月 3	ロシア語一列①	鳥山 祐介	1年 理一(5)
30270	火 1	ロシア語一列①(TLP)	渡邊 日日	1年 文一二(4)文三(4)理一(4-5)理二三(4)
30394	火 3	ロシア語一列①	乗松 亨平	1年 文一二(4)
30427	火 3	ロシア語一列①	丸山 由紀子	1年 文三(4)
30511	火 4	ロシア語一列①	浜田 華練	1年 理二三(4)
30673	水 3	ロシア語二列(TLP)	石井 優貴	1年 文一二(4)文三(4)理一(4-5)理二三(4)
30869	木 2	ロシア語二列	乗松 亨平	1年 理一(4)
30870	木 2	ロシア語二列	石井 優貴	1年 理一(5)
30984	木 4	ロシア語二列	丸山 由紀子	1年 理二三(4)
31125	金 3	ロシア語二列	渡邊 日日	1年 文一二(4)
31146	金 3	ロシア語二列	浜田 華練	1年 文三(4)

※TLP履修者は、対象クラスでTLPと指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

基礎科目 スペイン語

スペイン語		開講区分	S	
授業の目標・概要	<p>Sセメスターは週2回、Aセメスターは週1回の授業が必修です。共通教科書を用い、1年間かけて、日常使われるスペイン語を理解し、簡単な文章を読んだり書いたり、またスペイン語でコミュニケーションをとるために必要な文法体系全体を学習します。同時にスペイン語文化圏の豊かで多彩な文化と社会への関心を深めていきます。Sセメスターでは内容を一列(文法)と二列(講読)に分け、Aセメスターでは一列で文法・講読の両方を扱います。文系学生はこの他に外国人教員が担当するクラス指定の演習を履修します。理系学生にもこれに対応する「スペイン語初級(演習)」(理科生限定)が開講されています。これらの演習科目では、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、初歩的な会話の練習、文法の応用練習などを行います。他にも初級作文と初級会話の科目を開講しているので、積極的に参加してください。</p> <p>スペイン語を集中的に勉強したい学生のためには、インテンシブクラスを週2回開講します。これらを履修すれば、スペイン語の運用能力をいっそう高めることができます。</p>			
成績評価方法 教科書	<p>各員より説明があります。 次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook 書名 Brújula-スペイン語学習の羅針盤 著者(訳者) 東京大学教養学部スペイン語部会 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-55111-1 その他 各人が大学生協駒場書籍部を通じて初回までに購入すること。</p>			
関連ホームページ				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30055	月 2	スペイン語一列①	網野 徹哉	1年 文一二(10)
30178	月 4	スペイン語一列①	網野 徹哉	1年 文一二(9)
30191	月 4	スペイン語一列①	石橋 純	1年 文三(7)
30192	月 4	スペイン語一列①	岡本 年正	1年 文三(8)
30437	火 3	スペイン語一列①	山本 尋	1年 理一(10)
30438	火 3	スペイン語一列①	杉守 慶太	1年 理一(14)
30537	火 5	スペイン語一列①	宮地 隆廣	1年 理二三(7)
30574	水 1	スペイン語一列①	倉田 量介	1年 理一(17)
30623	水 2	スペイン語一列①	倉田 量介	1年 文一二(12)
30637	水 2	スペイン語一列①	上 英明	1年 文三(9)
30645	水 2	スペイン語一列①	藤井 礼奈	1年 理一(13)
30647	水 2	スペイン語一列①	宮地 隆廣	1年 理一(18)
30657	水 2	スペイン語一列①	豊田 唯	1年 理二三(8)
30674	水 2	スペイン語一列①	相田 豊	1年 文一二(7)
30725	水 3	スペイン語一列①	藤井 礼奈	1年 理一(15)
30726	水 3	スペイン語一列①	伊香 祝子	1年 理一(16)
30730	水 3	スペイン語一列①	石橋 純	1年 理二三(10)
30732	水 3	スペイン語一列①	若林 大我	1年 理二三(12)
30755	水 4	スペイン語一列①	藤井 礼奈	1年 理一(11)
30862	木 2	スペイン語一列①	若林 大我	1年 文三(10)
30731	木 3	スペイン語一列①	豊田 唯	1年 理二三(11)
30910	木 3	スペイン語一列①	久住 真由	1年 文一二(11)
30942	木 3	スペイン語一列①	若林 大我	1年 理一(12)
30965	木 4	スペイン語一列①	木崎 孝嘉	1年 文一二(8)
30976	木 4	スペイン語一列①	若林 大我	1年 理一(9)
30985	木 4	スペイン語一列①	豊田 唯	1年 理二三(9)

基礎科目 スペイン語

30053	月 2	スペイン語二列	川上 英	1年 文一二(8)
30078	月 2	スペイン語二列	豊田 唯	1年 理一(9)
30079	月 2	スペイン語二列	岡本 年正	1年 理一(16)
30137	月 3	スペイン語二列	岡本 年正	1年 理一(12)
30139	月 3	スペイン語二列	豊田 唯	1年 理一(18)
30193	月 4	スペイン語二列	豊田 唯	1年 文三(9)
30211	月 4	スペイン語二列	川上 英	1年 理一(14)
30272	火 1	スペイン語二列	丸山 共恵	1年 文一二(12)
30292	火 1	スペイン語二列	杉守 慶太	1年 理一(13)
30482	火 4	スペイン語二列	山本 尋	1年 文一二(9)
30513	火 4	スペイン語二列	棚瀬 あずさ	1年 理二三(9)
30538	火 5	スペイン語二列	棚瀬 あずさ	1年 理二三(11)
30573	水 1	スペイン語二列	丸山 共恵	1年 理一(10)
30622	水 2	スペイン語二列	栗林 ゆき絵	1年 文一二(11)
30656	水 2	スペイン語二列	丸山 共恵	1年 理二三(7)
30750	水 4	スペイン語二列	伊香 祝子	1年 文三(8)
30873	木 2	スペイン語二列	山本 尋	1年 理一(11)
30874	木 2	スペイン語二列	倉田 量介	1年 理一(15)
30876	木 2	スペイン語二列	愛場 百合子	1年 理一(17)
30945	木 3	スペイン語二列	倉田 量介	1年 理二三(8)
30946	木 3	スペイン語二列	木崎 孝嘉	1年 理二三(12)
30966	木 4	スペイン語二列	久住 真由	1年 文一二(10)
30971	木 4	スペイン語二列	杉守 慶太	1年 文三(7)
31137	金 3	スペイン語二列	見田 悠子	1年 文一二(7)
31171	金 3	スペイン語二列	有田 美保	1年 理二三(10)
31191	金 4	スペイン語二列	有田 美保	1年 文三(10)

基礎科目 韓国朝鮮語

韓国朝鮮語		開講区分	S	
授業の目標・概要	<p>●1年生初修クラス 文系クラス、理系クラスともに、一列・二列の授業では、共通教材『ことばの架け橋 精選版』を用いて授業を行います。はじめの数回の授業において文字と発音を完全に習得した後、引き続き、さまざまな文法事項と語彙を学んでいきます。 この授業では、一年間を通じて、基礎文法を完全に習得し、辞書を引きながら新聞・雑誌記事を読める程度、また簡単な内容ならば、自分の考えや意見を表現できる程度の力を身につけることを目指します。 文系生はこのほか、韓国人教員が担当する「初級（演習）①」を履修し、基礎知識の応用をはかっています。</p>			
成績評価方法	定期テストと平常点（出席、小テスト、課題など）			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook			
	書名 ことばの架け橋（精選版）			
	著者（訳者） 生越直樹，三ツ井崇，チョ・ヒチョル			
	出版社 白帝社			
	ISBN 9784863984066			
	その他 【入力不可】			
関連ホームページ				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30076	月 2	韓国朝鮮語一列①	李 英蘭	1年 理一(6)
30190	月 4	韓国朝鮮語一列①	月脚 達彦	1年 文三(5)
30395	火 3	韓国朝鮮語一列①	河崎 啓剛	1年 文一二(5)
30512	火 4	韓国朝鮮語一列①	三ツ井 崇	1年 理二三(5)
30741	水 4	韓国朝鮮語二列	河崎 啓剛	1年 文一二(5)
30749	水 4	韓国朝鮮語二列	月脚 達彦	1年 文三(5)
30943	木 3	韓国朝鮮語二列	三ツ井 崇	1年 理二三(5)
31045	金 1	韓国朝鮮語二列	齊藤 良子	1年 理一(6)

基礎科目 イタリア語

	イタリア語	開講区分	S
授業の目標・概要	<p>●初修クラス 「一、二列」では、発音からはじまり、初級文法を、SセメスターからAセメスターの前半までの期間に習得することが目標です。Aセメスター後半は、比較的平易な現代文を中心としたテキストの読解と、文法知識の整理にあてます。教科書は東京大学イタリア語教材編集委員会編の『イタリア語のスタート』（白水社）と、中級読解用テキスト『ピアッツァ』（東京大学出版会）を使用します。 あわせて、ネイティヴスピーカの教員による、文法知識の定着と自然なイタリア語の習得のための「演習」が文科生には必修科目として開講されています。理科生は総合科目Lの「イタリア語初級（演習）」として選択できます。積極的に履修・参加して、表現力を身につけてください。 Sセメスターの基本的な学習項目は以下のようになります。 1) 発音 2) イタリア語の文の基本的な成り立ち 3) 名詞の性と数 4) 主語人称代名詞と動詞 essere 5) 形容詞 6) 指示代名詞と指示形容詞 7) 動詞 avere 8) 規則動詞の現在活用形 9) 不規則動詞 10) 疑問詞 11) 前置詞と冠詞の結合形 12) 補助動詞 13) 近過去 14) 再帰動詞 15) 未来</p> <p>●既修クラス 総合科目Lとして開講されている中・上級の演習・会話・作文・表現練習・読解・インテンシヴの授業を組み合わせて受講することが可能です。イタリア語の習得を通して、音楽、芸術、映画、デザインなど、文化のさまざまな分野に関して、新しいテーマを素材に用い、現代社会のさまざまな側面についてもふれます。</p> <p>●さらに選択可能な総合科目Lの科目として、初級・中級の会話・作文・表現練習も開講されているので、積極的に受講してください。（意欲的な履修者は、Aセメスター以降、選択可能な総合科目Lの科目の中級イタリア語を受講することも可能です。）特に集中的に少人数のクラスでイタリア語を身につけて着させたい履修者のためのインテンシブコースとして、文法事項の定着練習（1コマ）とネイティブによる表現力の演習（1コマ）を初級（1年生）・中級（2年生、ただしAセメスタには意欲的な1年生も受講可）とともに開講しています。ぜひ積極的に受講してください。</p> <p>●Sセメスターにはイタリア語初級（第3外国語）3コマが開講されていますが、そのうち1コマ（金5限）は秋始まりで文法をはじめたい履修者のためのもので、Sセメスターはイタリア語初級文法後半になります。詳しくはシラバスを参照のこと。</p>		
成績評価方法 教科書	<p>平常点と定期試験 次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook 書名 Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習 著者（訳者） 東京大学イタリア語教材編集委員会編 出版社 白水社 ISBN ISBN978-4-560-01763-0 その他</p>		
関連ホームページ	http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30110	月 3	イタリア語一列①	山崎 彩	1年 理一(7)
30111	月 3	イタリア語一列①	岡本 太郎	1年 理一(8)
30215	月 4	イタリア語一列①	岡本 太郎	1年 理二三(6)
30396	火 3	イタリア語一列①	藤崎 衛	1年 文一二(6)
30429	火 3	イタリア語一列①	村松 真理子	1年 文三(6)
30643	水 2	イタリア語二列	岡本 太郎	1年 理一(8)
30753	水 4	イタリア語二列	山崎 彩	1年 理一(7)
30764	水 4	イタリア語二列	岡本 太郎	1年 理二三(6)
30850	木 2	イタリア語二列	藤崎 衛	1年 文一二(6)
30861	木 2	イタリア語二列	村松 真理子	1年 文三(6)

基礎科目 日本語

日本語		開講区分	S
授業の目標・概要	<p>[注意事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語を、前期課程外国語科目の既修外国語、あるいは、[既修・既修選択]の初修外国語相当として選択した学生は、以下の科目を、一年次Sセメスターに履修してください： 基礎科目日本語一列① 基礎科目日本語二列 ・日本語科目（基礎科目一列、二列C、二列P）の履修方法やカリキュラム等について、初回授業で説明があるので、必ず出席してください。初回授業では日本語能力テストが行われることもあります。 ・日本語一列①、および、日本語二列のクラス指定に関しては、教養学部HPやUTAS上の指示に留意し、従ってください。事情により指定されたクラスに出席できない場合は、初回授業のときに教員に申し出てください。 		
成績評価方法	<p>「成績評価方法」は、科目により異なります。UTAS上のそれぞれの科目のページを参照してください。一般的に、毎回の授業活動(および予習・復習)を重視し、出席、授業活動参加、ディスカッション、クイズ、宿題等の課題、発表、試験、レポート等を総合して評価することになります。詳細については授業内で説明します。</p>		
教科書	<p>その他。/Other</p>		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割コード	開講	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30315	S	木 1	日本語一列①	宇佐美 洋	1年 文科 理科
31066	S	金 5	日本語一列①	宇佐美 洋	1年 文科 理科
30819	S 1	火 2	日本語二列C	奥川 育子	1年 文科 理科
31229	S 1	金 2	日本語二列C	奥川 育子	1年 文科 理科
40099	S 2	火 2	日本語二列P	奥川 育子	1年 文科 理科
40117	S 2	金 2	日本語二列P	奥川 育子	1年 文科 理科

情報

情報	開講区分	S
授業の目標・概要 現代社会においては、すべての人が多様な場と状況において、情報システムとかがかわらざるをえない。 その際に正しくかつ適切な対応をするためには、情報の技術面だけでなく、その人間のおよび社会的な側面の正しい理解が必要である。 これは情報社会人の基本的素養であり、“知ることによって無知から自由になることができる”という意味であるリベラルアーツそのものと言うことができる。 本科目の目的は、このような素養を、講義と演習とを通じて身に付けることである。 具体的には ・情報の人間に関連する側面 表現、認知、伝達 ・情報の社会に関連する側面 情報システム、情報関連の法、技術と社会 ・情報の問題解決に関する側面 データと計算のモデル、計算の複雑さ のそれぞれを、独立にはなく、他の側面の理解が可能なレベルまで掘り下げて学ぶ。 この科目の目的は、いわゆる「利用・活用」の方法を習うことではない。 なお、高等学校の教科「情報」で学ぶ項目のうち、機器操作の方法、Web ブラウザ、電子メール、デジタルの概念、著作権・知的財産権の基本、などは「既習」であることを前提とする。		
成績評価方法 成績評価の方法は期末試験をベースとするが、レポートを加味するなど、教員によって異なる。なお、状況によって変更される可能性はある。		
教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 情報 第2版 (Introduction to the New Information World, 2nd Edition) 著者 (訳者) 山口和紀[編] 出版社 東京大学出版会 ISBN 978-4-13-062457-2		
関連ホームページ https://sites.google.com/site/iebtokyouniv/home/edu/information		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること		

時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30054	月 2	馬場 雪乃	1年 文一二(9,11,15)
30077	月 2	辰己 丈夫	1年 理一(8,18,34)
30138	月 3	吉永 直樹	1年 理一(13,33,35-36)
30142	月 3	辰己 丈夫	1年 理一(21-22,24)
30185	月 4	福田 玄明	1年 文一二(14,16,20)
30210	月 4	松島 慎	1年 理一(9,17)理二三(16,19)
30271	火 1	村上 祐子	1年 文一二(7)文三(6,8,17)
30281	火 1	蓮池 隆	1年 文三(18-20)
30421	火 3	蜂須賀 知理	1年 文一二(18,26,28)文三(15)
30485	火 4	大山 智也	1年 文一二(17)文三(4,9-10)
30532	火 5	金子 知適	1年 理一(25-27)
30536	火 5	鶴川 始陽	1年 理二三(4-5,13,15)
30572	水 1	濱田 健夫	1年 理一(7,15,30)
30636	水 2	雨宮 智浩	1年 文三(1-3,11,14,16)
30642	水 2	石黒 祥生	1年 理一(5,16,29)
30728	水 3	山口 泰	1年 理一(23,31)理二三(1-3,14)
30743	水 4	伊藤 太久磨	1年 文一二(10,19,21-22)
30748	水 4	HAUTASAARI ARI MARKKU JUHANI	1年 文一二(23-25)文三(12)
30855	木 2	松田 源立	1年 文一二(8,12-13)
30888	木 2	羽山 博	1年 理一(37)理二三(11,18)
30938	木 3	飯尾 淳	1年 理一(6,14,19)
30944	木 3	田中 哲朗	1年 理二三(6-7,21)

30977	木 4	成末 義哲	1 年 理一(10-12)
30986	木 4	石井 健太郎	1 年 理二三(10,12,24)
31042	金 1	道畑 正岐、今城 哉裕	1 年 理一(1-4,38-39)
31056	金 1	福永 アレックス	1 年 理二三(9,17,22)
31145	金 3	川崎 真弘	1 年 文一二(27)文三(7,13)
31160	金 3	蔡 東生	1 年 理一(28)理二三(8,23)
31184	金 4	川崎 真弘	1 年 文一二(1-6)文三(5)
31200	金 4	蔡 東生	1 年 理一(20,32)理二三(20)

情報α		開講区分	S
授業の目標・概要	<p>***トピックについて*** 深層学習（ディープラーニング）は、近年発展著しい AI（人工知能）技術の中核を為す技術である。この技術は高い性能と汎用性を持つことから、自動運転や新薬創造などの社会の多くの領域に応用され、それぞれの分野で革新的な成果を出すことが期待されている。 また、この深層学習のメカニズムを理解するために、数学をベースにした理論も急速に発展している。AI 技術を効率的に制御・理解するためには、これらの理論の発展が必要不可欠である。</p> <p>***講義の目標*** この講義の目的は、以下の三つである。 1. 基礎的な情報の技術・社会的側面について学ぶ。 2. データ解析の基礎を理解し、そのツールとしての深層学習の使い方をプログラミング演習を通して学ぶ。 3. 深層学習の理論を、数学演習を通して学ぶ。</p> <p>***講義の概要*** 最初の数回で、基礎科目「情報」に該当する内容を速習する。加えて、各回の講義の中で随時「情報」の内容をカバーする。 その後、機械学習の問題設定の基礎を学び、python を用いた演習で深層学習の実装を行う。後半では、数学的な理論を学び演習を通して定着を図る。 前半での演習では python を使うスキルが必要だが、知識は授業中に身につける前提で、意欲さえあればこれまでの経験は問わない。</p> <p>***システム*** 受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時（4 月 10 日（水）6 限、Zoom 開催）にプログラミング・数学などに関する基礎学力の確認と学習意欲に関する調査を行う。その結果、一週間以内に、第二回以降の受講対象者の学生証番号を正門横掲示板もしくはオンライン上に発表する。 学期中と期末に課すレポートおよび出席状況をもとに評価する。</p>		
成績評価方法	<p>教科書 関連ホームページ</p>		
教科書	<p>教科書は使用しない。/ Will not use textbook</p>		
関連ホームページ	<p>http://kis.c.u-tokyo.ac.jp/ADRK.html</p>		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30810	水 6	今泉 允聡	1 年 文科 理科
31026	木 6	今泉 允聡	1 年 文科 理科

身体運動・健康科学実習 I

身体運動・健康科学実習 I	開講区分	S
<p>授業の目標・概要 週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。</p> <p>授業計画 第1回 ガイダンス・講義（オンライン） 第2回 出席カード作成・種目選択 第3回 体力テスト 第4回から 選択した種目での対面実技授業 ただし4回目以降に2度、身体運動の科学的理解を目的とした共通基礎実習を行う。場所はコミュニケーションプラザ北館3階の身体運動実習室を予定している。 この他天候等により体育館種目が別の場所に移動し、外種目を体育館で行うこともあるので、9号館前の掲示板やUTOLのお知らせをよく確認すること。</p> <p>授業の方法 第2回目の授業で、種目選択を行う。スポーツコース（テニス、サッカー、バドミントン等）、フィットネスコース、サイエンスコース（一部の曜限のみ開講）から選択する。各曜限の開講種目とその内容は種目選択の際に説明するが、身体運動科学研究室ホームページ（URLは後述）にも掲示する。 種目選択以降は、各種目に分かれて実習を行う。基本的には選択した種目の実技を中心に授業が展開されるが、ルールの説明、技術の解説、研究内容の紹介など、講義の要素もある。実技と講義のバランスは種目や授業回により様々である。 学期中に2回、身体運動の科学的理解を目的とした共通基礎実習を、通常とは別の場所で行う。講義や共通基礎実習ではもちろんのこと、実技授業でも教科書「身体運動・健康科学ベーシック」を用いることがあるので、毎回持ってくること。 講義、体力テスト、共通基礎実習、実技の内容と関連したレポートを学期末に作成し、提出する。 出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目と共通基礎実習に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 体力テスト：例年は4月と12月に行い、評価に含める。 レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価する。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。</p> <p>成績評価方法 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 身体運動・健康科学ベーシック 著者（訳者） 東京大学身体運動科学研究室 出版社 東大出版会 ISBN</p> <p>教科書</p> <p>履修上の注意 種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。</p> <p>学習上のアドバイス 盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内のWebシラバスを閲覧するにはECCSクラウドメールへのログインが必要である。</p> <p>関連ホームページ https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html ※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること</p>		

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30041	月 2	身体運動・健康科学実習 I	実技担当	1年 文一二(4,23)文三(16-17)理一(7,10-11,17,20,22,38)
30430	火 3	身体運動・健康科学実習 I	実技担当	1年 文三(7,18)理一(23,29-30,32,34-37,39)
30483	火 4	身体運動・健康科学実習 I	実技担当	1年 文一二(13)文三(8,14,19-20)理一(24-25)理二三(7,10,17,21)
30675	水 3	身体運動・健康科学実習 I	実技担当	1年 文一二(8,14,27)文三(9)理一(9,12,19,28)理二三(5-6,8)
30745	水 4	身体運動・健康科学実習 I	実技担当	1年 文一二(16,26)理一(13-15)理二三(1-3,9,11-12,14-15)
30839	木 2	身体運動・健康科学実習 I	実技担当	1年 文一二(1-3,5,24-25)文三(1-5,11)理一(1-3,21,27)理二三(4,16)
30909	木 3	身体運動・健康科学実習 I	実技担当	1年 文一二(6,9)文三(6)理一(4-5,16,18)理二三(13,18,22-24)
31138	金 3	身体運動・健康科学実習 I	実技担当	1年 文一二(11,15,18-20,28)文三(10,12)理一(6,8,26)理二三(20)
31185	金 4	身体運動・健康科学実習 I	実技担当	1年 文一二(7,10,12,17,21-22)文三(13,15)理一(31,33)理二三(19)

身体運動・健康科学実習Ⅱ

身体運動・健康科学実習Ⅱ		開講区分	S	
授業の目標・概要	<p>週1回の授業を通じて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技術を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。 			
授業計画	<p>第1回 同曜限で開講されている総合科目D「スポーツ・身体運動実習」の種目選択を実施する場所に集合し（場所は9号館前掲示板またはUTOLを参照）、この授業用に開講されている1種目に登録手続きを行い、担当教員からガイダンス・講義を受ける。</p> <p>第2回以降 この曜限で開講されている種目での実技授業</p> <p>*学期中に2度 身体運動の科学的理解を目的とした共通基礎実習を行う。</p>			
授業の方法	<p>基本的には自分の身体を動かして実習することが第一であるが、各種目により様々なアプローチがなされる。</p> <p>学期中に2回、身体運動の科学的理解を目的とした共通基礎実習を、通常とは別の場所で行う。講義や共通基礎実習ではもちろんのこと、実技授業でも教科書「身体運動・健康科学ベーシック」を用いることがあるので、毎回持ってくる。</p>			
成績評価方法	<p>講義、共通基礎実習、実技の内容と関連したレポートを学期末に作成し、提出する。</p> <p>出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。</p> <p>達成度：各自が選択したコース・実技種目と共通基礎実習に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。</p> <p>レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価する。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。</p>			
教科書	<p>その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。</p> <p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook</p> <p>書名 身体運動・健康科学ベーシック</p> <p>著者（訳者） 東京大学身体運動科学研究室</p> <p>出版社 東大出版会</p> <p>ISBN</p>			
履修上の注意	<p>原則として、次に該当する者だけがこの授業を履修できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1Aセメスターの「身体運動・健康科学実習Ⅱ」を履修しなかった（クラス指定された「身体運動・健康科学実習Ⅱ」の登録を削除した）者 ・1Aセメスターの「身体運動・健康科学実習Ⅱ」が不合格であった者 <p>必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。</p> <p>更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。</p> <p>体育館は土足、飲食禁止である。</p>			
学習上のアドバイス	<p>盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。</p> <p>障害保険に加入することが望ましい。</p> <p>後述する関連ホームページ内のWebシラバスを閲覧するにはECCSクラウドメールへのログインが必要である。</p>			
関連ホームページ	<p>https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html</p>			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30160	月 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ(2S)	実技担当	2年 文科 理科
30316	火 2	身体運動・健康科学実習Ⅱ(2S)	実技担当	2年 文科 理科

身体運動・健康科学実習 (メデ ヲカケア)

身体運動・健康科学実習 (メデ ヲカケア)		開講区分	S
授業の目標・概要	<p>週1回の授業を通じて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解(肌でわかる・体感する)のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。 		
授業計画	<p>第1回 ガイダンス・講義(オンライン) 第2回 出席カード作成、種目選択 第3回以降 各自の選択した曜限での授業(原則として対面授業だが、一部はオンライン授業となる可能性もある) (注意事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回目までの授業は原則としてクラス指定された曜限で受講すること。使用するURLや教室はUTOLや9号館前の掲示板に掲示する。 ・第2回目の授業後半に種目選択を行う。その際にメディカルケアコースの履修希望であることを申し出ること。履修する曜限は必ずしもその日に決定しなくてよいが、判断に困る場合は教員によく相談すること。 ・第4回以降は月1、月5、火1(変更の可能性あり)、水1のいずれかで授業を受けることになる。いずれの曜限においても、各自の状態に応じて実習を行うことになるので、担当教員とよく話し合いながら実習に取り組むことが望ましい。 ・以上の授業計画は変更となることがある。その場合はメールまたはUTOLを使って連絡する。 <p>各自の状況に応じて、各自に合った運動を処方して行う。 毎回目誌をつけて、自己の状況を確認する。</p>		
授業の方法	<p>出席:身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席(遅刻、早退、見学を含む)はきわめて重視される。</p> <p>達成度:各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 レポート:実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価することがある。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。 その他:態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。</p>		
成績評価方法	<p>次の教科書を使用する。/Will use the following textbook</p> <p>書名 身体運動・健康科学ベーシック 著者(訳者) 東京大学身体運動科学研究室 出版社 東大出版会 ISBN</p>		
教科書	<p>基本的には健康診断等で保健センターから指示された者が受講するが、本人の申し出があって担当教員が認めた場合は受講できる。また学期途中でも運動に制限が生じた場合はメディカルケアコースに移動すること、また回復により元の授業に復帰することも可能なため、担当教員とよく相談すること。 原則として授業は全て対面式で行う。対面授業への参加が難しい場合は、あらかじめ担当教員に申し出て、指示を仰ぐこと。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。</p>		
履修上の注意	<p>盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内のWebシラバスを閲覧するにはECCSクラウドメールへのログインが必要である。</p>		
学習上のアドバイス	<p>https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html</p>		
関連ホームページ	<p>※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること</p>		

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30009	月 1	身体運動・健康科学実習 I (メデ ヲカケア 3)	実技担当	1年 文科 理科
30231	月 5	身体運動・健康科学実習 I (メデ ヲカケア 1)	実技担当	1年 文科 理科
30295	火 1	身体運動・健康科学実習 I (メデ ヲカケア 3)	実技担当	1年 文科 理科
30578	水 1	身体運動・健康科学実習 I (メデ ヲカケア 2)	実技担当	1年 文科 理科
30010	月 1	身体運動・健康科学実習 II (メデ ヲカケア 3)	実技担当	2年 文科 理科
30232	月 5	身体運動・健康科学実習 II (メデ ヲカケア 1)	実技担当	2年 文科 理科
30296	火 1	身体運動・健康科学実習 II (メデ ヲカケア 3)	実技担当	2年 文科 理科
30579	水 1	身体運動・健康科学実習 II (メデ ヲカケア 2)	実技担当	2年 文科 理科

初年次ゼミナール文科の履修について

初年次ゼミナール文科はクラス指定の必修科目であり、以下の共通目標が定められている。

大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。

「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2週の合同授業で学ぶ。

クラスごとに指定されたグループ（各2曜限）に開講されている授業のうち、1授業を選択して受講する。希望が集中した場合は抽選となる。教務課前期課程のホームページに掲載される【重要】履修登録についての該当箇所にしたがって、登録期間内に必ず履修希望登録を行うこと。なお、履修希望は必ず第8希望まで登録すること。初年次ゼミナール文科の抽選結果は、抽選で履修が決まる総合科目（英語中級等）の抽選結果より優先される。同じ曜限に他の授業と重複して当選した場合は、初年次ゼミナール文科以外の科目の履修は取り消されるので注意すること。

文科の2年生で初年次ゼミナール文科の単位を未取得の者は、科目登録方法が通常他クラス聴講等の手続きとは異なるので、同じく【重要】履修登録についてを注意して読んでおくこと。

*教務課前期課程ホームページ：<http://www.c.u-tokyo.ac.jp/zenki/index.html>

授業日程上の第1週（4月5日-11日）は、同一の曜限に開講されるすべての初年次ゼミナール文科の授業合同で、ガイダンス（オンライン）を実施する。割り当てられている2曜限とも出席すること。ガイダンスのZoomURLは、UTOLにログインした後、時間割の下に表示される「集中コース等」の中にある「初年次ゼミナール文科（総合）」コースに掲載する（下の画像の矢印の部分）。各教員のシラバスには合同ガイダンスのURLは掲載されないので注意すること。

The screenshot shows a website interface with a navigation menu at the top left and links (Manual, Contacts, Help, Settings, Logout) and the name '駒場 花子' at the top right. Below is a table with columns for days of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土) and rows for class periods (1時限 to 7時限). At the bottom, there is a section for '集中コース等' (Concentration Courses) with a yellow bar containing the text '初年次ゼミナール文科（総合）'. A red arrow points to this text. The footer contains the text '東京大学情報基盤センター Information Technology Center, The University of Tokyo' and a 'Top' button.

第2週(4月15日-19日)は、オンライン(オンデマンド形式)でアカデミックマナーおよびアカデミックスキルに関するレクチャーと情報検索実習を行う。詳細はUTOLの「初年次ゼミナール文科(総合)」コースに4月14日までに掲載される。必ずUTOLの同コースの掲載情報を確認しておくこと。授業で使用する共通教材(下記参照)および検索実習テキストも同コースに掲載されるので、受講前に自分の端末にダウンロードして参照できるようにしておくこと。なお、第2週の合同授業では課題の提出にもとづいて出欠席が記録される。

第3週(4月22日-26日)からは、各授業担当教員が指導する少人数授業が行われる。UTASにて抽選結果を確認し、当選した授業のシラバスを、PDF版だけでなくオンライン版でも必ず確認すること。また別途情報が掲載されているかもしれないので、①UTOLの履修する授業のコースと、②UTOL「初年次ゼミナール文科(総合)」コース、また、③教務課前期課程のホームページをよく確認しておくこと。第3週以降の少人数授業は基本的に対面となるが、特例としてオンラインで実施される場合がある。各授業のシラバスで授業形態についての特記がないかどうか確認しておくこと。

この授業の共通教材として『読む、書く、考える：東京大学 初年次ゼミナール文科 共通テキスト』の電子版が全員に配布される。4月14日までにUTOL「初年次ゼミナール文科(総合)」コースにアップロードされるので、手元にダウンロードし、積極的に利用してほしい。

この授業に関する授業外サポートとして、「ラーニングコモンズ」をオンラインで開く。ラーニングコモンズでは、各授業のティーチング・アシスタント(TA)とは別に、大学院生がラーニングコモンズTAとして待機し、履修生の学習相談や質問に応じる。どの初年次ゼミナール文科の授業を履修している学生でも、予約不要で利用できる場である。開室時間やURL、利用方法等についてはUTOLの「初年次ゼミナール文科(総合)」コースで通知する。

クラスごとの指定グループは下表のとおりである。

グループ名	開講曜限	対象クラス
グループ1	月4・水4	1年文一・二(4,6-7,28), 文三(4,16,18)
グループ2	火1・木2	1年文一・二(10,19,26-27), 文三(7,9,13)
グループ3	火3・木3	1年文一・二(8,12,14,17), 文三(10,12,14)
グループ4	火4・金1	1年文一・二(1-3,5,11,15-16,22), 文三(1-3,11,15)
グループ5	水2・金3	1年文一・二(13,21,24-25), 文三(5,8,20)
グループ6	水3・金4	1年文一・二(9,18,20,23), 文三(6,17,19)

クラス編成によって、上記グループが変更される場合がある。教務課前期課程のホームページに変更のお知らせが出ていないかどうか、学期開始前に必ず確認しておくこと。

グループ1 1年 文一(4,6-7,28)文三(4,16,18)

31768	月 4	東京の産業地区を調べる	鎌倉 夏来	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分を取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 東京の産業地区の中から、調査対象地区（4班で4地区を想定）を選定する。調査方法や既存研究についての講義、地図の分析、統計分析、フィールドワークについての各班の報告・討論、それらをふまえた追加調査、小論文の作成を行う。</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する			
授業のキーワード	人文地理学、産業集積、地域統計、地図			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31769	月 4	学術論文を通して見る歴史学の世界	黛 秋津	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分を取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 この授業では、皆さんがこれまでまず目にしたことがないと思われる「学術論文」について徹底的に見てゆこうと思います。学術論文とは何か、何のために書くのか、どのように書くのか、どのような形式・体裁であるべきか、良い論文とは、などの様々な問題を、多くの事例に触れながら皆で一緒に考えます。担当教員が歴史学を専門とする関係上、取り上げる論文は歴史学に関わるものになります。数多くの歴史学関連の学術論文を目にする中で、学問としての歴史学とはどういうものか、そしてどのような方法で研究すべきなのか、という点についても自ずと理解することになるでしょう。</p> <p>これから踏み入れることになる学問の世界に、皆さんが着実な一歩を踏み出せるようにすることがこの授業の狙いです。</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する			
授業のキーワード	学術論文、歴史学			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31770	月 4	世論調査から読み解く日本政治	境家 史郎	法学部
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 戦後日本における政治と世論の関係について、理論的・実証的視点から理解を深める。本演習では、世論調査の方法論を一般的に学ぶとともに、既存の意識調査を体系的に検討し、様々な政策分野に関する世論の動態を明らかにすることを目標とする。例えば、戦後日本では憲法改正が政治の争点であり続けてきたが、一般有権者はこの問題についてどのような意識を持ってきたのであろうか。また民意が時期によって変化したとすれば、それは何によるものだろうか。各受講者は関心のある政策分野（防衛政策、社会保障政策、家族政策等々）について、こうした問いを立て、自らそれに答えることが求められる。</p> <p>【学術分野】 法・政治 【授業形態】 ディシプリン型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する			
授業のキーワード	政治学、日本政治、世論調査、政治意識、統計			
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 書名 世論調査の真実 著者（訳者） 鈴木督久 出版社 日本経済新聞出版 ISBN 978-4532264598 その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31772	月 4	人権について考える ー現代における人権の諸問題ー	石原 孝二	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 人権は現代社会の基盤となる考え方であると同時に、常に侵害されるものでもある。この授業では、人権の概念や歴史、国際的な枠組み、世界と日本における人権保護と侵害の状況について学び、人権にどのように向き合うべきかを考える。具体的なテーマとして、人権概念の歴史、紛争と人権、移民と人権、ジェンダー・性的マイノリティと人権、差別と人権、障害と人権、動物の権利、宗教と人権などを取り上げる。</p> <p>【学術分野】 哲学・思想 【授業形態】 資料にもとづくディスカッション</p>			
成績評価方法	出席および議論への貢献等の平常点と発表、小論文で評価する。 小論文は、各自の発表をもとにして、人権について論じるものとする。（希望があれば、発表とは異なったテーマを選択してもよい。）			
授業のキーワード	人権宣言、動物の権利、紛争と人権、マイノリティ、障害のある人の権利条約			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31773	水 4	国際関係の事象を理論的・実証的に考えてみる	吉本 郁	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 国際社会には、貿易・金融・環境・公衆衛生など、国境を越えた協力を必要とする様々な分野において、多くはフォーマルな国際機構の形態を伴う「国際制度」が存在する。国際関係論（国際政治学）では、このような国際制度への過度な期待や失望からは一旦距離をとって、国際的な協力や国家間の紛争の根本的な解決を難しくする根本的な問題は何かを理論的に考察する。</p> <p>本ゼミナールでは、初めに実際の研究者によって書かれたアカデミックな論文（1回約30頁程度）を読み、国際関係論のディシプリンに則った問いの立て方・理論構築と実証の在り方を理解する。その上で自分自身の研究を行い、論文を書いてもらう。簡単に言えば、受講者が関心をもつ国際政治上の現象の中から「なぜ？」と思うものを見つけ、それに対して独自の説明を与える、その訓練の場を与えるということが本ゼミの目的である。そこには、各自が関心に沿った学術文献を探し、読んで理解するインプットの側面と、自分なりの問いを立て、それに答えるためのリサーチ能力も養うというアウトプットの側面とがあるが、インプットの側面については受講者各自の努力もかなりの程度要求される（平均的な他の初ゼミよりも予習復習に費やす時間は多いです）。</p> <p>【学術分野】 国際関係 【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する			
授業のキーワード	国際関係論、国際政治経済、国際機構、国際協力、国際制度			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31774	水 4	日本史論文の読み方・書き方	桜井 英治	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 歴史学の方法は主に史料の分析と先行研究の検討の2つからなるが、本授業では後者の方法に触れ、その実践力を向上させることを目的とする。具体的には『岩波講座日本歴史』全22巻（岩波書店、2013-2016年）所載の概説的論文のいくつかを読むことを通じて、高校の日本史とは異なる、日本史研究の最新の成果や議論に触れるとともに、あわせて学術論文一般の読み方・書き方を身につける。</p> <p>【学術分野】 歴史学 【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型</p>			
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード	日本史、古代史、中世史、近世史、近現代史			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31775	水 4	「近代以後」の意味を問う	王 欽	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】</p> <p>大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】</p> <p>かつて日本社会で大いに議論されていた「ポストモダン」という語彙及びそれに関連する思想が下火になって久しい現在、「AI」、「人新世」、「メタバース」といった目まぐるしい新しい言葉が論壇や大学の教壇を付き纏い始めている。しかし、「近代」（とくに「日本の近代」）に関する一連の時代遅れのように見える問題に向き合い、歴史的に残っているジレンマをくぐり抜けなければ、われわれは気楽に「アフター・ポストモダン」の時代を生きることができない。「ポストモダン」というカタカナ表記それ自体が、このことを語っている。この授業はあえて「ポストモダン」を「近代以後」と書き換え、いくつかのテキストを手がかりにして「日本の近代とその以後」という難問について考える。自分が置かれている歴史的・思想的な文脈を十分に吟味しながら、自分なりに問題を立て、考えるヒントをテキストに引き出すことが、本授業の最大の目的である。さらに、この授業を通じて、テキストを「精読する」ための技術や要領を身につけることができるはずである。</p> <p>【学術分野】 哲学 【授業形態】 文献批評型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する			
授業のキーワード	(1行1ワードで入力してください)、近代、近代日本、アジア、ポストモダン			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31777	水 4	展覧会の未来を考える	永井 久美子	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】</p> <p>大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】</p> <p>オンラインで閲覧可能な画像も多い現代であるが、ミュージアムに実際に足を運ぶ意義とは何であろうか。「実物」を見る体験がもたらすものとは何であろうか。各種ミュージアムにおける展覧会のあり方について、現状と課題、今後のあるべき形などを、関心のある例を各自自由に選択し、具体的に議論してもらおう。</p> <p>主な分析対象は一人一件を原則とするが、問題を論じるうえで必要な場合は、複数の展示の比較対照を行ってもよい。いわゆるファインアートを取り扱う美術館のほか、博物館、文学館、歴史館など、多様な展示内容から自身が関心のあるテーマを自由に選んでほしい。</p> <p>授業形態は、人文学全般に通じる小論文の書き方を学ぶディシプリン型であると同時に、特に展示解説の内容を論じる場合には文献批評型でもあり、現実もしくはオンラインの展示会場を訪れるフィールド型でもある。大学近隣のミュージアムの見学会も実施予定である。教室で課題を互いに発表することを通して、プレゼンテーションおよび小論文の完成度を高めることを目標とする。</p> <p>【学術分野】 国文・漢文学（ただし、広く展示に関わる内容を対象とする） 【授業形態】 ディシプリン型・フィールド型・文献批評型の複合形態</p>			
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード	美術館、博物館、展覧会、施設運営			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31805	水 4	批評性のある作品論の執筆 －マンガを題材に－	三輪 健太郎	教養教育高度化機構
授業の目標・概要 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 芸術作品や文化的現象について学術的に研究するための基礎的な訓練として、担当教員の専門であるマンガを題材にして、批評性のある作品論の執筆に取り組んでもらいます。これを通して、問いの立て方や議論の組み立て方など「初年次ゼミナール文科」の共通目標の達成を目指すとともに、マンガのような大衆文化を論じるための視座や、必ずしも古典とは呼び難い現代的な事象に対してアプローチするための複数の観点を学ぶことを狙いとします。</p> <p>【学術分野】文化・芸術 【授業形態】ディシプリン型</p> <p>出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する マンガ、大衆文化、批評理論、作品論、メディア論、ジャンル論 教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他</p> <p>第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>			

グループ2 1年 文一二(10,19,26-27)文三(7,9,13)

31778	火 1	宗教文化研究の多様なアプローチと書評セッション	西村 明	文学部
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 宗教文化を研究する際、哲学や思想研究、歴史学や人類学、社会学や心理学など人文社会系の多様な学問分野からの複合的なアプローチが駆使されている。この演習では、受講生と最新の研究論文を読みながらそうしたアプローチの多様性に触れ、各自書評という形式で小論文を作成することを目指す。</p> <p>【学術分野】 宗教学宗教史学 【授業形態】 文献批評型</p>			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書	<p>出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 宗教学、宗教研究、宗教文化、文献講読、書評、論文執筆 プリントを配布する。／Will distribute handouts 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他</p>			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31779	火 1	フィールドワークに触れる	浜田 明範	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 文化人類学は、数年に渡るフィールドワークに基づいて人びとの生活について学び、その学びをもって自らの生の基盤を問い直し、これまでにない思考のあり方を導いていく学問分野です。 20世紀に実施された文化人類学の重要な研究の多くは、アフリカ、オセアニア、ラテンアメリカ、アジアといった非西洋において行われてきました。そこで重視されてきたのは、言語も常識も異なる人びとの生のあり方を、可能な限り臆見を廃して記述・分析・説明するための方法の洗練でした。近年は、この方法をより自覚的に応用することにより、ヨーロッパや北アメリカ、それに日本国内の様々な現場（医療施設、科学実験室、企業 etc.）を対象とする研究も増えてきています。また、例えば医療やアートの現場でも、文化人類学的なフィールドワークという方法への注目が高まってきています。</p> <p>文化人類学のフィールドワークが数年を費やすものである以上、この授業を履修しただけでフィールドワークのやり方をマスターすることはできません。しかし、その一端に触れておくことは、文化人類学という学問分野の枠を超えた重要な意義を持っています。</p> <p>そこで、この授業では、（1）各自が自身の経験や身の回りのことからテーマを見つけ、（2）関連する文献と結びつけて思考した上で、（3）それまでとは異なる新しい気づきを文章の形で説明するというプロセスを経ることによって、文化人類学におけるフィールドワークという方法の一端を実際に体験してみることを目的とします。</p> <p>なお、この授業ではグループワークや教室外での作業を部分的に取り入れながら行いますが、本格的なフィールドワークの実施を受講生に求めることはありません。</p> <p>【学術分野】 文化人類学 【授業形態】 フィールド型 文献批評型</p>			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書	<p>出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する フィールドワーク、民族誌、具体と抽象の往復、力、記述 教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他</p>			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31780	火 1	政治における因果推論	鹿毛 利枝子	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 政治学における因果推論の考え方と、その実践的な適用の仕方を学ぶ。</p> <p>【学術分野】 法・政治 【授業形態】 ディシプリン型</p>			
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード	政治学、因果推論			
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook			
	書名 原因を推論する			
	著者（訳者） 久米郁男			
	出版社 有斐閣			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31781	火 1	ディレンマとつきあう平和構築	中村 長史	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 武力のせいで平和がこわれることもある一方で、武力によって平和がつくられることもある。このすっきりとは割り切れないディレンマこそ、戦争と平和の学問として出発した国際政治学が抱え続けてきた最も大きな難問の一つといってよいだろう。そして、このようなディレンマは、国際政治の至るところにみつけることができる。</p> <p>この授業では、国際政治学の一分野である広義の「平和構築論」に焦点を当て、そこにみられるディレンマの分析を通して、国際政治の構造自体を理解することを目指す。具体的には、平和な状態の回復を目指す政策（人道的介入、対テロ武力行使、人道支援、仲介など）、維持を目指す政策（平和維持活動など）、定着を目指す政策（狭義の平和構築活動＝国家建設、国際刑事裁判、和解など）を扱う。</p> <p>履修者が学期末に到達することを期待される目標は、以下の6点である。</p> <p>①平和構築に関する専門的な文献の意義や問題点を指摘することができる（課題文献の輪読で訓練⇒小論文に活かす） ②平和構築に関する資料や文献を自ら適切に収集することができる（課題文献の輪読で訓練⇒小論文に活かす） ③懐疑的な読者の存在を常に意識して、予想される反論にあらかじめ応答することができる（簡易ディベートで訓練⇒小論文に活かす） ④平和構築のあらゆる段階に存在するディレンマについて、何が問題かを事例を挙げて説明することができる（すべての回で訓練⇒小論文に活かす） ⑤平和構築のあらゆる段階に存在するディレンマについて、それが生じる原因を事例を挙げて説明することができる（すべての回で訓練⇒小論文に活かす） ⑥平和構築のあらゆる段階に存在するディレンマについて、それを管理したり解決したりする方法を事例を挙げて説明することができる（すべての回で訓練⇒小論文に活かす）。</p> <p>【学術分野】 国際関係 【授業形態】 ディシプリン型</p>			
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード	平和構築、国際政治、ディレンマ、輪読、簡易ディベート、実証			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31782	火 1	ハンナ・アーレント研究 ——『過去と未来の間』を読む	國分 功一郎	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分を取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 ハンナ・アーレント（1906-1975）はドイツ出身、戦後にアメリカ合衆国で活躍した哲学者である。『全体主義の起原』『エルサレムのアイヒマン』『人間の条件』などの著作でその名を知られている。論文集である『過去と未来の間』は彼女が、自らの著作の中で最も出来がよい本だと言っていたという。確かにこの本にはいくつもの珠玉の論文が収められている。本書を読むことで読者は、政治、哲学、人間、歴史、権力、教育等々についての自らの思考を進めていく上での重要な手がかりを得ることができるだろう。全部の論文を読むことはかなわないであろうから、いくつかをピックアップして読んでいくことにしたい。哲学の前提知識は必要ない。むしろ参加者がこの論文集の読解を通じて哲学史についての基本的な知識を身につけられるよう担当者として努力するつもりである。</p> <p>【学術分野】 哲学・科学史 【授業形態】 文献批評型</p>			
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード	アーレント、政治、哲学			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名 過去と未来の間			
	著者（訳者） ハンナ・アーレント			
	出版社 みすず書房			
	ISBN			
	その他 教科書は4800円とやや高額であるため、何らかの割引を使った共同購入を考えている。但し先に入手して読んでみたい者はもちろん事前に購入して構わない。			
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31783	木 2	21世紀に考えるアジア太平洋戦争	岡田 泰平	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分を取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 本授業では、あらためてナショナリズムが強まっており、広く注目を集める戦争が展開されている2020年代から、大量死と大量破壊をもたらした20世紀中葉の戦争を見つめ直します。大きい政治史ではなく、むしろ下からの歴史や社会史や記憶の政治に注目します。そうすることにより、合理性や予測可能性ではなく、痛覚を学びます。また、記憶がどのように作用するのかについての学習の機会にもなります。総じて、今を生きるなかで個人が何をなし得るのかを考えてもらえればと思います。期末課題は、講義題目に関わるものであれば、どのようなテーマでも構いません。およそ二つの大きな方向性があります。文献から期末課題を書くのでも良いですし、インタビュー調査も含めて親族について調べるのでも構いません。</p> <p>【学術分野】 歴史学 【授業形態】 文献批評型</p>			
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード	アジア太平洋戦争、20世紀の戦争と21世紀の戦争、総力戦、占領下の社会、平時と戦時、記憶の政治			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31784	木 2	上田秋成『雨月物語』を読む	高山 大毅	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】</p> <p>大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】</p> <p>『雨月物語』という作品の名称はどこかで聞いたことがあるのではないのでしょうか。『雨月物語』は、江戸時代中期の学者である上田秋成の書いた、いわば「怪談小説集」です。広い意味での「古文」に含まれる文章で書かれています。高校の古典の知識があれば、注を頼りにして読むことは難しくありません（受験勉強で鍛えられた皆さんにとっては、むしろ「易しい」と感じられるでしょうし、現代語訳もあります）。九篇の物語のうちには、恋の妄念の話もあれば、友情や政治にまつわる話もあり、誰でも一篇は「面白い」と思える物語があるのではないかと思います。このように『雨月物語』は現代の読者にも「読み物」としてとっつきやすい一方で、作品自体は、日本・中国の様々な典籍の知識が融合することで展開した江戸時代の学問・文学の世界に深く根差しています。『雨月物語』は、問口が広く、かつ奥行きが深い傑作であるといえるでしょう。</p> <p>授業では、『雨月物語』各編の解釈について報告してもらい、それを土台にして、どのような「読み」が可能で、そして妥当なのかについて議論していきます。小論文執筆の過程で、重厚な『雨月物語』研究の蓄積の一端に触れることになるでしょうが、まずは古典作品を楽しく熟読玩味することに重きを置いています。報告と議論を通じて、「読む」という一見単純な営為の複雑さに自覚的になってもらうことを目標としています。</p>			
成績評価方法	【学術分野】 国文・漢文学			
授業のキーワード	【授業形態】 文献批評型			
教科書	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
	日本文学、江戸文学、国学、上田秋成			
	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook			
	書名 雨月物語			
	著者（訳者） 上田秋成（作）・長島弘明（校注）			
	出版社 岩波書店			
	ISBN 978-4003022030			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31785	木 2	現代における青年期の心理社会的問題とその支援法を探る	石垣 琢磨	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】</p> <p>大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】</p> <p>いつの時代も青年をめぐる心理社会的問題は多種多様である。この授業では「現代における」青年期の問題を扱うが、それらは実は大昔から変わらないものかもしれない。したがって、今世紀の資料をあたったり、知人を介して実際に調査を行ったりするだけでなく、古典的文献の精査がテーマに適切であるかもしれない。研究の方法論についてはグループ内でのディスカッションだけでなく担当教員とよく相談してほしい。また、この授業を臨床心理学の入門編としてとらえ、心理社会的問題への支援法・支援論にも言及してもらいたいと考えている。</p>			
成績評価方法	【学術分野】 心理・教育学			
授業のキーワード	【授業形態】 ディシプリン型 フィールド型			
教科書	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する			
	青年期、心理社会的問題、発達、支援			
	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook			
	書名 大学生のストレスマネジメントー自助の力と援助の力			
	著者（訳者） 齋藤憲司・石垣琢磨・高野明			
	出版社 有斐閣			
	ISBN 978-4-641-17456-6			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31786	木 2	<p>北一輝『国体論及び純正社会主義』（1906年）を読み、考え、議論する。</p> <p>北一輝（輝次、輝次郎）の『国体論及び純正社会主義』は、進化論、社会主義、天皇制、科学論、国家論などにかかわる様々な知見を総合し、日本国や人類の行く末を議論しようとする試みであった。日露戦勝の興奮冷めやらぬ日本で、23歳の若者が挑んだ戦いの軌跡を読み解きながら、歴史上の思想と応対する術を学んでいくこととしたい。</p>	岡本 拓司	教養教育高度化機構
<p>授業の目標・概要</p> <p>成績評価方法</p> <p>授業のキーワード</p> <p>教科書</p> <p>ガイダンス</p>		<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 現代の口語・文語とは異なる形態で書かれた文章を正確に理解するために必要な方法を知ること、多様な資料に依拠する文献に対応する術の一端を学ぶこと、すでに過去のものとなった思想を取り扱うための態度の一端を学ぶこと。 【学術分野】 哲学・科学史 【授業形態】 文献批評型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する 進化論、社会主義、天皇制、憲法 プリントを配布する。／Will distribute handouts 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>		

31787	木 2	「世界観」を問い直す	細川 瑠璃	教養教育高度化機構
<p>授業の目標・概要</p> <p>成績評価方法</p> <p>授業のキーワード</p> <p>教科書</p> <p>ガイダンス</p>		<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 この授業では、普段何気なく使っている「世界観」という言葉および概念を再検討し、「世界観」というものがどのようにして生み出されるのか、「世界」と「世界観」はどのような関係にあるのか、言説や表現によって「世界観」が生み出されて「しまう」ことの責任をどのように引き受けていくべきなのか、…といった問いに挑んでみたい。 授業では、こうした問いに向き合うための比較的わかりやすい例として、美術における「世界観」の表出の最たるものとしての遠近法を扱い、遠近法について論じた二つの文献（日本語訳）を講読する（授業計画欄参照のこと）。毎回担当者を割り当て、章ごとに内容を報告してもらう。講読する二つの文献は美術を主題としてはいるが、その射程には哲学・神学から数学や科学まで含まれている。学問分野の枠組みにとらわれることなく、受講者それぞれの多様な関心や視点に基づいて豊かな議論を行っていききたい。 【学術分野】 哲学・科学史 【授業形態】 文献批評型 出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 遠近法、美術史、空間論、ロシア思想、20世紀の思想 プリントを配布する。／Will distribute handouts 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>		

グループ3 1年 文一二(8,12,14,17)文三(10,12,14)

31776	火 3	ゲーテの『若きヴェルテル（ヴェルター／ウエルテル）の悩み』を読む	石原 あえか	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 2024年に初版刊行から250年の節目を迎えるゲーテの『ヴェルター』。ゲーテ生誕275周年とも重なる今年、ドイツ語圏ではこの作品の歴史的意義を問い、現代の視点から読む試みが多く計画されています。250年も前に発表されたゲーテの初期作品は、現在の私たちにとってどんな意味や価値を持つのでしょうか？このゼミナールでは、ゲーテの書簡小説『ヴェルター』にさまざまな視点からアプローチすることで、大学での「文学研究」の一端を紹介するとともに、参加者との議論を通して、この作品の歴史的価値や現在に通用する意義を明らかにしていきたいと思ひます。</p> <p>【学術分野】 ドイツ文学 【授業形態】 文献批評型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード 教科書	ドイツ文学、翻訳をめぐる問題、ゲーテ、『若きヴェルテル（ヴェルター）の悩み』 授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31788	火 3	社会科学における仮説の設定とその検証	木宮 正史	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2週の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 大学に入って社会科学を専攻するというのがどういうことであるのか、そうした理解の手がかりをつかむことを目標とする。政治学という特定のディシプリンに限定するというのではなく、広く社会科学全般の方法論に基づいて政治、経済、国際関係、社会など、のさまざまな現象を理解することを目的とする。そのうえで、以下の点について、各自が、授業における指導や学生相互の評価などを通して、自分の能力を切磋琢磨することを目標とする。</p> <p>① 課題の発見能力：自分のオリジナルな課題設定が求められる。「驚き」（自分の持っていた常識では測りきれない現実に直面する）とそれに対する社会科学的な認識（なぜ、そうした「驚くべき」現象が起こったのか。また、なぜ、従来の「常識」では、そうした新しい現象がおこることを予測し、理解することができなかったのか。）</p> <p>② 仮説の提示能力：問題意識をいかに具体的な仮説に転換することができるか。問題意識を「仮説」という形で設定し直し、それを実証していくという作業に取り組む。仮説というのは、最も簡単な形では、2つの変数（事象）を見つけて、その2つの変数が、どのような条件のもとで、どのような関係（因果関係や相関関係など）にあるのかを提示することである</p> <p>③ 調査・資料収集能力：いかに「汗を流して」自分の考え方を確かなものにする地道な作業を根気よく行えるか。(1)先行研究にあたる。(作成した文献リストを活用し、重要なものを中心にして当該問題に関して、どのような議論が展開されているのか、どのような争点が存在するのかを中心に整理する。)(2)具体的な資料・データを集めて、それを検討する。仮説を実証するためには、どのような資料やデータが必要なのか。そして、そうした資料やデータはどこから入手するのか。また、そうした資料をどのように解釈するのか。</p> <p>④ 発表：いかに相手（特に自分とは意見を異にする人）を納得させられるか。レジメの書き方や提示資料の選択を工夫することによって、いかに聴衆を飽きさせずに、興味関心を共有できるような発表を行うか。</p> <p>⑤ 論文の作成：自分の意見や構想を一方向的に発表して、それで自己満足に浸るだけではだめである。自分の意見がなぜ正しいのか、もしくは説得力を持つのかを、具体的な証拠を提示することによって示す。</p> <p>【学術分野】 法・政治</p> <p>【授業形態】 ディシプリン・フィールド融合型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する			
授業のキーワード	社会科学、戦争の時代、仮説、実証もしくは反証、事例比較、相互評価			
教科書	教科書は使用しない。/ Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31789	火 3	災害地理学の理論と実践	小田 隆史	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】</p> <p>大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】</p> <p>地理学は、自然環境と人間社会との相互の関係性を古くから問うてきた学問であり、自然災害の発生機序や復興過程の理解、次なる災害への備えにも役立つ知見を蓄積してきた。また、地理情報システム（GIS）などの技術的発展により、地理空間情報の防災への活用も進んでいる。2022年度からは高等学校「地理総合」が必修化され、防災とGISはそのカリキュラムの柱を成す。</p> <p>本授業では、災害を扱った地理学及び関連分野からその研究の系譜や手法を学ぶ。それを通じて地理学、なかでも担当教員の専門である人文地理学が、災害からの復興や防災力向上に果たしうる役割について考える。具体的には、教員による導入講義の後、研究テーマの設定、先行研究のレビュー、演習や必要に応じてフィールドワーク、得られた知見の共有と討議を行う。最終的にそれらを踏まえて、各自が小論文を作成する。</p> <p>【学術分野】 人文地理学 【授業形態】 ディシプリン型／フィールド型</p>			
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード	災害、復興、地理情報システム、リスク・コミュニケーション、東日本大震災、地理学			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31790	火 3	日本語の「常識」を問い直す	矢田 勉	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】</p> <p>大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】</p> <p>学術研究に第一に求められるものは「客観性」である。しかし、人間の思惟以前の存在を研究対象とする自然科学など以上に、人間の主観性とその産物を研究対象とする人文科学では、何によって客観性が担保されるのか、際どい問題として立ち起こってくる。ともすれば、単に広く人口に膾炙していること、何となく皆がそうだと信じ込んでいることが、客観性の根拠と誤解されることも多い。一方で、正しい科学的手続きの結果として明らかにされてきたことまでも無闇に疑うことは、研究の停滞を招くどころか、時としては思惟を「疑似科学」へと導きかねない原因にもなる。正しい研究の第一歩は、既存の知識がそのいずれに属するのかを正しく峻別する力である。</p> <p>「日本語」という対象は、日本語母語話者にとっては水や空気と同等のものであり、そのために、ただ何となくそのように信じられている、という事象も多い。科学的な論証手続きが求められる「日本語学」と、場合によっては主観的な物言いが許されている「日本語論」との境界線が分かりづらいこともある。日本語について考え直すことは、そうした、研究に関する基礎的スキルを身につけるのに恰好の訓練である。受講者には、それぞれ担当する日本語に関わる既存知識を再検討する中で、（日本語という）日常不断に接する対象に対する捉え返し、先行言説の批判的再検討、新たな着眼点の発掘、研究成果を簡潔に分かりやすく伝える技法、といった諸能力の涵養も求められる。</p> <p>これらは、今後、いずれの研究分野に進むに当たっても必要な、「基礎体力」となるであろう。</p> <p>【学術分野】 国文・漢文学 【授業形態】 文献批評型</p>			
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード	日本語、日本語学、日本語論			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31791	火 3	「研究計画申請書」を書く	和田 毅	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 この授業では、「研究計画申請書」というものを作成する作業を通じて、「問い」のたてかた、「先行研究」や「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、学術論文引用のルール、論述の組み立て方などを学ぶ。「研究計画申請書」とは、その名前からも推測できるように、各学生が何をどのように研究したいのかを記したものである。これから大学で学術生活を始める新入生にとって最適の課題であると思われる。</p> <p>また、単なる計画書ではなく、その「申請書」である点が重要である。学生が「こういう研究をしたい」というアイデアを誰かに申請するというのである。自分の考えを他人に売り込むのだと考えればわかりやすい。他人に認めてもらうためには、独りよがりの計画書ではなく、学術ルールにのっとった形式で自分の考えをアピールし、「面白い」と思わせる必要がある。この意味では、高度な授業になると言えるかもしれない。将来、卒業論文を書く際に、大学院に進んで本格的な学究生活を送りたいと考えるようになった際に、また、社会に出て否応なく発表・プレゼンテーションをこなす必要が生じた際に、この授業で習得したスキルが役に立てば理想である。</p> <p>他人に売り込むと述べたが、「他人」とは、奨学金を提供する団体であるかもしれないし、留学生を募集する組織かもしれない。また、将来卒論を指導する教官、大学院入試の際の面接試験官、海外の大学の入学審査機関などかもしれない。申請先はどこであれ、受講生たちの将来に役に立つような授業にしたい。</p> <p>【学術分野】 社会・社会思想史 【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する			
授業のキーワード	社会学、研究計画申請書、研究の意義、問い、社会理論、研究方法論			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31792	火 3	古典をいかに読むのかー井筒俊彦の読み方を手がかりに	三村 太郎	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 大学での学習では、文献を批判的に読み解いたうえで問いを立てることがたえず求められる。とはいえ、文献の批判的な読解はみなさんにとってなじみのないものかもしれない。そこで本授業では、様々な文明圏において残されてきた古典を精密に読み解いてきた先人たちの読み方を学ぶことで、文献の批判的な読解の手がかりを得ることを目指す。具体的には、稀代の古典の読み手である井筒俊彦がイスラームの成立を概念分析から迫った最初の著作『意味の構造』を読みたい。</p> <p>【学術分野】 哲学・科学史 【授業形態】 文献批評型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する			
授業のキーワード	井筒俊彦、イスラーム、古典読解			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31793	木 3	計量分析の基礎と応用 Basic econometrics and its application	岡地 迪尚	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 経済事象を分析する際においては、複数の事象が単なる相関関係にあるのか、それとも因果関係にあるのか、ということを見出すのは最も重要な分析の一つである。この授業では、実際に学生がエクセルを用いて分析をしながら、我々が経済分析する際にどういう誤りを引き起こす可能性があり、それをどう克服していくべきかを小論文の執筆を通じて学んでいく。</p> <p>【学術分野】 経済・統計 【授業形態】 ディシプリン型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する			
授業のキーワード	経済、計量分析、因果と相関			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31794	木 3	人間と AI の言葉	大関 洋平	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 機械翻訳や ChatGPT など言葉を使う AI は自然言語処理と呼ばれ、急速に発展している。本授業は、AI が人間の言葉を理解するためには何が出来ていなければいけないか、という切り口から学ぶ新しい言語学入門である。具体的には、音声、形態、統語、意味、神経のトピックを対象として、人間の言葉（言語学）と AI の言葉（自然言語処理）の観点から報告・討論する。</p> <p>【学術分野】 言語学・自然言語処理 【授業形態】 ディシプリン型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード	言語学、自然言語処理、人工知能			
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 書名 『AI から学ぶ言語学入門』（執筆中） 著者（訳者） 大関洋平 出版社 ひつじ書房 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31795	木 3	法的な考え方を学ぶ	新谷 里美	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 国際法及び国内法を対象として、文献読解及び個人による調査と報告を通じて、法的なものの見方、考え方を実践的に身に付けることを目的とする。具体的には、前半3回分の授業時間を使い、教科書と論文の違い、論文／判決の読み方と要約の方法について受講生に発表してもらいつつ解説する。残りの授業は各受講生の調査・報告に充てる。調査・研究報告は、国際法・憲法・民法などの法分野（その他の法分野も可）につき受講生が自らの関心に応じて任意の論点を取り上げて行うものとする。授業内で各受講生がそれぞれ報告を行い、小論文を各個人が執筆する。</p> <p>【学術分野】 法・政治 【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する			
授業のキーワード	法学、国際法、憲法、民法			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
	書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31796	木 3	「個」をめぐる思想に挑む	細川 瑠璃	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 この授業では、「個」とは何か、人間とは何か、存在とは何か、といった根本的な問いに挑む。これらの問いは、哲学的に重要な問いであるだけでなく、ジェンダー論や政治、社会について考えていくためにも非常に重要であることは言うまでもない。</p> <p>ただし、何の手掛かりもなく思考することは難しいため、この授業では、坂口ふみ著『〈個〉の誕生』という本を全員で通読し、それを手掛かりとして、「個」とは何かという難問に挑んでいきたい。</p> <p>『〈個〉の誕生』は思想史の名著として知られるが、入学したばかりの一年生にとっては読み通すのに根気の要る本である。全員で時間をかけて読んでいくことにより、今後の大学生活で必要な、学術書を読み込む力を身につけることができる。</p> <p>【学術分野】 哲学・科学史 【授業形態】 文献批評型</p>			
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード	個、思想史、キリスト教、ヨーロッパ史			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook			
	書名 〈個〉の誕生 著者（訳者） 坂口ふみ 出版社 岩波書店 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

グループ4 1年 文一二(1-3,5,11,15-16,22)文三(1-3,11,15)

31739	火 4	「光る君へ」から『源氏物語』へ	田村 隆	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】</p> <p>大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】</p> <p>今年はNHK大河ドラマ「光る君へ」が放送されており、紫式部および平安時代の貴族社会が描かれるということで注目が集まっている。今年度の初年次ゼミナールでは「光る君へ」を題材に取り上げ、ドラマを手がかりにしつつ、関連する『紫式部日記』や『紫式部集』などの伝記資料や「オマージュ」として随所に織り込まれた『源氏物語』を皆で読み解くことで、古典研究および人文学研究の方法を学ぶ。引用や転載のルールなど、いわゆるアカデミックマナーについても発表準備の過程で十分身につけてほしい。</p> <p>初年次ゼミナールということでもさまざまな関心を持つメンバーが集まっていると思われ、必ずしも古典文学の観点にかぎらず、日本史、京や越前などの地理、服飾、建築、食文化、大河ドラマ等、班のメンバーで相談しながら自由な切り口で考察することを歓迎する。</p> <p>【学術分野】 国文・漢文学 【授業形態】 ディシプリン型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード	日本文学、古典、光る君へ、紫式部、源氏物語			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31740	火 4	イノベーションと不平等	樋渡 雅人	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】</p> <p>大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】</p> <p>この授業では、世界の貧困や不平等の問題を、技術革新の観点から考えます。前半では、『技術革新と不平等の1000年史』(D.アセモグル・S.ジョンソン, 2023)を輪読し、全体で問題意識を共有します。後半では、各自で資料や文献を探査し、仮説を立て、小論文としてまとめることを目指します。</p> <p>【学術分野】 経済・統計 【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する			
授業のキーワード	不平等、貧困、イノベーション、AI			
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook			
	書名 技術革新と不平等の1000年史 上・下			
	著者（訳者） ダロン・アセモグル&サイモン・ジョンソン（鬼澤忍・塩原通緒訳）			
	出版社 早川書房			
	ISBN 9784152102942			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31741	火 4	デジタル版『渋沢栄一伝記資料』で歴史学の扉を開いてみる	山口 輝臣	教養教育高度化機構
<p>授業の目標・概要</p> <p>成績評価方法</p> <p>授業のキーワード</p> <p>教科書</p> <p>ガイダンス</p>	<p>【共通目標】</p> <p>大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】</p> <p>今年の7月から1万円札の新たな顔となることなどもあり、ここしばらく渋沢栄一（1840-1931）はちょっとしたブームになっているようだ。渋沢について語るべきことは数多くあるが、歴史学の研究という点でいうと、その生涯に関わる史料の重要部分がデジタル化されている稀有な存在であることを、まず挙げねばなるまい。この授業の目標は、そのデジタル版『渋沢栄一伝記資料』を活用することにより、歴史学の作法を体験することにある。それにより、本を読んでお勉強する歴史から、史料を読んで考える歴史学への扉を開こうという試みである。</p> <p>具体的には、デジタル版『渋沢栄一伝記資料』に触れることからはじめ、ほかの史料なども照合していくことで、受講生がそれぞれの研究課題を導いていく。次いで先行研究を探索して参考にしながら、自らの議論を構築し、報告する。さらに報告際に受けた批評に応え、その後の気づきを補いながら、小論文へとまとめる。</p> <p>『渋沢栄一伝記資料』を取り上げるのは、なんといっても、渋沢栄一という人物の多面性によるところが大きい。実業家として著名な渋沢だが、慈善活動などを通じて、経済以外のさまざまな領域にも関わった。官僚の経験もあり、論語に一家言あるなど、多彩な人物である。そうした人物が残した史料とあなたの関心事がどう歴史研究と切り結ぶのか、この授業で実践してみようではありませんか。</p> <p>【学術分野】 歴史学</p> <p>【授業形態】 ディシプリン型</p> <p>出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。</p> <p>歴史学、史料、史料批判、先行研究、渋沢栄一</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>書名</p> <p>著者（訳者）</p> <p>出版社</p> <p>ISBN</p> <p>その他</p> <p>第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>			

31742	火 4	成熟社会における民主主義と現代社会の諸問題についての多面的考察	森 政稔	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 私の教養学部での授業担当は社会思想史であり、とくに近現代の政治思想を扱っている。この初年次ゼミでは社会思想・政治思想の観点から現代社会を把握するための入門的な授業を行いたい。本年度のテーマは「成熟社会における民主主義の諸問題」として、高齢化が進み将来の人口減少が見込まれる先進諸国の、これまでにない問題との直面を取り上げる予定である。1)成熟社会ではこれまでになく利害が多様化し、階層(貧富の差)や年齢(高齢者と若者)、ジェンダー、地域(大都市と地方)などの対立が顕著であり、政治社会共同の利益が見いだされにくくなっている。こんななかで政治に出来ることは限られて来るが(経済の停滞による財政赤字もあって)、政治の無能が問題にされ、政治不信が強まる傾向にある。政治不信の克服はあるのか、政治は何のためになされるのかを考え直す必要がある。2)次にこれまでの政治的対立構図(右と左、保守とリベラルなど)が限界に直面し、与党も野党も支持率を落として無党派層が増大している。政治的対立構図の歴史の変容および将来的に考えられるあり方を検討したい。3)より広く民主主義を取り巻く文化的・自然的要因を考えたい。ここでは移民など多文化状況、エコロジー的制約、大災害への対処、メディアとテクノロジーの政治への影響、などが含まれる。もちろんこれ以外でも構わない(たとえば宗教と社会なども)。共通に読む書物は現時点で未定だが、参加者の希望を聞いたうえで、上記のテーマに関係する書物を選びたいと考えている。また第1回の説明会でも補足する。</p> <p>【学術分野】 社会・社会思想史 【授業形態】 文献批評型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する			
授業のキーワード	民主主義、政治不信、保守とリベラル、テクノロジーと政治、環境と政治			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名 著者(訳者) 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31743	火 4	哲学の古典を読む	山本 芳久	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 哲学の古典を原典に即しながら丁寧に読み解いていく力を身につけていくことを目標とします。具体的には、西洋を代表する哲学書の一つであるトマス・アキナス(1225-1274)の『神学大全』を、日本語訳で講読します。テーマは「感情について」です。一人では読み解きにくい哲学書を読み解くための技法を、みなさんが毎日抱く具体的な「感情」という身近なテーマに即しながら説明していきます。</p> <p>【学術分野】 哲学・科学史 【授業形態】 文献批評型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する			
授業のキーワード	哲学、倫理学、キリスト教、感情			
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook			
	書名 『世界は善に満ちている: トマス・アキナス哲学講義』 著者(訳者) 山本芳久 出版社 新潮社 ISBN 978-4106038617 その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31744	金 1	歴史学研究入門 ～インド近代史を対象に	小川 道大	東洋文化研究所
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 この授業では、植民地支配下でインドの民族運動を進めたパール・ガンガーダル・ティラク（1856-1920年）に注目し、彼が日本海軍に寄付したことを示す領収書を主史料とする。関連史料や関連研究を読み解く中で、この史料の研究上の意義を考える。この作業を通じて、史料を読解し、その歴史的意義を見出す手法を学ぶ。多言語・マルチアーカイブズの手法を理解する。授業では、英語および日本語の史料・先行研究文献を読解する。</p> <p>【学術分野】 歴史学 【授業形態】 ディシプリン型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード 教科書	歴史学、史料読解・分析、インド民族運動、19-20世紀の国際関係、パール・ガンガーダル・ティラク 教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31745	金 1	「日本人」の世界観とその変容を問う	徳盛 誠	留学生相談室
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 誰であれこの世界を世界観ぬきに見ることはできない。自分自身の世界観を認識し問い直すきっかけとして、この日本で共有されてきた世界観とその変容のありようを問おう。 具体的には、各時代に作られた図像や歴史書、文学作品の中から調査研究の対象を選択し、ていねいな分析を試みることでその世界観・世界像を把握することを旨とする。 参加者は古代、中古、中世、近世、近代の五つの班に分かれて、図像や文献の分析を基本として各時代に提示された世界観・世界像を調査し報告してもらう。 各人が行う調査、報告、議論の中で、上記アカデミックスキルを学ぶこともできると考える。</p> <p>【学術分野】 社会・社会思想史 国際関係 歴史学 国文・漢文学 文化人類学 人文地理学 【授業形態】 文献批評型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と最終論文とで判断する			
授業のキーワード 教科書	世界観、日本人、思想史、テキスト解釈 教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31746	金 1	紛争と介入をめぐる諸問題	岡田 晃枝	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】</p> <p>大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】</p> <p>現代の国際社会が直面するさまざまな問題のうち、紛争と介入をめぐる諸議論をとり上げ、文献を読み、批判的に検討しながら、学術的な論文の書き方と議論のあり方を学ぶ。主観的・直感的に「正邪」を議論するのではなく、事実関係を整理し、既存の議論をふまえた上で、「自分の」議論を説得的に展開できるようになることがこの授業の目標である。</p> <p>【学術分野】 国際関係</p> <p>【授業形態】 ディシプリン型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード	紛争、軍事介入、人道的介入、和解、保護する責任、平和構築			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31747	金 1	「科学」と「非科学」の境界を旅する	細川 瑠璃	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】</p> <p>大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】</p> <p>この授業では、古今東西の宇宙論を題材とし、「科学」とされるものと「非科学」とされるものの境界を、批判精神に基づき・かつその豊かさを味わいつつ旅する手法を学ぶ。</p> <p>具体的には、ケプラーの法則で知られる天文学者ヨハネス・ケプラーの著書『宇宙の神秘』の日本語訳を全員で読み解くことを主軸とする。授業では毎回担当者を割り当て、章ごとに内容をまとめ、関連する思想や文献についても報告してもらう。</p> <p>なお、受講するにあたって理系の知識の有無は問わないが、分野にとらわれない好奇心を携えてきてほしい。</p> <p>【学術分野】 哲学・科学史</p> <p>【授業形態】 文献批評型</p>			
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード	ケプラー、宇宙、天文学、科学史、思想史、キリスト教			
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31771	金 1	17 世紀バロック美術（絵画・彫刻）と西欧 社会——美術をとおして見る歴史	豊田 唯	駒場アカデミックラ イティングセンター
<p>授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分を取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 17 世紀の西洋美術はバロック美術と呼ばれます。当時の西欧社会は、人間中心の世界観が芽生えたルネサンスの科学的・客観的な精神を受けつぐ一方で、とくにイタリアやスペインなどのカトリック圏では対抗宗教改革の推進とともにキリスト教への情熱がふたたび高揚しました。美術の分野でも、聖職者や王侯貴族の注文を背景に宗教絵画・彫刻がさかんに制作されます。この時代を経て西欧諸国は、18 世紀から 19 世紀にかけて啓蒙思想の流布、産業革命・フランス革命の勃発、そして本格的な近代社会の成立を迎えることとなります。結局のところ 17 世紀とは、前近代から近代への最後の過渡期として双方の要素が混交する時代、とりわけ科学的な合理性と宗教的な神秘性がときにせめぎあい、ときに手をとりあう時代であったといえるでしょう。 一方でバロック美術は、西欧のそれぞれの国・地域、都市ごとに現地の政治・社会・思想的な状況を背景とした個性的な様相を呈します。たとえばバロックの始祖と目される画家カラヴァッジョ（1571-1610 年）を擁するイタリアでは、おおむねダイナミックでドラマチックな表現が好まれました。スペインでも同様の傾向が認められ、さらに熱烈なカトリック信仰を反映して宗教行列用の彩色木彫像が大量に制作されました。それに対してフランスでは、画家ニコラ・プッサン（1594-1665 年）の作品に代表される古典主義様式という均衡と調和を旨とするスタイルが主流となります。オランダではいち早く市民社会が成立したことから、市民層にとってより身近でわかりやすい風景画や静物画などの新たなジャンルが登場して人気を博しました。 このゼミではバロック美術をテーマに、17 世紀西欧のさまざまな国・地域、都市で生みだされた絵画・彫刻作品を分析・調査し、それをとおして各地の政治や社会、思想などの状況を考察することを目標とします。美術作品は、後世の人間にとってはしばしば時代の証言ともなります。たとえば冒頭で挙げた科学と宗教の接近という文脈でいえば、スペインの画家ディエゴ・ベラスケス（1599-1660 年）は《無原罪のお宿りの聖母》（1618-19 年頃）という宗教画において、聖母マリアが太陽を背に従え、月に足を乗せて天から降ってくる様子を表していますが、あえて月の上半分をあかるく描いています。それは、「月は太陽の光を反射して輝く」という天文学的な見地を踏まえた結果であることが知られており、宗教の文脈における科学精神受容の一端が表れているといえます。ただし、この現象がベラスケス個人とその周辺にとどまるのか、それを超えてスペインでひろく認められるのかに関しては、さらなる分析・調査を必要としましょう。 ゼミでは履修者ひとりひとりに、担当者が準備したいくつかの候補のなかからひとつの絵画・彫刻作品を選び（候補以外の作品を選ぶことも可能）、プレゼンテーション形式で作品解説（主題、意味内容、表現様式、制作動機、政治・社会・思想的背景などを 20 分程度で解説）をおこなってもらいます。その際には、ディスクリプション（作品記述）という美術作品を紹介、分析するうえで不可欠な「イメージの言語化」に頭を働かせることになるでしょう（原稿は発表後に添削、コメントして返却）。最後に、選択作品とその周辺のさらなる分析・調査をとおして 17 世紀西欧の特定の国・地域、都市のなんらかの時代状況を考察する小論文（4000 字）を提出してもらいます。 なお、小論文執筆については駒場アカデミック・ライティング・センターあるいはラーニング・コモンズにおいて支援を受けられます。早期から積極的に利用してください。 【学術分野】 歴史学 【授業形態】 ディシプリン型</p> <p>成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する</p> <p>授業のキーワード 美術、ヨーロッパ、歴史、絵画、彫刻、バロック</p> <p>教科書 教科書は使用しない。/ Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他</p> <p>ガイダンス 第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				

グループ5 1年 文一二(13,21,24-25)文三(5,8,20)

31748	水 2	民族・宗教と紛争	鶴見 太郎	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 今日の国際関係を占ううえで、民族や宗教にまつわる紛争の制御が依然として重要な課題であることは、昨今の国際紛争に言及するまでもなく明らかである。 しかし、とりわけ国際関係を久しく賑わせてきたこうした紛争が、いかなるメカニズムによって発生し、いかに制御・解消できるのかについては、いまだ十分に解明されていない。そもそも論者によって各紛争の捉え方は大きく異なることが常であり、何が客観的で正しい捉え方であるのか判断に窮することも多い。その一因は、民族や宗教がすぐれて主観的な営みであることにある。この授業では、日本国内のものを含む世界の様々な事例を受講生が取り上げながら、人間社会の主要課題の一つである民族・宗教紛争の捉え方を学ぶ。そのことを通じて、人文・社会科学固有の対象である、曖昧さや両義性、主観と客観の不分明さがつきまとう事象への様々なアプローチ方法を体得することを目標とする。</p>			
成績評価方法	【学術分野】国際関係、社会学			
授業のキーワード	【授業形態】ディシプリン型			
教科書	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
	民族、宗教、ディアスポラ、国際問題、ナショナリズム、エスニシティ			
	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31749	水 2	英字経済新聞で政治・経済を学ぶ	高見 典和	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分に取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 マーティン・ウルフやダイアン・コイルのような著名な経済ジャーナリストの英文記事を読解し、議論します。英文読解の技術および内容の解説をおこない、現在の世界の政治経済をどのようにとらえるべきかを考えます。 【学術分野】法・政治 経済・統計 社会・社会思想史 国際関係 歴史学 国文・漢文学 文化人類学 哲学・科学史 心理・教育学 人文地理学 【授業形態】文献批評型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する			
授業のキーワード	(1行1ワードで入力してください)			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31750	水 2	音と光の心理学	四本 裕子	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 教室の蛍光灯の光、ビルの電飾広告、ドラッグストアのBGM、自宅で楽しむ音楽など、世界は音と光に満ちている。</p> <p>これらの音や光は、人の行動や心理にどのような影響を及ぼすのだろうか？</p> <p>本ゼミナールでは、光・音と人間行動に関する先行研究を調べ、仮説を立て、実際に調査や実験を行い、その結果をまとめる。</p> <p>一連の作業を通して、基礎的な心理学研究を学ぶ。</p> <p>【学術分野】 心理・教育学 【授業形態】 ディシプリン型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する			
授業のキーワード	視覚、聴覚、騒光、騒音、人間行動			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31751	水 2	文化人類学の考え方——「民族誌」的な世界 の見方を学ぶ	箭内 匡	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 文化人類学は、「未開社会」の研究によって人間の生に関する清新な知見をもたらす学問として出発したが、今日では、法や経済から教育、医療、科学、アート等の様々な現場まで、そしてまた、人とロボットとの関係やインターネット上の人々の営みまで、きわめて多様な分野の研究で成果をあげている。しかしこの著しく多様な研究を根底で支えるのが、「未開社会」の研究の中でこの学問が培った「フィールドワークを通して民族誌を作成する」という研究手続きである。</p> <p>とはいえ、専門的な意味での「民族誌的フィールドワーク」の作業を行うには十分な準備と長い時間が必要であり、これを初年次ゼミの枠で行うことはできない。むしろ、誰もが最初に行うのは（そして実際に一番勉強になるのは）、過去の文化人類学者が作成してきた様々な「民族誌」の中から自分が興味を持てるものを幾つか選び、それらを精読していくなかで、追体験するようにして「民族誌的フィールドワーク」の実際について学んでゆくことである。この作業の中で徐々に理解されていくはずの文化人類学的なものの見方は、かりに将来この学問について学ぶことがなくても、何らかの意味で役に立つものだと思う。</p> <p>実際の授業内容としては、各自の実作業が十分に行えるようにするため、文化人類学全体についての入門的な講義は最小限として、演習に大きく時間を割く。具体的には、授業参加者のそれぞれが、自ら関心を持つテーマに関する民族誌（ないし文化人類学的著作）を精読し、関連文献を読み、小論文を書き上げるという作業を、できるだけ内容の濃い形で行ってもらいたいと思う。発表は（ごく小さなものを含めて）全員が3回行い、教員との個人面談の要素も取り入れる。</p> <p>【学術分野】 文化人類学 【授業形態】 ディシプリン型（演習中心）</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する			
授業のキーワード	文化人類学、民族誌的フィールドワーク、民族誌			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31752	水 2	駒場の歴史を歩く	田中 創	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 駒場キャンパス内外にある歴史的モニュメントや遺構をきっかけとして、東京大学駒場キャンパスとその前身である旧制第一高等学校の歴史および渋谷・目黒・世田谷といった周辺地域の歴史を調べる。最終レポートでは、単に細かな地域史の調査で終わるのではなく、日本や世界の歴史のなかに駒場および周辺地域の歴史を位置づけることを目指す。 授業内の報告発表の準備を通じて、過去の研究文献を探し出し、自分なりの関心・問題を設定するための基礎的な方法を身につける。また、レジュメとパワーポイントを使った口頭発表を通じて、自分の意見の伝え方を訓練するほか、参考文献・脚注を伴う最終レポートの作成を通じて、学術論文の基本的な要素・作法を学ぶことを目指す。</p>			
成績評価方法	<p>【学術分野】 歴史学</p>			
授業のキーワード	<p>【授業形態】 ディシプリン型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する</p>			
教科書	<p>歴史学、集合的記憶、第一高等学校（一高）、街歩き、江戸、東京 教科書は使用しない。／Will not use textbook</p>			
ガイダンス	<p>書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>			

31753	金 3	ネルーの著作を読む	井坂 理穂	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 この授業では、ガンディーとともにインド独立運動を率い、独立後には初代首相の座に就いたジャワーハルラル・ネルー（1889-1964）の著作『インドの発見（The Discovery of India）』（1946年）を読む。文献の内容や表現を分析するとともに、同時代やその後のインドおよび世界の政治・経済・社会にかかわるさまざまな問いをたて、それらの問いに対する答えを出すためにどのような調査をすればよいかを検討する。また、それらの調査をもとにして、どのように自分なりの議論を発展させることができるのかを考える。</p>			
成績評価方法	<p>【学術分野】 歴史学</p>			
授業のキーワード	<p>【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する</p>			
教科書	<p>インド、アジア、植民地支配、史料、世界史 授業中に指示をする。／Will specify at class time</p>			
ガイダンス	<p>書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>			

31754	金 3	中国古典詩（漢詩）を読み解く	田口 一郎	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 陶淵明・李白・杜甫などの詩人・作品について、感想文や引用の羅列でない、学術的な（小）論文を書くことを目標とします。資料の検索方法や適切な引用方法、工具書の使用法、論理的な読解方法など、古典文学研究に必要なスキルを学んでいきます。中国語を履修（予定）していなくてもかまいません。</p> <p>【学術分野】 国文・漢文学 【授業形態】 文献批評型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する			
授業のキーワード	漢詩、漢文、漢文学、古典、翻訳			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31755	金 3	グローバル冷戦研究への招待 ーキューバ危機を事例にー	上 英明	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 ここでは、現代世界の形成に大きく影響したとされる「冷戦」に注目し、その中心的事例として、冷戦期最大の事件であり、人類が破滅の瀬戸際に立たされたとされる1962年キューバ危機を特に扱う。昨今ではウクライナ危機や台湾をめぐる懸念、米国のリーダーシップの揺らぎといった問題が注目を集めているが、こうした世界の現況や将来を見極める際には、冷戦に関する見識が不可欠である。平和と戦争をはじめ、国際関係や世界史全般に興味がある人を広く歓迎する。日本語の課題文献や英語論文を丹念に読み込み、一次史料に触れ、調査や発表を行い、グループワークを主体的に進めることを期待する。総じて、大学で求められる研究水準を理解し、それに必要なノウハウを学ぶことが基本的な授業の目標である。また副次的効果として、第二外国語を学ぶことでどういった研究が将来できるのか、それがなぜ重要なのかを知る契機となれば幸いである。</p> <p>【学術分野】 国際関係史 【授業形態】 ディシプリン型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する			
授業のキーワード	国際関係、歴史学、冷戦、一次史料、キューバ			
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31756	金 3	無味乾燥な暗記を辞め、興味深い仮説を立ててしゃきっと検証しよう	鍾 非	教養教育高度化機構
<p>授業の目標・概要 【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 「日本で豆腐販売量（1人当たり）が一番多い都道府県はどこ？」という純粋な「物知りクイズ」（or 蘊蓄）には、私は欠伸を連発しがちだ。正直、私の蘊蓄（≈常識+非常識）量は「物知りおばあちゃん」を遥かに下回っている。でも、「日本で大豆の栽培面積が大きくて水も綺麗な都道府県はどこ？」という少し意地悪なクイズも聞かれると、（正答が分からなくても）別人のように興味津々である。大豆と水（因）が、豆腐（果）を決める重要な要素であり、二つのクイズを結びつける因果関係（関連性）を考えると興味深いからだ。したがって、私は、物知りおばあちゃんのように蘊蓄を傾けるのではなく、（単独だと）得てして無味乾燥な蘊蓄の背後に潜んでいる因果関係を究明する（上述の例では、「日本で大豆の栽培面積が大きく水が綺麗な都道府県における豆腐販売量（1人当たり）も多い」という仮説を立てて検証する）ことこそ、物事を的確に理解・判断する際の決め手だと固く信じている。物知りおばあちゃんが知っているか否かは知らないものの、因果関係（の強さ）を語る数学の入門（統計学）は、普通の（「加減乗除」ができ、必要最低限の思考力がある）子供でも取っ付き易い。老婆心だが、「共分散を始めとする因果関係の強さ」「相関係数の絶対値の大きさ」「最小二乗法」の求め方すらちんぷんかんぷんだと、将来、論文は書けそうもなく、せいぜい「豆腐販売量が日本一の都道府県名」をわけもわからず暗記できるだろう。しかし、（物知りおばあちゃんのように）加齢とともに必ずや落ちる記憶力をずっと自慢しても、仕方あるまい（AIを除く）。そこで、言わずと知れた、表計算ソフトの「横綱」・Excelで「関数」という機能（統計を含む）に着目し、データを示す散布図の作成を皮切りに、回帰線の切片と傾き（最小二乗法）の求め方を明示（備考：ソフトの杓子定規な操作より、IQ指数に直結する計算方法を遥かに重視）。ソフト≠学問。その意味で、表計算ソフトの「大関」・ロータス123も当然OK。上述を踏まえて言えば、ソフトはつまらぬ蘊蓄（でも有用）だ。数の間の因果関係をとことん（＝凡人が想像も付かぬほど徹底的に）解明する数学こそ、究極の学問。「政治」「社会」「経済」「法律」「哲学」（社会科学）の全貌やその一部を浮き彫りにするための「プロの料理人」（or サッカー選手）としての技の基本（サッカーで言えば、lifting.）を、しっかり身に付けさせたい。講義の醍醐味を表せるクイズを思い付き（＝稲妻のように閃いて）で出題しよう（偏差値19）：「よちよち歩きの一歳児」とかけて、「はじめ」ととく。その心は？答え：第一歩。 【学術分野】法・政治 経済・統計 社会・社会思想史 国際関係 歴史学 国文・漢文学 文化人類学 哲学・科学史 心理・教育学 人文地理学 【授業形態】ディシプリン型 フィールド型 文献批評型</p> <p>成績評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する</p> <p>授業のキーワード 基礎のき</p> <p>教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他</p> <p>ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				

31757	金 3	アメリカ合衆国を対象とする社会科学分析	平松 彩子	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 アメリカ合衆国では、日本に暮らす私たちの目から見ればなぜ？と首を傾げたくなる政治や社会の諸現象が起きている。とくに大統領選挙が実施される本年は、アメリカ政治や大統領候補者に関する時事報道が増え、たとえば人工妊娠中絶に関して前例を覆す立場をとった最高裁判所判決が出たことを受けて中絶の権利を州憲法の修正条項として採択した州があることや、前回の大統領選挙の結果を認めていない元大統領が再選を企図していることなど、どこかで耳にしたことがあるかもしれない。こういった事象は、なぜ、どのような原因により起きているのだろうか、またいかなる効果や帰結を社会にもたらしているのだろうか？本授業ではアメリカの政治と社会に関する事象について、なぜ起きるのか、あるいは他の国や地域で起きている似た事象と比べてどのような差異や共通点があるのかを、社会科学的に説明し分析することを試みる。また文献の講読、ゼミ内での口頭報告や討論、小論文の執筆を通じて、大学で必要とされる学問上の色々なマナーを身につける。</p> <p>【学術分野】 法・政治 【授業形態】 ディシプリン型</p>			
成績評価方法	<p>出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 履修者は報告を二度担当する。一回目は課題文献についてのグループ報告、二回目は各自の小論文についての単独中間報告。 小論文課題に関する詳細な指示は授業内で与える。</p>			
授業のキーワード 教科書	<p>アメリカ政治、大統領選挙、民主主義、社会科学 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 原因を推論する -- 政治分析方法論のすゝめ 著者（訳者） 久米 郁男 出版社 有斐閣 ISBN 4641149070 その他</p>			
ガイダンス	<p>第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>			

グループ6 1年 文一二(9,18,20,23)文三(6,17,19)

31758	水 3	名著から考える世界史	大塚 修	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分を取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 歴史学における重要な作業の一つは、史料を正確に読解・分析し、それに基づいて論じることです。この授業では、歴史学研究で用いられる史料がどのようなものかを実際に体感し、それをどのような手法で扱い、分析していくのかについて学びます。具体的には、高校の世界史に登場する史料の中でも特に著名なもの（例えば池田嘉郎他編『名著で読む世界史120』山川出版社、2016年に収録されている書物）の中から各自興味のある史料を選び、その日本語訳を一定の分量、通読します。そして、関連研究の成果を参照しながら、史料の性格について考察した上で、その史料を通じてどのような歴史が書けそうか、について考えます。さらに、その成果について報告・討論を行い、小論文を作成する作業を通じて、自分の考えを論理的に発信する能力を向上させることを目指します。 【学術分野】歴史学 【授業形態】ディシプリン型 文献批評型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する			
授業のキーワード	歴史学、世界史、東洋史、西洋史、史料、翻訳			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31759	水 3	能力主義の規範的検討 ——政治哲学から社会を見る	阿部 崇史	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分を取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 この授業では、M. サンデル著『実力も運のうち：能力主義は正義か？』を手がかりに、能力主義に対する規範的検討を行う。「地位や報酬は能力の発揮に応じて与えられるべきだ」と考える能力主義は、現代社会において大きな魅力を持つ。それは、自らの努力と選択によって人生を切り開く自由を、人々に対して平等に与えるからである。他方で、能力主義は、貧困や格差の拡大、「勝ち組」と「負け組」の社会的分断、厳しい競争の強制、労働に対する適切な承認の欠如、といった現代社会のさまざまな問題の原因だとも言われている。この授業では、主に現代政治理論・政治哲学——自由、平等、正義といった、政治や政策に関わる価値・理念を扱う学問——の観点から、このような能力主義を検討する。それを通じて、さまざまなアカデミックスキルを身につけるとともに、能力主義や関連する社会問題に対する自分の意見を提示できるようになることが、この授業の最終的な目標となる。 【学術分野】社会・社会思想史 【授業形態】ディシプリン型 文献批評型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード	能力主義、自由、平等、正義、政治哲学、現代政治理論			
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 書名 『実力も運のうち：能力主義は正義か？』 著者（訳者） マイケル・サンデル著、鬼澤忍訳 出版社 早川書房 ISBN 978-4150506025 その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31760	水 3	SDGs について考える	岡田 晃枝	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】</p> <p>大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分を取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】</p> <p>この授業では、国際社会が直面している地球規模問題群のうち、国連の「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」に指定されたものについて、現状やこれまで（SDGs制定以前含む）の国際的取組、その思想的背景など多角的に検討し、各自がこれらの問題に対するさまざまなアクターの取組について「問題」を設定して「検証」を行い、それを論文にまとめる。国際関係論や国際機構論、開発に関する学術論文だけでなく、国際機関の文書や報告書など、さまざまな種類の資料の探し方や使い方についても学ぶことになる。</p>			
成績評価方法	【学術分野】 国際関係			
授業のキーワード	【授業形態】 デイシプリン型			
教科書	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する			
	SDGs、民主化、平和、開発、国際機関、NGO			
	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31761	水 3	味覚——学問的・批評的考察	星野 太	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】</p> <p>大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分を取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】</p> <p>この授業では、人文・社会科学系のテキスト（日・英）の講読を通じて、文献の読み方の基礎を学ぶ。今年のテーマは「味覚/Taste」。授業では、久野愛『視覚化する味覚』（岩波新書、2021年）をはじめ、教員が作成したリーディングリストにもとづき、複数の文献の読解と議論を行なう。</p> <p>本ゼミナールは、文献講読という具体的な実践を通じて、今後の大学生活において必要な道具やノウハウを能うかぎり伝えることを試みたい。そのため、授業の序盤にあたる第3・4週目においては、教員およびTAが講読において留意すべき点をなるべく丁寧に示したいと思う。</p> <p>第5週目からは、各章ごとに担当者を決めて、各種文献を精読する。参加者には割り当てられた課題の遂行と、授業中の発表・討議への積極的な参加が求められる。以上を通じて学術的な調査方法の基礎を身につけることが、本授業の最大の目的である。</p>			
成績評価方法	【学術分野】 哲学・科学史			
授業のキーワード	【授業形態】 文献批評型			
教科書	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
	食、味覚、趣味、美学、感性論			
	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook			
	書名 視覚化する味覚			
	著者（訳者） 久野愛			
	出版社 岩波書店			
	ISBN 9784004319023			
	その他 940円+税			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31762	金 4	確率入門	河合 玲一郎	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 経済、経営、金融、保険といった社会科学分野において、非確定的な現象を統合的に理解するため、たびたび確率統計モデルが用いられる。この授業では、講義・輪読・演習問題を通して確率統計の基礎事項を学び、数値実験・プレゼンテーションを通して特定の結論を導く技能を身に付けることを目指す。</p> <p>【学術分野】 経済・統計 【授業形態】 ディシプリン型</p>			
成績評価方法	<p>出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 高校で微分積分を履修していることを前提として授業を実施する。 成績評価の際に微分積分未履修者への配慮は行わない。 微分積分未履修でこの授業を抽選登録する場合は、少人数授業開始までに自主的に既修者のレベルまで勉強しておくこと。</p>			
授業のキーワード 教科書	<p>This course proceeds on the basis of basic calculus. Strictly no special consideration will be given to those 確率モデル、統計科学、数値実験、個人発表 授業中に指示をする。/Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他</p>			
ガイダンス	<p>第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>			

31763	金 4	与謝野晶子『みだれ髪』を読む。	青山 英正	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 与謝野晶子『みだれ髪』の歌を一首一首読む。 安易に「作者の思い」などに還元せず、古典和歌や同時代文学を広く調査して、一語一語に注釈を付けながら、客観的な根拠をもとづいて文学作品を解釈・評価できるようになることが目標である。その際、古典和歌との連続性と非連続性については常に意識してもらいたい。また、先行研究を十分理解した上で、新たな問いを導き出すことにも努めてもらいたい。</p> <p>【学術分野】 国文・漢文学 【授業形態】 文献批評型</p>			
成績評価方法	<p>出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。</p>			
授業のキーワード 教科書	<p>日本古典文学、日本近代文学、和歌、短歌、注釈、文学研究 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 書名 みだれ髪 著者（訳者） 与謝野晶子 出版社 新潮文庫 ISBN 9784101170213 その他 角川文庫版など他の出版社のものも可。</p>			
ガイダンス	<p>第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>			

31764	金 4	近世日本と東アジアー前近代の国際関係	渡辺 美季	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 史料および関連する文献（先行研究）の分析に基づいて立論するという歴史学の手法を、初歩的なレベルで身に付ける。具体的には、重要史料の抜粋に解説を付した『世界史史料集』（岩波書店）に収録された、近世日本と東アジアの国際関係に関わる史料の中から、各自が興味・関心を持つものを選び、それに関する先行研究を読みつつ興味・関心を発展させ、報告および小論文の形でまとめ、発信する手法を学ぶ。</p> <p>【学術分野】 歴史学 【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する			
授業のキーワード	歴史学、史料、国際関係、日本、東アジア			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
ガイダンス	書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31765	金 4	人工社会を作ろう：マルチエージェント・シミュレーション入門	阪本 拓人	教養教育高度化機構
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 マルチエージェント・シミュレーション (MAS) と呼ばれるコンピュータ・シミュレーションの技法を使って、社会現象の理解を目指す授業である。MAS は、コンピュータの中に「エージェント」と呼ばれる多数の人工的な「生き物」を配置して相互作用をさせることで、いかなる集合的な秩序や動態が生成されるかを観察するシミュレーション手法である。個人や集団の間のネットワークの形成、市場での競争や独占、あるいは国家間の戦争や平和といった様々な現象を、コンピュータの中で実際に「作って理解する」ことを可能にする。この授業では、まず、既製のソフトウェアを使った実習を通じて MAS というツールを身につけてもらう。その上で、各々の学生が関心を持つ社会現象を、関連する先行研究も踏まえながら、MAS を使ってモデル化する作業を行ってもらう。そして、コンピュータの中に作られた各自の「人工社会」の観察・分析を通じて、当該の社会現象に対し、理解を深めたり新たな知見を得たりしてもらう。なお、本授業は文科系の初学者を想定しているため、MAS はもちろん、プログラミング等の知識・経験は前提にしていない。</p> <p>【学術分野】 社会科学全般 【授業形態】 実習型</p>			
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード	学期末の小論文には、各自が作成した MAS モデルも添付してもらう。これも評価の対象である。			
教科書	マルチエージェント・シミュレーション、人工社会、社会科学、複雑系、エージェント、シミュレーション 授業中に指示をする。/Will specify at class time			
ガイダンス	書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31766	金 4	(非) 暴力論	市野川 容孝	教養教育高度化機構
授業の目標・概要 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 2022年2月のロシアのウクライナ侵攻、2023年10月以降のイスラエルのガザ地区等へ無差別攻撃など、世界は戦争や暴力について、今一度、考え直さなければならない状況にある。本授業では、そういうアクチュアルな状況に、しかし、古典と呼ばれる諸文献の購読を通じて向き合おうと思う。「問い」を見つけるのは重要だ。しかし、問いを見つけるためには、たとえば(非)暴力について、これまで誰が、何を、どこまで論じていたかを、まず知る必要がある。そういう作業なしには、本当にオリジナルな問いは立てられない。本授業では、社会・社会思想史をベースとしつつ、人文社会科学の諸領域を横断する形で(非)暴力について考える。</p> <p>【学術分野】 社会・社会思想史 【授業形態】 文献批評型</p> <p>出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。</p> <p>暴力、戦争、非暴力、死刑制度 教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他</p> <p>第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>			

31767	金 4	最適な「学び」を考える	中澤 明子	教養教育高度化機構
<p>授業の目標・概要</p> <p>成績評価方法</p> <p>授業のキーワード</p> <p>教科書</p> <p>ガイダンス</p>	<p>【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。</p> <p>「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。</p> <p>【この授業の目標・概要】 「学び」は、日常生活や学校において誰もが経験する。それゆえ誰もが「学び」に関する自分なりの考えや方略を持っている。一方、「学び」を対象とした研究では、そうした経験的な知ではなく、実験や調査で得たデータに基づいて知見が生み出されている。</p> <p>「学び」を対象とする研究分野の一つに教育工学がある。教育工学では、最適な「学び」を目指して、人間の「学び」に関する問題への解決方法を考え、実行・評価が行われる。そして得られた知見を教育実践に活用し、最適な「学び」の実現を目指す。</p> <p>この授業では、最適な「学び」の実践に資する「問い」を先行研究を踏まえて設定し、「問い」に答えるための研究計画を立て、調査もしくは実験を実施してデータを取得・分析し、学術論文の形式に則って小論文として執筆することを目的とする。「学び」は、誰もが経験しているがゆえ、「問い」に繋がる「問いのきっかけ」を誰もが持っている。自らの関心、「問いのきっかけ」を、先行研究調査や他者との議論を踏まえて学術的な「問い」に発展させ、「問い」への回答を自分たちなりに導き出すことを目指す。</p> <p>以上を踏まえ、この授業では下記の授業目標を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学び」に関する学術論文の形式を述べられる ・自らの「問い」の形成に必要な文献を収集できる ・先行研究の問題点や課題を指摘できる ・「学び」に関する自らの「問い」を設定できる ・「問い」に答えるための研究計画を立てられる ・研究計画に沿ってデータを取得し分析できる ・分析結果を適切に解釈して、「問い」に対する結論を述べられる ・「問い」や研究計画、結果・考察を学術論文の形式に従って小論文として執筆できる ・他者の「問い」や研究計画、小論文の改善点を指摘できる <p>【学術分野】 心理・教育学</p> <p>【授業形態】 ディシプリン型 フィールド型</p> <p>出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する 教授学習、教育工学、調査研究、実験研究、データ分析 教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他</p> <p>第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>			

初年次ゼミナール理科の履修について

初年次ゼミナール理科はクラス指定の必修科目である。下記、クラスごとに指定されたグループ（各2曜限）に開講されている授業のうち、1授業を希望選択して受講する。希望が集中した場合は抽選となる。入学手続き時に配布されたプリント「【重要】履修登録について」の該当箇所にしたがって、登録期間内に必ず履修希望登録を行うこと。

第1回授業時には合同のガイダンスを行う。リアルタイム・オンラインで実施し、授業 URL は UTOL の「集中コース等」>「初年次ゼミナール理科（総合）」に掲載する。各授業の開講される曜限で授業担当教員が授業紹介を行う。指定されたグループに割り当てられた2曜限のうち、履修を検討している授業の曜限のガイダンスに出席すること。

第2回授業時には、サイエンティフィック・スキルに関する導入の共通講義を学習する。対面で実施するので、教室や資料などの情報は UTOL の「集中コース等」>「初年次ゼミナール理科（総合）」を参照すること。

第3回からは、少人数に分かれたクラスで授業が行われる。原則対面で実施するので、UTAS にて決定された履修授業と教室を確認すること。各回の開講情報は、UTAS および UTOL に掲載される。

この授業の教科書として『科学の技法—東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト—』がある。必要に応じて購入し、プレゼンテーション準備やレポート・論文執筆の際に参照すること。

初年次ゼミナール理科のウェブサイト FYS portal (<http://fye.c.u-tokyo.ac.jp/>) にてオンライン教材や教務情報、機材使用法等の情報を提供するので活用してほしい。また、UTOL の初年次ゼミナール理科共通エリアで教材やお知らせを掲載することもある。

この授業に関する授業外サポートとして、オンライン（Zoom）および対面でラーニングcommonsを開室し、TA による学習相談を行う。開室時間等は、UTOL の「初年次ゼミナール理科」の総合コース上で告知する。

クラスごとの指定グループは下表のとおりである。

グループ名	開講曜限	対象クラス
グループ 1	月 4・水 4	1年 理一(1-6,10,16,18-19)理二三(4,7)
グループ 2	火 1・木 2	1年 理一(9,12,14,20,39)理二三(6,8,15,20)
グループ 3	火 3・木 3	1年 理一(7-8,11,13,15,17)理二三(9-10,14,19)
グループ 4	火 4・金 1	1年 理一(23,26,28-29,33,36-37)理二三(12,16,24)
グループ 5	水 2・金 3	1年 理一(21,25,27,30-32)理二三(1-3,5,11,13,21)
グループ 6	水 3・金 4	1年 理一(22,24,34-35,38)理二三(17-18,22-23)

クラス編成によっては、グループが変更される場合がある。教務課前期課程のホームページに変更のお知らせが出ていないかどうか、学期開始前に必ず確認しておくこと。

グループ1 1年理一(1-6,10,16,18-19)理二三(4,7)

31507	月 4	「国際プロジェクトに貢献する工学 ～スマートインフラの世界への展開」	森川 想	工学部
授業の目標・概要	工学がカバーする領域は、きっと多くの皆さんが想像しているよりもずっと広い。工学技術を現実課題の実際の解決に役立てるためには、技術そのものの理解のみならず、技術を適用する対象の多様性や変化を分析・評価し、社会の実情に合った実装のアイデアを創出することが求められる。100年、1000年のスケールで私たちの生活を支えるインフラストラクチャー（社会基盤）は、こうした工学の研究対象の一つであり、人々の移動や物流を支える交通はその代表例である。特に、情報技術の進展とインフラシステムの国際化に伴い、鉄道や道路、港湾や空港といった交通インフラは、その基礎的な機能に加えて、自然災害への頑健性（レジリエンス）や、少子高齢社会への対応、さらにはその技術移転を通じた国際社会への貢献等が求められるようになってきている。この演習では、交通インフラを事例に、このような次世代のスマートインフラを世界の諸都市に展開するための分析と提案を行うという学習課題を通じて、社会課題の解決に資する技術の実装に向けたどのような思考が必要かを学び、工学という学問の広がりについて体験してもらうことを目指す。演習の概要は以下の通りである。			
成績評価方法	1)本演習で扱うインフラストラクチャー（社会基盤）とは何か、特にスマートインフラとは何かについて、事例を中心に学ぶとともに、その性質について議論する。			
授業のキーワード	2)世界の諸都市のインフラについて評価する軸をグループで議論・提案し、評価結果について発表する。			
教科書	3)ゲスト講義や現場見学を通じて、スマートインフラの現状や課題について学ぶ。			
	4)具体的な都市を取り上げ、その都市の社会課題をどのようなインフラで解決するかを提案する。			
	出席、および発表への参加			
	インフラストラクチャー、スマートインフラ、社会課題解決、国際プロジェクト、交通			
	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31508	月 4	社会のためのロボティクス	山下 淳	工学部
授業の目標・概要	(授業の紹介資料) http://www.robot.t.u-tokyo.ac.jp/~yamashita/lecture/2024/society/guidance.pdf (授業の概要) 医療・福祉・生産から極限環境調査や災害対応まで、さまざまな現場でロボット技術（Robot Technology）が活用されています。 本授業では、ロボットについて初めて学ぶ学生のために、世界の第一線で活躍中のロボット研究のトップランナーたちが、社会とロボットの関わり、社会のための最先端ロボット技術について解説します。また、文献調査、グループ討論、プレゼンテーション実習などを行い、社会のためのロボット技術に関する理解を深め、ロボットの役割について考えます。ロボット実習では、実際のロボット技術に触れ、最新のロボットについて学習します。更に、これらの体験を通じて学習した内容に関してプレゼンテーションやグループ討論を行い、科学技術に関するコミュニケーション能力の向上を図ります。 ロボティクスは、精密工学、情報科学、機構学、運動学、制御工学、計測工学、人工知能などの幅広い内容を含む総合的な学問です。 授業を通じてロボットに関する基礎知識を身に付け、ロボット研究の奥深さや面白さを感じとって下さい。また、社会とロボットの関わりについて、考えてみて下さい。 本授業はきっかけを与える入口です。自分から積極的に情報収集をすることにより、ロボットに対する理解と興味が更に深まることでしょう。			
	(授業の目的)			
	・社会のためのロボット技術に関する理解を深め、最先端ロボット技術に関する知識を身につけます。			
	・ロボット実習の結果を解析し、そこから導かれる結論を論理的かつ客観的に考察する力を身につけます。			
	・自分の考えを他人に分かりやすく伝える科学技術プレゼンテーション能力と、他人とディスカッションを行うコミュニケーション能力の基礎を身につけます。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決・実験データ解析型、工学・情報科学/ロボティクス、ロボット技術、ロボットと社会・人間、ロボットと医療・福祉、ロボットとサービス			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名 科学の技法 第2版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト			
	著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編			
	出版社 東京大学出版会			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31509	月 4	原子力エネルギーと社会/ Nuclear Energy and Society	斉藤 拓巳	工学部
授業の目標・概要	原子力エネルギーの原理を理解し、それらの社会受容性を討論する。特に、他のエネルギー源との比較、地球環境の影響、廃棄物処分の問題を調査、議論し、社会受容性を考える。そして、複雑な問題の中から課題を抽出し、その解決方法の発見を試みる。最後は討論内容をプレゼンテーションし、発表技術も向上させる。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価する。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、工学/システム創成、原子力エネルギー、社会受容性、地球環境、廃棄物処分			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31510	月 4	エネルギーと環境：持続可能性のための工学	小林 肇	工学部
授業の目標・概要	<p>(授業の概要)</p> <p>地球温暖化の進行を緩和しつつ、社会を維持するために十分なエネルギーの供給を続ける事は、一つの領域の技術や対策だけでは成し遂げることは出来ません。新たな技術オプションを創出して行くと共に、多様な技術群を結びつけ総体として最適に機能させるシステム思考的アプローチが必要となります。本ゼミでは、エネルギーと環境に関わる現行から最先端の多様な技術の小実験を行い、それら技術の基礎学理を学習するとともに、実験・データ解析・考察手法を習得します。さらに、そこで学習した知見と最新の技術動向を基に未来の新技术システムを自分たちでデザインし、持続可能性へ寄与する新たな方法論を提案・議論します。</p> <p>小実験では、具体的には火力発電、太陽光発電、風力発電、燃料電池、水素エネルギー、ヒートポンプ、二酸化炭素地中貯留、温度差発電、バイオエネルギー変換に関するそれぞれ基礎的な実験を行います。単に技術の原理を学習するだけでは無く、当該技術の現状を学んだり、課題を考察したりします。</p> <p>また、エネルギー・環境に関わる最新の動向を調査・学習し、課題を正しく把握する事を通した上で、それらを解決する為の未来の技術システムをデザインします。システムとは、一つの技術をより良く機能させる方法論、または複数の技術を組み合わせたもの、あるいはある技術を中心としたビジネスモデルも含まれます。このデザインを小グループで独自に考案する事で、グローバルな問題に対するシステム思考的アプローチを身につけます。</p> <p>(授業の目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー・環境に関わる多様な技術を深く掘り下げて研究する事により、工学的な方法論や考え方を学ぶ。 ・エネルギー・環境に関わる最新の動向、課題を正しく把握する事を通し、これからの学習・研究の基盤知識とすると共に、グローバルな問題に対するシステム思考的アプローチを身につける。 ・実際に動作する装置を組み立て、実験する事により、問題解決能力を養う。 ・小グループで独自に調査、立案、検証、議論し、創造する楽しさを体験する。 			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決・データ解析型、工学、エネルギー、環境、データ測定と解析、小実験			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31511	月 4	システムダイナミクス入門 (問題の記述 (モデル化) とシミュレーションによる解決方法の探索. プログラムレスでシミュレーションしてみよう)	青山 和浩	工学部
授業の目標・概要	システムダイナミクスは、多数の変数とその相互作用の数理的因果関係をグラフィカルな表現を用いてモデル化し、コンピュータシミュレーションによってシステムの動的挙動を解明する手法である。この手法は 1970 年代に人類の未来を予測したローマクラブレポート「成長の限界」で有名になり、以来、生態系や経済社会系などの複雑システムの解析手法として用いられている。本ゼミでは、主に力学系、生態系、経済社会現象などを題材に、システムダイナミクスによるシステムモデリングの基礎を修得するとともに、加えて各自が興味を持つ対象のモデリングを通じて応用力とシステム思考力を養う。			
成績評価方法	出席、発表、発表会での質疑への参加、レポートに基づいて行う			
授業のキーワード	システムダイナミクス、シミュレーション、システムモデリング、一般システム理論、未来予測			
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts			
ガイダンス	書名 著者 (訳者) 出版社 ISBN その他 第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31547	月 4	疾患克服を目指した医科学研究の実際 一疾患の分子病態から予防、診断、治療法 を考える一	中井 謙太	医科学研究所
授業の目標・概要	がんや感染症などの難病の原因や発症メカニズムを探索することは、疾患の治療法の開発につながる手がかりを得るための大事なプロセスとなります。現在、医学研究の手法はめざましい発展を遂げており、スパコンや AI を用いた膨大な情報処理を用いた疾患因子の同定や、発生工学を用いた病態解明が進められています。この講義では、幹細胞生物学、ウイルス学、大腸がんの予防の 3 つをテーマとして、3 名の担当教官から現代の医学の研究の手法と応用について学びます。与えられたテーマについて自分で調べ、他人にわかりやすく発表する機会を多く設け、情報の収集、論理的思考、プレゼンテーションを経験することで、医学研究の一端に触れていただきます。			
	「幹細胞の発見、制御、そして臨床応用へ (担当教官: 山崎聡)」 我々の体は 200 種類以上に分化した細胞から構成されています。生体の発生と恒常性維持には幹細胞の存在が重要です。科学技術における進歩により、幹細胞の発見、制御そして臨床応用への展開が見えてきました。本講義では、幹細胞生物学の歴史を紐解き、各幹細胞の特徴や機能について紹介すると共に、幹細胞制御から医療応用の可能性について学びます。			
	「ウイルス学の今と昔、そして臨床応用のはじまり (担当教官: 加藤哲久)」 2019 年末、中国・武漢市の市場で発生したと考えられている新型コロナウイルスは、瞬く間に全人類を巻き込み、我々の暮らしを一変させました。そして「ウイルス」という言葉を聞く機会が増えました。しかしながら、皆さんは「ウイルス」というものを本当に知っているのでしょうか? 本講義では、ウイルスの定義とはどういったものなのか? ウイルス学とはどういった学問なのか? ウイルスは本当に単なる病原体なのか? といった命題に関する最新の知見を学びます。その後、ウイルス研究の未来について、グループで議論し、発表してもらいます。			
	「如何に大腸がんを予防するか (担当教官: 池松弘朗)」 全がんの中で、大腸がんの年間罹患率は第 1 位、死亡率は第 2 位 (女性は第 1 位) であり、予防しなければいけないがんの 1 つです。大腸がんの対策型検診は、40 歳以上に便潜血検査 2 日法を行っていますが、検診の効果が海外と比較しても低いことが知られています。そこで、大腸がんについて、検診の現状を含めて学んでいただき、大腸がんを予防するための新たな方法を考え議論していただきます。 開講場所は原則駒場 I キャンパスです。第 3 回のみ、東京大学医科学研究所の見学会を行います。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 各講義と、最終週に発表の機会があります。発表の内容を重点的に評価します。			
授業のキーワード	幹細胞生物学、ウイルス学、大腸がんの予防			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
ガイダンス	書名 著者 (訳者) 出版社 ISBN その他 第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31587	月 4	分子を創り出す化学	大栗 博毅	理学部
授業の目標・概要	化学は分子の科学であり、有機化学は生命の化学として発展を遂げてきました。炭素とその他の元素が様々な様式で結びついた多種多様な分子を対象として、分子の構造、振舞い、生体における役割等が明らかにされてきました。化学は、自然界に存在する有機化合物の探究にとどまらず、医薬品・新材料・新デバイス・新プロセスなどを開発し、我々の生活に変革をもたらしてきました。「思い描いた分子を自由に創り出し、原子・分子レベルで機能を自在に制御できる」のが化学の強みです。複雑で多様な分子とその集合体が織りなす機能美に魅了されながら、様々な課題の克服や社会の永続的發展に貢献できます。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	授業のタイプ：問題発見・解決型、学術分野：化学・薬学・化学生物学、分子の構造、分子の反応、分子の合成、分子の機能			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31588	月 4	光科学の現在と未来を考える	井手口 拓郎	理学部
授業の目標・概要	光は様々な研究分野で利用されています。例えば、重力波やダークマターを観測する宇宙物理、物質の量子的な特性を調べる物性物理、分子の反応を計測する化学、細胞内や脳内の現象を顕微鏡を使って観測する生物学や医学など、実に多くの先端研究を対象とします。また、光技術は私達の生活や社会を支える実に様々な産業にも使われています。例えば、インターネットの基盤となっている高速通信、スマートフォンやパソコンの計算を担う微細半導体の製造、自動運転の要である距離計測などはすべて光技術により成り立っています。本講義は「光」をキーワードとする研究や産業に焦点を当て、現在どんな研究がおこなわれているのかを調査し、興味のあるテーマについて深堀り、さらに、今後どんな研究を行うのが面白そうであり未来を切り開くことになりそうか、などについて考えます。また、これらの活動自体を「研究」と捉え、その研究を論文執筆や口頭発表を通して、まわりの「研究者」である他の学生らと意見交換をします。研究活動の基本的な流れを疑似的に体験することで、大学での学びと、その先にある研究についてのイメージを持つことを目的とします。今講義では、以下のスキルを身に着けることを目標とします。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、物理学/光科学、分野融合科学、グループワーク			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31512	水 4	未来のエネルギーを考える	大宮司 啓文	工学部
授業の目標・概要	エネルギー問題の解決には、技術的な側面だけではなく、環境への配慮、経済性、地域特性といった多方面からの検討が必要です。本ゼミナールでは、現実の社会問題にはこういった複雑な背景があることを理解しながら、エネルギー問題の解決策や未来予測を行うことを通じて、問題解決能力の向上を図ることを目的とします。まず、日本と世界のエネルギー事情を概観した後、(1)ガスタービン、エンジンなどのエネルギー変換の基盤技術、(2)カーボンニュートラルの考え方や日本のCO ₂ 排出量削減に必要な水素燃料、(3)自動車をめぐるエネルギー技術、の3つのテーマについて学習し、関連の学内研究施設の見学を行います。これら基本的な仕組みや原理に関する学習の後、グループに別れ、研究段階の技術から実用化された技術までの調査を行い、調査結果のプレゼンテーションを行います。現状のエネルギーに関する状況を把握した上で今後の課題を抽出し、将来展望を参加者全員で議論します。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、機械工学、エネルギー変換/エネルギーシステム、地球温暖化、電気自動車/ハイブリッド自動車、カーボンニュートラル			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31513	水 4	Python で学ぶ AI 入門	鶴岡 慶雅	工学部
授業の目標・概要	現代の人工知能 (AI) の中心的な技術のひとつである「強化学習」について Python で実際にプログラミングしながら学びます。具体的には、簡単なロールプレイングゲーム (RPG) の AI を作成することを通して、マルコフ決定過程、Q 学習、線形回帰、ニューラルネットワークといった、強化学習に関係する基礎概念をハンズオン形式で学習します。			
成績評価方法	出欠、授業への参加意欲など			
授業のキーワード 教科書	プログラミング、Python、人工知能、強化学習、機械学習 教科書は使用しない。/Will not use textbook 書名 著者 (訳者) 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31514	水 4	モーションコントロール入門---ロボットや車 両を上手に動かす科学	古関 隆章	工学部
授業の目標・概要	すでに高校の物理で習ってきたように、目の前のものから、天体に至るまで世にあるものは力学に関する物理法則にしたがって動いている。ニュートンにより提唱された力学の法則は数学的表現では、時間に関する二階の微分方程式の形をとり、ものをうまく動かすために、その微分方程式に基づく「動的な性質」を理解し取り扱うことが重要になる。ものの「動的な性質」に着目して対象をモデル化し、状態を計測し、リアルタイムに情報を処理して、入力をうまく決め、「思ったように物を動かす」一連の手法を制御という。ここでは、倒立振り子という、そのままでは倒れてしまうものを例題に、上手にものを動かすモーションコントロール=運動制御について、グループでの議論、数値計算、実験を通じて学び、数式に基づいて論理的に考えることの大切さを体験することを目的とする。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード 教科書	授業のタイプ 実験データ解析型、学術分野 工学/電気電子工学、ロボット、車両、動的システム、運動制御 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 書名 科学の技法 第 2 版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者 (訳者) 東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編 出版社 東京大学出版会 ISBN その他			
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31515	水 4	フッ素系有機・高分子材料について考える	川口 大輔	工学部
授業の目標・概要	授業の概要： フッ素系有機・高分子材料は、他の高分子では発現し得ない撥水撥油性、耐熱性、低誘電率をはじめとする様々な材料特性を示し、化学・半導体・電子機械・医療分野など様々な分野で不可欠な役割を果たしている。その一方、近年では、一部の有機フッ素化合物は、健康被害への恐れが懸念されている。豊かで安全安心な社会を実現していく上では、材料の有用性と危険性を科学的に正しく理解し、活用することが重要になる。本講義では、フッ素系有機・高分子材料を題材として、データに基づき身の回りの材料と環境問題に関する理解を深めた後、今後の材料のあり方に関する課題をグループで設定する。 授業の目標： 解決すべき問題に対して自ら課題を設定し、解決法を提案する主体性を育成する。 グループによる課題設定、進捗状況の共有、プレゼンテーションの実施、質疑応答といった共同作業のスキル、および、グループワークにおける主体的な関わり方を身につける。 自然科学の研究技法を通じた論理的思考法・批判的思考法、建設的な議論の組み立て方を身につける。			
成績評価方法	出席およびゼミナールにおけるプレゼンテーション、ディスカッションへの参加を総合的に評価する。			
授業のキーワード 教科書	問題発見・解決型、有機フッ素、化学、環境 教科書は使用しない。/Will not use textbook 書名 著者 (訳者) 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31551	水 4	非凡なタンパク質を探索しよう！	若杉 桂輔	教養学部（化学部 会）
授業の目標・概要	<p>(授業の概要)</p> <p>全ての生き物において、タンパク質は、DNA 遺伝情報をもとに合成され、生命活動を維持するのに必須の生体分子である。タンパク質は、食事としても体に取り入れる必要がある栄養素でもあり、また、医薬分野や産業的にも利用されている。本ゼミナールでは、この身近な分子「タンパク質」をターゲットに、自ら問題を発見し、科学的な問いとして設定し、問題を解決するプロセスを通じて、主体性を育成する。</p> <p>(授業の目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未知なる問いへの探求姿勢、問題発見・解決する能力、論理的思考力を身に付ける。 ・グループでの協同学習により、分析的、批判的思考、建設的議論、コミュニケーション能力を鍛えることを目指す。 ・文献検索、研究倫理の理解、論文読解能力、プレゼンテーション能力、レポート・論文執筆能力などのサイエンティフィック・スキルを身に付ける。 			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価する。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、化学・生物学、タンパク質、分子、生命科学、グループワーク			
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook			
	書名	科学の技法 第2版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト		
	著者（訳者）	東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉 桂輔・宮島 謙 編		
	出版社	東京大学出版会		
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31555	水 4	バイオミメティック・エンジニアリング	杉原 加織	生産技術研究所
授業の目標・概要	<p>生物の優れた仕組みに着想を得たモノづくりの新奇な企画提案を行う。</p> <p>そのために、</p> <p>(1) 生物の優れた機能を解明した研究、またはバイオミメティック・バイオインスパイアドというキーワードに基づいて行われたモノづくり研究の過去の例を学ぶ（文献検索と読解、発表を通じた情報共有）。</p> <p>(2) 小グループに分かれて、(1)で得られた情報などを参考に議論し、柔軟な発想で、生物の優れた仕組みに着想を得たモノづくりの企画を考える（課題解決のためのグループワーク）。</p> <p>これらを通じて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力を伸ばす。 ・プロジェクトを推進する時に、何が分かっている、何が分かっているのか、何が問題で、どうやったら解決できるのか、自分の頭で考える能力を身につける。 ・試行錯誤やプロジェクト推進の難しさ、計画性の重要性などを学ぶ。 ・自分の考えを、分かりやすく他人に伝え、情報を共有することで、新たなアイデアや知見を得るためのコミュニケーション能力の基礎を身につける。 			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	プロジェクト提案/企画提案、バイオインスパイアド、バイオミメティック			
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook			
	書名	科学の技法 第2版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト		
	著者（訳者）	東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編		
	出版社	東京大学出版会		
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31600	水 4	放射線医学入門	雨宮 史織	医学部
授業の目標・概要	<p>放射線医学は人体の解剖・機能を画像化し、生理および病理について情報を得ることで診断や治療を行う医学分野である。歴史的には放射線(X線)照射治療に始まる分野であるが、現在では診断においてはX線を用いない磁気共鳴画像法(Magnetic Resonance Imaging)等も用いられ、治療においては画像ガイド下血管内治療(Interventional Radiology)も行われる。本ゼミナールでは今日の医学において画像がどのような形で利用されているか、どのような方法で何がどこまでわかるか、未解決なことが診療や研究においてどの様に扱われているか学び、科学的技法の習得の第一歩とすることを目指す。</p>			
成績評価方法	出席およびゼミナールにおけるプレゼンテーション、ディスカッションへの参加を総合的に評価する。			
授業のキーワード	放射線医学、画像診断、血管内治療、AI			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

グループ2 1年理一(9,12,14,20,39)理二三(6,8,15,20)

31516	火 1	体験で学ぶ電磁気学	関野 正樹	工学部
授業の目標・概要	<p>【授業の概要】 磁気浮上は、将来の高速鉄道への応用に関して注目を集めています。磁気による安定な浮上を実現する代表的な方法として、電磁力と制御技術の使用、超電導、反磁性効果などが知られています。電磁場を直接的に利用した現象である磁気浮上を通じて、目に見えない電磁場を体験的に理解することができます。本ゼミナールでは、科学おもちゃや、カエルを磁気浮上させた実験、超電導体など、様々な磁気浮上現象を題材として、磁気浮上の原理や、安定な浮上を実現する条件を考察します。磁場分布の測定も行い、電磁場を可視化することによって、理解を深めます。小グループに分かれて、グループ毎に題材を選んで理論的検討や実験を行い、その結果を発表します。電磁気学は、理科系の広い分野と関係しており、本ゼミナールで身につけた電磁気学の理解や、現象をモデル化する技法は、様々な場面で役に立つことが期待されます。</p> <p>【授業の形態】 全て対面にて実施します。グループワークを主体とします。</p> <p>【授業の目標】 ・自らの力で課題を定義し、それを解決するプロセスを体験する。 ・物理学の理論を、実際の問題の解決に活用するための応用力を養う。 ・現象の本質を抽出して単純なモデルで表現し、その振る舞いを考察する技法を身につける。 ・自分の考えをまとめて分かりやすくプレゼンテーションする能力を身につける。</p>			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、工学/電気電子工学、電磁気学、磁気浮上、小実験			
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 書名 基本からわかる電磁気学講義ノート 著者(訳者) 市川紀充(著)、岩崎久雄(著)、澤野憲太郎(著)、野村新一(著)、松瀬貞規(監修) 出版社 オーム社 ISBN 978-4274215100 その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31517	火 1	ナノバイオ・ディープテック	坂田 利弥	工学部
授業の目標・概要	<p><授業の概要> これまで材料科学分野で未解決の課題や将来こんな材料があればといった課題設定に対して調査し議論することで教科書に載っていない問題や社会的意義についてまとめプレゼンテーションを行う。教員から設定された以下の3つのサブテーマに対し、その背景から問題の抽出や発展させるための研究方法などグループに分かれ調査・討議し、最終プレゼンテーションをグループごとに行う。</p> <p><サブテーマ> サブテーマ1「生物に学ぶ機能性材料」内藤 ・人類は古くから自然や生物にヒントを得て材料を開発してきました。近年のバイオテクノロジーの進展は生物の仕組みや機能を分子レベル・ナノレベルで模倣した新技術も多く開発が進められています。本サブテーマでは生物に学ぶ機能性材料の開発例を調査した後、どのような未来材料が考えられるかを議論します。</p> <p>サブテーマ2「ナノメートル構造を作る・見る」伊藤 ・現代社会では、ナノメートル構造を持ったデバイスが広く用いられています。我々の生活は、原子・分子スケールでの材料設計、材料プロセス開発および材料評価といった、材料科学に支えられていると言っても過言ではありません。ここでは、その様なナノメートル構造を作り、見る手法から数例を取り上げ、その原理と仕組みを学びたいと思います。</p> <p>サブテーマ3「ものづくりから考える健康診断」坂田 ・糖尿病患者が合併症を引き起こさないためには日頃の血糖値を自己管理する必要があります。また、アレルギーの発症は乳幼児で最も高く、その検査には多くの血液を採取する必要があります。このような自身の健康状態を診断するために様々なテクノロジーを駆使したバイオセンサが使われ、金属、半導体、高分子といった特徴ある機能を持った材料が使われています。本サブテーマでは、ものづくりの視点に立って健康診断の現状と課題について議論したい。</p>			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	授業のタイプ：問題発見・解決型、学術分野：ナノバイオ・材料工学、バイオマテリアル、ナノテクノロジー、ナノバイオ			
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts 書名 科学の技法 第2版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者(訳者) 東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編 出版社 東京大学出版会 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31518	火 1	環境に優しい化学のものづくりを考えよう	秋月 信	工学部
授業の目標・概要	<p>(授業の概要)</p> <p>化学は我々の生活を豊かにする様々な物質をつくることに貢献しています。その過程においては、地球規模の環境問題や公害問題など様々な環境問題を引き起こし、また現在でもそれらの要因となっている例も少なくありません。一方で、環境に優しい化学のものづくりを目指したグリーンケミストリーやサステナブルエンジニアリングといった考え方が生まれ、近年の環境問題への関心の高まりからそれらの重要性はさらに高まっています。</p> <p>このゼミナールでは、環境に優しいものづくりを目指す化学の考え方を学び、それを活用して、課題の発見と解決策の提案ができるようになることを目標とします。</p> <p>まず前半で、ある化学製品の合成プロセスを例として取り上げ、それが環境に優しいかどうかをどのように考え、評価し、改善策を提案するかについての基礎的な考え方を、議論や演習を通じて身につけます。</p> <p>後半では、グループごとにテーマを設定し、対象とするものづくりの評価と改善策の提案に取り組んでもらいます。テーマについてもグループで議論して設定してもらいます。身近な化学製品に注目するのも良いですし、化学のものづくりを幅広く捉えた対象(例えばエネルギーや料理など)に設定するのも構いません。</p> <p>(授業の目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に優しいものづくりを目指す化学の考え方に触れ、課題の発見と解決策の提案ができるようになる ・自身の考えを他人に伝え、また他人の考えを理解し、それらを課題解決等に役立てるコミュニケーションの基礎を身につける 			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、工学/化学システム工学、環境学、化学製品、グループワーク			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名			
	著者(訳者)			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31564	火 1	地球史から気候変動を考えよう	阿部 彩子、吉森 正和	大気海洋研究所
授業の目標・概要	<p>現在、地球の気候は1960年代から2020年の間に1.25°Cの気温上昇という著しい温暖化を記録しており、2100年には2°Cに達する可能性すらあります。また、地球平均の温暖化だけでなく、極域気温増幅、氷床融解、海洋の酸性化、海面水位上昇、海洋貧酸素化といった海洋の変化も顕在化しつつあります。このような気候変動は、地球の歴史の中で起こった変動に比べてどの程度「異常」なのでしょう。このゼミナールは、大気海洋研究所所属の教員2名のリードのもと、現在の気候変動を知り、様々な側面から掘り下げて考えるとともに、その地球史の中での位置づけを考える機会を提供します。「能動的」な学びの過程を通じて、皆さんに「研究」の初歩を体験してもらうことを目指します。気候や海に関する予備知識は必要ありません。地学について学んだことのない方の履修も歓迎します。</p> <p>本授業で主に行うのは、調べる、まとめる、発表する、議論する、といった作業です。この中でも、特に「議論」に重点を置きます。教員の講義を学生が聞く時間は必要最小限にし、学生が主体的に参加し進めてゆく授業となります。授業時間の多くを、グループディスカッションやプレゼンテーションの作成、それをういた発表や討論などに費やします。上記の要素の中の「調べる」については、宿題として行うこともあります。</p> <p>このゼミナールは、大気海洋研究所に所属する、気候モデルを使って過去や将来の気候変動メカニズムを調査する研究者(阿部彩子、吉森正和)が担当します。</p>			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	地球と生命の歴史、気候変動、海洋、物理・地学・化学・生物、議論・調査・発表			
教科書	授業中に指示をする。/Will specify at class time			
	書名 科学の技法 第2版: 東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト			
	著者(訳者) 東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編			
	出版社 東京大学出版会			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31566	火 1	地震シミュレーションのプログラムを書いて みよう	藤田 航平	地震研究所
授業の目標・概要	現代の自然科学においては計算機による計算・データ処理が広く使われており、新しい計算・データ処理が研究や産業にブレイクスルーをもたらす原動力の一つとなっています。本ゼミナールでは、サイティフィックススキルの一つであるプログラミングの初歩を学び、プログラミングを使ったアカデミック体験として地震分野の問題に取り組むことで、自然科学の俯瞰・理解を進めます。少人数のグループに分かれ、前半では（知識の前提なく取り組める）競技プログラミングを題材にプログラミングの基礎スキルを身に付け、後半では地震シミュレーションのプログラムを作成し地震時に起こる現象を分析します。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	地震シミュレーション、プログラミング			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31584	火 1	薬学を支える基盤技術の役割と貢献	角田 誠	薬学部
授業の目標・概要	新薬を開発するためには、少なくとも十数年に及ぶ研究期間と莫大な研究開発費を要します。創薬研究のプロセスは、探索研究、開発研究、臨床研究に大きく分類され、それぞれの研究段階において多くの研究分野が創薬を支えています。本授業においては、創薬研究を支える蛍光イメージング技術、薬のターゲットであるタンパク質の立体構造を明らかにする X 線結晶構造解析や核磁気共鳴法を取り上げ、これらの技術が創薬においてどのような役割を果たしているのかを論文読解やグループワークを通して理解します。授業で取り上げる技術をはじめとする様々な創薬基盤技術の今後の可能性をグループで調査・議論し、プレゼンテーションを行います。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	情報収集・問題解決型、物理系薬学、蛍光イメージング、X 線結晶構造解析、核磁気共鳴法			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31589	火 1	機械学習をはじめてみよう！	樺島 祥介	理学部
授業の目標・概要	インターネットやスマートフォンの普及により、かつてないほど大量のデータが安価に蓄積されるようになりました。その結果、そうしたデータから有用な情報を取り出し、新しい価値を生み出す機械学習技術に注目が集まっています。ネット通販のおすすめ機能、スマートフォンの顔認証、最近話題の chat GPT などすべて機械学習によって実現されています。			
成績評価方法	この授業では、機械学習で用いられる基本的な方法を、分担して調べ互いに教え合います。また、後半では、機械学習の方法を使ったデータ分析のコンペティションを行います。			
授業のキーワード	初年次ゼミナールの評価法にしたがう。			
教科書	実験データ解析型、情報科学、機械学習、プログラミング、データ分析			
ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31601	火 1	これからの腎臓病学を考えよう	中村 元信	医学部
授業の目標・概要	<ul style="list-style-type: none"> 腎臓病学を題材に、主体的な調査と建設的なディスカッション、論理的なプレゼンテーションなどの高等教育での学びに必要な素養を身に着ける 内科学・腎臓病学・腎臓病医療などについての知識と理解を深める 			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、医学、腎臓病学、急性腎障害、慢性腎臓病、腎代替療法			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31519	木 2	文化遺産と建築・都市	海野 聡	工学部
授業の目標・概要	<p>何気なく町に眠る文化遺産はどのような価値を有しているのだろうか。そして、その魅力は十分に理解され、発信されているのだろうか。東大の駒場キャンパスを見渡しても、我々は多くの文化遺産に囲まれており、良好な環境を形成している。</p> <p>本講義では、これらの文化遺産を地域の財産と捉え、その価値を学生自身による文献・調査などを通じて理解し、ディスカッションを通じて、他者に説明・魅力発信することを目標とする。またPPTや動画の作成など、具体的な発信の方法についても、教員らと学生によるディスカッションを通じて、学んでいく。</p> <p>*講義内にも作業・調査はできますが、中間・最終プレゼンテーションを作成するため、講義時間以外にも調べ物や作業も生じること、承知しておいてください。</p>			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	フィールドワーク型、工学/建築、建築史、建築デザイン、文化遺産			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31520	木 2	ペットボトルと紙ではじめるエアロスペース エンジニアリング入門	中谷 辰爾	工学部
授業の目標・概要	<p>飛行機や宇宙機において、重力に反して高速で飛行するためには、機体重量や強度、推進性能などが厳しく要求され、システムの成立には、限界近くまで極限まで無駄を無くすのに加え、様々な制約条件に対して最適化される必要があります。航空宇宙工学プロジェクトにおいて、対象とするシステムにおいては多くの物理や工学が融合し、力学、流体力学、制御工学、推進工学、材料力学、構造力学などを含む総合工学のアプローチが必要となります。そのため、プロジェクトにおいては、それら全体を俯瞰することに加え、様々な要素の役割が重要であり、各機能を統合しシステムを構築していきます。プロジェクト（グループ）内のマネジメント、要求の調整、各要素のインターフェース調整およびディスカッションが必須です。本講義義においては、航空宇宙工学につながるトイプロブレムとして、ペットボトルを用いた水ロケットやペーパーブリッジといった軽量構造体に関する二テーマに関して、様々な制約条件下においてミッション（課題）を設定し、計画策定、スケジューリング、基本設計、詳細設計、試験（実践・計測）、結果検証、改善案の考察を行います。グループワークとして課題に取り組み、役割分担、課題解決にあたり背景にある物理や現象の調査、課題抽出、コンセプトの策定、設計および製作方針に関してディスカッションを行い、各段階において計画や経過についてプレゼンテーションを行い、課題等に対して議論し、解決し、実践いたします。その結果を評価し、発表し改善していくことを目指します。</p> <p>テーマ①:水ロケットプロジェクト テーマ②:ペーパーブリッジプロジェクト</p>			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	ものづくり、工学/航空宇宙工学、最適化、グループワーク、推進、構造			
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook			
	書名 科学の技法 第2版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト			
	著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編			
	出版社 東京大学出版会			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31521	木 2	実践サイバネティクス ー物理・人間と情報を繋いでみようー	稲見 昌彦、高瀬 英希、中 村 宏	工学部
授業の目標・概要	サイバネティクスとは、人間をはじめとする生物・機械・情報の相互関係の理解や、人と機械とが一体となり機能する通信・制御システムを設計することをテーマとする学問です。人と独立して活動する自動制御ロボットやコンピュータと違って、人の行動や周囲の物理環境をコンピュータが理解し、それに合わせた介入や情報提示をすることで、その人の能力を拡張したり、全く新しい体験を促したりできます。 この講義では、人と機械が相互作用し、機能するための計測・通信・制御システムの作り方を考え、学びます。講義の前半では、マイクロコントローラの仕組みを理解し、プログラムによってLEDやスピーカなどの周辺装置を操作する方法を学びます。後半では、人の活動状態の計測に基づいた情報提示によって人の行動に介入したり、体験を拡張したりする実践的なシステムの設計・制作に取り組んでもらいます。最終的には、最新のサイバネティクスの動向を踏まえて、制作したシステムのプレゼンテーションやデモンストレーションを行ってもらい、作ったものの狙いや価値をわかりやすく伝える技術を磨くことも期待しています。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 サイバネティクス、コンピューティング、IoT、身体情報学、人間拡張工学 教科書は使用しない。/Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31553	木 2	スキル熟達化の科学	工藤 和俊	教養学部（スポー ツ・身体運動部会）
授業の目標・概要	本授業は、スポーツ・ダンス・音楽演奏など様々な知覚運動スキルの熟達化について自らの実践とともに考え、スポーツ科学における未解決問題について考える力を養うことを目的としています。授業では、グループによるテーマ設定、討論、発表を行いつつ、テーマ次第では大学院生の協力のもとに研究室所有の筋活動計測装置やアイカメラ等を用いた実験をとおして技能上達にかかわる問題にアプローチし、最終的に小論文の執筆を行います。			
成績評価方法 授業のキーワード 教科書	出席点、平常点（授業における貢献度）、最終論文 スポーツ、ダンス、音楽演奏、筋活動、アイカメラ 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 書名 科学の技法 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編 出版社 東京大学出版会 ISBN その他 東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31560	木 2	ホルモンからヒトの行動を考える	坪井 貴司	教養学部（生物部 会）
授業の目標・概要	（授業の概要） わたしたちの複雑な生命活動は、多種多様なホルモンが、環境変化に応じて、適切に血液中へ分泌されることによって調節されています。この多種多様なホルモンは、ごく微量で驚くべき作用をします。例えば、「恋」や「食欲」、そして「睡眠」もこのホルモンによって調節されます。 本ゼミナールでは、ホルモンの生理作用やその生理作用を利用した先端医療への応用の可能性、そして生命倫理に関する課題について、各グループ内で討議を行い、その中で、仮説を設定し、そして結論を導き出し、その内容をゼミナール時間中にプレゼンテーションします。これらを通して、仮説から結論に至るまでの科学的な思考における基礎的な能力の習得を目指します。 （授業の目標） ・研究課題における目的や問題点を認識し、その解決のための手段を考えるという活動を行います。 ・仮説をたて、結論に至るまでに必要な科学的プロセスを考え、行動します。 ・自分の考えを、分かりやすく他人に伝え、情報を共有することで新たなアイデアや知見を得るための、コミュニケーション能力の基礎を身につけます。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード 教科書	問題発見・解決型、生物／生理学・神経科学、ホルモン、神経、内分泌、グループワーク 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 書名 ホルモン全史 著者（訳者） R.H.エプスタイン、坪井貴司 出版社 化学同人 ISBN 9784759820836 その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31567	木 2	21 世紀の農学：持続可能性への挑戦	小嶋 大造	農学部
授業の目標・概要	持続可能性をキーワードとして 21 世紀の農学が挑戦する課題について学びます。授業では主にグループワークを行います。グループごとに、①食料、②資源・環境、③技術革新、④地域社会のうちから具体的なテーマを設定し、グループ内でディスカッションを重ねながらプレゼンテーション資料を作成し、最後に発表会を行います。再度、テーマを変えて行います。			
成績評価方法	出席とグループワークへの寄与			
授業のキーワード	21 世紀の農学、持続可能性、食料、資源・環境、技術革新、地域社会			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 21 世紀の農学－持続可能性への挑戦－ 著者（訳者） 生源寺真一編著 出版社 培風館 ISBN 978-4-563-08402-8 その他			
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31568	木 2	自然の恵み＝天然有機資源の有効利用を考え る	秋山 拓也	農学部
授業の目標・概要	私たちの暮らしは衣食住から医薬品に至るまで、天然有機資源に支えられています。例えば、古くからセルロースを衣服として纏い、デンプンを食べ、木造建物を住処とし、薪を焚いて暖をとり、香気成分は古くから利用され、また、微生物が生産する抗生物質、植物由来の抗がん剤、成長ホルモンを発見して上手く利用し、現代の生活は豊かになりました。それでもまだ天然有機物をフル活用している状態には遠く及びません。天然物は生物活性物質の宝庫です。そして、脱炭素社会の実現に向けて、天然有機資源の潜在性をさらに引き出そうとする動きが高まっています。			
成績評価方法	本ゼミナールでは、1. 天然有機資源の性質、特性、利用法を調査して学び、利用展開の現状を振り返りながら、2. 今後、現代の生活の利便性は維持しつつ、どのように有機資源を利用すべきなのかを考えていきます。天然物を探索し、その利用を追求する学問は、まだ発展途上の段階にあります。具体的な利用例を取上げて克服すべき問題点を考え、改善方法を提案してもらい、あるいは、天然有機資源の化学あるいは生物学的な特性の一つに着目し、新たな利用法を提案していただく予定です。			
授業のキーワード	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
教科書	問題発見・解決型、化学/天然有機物、バイオマス、生物活性物質、化学成分、植物、動物、微生物 教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31590	木 2	ヒッグス粒子の見つけ方	奥村 恭幸	素粒子物理国際研究 センター
授業の目標・概要	ヒッグス粒子という言葉聞いたことがありますか？ 物理学で運動方程式をたてる時にかならず「質量」を用います。実は、現代素粒子物理学だと実は質量を持っていることは禁じ手で、自然界のルールを満たしながら質量を持たせるためには工夫が必要で、「自発的対称性の破れ」というアイデアを活用した全く新しい自然観の導入に至っています。そして、この自然観の中心的な役割を果たすのがヒッグス場であり、その存在の証拠がヒッグス粒子なのです。			
成績評価方法	その自然観の確立の裏には、「強い力」、「弱い力」の発見、その特徴の理解により明らかになってきた不可思議な特徴、謎を体系的に説明するための多くの物理学者の取り組み、理論のブレークスルー、実験技術革新による実験データによる確たる実証の積み重ねがあります。			
授業のキーワード	教科書である「弱い力、強い力」はこれらを体系的にかつ明確なイメージをもって伝える読み物です。			
教科書	教科書を各自通読してもらい、内容を補完するための考察を行い、参加学生による発表、議論により現代物理学における真空のイメージの共有や、ヒッグス粒子を発見するための実験コンセプトの理解を目指します。			
ガイダンス	この目標に向けた、通読（簡単な講義）、疑問点（モヤモヤ）の文字化、理解したことのプレゼンテーションによる共有、少人数での議論、持ち帰り調べ学習により授業が進行する予定です。一見抽象的な素粒子物理学のイメージを掴むという課題を通じ、疑問を明確にする能力、他の人の考えを聞いて消化・考察する能力、自分の考えを発信する能力、議論をする能力を磨き、研究の基礎力の獲得を目指します。			
	また番外編として、期間中に一回、素粒子物理と関連深い「量子コンピューターの最前線を学ぶ」回も予定しています。			
	出席と授業参加。			
	ヒッグス粒子、素粒子物理学実験、自発的対称性の破れ、CERN、加速器実験、量子コンピューター 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 強い力と弱い力 著者（訳者） 大栗博司 出版社 幻冬舎 ISBN その他			
	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31591	木 2	解析学の基礎	阿部 紀行	理学部
授業の目標・概要 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス		<p>高校における微分や積分の単元では、まず極限の概念を学びます。その際の極限の定義は、「限りなく近づく時」といったやや曖昧なものです。ニュートンやライプニッツが微積分学を創始した際も極限の扱いはそのようなものでしたが、その曖昧さ故に間違った結論を導いてしまうこともありました。19世紀に入るとこれらを克服するためにより厳密に極限や実数の概念を定義する試みがなされ、長い議論の末に最終的に「ϵ-δ (イプシロン-デルタ) 論法」という形で極限の定義がなされました。19世紀中頃に生み出された ϵ-δ 論法は、その後の数学の発展において他の概念に上書きされるものもなく生き残ってきたタフな概念で、今なお微積分学（解析学）の基礎として大学で学びます。</p> <p>この ϵ-δ 論法はすでに述べたとおり現代の解析学には必須な概念です。しかし、一方で特に学び立ての初学者に対しては悪名高い概念でもあります。その理由として、定義が込み入っていて一見してわかりにくいからであると思われまます。本講義の目標は、グループワークを通してこの ϵ-δ 論法を深く学び、理解することです。また、ϵ-δ 論法だけでなく、「デデキントの切断」、および発展的な内容として「p進数」を扱います。デデキントの切断は、ϵ-δ と同じく解析学を厳密に再構築する努力の上で生まれた概念であり、実数の厳密な定義を与えるものです。p進数は整数論的な問題に端を発して考えられた、実数とは異なる別の「数」の概念です。</p> <p>本講義では、まず全体を小さなグループに分け、上で述べた三つのテーマの一つを深く掘り下げていき、最終的に班で一つの短い「講義」を作ることを行います。このような体験を通じて、テーマへの理解を深めるほか、文献・資料の収集法、グループによる共同学習の手法などについても習得することも目標とします。</p> <p>初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。</p> <p>原理解明・伝達型、数学／解析学、実数、デデキントの切断、イプシロン-デルタ論法、p進数</p> <p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook</p> <p>書名 科学の技法 第2版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト</p> <p>著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編</p> <p>出版社 東京大学出版会</p> <p>ISBN</p> <p>その他</p>		
		第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

グループ3 1年理一(7-8,11,13,15,17)理二三(9-10,14,19)

31522	火 3	知能ロボット入門	中嶋 浩平	工学部
授業の目標・概要	<p>ロボットは、人間・機械・情報を結ぶ知的なシステムです。ロボットは、コンピュータ単体とは違って、自ら移動したり、ものを動かしたりすることができます。生物の仕組み、特に脳神経系の働きは、知的なロボットを作るヒントになります。一方、人間以上の速度やパワー、インターネット上の知識の利用など、生物を超え得る潜在力を持っています。</p> <p>この講義では、知能ロボットを構成する基本要素や知的な振る舞いの作り方を考え、学びます。ツールとしてロボットキットを用いますが、講義の主眼はマニュアル通りロボットを組み立てることではなく、知能ロボットの可能性について実践を通じて深く考えることです。最新のロボット研究の成果にも触れてもらい、知能とはなにか、現代社会で必要とされるロボット・システムとは何かを議論してもらいます。また、工学的な思考方法に親しみ、作ったものの狙いや価値をわかりやすく伝える技術を磨くことも期待しています。</p> <p>授業の目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロボットや知能といった未定義で学際的なことに対して、グループ討論や能動的な調査に基づいて客観的に論じることができるようになる ・ 工学の観点から問題を発見し、実際の製作を通じてそれを解決するプロセスを身につける ・ 自分の考えを整理し、適切に他人と分担して、複雑なシステムであっても、順序立てて簡潔に説明できる能力を身につける 			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、工学／知能機械・ロボティクス、グループワーク、ものづくり、知的情報処理			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31523	火 3	化学を使って生命の謎を解く	山東 信介、森本 淳平	工学部
授業の目標・概要	<p>私たちの体は分子の集合体として成り立っています。そのため、生命現象を分子レベルで観察・操作する技術を開発・利用することで、生命現象の解明がなされてきています。また、生命現象を司る分子の異常は、様々な疾病につながるため、こうした生体分子の観察・操作技術は、疾病の診断や治療手法の開発にもつながっています。この授業では、こうした生命現象の解明や疾病の診断・治療につながるような研究提案を、分子レベルでの観察・操作方法に基づいて行うことに取り組みます。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生命現象の分子レベルでの議論を行えるようになる。 ・ 化学・生命科学の文献調査を自身で行えるようになる。 ・ パワーポイントなどのスライドを用いた科学・技術のプレゼンテーションをできる能力を身につける。 			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、化学・生命科学、研究提案、文献調査、分子化学			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31524	火 3	核反応を使って新しい価値を創れるか？	村上 健太	工学部
授業の目標・概要	<p>グループに分かれて、核反応（つまり、原子力発電・核融合・量子ビーム等）を利用した新しいシステムを提案してもらうことをプロジェクトのゴールに設定し、その過程で巨大で複雑なシステムを対象とした研究を行うために必要な素養を身に着けます。</p> <p>核分裂技術は、これまでもっぱら発電を目的として応用されてきましたが、最近ではほかの様々なアプローチ（動力としての利用、熱源としての利用、放射線を使った物質の改質、など）への産業界の関心も高まってきています。また、原子力はさまざまな学術領域を集めた「総合工学」としての特徴を持ちます。</p> <p>原子力を例題とすることで、様々な分野に応用可能な基盤的なスキルを身につけましょう。例えば、東大には論文検索用のツールが完備されています。しかし、論文化されていない技術情報（例えば、原子力システムの具体的な設計、原子力に関連した国内外の法令、原子力に対する人々の意見、等）は、どのように集めたら良いのでしょうか？</p> <p>研究不正と認定される行為をしないのは当然として、自分たちの研究成果が社会に与える影響も真摯に考える必要があります。研究活動に関係した倫理上の問題に、どのように取り組めば良いのでしょうか？</p> <p>多くの研究は「グループ」で実施されます。一人で集中した方が効率的ではないですか？ グループワークから創発を得るには、どのようなやり方をすれば良いのでしょうか？</p> <p>科学的なプレゼンテーションの原則とは何ですか？ それはどのように他の領域でも使えるのでしょうか？</p>			
成績評価方法	数回のレポートで評価します。			
授業のキーワード	システム創成、原子力、核融合、量子ビーム、総合工学			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31525	火 3	物理のための数学ゼミ	遠藤 護	工学部
授業の目標・概要	<p>物理学では、様々な現象の中に法則性を見いだして、それを数学的に記述します。また、その数学から予想される現象は、実験的に確かめられます。こうした過程の中で、それまで思いもよらなかった応用が見つかることがあります。例えば、量子力学の応用としての量子コンピュータなどです。</p> <p>この授業では、基礎となる数学を学び、物理の記述にどう生かされるのかを調べ、受講者同士の議論を通して理解を深めます。文献の検索、発表資料の作成、科学的な内容でのコミュニケーションの経験を積みます。最終的には、4名程度のグループに分かれて、興味のあるテーマを自ら設定し、他の受講者の前で発表してもらいます。物理に関連していれば基本的にどんなテーマでもよいので、面白い発表を期待しています。</p>			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、数学/物理学/量子力学、相互学習、サイエンスコミュニケーション、グループワーク			
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook			
	書名 科学の技法 第2版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト			
	著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編			
	出版社 東京大学出版会			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31552	火 3	人間行動のメカニズムを科学的に探る ：判断・意思決定を例にして	植田 一博	教養学部（情報図形 部会）
授業の目標・概要	（授業の概要と目的） 「学校からの帰りに重い荷物を駅までもってこれれば10円あげる」と友人に言われると、「10円なんかいらな いよ」と返答して荷物を運んであげる人は少なくないと思われます。しかし、伝統的な経済学が仮定するよ うに私たちが合理的な経済人ならば、たとえ10円であっても労働の対価を受け取った方が得です。では、どうし てこの状況では10円を受け取らないのでしょうか？人はときに合理的・規範的な理論から逸脱した行動をと ることがあります。かと言って、それが人にとって本当に非合理というわけでもありません。そこで本授業で は、人が日常的にしばしば見せる不思議な(所謂「合理性」からはずれる)判断と意思決定(Judgment and Decision Making) についての理解を、認知科学的な観点から深めることを目的とします。この目的を達成するために、 私たちが日常、特に意識することなく行っている判断や意思決定の背景にある心的メカニズムに関する仮説を 立て、認知心理実験の立案と実施を通してその仮説を検証します。研究成果を全員の前で発表した上で、簡単 な報告書を提出してもらいます。これらの作業は3-5名のグループ単位で実施する予定です。			
成績評価方法	（授業の目標） ・グループワークを通じて、集団での問題設定、情報共有、討論、役割分担ができる ・アカデミック体験を通して、人の意思決定や判断に関する基礎的な研究の概要を説明することができる ・人の心理を知るための仮説と実験計画を立て、データをとってその仮説を検証することができる ・心理・行動データに対する基礎的な統計解析ができる 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード 教科書	（この講義での個別の評価基準） ・興味深い現象に対して適切な仮説と、それを検証するのにふさわしい実験を設定できたか。 ・より良いデータ取得を目指し、適切な手法で分析できたか。 ・わかりやすい発表を行い、適切な報告書が作成できたか。 問題発見・解決型、情報学／認知科学、判断と意思決定、認知心理実験、統計解析、グループワーク 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法 第2版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編 出版社 東京大学出版会 ISBN 9784130623230 その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31556	火 3	鳥や魚はどうして群れるのか？	古川 亮	生産技術研究所
授業の目標・概要	鳥、魚、さらにはバクテリアといった生物(アクティブマター)はしばしば巨大な群れを作って運動することが 知られています。このような現象を理解するために、多くの研究が行われてきましたが、その機構については 現在も十分なコンセンサスが得られていません。この授業では、自発的な運動を行っている構成要素(モデル生 物)が集まった場合に、どのような振る舞いをするか？それはどのような意味があるのか？実際の現象を説明し うるか？といったテーマについて、皆さんがモデルを考え、議論し、考察・解析を深めてゆきます。教員はな るべく後方支援、あるいは監督者という立場に徹したいと思しますので、参加者の皆さんの能動的な参加を期 待します。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード 教科書	アクティブマターの物理、集団運動・群れ、相互作用、数理モデル 教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31561	火 3	アリの巣で体験する自己組織化現象	土畑 重人	教養学部（生物部 会）
授業の目標・概要	<p>授業の目的：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語原著論文の基本的な構成を知り、そこから有益な情報を抽出するための基本的技術を習得する。 ・実習を通して、コミュニケーションツールとしての発表スライドの構成方法を習得する。 ・アリの観察を契機に、身近な生物多様性の重要性への意識を涵養する。 <p>授業の概要：</p> <p>アリは群れで生活する「社会性昆虫」の一種である。群れとしての行動によって、アリは一個体では実現しえないような大規模な構造（巣や行列など）を実現することができる。構造が生成するメカニズムは、生物学における「自己組織化」現象の典型例として研究が進められてきた。</p> <p>本授業においては、アリの社会が示す興味深い群れ現象を報告した英語原著論文を読解するところから始め、野外で採取した実際のアリを用いて群れ現象を測定することを試みる。グループワークの成果のプレゼンテーションを行うことで、効果的なスライド構成方法についても学ぶ。視点の異なる他受講生との活発な議論を希望する。</p>			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。受講生の主体的な参画を望みます。			
授業のキーワード	授業のタイプ「問題発見・解決型」、進化生物学・生態学・野外生物学、動物行動学・システム生物学、社会性昆虫（アリ）			
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook</p> <p>書名 科学の技法 第2版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト</p> <p>著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編</p> <p>出版社 東京大学出版社</p> <p>ISBN</p> <p>その他</p>			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31563	火 3	先端研究の現場を「体験」する	近藤 武夫	先端科学技術研究セ ンター
授業の目標・概要	<p>この授業では、先端科学技術研究センター（先端研）が位置する駒場リサーチキャンパスを舞台に、世界と競い合う最高水準の先端科学技術を体験してもらいます。最先端研究が、キャンパスの殻の中に閉じこもる旧来型の研究ではなく、学術の進展や社会の変化に機動的に挑戦して人間と社会に向かっていることを、この授業で実感できるはずです。先端研の根幹の研究領域（環境・エネルギー、情報、材料、生物医科学、バリアフリー、社会科学）の中から、今年の講義では、3つの話題を紹介します。基礎から最新のトピックまでじっくりと体験できるはずです。</p>			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	航空宇宙モビリティ、高機能材料、超精密製造科学			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス	<p>書名</p> <p>著者（訳者）</p> <p>出版社</p> <p>ISBN</p> <p>その他</p> <p>第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>			

31592	火 3	知能ソフトウェア工学への導入 /Introduction to Intelligent Software Engineering	馬 雷	理学部
授業の目標・概要	<p>This is an introductory lecture on intelligent software engineering and the basics of scientific research methodology in this area. Nowadays, software has become the foundation of our society, acting as the key pillars that support the research and industrial domains. In this lecture, we will, from the lens of diverse software sectors, introduce the basic ways of conducting scientific research and learning cutting-edge knowledge and concepts in this speedy era. The topics we will cover in this lecture are extensive and broad, including quite a few key software areas, e.g., AI, machine learning, software engineering, etc.</p>			
成績評価方法	<p>Evaluation is based on</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) Lecture Participation and Attendance (30%), (2) Student Presentation (30%), (3) Final Report (40%) 			
授業のキーワード	Society 5.0、ソフトウェア工学、AI、機械学習工学、サイバーフィジカルシステム			
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time			
ガイダンス	<p>書名</p> <p>著者（訳者）</p> <p>出版社</p> <p>ISBN</p> <p>その他</p> <p>第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>			

31526	木 3	メカニズムデザインの数理	五十嵐 歩美	工学部
授業の目標・概要	公平にケーキを分けるにはどのようにすれば良いでしょうか？公平に仕事を分担するにはどのようにすれば良いでしょうか？ 学生の好みを考慮して、適切に研究室にマッチングするにはどのようにすれば良いでしょうか？ メカニズムデザインとは、社会が望ましい決定を行なうためのメカニズムをどう設計するかを数理的に解析する理論です。家事分担や財産分割などの身近な問題から、学生への講義割当、投票メカニズム、学校選択マッチングなどの大規模な問題まで我々の生活の基盤となる社会制度の設計に広く応用されています。 本授業では、メカニズムデザインの基本概念の習得と、各々が興味のあるテーマについて数理モデルの改善、メカニズムの改良を目標とします。授業はグループワークでの文献調査、討論、簡単なメカニズムの実装を行い、その結果を発表します。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	メカニズムデザイン、アルゴリズム、マッチング理論、投票理論、公平分割理論			
教科書	授業中に指示をする。/Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31545	木 3	分子の形を知り、物質をデザインする/ Designing Matter by Learning About Molecular Shapes	宮島 謙	教養学部（EX 部門）
授業の目標・概要	水分子が、1個の酸素原子と2個の水素原子からなり、折れ曲がった二等辺三角形の幾何構造をとることはよく知られています。このように非常に小さな分子の構造はどのようにして決定されたのでしょうか。本講義では、この疑問から出発し、分子の形はどうすればわかるのかを調べ、なぜわかるのかを考えてもらいます。どのような測定データにもとづき分子の構造が決まるのかを、具体例を挙げて様々な文献やデータベースにもとづいて調べます。そのあと、それぞれ1個の元素を選び、その元素の単体や化合物が有する特徴を明らかにしながら、どういう物質を構成しうるのかを考えます。授業の進行は、4-5人のグループで行い、グループ毎にテーマを設定してもらいます。グループ中で様々なアイデアを出しと議論をし、さらにグループ間とも往来して考えをまとめていきます。最終的にグループごとに成果を発表します。/It is well known that the water molecule is composed of one oxygen atom and two hydrogen atoms and has the geometrical structure of a folded isosceles triangle. How was the structure of such a very small molecule determined? In this lecture, starting from this question, we will investigate how we can know the shape of molecules and ask students to think about why. We will examine how molecular structures are determined based on measurement data from various literature and databases, with specific examples. After that, each student will select an element and consider what kind of substance can be composed of it, while clarifying the characteristics of the element as a single element or in a compound. The class will be conducted in groups of 3-4 students, and each group will be assigned a theme. Each group will be assigned a theme, and will generate and discuss various ideas within the group, as well as among themselves, to formulate their own ideas. Finally, each group will present their results.			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価する/To be evaluated according to the evaluation method of the First Year Seminar Science.			
授業のキーワード	問題発見・解決型/Problem fin、分子科学/Molecular scien、構造/Structure、分光学/Spectroscopy、スペクトル/Spectrum			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31554	木 3	運動と健康の科学	高橋 祐美子	教養学部（スポーツ・身体運動部会）
授業の目標・概要	<p>筋肉を付けたい。体力を付けたい。痩せたい。皆さんは色々な動機で健康のために運動をしようと考えますと思います。そして、運動を始めると、どのようなトレーニングで目標達成に近づけるかを考え始めるとします。身体の機能に影響を与えるという点で運動と非常に近いものとしては食事もあり、トレーニングと食事との組み合わせを考える人もいるでしょう。</p> <p>この授業では、健康と運動トレーニングに関連して興味があることについて、これまでにどんなことが分かっていて何がわかっていないのか、どんな研究計画を組むことで今までわかっていないことを明らかにできるだろうか、ということグループワークを通じて考えてもらおうと思います。</p> <p>※健康を目的として運動を考える授業であるかのようなタイトルですが、部活など競技がきっかけで運動・スポーツに興味がある人でも大丈夫です。</p> <p>世の中には一目では真偽を判断しにくい健康に関する情報が沢山あります。また、学術論文も、実験デザインや測定内容まで見ると、この検証の仕方は適切か？と思う場合もあると思います。この授業でも色々な情報に当たるとは思いますが、鵜呑みにするのではなく、取捨選択できるように心がけてください。</p>			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	論文読解型&問題発見・解決型、スポーツ科学、運動効果、健康増進、食事・ダイエット			
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook			
	書名	科学の技法 第2版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト		
	著者（訳者）	東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編		
	出版社	東京大学出版会		
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31557	木 3	次世代ワイヤレス通信ゼミ	杉浦 慎哉	生産技術研究所
授業の目標・概要	<p>ワイヤレス通信システムは過去 30 年間にわたって 10 年ごとに 10~100 倍の性能向上が実現されており、今や重要な社会基盤となっている。今後はサイバーフィジカルシステムのための通信基盤としてさらなる高度化が求められている。一方、基本的な通信資源である周波数帯域は限られており、これまでと同様の高性能化は困難となりつつある。したがって、次世代システムにはブレイクスルーとなる要素技術が不可欠であり、世界中で鋭意研究が行われている。</p> <p>この授業では、ワイヤレス通信を対象とした基本的な講義、最新技術についての英語文献調査、ディスカッションを通じて、基礎知識、課題、次世代システムの要素技術について学んでもらう。また、MATLAB によるプログラミング・数値シミュレーション演習を通じて、基本的なワイヤレス通信モデルへの理解を深めてもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワイヤレス通信の基礎を理解し、基本知識を習得する。 ・グループワークを通じて協働して課題に取り組む能力を身につける。 ・調査内容を整理、正しく解釈して他者に分かりやすく伝える。 			
成績評価方法	出席、演習の理解度、発表など総合して行う。			
授業のキーワード	ワイヤレス通信、6G、数値シミュレーション、文献調査			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31569	木 3	木質バイオマス利用の意義と方法について考える	齋藤 継之	農学部
授業の目標・概要	<p>木材は我々の身近にある材料であり、古くから様々な活用されてきた。現在、地球温暖化防止の観点からも木材の利活用が注目されており、木造建築や紙パルプだけでなく、セルロースナノファイバーや、樹木構造のバイオミメティクスといった新たな分野にも注目が集まっている。本授業では、グループワークを通して、木材の利活用に関する課題を設定し、各自で調査・分析する。その結果を互いに情報共有しながら討論し、最終的に課題解決策にまとめてプレゼンをする。</p>			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	木材、セルロース、バイオミメティクス			
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook			
	書名	科学の技法 第2版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト		
	著者（訳者）	東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編		
	出版社	東京大学出版会		
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31581	木 3	数値計算とモデリング	石原 秀至	教養学部（物理部 会）
授業の目標・概要	<p>(目標) 物理や生物現象、社会現象などを対象に、主に微分方程式と確率を道具立てとしたモデリングを行い、実際に数値計算を行う。そのために Python による数値計算の基礎を学ぶ。何らかの現象に対して、できるだけ簡単に、でも本質をついたモデリングを行う（体験する）。題材は、感染症や生態系のモデル、ランダムウォークや相転移、ゲーム理論、渋滞やパターン形成など。</p> <p>(概要) Python を用いて、微分方程式の数値解法と疑似乱数生成について、実際に手を動かして学ぶ。その後、何かしら自然/社会現象を取り上げ、そのモデリングを行うことを通して、現象の背後にあるメカニズムをどう理解するのかを考察する。</p>			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	現象シミュレーション型、物理/数値計算、微分方程式、疑似乱数			
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook			
	書名	科学の技法 第2版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト		
	著者（訳者）	東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編		
	出版社	東京大学出版会		
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31585	木 3	薬学を支える生物学の役割と貢献	河野 望	薬学部
授業の目標・概要	<p>(授業の背景)</p> <p>薬学部では、生命現象の理解を究めつつ、創薬を視野に入れた基礎研究を行っています。生命現象を深く理解するためには、生物を構成する最小単位である細胞について詳しく理解する必要があります。細胞のことを詳しく知る方法として、正常な細胞と異常な細胞を比較して、その違いがどこから生じているのかを調べることは、とても有効な手段です。数多ある病気の原因は様々ですが、究極的には特定の細胞の機能異常が病気を引き起こしているともみることができます。逆に言えば、病気の原因を探ることで、正常な細胞の本来あるべき姿を理解する上で手がかりにもなることを意味します。</p> <p>(授業の目標)</p> <p>本ゼミナールでは、創薬の対象となりうる各種の病気やその発症原因について学習しながら、正常な細胞の姿の一端を学ぶことを目的とします。さらに、疾患を治療するためには、どのような戦略を取り、どのような創薬戦略があるのかということグループで考え、プレゼンテーションも行います。一連の作業を通じて文献やデータベースの探索方法、論文読解、グループディスカッションの仕方、わかりやすいスライドの作成・発表方法などの習得も目指します。</p>			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	論文読解型・問題解決型、生物学/薬学、細胞生物学、分子生物学、創薬、グループワーク			
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook			
	書名	科学の技法 第2版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト		
	著者（訳者）	東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編		
	出版社	東京大学出版会		
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31593	木 3	物理学の独創的な研究とは (ノーベル物理学賞の受賞業績を例に考える)	酒井 広文	理学部
授業の目標・概要	<p>将来、主として理学部物理学科や工学部応用物理学科等の物理学関連分野の学部学科に進学し、さらに大学院へ進学して研究者を目指す学生を対象に、物理学の独創的な研究とは何かをノーベル物理学賞の受賞業績を例に考えることを目標とする。参加者としては、広く物理に興味をもつ学生も歓迎する。高等学校までの学習や大学学部での学習は、現在までに数多くの優れた先人たちが長年にわたり築き上げてきた学問体系を学ぶことが中心である。その過程では、答えが分かっている問題を短時間で正確に解くことが求められているであろう。しかしながら、将来研究者となって優れた業績を残すためには独創的な研究をすること、即ち、未開拓な研究分野の筋のよい課題を自ら設定することが求められる。これを直ぐに実現することは現実には困難であるので、本初年次ゼミナールが、将来に備えたマインドセットの切り替えをするきっかけとなればよいと考えている。</p>			
成績評価方法	授業への出席と活動状況に基づいて総合的に判断する。			
授業のキーワード	物理学、独創的な研究、セレンディピティ、原子分子光物理学			
教科書	授業中に指示をする。/Will specify at class time			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

グループ4 1年理一(23,26,28-29,33,36-37)理二三(12,16,24)

31527	火 4	建築材料から考えるカーボンニュートラル Carbon neutrality of building sector from a viewpoint of building materials	丸山 一平	工学部
授業の目標・概要	本授業では、地球温暖化とカーボンニュートラルについて、前提知識、科学的知見を調査、理解するとともに建築という業界を対象に焦点をあて、カーボンニュートラルを実践する際にどういった技術開発がなされるべきなのか、どのように考えて進めるべきなのかを諸外国の動向、国内動向を調査、議論の上、理解することとともに、科学・工学的知見がどのように役立つのか、という概念を習得する。			
成績評価方法	成績は、 1. 調査した資料 2. 発表資料 3. 授業での質疑などへの貢献 4. 追加で個人で調査した資料の提出 によって評価する。			
授業のキーワード 教科書	特段の理由なく2回以上欠席した学生は不可とする。 地球温暖化、カーボンニュートラル、Embodied carbon、Operational carbon 教科書は使用しない。/Will not use textbook			
ガイダンス	書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31528	火 4	知能ロボット入門	鳴海 拓志	工学部
授業の目標・概要	ロボットは、人間・機械・情報を結ぶ知的なシステムです。ロボットは、コンピュータ単体とは違って、自ら移動したり、ものを動かしたりすることができます。生物の仕組み、特に脳神経系の働きは、知的なロボットを作るヒントになります。一方、人間以上の速度やパワー、インターネット上の知識の利用など、生物を超え得る潜在力を持っています。 この講義では、知能ロボットを構成する基本要素や知的な振る舞いの作り方を考え、学びます。ツールとしてロボットキットを用いますが、講義の主眼はマニュアル通りロボットを組み立てることではなく、知能ロボットの可能性について実践を通じて深く考えることです。最新のロボット研究の成果にも触れてもらい、知能とはなにか、現代社会で必要とされるロボット・システムとは何かを議論してもらいます。また、工学的な思考方法に親しみ、作ったものの狙いや価値をわかりやすく伝える技術を磨くことも期待しています。			
成績評価方法	授業の目標： ・ ロボットや知能といった未定義で学際的なことがらに対して、グループ討論や能動的な調査に基づいて客観的に論じることができるようになる ・ 工学の観点から問題を発見し、実際の製作を通じてそれを解決するプロセスを身につける ・ 自分の考えを整理し、適切に他人と分担して、複雑なシステムであっても、順序立てて簡潔に説明できる能力を身につける			
授業のキーワード 教科書	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 問題発見・解決型、工学/知能機械・ロボティクス、グループワーク、ものづくり、知的情報処理 教科書は使用しない。/Will not use textbook			
ガイダンス	書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31558	火 4	コンピュータビジョンを味わう	山川 雄司	生産技術研究所
授業の目標・概要	初歩的なプログラミングを学ぶとともに、実際に画像処理システムを開発します。そのシステムについてプレゼンおよびレポートにまとめ、関連する知識とともにプレゼン能力を習得する。			
成績評価方法	プレゼンテーションとレポートによる評価			
授業のキーワード	画像処理、システム、プログラミング			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31570	火 4	GIS(地理情報システム) /IoT (モノのインターネット) の農業への利活用	海津 裕	農学部
授業の目標・概要	現在の農業においては、コンピュータや無線通信機器などの情報通信技術が欠かせないものとなってきました。この授業では、地理情報システムと、IoT について、その基本を学び、その農業への利活用について考えることを目標としています。			
成績評価方法	出席と授業への参加態度、発表内容、レポートにより総合的に評価します。			
授業のキーワード	農業、社会経済学、GIS、センサ、マイクロコンピュータ、プログラミング			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31579	火 4	レーザーと光科学への導入	松永 隆佑	物性研究所
授業の目標・概要	私たちが物事を理解するためには「光」が重要です。光で視覚的に情報を認識するのはもちろんのこと、科学の発展の歴史の中でも、光の性質を利用した実験が大きく関わっており、光をきっかけに人類はこの世界に対する理解を大きく進展させてきました。			
	現代社会においても光とその関連技術は欠かせません。太陽光、蛍光灯、LED などいろんな光源が存在しますが、その中でも特に「レーザー」の光は非常に特殊です。1950 年代にレーザーが発明されたことで、人類は極めて制御性の高い光を手に入れました。それをきっかけにして光を利用した科学がさらに飛躍的に発展しています。物理学、化学、工学、生物学、医学といったあらゆる分野にレーザーは関わっています。			
	この初年次ゼミでは、レーザーが持つ特徴の一つである「一瞬のごく僅かな時間だけ光を放つことができる」という性質に注目し、その歴史、原理、実用例を含めて、光科学への理解を深めることを目指します。			
	ナノ秒、ピコ秒、フェムト秒、アト秒といった非常に短い時間スケールでは一体何が起きているのか、それを調べるため、あるいは活用するために、レーザーがどう威力を発揮しているのかを学びます。			
	学術文献を調査し、その文献を理解するために必要な物理学を自ら学び、その内容を話し合っ議論することを通じて、ひとりひとりが光科学への理解を深めることを目指します。それを通じて科学へのさらなる探求心を持っていただくことを期待しています。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	物理、レーザー、光科学、ピコ秒、フェムト秒、アト秒			
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook			
	書名 科学の技法 第2版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト			
	著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編			
	出版社 東京大学出版会			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31594	火 4	原子や分子の間に働くさまざまな相互作用	佃 達哉	理学部
授業の目標・概要	(本ゼミの概要と目的) 我々の身の回りには様々な「分子」が溢れており、様々な興味深い物性を示す。分子の集団が示す物性を決定づけているのは、分子の個性とそれらの間に働く相互作用である。分子の構造(形と電荷分布)に応じて、様々な相互作用(ファンデルワールス力、水素結合、静電相互作用など)が知られている。本ゼミでは、分子の構造とそれらの間の相互作用の関係を理解し、どのようにして物性や機能が発現するのかを学ぶ。 (本ゼミの目標) 1. 分子の構造(形と電荷分布)を決定する化学結合の基礎について理解する。 2. 分子間の相互作用の種類と物性・機能との関係について学ぶ。 3. プレゼンテーションの基本的なスキルを学ぶ。 4. 少人数でのディスカッションに慣れる。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	授業のタイプ(「問題発見・解決型」、学術分野(化学/物理)、授業のキーワード1 分子構造、授業のキーワード2 分子間相互作用)			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook 書名 著者(訳者) 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31595	火 4	解析学の基礎	下村 明洋	理学部
授業の目標・概要	大学での標準的な数理科学の立場から観ると、高等学校までの数学に於いて極限と連続性や微分積分の取り扱いはやや直観に頼ったものであり、大学での学問としての数理科学ではこの分野は厳密な理論が展開される。「数理科学の立場から厳密に記述された微分積分学(解析学の初歩)の文献の実数、極限、連続性等に関する部分」を受講生が輪講する事により、この分野に関する理解を深める事を目標とする。この科目は、受講生による発表形式で行うので、受講生が能動的に学習し発表内容を他の人に説明する能力を身に付ける事も目標とする。この分野の能動的な学習を通して、数理科学的な思考力を養う事も目標である。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	文献輪講型、数理科学/解析学、実数、極限、連続性、イプシロン・デルタ論法			
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 書名 微分積分学 I 著者(訳者) 宮島静雄 出版社 共立出版 ISBN 978-4-320-01713-9 その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31596	火 4	動物の多様性を研究する	上島 励	理学部
授業の目標・概要	動物は地球上で最も多様性の高い生物群のひとつである。動物は深海底から高山に至るまで様々な環境に適応して多様化し、その全種数は770万種にも達するとも言われる。動物の形態は多様で、神経系や消化器官が欠き体制が単純な海綿動物から、我々のように高度に発達した脳と内骨格系など複雑な体制をもつ脊索動物まで様々である。こうした動物界の多様性がどのようにして進化してきたかは、生物学の重要な研究テーマであり、様々な手法を用いて多面的に研究されている。 本授業では、「動物の多様性」をテーマとして、1) 最新の研究成果を学び、2) 野外実習を通じて身近な動物の多様性を観察し、3) 各自が関心のある課題について調査し、その結果について発表、議論する。授業は二部構成となっており、前半では「動物の表現型の発生と進化」を、後半では「動物の種レベルの多様性」に注目して、それぞれで講義、野外実習、研究発表、議論を行う。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	フィールドワーク型、問題発見・解決型、生物/動物、進化、多様性、野外実習、グループワーク			
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 書名 科学の技法 第2版: 東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者(訳者) 東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編 出版社 東京大学出版会 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31602	火 4	生きることを支える看護科学研究入門	森田 光治良	医学部
授業の目標・概要	自分たちで設定した健康に関する問題の解決のために、研究計画を立案し、調査を行い、科学的な見地から考察する過程を実際に行うことができる。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、調査・研究、健康総合科学、看護科学、公衆衛生			
教科書	その他。/Other 書名 科学の技法 第2版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編 出版社 東京大学出版会 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31529	金 1	Julia で学ぶ最適化と機械学習	松井 勇佑	工学部
授業の目標・概要	詳細な情報： https://matsui528.github.io/julia_opt_ml_2024/ 工学上の問題を数学を用いてモデル化し、それをコンピュータで解く方法を学びます。皆さんが今後直面する「実世界の問題」は、多くの場合解決することが非常に難しいです。与えられた問題に対し、それをどう数学的に表現（モデル化）するか、そして表現された問題を実際にコンピュータでどう計算するか、その作法の最初の一步を勉強します。この講義を通して、「数学的な問題というものは、ただの教科書の上の概念なのではなく、実際に計算して解を求めることが出来るんだ」ということを実感してもらえれば幸いです。本講義では「最適化」および「機械学習」に焦点を当てます。アルゴリズムを実際に調べ、それをプログラミングしてもらいます。プログラミングの際は、数式を自然に記述できる Julia という新しい言語を勉強します。本講義では、学生の皆さんにグループを組んでもらい、グループにより調査・実装・発表を行ってもらいます。最初の「グループワーク1」では、大学の講義中に習った線形代数のトピックについて、実際に計算してもらいます。二つ目の「グループワーク2」では、最適化のアルゴリズムを調査し、それを実装してもらいます。最後の「グループワーク3」では、機械学習のアルゴリズムについて調査・実装してもらいます。プログラミングの経験は問いません。講義には自分のノート PC を持ってきてもらい、その PC を使ってプログラミングしてもらいます。			
成績評価方法	出欠、参加意欲など			
授業のキーワード	プログラミング、Julia、最適化、機械学習、線形代数			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31530	金 1	化学のブレイクスルーに学ぶ(2)	細見 拓郎	工学部
授業の目標・概要	本講義では、工学部応用化学科で現在展開されている物理化学・分析化学・計算化学の世界最先端トピックを取り上げ、ブレイクスルーを生み出すきっかけとなった発見や成果をもたらした研究を通じて化学研究の魅力に触れると共にベーシックなサイエンティフィックスキルの習得を目指す。主に、ナノ材料、触媒化学、表面原子観察、などを題材として、最先端研究を牽引する研究者による話題提供や文献読解により研究背景や基本原理、実際の研究とその舞台裏、応用展開や新しい概念の創出に至るまでを順を追って学び、グループディスカッションや演習などにより理解を深める。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	応用化学、物理化学、分析化学、トンネル顕微鏡、触媒化学、ナノ材料化学			
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 書名 科学の技法： 第2版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・若杉桂輔・宮島謙編 出版社 東京大学出版会 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31531	金 1	物理のための数学ゼミ	上田 健太郎	工学部
授業の目標・概要	スマートフォンやパソコンなど、身の回りには数多の電子機器があり、私たちの生活を支えています。このような科学技術の発展には、物理学が大きな役割を果たしてきました。例えば、半導体の進歩には、数式や物理像による動作原理の理解や新技術開発が不可欠です。また、省エネルギーの鍵となる超伝導現象は、実験的・理論的研究によって機構の解明が進み、今やその発現温度は室温に到達しつつあります。			
成績評価方法	出席や発表など総合して評価する。			
授業のキーワード	物理学、問題発見・解決型、相互学習、グループワーク、サイエンスコミュニケーション			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31549	金 1	計算機の中での分子設計	横川 大輔	教養学部（化学部 会）
授業の目標・概要	本事業では、計算機を使って量子化学計算を行ってもらい、課題を少人数のグループで解いてもらい、得られた結果をスライドにまとめてもらい、授業の最後に発表してもらい予定である。本授業を通し、研究の進め方の初歩について学んでもらう。			
成績評価方法	授業の出席、授業の最終日に行う発表などにより総合的に判断する。			
授業のキーワード	量子化学、計算機、化学反応			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31571	金 1	生物の生き様を支える多様な生体分子	岡田 憲典	農学部
授業の目標・概要	生物は分子の集合体です。低分子の化学物質からはじまりタンパク質などの高分子を経て、細胞・組織・器官の階層を持つ個体が構成されます。生物の営みを理解するためには、絶妙にオーガナイズされた細胞・組織内に存在する無数の生体分子の機能を知る必要があります。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、生命科学、生体分子、タンパク質、生物活性物質、バイオテクノロジー			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31572	金 1	生物資源の持続的利用を考える	龍原 哲	農学部
授業の目標・概要	日本国土の約3分の2は森林で占められている。森林にはいろいろな機能があるが、この授業では木材資料の活用とCO2の吸収・排出という点から森林資源の持続的な利用について考える。森林の材積、成長量、炭素固定量などを把握する手法と森林の収穫計画を策定する手法を学び、再生可能な森林資源から持続的に木材を収穫するための管理の在り方について考える。ライフサイクルアセスメントの手法を学び、育林から材の利用までのCO2吸収量・排出量を算定し、森林の利用が持続的な社会形成にどのような意味や影響をもつのかについて考える。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	森林管理、森林調査、持続的利用、LCA（ライフサイクルアセスメント）			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学の技法 第2版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編 出版社 東京大学出版会 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31603	金 1	人を対象にした研究の倫理— 被験者保護の倫理を通して、生命科学・医学系研究の基礎を学ぶ	瀧本 禎之	医学部
授業の目標・概要	【概要】医学研究・薬学研究・看護学研究などの医学系研究では人を対象にした研究が不可欠である。しかし、人を対象にした医学系研究は各研究者が自由勝手に実施してよいものではない。わが国では、人を対象にした医学系研究の実施に関して多くのルールが定められており、原則として、事前に研究倫理審査を受けて許可を得た研究のみが実施可能となっている。その主な目的は被験者（研究参加者）の保護であり、研究倫理審査では、提出された研究計画書に基づいて、被験者への説明と同意取得の方法、被験者へのリスク・負担の度合い、被験者の選定方法、などが評価される。 本授業は、「人を対象とした研究」の倫理の基礎を学ぶことを通して、生命科学・医学系研究をデザインする際に必要な知識・スキル、心構えを身につけることを目指す。 【目標】 1. 「人を対象にした研究」の倫理（被験者保護の倫理）が必要になった歴史的経緯、および被験者保護の倫理の基本的な考え方を身につける 2. 医学系研究における各手法の特徴とその倫理的配慮ポイントを理解する。また医学系研究における各領域特有の倫理的問題を理解する。 3. 研究計画書を読み、そこにどのような倫理的配慮が必要なポイントがあるか指摘できるようになる。また、どのような改善方法があるか提案できるようになる。 4. 人を対象とした医学系研究を計画立案できるようになる 5. 研究倫理審査を経験することを通して、異なる背景や価値観を持つ相手と対話をおこない、多角的な視点から人を対象とした研究を評価できるようになる。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	研究倫理、被験者保護、人を対象とした生命科学・医学系研究、グループディスカッション、模擬研究倫理審査委員会			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

グループ5 1年理一(21,25,27,30-32)理二三(1-3,5,11,13,21)

31532	水 2	駒場キャンパスや周辺のまちを歩き、その空間について考える	中島 直人、樋野 公宏	工学部
授業の目標・概要	フィールド体験型ゼミナールとして、都市空間の魅力と課題、それらの要因となる要素を理解・分析し、そのことを他者に伝わるように表現する力を養います。			
成績評価方法	グループワークの成果物、発表にもとづいて評価します。			
授業のキーワード	都市計画、まちづくり、フィールドワーク			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31533	水 2	工学×デザイン～ワークショップで学ぶ理系のためのデザイン	村上 存、泉 聡志	工学部
授業の目標・概要	<p>■ 授業の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 異なるテーマのワークショップを通して、ものづくりにおけるデザイン（設計）を体験します。 グループワークによる問題設定、分析、アイデア発想、プレゼンテーションのプロセスを身につけます。 デザインに必要な基礎的な工学的知識を身につけます。 <p>■ 授業の概要</p> <p>良いデザイン（設計）とは何でしょうか。それは、単に見た目が美しいだけでなく、安全で、使いやすく、使うと嬉しくなるような人にとって思いやりのある設計を指すかもしれません。あるいは、シンプルな構造で優れた性能を発揮する巧妙な設計を意味することもあるかもしれません。この様に、ものづくりにおける「デザイン」の意味は多様です。本ゼミでは、グループワークによるワークショップを通して、ものづくりにおける多様なデザインの観点と、それに必要な方法を理解します。</p> <p>前半では、身の回りから、危険、非効率、分かりにくい、使いにくいなどの「困った」デザインを調査・発掘し、問題の本質を議論します。そして、それらを「よい」デザインに変えるアイデアを提案、プレゼンテーションします。</p> <p>後半では、軽くて安全な構造物をデザインすることを目的に、パスタで橋を作るパスタブリッジコンテストを通じて、機能を達成するための工学デザインを体験します。最終回は、グループごとに発表会を行い、それぞれのデザインについて議論します。</p>			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、機械工学／設計、デザイン、力学、理論＋実践、発想・創造			
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook			
	書名 科学の技法 第2版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト			
	著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編			
	出版社 東京大学出版会			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31534	水 2	ペットボトルと紙ではじめるエアロスペース エンジニアリング入門	水口 周	工学部
授業の目標・概要 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス	<p>飛行機や宇宙機が重力に反して高速で飛行するためには、機体重量や強度、推進性能などが厳しく要求されます。よって、限界近くまで無駄を無くすのに加え、様々な制約条件に対して最適化を行う必要があります。すなわち航空宇宙構造物には多くの物理や工学が融合し、その開発には流体力学、制御工学、推進工学、材料力学、構造力学などを含む総合工学によるアプローチが必要となります。そのため、開発プロジェクトの成功には、それら全体を俯瞰することに加え、様々な要素の役割を考えることも重要であり、最適化された各機能を統合した全体システムを構築する必要があります。このためには、プロジェクト（グループ）内のマネジメント、仕様要求や各要素インターフェースの調整が必須です。</p> <p>本講義義においては、航空宇宙工学につながるトイプロブレムとして、ペットボトルを用いた水ロケットとペーパーブリッジの2テーマに取り組みます。様々な制約条件下においてミッション（課題）を設定し、計画策定、スケジュールリング、基本設計、詳細設計、試験（実践・計測）、結果検証、改善案の考察を行います。グループワークとして課題に取り組み、役割分担、課題解決に向けた背景にある物理現象の調査、課題抽出、コンセプトの策定、設計および製作方針に関してディスカッションを行います。各段階で計画や経過についてグループ毎のプレゼンテーションを行い、全体で議論し、よりよいデザインへと改善していくことを目指します。</p> <p>テーマ①:ペーパーブリッジプロジェクト テーマ②:水ロケットプロジェクト</p> <p>初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。</p> <p>ものづくり、工学/航空宇宙工学、最適化、グループワーク、推進、構造</p> <p>次の教科書を使用する。/Will use the following textbook</p> <p>書名 科学の技法 第2版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編 出版社 東京大学出版会 ISBN その他</p> <p>第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>			

31535	水 2	AI 支援による材料開発の最前線	南部 将一	工学部
授業の目標・概要	<p>皆さんの身の回りにあるモノ。これらモノを作るうえで欠かせないのが材料です。モノづくりでは、原子や元素から物質を創り、物質を材料や部品に加工し、製品を組立てます。材料とは材料科学・材料工学の知に基づき、物質に機能という新たな付加価値を与えたものです。自然界に存在している原料から使える材料に生まれ変わらせ、さらに加工する、そのような工程を担っているのが材料関連の産業であり、自動車や電化製品などの皆さんのもとに届く製造業において欠かすことのできないパートです。従来材料開発は 10 年以上の長期間が必要でしたが、近年の急速な科学技術の発達に追随するためには、材料開発の加速化が必要不可欠です。</p> <p>本講義は、そのような材料開発研究における最先端について学びたいと思います。材料開発の加速化、最適化を可能にするアプローチとして、近年は AI を活用した研究が多くなされています。そのような情報工学的なアプローチをこれまで培われてきた材料科学・工学と融合させることで、構造材料、電子デバイス材料、医療用材料などの材料開発において何ができるのか、解説文などを題材にしながら、グループディスカッションを通じて考えていきたいと思っています。</p> <p>【 題材の例 】</p> <p>1) 構造材料のマテリアルズインテグレーションシステム：近年、マテリアルズゲノムイニシアチブに端を発し、従来の実験、理論に基づいた材料開発ではなく、さらに計算、データを融合させた材料開発が全世界で開始され、日本でも進められています。特に日本が得意とする構造材料開発におけるシステムがマテリアルズインテグレーションシステムとよばれています。今まで 10 年、20 年かかった材料開発を、AI などを活用することによって数年で実現する、そのようなシステムについて調査します。</p> <p>2) マテリアルテクノロジーと医療：ヒトの体の中で機能する材料・デバイス技術は、人工血管や心臓ペースメーカー等といった先端医療機器のキーテクノロジーです。近年、超小型電子デバイス（半導体チップ）技術を応用し、体内医療機器と人工知能（AI）を連携させる研究が世界的に進められています。デバイス・AI をヒトの体の中で機能させることは可能か？可能とするためには、どのような材料・設計・システムで作れば良いか？このような問いに対して、工学の側面から調査し、未来の医療技術について考えます。</p> <p>【 授業の目標 】</p> <p>学術論文の構成を知り、学術研究を行ううえでの基礎を身につけます。調査・研究とグループ討議や研究発表を通じ、学術的なコミュニケーション能力を身につけます。材料科学や情報科学を題材にしながら基礎研究と最先端技術との関連についての事例を学び、科学技術が社会にどのように関わり、貢献することができるのかを議論し、理解を深めます。</p>			
成績評価方法	出席、最終レポート			
授業のキーワード	「論文読解型」、材料工学、情報工学、構造材料、金属、鉄鋼、医療材料、バイオマテリアル、体内医療機器、半導体技術、ブレインマシンインタフェース			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名			
	著者（訳者）			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31536	水 2	やってみよう！化学システム工学で挑む、先端医療	太田 誠一	工学部
授業の目標・概要	<p>「ナノテクノロジー」を用いた病気の診断・治療は、次世代の医療技術として注目されています。髪の毛の太さの 10 万分の 1 のサイズで精密に設計されたナノ粒子が、生体という複雑なシステムの中で巧妙に働き、新たな診断・治療を可能とします。本ゼミでは、まずこのような医療の最先端技術について紹介します。また、背景にある化学に関する知識を、演習課題などを通して学びます。これらを土台とし、後半のグループワークでは高効率な診断・治療を実現するために必要なナノ粒子及びその投与システム全体の設計を、数理モデルなどを活用しながら提案してもらいます。</p> <p>本ゼミの狙いは、化学や関連分野の基礎知識をネットワーク化・システム化し、実際の課題解決に活用できるツールとして身につけることです。教員やディーンチングアシスタントの大学院生と密にやり取りするゼミを目指します。</p> <p>初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。</p>			
成績評価方法	「問題発見・解決型」、化学システム工学、医療、ナノテクノロジー、バイオエンジニアリング、システム設計			
授業のキーワード	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook			
教科書	書名 科学の技法 第 2 版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト			
	著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編			
	出版社 東京大学出版会			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31537	水 2	<p>「渋谷ディスカバリー～都市の自然と歴史を探索する」</p> <p>わたしたちは、日頃生活している都市のことを、どれだけ知っているだろうか？</p> <p>自分が暮らす街の空間や環境を成立させている背景、要因、経緯などを理解することは、その街にたいする知的関心や愛情を養い、街のよりよいあり方や将来の姿を考えるよい契機になる。</p> <p>この講義は、渋谷の市街地を対象に、とくに自然や歴史という切り口から、「これまでわたしが知らなかった渋谷」を発見して簡単なプレゼンテーションに表現することを通じて、渋谷という都市にたいする理解を深めることを目指す。</p>	中井 祐	工学部
<p>授業の目標・概要</p> <p>渋谷駅周辺（範囲は別途指示）の市街地を対象に、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) フィールドワークを通じて、空間的・景観的特徴を発見する 2) 近代測量図（+近世絵図等の史料）を読み解いて、①市街の構造・土地利用の形成と変遷、②地形・水系の特徴、③その他注目するポイント、を把握する 3) 上記作業に基づいて「渋谷ディスカバリー～XXXXXXXXX（サブタイトル）～」というショートプレゼンテーションPPTをグループで作成する。 <p>成績評価方法</p> <p>出席、および最終プレゼンテーションへの参加</p> <p>授業のキーワード</p> <p>都市、フィールドワーク、歴史地理、インフラストラクチャー、地形・水系</p> <p>教科書</p> <p>教科書は使用しない。/Will not use textbook</p> <p>書名</p> <p>著者（訳者）</p> <p>出版社</p> <p>ISBN</p> <p>その他</p> <p>ガイダンス</p> <p>第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				

31546	水 2	身近な物理でサイエンス	松本 悠	教養学部（EX 部門）
<p>授業の目標・概要</p> <p>簡単な測定や実験データ整理・解析、ものづくり等を実際に経験してもらい、試行錯誤や実験の難しさと計画性の重要性などを学んでもらいます。限られた材料・工具・時間の中で、自由な発想をもって、問題発見と解決方法・実験方法などを自分たちで考案してもらいます。小グループに分かれ、議論による協調学習を通して、コミュニケーション能力を伸ばしてもらいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何かを研究する時に、何が分かっているのか、何が分かっているのか、何が問題でどうやったら解決できるのか、自分の頭で考えることができるようになる ・実験データの簡単な解析方法と、そこから導かれる結論を論理的かつ客観的に論じる力を身につける ・自分の考えを、分かりやすく他人に伝え、情報を共有することで新たなアイデアや知見を得るための、サイエンスコミュニケーション能力の基礎を身につける <p>※授業オンライン化に伴い、実験を個人が自宅でできるよう見直し中です。</p> <p>※授業の目的や授業の大まかな流れは変えないつもりですが、具体的な作業や課題は変わるとして下さい。</p> <p>初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。</p> <p>（この講義での個別の評価基準）</p> <p>より良いデータ取得を目指して、独自性のある、コストパフォーマンスの良い、実験機の開発・改良ができたか</p> <p>成績評価方法</p> <p>問題発見・解決型、データ解析型、物理、小実験、サイエンスコミュニケーション</p> <p>教科書</p> <p>教科書は使用しない。/Will not use textbook</p> <p>書名</p> <p>著者（訳者）</p> <p>出版社</p> <p>ISBN</p> <p>その他</p> <p>ガイダンス</p> <p>第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				

31573	水 2	農水産物（植物と魚類）のゲノム編集について考える	津釜 大侑	農学部
授業の目標・概要	農産物（特に作物・有用植物）と水産物（特に魚類）に対するゲノム編集の利用について知り、考え、発表・議論することを通し、研究活動や社会活動を駆動する課題発見力、多角的かつ分析的な視点・思考、プレゼンテーション・ディスカッション力を養うと共に、ゲノム編集等の新技術や農学・農水産業が今後の社会において果たす役割について考察を深めることが本授業の目標です。 ゲノム編集は2020年のノーベル化学賞の基となった技術であり、生物の設計図と言えるゲノムDNAを思い通りに改変することを可能にする技術です。トマト、マダイ、トラフグについては、ゲノム編集により機能性成分含量や可食部のサイズが改良された品種が既に日本国内において流通しています。ゲノム編集のツールの開発・改良は世界中で精力的に進められており、ゲノム編集の編集方法や適用可能生物種は拡大しています。ゲノム編集生物を社会利用するための制度の整備・改良も進められています。一方、ゲノム編集生物に対して忌避感を持つ人も一定数あります。本授業では、そのようなゲノム編集に関わる様々なトピックスについて紹介し、それらに関して、個人・グループでの情報収集・ディスカッション・プレゼンテーションに取り組んでいただき、これを通して上述の目標を達成することを目指します。			
成績評価方法	授業において行っていただくプレゼンテーションの資料・内容と授業への参加度を基に評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、ゲノム・遺伝子、農学、植物・魚類、社会実装、科学プレゼンテーション・ディスカッション			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31606	水 2	"生命化学研究"と"研究者"を考える	吉本 敬太郎	教養学部（化学部会）
授業の目標・概要	【はじめに】 本授業は、「生命科学」の研究分野において「化学」が極めて重要な要素・学問であることを学び、皆さんに「今まで知らなかった"生命化学"」に出会ってもらうことを大きな目的としています。さらに、研究者という職業について深く知ること、また昨今話題となっている研究者のモラルについても考えたいと思います。研究者を公平に評価する"物差し"を皆さんとディスカッションしながら考えていきたいと思っています。 研究者を評価する物差しや化学と生命の融合領域について考えるなかで、アイディアの出し方、グループディスカッションの経験を積んでいただくことを大きな目的としています。 【授業の概要】 以下の2テーマについて、グループワークを行います。 1) 研究者を評価する物差しや化学と生命の融合領域について考える 2) 「分子認識化学」「材料化学」「生命科学」をキーワードとする境界領域研究について考える グループディスカッション後、プレゼンテーション・討論することを最終的な目標として設定しています。事前準備（議論、提案、プレゼンなどの訓練）は、基本的には本講義内で行いますが、自宅に持ち帰って作業しても構いません。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	化学（材料化学・バイオマテリアル）、生命科学、核酸医薬、幹細胞、学者・研究者、グループディスカッション			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31538	金 3	「でたらめ」の科学	合田 隆	工学部
授業の目標・概要	皆さんはサイコロの目の期待値が 3.5 であることを知っているでしょう。これは「1 から 6 までの出る目の確率が全て 1/6 である」ことから従います。もし、このことを知らなくても、実際にサイコロを何度も投げて、出た目の平均値を計算すれば、この期待値 3.5 を近似的に推定することができます。このように「でたらめ」な試行を繰り返すことによって、何かしらの値や法則を見積もる方法のことをモンテカルロ法と呼び、様々な科学技術分野で用いられています。			
成績評価方法	本ゼミナールでは、このモンテカルロ法をアルゴリズムとしてデジタル計算機上で実行するために必要な科学（数学・統計学）とその応用について扱います。具体的には、			
授業のキーワード	<ul style="list-style-type: none"> ・「でたらめ」をどう生み出すか、 ・「でたらめ」であることをどう評価するか、 ・「でたらめ」より良い方法はあるのか、 			
教科書	<p>といった点について、教科書の輪読（前半）とプログラミングによる演習・グループワーク（後半）を通じて理解を深めてもらうことを目標とします。</p> <p>グループワークへの取り組みによって評価します。</p> <p>でたらめ、乱数、確率・統計、モンテカルロ法、超一様性</p> <p>授業中に指示をする。／Will specify at class time</p> <p>書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他</p>			
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31559	金 3	数学×地域活性化！社会システム工学入門	本間 裕大	生産技術研究所
授業の目標・概要	<p>私たちが住み暮らす社会では、人、モノ、資産、情報などが縦横無尽に飛び交っています。これらは社会における血流とも言え、滞りなく循環していることが望まれます。一方で、近年、情報化やグローバル化による急速な変化に、社会システムの変化が追い付いていないのではないかとと思われることも増えてきました。いわゆる社会システムのリデザインが求められています。</p> <p>そこで本講義では、皆さんに滞りなく循環する社会システムをデザインしてもらいます。今年度は、具体的な対象地域として千葉県・銚子市に着目します。少子高齢化や人口減少に悩みつつも、太平洋を望む豊かな自然、銚子電鉄・醤油工場などの観光資源、さらには風力発電などの再生可能エネルギー施設の充実など、これからの地方都市の在り方を社会に提示できる前向きなポテンシャルを秘めています。社会現象を記述するための様々な数理モデル（※）の入門的内容を学びつつ、社会システムの課題発見から解決策の提案までの一連のプロセスを、演習形式で共に考えてみましょう。</p> <p>人はそれぞれ立場が違えば目的も価値観も違うため、社会システムに絶対的な最適解はありません。演習は、4～5 人ごとのグループワークを想定しています。様々なディスカッション通じ、社会のバランスを取る勘所と難しさを感じ取ってください。</p> <p>※ 数理最適化、確率過程、システムダイナミクス、グラフ理論、空間解析、多目的意思決定など</p>			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	社会システム、地域活性化、数理モデリング、数理最適化、空間解析			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
ガイダンス	<p>書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他</p> <p>第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>			

31562	金 3	駒場キャンパスを探索し、身近な植物を愛で、植物免疫応答を調べ、植物と共生する微生物を知る	晝間 敬	教養学部（生物部会）
授業の目標・概要	<p>授業の目的：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駒場キャンパスを探索する ・駒場キャンパスの植物を知る ・植物も洗練された免疫応答を有することを文献サーチにより知る ・実際に免疫応答の検出実験を行いその結果の考察をし発表する ・植物と共生する微生物を単離して観察するとともに、その潜在的な役割を考察し発表する 			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	授業のタイプ（「問題発見・解決型」など）、駒場キャンパス、植物種の同定、植物免疫、植物共生微生物、植物の環境適応			
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook</p> <p>書名 科学の技法 第 2 版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト</p> <p>著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編</p> <p>出版社 東京大学出版会</p> <p>ISBN</p> <p>その他</p>			
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31574	金 3	「食の問題」を科学者目線で考えよう	三坂 巧	農学部
授業の目標・概要	都市生活者にとって、農産活動を身近な存在として意識することは少なく、食料（食品）を消費する者としての立場で極めて間接的に農業と接しています。現在の我が国の食料消費においては、肥満や廃棄ロスなど過度な食の摂取にまつわる問題と、拒食や「こども食堂」など食の摂取不足にまつわる問題とが併存しています。世界的にも飢餓と飽食が発生しており、食料供給体制のアンバランスを招いている状態となっています。他方、農産活動のための様々な技術的革新は、こうした食料問題や資源環境問題を考える上で重要であり、私たちの日常生活にも少なからぬ影響を及ぼしています。この授業では比較的身近な情報源を用いて、自分たちの日常生活で発生している様々な視点から「食の問題」に目を向け、その解決に向けた方向性や具体的対策を自主的に学ぶことを目指しています。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、生物／植物・動物、食料生産、気候変動・人口増大、飢餓・飽食・プロテインクライシス、アグリテック (AgriTech)			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31583	金 3	Digital Arts and Complex Systems Sciences	池上 高志	教養学部（物理部 会）
授業の目標・概要	複雑系の科学とアート表現：大阪芸大が発刊している Boundbaw という雑誌は、現在のあーととサイエンスのもつれ具合をおしゃれに取り上げていく。これに目を通してみてください。特に SFPC = Society for Poetic Computing について、考えてみてください。 http://boundbaw.com/interview/ http://boundbaw.com/world-topics/articles/164			
成績評価方法	発表			
授業のキーワード	複雑系、人工生命、メディア・アート			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31586	金 3	薬学を支える有機化学の貢献と役割	森 貴裕	薬学部
授業の目標・概要	大学での研究、世界へ向けた成果の発信の流れを学ぶとともに、天然物合成、触媒化学、生物有機化学など、薬学における有機化学の主な内容に関する講義をアクティブラーニング形式で行う。これを通じて、最先端の研究に触れるとともに、文献調査力、理解力、討論力、発信力を強化し、研究者への第一歩を踏み出すことを目標とする。			
成績評価方法	出席で評価する			
授業のキーワード	問題発見型、薬学、有機化学、天然物、触媒			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31597	金 3	恐竜学	平沢 達矢	理学部
授業の目標・概要	自然科学のフロンティアで未知の物事を相手にしていくためには、それについての体系的な知識を身につけ適切な研究手法を考え出すことができる知的基盤が必要となる。ここでの体系的な知識とは、既存の分野の範囲内にとどまらず、むしろ分野横断的に俯瞰して構築すべきものである。 本ゼミでは、高校までの教育では扱われない「恐竜」を題材に、体系的な知識を構築し研究アイデアを立案する経験を積む。中生代に繁栄しながら絶滅してしまった動物についての謎を解明していくには、現生動物を使った実験的検証（解剖学や、細胞・遺伝子レベルの発生学等）、骨格についての工学的アプローチ、生理機能等についての理論モデルをはじめとしたさまざまな分野、手法を駆使して証拠を得ていく必要がある。その中で、いかに適切な「問い」を見つけ、それを解決するためのアプローチを着想するかが科学者としての腕の見せどころである。 本ゼミにおいて、恐竜は上記の知的基盤を身につけるための題材に過ぎないので、脊椎動物進化に興味がある学生だけでなく、特に恐竜そのものに興味がなくとも多角的な視点や手法を組み合わせる自然科学のフロンティアに挑戦していきたい学生を歓迎します。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	論文読解型、フィールドワーク型、(学術分野) 生物学、地学、(小分類) 進化学、形態学、古生物学、脊椎動物、化石、観察			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook 書名 著者 (訳者) 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31604	金 3	やってみよう！ゲノム医療	織田 克利、小川 弥穂	医学部
授業の目標・概要	ゲノムとは遺伝子"gene"と全て"-ome"を合わせた造語であり、DNAに含まれる遺伝情報全体のことを指す。それらを網羅的に調べ診断や治療に役立てる医療のことをゲノム医療と言う。ゲノム医療では、患者さんへのカウンセリング、検査説明、同意取得、検体採取、検体処理、データ解析、解釈と検討、結果説明の全過程を多職種で連携して行う。本ゼミナールでは、ゲノム医療を擬似的に体験する中で、情報検索、プレゼンテーション、コミュニケーションの能力を身につけることを目標とする。			
成績評価方法	出席及びゼミナールにおけるプレゼンテーション、ディスカッションへの参加を総合的に評価する			
授業のキーワード	ゲノム、遺伝子、網羅的遺伝子解析、遺伝カウンセリング、がんゲノム、臨床遺伝学			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook 書名 著者 (訳者) 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

グループ6 1年理一(22,24,34-35,38)理二三(17-18,22-23)

31539	水 3	地球環境と調和した未来の都市の暮らし	小熊 久美子	工学部
授業の目標・概要	産業革命以来の科学技術の目覚ましい発展により、先進国と呼ばれる国々に济む人々の生活レベルや寿命が過去にない高みに達したことは疑いの余地がない。一方で拡大した人間活動は全地球的に環境に影響を及ぼすに至り、資本主義経済のもと経済規模という形で測られてきた人類の繁栄が今後も続くのか疑問視されるようになっている。持続可能な開発というキーワードはそうした問いに対する応答であり、今日持続可能な開発目標 (SDGs) として広く社会に共有されるようになったと言えるが、そもそも「環境を保全しながら (経済) 成長し続けることが可能である」というテーゼが「どのように」可能なのか、「いつまで」可能なのか、いまだに議論が尽きたとは言い難い。			
成績評価方法	都市に住む人口の割合がさらに増加することが予想される将来、我々の暮らしはどのように地球環境と折り合いをつけ、社会経済体制はどのようになっているのであろうか? AI やロボットなどの最新のテクノロジーをきっかけ人類は地球の外へ進むのか、あるいはそれらのテクノロジーを使って環境保全と「経済」成長を地球上で両立する道を見つけるのか、はたまたスローダウンして個人の幸福度やウェルビーイングを重視する世界を志向するのだろうか?			
授業のキーワード	本講義では、サイエンスフィクションなどのフィクションや、科学技術と環境、経済に関する論考を参照しながら、ディベートやグループディスカッションによって、未来の都市の暮らしを支える資源・インフラストラクチャー・社会経済体制について想像の翼を広げて議論する。			
教科書	出席状況、毎回の Google フォーム提出状況、講義への取り組み状況 SF プロトタイピング、AI、ロボット、資本主義経済、プラネタリー・バウンダリー、持続可能な開発教科書は使用しない。/ Will not use textbook			
ガイダンス	書名 著者 (訳者) 出版社 ISBN その他 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31540	水 3	「機械を作るデジタル・マニュファクチャリング」	杉田 直彦	工学部
授業の目標・概要	・対面です。KOMCEE です。 ・自分の PC、マウスを持ってきてもらう必要があります。 ・ものづくりで必須となる、ツールである Fusion360 を体験します。 ・解析、CAD を通してイメージしたものを図面にし、3D プリンタを用いて形にします			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	ものづくり型、機械工学、生産工学、3D プリンタ、Fusion360、Matlab			
教科書	次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook 書名 科学の技法 第2版: 東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者 (訳者) 東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編 出版社 東京大学出版会 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31541	水 3	生体数理モデリング入門	富井 直輝	工学部
授業の目標・概要	<p>(授業の概要)</p> <p>COVID-19で経験したように、医療は人類にとって文字通り生命線であると言えます。医療の発展には生命現象の理解が不可欠ですが、生命現象は非常に複雑で、一見すると無秩序であるかのように見えることもあります。しかしその原理の一部は、物理の法則のようにシンプルで美しい式で説明することができます。</p> <p>本授業では、生命現象を定量的に理解する生体数理モデリングについて学びます。まずは簡単な物理モデル(振り子など)を例に、Pythonを用いた数値実験を体験します。生体数理モデルの例として、神経細胞の電気的モデルを紹介し、グループワークでは、生命現象の候補から一つを選び、どのような数理モデルで表現できるかを調査した上で、実際にプログラミングを行います。最後に、それぞれの生命現象を制御することを目的とした数値実験を計画し、その成果をグループで発表します。</p> <p>実際に生体の数値モデルを「作る」「動かす」授業を通じて、精緻な生命現象の神秘と面白さを感じ取ってください。</p> <p>(授業の目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数理モデルのプログラミングと数値実験を体験します。 ・目的に沿った実験を計画し、データから導かれる結論を論理的かつ客観的に考察する力を身につけます。 ・自分の考えを他人に分かりやすく伝える科学技術プレゼンテーション能力と、他人とディスカッションを行うコミュニケーション能力の基礎を身につけます。 <p>(授業の紹介資料)</p> <p>https://drive.google.com/file/d/1AoprfejM_YrEjwFT0zZddthpG1aGwzp9/view?usp=sharing</p>			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード 教科書	<p>数値シミュレーション、生体医工学、神経細胞・心筋細胞</p> <p>教科書は使用しない。/Will not use textbook</p> <p>書名</p> <p>著者(訳者)</p> <p>出版社</p> <p>ISBN</p> <p>その他</p>			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31542	水 3	電子回路で学ぶモデリング手法	三田 吉郎	工学部
授業の目標・概要	<p>本ゼミでは、凡そ理科を志す者にとって必須のスキルとなる「未知の現象を正確に観察、定量化し、モデルを立てて振舞いを理解する」作業を、具体的な電子回路を例にとってわかりやすく学習し、身に付けることを目的とする。</p> <p>本講義では、学生の理解の進捗を注意深く観察し、講義・演習の長短を含め柔軟に対応する。対面を基本としつつ、突発的な事情に対応できるよう配慮した講義設計とする。</p> <p>学習する回路の例:</p> <ol style="list-style-type: none"> (0) 実験設備製作体験 (1) 線形な回路、非線形な回路(スケールの議論) (2) 振動する現象 I(定常状態) (3) 振動する現象 II(過渡的応答) (4) 能動素子の考え方 (5) 増幅回路 (6) 発振回路 (7) 変調復調回路(AM 送受信機) (8) その他の素子(MEMS 等) <p>身に付けられるスキルの例:</p> <ol style="list-style-type: none"> (a) 現象を数式で表現して理解する手法 (i) スケール(ログ、リニア)を変えた特性の評価 (u) 周波数領域での事象の理解 (e) 時間領域での事象の理解と周波数との関連性 (o) 線形化による見通しのよい特性理解 (ka) 電気系で使用する様々な器具に触れる(テスタ、オシロスコープなど) 			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード 教科書	<p>講義と演習、工学/実験による現象理解、電子回路、線形回路、非線形回路、線形化</p> <p>教科書は使用しない。/Will not use textbook</p> <p>書名</p> <p>著者(訳者)</p> <p>出版社</p> <p>ISBN</p> <p>その他</p>			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31543	水 3	マテリアルズ・インフォマティクスによる 2050年の鉄鋼材料開発	白岩 隆行	工学部
授業の目標・概要	授業のキーワード「鉄」は3000年に渡り、私たちの生活と社会を支えてきました。自動車、鉄道、建物など身の回りの多くの製品には鋼材が使われています。世界最長の吊り橋の明石海峡大橋、東京スカイツリーなどのランドマークも鋼材により作られています。これから先も、鋼材が私たちの社会の基盤材料であることは間違いありません。本授業では、機械学習を用いたマテリアルズ・インフォマティクス (MI) による鉄鋼材料開発の体験と、マテリアルフロー分析を用いた2050年までの世界の鉄鋼需要の予測を実施します。マテリアルフロー分析では、日本および世界の過去 (1950-2015年) の様々なデータ (人口、経済発展 (GDP/人)、粗鋼生産量、鋼材の用途別消費量、製品の寿命など) を解析し、鋼材消費量がどのような因子と相関があるかデータ解析を行います。そして、相関解析から得た知見を基に、2050年までの世界の鉄鋼需要の予測を行います。			
成績評価方法	また近年、機械学習を用いて材料開発を加速する技術として、マテリアルズ・インフォマティクス (MI) が注目されています。授業の後半では、材料データについて機械学習することで材料特性 (疲労強度など) の予測を行います。機械学習による鉄鋼材料開発を体験することで、MI の利点や限界を学習することを目標とします。			
授業のキーワード	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
教科書	データ解析、マテリアル工学・産業エコロジー、将来需要推計、環境制約、マテリアルズ・インフォマティクス、機械学習			
ガイダンス	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 書名 科学の技法 第2版: 東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者 (訳者) 東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編 出版社 東京大学出版会 ISBN その他 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31550	水 3	化学触媒の分子デザイン	岩井 智弘	教養学部 (化学部 会)
授業の目標・概要	医薬品や電子デバイス材料に代表される現代社会を支える化学物質は、化学的性質を失わない最小構成単位である「分子」からできています。望みの分子を効率よく合成するためには、化学反応を促進する「触媒」が欠かせません。さて、触媒とは何でしょうか? これまでに触媒とは「自身は変化せずに化学反応を促進するもの」と学んできましたが、本当にそうでしょうか?			
成績評価方法	本講義では、触媒を題材に有機化学的アプローチから分子の世界に触れるとともに、自然科学の研究に必要な論理的思考力と研究発表力の習得を目指します。具体的には、2010年のノーベル化学賞の受賞研究対象である「クロスカップリング反応」に代表される金属錯体触媒を取り上げます。前半では、当該分野の研究背景と基礎的知識をグループ討論を通じて学びます。後半では、学術論文の講読を通じて既存触媒の問題点を整理し、それら課題を解決するオリジナルな化学触媒の分子デザインに挑戦します。また、研究室見学会を実施し、実際の研究活動の最前線を体感してもらいます。授業形態は、駒場キャンパス内での対面にて実施します。			
授業のキーワード	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
教科書	論文読解・演習型、化学/有機化学、分子デザイン、触媒、合成化学、クロスカップリング 教科書は使用しない。/Will not use textbook			
ガイダンス	書名 著者 (訳者) 出版社 ISBN その他 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31575	水 3	農林水産資源の持続的利用を考える	霜田 政美	農学部
授業の目標・概要	地球温暖化に伴う気候変動や人口増加、国際紛争など様々な要因によって、世界的な飢餓問題、食糧難が深刻化しており、食資源確保は私たちが喫緊に取り組むべき課題である。本テーマでは、農林水産資源の過去～現在を学びながら未来の農業・食について考える。ここでは単に食料増産するだけではなく、「食品ロス」などの有機廃棄物をリサイクルする技術開発の可能性も考慮しつつ、持続可能な未来社会の姿を想像/創造する。履修者を5班に分けてグループワークで作業する。自らテーマを設定し、情報収集と分析を行いながら議論を深め、未来社会に向けて独創性の高いアイデアやビジョンを提言していただきたい。一連の作業を通して“研究”という作業プロセスを理解する。また、グループワークによる共同での情報収集、議論の取りまとめ、自身の考えを表明するプレゼンテーション力等のスキルアップを図る。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法に従って評価する			
授業のキーワード	気候変動と飢餓問題、未来への提言、食資源の持続的利用、資源リサイクル、農業経済学、応用昆虫学			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
ガイダンス	書名 著者 (訳者) 出版社 ISBN その他 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31580	水 3	相対論について考える	酒井 邦嘉	教養学部（物理部 会）
授業の目標・概要	<p>（授業の目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> サイエンスにおける問題発見と解決方法の基礎を学び、結論だけでなく科学者の思考過程そのものを理解できるようにする。 「科学発表の3原則」である、「正しく、分かりやすく、短く」を心がけて実践に生かせるようになる。 自ら問題に取り組みながら科学研究に必要な「論理的な思考力」を磨くことで、学問の進め方の基礎を身につける。 <p>（授業の概要）</p> <p>物理学の発展の歴史に相対論を位置付け、アインシュタインの仕事を通して発見の軌跡を自分たちで追体験します。また、科学研究の成果をいかに正確に、そして分かりやすく伝えるかを重視して、議論や発表の基本を学びます。小グループ分けによる協調学習を通して、論理的な思考力を深めることを目指します。</p>			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード 教科書	<p>問題発見・解決型、物理学／物理一般、アインシュタイン、相対論、科学の基礎</p> <p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook</p> <p>書名 『高校数学でわかるアインシュタイン』</p> <p>著者（訳者） 酒井邦嘉著</p> <p>出版社 東京大学出版会</p> <p>ISBN</p> <p>その他</p>			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31598	水 3	生命を分子・情報から読み解く	上村 想太郎	理学部
授業の目標・概要	<p>2008年のノーベル化学賞の対象となったのは下村脩博士らによる緑色蛍光蛋白質（GFP）の発見とその応用であった。緑色蛍光蛋白質は生物学や医学の研究を塗り替え、いろいろな生命現象を目の当たりに見ることができるようになった。本ゼミナールでは緑色蛍光蛋白質がどう見つかろうどう使われているか、実際の観察を交えながら学習し、今後どのような可能性があるかについて各グループで調べながら考察する。さらに、生命現象を支える分子についての理解をふまえ、ゲノミクス、バイオインフォマティクス、システム生物学などそれらの全体像を捉える生物情報科学分野の近年の進展とその社会との接点（合成生物学、個人ゲノム解析、遺伝子検査など）に関して考察する。</p>			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、生物学／分子生物学、生物学／生物情報科学、生命現象のしくみ、蛍光蛋白質(GFP)、授業のキーワード3、授業のキーワード4			
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook</p> <p>書名 科学の技法 第2版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト</p> <p>著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編</p> <p>出版社 東京大学出版会</p> <p>ISBN</p> <p>その他</p>			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31544	金 4	化学のブレイクスルーに学ぶ(1)	上野 博史	工学部
授業の目標・概要	<p>化学のブレイクスルーに学ぶ(1)では、工学部応用化学科で現在精力的に研究が行われている無機化学・有機化学・分析化学系の世界最先端のトピックをとりあげ、その研究がもたらした各分野のブレイクスルーを学びます。本講義では、無機化学・有機化学・分析化学をベースにした材料開発や分析技術について、基本原理から実際の研究の様子や舞台裏、応用展開に至るまでを論文輪読、文献調査およびそれらに携わった研究者達の話の中でより身近に感じ、学ぶことができます。主に、触媒、有機エレクトロニクス、バイオ分析などを題材にして、これらの研究がどのように生まれ、どのようなブレイクスルーがあったか、また、これらの研究やその応用展開が現在どのように社会の役に立っているのかを、ゼミナール形式の授業で学習します。</p>			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、論文読解型、応用化学、触媒化学、有機化学、分析化学			
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook</p> <p>書名 科学の技法 第2版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト</p> <p>著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編</p> <p>出版社 東京大学出版会</p> <p>ISBN</p> <p>その他</p>			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31548	金 4	計算宇宙物理入門	諏訪 雄大	教養学部（宇宙地球部会）
授業の目標・概要	宇宙で起こる様々な現象は、物理を用いた観測や理論に基づいて理解が進んでいます。宇宙にまつわる物理は、原子核ほども小さいスケールから宇宙全体に至るまで、何十桁にも渡っています。ありとあらゆる物理を駆使して宇宙の現象を理解する営みは宇宙物理と呼ばれています。			
成績評価方法	本講義では、宇宙物理という体系の一端を体感するとともに、自分の手で宇宙の現象を計算することを目標とします。特に、現代の研究で必須であるコンピュータを用いた数値計算に挑戦してもらいます。宇宙にある現象は幅広いので、どのようなテーマの計算を行うかを講義中に議論を通して決定し、いくつかのグループに分かれて学習および作業をしていただきます。			
授業のキーワード	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
教科書	宇宙、物理、天文 教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31565	金 4	海と空を知ろう	宮川 知己、乙坂 重嘉	大気海洋研究所
授業の目標・概要	本授業は、大気海洋研究所所属の教員2名のリードのもと、「海」と「空」について様々な側面から掘り下げて考える機会を提供します。「能動的」な学びの過程を通じて皆さんに「研究」の初歩を体験してもらうことを目指します。海洋・気象に関する予備知識は必要ありません。むしろ、海や空について学んだことのない方の履修を歓迎します。			
成績評価方法	本授業で主に行うのは、調べる、まとめる、発表する、議論する、といった作業です。教員の発表を学生が聞く時間は必要最小限にし、学生が主体的に参加し進めてゆく授業となります。			
授業のキーワード	大気海洋研究所の乙坂 重嘉准教授が副担当教員となります。			
教科書	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 議論・調査・発表、海洋・気象・物理・地学・化学・生物 教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 科学の技法 第2版：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編 出版社 東京大学出版会 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31576	金 4	地球環境温故知新	児玉 武稔	農学部
授業の目標・概要	目標： 1) 出版物として残る数十年前の地球環境の報告値と現在の地球環境の報告値を調べる過程で、論文や報告書を読む能力・データベースへのアクセスの方法を身につける。 2) 過去・現在数値を比較していく過程で、科学に必要な統計解析処理能力を身につける。 3) 得られた結果を視覚化・伝える作業を繰り返すことで、科学的なコミュニケーション能力を高める。			
成績評価方法	概要： 「2023年夏の平均気温は観測史上最高でした」。これは、私たちがよく耳に・目にした言葉です。では、「平均気温」とは足して割れば良いのでしょうか。「観測史上」とは何年でしょうか。観測史上最高だったのか「気温」だけなのでしょうか。様々な地球環境問題が皆さんの耳に・目にする眼にする形で報じられる背景には、科学的な調査・観測によるデータ収集とその解析が実施されています。この授業では、(1) 地球環境に関する過去・現在の報告書や論文をインターネットもしくは図書館から探してもらい、(2) そのデータを再収集、デジタル化し、(3) 解析を実施し、(4) その結果を発表してもらいます。その過程で、「定量的な評価」方法を各自に身につけてもらい、科学的なコミュニケーション能力の上達を考えます。例えば、数値データベースが充実している「気温」であれば、日本の気温、世界の気温の変動を調べ、場所ごとの特徴まで結果として発表することを狙いますし、データベースが充実していない「生物の出現状況」では、その生物について触れられている論文・報告書を網羅的に調べ、データベースを構築し、数十年前と今で比較した結果を発表することを狙います。これらの作業は、効率的な作業と解析のために、最低2名以上のグループで協働することを求めます。			
授業のキーワード	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 論文読解・実験データ解析型、農学・環境科学/地球環境、生態系、文献検索、データ解析、グループワーク 教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31577	金 4	気候変動に脆弱なサンゴを飼育する	安田 仁奈	農学部
授業の目標・概要	海洋生物の飼育実験を体験する。研究の意義について考える。 グループワークを楽しむ、プレゼンテーションのスキルを身に着ける			
成績評価方法	調べものと議論、飼育実験、発表へのグループへの貢献の積極性			
授業のキーワード	サンゴ礁生態系、気候変動、飼育実験			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31578	金 4	私たちの身近にあるワンプクなタンパク質を 科学する	村田 幸久、小林 幸司、永 田 奈々恵	農学部
授業の目標・概要	生体内で起こるほとんどすべての生命現象はタンパク質を必要としています。タンパク質はアミノ酸が連結した高分子ですが、その配列によって機能が異なります。例えば、代謝（化学反応）にかかわるタンパク質（酵素）、物質輸送にかかわるタンパク質、貯蔵にかかわるタンパク質、運動に必要なタンパク質、生体構造を維持するタンパク質、情報を伝えるタンパク質など多様なものが存在します。我々は、これらのタンパク質を取り出し、食べることによって栄養素として、あるいはいろいろな産業応用をして、実生活に役立てています。そこで本講義では、私たちの身近にある事柄から興味深いタンパク質を選び、その性質を調べて利用法などを考えると同時に、その重要性を理解してもらいます。この経験をもとに、他の人たちに、そのタンパク質の重要性を納得してもらえようツールを作ることを目標とします。 本年度この講義を担当する田口恵子先生と村田幸久は農学部にてアトピー性皮膚炎や食物アレルギーの研究を行っています。高分子であるタンパク質が体に異物として捉えられることで起こるこれらの疾患の発症機構に関する最新情報や診断、治療方法の開発などについても紹介します。 ★また講義の2~3回分を農学部の研究室での実験体験に充てる予定です。5月25日土曜日の午後（13時から16時半）に弥生キャンパスで行いますので受講者は日程の確保をお願いします★ 【授業の目標】 ・グループワークを通じて、集団での問題設定、情報共有、討論、役割分担などコミュニケーションスキルを身につけます。 ・自分たちの知りたい科学情報を検索する手法を習得します。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 （この講義での個別評価基準） 自分で考え、自分で課題を見つけ出す			
授業のキーワード	問題発見・解決型、生物・タンパク質・アレルギー、グループワーク、ツール作成			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31582	金 4	脳の暗号解読方法	大泉 匡史	教養学部（物理部 会）
授業の目標・概要	<p>脳は神経細胞集団が電気的な信号をやりとりすることによって、高度な情報処理を行うシステムである。従って、神経細胞集団の電気的な活動の中には、様々な情報(視覚・聴覚・思考・感情・意図, etc.)が「暗号化」されていると考えることができる。脳の暗号を正確に読み取る方法(「デコーディング」と呼ばれる)を確立させることは、脳という情報処理システムを理解する上での一つの究極の目標と言える。この講義では、近年、急速に質・量ともに大幅に向上している脳計測データを実際に解析し、脳計測データから脳活動が暗号化している情報を、統計や機械学習の手法を使って読み取る方法論を学ぶ。</p> <p>脳計測データは公開されているデータから自分が興味のあるデータを選ぶ。講義では、はじめにデータを選ぶために必要な、神経科学分野の論文の読解方法を学ぶ。次に、そのデータを解析するのに必要な、初歩的なプログラミング技術、統計、機械学習の基礎を学ぶ。はじめは既に報告されている解析結果の再現を行い、可能であれば自分なりに簡単なテーマを設定して、脳活動データの解析を行い、解析結果を報告することが最終的な目標となる。</p> <p>講義の目標は以下である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公開されているデータを探索し、活用する技術を身につける。 2. データ解析のための基礎的なプログラミング技術を学ぶ。 3. 脳情報のデコーディングに必要な基礎的な統計、機械学習の方法を学ぶ。 4. 自分なりの簡単なテーマを設定して、脳活動データの解析を行う。 			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	授業のタイプ (実験データ解析型)、脳科学、脳情報デコーディング、プログラミング、統計、機械学習			
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook			
	書名 科学の技法 第2版: 東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト			
	著者 (訳者) 東京大学教養教育高度化機構 Educational Transformation 部門・若杉桂輔・宮島 謙編			
	出版社 東京大学出版会			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31599	金 4	地球惑星物理学への導入 : 宇宙環境と大気海洋	升本 順夫、関 華奈子	理学部
授業の目標・概要	<p>地球惑星科学における基礎知識と論理的思考力、数量的スキルの涵養を目指す。そのために文献調査、観測データや理論モデルを用いた科学解析、解析結果にもとづいた科学的議論、成果発表を行い、最先端研究を体験する。前半は熱帯域の気候変動に伴う大気と海洋の変動に関するデータの解析を体験し、後半は宇宙環境科学に関する文献調査・データ解析・将来の科学探査の検討を行う。</p> <p>(1)大気海洋科学 大気と海洋は日々変動をしているが、その変動はさまざまな測器を用いて観測されている。このような観測データから変動のメカニズムを解明するための情報を引き出し、そこから何が分かるかを吟味することは科学研究の基本となる。本ゼミでは、地球の熱帯域で得られている観測データを用いて、太平洋のエルニーニョ現象などの数年規模で変動する現象に注目し、大気海洋の変動過程を理解するとともに、それらの発生機構に関する議論を試みる。</p> <p>(2)宇宙環境科学 地球をとりまく宇宙空間は太陽活動によって大きく変動するプラズマの世界である。人類のフロンティアが宇宙へと拡大するに従い、オーロラや宇宙放射線増加など宇宙環境変動現象の予測精度への要請も上がってきている。本ゼミでは、宇宙環境計測データの解析や文献調査を行い、宇宙環境変動を引き起こす物理機構を理解するとともに、将来どのような科学探査が必要かについて議論を行い科学目標や観測内容の検討を行う。</p>			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	講義・輪読・解析実習、大気海洋変動・気候変動・大気海洋相互作用、宇宙環境変動・宇宙天気現象、科学衛星観測・将来ミッション			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook			
	書名			
	著者 (訳者)			
	出版社			
	ISBN			
	その他			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31605	金 4	マウスを対象とした光遺伝学と光学計測による脳科学研究入門	蝦名 鉄平	医学部
<p>授業の目標・概要</p> <p>成績評価方法</p> <p>授業のキーワード</p> <p>教科書</p> <p>ガイダンス</p>	<p>複雑な脳の機能がどのように実現されているかを知るためには、脳の構成要素である神経細胞の活動を計測して、脳の機能と神経活動の対応を明らかにしたり、神経活動を制御したときに知覚や認知、運動がどのように変化するかを明らかにしたりすることが重要です。このような技術として、最近では「光」を使った方法の開発や利用が盛んで、マウスなどのモデル動物を対象として特定の神経細胞の活動だけを選択的に制御したり、数百～数千の神経細胞活動を同時に計測したりする事もできるようになっています。本講義ではこのような光遺伝学と光学計測の技術に焦点をあてて、これらの技術を利用した脳科学研究の基礎や最新の動向に関する講義を行います。また、グループワークとして関連する文献の調査や研究計画の立案と発表、質疑応答を行い、これらの内容をレポートにまとめてもらいます。</p> <p>(授業の目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文献を検索し、内容を理解できるようになる。 ・先行研究を発展させ、新規の知見を得るために必要な方法を考える事ができるようになる。 ・自身の考えを他人と共有し、議論を通して新たなアイデアや知見を得るためのプレゼンテーション能力やレポート作成能力の基礎を身につける <p>初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。</p> <p>問題発見・解決、論文読解、光遺伝学、チャンネルロドプシン、カルシウムイメージング</p> <p>授業中に指示をする。／Will specify at class time</p> <p>書名</p> <p>著者（訳者）</p> <p>出版社</p> <p>ISBN</p> <p>その他</p> <p>第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>			

基礎科目 社会科学

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30541	S	法 I	小峯 庸平	法・政治	火 5	1年 文二 2年 文二
講義題目	法学入門					
授業の目標概要	この授業では、教科書に掲げられた法律学に関する問題を素材として、法律学を学ぶために必要となる基礎的な知識・思考方法を修得することを目指します。また、学んだ知識・思考方法に基づいて、実際の問題について自分で考え、一定の結論を出すことができるようになることも目指します。					
成績評価方法	期末試験によります。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 江藤祥平ほか 大学生活と法学 有斐閣 978-4-641-12631-2					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30580	S	法 I	小粥 太郎	法・政治	水 1	1年 文一 2年 文一
講義題目	法学入門					
授業の目標概要	法学部における学びの入門。法学部で行われる実定法（憲法、民法、刑法、行政法、民事訴訟法、刑事訴訟法等）の授業ではどのようなことを学ぶのかについて、おおまかな話をします。法学部に進学する予定の学生にとっては法学部での学びの導入に、後期課程の進路未定の学生にとっては進路選択の参考になることを企図しています。					
成績評価方法	主に期末筆記試験によります（8割の予定）。 学期中に何回かコメントを提出をしていただき、その内容も副次的に成績評価の資料とします（2割の予定）。 コメントの課題に関する具体的な内容は授業時に説明します。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30581	S	法 I	弥永 真生	法・政治	水 1	1年 文三 2年 文三
講義題目	社会における法の役割					
授業の目標概要	主として社会・ビジネスにおいて、法がどのような役割を果たしているのかについて、ニュース記事などを題材にして、解説を加える。そのプロセスにおいて、法律学〔主として、私人間の関係を規律する私法〕の基本的知識を併せて理解していただくことを目的とする。					
成績評価方法	グループ・レポート(1グループ5人以内。ただし、1人で提出することも認める)40点 期末試験 60点 の割合で評価する。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30161	S	政治 I	平松 彩子	法・政治	月 3	1年 文二 文三 2年 文二 文三
講義題目	理論と比較の政治学					
授業の目標概要	政治学、特にその内でも比較政治学分野で重ねられてきた議論の概略について学ぶ。比較政治学は、主に第二次世界大戦後のアメリカ合衆国において、西欧先進国や日本のみならず途上国までを含む広い地域にわたる、アメリカにとっての「外国」の国内政治を比較分析する学問として始まった。この授業ではそこで展開された理論を複数取り上げ、理解を深める。その内容は、世界各地で起きた（あるいはいま現在進行形で起きている）社会や政治の事象を理解し考察する上で、こんにちでも有用であることが多い。しかし同時に、アメリカ固有の歴史あるいは地理的経験を分析者の側が共有していなければ、時にその理論の妥当性について疑問を抱く場合もあるかもしれない。その際には、なぜその理論がアメリカの文脈において妥当だと考えられたのか、またその理論が抱える可能性と限界がどこにあるのかについても、批判的考察ができるようになることを目指す。					
成績評価方法	期末最終試験（100%）					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 粕谷祐子 比較政治学 ミネルヴァ書房 978-4-623-07144-9					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30162	S	政治 I	内山 融	法・政治	月 3	1年 文一 2年 文一
講義題目	政治学の基礎概念と基礎理論					
授業の目標概要	政治学の概念や理論は、政治を認識する際の有益な道具である。本講義では、政治学の基礎的な概念や理論を学ぶことにより、政治現象を見る際の「目」を養うことを目的とする。「政治」、「権力」、「デモクラシー」といった基本的な概念や、それらに関する理論について、できるだけ具体的な事例も交えつつ解説する。					
成績評価方法	学期末に対面での筆記試験を行う。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30163	S	経済 I	岡地 迪尚	経済・統計	月 3	1年 文科 2年 文科
講義題目	経済学入門 Introductory Economics					
授業の目標概要	ミクロ経済学・マクロ経済学の基礎的な部分を学習する。 We study the basic parts of microeconomics and macroeconomics.					
成績評価方法	期末試験					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30542	S	経済 I	樋渡 雅人	経済・統計	火 5	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	発展途上国における経済分析 発展途上国の経済・社会課題を対象に、経済学をはじめとする社会科学分野の学問がどのように貢献できるのかを考えてゆきます。単なる知識の習得にとどまらず、途上国に山積する課題を考える上での「ものの見方」を養うことを目指します。また、学術的研究と現実の社会経済問題の接点について積極的に扱い、受講学生が、学問の意義について考える契機とすることも目指します。					
成績評価方法	原則として期末試験による。学期中に小テストを実施した場合には、結果は評価に含まれる。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30164	S	社会 I	橋本 摂子	社会・社会思想史	月 3	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	近代社会と官僚制 この講義では「社会とは何か」という社会学における根源的な問いから、官僚制をキータームにわれわれの生きる近代社会特有の諸問題を把握する。特に官僚制の極限事象とみなされる全体主義とホロコースト、その後のアイヒマン裁判および裁判をめぐる論争を学び、現代に通底する問題構成を理解する。					
成績評価方法	例年学期末レポートを中心としますが、今年度は定期試験にて論述試験を実施する可能性があります。詳しくは講義内にて説明します。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30543	S	社会 I	市野川 容孝	社会・社会思想史	火 5	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	社会学入門 社会（科）学が誕生した経緯を歴史的にふりかえりつつ、社会学の基礎概念・基礎理論を学習し、それらをふまえながら現代社会の諸問題を考える。					
成績評価方法	開講後に、授業において説明する。2回目以降の各回の冒頭（15分間）で、復習ミニレポートを作成・提出してもらう予定。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30544	S	数学 I	坂井 秀隆	数学	火 5	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	数学 I 文科生向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、順序は異なることがある。					
成績評価方法	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30556	S	数学 I	木田 良才	数学	水 1	1年 文一二(1-14)文三(1-11) 2年 文一二(1-14)文三(1-11)
講義題目 授業の目標概要	数学 I 文科生向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、順序は異なることがある。					
成績評価方法	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 新 微分積分 I 改訂版 大日本図書 978-4-477-03343-3					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30557	S	数学 I	植田 一石	数学	水 1	1年 文一二(15-28)文三(12-20) 2 年 文一二(15-28)文三(12-20)
講義題目 授業の目標概要	数学 I 文科生向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、順序は異なることがある。					
成績評価方法	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。					
教科書	授業中に指示をする。/Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30545	S	数学 II	志甫 淳	数学	火 5	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	数学 II 文科生向けの、ベクトルと行列に関する基礎的内容や、計算手法を理解するための科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を総合科目「数理学概論 II」で学ぶことができる。					
成績評価方法	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 村上正康, 佐藤恒雄, 野澤宗平, 稲葉尚志 教養の線形代数 六訂版 培風館 978-4-563-01205-2					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30582	S	数学 II	北山 貴裕	数学	水 1	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	数学 II 文科生向けの、ベクトルと行列に関する基礎的内容や、計算手法を理解するための科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を総合科目「数理学概論 II」で学ぶことができる。					
成績評価方法	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。					
教科書	授業中に指示をする。/Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

基礎科目 人文科学

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30165	S	哲学 I	齋藤 幸平	哲学・科学史	月 3	1年 文科 2年 文科
講義題目	哲学の重要トピックについて					
授業の目標概要	哲学とは何を探究する学問でしょうか？ 哲学者はどのように社会の訳に立つのでしょうか？ 医学や法学と比較すると哲学の研究対象は曖昧で、哲学を勉強する意味も不明瞭に感じられることでしょうか。そして、哲学はギリシャ時代からずっと同じような問いを思考し続けており、自然科学と比較して、進歩のない学問のように思われるかもしれません。そこで、この授業では、哲学の根本問題のいくつかを、現代の諸事象（A I、フェイクニュース、環境問題）に結びつけながら、哲学とは何か、哲学の根本問題の重要性を考えていきます。					
成績評価方法	学期末の筆記試験（70%）と学期中のリアクションペーパー（30%）によって評価します。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30583	S	哲学 I	鈴木 貴之	哲学・科学史	水 1	1年 文科 2年 文科
講義題目	哲学の根本問題から哲学とは何かを考える					
授業の目標概要	哲学の根本問題の多くは、古代ギリシア時代から論じ続けられているものです。しかし、哲学という学問には、その時代から大きな進歩がないようにも見えます。このことは、哲学の問いは無意味な問いであることや、それらは別の方法で探究した方がよいことを示唆しているのでしょうか。そうではないかもしれません。哲学の根本問題は、われわれが当然成り立つと考えている一連の事柄がじつは整合的でないということや、一見説明できてあたりまえの事柄にじつはきちんとした説明を与えることができないことを明らかにするものだからです。哲学の根本問題は、われわれの常識的なものの見方には重大な問題が潜んでいることを示しているのかもしれません。 この授業では、哲学の根本問題のいくつかを題材として、哲学とはどのような学問なのか、哲学の問題は他の学問が扱う問題とどのように異なるのか、哲学の問題に正解はあるのか、といったことについて考えていきます。					
成績評価方法	学期末の筆記試験（70%）と小レポート（30%）の内容によって評価します。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30546	S	倫理 I	越門 勝彦	哲学・科学史	火 5	1年 文科 2年 文科
講義題目	倫理学入門：道徳と幸福は両立するか					
授業の目標概要	道徳（正しく生きること moral life）と幸福（よく生きること good life）は両立しうるのかという問題を、さまざまな倫理学説を参照し批判的に検討しながら考える。 主要な倫理理論についての基礎的な知識を獲得し、それを用いて道徳の存在理由について深く思考できるようになることが目標である。					
成績評価方法	定期試験で評価する。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30166	S	歴史 I	岡田 泰平	歴史学	月 3	1年 文科 2年 文科
講義題目	東南アジア史概説——人と時代					
授業の目標概要	東南アジア史というなじみのうすい世界の歴史を学ぶにあたり、いつも何をどう教えたら良いのかと悩みます。王や王朝の名前やこまごまとした社会史的な事項を教えてもあまりピンとこない学生さんも多いことでしょうか。基本的には、歴史は何かを記憶することではなく、過去の出来事や思想から、現在を生き抜き、未来を切り開くヒントを得ていく営みです。特に東南アジアは「風下の地域」と呼ばれるように、文明の中心にはならず、常に地域外からの移民を受け入れ、混沌としていながらも、多様で豊かな文化をはぐくんできました。学部1、2年生向けの授業として、時代背景のことは話しますが、なるべく人物に焦点を当て、この地域の歴史を学んでいきたいと思います。					
成績評価方法	受講生の数にもよりますが、チャット GPT のこともあるので、たぶん期末の筆記試験にします。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30167	S	歴史 I	田中 創	歴史学	月 3	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	ローマ帝国とローマ法の歴史 共和政から帝政へと変容し、さまざまな問題に直面した古代ローマ帝国がどのような法制度を発達させて、現実社会に 適応したのかを通覧する。その中で、現代社会にまで影響を及ぼしたローマ法が発達した歴史的・文化的背景について の理解を深めることを目標とする。 授業では古代ローマの歴史を講義形式で概観する一方で、いくつかの史料翻訳を具体的に取り上げながら、それぞれの 時期の国制や統治領域の変化に応じて発達した法制度の諸相を考えていきたい。 本講義は、法律上の概念や政治思想を論じるものではなく、主として所与の史資料がどのように我々のもに残された かを考察することで、史料の扱い方に関する基本的姿勢を身につけることを目的とする。					
成績評価方法	授業後に提出するコメントシートと、学期末レポートで評価する。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30547	S	歴史 I	中野 耕太郎	歴史学	火 5	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	歴史学の思考法（1） 「歴史を学んで何になるんだろう」——年号や人名の暗記に苦しんだ受験勉強の最中に、そんな風に思ったことはない だろうか。しかし歴史学とはもちろん暗記ではない。「史料に基づき過去の人間生活の事象を研究する学問」である。そ れは専門的な学問領域であると同時に、“歴史学的にみる・考える”という普遍的な思考力を身に付けるためのトレー ニングでもある。物事を常に長期的な視野で見える姿勢、経験不可能な物事に対するリアルな推測力、「現在」を相対的に視 る力——歴史学によって必然的に養われるこれらの力（＝歴史学的思考）は、過去を振り返るときだけでなく、今を生 き、未来を踏み誤らないためにも必要不可欠のものだろう。 こうした認識に基づき、前期課程の学生が、歴史学的思考法とは何かを知り、“歴史学的にみる・考える”力を養うこ とができるよう、教養学部の歴史学教員は、「歴史Ⅱ：歴史学の思考法（1）」（S セメスター開講）と「歴史Ⅰ：歴史学 の思考法（2）」のふたつの授業をリレー講義形式で行うことにした。いずれも5名ずつの教員からなり、両方受講しても、 いずれか一方を受講しても差し支えないよう、内容やバランスを加味して構成してある。 歴史学の研究とは、どのような発想と手法によって進められ、その結果どのような歴史像が描き出されるのか。歴史学 を専門的に学びたい学生ばかりでなく、歴史学的思考法を身につけたいと考えるすべての文科生に受講してほしい。 授業内課題と期末試験で評価する。					
成績評価方法	授業内課題と期末試験で評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学教養学部歴史学部会編 『東大連続講義 歴史学の思考法』 岩波書店 9784000614061 2,000 円＋税					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30584	S	歴史Ⅱ	外村 大	歴史学	水 1	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	戦後日本の歴史 現代に生きる者が直面している問題についてその起源にさかのぼってそれがなぜ発生したか、どこに問題があるかを解 明するために、戦後日本の歴史を振り返っていく。その際には、戦後日本の政治や経済、社会のあり方の枠組みが形成 される 1960 年頃までを特に重視して詳しく述べるが、授業自体は 1990 年代までを扱う。また、これまでの歴史研究で 見逃されがちであった、マイノリティの活動やアジア近隣諸国との関係についても、意識的に論じていく。 その際には、同時代の史料をなるべく多く提示して、それを批判的に読み解く機会も設ける。それを通じて歴史学の手 法の初歩を学んでいく。					
成績評価方法	授業に対するコメントやレポートをもとに評価する。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30585	S	ことばと文学 I	田中 伸一	英語	水 1	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	音の文法：言語音への言語学的アプローチ ことばによる表現を通して人間の真理を探究するのが文学だとするなら、ことばそのものの体系を通して人間の真理を探究するのが言語学である。つまり、ことばによる表現を可能にするところ（脳内）のシステム＝文法の探究である。その意味で、文学の根底にあるのが言語学である。そして、そのシステムは意味の文法と音の文法から成り、「雨」と「飴」、「日本・文学協会」と「日本文学・協会」の違いのように、然るべき意味は然るべき音により保証される。声に出さなくとも黙読でもこの区別がなされることから、音の文法はあくまで脳内システムであって、声に出してなんぼの発音学（音声学）とは異なる。					
成績評価方法 教科書	この授業では、こうした「音の文法」--- 言語音の分布や変化の法則性やシステムを扱う分野（音韻論）の接近法を学ぶことを通して、現代言語学の目標や発想などを理解することを主眼とする。題材は日本語に観察される身近な音声現象であり、方法論も特定の理論に左右されない一般的なものを用いるので、前提知識は不要である。 評価は、出席や発言など授業参加の積極性30%、小テスト20%、期末試験50%の配分にて決める予定。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 窪菌晴夫 『日本語の音声』 岩波書店 978-4000066921					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30586	S	ことばと文学 I	川崎 義史	スペイン語	水 1	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	計量言語学・計算言語学入門 この授業の目標は、統計的手法や計算機を用いた言語の分析方法について理解を深めることです。					
成績評価方法 教科書	小課題と期末試験 教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30548	S	ことばと文学 II	谷口 洋	国文・漢文学	火 5	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	中国古代の歌謡と物語 紀元前中国の歌謡と物語について講述する。 作品を紹介したり鑑賞したりするのはもちろんだが、文科のみの選択必修科目として、古代文学を研究するとはどういうことかという問題についても考える。授業の中では、文学というものに普遍的な問題、古代という時代に関わる問題、中国固有の問題、それらが時に絡み合いながら出てくることになる。 作品を読んで味わっているうちは楽しいが、いろいろな問題に突き当たると悩むこともあるだろう。古代は資料も少なく、スカッと結論が出ないことも多い。そのせいか大学院生には人気がない。でも、問題が多いことは、やりがいがあることでもある。頭の柔らかい前期課程のうちに、たくさん読み、たくさん考え、たくさん話し合ってみよう。 文学が好きな人、古代文明に関心のある人、中国に興味を持つ人、いずれも歓迎する。授業内容を理解するのは目標の半分であって、そこに現れるさまざまな問題をふまえ、自らの関心に沿って問題意識を持てるようになることが最終的な目標である。					
成績評価方法	学期末のレポートを主とする。学期中の小レポートや感想の提出状況、授業時や授業後の質問や意見交換の状況などを、適宜勘案する。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30168	S	ことばと文学Ⅲ	出口 智之	国文・漢文学	月 3	1年 文科 2年 文科
講義題目	日本近代文学研究の緒					
授業の目標概要	日本の近代～現代に書かれた複数の小説を取上げ、近代文学研究のための基礎的な術語や視点、概念を学びつつ、文学作品の分析や研究方法について概説する。とりわけ、前期課程の科目として、高校までの国語教育とは異なる専門的な文学研究の方法・考え方を身につけることを重視する。そのうえで、講義で解説する方法や理論等の基礎を理解し、それを手がかりにして自分で作品を学術的に論じる力を身につけてほしい。					
成績評価方法	レポート 100%。ただし、講義で話した内容をまとめることは求めないし、それは成績評価の対象にならない。質問を受けることが非常に多いので、事前にシラバスに記載しておく、レポートの課題は、講義で学んだ考えかたや方法、論じかたなどを身につけ、自分のものにして応用することにより、別に指定する短篇小説（講義終盤で告知する）を分析することである。参考文献は調べてもよいが、有用な先行研究が存在しない、場合によってはブログ等で誤読が流通しているような作品をあえて選定するので、テキストに隠された意味や力学、構造などを自力					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 貴志祐介 青の炎 角川文庫 978-4041979068					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30169	S	ことばと文学Ⅳ	佐藤 光	英語	月 3	1年 文科 2年 文科
講義題目	ウィリアム・ブレイク講義——文学研究とは何か／Lectures on William Blake					
授業の目標概要	ウィリアム・ブレイク (William Blake, 1757-1827) は英国ロマン派詩人の一人であり、画家であり、銅版画職人です。自作の詩を自作の絵と共に印刷して彩色しました。ブレイクのテキストには、アメリカ独立、フランス革命、産業革命など、時代と社会に対する応答という性質があります。この授業では、ブレイクとその周辺のテキストを読みながら、(1) テキストの精読とは何か、(2) 文学研究の現場で何をしているのか、をお伝えします。各回のテーマとしてブレイク理解のための鍵言葉を設定しましたが、ブレイク以外の文学研究にも応用してください。ブレイク周辺のテキストとしては、英文学以外に千家元麿、三木露風、岸田劉生、大江健三郎などをとりあげる予定。文学研究のための方法論の修得を目指してください。					
成績評価方法	学期末試験（持ち込み可）					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

基礎科目 人文科学

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30170	S	心理 I	四本 裕子	心理・教育学	月 3	1年 文科 2年 文科
講義題目	心理学概論					
授業の目標概要	ヒトや動物の心や行動を対象とする心理学は、その科学的測定の特殊さゆえ、誤った理解や理論が社会に広がることも多い。心理学は、人間の心と行動の理解を目指す歴史ある学問であるが、心理学における研究手法は、科学技術の発達とともに常に変容しつづけている。本講義では、これまでの心理学実験の例やそこから導きだされた理論を学ぶことにより、心理学の基礎を学術的に理解することを目標とする。					
成績評価方法	筆記試験					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30549	S	心理 I	岡ノ谷 一夫	心理・教育学	火 5	1年 文科 2年 文科
講義題目	心理学概論					
授業の目標概要	心と行動の文理融合科学としての心理学 本講義では心理学の成り立ちと人の心の基本的な仕組み及び働きを学ぶ。動物の行動を説明するのに心に言及することは擬人的とされ、科学的な態度ではない、とされてきた。自分以外の他者（ヒト、動物、機械）の心的状態は体験不能であり推測するしかないのだから、それはやむを得ないともいえる。しかし、人間を対象とした研究は、他者に心があることを前提としているのに、擬人的であるという批判はされない。この非対称性はなぜ起こるのだろうか。この非対称性を解消するためには、動物や機械にも心がある可能性を受け入れるか、自分以外の人間も含め、心があることを前提としない学問体系を作る必要がある。心理学という学問領域は、この2つの態度を右往左往してきた。そしてそれは今も変わらない。情報科学と生物科学の進捗により、心と行動の科学は今大きな変化を必要としている。このような状況で、心理学として何を学んでゆくべきなのか、共に考えよう。					
成績評価方法	授業時間中に行う小テスト（いつ行うかは明示しない）を3割、期末試験を7割として成績を評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 鹿取廣人ら編 心理学 第5版補訂版 東京大学出版会 978-4-13-012117-0					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

基礎実験Ⅲ・基礎実験Ⅳ

基礎実験Ⅲ・基礎実験Ⅳ		開講区分	S	
授業の目標・概要	<p>自然科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する。</p> <p>1) 将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法と概念を理解できるようにする。</p> <p>2) 基礎講義の内容を、基礎実験によってよりよく理解できるようにする。</p> <p>3) 未知の自然現象の解明を目的とする科学実験に必要な観察力・姿勢を養い、自ら実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする。</p>			
授業の方法	<p>月曜から金曜の指定された曜日に週1回受講する。実施日程、実験種目ローテーション、事前準備などに関しては、UTASもしくはITC-LMSに掲示するので、前もって確認しておくこと。</p> <p>【関連ホームページ】</p> <p>◆基礎実験（物理学）：http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/kisobutsurigakujikken/</p> <p>◆基礎実験（化学）：http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/chemistry/exp/index.html</p>			
成績評価方法	成績は、出席、予習、実験ノート、後片付け、提出物（物理学実験は実験ノート、化学実験は実験報告書）で評価する。			
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook</p> <p>書名 基礎実験（物理学）は『基礎物理学実験』（学術図書出版社）、基礎実験（化学）は『基礎化学実験』（東京化学同人）</p> <p>著者（訳者）</p> <p>出版社</p> <p>ISBN 【入力可】</p> <p>その他 教科書は駒場生協で入手可能である。</p>			
履修上の注意	<p>◆初回授業日に行う基礎実験Ⅲのガイダンスには必ず出席すること。</p> <p>◆基礎実験Ⅲ・Ⅳ（化学）については、受講形式をオンラインから対面に変更することはできない。</p> <p>【基礎実験Ⅳの履修について】</p> <p>◆S2に開講される基礎実験Ⅳは、履修者数の状況によっては開講曜日の変更が行われる。その際には再度希望日の選択が可能である。</p> <p>◆履修登録方法などの詳細は、基礎実験Ⅲのガイダンスで周知する。</p>			
関連ホームページ	※講義の詳細については、UTASを参照すること			
時間割コード	開講	曜限	科目名	対象クラス
30105	S 1	月 3, 月 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
30441	S 1	火 3, 火 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2年 理一(23-25,29,33,36,39)
30720	S 1	水 3, 水 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2年 理一(6,12,20-22,31,34)
30939	S 1	木 3, 木 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2年 理一(8,10-11,15-17,19,27)
31157	S 1	金 3, 金 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2年 理一(26,28,30,32,35,37-38)
40259	S 2	月 3, 月 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2年 理一
40262	S 2	火 3, 火 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2年 理一
40265	S 2	水 3, 水 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2年 理一
40268	S 2	木 3, 木 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2年 理一
40271	S 2	金 3, 金 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2年 理一
30106	S 1	月 3, 月 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
30442	S 1	火 3, 火 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2年 理一(23-25,29,33,36,39)
30721	S 1	水 3, 水 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2年 理一(6,12,20-22,31,34)
30940	S 1	木 3, 木 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2年 理一(8,10-11,15-17,19,27)
31158	S 1	金 3, 金 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2年 理一(26,28,30,32,35,37-38)
40260	S 2	月 3, 月 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2年 理一
40266	S 2	水 3, 水 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2年 理一
40272	S 2	金 3, 金 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2年 理一

基礎生命科学実験・生命科学実験

基礎生命科学実験・生命科学実験	開講区分	S
授業の目標・概要	<p>生命科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する。</p> <p>1) 基礎講義の内容を、実験によってよりよく理解できるようにする。</p> <p>2) 自然科学諸分野の基礎的な実験方法を実施、理解できるようにする。</p> <p>3) 未知の自然現象の解明に必要な観察力やその表現力を養い、みずから実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする。</p>	
授業の方法	<p>【実施形式】 基本的な感染対策を行った上で「対面」で開講する予定である。大学の方針に従い、変更になれば別途連絡する。また、本実験は105分授業で実施する。よって3限の開始時刻が13時となるので注意すること。やむを得ず欠席する場合は、実験の事前準備の都合上、本実験のウェブサイト (http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~cbioexp/) を通じて当日午前11時までの申請を目安とし、それに間に合わなかった場合も可能な限り速やかに連絡すること。別課題に振り替える場合がある。詳細については後述の実験補遺を確認すること。</p> <p>【場所】 21KOMCEE EAST 3階 生命科学実験室1、3または4</p> <p>【実施時期】 各自振り分けられた曜日に実施する。休講等があるので、本実験のウェブサイト (http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~cbioexp/) の実験日程表をよく確認すること。</p> <p>【各種講習】 本実験では、遺伝子組み換え生物の使用と動物実験が予定されている。それに際して、UTOLを通じた講習の受講とテストの合格を必須とする。4月5日にUTOLを通じて公開する予定である。</p> <p>【実験開始と終了】 13:00に授業を開始し、16:40までにレポート提出を行う。べ切の指示が別途ある実験についてそれに従うこと。実験終了後は適切に後片付けをしてから、すみやかに退室すること。</p> <p>【用意するもの】 ・教科書「基礎生命科学実験 第3版(東京大学出版会)」(付属の動画は教科書の目次に記載された方法で閲覧できる。) ・実験補遺(本実験のウェブサイトからダウンロードすること) ・定規(筆箱に入る程度のサイズで良い) ・鉛筆またはシャープペン(ボールペンは不可)、消しゴム ・生物実験用紙(A5版ケント紙、生協で購入可、実験17以外のレポート提出に使う) ・保護メガネと白衣(着用を義務づける種目がある)</p>	
成績評価方法	<p>成績は、出席、レポート、後片付けその他で評価する。出席だけでは単位は認められない。遅刻や後片付けの不備は減点対象となる。</p> <p>提出されたレポートで剽窃等を認めた場合は、定期試験での不正と同様の厳正な対応を行う。</p>	
教科書	<p>次の教科書を使用する。/Will use the following textbook</p> <p>書名 基礎生命科学実験 第3版 著者(訳者) 東京大学教養学部・基礎生命科学実験編集委員会 編 出版社 東京大学出版会 ISBN 978-4-13-062227-1 その他</p>	
履修上の注意	<p>・遺伝子組み換え生物の取り扱いや動物実験に関するオンライン講習とテストに合格しておくこと。未受講や不合格の場合はレポートを受け付けないので留意すること。</p> <p>・レポートは実習日16:40までに提出する。遅れての提出は認めない。べ切の指示が別途ある実験についてそれに従う。</p> <p>・授業開始直後から実験内容、注意点などの説明を行うため、遅刻すると全体の進行に支障が出ることに留意すること。授業開始30分以降の遅刻は欠席扱いとする。</p> <p>・本実験のウェブサイトからダウンロードする「実験補遺」には、各種注意事項や実験手順の補足に加え、レポートに関する内容も記載されているため参照できるようにしておくこと。</p> <p>・大学の指針に従い、感染状況に応じて授業計画が変更になる可能性があるため留意すること。</p> <p>・本実験に関する問い合わせは、本実験のウェブサイトにて提示した問い合わせ専用のGoogleフォームを通じて行うこと。</p> <p>【文科生向け】 S1「基礎生命科学実験」の履修を希望する文科生は、初回授業に必ず参加すること。また、以下の3種類の手続きを記載の期日までに必ず行うこと。 ⇒4月3日までにを行う手続き(2種類) ①本実験のウェブサイトにて提示した専用のGoogleフォームを通じて受講希望曜日等を連絡する。 ②UTOLで各自履修登録を行う。 ⇒4月5日～5月7日に行う手続き(1種類) ③履修認定カード電子版で履修手続きをする。 上記手続きが全て行われていない場合には、授業に参加しても単位付与が出来ない可能性がある。 【S2「生命科学実験」履修希望者向け】 S2「生命科学実験」履修希望者は、S1「基礎生命科学実験」を履修していることを必須とする。火・水・木から希望受講曜日を選択すること。2回目の訂正期間に履修を変更する者は、S2ターム開始前までに本実験のウェブ</p>	

ウェブサイトにて提示した問い合わせ専用の Google フォームを通じてその旨を連絡すること。

関連ホームページ <http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~cbioexp/>

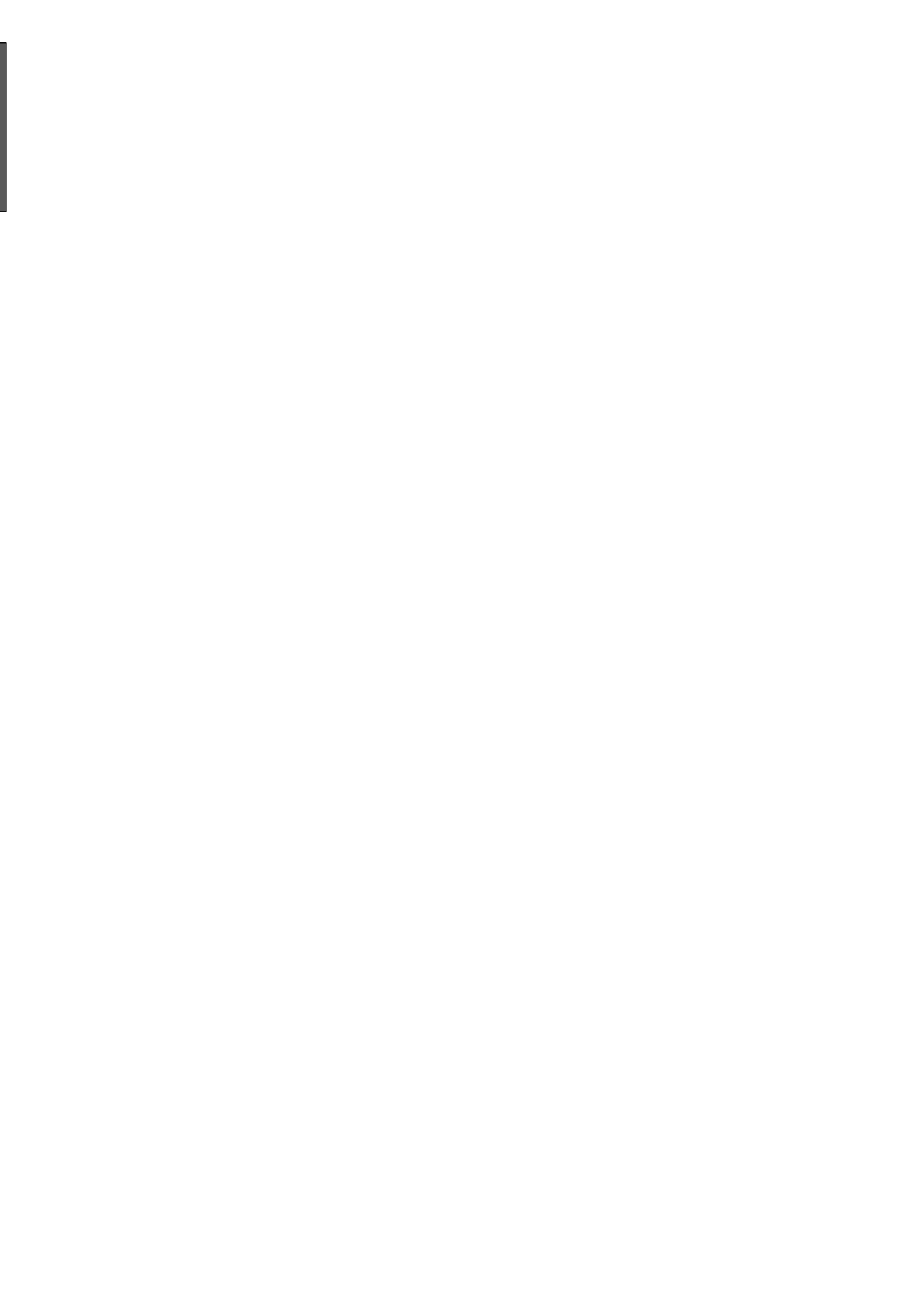
※講義の詳細については、UTASを参照すること

時間割コード	開講	曜限	科目名	対象クラス
30107	S 1	月 3, 月 4	基礎生命科学実験	2年 理一(1-5,7,9,13-14,18) 理二三(1-6,9,11)
30443	S 1	火 3, 火 4	基礎生命科学実験	2年 理一(23-25,29,33,36,39) 理二三(10,16,21,24)
30722	S 1	水 3, 水 4	基礎生命科学実験	2年 理一(6,12,20-22,31,34) 理二三(14-15,17,22)
30941	S 1	木 3, 木 4	基礎生命科学実験	2年 理一(8,10-11,15-17,19,27) 理二三(8,18-20)
31159	S 1	金 3, 金 4	基礎生命科学実験	2年 理一(26,28,30,32,35,37-38) 理二三(7,12-13,23)
31327	S 1	集中 6	基礎生命科学実験 α	2年 理二 理三
40264	S 2	火 3, 火 4	生命科学実験	2年 理科
40267	S 2	水 3, 水 4	生命科学実験	2年 理科
40270	S 2	木 3, 木 4	生命科学実験	2年 理科
40303	S 2	集中	生命科学実験 α	2年 理科

数理科学基礎

数理科学基礎		開講区分	S 1
授業の目標・概要	科学・技術の礎となる数理科学の基礎的内容を学び、高等学校で学んだ数学から大学で学ぶ数学への橋渡しとする。		
成績評価方法	講義は微分積分と線型代数の二つのテーマからなり、それぞれ通しの授業として開講される。本科目の講義内容は S2 タームから始まる「微分積分学」「線型代数学」に接続する。		
教科書	主として S1 ターム末に行われる定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合があります。		
関連ホームページ	授業中に指示をする。／Will specify at class time		
	書名		
	著者（訳者）		
	出版社		
	ISBN		
	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/ms_s1.html		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30003	月 2, 水 1	逆井 卓也、清田 正夫	1 年 理二三(1-7)
30004	月 2, 水 1	WILLOX RALPH、小林 正典	1 年 理二三(8-10)
30005	月 2, 水 1	岩木 耕平、植野 義明	1 年 理二三(11-13)
30006	月 2, 水 1	関口 英子、戸松 玲治	1 年 理二三(14-16)
30007	月 2, 水 1	佐々田 楨子、村上 順	1 年 理二三(17-20)
30008	月 2, 水 1	白石 潤一、土屋 卓也	1 年 理二三(21-24)
30141	月 4, 木 3	高山 茂晴、下川 航也	1 年 理一(20-23)
30144	月 4, 木 3	加藤 晃史、桐木 紳	1 年 理一(24-27)
30146	月 4, 木 3	権業 善範、梶原 健	1 年 理一(28-31)
30150	月 4, 木 3	足助 太郎、山崎 満	1 年 理一(32-35)
30151	月 4, 木 3	木田 良才、相馬 輝彦	1 年 理一(36-39)
30283	火 4, 金 1	林 修平、松本 久義	1 年 理一(7-9,13)
30291	火 4, 金 1	植田 一石、松田 茂樹	1 年 理一(10-12)
30293	火 4, 金 1	ケリー シェーン、斉藤 義久	1 年 理一(14-16)
30313	火 4, 木 2	北山 貴裕、大場 清	1 年 理一(6,18-19)
30433	火 4, 金 3	辻 雄、戸瀬 信之	1 年 理一(1-5,17)



微分積分学①

微分積分学①	開講区分	S 2
<p>授業の目標・概要</p> <p>代数学、幾何学とともに、数学の根幹をなす解析学について、その基本的な考え方や方法を学ぶ。力学における運動方程式などに代表されるように、自然界の多くの現象が、微分積分学を用いて記述される。微分積分学は、あらゆる科学技術の基礎となっている。微分積分学は17世紀末に、ニュートンやライブニッツらによって創成された。ニュートンは量の変化の記述に注目し、速度、加速度などの物理量を表現するために微分概念を導入した。「微分積分学の基本定理」により、区分求積法によって定義される積分は、微分の逆操作であることが、明確に認識されるようになった。</p> <p>微分積分学では、極限をとること、無限和をとることなどの操作が重要な役割を果たす。このような微分積分学の基礎となる極限の厳密な定義は、19世紀後半から整えられていった。この授業では、「数理科学基礎」で学んだ極限の扱いに基づき、微分積分学の基礎と応用を学ぶ。具体的な項目は以下の通りである。S2タームの「微分積分学①」で項目1,2を扱い、Aセメスターの「微分積分学②」で項目3~6を扱うことを目安とするが、担当教員によって、順序や内容に一部変更が加えられる場合がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一変数関数の微分 (微分の基本性質, テーラーの定理, テーラー展開) 2. 多変数関数の微分 (偏微分と全微分, 合成関数の微分の連鎖律) 3. 多変数関数の微分 (続き) (高階偏微分, 多変数のテーラーの定理とその応用) 4. 一変数関数の積分 (区分求積法, 微分積分学の基本定理) 5. 多変数関数の積分 (多重積分と累次積分, 多重積分の変数変換公式) 6. 無限級数と広義積分 (関数列の収束, 広義積分) <p>実数の連続性に基づく微分積分学の基礎の厳密な展開は、2年次Sセメスターの総合科目「解析学基礎」で学ぶことができる。将来、本格的に数学を使う分野に進学しようという場合は「解析学基礎」によって微分積分学の理論的基礎を修得することをすすめる。なお、「解析学基礎」は1年次Sセメスターでも履修することができる。また、2年次Sセメスターの総合科目として、「微分積分学」の直接的な続きにあたる「微分積分学続論」、および「微分積分学」で学んだ事項の応用にあたる「常微分方程式」、「ベクトル解析」が開講される。</p>		
<p>成績評価方法 教科書</p>	<p>主として定期試験によるが、担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。/Will specify at class time</p> <p>書名 著者 (訳者) 出版社 ISBN</p>	
<p>関連ホームページ</p>	<p>https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/calculus.html</p>	
<p>※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること</p>		

時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
40002	月 2	逆井 卓也	1年 理二三(1-7)
40003	月 2	WILLOX RALPH	1年 理二三(8-10)
40004	月 2	岩木 耕平	1年 理二三(11-13)
40005	月 2	戸松 玲治	1年 理二三(14-16)
40006	月 2	佐々田 慎子	1年 理二三(17-20)
40007	月 2	土屋 卓也	1年 理二三(21-24)
40014	月 4	高山 茂晴	1年 理一(20-23)
40015	月 4	桐木 紳	1年 理一(24-27)
40016	月 4	権業 善範	1年 理一(28-31)
40017	月 4	足助 太郎	1年 理一(32-35)
40018	月 4	木田 良才	1年 理一(36-39)
40053	火 4	辻 雄	1年 理一(1-5,17)
40054	火 4	大場 清	1年 理一(6,18-19)
40055	火 4	林 修平	1年 理一(7-9,13)
40056	火 4	松田 茂樹	1年 理一(10-12)
40057	火 4	斉藤 義久	1年 理一(14-16)

線型代数学①

線型代数学①		開講区分	S 2
授業の目標・概要	<p>線型代数学の萌芽である行列は多変数の連立一次方程式を効率的、統一的に扱う手法として発明された。また、行列式は方程式の解がただ一つ存在するための条件として発見された。ベクトルの概念の起こりは古典力学にあり、その意味で線型代数学の歴史は古い。しかし行列の本質である線型性概念の真の威力が認識され、数学の一分野として線型代数学が確立したのは新しく、20世紀にはいつてのことであった。</p> <p>自然界や社会科学における現象は一般には複雑で一次方程式で表せることはまれだが、一次近似によりその本質的な部分をとらえることは常套手段であり、線型代数学の考え方は非常に有効である。また、量子力学や、フーリエ解析などに現れる無限次元のベクトル空間を扱うための基礎ともなっており、線型代数学の応用については枚挙にいとまがない。このように、線型代数学の考え方は現代数学や理論物理学においてはもちろんのこと、工学、農学、医学、経済学などにおいても基本的な考え方として浸透しており、応用範囲も広い。線型代数学は理論的には単純で明快であるが、その反面、抽象的な概念操作にある程度慣れないと理解しにくい面もある。線型代数学を身につけるには、演習などのさまざまな問題にあたり、理解を深めることが必要である。「数理学基礎」において学んだ線型代数に関する知識を前提とする。</p> <p>S2タームの「線型代数学①」で以下の項目1,2を扱い、Aセメスターの「線形代数学②」で項目3~6を扱うことを目安とするが、担当教員によって、順序や内容に一部変更が加えられる場合がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ベクトル空間、線型写像 2. 生成系、一次独立性、基底 3. 内積 4. 行列式 5. 固有値、固有ベクトル 6. 対称行列の対角化と二次形式 		
成績評価方法 教科書	<p>主として定期試験によるが、担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある。授業中に指示をする。/Will specify at class time</p> <p>書名 著者（訳者） 出版社 ISBN</p>		
関連ホームページ	<p>https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/linear_algebra.html</p>		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
40063	水 1	清田 正夫	1年 理二三(1-7)
40064	水 1	小林 正典	1年 理二三(8-10)
40065	水 1	植野 義明	1年 理二三(11-13)
40066	水 1	関口 英子	1年 理二三(14-16)
40067	水 1	村上 順	1年 理二三(17-20)
40068	水 1	白石 潤一	1年 理二三(21-24)
40100	木 2	北山 貴裕	1年 理一(6,18-19)
40101	木 3	下川 航也	1年 理一(20-23)
40102	木 3	加藤 晃史	1年 理一(24-27)
40103	木 3	梶原 健	1年 理一(28-31)
40104	木 3	山崎 満	1年 理一(32-35)
40105	木 3	相馬 輝彦	1年 理一(36-39)
40112	金 1	松本 久義	1年 理一(7-9,13)
40113	金 1	植田 一石	1年 理一(10-12)
40114	金 1	ケリー シェーン	1年 理一(14-16)
40116	金 3	戸瀬 信之	1年 理一(1-5,17)

数理科学基礎演習・数学基礎理論演習

数理科学基礎演習・数学基礎理論演習	
授業の目標・概要	<p>数学は講義を聴いただけでは意味を理解することが難しく、自分の手を動かして計算や証明をやってみる必要がある。S1 タームの「数理科学基礎演習」は「数理科学基礎」の講義と、S2 タームの「数学基礎理論演習」は「微分積分学①」・「線型代数学①」の講義と一体であり、練習問題を解くことによって講義に対する理解を助け、応用力を養う。講義内容に即した応用問題の他に、講義の理解を深めるための証明問題や、講義で触れられなかった内容に関する補足問題を適宜付け加えることもある。S1 タームの「数理科学基礎演習」の成績評価は、「数理科学基礎」の成績に演習の平常点などを加味して行う。S2 タームの「数学基礎理論演習」の成績評価は、「微分積分学①」「線型代数学①」の成績に演習の平常点などを加味して行う。</p>
成績評価方法 教科書	<p>「数理科学基礎」および「微分積分学①」・「線型代数学①」の成績に演習の平常点などを加味して行う。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他</p>
関連ホームページ	<p>https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/</p>

※講義の詳細については、UTAS も参照すること

時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	対象クラス
30154	S 1	月 3	数理科学基礎演習	清野 和彦	1年 理二三(1-7)
30155	S 1	月 3	数理科学基礎演習	松井 千尋、大島 芳樹	1年 理二三(8-10)
30156	S 1	月 3	数理科学基礎演習	牛腸 徹	1年 理二三(11-13)
30157	S 1	月 3	数理科学基礎演習	戸松 玲治、関口 英子	1年 理二三(14-16)
30158	S 1	月 3	数理科学基礎演習	浅井 聡太	1年 理二三(17-20)
30159	S 1	月 3	数理科学基礎演習	田中 雄一郎	1年 理二三(21-24)
30523	S 1	火 5	数理科学基礎演習	辻 雄、伊山 修	1年 理一(1-5,17)
30524	S 1	火 5	数理科学基礎演習	清野 和彦	1年 理一(6,18-19)
30525	S 1	火 5	数理科学基礎演習	林 修平、田中 雄一郎	1年 理一(7-9,13)
30526	S 1	火 5	数理科学基礎演習	牛腸 徹	1年 理一(10-12)
30527	S 1	火 5	数理科学基礎演習	斉藤 義久、辻 雄	1年 理一(14-16)
30979	S 1	木 4	数理科学基礎演習	森 迪也	1年 理一(20-23)
30980	S 1	木 4	数理科学基礎演習	間瀬 崇史	1年 理一(24-27)
30981	S 1	木 4	数理科学基礎演習	権業 善範、梶原 健	1年 理一(28-31)
30982	S 1	木 4	数理科学基礎演習	葉廣 和夫、山崎 満	1年 理一(32-35)
30983	S 1	木 4	数理科学基礎演習	坪内 俊太郎	1年 理一(36-39)
40008	S 2	月 3	数学基礎理論演習	清野 和彦	1年 理二三(1-7)
40009	S 2	月 3	数学基礎理論演習	松井 千尋、大島 芳樹	1年 理二三(8-10)
40010	S 2	月 3	数学基礎理論演習	牛腸 徹	1年 理二三(11-13)
40011	S 2	月 3	数学基礎理論演習	戸松 玲治、関口 英子	1年 理二三(14-16)
40012	S 2	月 3	数学基礎理論演習	浅井 聡太	1年 理二三(17-20)
40013	S 2	月 3	数学基礎理論演習	田中 雄一郎	1年 理二三(21-24)
40058	S 2	火 5	数学基礎理論演習	辻 雄、伊山 修	1年 理一(1-5,17)
40059	S 2	火 5	数学基礎理論演習	清野 和彦	1年 理一(6,18-19)
40060	S 2	火 5	数学基礎理論演習	林 修平、田中 雄一郎	1年 理一(7-9,13)
40061	S 2	火 5	数学基礎理論演習	牛腸 徹	1年 理一(10-12)
40062	S 2	火 5	数学基礎理論演習	斉藤 義久、辻 雄	1年 理一(14-16)
40106	S 2	木 4	数学基礎理論演習	森 迪也	1年 理一(20-23)

数理科学基礎演習・数学基礎理論演習

40107	S 2	木 4	数学基礎理論演習	間瀬 崇史	1年 理一(24-27)
40108	S 2	木 4	数学基礎理論演習	権業 善範、梶原 健	1年 理一(28-31)
40109	S 2	木 4	数学基礎理論演習	葉廣 和夫、山崎 満	1年 理一(32-35)
40110	S 2	木 4	数学基礎理論演習	坪内 俊太郎	1年 理一(36-39)

力学A

力学A		開講区分	S
授業の目標・概要	古典力学の基本法則とその具体的応用を微積分や解析幾何等の数学的手法を用いて考察し、物理学における論理的・体系的理解への基礎を学ぶ。高校での物理学を履修したという前提に立って講義する。具体的な項目は以下の通りだが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に*印のついた項目は省略される場合がある。		
	1. 序論：物理学の世界 2. 運動の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・デカルト座標 ・ベクトルとその演算（内積、外積など） ・極座標（2次元、*3次元） ・次元と単位系 3. 運動の法則 <ul style="list-style-type: none"> ・ニュートンの三法則 ・質量と力 ・簡単な運動の例（自由落下など） ・力積と運動量 ・仕事とエネルギー（線積分） ・保存力とポテンシャル（グラディエント） 4. 運動の解析 <ul style="list-style-type: none"> ・落体の運動（速度に依存する抵抗がある場合を含む） ・慣性質量と重力質量 ・単振り子・調和振動 ・減衰振動 * 強制振動（共鳴） ・力のモーメント ・中心力と角運動量 ・万有引力とケプラーの法則 5. 運動の相対性と慣性力 <ul style="list-style-type: none"> ・慣性系とガリレイ変換 ・並進加速度系と慣性力 ・回転系（遠心力とコリオリ力） 6. 多粒子系 <ul style="list-style-type: none"> ・内力と外力 ・重心運動と相対運動 * 対称性と保存則 ・二体系（換算質量、衝突など） * 7. 剛体の運動 <ul style="list-style-type: none"> * 剛体の自由度と運動方程式 * 慣性能率 * 対称性と保存則 * 剛体の平面運動 * 8. 力学の原理 <ul style="list-style-type: none"> * 仮想仕事、ダランベールの原理 * ハミルトンの原理（最小作用） * 対称性と保存則 * ラグランジュの運動方程式 		
成績評価方法	定期試験		
教科書	その他。/Other		
	書名		
	著者（訳者）		
	出版社		
	ISBN		
関連ホームページ			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30756	水 4	白石 直人	1年 理一(20-22)
30758	水 4	高木 隆司	1年 理一(23-25)
30759	水 4	池田 昌司	1年 理一(26-28,31)
30760	水 4	下村 裕	1年 理一(29-30,32)
30761	水 4	塩見 雄毅	1年 理一(33-35)
30762	水 4	酒井 志朗	1年 理一(36-38)
30763	水 4	大井 万紀人	1年 理一(39)理二三(16,21)
30765	水 4	加藤 雄介	1年 理二三(17-20)
30766	水 4	簗口 友紀	1年 理二三(22-24)

31194	金 4	大谷 宗久	1年 理一(1-6)
31196	金 4	白石 直人	1年 理一(7-10)
31197	金 4	高木 隆司	1年 理一(11-13)
31198	金 4	酒井 一博	1年 理一(14-16)
31199	金 4	素川 靖司	1年 理一(17-19)
31214	金 4	溝口 俊弥	1年 理二三(1-6)
31216	金 4	山下 礼	1年 理二三(7-9)
31217	金 4	松田 恭幸	1年 理二三(10-12)
31218	金 4	野海 俊文	1年 理二三(13-15)

力学B

力学B		開講区分	S
授業の目標・概要	<p>入試で物理学を選択しなかった学生のうち希望する者を対象とする。高度な問題や詳細には深入りをせず、例題や宿題を多用することにより、物理学がどのような局面で役に立つのかを学ぶ。具体的な項目は以下の通りだが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に*印のついた項目は省略される場合がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 序論：物理学の世界 2. 運動の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・デカルト座標 ・ベクトルとその演算（内積、外積など） ・極座標（2次元、*3次元） ・速度と加速度 ・次元と単位系 3. 運動の法則 <ul style="list-style-type: none"> ・ニュートンの三法則 ・質量と力 ・簡単な運動の例（自由落下など） ・力積と運動量 ・仕事とエネルギー（線積分） ・保存力とポテンシャル（グラディエント） 4. 運動の解析 <ul style="list-style-type: none"> ・落体の運動（*速度に依存する抵抗がある場合を含む） *慣性質量と重力質量 ・単振り子・調和振動 *減衰振動 *強制振動（共鳴） ・力のモーメント ・中心力と角運動量 ・万有引力とケプラーの法則 5. 運動の相対性と慣性力 <ul style="list-style-type: none"> ・慣性系とガリレイ変換 ・並進加速度系と慣性力 ・回転系（遠心力と*コリオリ力） 6. 多粒子系 <ul style="list-style-type: none"> ・内力と外力 ・重心運動と相対運動 *対称性と保存則 ・二体系（衝突、*換算質量など） *7.剛体の運動 <ul style="list-style-type: none"> *剛体の自由度と運動方程式 *慣性能率 *剛体の平面運動 		
成績評価方法	主として定期試験によるが、担当教員の UTAS シラバスを参照すること		
教科書	その他。/Other 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN		
関連ホームページ			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30757	水 4	新井 宗仁	1年 理一(20-39)理二三(16-24)
31195	金 4	國場 敦夫	1年 理一(1-19)理二三(1-15)

熱力学

熱力学		開講区分	S
授業の目標・概要	<p>熱力学は、膨大な数の原子・分子等のマイクロ（微視的）な粒子の集団から成るマクロ（巨視的）な物質の状態を、温度、圧力、体積などのマクロな物理量を用いて記述し、いくつかの基本原理をもとに、マクロな観点から物質の状態がいかに変化するかを考察する学問体系である。熱力学は、力学、電磁気学とともに古典物理学の基礎を構成している。ここで学ぶ内部エネルギー、エントロピーなどの概念は理科生にとって必須の基礎概念である。以下に標準的な講義内容を示すが、担当教員によって項目の順序や内容は若干異なる。講義では、高校までに習った初等数学以外に、偏微分等の数学的手法を用いることがあるが、その場合は、そのつど必要に応じて講義で解説される。</p> <p>0.序論 熱力学とは何か？マイクロな系とマクロな系、力学や電磁気学との対比</p> <p>1.熱平衡状態 温度、圧力、状態量、示強変数と示量変数、状態方程式</p> <p>2.熱力学第一法則 熱量と仕事、熱の仕事当量、内部エネルギー、定積熱容量（定積比熱）と定圧熱容量（定圧比熱）</p> <p>3.熱力学第二法則 第二法則の諸表現（Thomsonの原理、Clausiusの原理）、可逆循環過程、Carnotサイクル、不可逆過程、準静的過程、熱機関の効率、熱力学的絶対温度、Clausiusの不等式、エントロピー</p> <p>4.自由エネルギー Helmholzの自由エネルギー、Gibbsの自由エネルギー、Maxwellの関係式 その他、オプションとして取り上げられるトピックス 混合のエントロピー、エンタルピー、Joule-Thomson過程、Legendre変換、熱力学第三法則、相平衡、相律、Clapeyron-Clausiusの式、Le Chatelierの原理、化学ポテンシャル、Gibbs-Duhemの関係式、Maxwellの等面積則</p>		
成績評価方法	主として定期試験によるが、担当教員のUTASシラバスを参照すること		
教科書	その他。/Other 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN		
関連ホームページ			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30065	月 2	桂 法称	1年 理一(1-2,26-28)
30066	月 2	桃井 勉	1年 理一(3,12,14-15)
30083	月 2	水野 英如	1年 理一(31,33,39)
30641	水 2	池上 高志	1年 理一(4,6,9)
30649	水 2	下村 裕	1年 理一(20,34-35)
30723	水 3	石原 秀至	1年 理一(7,11,32)
30872	木 2	菊川 芳夫	1年 理一(8,10,13)
30875	木 2	風間 洋一	1年 理一(16,22-23)
30878	木 2	森松 治	1年 理一(24,29,38)
31044	金 1	尾関 之康	1年 理一(5,25,30)
31046	金 1	加藤 雄介	1年 理一(17-18,21)
31153	金 3	野海 俊文	1年 理一(19,36-37)

化学熱力学

化学熱力学		開講区分	S
授業の目標・概要	<p>熱力学では、多数の原子分子の集団から成る物質の状態を圧力、体積、温度などの巨視的な量を用いて指定し、いくつかの基本原理をもとに、巨視的な観点から物質がいかに変化するかを考察していく。これらは、化学平衡や化学反応を理解する上での基礎的な概念を与える。本講義では、化学への応用をめざして熱力学を学ぶ。以下に標準的な講義項目を示すが、教員によって実際の順序や内容は若干異なる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 序論 熱平衡状態、温度と熱、状態量（示強性、示量性）、状態方程式（理想気体、ファン・デル・ワールス気体） 2. 熱力学第一法則 熱と仕事、内部エネルギー、準静的過程、定積過程と定圧過程、エンタルピー、熱容量（比熱）、ヘスの法則 3. 熱力学第二法則 熱機関とカルノーサイクル、第二法則の諸表現（トムソンの原理、クラウジウスの原理）、不可逆過程、クラウジウスの不等式、エントロピー 4. 自由エネルギー ヘルムホルツエネルギー、ギブスエネルギー、マックスウェルの関係式、ギブスエネルギーの圧力・温度依存性 5. 化学ポテンシャルと化学平衡 相平衡と相律、クラペイロン・クラウジウスの式、化学ポテンシャル、化学平衡、質量作用の法則、ル・シャトリエの原理 		
成績評価方法 教科書	<p>担当教員の UTAS シラバスを参照の事。 その他。/Other 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN</p>		
関連ホームページ			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30447	火 3	藤田 雅弘	1年 理一 理二三(4,16,18,20,22)
30448	火 3	細野 暢彦	1年 理一 理二三(6,8,11,15)
30889	木 2	小倉 賢	1年 理一 理二三(1-3,5,7,9,17)
30890	木 2	長谷川 宗良	1年 理一 理二三(10,21,23-24)
30891	木 2	野本 貴大	1年 理一 理二三(12-14,19)

物性化学

物性化学		開講区分	S 1
授業の目標・概要	<p>物質の多様な構造、性質および反応を理解するための、基礎的な化学の概念、理論を具体的な化合物を例にして学ぶ。以下の項目とその関連事項を内容とするが、教員により順序や重点の置き方に少し違いがある場合もある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多原子分子の構造 ルイス構造と分子構造、共有結合の方向性、混成軌道 2. パイ結合の化合物 共役二重結合、共鳴、ベンゼン、芳香族化合物 3. パイ電子と分子軌道 パイ電子近似、LCAOMO、変分法、HOMO と LUMO 4. 配位結合の化合物 Lewis 酸・塩基、金属錯体と配位結合、遷移金属錯体と d 軌道、結晶場 分裂 5. 分子間相互作用と凝集系、生体高分子化学 van der Waals 力、水素結合 6. 結晶の構造と結合 最密充填、単純格子、イオン半径と結晶構造、金属と半導体 7. イオン結晶 格子エネルギー、Madelung 定数、Born-Haber サイクル 		
成績評価方法 教科書	<p>担当教員の UTAS シラバスを参照の事 その他。/Other 書名 著者 (訳者) 出版社 ISBN</p>		
関連ホームページ			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること			

時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30067	月 2, 木 2	西川 昌輝	2 年 理一(4,33)理二三(16,24)
30080	月 2, 木 2	北條 博彦	2 年 理一(18,25-26)理二三(19)
30082	月 2, 木 2	横田 泰之	2 年 理一(28,32,35,39)
30086	月 2, 木 2	平岡 秀一	2 年 理二三(10-12,17)
30087	月 2, 木 2	豊田 太郎	2 年 理二三(13-15)
30143	月 3, 木 3	竹中 康将	2 年 理一(22-24,37)
30148	月 3, 木 3	吉本 敬太郎	2 年 理一(29,38)理二三(21,23)
30149	月 3, 木 3	豊田 太郎	2 年 理一(30,36)理二三(7)
30434	火 3, 金 3	寺尾 潤	2 年 理一(1-3,11,27)理二三(22)
30435	火 3, 金 3	桐谷 乃輔	2 年 理一(5,12-14)
30436	火 3, 金 3	堀内 新之介	2 年 理一(8)理二三(4,6,9,20)
30439	火 3, 金 3	佐藤 守俊	2 年 理一(15,17,20)理二三(5)
30507	火 4, 金 4	清水 亮太	2 年 理一(6-7,9-10)
30508	火 4, 金 4	片山 正士	2 年 理一(16,31,34)理二三(18)
30509	火 4, 金 4	溝口 照康	2 年 理一(19,21)理二三(1-3,8)

生命科学

生命科学		開講区分	S 1
授業の目標・概要	<p>本講義は理科1類の学生に特化し、生命現象の中でも数式で表しやすい内容を計算演習とコンピュータの活用により学ぶ。数理ダイナミクスの観点から生命現象の謎に迫るおもしろさを実感してもらうことを期待する。具体的には、以下のような内容を予定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 0. 物理・化学・数理的な生命のみかた 1. 生体分子：細胞をつくりあげる物質群 2. 生命活動の駆動力:代謝と自由エネルギー 3. 遺伝情報 4. 細胞の構造と増殖 5. システムとしての生命の特性 6. 生命のダイナミクスとパターン形成 7. マクロスケールのダイナミクス 		
成績評価方法 教科書	<p>定期試験で評価する。毎回行う練習問題を成績評価に含める場合もあるが、詳細は授業で周知する。</p> <p>次の教科書を使用する。/Will use the following textbook</p> <p>書名 物理・化学・数理から理解する生命科学 著者（訳者） 東京大学生命科学教科書編集委員会 編 出版社 羊土社 ISBN 9784758121712</p>		
関連ホームページ			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30201	月 4	佐藤 健	2年 理一(6,11,16)
30212	月 4	矢島 潤一郎	2年 理一(17,22-23)
30213	月 4	杉山 宗隆	2年 理一(24,32)
30646	水 2	長尾 翌手可	2年 理一(15,26,28)
30651	水 2	片島 拓弥	2年 理一(27,33,39)
30652	水 2	寺田 透	2年 理一(30,35)
30867	木 2	森廣 邦彦	2年 理一(1,3,14,34)
30868	木 2	富田 泰輔、濱崎 純	2年 理一(2,8,20,36)
30871	木 2	上村 想太郎	2年 理一(5,12-13)
30877	木 2	伯野 史彦、後藤 康之	2年 理一(21,37-38)
31150	金 3	富田 泰輔、濱崎 純	2年 理一(4,25,31)
31151	金 3	吉田 大和	2年 理一(7,19,29)
31152	金 3	古園 さおり、山口 哲生	2年 理一(9-10,18)

生命科学 I

生命科学 I		開講区分	S
授業の目標・概要	生命科学の基本概念と遺伝・膜構造・代謝を中心とした生命現象のしくみについて、分子から細胞までの構成原理を概観する。 1. 生物の多様性と斉一性 2. タンパク質の構造と機能 3. 遺伝子と遺伝情報 4. 細胞の構造 5. 代謝と光合成		
成績評価方法	定期試験で評価する。毎回行う練習問題を成績評価に含める場合もあるが、詳細は授業で周知する。		
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 書名 理系総合のための生命科学 第5版 著者(訳者) 東京大学生命科学教科書編集委員会 編 出版社 (株)羊土社 ISBN ISBN 9784758121026		
関連ホームページ			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30214	月 4	北西 卓磨	1年 理二三(5,17-18,21-22)
30216	月 4	加納 純子	1年 理二三(9,13-14,24)
31049	金 1	石浦 章一	1年 理二三(1-3,7-8,20,23)
31057	金 1	渡邊 雄一郎	1年 理二三(10-11,15,19)
31164	金 3	美川 務	1年 理二三(4,6,12,16)

展開科目 社会科学ゼミナール

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31500	S	社会科学ゼミナール (法・政治)	苅部 直	法学部	月 5	2年 文科 理科
講義題目	政治思想とは何か					
授業の目標概要	政治をめぐるさまざまな問題について、表面的な事実についての知識を蓄えるのではなく、権力とは何か、なぜ選挙に行かないといけないのか、自由とは、民主主義とは何か、そもそも「政治」とは何か……といった根本の問いについて、ともに考え、討論する。「わかりやすい」情報によって答を得て満足するのではなく、そうした問題がますます「わからなくなる」ことをめざしたい。					
成績評価方法	(予備知識は必要としないし、政治がテーマと言っても文科一類の学生だけを対象とするわけでもない。ただし対面で受講可能な学生のみ履修可とする。)					
教科書	毎回のレポートの出来と、ふだんの授業態度による。					
ガイダンス	初回の前にレポートを提出していない学生は、教室に来て履修を認めないので、注意すること。 ゼミが始まったあとは、事前にレポートの提出がなかった(たとえ一回だけでも)学生、無断欠席をした学生は、ただちに成績を不可(未受験ではない)とする。体調不良や、やむをえない理由で欠席・遅刻、レポート提出が遅れるといった場合は、必ず事前に苅部まで、事情を具体的に知らせること。					
	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 杉田敦 政治的思考 岩波書店(岩波新書) 9784004314028 参照ページ数をあわせるため、電子書籍でなく紙の本を駒場生協書籍部にて購入すること。					
	特定日に行く。/Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31503	S	社会科学ゼミナール (法・政治)	石川 健治	法学部	月 5	2年 文科 理科
講義題目	(web UTAS 参照)					
授業の目標概要						
成績評価方法						
教科書						
ガイダンス						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31502	S	社会科学ゼミナール (法・政治)	溜箭 将之	法学部	火 5	2年 文科 理科
講義題目	社会・文化・法 Society, Culture and the Law					
授業の目標概要	日本とアメリカの古典映画の鑑賞、ゴッホ『ヒマワリ』の鑑賞、暗号資産の諸問題の検討をふまえ、法・社会・文化のあり方を考える What does it mean for us that there is society, culture and law? The seminar will address this question on the basis of viewing of classic Japanese and American films, Van Gogh's Sunflowers, and an examination of various issues relating to crypto assets.					
成績評価方法	リアクションペーパー (3回・30%)、授業での発言・貢献 (30%)、期末レポート (40%) リアクションペーパーは、日本語 2500 字・英語 500 ワード以下、期末レポートは日本語 1 万字・英語 2 0 0 0 ワード以下。 Reaction papers (3 times, 30%), class participation/contributions (30%), final report (40%). Reaction papers should be no more than 500 English words or 2500 Japanese characters; a final paper should be no more than 2000 English words or 10,000 Japanese characters.					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行く。/Will conduct guidance at first time					

展開科目 社会科学ゼミナール

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31501	S	社会科学ゼミナール (法・政治)	橋爪 隆	法学部	水 5	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	刑法総論の基礎 刑法とはいかなる行為が犯罪と評価されるかを定める法律です。そのうち刑法総論は因果関係の判断、故意の内容、共犯の成否、刑罰の意義など全ての犯罪に共通する問題を取り扱う分野であり、法学部講義科目の「刑法第1部」の内容に対応します。この演習では「刑法第1部」の授業の進行に対応するかたちで、刑法総論の重要論点を深掘りし、また、重要な判例の内容について検討を加えることで、刑法総論の理解を深めることを目的とします。その他、受講者の関心の高い刑事法のトピックについて、自由に議論する機会も設ける予定です。 履修者の選抜等は実施しない予定ですが、万が一、履修希望者が30名を上回った場合には、前期課程の成績等を考慮して、選抜を行う可能性があります。					
成績評価方法	平常点によって評価を行います。レポートの提出を課す可能性もあります。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30217	S	社会科学ゼミナール (経済・統計)	佐藤 俊樹	経済・統計	月 4	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ルーマンのマスメディア論を読む(4) 教員の所属部会の関係で「経済学・統計学」になっていますが、授業の内容は社会学のマスメディア論とシステム論です。具体的には、ニクラス・ルーマンの『マスメディアのリアリティ』（林香里訳、木鐸社）を読んでいきますが、担当教員の専門と関心から、厳密なテキスト読解ではなく、経験的な社会の探究に役立つ分析用具として読んでいきます。今年度は第6章から読んでいく予定です。第1章～第5章で何が書いてあるのかは、授業の最初に教員の方から解説しますが、授業に参加希望の人はあらかじめ読んでおいてください。佐藤俊樹『メディアと社会の連環』（東京大学出版会、2023年）序論第2節なども参考になります。 ドイツ語の予備知識は特に必要ありません。むしろルーマンの徹底的に考え抜かれた論理と文章につきあいながら、その内容を理解していくことをめざしています。ですので、実際には、一行一行解説しながらゆっくり読み進めていきます。必要な予備知識はその都度解説するので、ルーマンの他の著作を知っておく必要もありません。 そのかわり、参加者それぞれの水準でよいので、既存の知識を習うというよりも、自分自身で考えていくことを身につけるようにして行ってください。一見全く意味不明で、「無駄に難解」ともされるルーマンの文章が、実際にはきわめて精緻で、論理的で、そして、マスメディアや現代社会に対する具体的かつ鋭い洞察に富んでいる。そういう読み方ができることを体験してもらえば、と思っています。					
成績評価方法	授業時間中の参加度と学期末に提出してもらったレポートで評価しますが、授業に参加していれば目標はほぼ達成されるので、学期末のレポートの方の課題は重いものではありません。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook ニクラス・ルーマン（林香里訳） マスメディアのリアリティ 木鐸社 4-8332-2366-X					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31506	S	社会科学ゼミナール (経済・統計)	鎌田 雄一郎	経済学部	水 3	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>Advanced Game Theory for Komaba Students 社会における人間行動を、数式で記述する。それが、「ゲーム理論」。 「私は、あなたが彼が行動 A をとるだろうと考えていると考えたから、行動 B をとることにする。」「我が社は相手企業 J の過去の決定 C から、今後の J の戦略が S であろうと推測する。よって我が社は戦略 T をとろう」などという複雑な思考過程を、数式で記述し、分析する。 このゲーム理論の中で特に興味深いトピックや最新研究に関して、講義を行い、さらに学生間でディスカッションをする。 受講にあたって、ゲーム理論や（ゲーム理論がしばしば応用される）経済学の前提知識は一切必要ないが、数学が多用されるので、その点留意しておくこと。 以下のうちどれかが当てはまる学生には、この講義は最適であろう：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 論理的思考が好き and/or 得意。 2. 数学が好き and/or 得意。 3. 理屈っぽく、細かい。 4. 理系。「経済学なんてデマカセだ！エセ科学だ！」と思っている。 5. 「社会における人間行動を、数式で記述する」なんて到底無理だろう、と思った。 6. 現実の社会問題を統一的に理解するための視点が欲しい。 7. 最先端の研究に触れたい。研究とはどんなものか、覗いてみたい。 8. トップ研究者の授業を受けたい。 9. テレビなどに登場する「エコノミスト」のいい加減な発言に辟易している。 10. せっかく大学に入ったのだから、新しいこと、難しいことに、チャレンジしたい。 担当教員（鎌田）は現在カリフォルニア大学バークレー校の准教授で、ゲーム理論研究者。東京大学大学院経済学研究科の初代グローバルフェローを兼任。 授業は基本的にオンラインで、カリフォルニアからお届けする。鎌田が夏に日本に一時帰国して、かつ対面授業がその時に可能な場合は、対面授業を行う可能性もある。授業は毎回 105 分間。 履修希望者が多い場合は、選抜を行う可能性がある。選抜がある場合は、初回授業後、第二回授業までに行う。 初回授業にて説明する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	成績評価方法 教科書 ガイダンス					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31230	S	社会科学ゼミナール (経済・統計)	竹野 太三	経済・統計	金 5	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>社会科学ゼミナール・アドバンスト文科 応用ミクロ経済学 概要： 2023 年度から、社会科学ゼミはアドバンスト文科としての役割を担うことになりました。この趣旨は、初年次ゼミと基礎科目を履修された方々に、これらの科目で得た知識をもとに、後期過程で飛躍するための足がかりを築くことです。このゼミは、後期過程で経済学部に進学され、かつ現代経済を専攻される方に、上記のような機会を提供するものです。このため、上記の進路を志望されている方を想定した内容になりますが、関心のある方で、以下のような履修要件を満たしている方であれば、どなたでも履修していただけます。 履修要件： 履修をされる方には、2022 年度 A セメに「経済学 II（竹野担当）」を履修していること、あるいは、当ゼミ開講時点で、同科目と同様の内容を既習（自習を含む）されていることをお願いします。具体的には、消費者の理論、生産者の理論、均衡の理論について、（完全に習得している必要はありませんが）おおよその理解があることをお願いします。 形式： 講義とディスカッション形式で行います。少人数教室を想定していますので、積極的に発言していただくと講義も円滑に行えるので助かります。 内容： 「経済学 II」では紹介しなかった概念（例えばコアの理論）や、履修者の方の関心にもよりますが、ゲーム理論、（近年の時事問題にも関連する）国際経済学からのトピック、あるいは経済学で用いられる数学（例えば Lagrange 乗数法など）について、時間をかけて学ぶことを予定しています。 </p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	出席状況と、ディスカッションへの貢献等を想定しています。 授業中に指示をする。／Will specify at class time レジュメをアップします。 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time					

展開科目 社会科学ゼミナール

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30317	S	社会科学ゼミナール (社会・社会思想史)	小山 裕	社会・社会思想史	火 2	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>研究入門：戦争と暴力の社会理論 広い意味での社会理論に関する文献の精読と議論を通じて、社会学の基礎概念の理解を深めるとともに、学術的なテキストの解釈に必要なスキルを向上させることがこの演習の目標である。 今学期は、Hans Joas, 2003, War and Modernity, Polity. (原著は、2000, Kriege und Werte, Velbrueck Wissenschaft) 所収のいくつかの論文を読む。著者の Hans Joas は、現代を代表する社会学者・社会哲学者であり、創造性に関する独自の行為理論で知られる。本書は、そうした著者の社会理論を戦争と暴力に関わる問題に応用する試みである。本書の精読を通じて、戦争を社会学の観点から論じることの意義や限界、さらには政治学や歴史学といった他のディシプリンと社会学の相違点や関係性などについて幅広く議論したい。 上記の英訳を用いるので、ドイツ語を履修している必要はない。ただし原著も随時参照する。</p>					
成績評価方法	平常点（議論への貢献）による。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

展開科目 人文科学ゼミナール

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31504	S	人文科学ゼミナール (哲学・科学史)	高橋 晃一	文学部	火 2	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	仏教思想における無我と人間存在 インド仏教の教理学は、伝統的にアビダルマと呼ばれている。このアビダルマの思想体系の中で説かれる「無我」の思想について、インド思想の文脈において理解を深め、それを踏まえて仏教思想の人間観について考察する。 概説ではなく、仏教の思想を原典の翻訳や研究論文から学び、参加者各自が問題意識をもって理解を深めることを目指す。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	授業中に扱った内容に関するレポート 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30318	S	人文科学ゼミナール (歴史学)	山口 輝臣	歴史学	火 2	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	教科書を書き換える：高校の日本史教科書を起点に、歴史学の論文を読んでみる 高等学校の日本史教科書を横に置きながら歴史学の論文を読む。それによって論文を読む作法を体得し、その成果によって教科書を書き換えに挑む。 歴史教科書というのは、やたら固有名詞が多くて無味乾燥だとの印象を持っている人が多いだろう。そうした面がないとは言わない。しかしそんな教科書も、ひと昔前のものと比べると、内容が変わってきていることが分かる。国の施策や社会の変遷によるものものあれば、研究の進展がもたらした変化もある。ただ新たな研究が常にすぐれているとは限らないことから、教科書は新説をすぐさま載せるようなことはない。その意味で、教科書は、国や社会のみならず、研究動向とも一定の緊張関係にあるメディアである。 この授業では、まずはこうした教科書がどのように作られ、どのように変わってきたのかを検討する。次に、そうした教科書を横に置きながら、その記述と関わる歴史学の研究論文を探し出し、そのうちの1本について詳しく報告する。テーマは、授業担当者の専門である近代・現代を対象としたものが好ましいが、相談に応じる。そしてその報告を踏まえ、さらに他の論文等を各自で読み進めていくなかで論文を読む作法を身に付けつつ、その成果を教科書を書き換えという形で報告する。 実際の教科書の改訂に活かせるような提案が出てくることを心より期待している。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文にて判断する。 その他。／Other 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31505	S	人文科学ゼミナール (歴史学)	根岸 洋	文学部	火 2	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	考古資料から過去を読む 日本において考古学は歴史学の一つとして捉えられているが、人類学や遺伝学、年代測定を含む分析科学などの広い隣接諸分野との連携をもとに、多角的手法から「過去」にアプローチする学問でもある。遺跡から出土する遺物は土器、石器、金属器などの道具だけでなく、動植物遺存体や人骨など多岐にわたる。それらからできるだけ多くの情報を読み取り、現在から遠い「過去」を読み取り、またその価値をわかりやすく伝えることが求められる。 本演習は、東京大学構内にある遺跡から出土した遺物を材料に、考古学がどのようなことをやる学問なのかを体験してもらい、その面白さに触れてもらうことを目的としている。東京大学のキャンパスには先史時代から近代までの遺跡が所在しており、手に触れることのできる多くの遺物も所蔵されている。基礎的な知識は講義することになるが、最も大事なのは実際に遺物を観察し、それをレポートにまとめる作業を体験してもらうことである。発掘調査がそうであるように、考古学は経験科学の一つと言える。一般にイメージする考古学とは違って地味に思えるかもしれないが、その作業にこそモノから歴史を復元するという行為の魅力が詰まっていることを感じてほしい。 また本演習の後半では、取り扱った遺物が出土した遺跡を世界の遺跡と比較する試みを行ってもらう。ユネスコ世界遺産による考え方を学び、その普遍的価値についてのグループ発表が課せられる。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	出席点(20%)のほか、演習形式での授業参加(30%)および遺物観察のレポートと、博物館展示見学レポートの2本を課す(50%)。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time					

展開科目 人文科学ゼミナール

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31067	S	人文科学ゼミナール (文化人類学)	中村 沙絵	文化人類学	金 2	2年 文科 理科
<p>講義題目 授業の目標概要</p> <p>研究入門—生活の現場からはじまる人類学的思考 自分の身の回りの事柄を〈人類学的に考える〉レッスンを演習形式で、実践的に行う。人類学的フィールドワークは、必ずしも、遠いどこかにかけて行って行う長期の調査だけに限られるわけではない。自分の身の回りの事柄にも、たくさんヒントが落ちこちている。／この講義では、「汚い」「おぞましい」という感覚を端緒に、いわば内なる他者の存在と対話しながら、自分やそれをとりまく世界の在り様を省察する。生活の現場（フィールド）での遭遇に感性を研ぎ澄ますことではじまるような人類学的思考を養うことをめざす。</p> <p>成績評価方法 授業中の発表（40%）とディスカッションへの貢献度（60%）で評価を行う。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 坂井朋子・奥田太郎・中村沙絵・福永真弓 汚穢のリズム—きたなさ・おぞましきの生活考 左右社 978-4-86528-406-5</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30233	S	人文科学ゼミナール (データ分析)	永田 淳嗣	人文地理学	月 5	2年 文科 理科
<p>講義題目 授業の目標概要</p> <p>統計とフィールドワークから探る農業産地の構造変化 日本の農業は、長期的・巨視的にみると高度経済成長期以降、農業従事者の高齢化・大幅な減少、耕地面積の減少といった形で、産業としての規模を縮小させてきた。しかし日本の国土を見渡せば、農業が現在も基幹的な産業としての地位を維持し、今後のあり方を模索している地域も少なくない。本授業では、何らかの農作物を中心に農業の「産地」と呼ばれてきた特定の地域を取り上げ、概ね高度経済成長期前後から今日に至る産地の構造変化を、国勢調査、農業センサスなどの基礎的統計のオリジナルな分析を通じて客観的に把握する。その上で、3泊4日程度の宿泊による人文地理学的なフィールドワークを組み合わせ、産地の構造変化や現状の理解の深化をはかるとともに、産地が抱える課題や今後の方向性を議論する。なお実習を中心とした授業であるため、効果的な指導を行うために受講希望者多数の場合は選抜を行う（10名程度）。受講希望者は、第1回授業で指示する内容の受講希望票を、第1回授業終了後の指定した期日までに提出すること。選抜が必要な場合はその内容に基づき行い、第2回授業開始までに受講許可者を確定、掲示等で告知する。また本授業は人文地理学教室が所有する紙媒体の統計資料や大判の地図を用いることもあり、対面での授業とフィールドワークに参加可能な学生に履修者を限定する。</p> <p>成績評価方法 授業における課題への取り組みを総合的に評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31292	S	人文科学ゼミナール (ことばと文化)	田原 史起	中国語	火 2	2年 文科 理科
<p>講義題目 授業の目標概要</p> <p>中国語の新聞記事を用いて中国農村研究の小論文を書くためのゼミナール 今世紀以降の中国農村・農業・農民の様々なトピックに関わる『農民日報』の新聞記事を題材として輪読する（『農民日報』は中華人民共和国農業農村部の機関紙である）。そのうえで、各自の関心トピックに絞り込み、小論文の作成を目指す。この授業の目標は二つである。</p> <p>①標準的な現代中国語の読解力の養成：よく出てくる書き言葉の言い回しに慣れ、構文を掴む練習を行う。これにより各自が関心を持つ領域の文章を自力で読めるように訓練する。</p> <p>②社会科学系の論文作法の習得：各自が関心を持つトピックに関わる報道を一次資料として用い、関連の二次資料(中国語・日本語・英語)も適宜、引用しながら、オリジナルな小論文作成のための学術的訓練を行う。</p> <p>端的に言えば、中国農村研究に特化した初年次ゼミのようなものをイメージしている。</p> <p>成績評価方法 平常点と小論文による。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31068	S	人文科学ゼミナール (ことばと文化)	浜田 華練	ロシア語	金 2	2年 文科 理科
講義題目	アルメニア語入門					
授業の目標概要	「アルメニア語」は、現在のアルメニア共和国の公用語である「現代東アルメニア語」と、アルメニア国外のディアスポラのコミュニティで用いられる「現代西アルメニア語」と、19世紀以前の文語であると同時に現在の教会の典礼言語としても用いられる「古典アルメニア語」の3つに分類される。この授業では、アルメニア語の歴史を概観しながら、アルメニア語文法の初歩を学ぶ。					
成績評価方法	平常点および最後の授業で実施する期末試験による。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

展開科目 自然科学ゼミナール

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31069	S	自然科学ゼミナール (数理科学)	三竹 大寿	数学	金 2	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	自然科学に現れる微分方程式 さまざまな自然現象や社会現象の定量的な解明のためには、まず数理モデルを構築することが伝統的な方法である。モデル式は未知量の導関数がかかる方程式となるのがニュートン力学などでは普通である。これが微分方程式である。高校までで主に学習してきた2次方程式などの場合と異なり、微分方程式には一般的な解の公式はなく、解が果たしてあるのか、あるとしたら1つに決めるのか、などどいった問題をある程度まで個別的に研究しなくてはならない。本セミナーではこの種の微分方程式を題材に、微分積分学の自然な発展としての数学解析のさまざまな考え方に触れる。					
成績評価方法 教科書	発表内容や授業への取り組み状況等の平常点で評価する予定である。 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook バージェス、ボリー (垣田他 訳) 微分方程式で数学モデルを作ろう 日本評論社 4-535-78173-7					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31070	S	自然科学ゼミナール (数理科学)	林 修平	数学	金 2	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	カオス力学系入門 決定性の中に潜む予測不可能性や不確定性を扱うカオス理論は自然科学のみならず広範な分野に登場します。この講義では、教養1年生程度の予備知識を前提として、数学としてのカオス力学系理論の重要なアイデアや手法を、下記の教科書前半の論講を通して学びます。初等的な1変数関数を繰り返して適用するだけで豊かなカオスの数学理論が展開されることを示したこの本は、カオス力学系を数学的に扱った最初の入門書として世界的に好評を博してきました。例えば、 $f(x)=ax(1-x)$ のような簡単な2次関数を通して、一般の非線形力学系においても重要な概念が提供されるので、必ずしも数学科志望でない学生にとっても近づきやすい内容になっています。 ※ 履修人数を20名程度に制限する。					
成績評価方法 教科書	平常点およびレポートにより評価する。 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Robert L. Devaney (國府ほか訳) カオス力学系入門 第2版 共立出版 ISBN-10: 4320017056					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31499	S	自然科学ゼミナール (情報科学)	伊東 乾	情報学環	火 4	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	生成AI時代、創造的な人を育てる「義務教育カリキュラム」を考える 2022年の暮れからにわかに「生成AI」がブームになっているが、政府も行政も内閣も、AIがなんであるか分からないまま「AI対応施策」が検討されている。その結果、小中学校、また高等学校のカリキュラムも、かなりナンセンスなことになっている。このコマでは、1935年に日本の文部省が採用した、世界で最初の、カラー印刷かつ「文字がほとんどない」算数教科書「緑表紙 小学尋常算術」(塩野直道)の精神にのっとり、算数数学に限らず、国語、理科、社会を含めた義務教育の指導要領そのものを批判的、建設的に考え、21世紀の国際社会で創造的に活躍できる次世代人材を育成する基礎を考える。塩野直之教授(東邦大学)などゲストの登壇可能性も念頭においている。					
成績評価方法 教科書	出席と課題 教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

展開科目 文理融合ゼミナール

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31496	S	文理融合ゼミナール (認知と芸術)	三輪 健太郎	先進融合	火 2	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	マンガにとってコマ割りとは何か この授業では、視覚芸術としてのマンガの「コマ割り」をめぐる、講義と実践的演習の両面から探究します。マンガの制作には、物語を構想すること、絵を描くことなど、様々な技術が用いられますが、中でも「コマ割り」はこのジャンルに固有の要素として、マンガに関する従来の批評・研究の中でも特権視されてきました。本授業では、そうした従来の理論について学びつつ、受講者各自が手を動かして実際にコマ割りという作業を体験することを通して、このジャンル固有の特性について考えを深めることを目的とします。なお、受講者の作成物は、授業内で共有した上でフィードバックを行います。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	授業への積極的な参加と課題等の提出物から総合的に評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31492	S	文理融合ゼミナール (身体と芸術)	中井 悠	先進融合	月 5	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Archi-Choreographies：振り付けとしてのクセ (TAKE 7) 口癖、手癖、怠け癖、思考癖、酒癖、難癖、曲者、潔癖、寝癖、癖が強い、などなど、日本語の「クセ」という言葉は、単なる「習慣 (habit)」には収まらない広がりを持つ不思議な概念です。この授業では人の持つさまざまな「クセ」を、本人が知らない間に身体や思考に植え付けられた根源的な「振り付け (コレオグラフィー)」とみなし、拡張されたダンスの問題として捉えます。そしてそのような身体や思考の偏りを受講生どうしの相互観察を通じて探り合い、個々のクセの来歴を明らかにしたり、それを他人に移したりすることで、個人の「その人らしさ」という感覚がどこで生み出され、どのように変容しうるかを検証します。新しい振付を考えることでダンスをいわば足し算的につくる通常のアプローチとは逆に、各自が気づかないうちにすでに踊っている振付を露わにすることで引き算的にダンスを浮かび上がらせる試みです。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	出席、参加、学習・納得の程度、発表などを考慮に入れた自己採点をベースとします (怠け癖、虚言癖は減点の対象になります)。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31498	S	文理融合ゼミナール (身体と芸術)	伊東 乾	情報学環	火 6	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	「生成A I」以降、人間の創造性を問う 2023年3月 Open A Iが公開した「GPT 4」以降、「生成A Iは文書も (静止) 画像も <クリエート>する」と喧伝され、実際に人間のクリエイターが解雇される傾向も一部で見られた。典型的なのは「マンガの背景描き」「アニメの背景描き」など、なにかそれらしいものが埋まっていればよい部分で「人件費の削減」が進んでいる。担当者は古典的な音楽家で20世紀の間は地上波テレビ番組 (「題名のない音楽会」) の責任者など、伝統的に手や頭、耳と感覚を使う楽隊業として生計を立てていた者で、東京芸術大学美術学部・音楽学部双方を筆頭に、古くからの芸術に根を持つ作り手の側に立って、こうしたシステムが出て以降、もっぱら人間のクリエイターにしか求められない「ものづくり」を大切に考えている。2024年5月には東京都美術館で「生成A I以降 人間の創造性を問う」展示を並行して準備しており、これとの連携も念頭に、実技の観点から問題を扱い、駒場生なりの手ごたえをもって帰ってほしいと思う。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	出席と実技 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31493	S	文理融合ゼミナール (メディアと芸術)	中井 悠	先進融合	月 4	2年 文科 理科
<p>講義題目 (偽) 実験音楽史/Pseudo-History of Experimental Music</p> <p>授業の目標概要 「実験音楽」を「論」として真面目にお勉強することほど、非実験的で、実験音楽の精神に反することはありません。この授業では「実験音楽」を、歴史上の閉じたジャンルとしてではなく、これまで「音楽」と呼ばれてきた営みを問い直し、その外部へと切り開いていくたくさんの事例の開かれたネットワークとして考えます。そして、過去の実践や理論や問題を検討しながら、自分たちでもじっさいに実験を繰り返ることで、あり得たかもしれない実験音楽の作曲家や演奏家や作品や理論(「偽実験音楽史」)を構想・空想・妄想していきます。そうすることで、これまで「実験音楽」と呼ばれてきた営み自体を問い直し、その外部へと切り開いていくことを目指します。</p> <p>具体的にはこれまでの実験音楽の歴史に登場したさまざまな実践を個別の問題系に即して語る「紙芝居の回」と、それを踏まえてあり得たかもしれない「偽実験音楽」を構想・空想・妄想する「実験の回」を交互に行ないます。この授業は総合科目「偽西洋音楽史(音楽論)」の実践編として組み立てられていますが、前提知識は必要ありませんので「偽西洋音楽史(音楽論)」を履修していない学生と聴講生も歓迎します。</p> <p>成績評価方法 出席、参加、発表を踏まえた自己採点</p> <p>教科書 教科書は使用しない。/Will not use textbook</p> <p>ガイダンス 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31497	S	文理融合ゼミナール (メディアと芸術)	三輪 健太郎	先進融合	金 2	2年 文科 理科
<p>講義題目 動きと静止の近代視覚文化</p> <p>授業の目標概要 動画共有サイトや各種 SNS に見られるように、現代人の生活を取り巻く情報のなかでは、動画=動く映像が極めて重要な位置を占めています。しかし、大衆文化における動く映像の原型といえる映画の仕組みに目を向けてみれば、それは現実の時間の流れを切断し静止させる瞬間写真に基づいています。19 世紀に発明された映画は、動きと静止の関係をめぐる様々な技術的・科学的・文化的な関心と実践の絡み合いから生まれてきたメディアだったのです。そして、静止写真を動かす実写映画に限らず、止まった絵を動かすアニメーションや、絵を複数並べることで動きを描写するマンガなども含め、近代の視覚文化の多くは、動きと静止の関係に立脚し、そこから魅力を生み出していると考えられます。この授業では、「視覚文化論」や「メディア考古学」と呼ばれる研究の観点を学びつつ、映像文化のルーツともいえる光学玩具や初歩的な映像作品を実際に制作することを通して、近代的なメディア体験への理解を深めることを目指します。</p> <p>成績評価方法 授業への積極的な参加と課題等の提出物から総合的に評価します。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。/Will not use textbook</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40274	S 2	文理融合ゼミナール (メディアと芸術)	寛 康明	情報学環	木 5, 木 6	2年 文科 理科
<p>講義題目 インタラクティブ表現実践</p> <p>授業の目標概要 本授業は、アート・デザイン領域において近年注目されるインタラクティブ表現や参加型の体験創造について、実践を通して学ぶことを目標とする。</p> <p>本授業は座学とプログラミング等を通じた実践を組み合わせながら進める。</p> <p>まず、インタラクティブアートの歴史やそれらを支える技術の動向について学び、具体的な事例についても教員やゲストの活動紹介を通して触れる。また、インタラクティブ表現を制作するためのクリエイティブコーディング環境を整え、特に今年度はカメラ入力および画像処理を用いたインタラクションの基礎と制作方法について学ぶ。</p> <p>本授業の後半の期間は主に、履修者自身によるインタラクティブ(作品)表現の提案を行い、フィードバックを受けながらコンセプトおよびプロトタイピングの実装を進める。最終的な成果はプレゼンテーションおよびデモンストレーションを通して発表する。</p> <p>成績評価方法 出席、講義中の議論、グループワークへの貢献、および最終成果発表を総合的に判断する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。/Will not use textbook</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31494	S	文理融合ゼミナール (研究入門)	中井 悠	先進融合	月 6	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	副産物ラボ/Side Effects Lab 文理融合ゼミナール「研究入門」では、芸術と諸学術の協働により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指します。 「副産物ラボ」では、さまざまな専門を持つ学生とともに、広い意味でのパフォーマンスの研究と制作、そして「癖」や「影響」などの関連トピックを軸とするセミナーや出版物の企画を行なっています。今学期は「墓」と「影響」の関係をめぐる書籍の出版に向けた様々な取り組みと、ゲスト・アーティストとのコラボレーションによる学内外でのコンサート/演劇/パフォーマンスの企画・実施を計画しています。同時に、ラボの名前通り、個々の目的を追求しながらも、その過程において生じてくる思いがけない副産物や副作用にも注目し、それらを活動に回収していくことも目指します。ラボの詳しい活動についてはホームページをご覧ください (http://selout.site)					
成績評価方法	取り組み、出席、成果などを総合的に踏まえた自己評価を基本とする。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31495	S	文理融合ゼミナール (研究入門)	舘 知宏	先進融合	集中	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	つながるかたち 文理融合ゼミナール「研究入門」では、芸術と諸学術の協働により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指します。 「つながるかたち」では、手を動かして「かたち」をつくることを端緒とし、科学的視点で発見すること、問いを得ること、その問いを解くことの連鎖を実践します。研究室のデジタルファブリケーション機器などを用いた製作や、CAD・プログラミングによるモデリングなども行います。					
成績評価方法	研究活動への取り組み、对外発表等への取り組みなどを総合して評価を行う。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特定日に行う。/Will conduct guidance at another time					

英語中級（クラス指定ターム型） 火3

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30397	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	後藤 春美	英語	火 3	1年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>英語講読（国際社会の歴史） 雑誌 International Affairs に掲載された論文の読解。 平常点(毎回の授業で訳読やまとめを担当した時の出来、予習の有無、出席などを勘案する)を主(7割)とする。最終授業時間に行うテスト(3割)で補完する。 その他。/Other UTOLにアップするので、そこから各自でダウンロードして欲しい。(なお、各自で本学の e-journal からダウンロードすることも可能である。) 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30398	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	アンダル ジ ャクリーン	英語	火 3	1年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Reading Drama Texts This course will use a contemporary British drama text to improve reading comprehension. It will focus on understanding authentic contemporary dialogue and will help students to learn to draw inferences and to make appropriate connections when reading. The course will also help students to speak more effectively in English through practicing authentic speech and dialogue and through assimilating a range of features linked to oral fluency. The course will be evaluated based on participation, presentations and a written assessment. 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30399	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	矢田部 修一	英語	火 3	1年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>ニュースの英語の聞き取り 英語のニュースを正確に聞き取る練習をすることを通じて英語の聴解力を伸ばすことを目指す。ニュースというのは、聞き取りやすく話す訓練を受けた人が丁寧に聞き取りやすく読み上げるものなので、日常生活で用いられる普通の英語よりは聴解が容易である。その程度の難易度の英語を正確に聞き取れるように繰り返し練習するというのがこの授業の中身である。ウェブ上の音声教材として用いる。 期末試験のでき具合に基づいて成績評価を行なう。あまり差がつかないような評価を行う予定なので、特別に高い点数を取ることを目指している人は受講しないほうが良いと思われます。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30400	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	逆井 聡人	英語	火 3	1年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Discussing Contemporary Society with Critical Theories この授業の目標は、現代社会における様々な問題を英語で批評的に考え、議論できる素地を作ることです。ナショナリズムやレイシズム、ジェンダー、ポストコロナル、環境、ケアといった批評理論の英語で書かれた/英訳された基礎的文献に触れ、そこから得られた知見を活用して、現代社会で起こっている出来事をどのように捉えられるかを議論します。 毎回のコメントシート、ディスカッションへの貢献度、期末テストの点数を総合的に評価します。 授業中に指示をする。/Will specify at class time 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30401	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 3	1年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要	Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.					
成績評価方法	Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30402	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	王 怡人	英語	火 3	1年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要	Effective Communication and Presentation Skills in English This course aims to equip non-native English-speaking students with essential skills for writing and presenting scientific content in English. Through interactive workshops, students will learn to craft concise scientific abstracts, deliver compelling elevator pitches, and create engaging presentations with effective visual aids. By the end of this course, students will be able to: 1.Compose clear and concise scientific abstracts. 2.Deliver various types of presentations. 3.Develop structured outlines and notes for presentations. 4.Apply advanced presentation techniques for openings, closings, and Q&A sessions. 5.Design impactful visual aids, including slides and posters. 6.Integrate technology to enhance presentations. 7.Conduct informative presentations with confidence. 8.Engage in constructive peer evaluation.					
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> •Class contribution (20%) •Peer work, group discussion (30%) •Reflection (20%) •Final presentation (30%) 					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30403	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 3	1年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要	英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。					
成績評価方法	複数回の発表を含めた平常点と学期末の筆記課題（または筆記試験）による。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40130	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 3	1年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要	英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。					
成績評価方法	複数回の発表を含めた平常点と学期末の筆記課題（または筆記試験）による。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40131	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	王 怡人	英語	火 3	1年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要	Effective Communication and Presentation Skills in English This course aims to equip non-native English-speaking students with essential skills for writing and presenting scientific content in English. Through interactive workshops, students will learn to craft concise scientific abstracts, deliver compelling elevator pitches, and create engaging presentations with effective visual aids. By the end of this course, students will be able to:					
成績評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1.Compose clear and concise scientific abstracts. 2.Deliver various types of presentations. 3.Develop structured outlines and notes for presentations. 4.Apply advanced presentation techniques for openings, closings, and Q&A sessions. 5.Design impactful visual aids, including slides and posters. 6.Integrate technology to enhance presentations. 7.Conduct informative presentations with confidence. 8.Engage in constructive peer evaluation. <ul style="list-style-type: none"> •Class contribution (20%) •Peer work, group discussion (30%) •Reflection (20%) •Final presentation (30%) 					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40132	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 3	1年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要	Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.					
成績評価方法	Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70%					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40133	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	逆井 聡人	英語	火 3	1年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Discussing Contemporary Society with Critical Theories</p> <p>この授業の目標は、現代社会における様々な問題を英語で批評的に考え、議論できる素地を作ることです。ナショナリズムやレイシズム、ジェンダー、ポストコロニアル、環境、ケアといった批評理論の英語で書かれた／英訳された基礎的文献に触れ、そこから得られた知見を活用して、現代社会で起こっている出来事をどのように捉えられるかを議論します。</p> <p>毎回のコメントシート、ディスカッションへの貢献度、期末テストの点数を総合的に評価します。</p> <p>授業中に指示をする。／Will specify at class time</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40134	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	矢田部 修一	英語	火 3	1年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>ニュースの英語の聞き取り</p> <p>英語のニュースを正確に聞き取る練習をすることを通じて英語の聴解力を伸ばすことを目指す。ニュースというのは、聞き取りやすく話す訓練を受けた人が丁寧に聞き取りやすく読み上げるものなので、日常生活で用いられる普通の英語よりは聴解が容易である。その程度の難易度の英語を正確に聞き取れるように繰り返し練習するというのがこの授業の中身である。ウェブ上の音声教材として用いる。</p> <p>期末試験のでき具合に基づいて成績評価を行なう。あまり差がつかないような評価を行う予定なので、特別に高い点数を取ることを目指している人は受講しないほうが良いと思われます。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40135	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	アンダル ジ ャクリーン	英語	火 3	1年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目	Reading Drama Texts					
授業の目標概要	This course will use a contemporary British drama text to improve reading comprehension. It will focus on understanding authentic contemporary dialogue and will help students to learnt o draw inferences and to make appropriate connections when reading. The course will also help students to speak more effectively in English through practicing authentic speech and dialogue and through assimilating a range of features linked to oral fluency.					
成績評価方法	The course will be evaluated based on participation, presentations and a written assessment.					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40136	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	後藤 春美	英語	火 3	1年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目	英語講読（国際社会の歴史）					
授業の目標概要	雑誌 International Affairs に掲載された論文の読解。					
成績評価方法	平常点(毎回の授業で訳読やまとめを担当した時の出来、予習の有無、出席などを勘案する)を主(7割)とする。最終授業時間に行うテスト(3割)で補完する。					
教科書	その他。/Other UTOL にアップするので、そこから各自でダウンロードして欲しい。(なお、各自で本学の e-journal からダウンロードすることも可能である。)					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定ターム型） 火4

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30460	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	アンダル ジ ヤクリーン	英語	火 4	1年 文一二(4)文三(18)理一 (22,32,38)理二三(15)
講義題目 授業の目標概要		Reading Drama Texts This course will use a contemporary British drama text to improve reading comprehension. It will focus on understanding authentic contemporary dialogue and will help students to learnt o draw inferences and to make appropriate connections when reading. The course will also help students to speak more effectively in English through practicing authentic speech and dialogue and through assimilating a range of features linked to oral fluency.				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		The course will be evaluated based on participation, presentations and a written assessment. 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30461	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 4	1年 文一二(4)文三(18)理一 (22,32,38)理二三(15)
講義題目 授業の目標概要		Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70% 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30462	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	後藤 春美	英語	火 4	1年 文一二(4)文三(18)理一 (22,32,38)理二三(15)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		英語講読（国際社会の歴史） 雑誌 International Affairs に掲載された論文の読解。 平常点(毎回の授業で訳読やまとめを担当した時の出来、予習の有無、出席などを勘案する)を主(7割)とする。最終授業時間に行うテスト(3割)で補完する。 その他。/Other UTOL にアップするので、そこから各自でダウンロードして欲しい。(なお、各自で本学の e-journal からダウンロードすることも可能である。) 特に行わない。/Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30463	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	矢田部 修一	英語	火 4	1年 文一二(4)文三(18)理一 (22,32,38)理二三(15)
講義題目	ニュースの英語の聞き取り					
授業の目標概要	英語のニュースを正確に聞き取る練習をすることを通じて英語の聴解力を伸ばすことを目指す。ニュースというのは、聞き取りやすく話す訓練を受けた人が丁寧に聞き取りやすく読み上げるものなので、日常生活で用いられる普通の英語よりは聴解が容易である。その程度の難易度の英語を正確に聞き取れるように繰り返し練習するというのがこの授業の中身である。ウェブ上の音声を教材として用いる。					
成績評価方法	期末試験のでき具合に基づいて成績評価を行なう。あまり差がつかないような評価を行う予定なので、特別に高い点数を取ることを目指している人は受講しないほうが良いと思われます。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30464	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 4	1年 文一二(4)文三(18)理一 (22,32,38)理二三(15)
講義題目	英語で日本近現代史を読む					
授業の目標概要	外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。					
成績評価方法	複数回の発表を含めた平常点と学期末の筆記課題（または筆記試験）による。					
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30465	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	王 怡人	英語	火 4	1年 文一二(4)文三(18)理一 (22,32,38)理二三(15)
講義題目	Effective Communication and Presentation Skills in English					
授業の目標概要	This course aims to equip non-native English-speaking students with essential skills for writing and presenting scientific content in English. Through interactive workshops, students will learn to craft concise scientific abstracts, deliver compelling elevator pitches, and create engaging presentations with effective visual aids. By the end of this course, students will be able to:					
成績評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1.Compose clear and concise scientific abstracts. 2.Deliver various types of presentations. 3.Develop structured outlines and notes for presentations. 4.Apply advanced presentation techniques for openings, closings, and Q&A sessions. 5.Design impactful visual aids, including slides and posters. 6.Integrate technology to enhance presentations. 7.Conduct informative presentations with confidence. 8.Engage in constructive peer evaluation. <ul style="list-style-type: none"> •Class contribution (20%) •Peer work, group discussion (30%) •Reflection (20%) •Final presentation (30%) 					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30466	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	佐々木 悠介	英語	火 4	1年 文一二(4)文三(18)理一 (22,32,38)理二三(15)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>ジャック・ロンドンの短編小説を読む 本格的な小説のテキスト（リライト版でない）を読むには、報道記事や論文を読むのとは多少異なる種類の英語力が必要になる。 この授業では、英語の文体に対する感受性を養うための最初の一步としたい。 予習課題および輪読を評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40152	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 4	1年 文一二(6,18)文三(12)理一 (30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models. Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40153	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	後藤 春美	英語	火 4	1年 文一二(6,18)文三(12)理一 (30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>英語講読（国際社会の歴史） 雑誌 International Affairs に掲載された論文の読解。 平常点(毎回の授業で訳読やまとめを担当した時の出来、予習の有無、出席などを勘案する)を主(7割)とする。最終授業時間に行うテスト(3割)で補完する。 その他。／Other UTOL にアップするので、そこから各自でダウンロードして欲しい。(なお、各自で本学の e-journal からダウンロードすることも可能である。) 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40154	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	矢田部 修一	英語	火 4	1年 文一二(6,18)文三(12)理 一(30,34)理二三(18,22)
講義題目	ニュースの英語の聞き取り					
授業の目標概要	英語のニュースを正確に聞き取る練習をすることを通じて英語の聴解力を伸ばすことを目指す。ニュースというのは、聞き取りやすく話す訓練を受けた人が丁寧に聞き取りやすく読み上げるものなので、日常生活で用いられる普通の英語よりは聴解が容易である。その程度の難易度の英語を正確に聞き取れるように繰り返し練習するというのがこの授業の中身である。ウェブ上の音声を教材として用いる。					
成績評価方法	期末試験のでき具合に基づいて成績評価を行なう。あまり差がつかないような評価を行う予定なので、特別に高い点数を取ることを目指している人は受講しないほうが良いと思われます。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40155	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 4	1年 文一二(6,18)文三(12)理 一(30,34)理二三(18,22)
講義題目	英語で日本近現代史を読む					
授業の目標概要	外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。					
成績評価方法	複数回の発表を含めた平常点と学期末の筆記課題（または筆記試験）による。					
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40156	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	王 怡人	英語	火 4	1年 文一二(6,18)文三(12)理 一(30,34)理二三(18,22)
講義題目	Effective Communication and Presentation Skills in English					
授業の目標概要	This course aims to equip non-native English-speaking students with essential skills for writing and presenting scientific content in English. Through interactive workshops, students will learn to craft concise scientific abstracts, deliver compelling elevator pitches, and create engaging presentations with effective visual aids. By the end of this course, students will be able to: 1.Compose clear and concise scientific abstracts. 2.Deliver various types of presentations. 3.Develop structured outlines and notes for presentations. 4.Apply advanced presentation techniques for openings, closings, and Q&A sessions. 5.Design impactful visual aids, including slides and posters. 6.Integrate technology to enhance presentations. 7.Conduct informative presentations with confidence. 8.Engage in constructive peer evaluation.					
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> •Class contribution (20%) •Peer work, group discussion (30%) •Reflection (20%) •Final presentation (30%) 					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40157	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	佐々木 悠介	英語	火 4	1年 文一二(6,18)文三(12)理 一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>ジャック・ロンドンの短編小説を読む 本格的な小説のテキスト（リライト版でない）を読むには、報道記事や論文を読むのとは多少異なる種類の英語力が必要になる。 この授業では、英語の文体に対する感受性を養うための最初の一步としたい。 予習課題および輪読を評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40158	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	アンドン ジ ャクリン	英語	火 4	1年 文一二(6,18)文三(12)理 一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Reading Drama Texts This course will use a contemporary British drama text to improve reading comprehension. It will focus on understanding authentic contemporary dialogue and will help students to learn to draw inferences and to make appropriate connections when reading. The course will also help students to speak more effectively in English through practicing authentic speech and dialogue and through assimilating a range of features linked to oral fluency. The course will be evaluated based on participation, presentations and a written assessment. 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

英語中級（クラス指定ターム型） 水2

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30624	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	太田 奈名子	英語	水 2	1年 文一二(14)文三(4,13)理 一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要	Consuming and Creating Media テレビにラジオ、映画に新聞、Facebook に Twitter、LINE に Instagram...。私たちは日々さまざまなメディアや SNS に触れ、四方から溢れてくる情報に常に晒されている。この英語中級・プレゼンテーションの授業では、普段は「メディアの受け手」となっている私たちの役割を「メディアの作り手」に切り替え、メディアと SNS を通じていかに相手に考えを伝えればよいのか、またどのように自分を表現すればよいのかを学ぶ。 具体的には、①実際に放送されたウェブ CM に対し、受け手・作り手双方の立場をとって意見する、②アニメのアフレコ・アテレコを通じて声の使い方を学ぶ、③無料グラフィックデザインツール Canva で簡単な自己紹介画像をつくる、という3つのプレゼンを行う。 プレゼンテーションのあとには、クラスメートがコメントをする時間を設けて、コミュニケーションがとれているか否かをクラス全体の議論のなかで確認してもらう。 説得力のあるプレゼンテーションを行える「よいメディアの作り手」になるためには、既存のメディアを批判的思考をもって捉えることのできる、つまり「よいメディアの受け手」になることも重要である。そこで、この授業はプレゼンテーションに特化したものではあるが、講師が理論の説明や時事問題の解説を適宜行う。簡単なリーディング・リスニング課題を出す場合もある。 最後に、この授業の目標は、クラスメート全員の英語プレゼンテーションを見聞きすることで、自分が授業履修前にもっていたメディアや SNS に対する認識を変化させ、さらに、自身の新たな側面（英語プレゼンテーションの手法・技巧）を発見することである。					
成績評価方法	出欠と授業参加度（クラス開始時点での点呼と、授業内での積極的発言） 4点 × 7回 = 28点 英語プレゼンテーション 20点 × 3回 = 60点 クラス内コンペ投票 12点 →合計 100点満点					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30625	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	清水 晶子	英語	水 2	1年 文一二(14)文三(4,13)理 一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要	〈性と生殖にかかわる健康と権利〉を巡るエッセーを読む 〈性と生殖にかかわる健康と権利〉(SRHR)は、2010年代終わりから再び激化してきた米国の「文化戦争」の大きな一翼を担うテーマとなっている。この授業では、New York Times や The Atlantic、New York Magazine などに掲載された SRHR を巡る現代の米国における議論と闘争にコミットした記事を読む。それを通じて、英語圏の新聞や雑誌における論説記事や取材レポートなどの、小説とも論文とも異なる文体の長文英語読解に慣れるとともに、現代の性の政治について学ぶことを目指す。					
成績評価方法	担当した報告の内容、および毎回の授業での参加・貢献で総合的に判断する。 また、試験日を別に決めての試験は行わないが、最終回に小さいテストを実施する。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30626	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	栗原 浪絵	英語	水 2	1年 文一二(14)文三(4,13)理 一(14-15)理二三(10)
講義題目	Art in English					
授業の目標概要	教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、美術史や現代のアートについて英語でディスカッションを行う。並行してデザインや建築についても関心を広げる予定である。					
成績評価方法	プレゼンテーション、授業への参加、レポートで評価する。(試験は行わない。)					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Clair Hughes The English Family Portrait 英宝社 978-4-269-12026-6 一部の章のみを扱う予定である。					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30627	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	瀧野 みゆき	英語	水 2	1年 文一二(14)文三(4,13)理 一(14-15)理二三(10)
講義題目	英語動画を素材に英語で Discussion					
授業の目標概要	身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。 授業内の英語 Discussion では、1) 自分の意見を英語で言う、2) 英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3) 他の人の意見を積極的に聞く、そして 4) 英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の 4 点を目標とします。 授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。 併せて、動画などの英語の素材を活用し、長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます： ・英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する ・英語動画等を視聴しながら、英語を聴き取り、理解する力を伸ばす ・動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する					
成績評価方法	授業のディスカッションのノート 40% 各授業のリスニングミニテスト 6回 40% 授業への積極的な参加 20% (期末テスト等を行わない)					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30628	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	野口 大斗	英語	水 2	1年 文一二(14)文三(4,13)理 一(14-15)理二三(10)
講義題目	アウトプットのための英語リスニング					
授業の目標概要	この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。					
成績評価方法	積極的な授業への参加（発言など）：10% 課題：15% 小テスト：15% 期末試験（教材以外の初見問題を含む）：60%					
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30629	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	堀越 庸一郎	英語	水 2	1年 文一二(14)文三(4,13)理 一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要	諸国民の工芸—Marcus B. Huish, Samplers & Tapestry Embroideries (1913)を読む リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、工芸、それも刺繍とか、ご興味ないですかね。19世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL向上やらSAN値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、刺繍です。1913年出版の、マークス・ボーン・ヒューイッシュ著、『刺繍見本とタペストリ刺繍』。					
成績評価方法	百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。また、内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法—科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈するには作法がありまして、それはそのテキストがどんなものだろうと同じです—教養英語の教科書だろうと、百年前の刺繍の本だろうと、千年前の修道院文書だろうと、です。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。					
教科書	その他。/Other 「授業の方法」をご参照ください。					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30630	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 2	1年 文一二(14)文三(4,13)理 一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要	英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。					
成績評価方法	授業内の発表、小テスト（数回実施予定）、期末エッセーから総合的に判断する。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Anthony Elliott Reinvention (Second Edition) Routledge 9780367367268					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30631	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	水 2	1年 文一二(14)文三(4,13)理 一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要	19世紀後半から20世紀前半に書かれた優れた短編小説を深く味わう 作品をただ読むのではなく、その中の表現方法や起きている事がらを通して見えてくる時代の風潮、当時の社会通念や文化表象などについて知識を深めながら、作品の世界を深く味わっていく。風景描写や会話のなかに登場する英語表現、助動詞や冠詞一つ、文体、時制にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目する。小説の中にさりげなく登場する階級意識、社会運動、ジェンダー、風俗習慣、ヨーロッパ的/米国的世界観の相違、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。 サスペンス・怪奇短編小説を検討しています。					
成績評価方法	テスト（期末試験＋小テスト含む） 80% 平常点（グループワーク時、授業時における自主的な発言などの積極性、課題への取り組みなど総体的判断） 20% なお、出席しただけで付与される点数はありません。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40176	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	太田 奈名子	英語	水 2	1年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要	Consuming and Creating Media テレビにラジオ、映画に新聞、FacebookにTwitter、LINEにInstagram…。私たちは日々さまざまなメディアやSNSに触れ、四方から溢れてくる情報に常に晒されている。この英語中級・プレゼンテーションの授業では、普段は「メディアの受け手」となっている私たちの役割を「メディアの作り手」に切り替え、メディアとSNSを通じていかに相手に考えを伝えればよいのか、またどのように自分を表現すればよいのかを学ぶ。 具体的には、①実際に放送されたウェブCMに対し、受け手・作り手双方の立場をとって意見する、②アニメのアフレコ・アテレコを通じて声の使い方を学ぶ、③無料グラフィックデザインツール Canva で簡単な自己紹介画像をつくる、という3つのプレゼンを行う。 プレゼンテーションのあとには、クラスメートがコメントをする時間を設けて、コミュニケーションがとれているか否かをクラス全体の議論のなかで確認してもらう。 説得力のあるプレゼンテーションを行える「よいメディアの作り手」になるためには、既存のメディアを批判的思考をもって捉えることのできる、つまり「よいメディアの受け手」になることも重要である。そこで、この授業はプレゼンテーションに特化したものではあるが、講師が理論の説明や時事問題の解説を適宜行う。簡単なリーディング・リスニング課題を出す場合もある。 最後に、この授業の目標は、クラスメート全員の英語プレゼンテーションを見聞きすることで、自分が授業履修前にもっていたメディアやSNSに対する認識を変化させ、さらに、自身の新たな側面（英語プレゼンテーションの手法・技巧）を発見することである。					
成績評価方法	出欠と授業参加度（クラス開始時点での点呼と、授業内での積極的発言） 4点 × 7回 = 28点 英語プレゼンテーション 20点 × 3回 = 60点 クラス内コンペ投票 12点 →合計 100点満点					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40177	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	清水 晶子	英語	水 2	1年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目	〈性と生殖にかかわる健康と権利〉を巡るエッセーを読む					
授業の目標概要	〈性と生殖にかかわる健康と権利〉(SRHR)は、2010年代終わりから再び激化してきた米国の「文化戦争」の大きな一翼を担うテーマとなっている。この授業では、New York Times や The Atlantic、New York Magazine などに掲載された SRHR を巡る現代の米国における議論と闘争にコミットした記事を読む。それを通じて、英語圏の新聞や雑誌における論説記事や取材レポートなどの、小説とも論文とも異なる文体の長文英語読解に慣れるとともに、現代の性の政治について学ぶことを目指す。					
成績評価方法	担当した報告の内容、および毎回の授業での参加・貢献で総合的に判断する。 また、試験日を別に決めての試験は行わないが、最終回に小さいテストを実施する。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40178	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	栗原 浪絵	英語	水 2	1年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目	Art in English					
授業の目標概要	教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、美術史や現代のアートについて英語でディスカッションを行う。並行してデザインや建築についても関心を広げる予定である。					
成績評価方法	プレゼンテーション、授業への参加、レポートで評価する。(試験は行わない。)					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Clair Hughes The English Family Portrait 英宝社 978-4-269-12026-6 一部の章のみを扱う予定である。					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40179	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	瀧野 みゆき	英語	水 2	1年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目	英語動画を素材に英語で Discussion					
授業の目標概要	身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。 授業内の英語 Discussion では、1) 自分の意見を英語で言う、2) 英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3) 他の人の意見を積極的に聞く、そして 4) 英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の 4 点を目標とします。 授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。 併せて、動画などの英語の素材を活用し、長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます： ・英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する ・英語動画等を視聴しながら、英語を聴き取り、理解する力を伸ばす ・動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する					
成績評価方法	授業のディスカッションのノート 40% 各授業のリスニングミニテスト 6回 40% 授業への積極的な参加 20% (期末テスト等を行わない)					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40180	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	野口 大斗	英語	水 2	1年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>アウトプットのための英語リスニング</p> <p>この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。</p> <p>積極的な授業への参加（発言など）：10% 課題：15% 小テスト：15% 期末試験（教材以外の初見問題を含む）：60%</p> <p>プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40181	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	堀越 庸一郎	英語	水 2	1年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>諸国民の工芸—Marcus B. Huish, Samplers & Tapestry Embroideries (1913)を読む</p> <p>リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、工芸、それも刺繍とか、ご興味ないですかね。19世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL向上やらSAN値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみよう、という趣向です。で、刺繍です。1913年出版の、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ著、『刺繍見本とタペストリ刺繍』。</p> <p>百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。また、内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法—科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストがどんなものだろうと同じです—教養英語の教科書だろうと、百年前の刺繍の本だろうと、千年前の修道院文書だろうと、です。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。</p> <p>・担当部分の訳に対する評価（15%） ・提出課題に対する評価（15%） ・学期末レポート（2-3ページ程度の英文を訳して、解釈の根拠を示すための訳注をつけたもの。課題はUTOLで後日配布。UTOLにファイルで提出して頂きます）（70%）</p> <p>その他。／Other 「授業の方法」をご参照ください。 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40182	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 2	1年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>英語で読み解く現代社会</p> <p>この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。</p> <p>授業内の発表、小テスト（数回実施予定）、期末エッセイから総合的に判断する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Anthony Elliott Reinvention (Second Edition) Routledge 9780367367268 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40183	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	水 2	1年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要	19世紀後半から20世紀前半に書かれた優れた短編小説を深く味わう 作品をただ読むのではなく、その中の表現方法や起こっている事を通して見えてくる時代の風潮、当時の社会通念や文化表象などについて知識を深めながら、作品の世界を深く味わっていく。風景描写や会話のなかに登場する英語表現、助動詞や冠詞一つ、文体、時制にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目する。小説の中にさりげなく登場する階級意識、社会運動、ジェンダー、風俗習慣、ヨーロッパ的/米国的世界観の相違、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。 サスペンス・怪奇短編小説を検討しています。					
成績評価方法	テスト（期末試験＋小テスト含む） 80% 平常点（グループワーク時、授業時における自主的な発言などの積極性、課題への取り組みなど総体的判断） 20% なお、出席ただけで付与される点数はありません。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定ターム型） 水3

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30690	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	栗原 浪絵	英語	水 3	1年 文一二(12)文三(20)理一 (10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要	Art in English 教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、美術史や現代のアートについて英語でディスカッションを行う。並行してデザインや建築についても関心を広げる予定である。					
成績評価方法 教科書	プレゼンテーション、授業への参加、レポートで評価する。(試験は行わない。) 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Clair Hughes The English Family Portrait 英宝社 978-4-269-12026-6 一部の章のみを扱う予定である。					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30691	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	太田 奈名子	英語	水 3	1年 文一二(12)文三(20)理一 (10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要	Consuming and Creating Media テレビにラジオ、映画に新聞、Facebook に Twitter、LINE に Instagram...。私たちは日々さまざまなメディアや SNS に触れ、四方から溢れてくる情報に常に晒されている。この英語中級・プレゼンテーションの授業では、普段は「メディアの受け手」となっている私たちの役割を「メディアの作り手」に切り替え、メディアと SNS を通じていかに相手に考えを伝えればよいのか、またどのように自分を表現すればよいのかを学ぶ。 具体的には、①実際に放送されたウェブ CM に対し、受け手・作り手双方の立場をとって意見する、②アニメのアフレコ・アテレコを通じて声の使い方を学ぶ、③無料グラフィックデザインツール Canva で簡単な自己紹介画像をつくる、という3つのプレゼンを行う。 プレゼンテーションのあとには、クラスメートがコメントをする時間を設けて、コミュニケーションがとれているか否かをクラス全体の議論のなかで確認してもらう。 説得力のあるプレゼンテーションを行える「よいメディアの作り手」になるためには、既存のメディアを批判的思考をもって捉えることのできる、つまり「よいメディアの受け手」になることも重要である。そこで、この授業はプレゼンテーションに特化したものではあるが、講師が理論の説明や時事問題の解説を適宜行う。簡単なリーディング・リスニング課題を出す場合もある。 最後に、この授業の目標は、クラスメート全員の英語プレゼンテーションを見聞きすることで、自分が授業履修前にもっていたメディアや SNS に対する認識を変化させ、さらに、自身の新たな側面（英語プレゼンテーションの手法・技巧）を発見することである。					
成績評価方法	出欠と授業参加度（クラス開始時点での点呼と、授業内での積極的発言） 4点 × 7回 = 28点 英語プレゼンテーション 20点 × 3回 = 60点 クラス内コンペ投票 12点 →合計 100点満点					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30693	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	堀越 庸一郎	英語	水 3	1年 文一二(12)文三(20)理一 (10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要	諸国民の工芸—Marcus B. Huish, Samplers & Tapestry Embroideries (1913)を読む リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、工芸、それも刺繍とか、ご興味ないですかね。19世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL向上やらSAN値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、刺繍です。1913年出版の、マークス・ボーン・ヒューイッシュ著、『刺繍見本とタペストリ刺繍』。					
成績評価方法	百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。また、内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法—科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈するには作法がありまして、それはそのテキストがどんなものだろうと同じです—教養英語の教科書だろうと、百年前の刺繍の本だろうと、千年前の修道院文書だろうと、です。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。					
教科書	その他。/Other 「授業の方法」をご参照ください。					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30694	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	清水 晶子	英語	水 3	1年 文一二(12)文三(20)理一 (10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要	〈性と生殖にかかわる健康と権利〉を巡るエッセーを読む 〈性と生殖にかかわる健康と権利〉(SRHR)は、2010年代終わりから再び激化してきた米国の「文化戦争」の大きな一翼を担うテーマとなっている。この授業では、New York TimesやThe Atlantic、New York Magazineなどに掲載されたSRHRを巡る現代の米国における議論と闘争にコミットした記事を読む。それを通じて、英語圏の新聞や雑誌における論説記事や取材レポートなどの、小説とも論文とも異なる文体の長文英語読解に慣れるとともに、現代の性の政治について学ぶことを目指す。					
成績評価方法	担当した報告の内容、および毎回の授業での参加・貢献で総合的に判断する。 また、試験日を別に決めての試験は行わないが、最終回に小さいテストを実施する。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30695	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	水 3	1年 文一二(12)文三(20)理一 (10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要	19世紀後半から20世紀前半に書かれた優れた短編小説を深く味わう 作品をただ読むのではなく、その中の表現方法や起こっている事からを通して見えてくる時代の風潮、当時の社会通念や文化表象などについて知識を深めながら、作品の世界を深く味わっていく。風景描写や会話のなかに登場する英語表現、助動詞や冠詞一つ、文体、時制にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目する。小説の中にさりげなく登場する階級意識、社会運動、ジェンダー、風俗習慣、ヨーロッパ的/米国的世界観の相違、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。 英国と米国で出版されたサスペンス・怪奇短編小説を検討しています。					
成績評価方法	テスト（期末試験＋小テスト含む） 80% 平常点（グループワーク時、授業時における自主的な発言などの積極性、課題への取り組みなど総体的判断） 20% なお、出席しただけで付与される点数はありません。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30696	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	アンダル ジ ャクリーン	英語	水 3	1年 文一二(12)文三(20)理一 (10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要	Reading Drama Texts This course will use a contemporary British drama text to improve reading comprehension. It will focus on understanding authentic contemporary dialogue and will help students to learn to draw inferences and to make appropriate connections when reading. The course will also help students to speak more effectively in English through practicing authentic speech and dialogue and through assimilating a range of features linked to oral fluency.					
成績評価方法	The course will be evaluated based on participation, presentations and a written assessment.					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30697	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	瀧野 みゆき	英語	水 3	1年 文一二(12)文三(20)理一 (10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要	英語動画を素材に英語で Discussion 身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。 授業内の英語 Discussion では、1) 自分の意見を英語で言う、2) 英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3) 他の人の意見を積極的に聞く、そして4) 英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の4点を目標とします。 授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。 併せて、動画などの英語の素材を活用し、長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます： ・英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する ・英語動画等を視聴しながら、英語を聴き取り、理解する力を伸ばす ・動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する					
成績評価方法	授業のディスカッションのノート 40% 各授業のリスニングミニテスト 6回 40% 授業への積極的な参加 20% (期末テスト等を行わない)					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40220	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	堀越 庸一郎	英語	水 3	1年 文一二(16)文三(10)理一 (13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要	諸国民の工芸—Marcus B. Huish, Samplers & Tapestry Embroideries (1913)を読む リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、工芸、それも刺繍とか、ご興味ないですかね。19世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL向上やらSAN値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、刺繍です。1913年出版の、マークス・ボーン・ヒューイッシュ著、『刺繍見本とタペストリ刺繍』。					
成績評価方法	百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。また、内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法—科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈するには作法がありまして、それはそのテキストがどんなものだろうと同じです—教養英語の教科書だろうと、百年前の刺繍の本だろうと、千年前の修道院文書だろうと、です。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。					
教科書	その他。/Other 「授業の方法」をご参照ください。					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40221	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	清水 晶子	英語	水 3	1年 文一二(16)文三(10)理一 (13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要	〈性と生殖にかかわる健康と権利〉を巡るエッセーを読む 〈性と生殖にかかわる健康と権利〉(SRHR)は、2010年代終わりから再び激化してきた米国の「文化戦争」の大きな一翼を担うテーマとなっている。この授業では、New York TimesやThe Atlantic、New York Magazineなどに掲載されたSRHRを巡る現代の米国における議論と闘争にコミットした記事を読む。それを通じて、英語圏の新聞や雑誌における論説記事や取材レポートなどの、小説とも論文とも異なる文体の長文英語読解に慣れるとともに、現代の性の政治について学ぶことを目指す。					
成績評価方法	担当した報告の内容、および毎回の授業での参加・貢献で総合的に判断する。 また、試験日を別に決めての試験は行わないが、最終回に小さいテストを実施する。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40222	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	水 3	1年 文一二(16)文三(10)理一 (13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要	19世紀後半から20世紀前半に書かれた優れた短編小説を深く味わう 作品をただ読むのではなく、その中の表現方法や起きている事を通して見えてくる時代の風潮、当時の社会通念や文化表象などについて知識を深めながら、作品の世界を深く味わっていく。風景描写や会話のなかに登場する英語表現、助動詞や冠詞一つ、文体、時制にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目する。小説の中にさりげなく登場する階級意識、社会運動、ジェンダー、風俗習慣、ヨーロッパ的/米国的世界観の相違、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。 サスペンス・怪奇短編小説を検討しています。					
成績評価方法	テスト（期末試験＋小テスト含む） 80% 平常点（グループワーク時、授業時における自主的な発言などの積極性、課題への取り組みなど総体的判断） 20% なお、出席しただけで付与される点数はありません。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40223	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	アンダル ジ ャクリーン	英語	水 3	1年 文一二(16)文三(10)理一 (13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要	Reading Drama Texts This course will use a contemporary British drama text to improve reading comprehension. It will focus on understanding authentic contemporary dialogue and will help students to learn to draw inferences and to make appropriate connections when reading. The course will also help students to speak more effectively in English through practicing authentic speech and dialogue and through assimilating a range of features linked to oral fluency.					
成績評価方法	The course will be evaluated based on participation, presentations and a written assessment.					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40224	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	瀧野 みゆき	英語	水 3	1年 文一二(16)文三(10)理一 (13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要	英語動画を素材に英語で Discussion 身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。 授業内の英語 Discussion では、1) 自分の意見を英語で言う、2) 英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3) 他の人の意見を積極的に聞く、そして4) 英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の4点を目標とします。 授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。 併せて、動画などの英語の素材を活用し、長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます： ・英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する ・英語動画等を視聴しながら、英語を聴き取り、理解する力を伸ばす ・動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する					
成績評価方法	授業のディスカッションのノート 40% 各授業のリスニングミニテスト 6回 40% 授業への積極的な参加 20% (期末テスト等を行わない)					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40225	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	太田 奈名子	英語	水 3	1年 文一二(16)文三(10)理一 (13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要	Consuming and Creating Media テレビにラジオ、映画に新聞、Facebook に Twitter、LINE に Instagram...。私たちは日々さまざまなメディアや SNS に触れ、四方から溢れてくる情報に常に晒されている。この英語中級・プレゼンテーションの授業では、普段は「メディアの受け手」となっている私たちの役割を「メディアの作り手」に切り替え、メディアと SNS を通じていかに相手に考えを伝えればよいのか、またどのように自分を表現すればよいのかを学ぶ。 具体的には、①実際に放送されたウェブ CM に対し、受け手・作り手双方の立場をとって意見する、②アニメのアフレコ・アテレコを通じて声の使い方を学ぶ、③無料グラフィックデザインツール Canva で簡単な自己紹介画像をつくる、という3つのプレゼンを行う。 プレゼンテーションのあとには、クラスメートがコメントをする時間を設けて、コミュニケーションがとれているか否かをクラス全体の議論のなかで確認してもらう。 説得力のあるプレゼンテーションを行える「よいメディアの作り手」になるためには、既存のメディアを批判的思考をもって捉えることのできる、つまり「よいメディアの受け手」になることも重要である。そこで、この授業はプレゼンテーションに特化したものではあるが、講師が理論の説明や時事問題の解説を適宜行う。簡単なリーディング・リスニング課題を出す場合もある。 最後に、この授業の目標は、クラスメート全員の英語プレゼンテーションを見聞きすることで、自分が授業履修前にもっていたメディアや SNS に対する認識を変化させ、さらに、自身の新たな側面（英語プレゼンテーションの手法・技巧）を発見することである。					
成績評価方法	出欠と授業参加度（クラス開始時点での点呼と、授業内での積極的発言） 4点 × 7回 = 28点 英語プレゼンテーション 20点 × 3回 = 60点 クラス内コンペ投票 12点 →合計 100点満点					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40226	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	栗原 浪絵	英語	水 3	1年 文一二(16)文三(10)理一 (13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要	Art in English 教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、美術史や現代のアートについて英語でディスカッションを行う。並行してデザインや建築についても関心を広げる予定である。					
成績評価方法 教科書	プレゼンテーション、授業への参加、レポートで評価する。(試験は行わない。) 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Clair Hughes The English Family Portrait 英宝社 978-4-269-12026-6 一部の章のみを扱う予定である。					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定セメスター型） 月2

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30032	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	英語	月 2	1年 文一二(1-3,20)文三(1-3,5,7,9,11)理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要	English Through Advertising and Advertising's Role in Society M2 The goal of this course is to assist students in understanding the relationships between advertising and the modern consumer-oriented society. By the end of this class, students will be able to present and discuss issues in a researched and structured manner. We will study advertising campaigns from TV, the Internet and print media, discover the sales messages contained in these campaigns and how they reach their consumer targets. We will also research the way similar products are marketed differently for different cultures or countries. In addition, we will evaluate the way different societies use PSAs (Public Service Announcements / 公共広告) to raise awareness of important issues such as Domestic Violence (DV), HIV/AIDS, substance abuse, etc. Topics covered will include: - TV Commercial Strategies - Print Advertisements Design Analysis - PSAs, CSR and cause marketing - Advertising controversies (political advertising, advertising tobacco and alcohol, advertising to children, gender and racial stereotypes in advertising.)					
成績評価方法	30%: Advertising Analysis Portfolio 20%: Learning Journal 10%: Report on Museum Visit (this may be replaced by an alternative task if the museum visit is not possible) 20%: Presentation 20%: Active contribution to the class					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30033	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	岩崎 徹	英語	月 2	1年 文一二(1-3,20)文三(1-3,5,7,9,11)理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要	元祖ミュージカル（サヴォイ・オペラ）の台本を読む 『オペラ座の怪人』の約100年前、ロンドンのサヴォイ劇場で初演されて以来、今でも英米を始め英語圏で人気の高い元祖ミュージカル的コミック・オペラがある。風刺の利いたウィリアム・ギルバートの台本（・歌詞）と、軽快で親しみやすいアーサー・サリヴァンの曲による一連の「サヴォイ・オペラ」は、ドイリー・カート歌劇団により100年以上上演されてきた伝統があるが、英米の主要大学、主要都市にある同好会によるアマチュアの上演も盛んだ。 このレパートリーの中から、19世紀末欧米の日本ブームに便乗して大ヒットし、日本・日本人のステレオタイプ形成に貢献(?)した『ミカド』を複数の上演映像を見ながら読み、イギリス的ユーモアを味わう。英米では知名度抜群で現在でも上演の機会が多いこの作品について、成立の時代背景（ジャポニズム）や、日本を含めた上演にまつわるエピソードも概観する。					
成績評価方法	試験の成績に平常点を加味する。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30034	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	Christopher D. Hammond	英語	月 2	1年 文一二(1-3,20)文三(1-3,5,7,9,11)理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要	Sociology of Education and Technology The proliferation of technologies being sold both for educational purposes and to education institutions is often heralded as a means to empower learners, expand access to knowledge, and address inequality. However with this expansion comes the increasing entanglement of public education with private interests, issues of privacy and surveillance, the pedagogical challenges of educating for critical media literacy, and the reproduction of inequalities by the 'digital divide'. In this course we will take a sociological perspective to explore these and other issues in the rapidly evolving world of EdTech. We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore both instructor-and student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.					
成績評価方法	Weekly written assignments and active participation in class: 50%, Individual final research-based report: 50% (*completion of all components are required to receive a passing grade)					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30035	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	LANDAU Samantha	英語	月 2	1年 文一二(1-3,20)文三(1-3,5,7,9,11)理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要	Introduction to 20th and 21st Century American Poetry Poetry is a short form of writing, which lends itself well to close readings and discussion because it uses language flexibly. The aim of this course is to learn the basics of how to read a poem, focusing on poems from the 20th and 21st centuries. We will consider different ways of reading and interpreting poetry: learning on how to read texts, paying attention to traditional and revolutionary forms, and thinking about poetic genres. We will also consider how a poet's background and influences may change the way they write, their subject matter, and their intended audience. We will first reexamine how authors who are well-known (canonized), such as Robert Frost, Karl Shapiro, and Langston Hughes. We will then examine poets such as Joy Harjo, N. Scott Momaday, or Li-Young Li, as well as contemporary writers such as Hyejung Kook and Julia Kolchinsky Dasbach.					
成績評価方法	Final Report: 40%, Midterm Report: 30%, In-class assignments and participation: 30%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30036	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	加太 康孝	英語	月 2	1年 文一二(1-3,20)文三(1-3,5,7,9,11)理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要	<p>キャサリン・マンスフィールドの短編を精読する</p> <p>◎授業の目標 英語で書かれた短編作品を精確に読みながら、基礎的な読解力を固める。</p> <p>◎授業概要 キャサリン・マンスフィールドの短編を読み、英語を読む能力の基礎固めを目指します。 マンスフィールドは 1888 年にニュージーランドのウェリントンで生まれています。10 代半ばで地球の反対側のヨーロッパに渡り、20 歳の頃からロンドンを拠点に作家としての活動を行います。34 歳の若さで亡くなったため 10 年強の執筆期間でしたが、その作品は今でも広く読まれ「モダニズム」や「世界文学」の作品として高く評価されています。 英語科目としての目標は上記の通りで、ともかく英語の精確な読解を重視します。具体的には、語彙や文法の知識を適切に動員し、文脈に留意しながら読むという、いわば定石通りの読み方となります。大学で学習を進めていく中で、まっとうに読む力を初期に固めておくことは必ずや助けになるでしょう。</p> <p>もちろん、扱うのは短編小説ですから、「文学テキスト読解」としてこれらの作品に向き合うことにも（受講生の関心を考慮しつつ）取り組みたいと思います。しかしながら、文学テキストの読解というものも結局は英語がきちんと読めてこそそのものですから、両者は連続しています。英文を精確に読み解くためにやるべきことは実にたくさんあるので、基礎を大切にしながら進めていきたいと思っています。</p>					
成績評価方法	<p>※上記の通り「授業の方法」に調整の余地があるため、第 5 週までに方針を確定する予定です。</p> <p>平常点（授業内提出仮題を含む） 30% 小テスト 35% (15%+20%) 口頭報告およびそのまとめレポート 35% ※口頭報告を行いそのまとめレポートを提出することが単位認定の必須条件となります。 また、事情にかかわらず授業を 5 回欠席した時点でまとめレポートの提出資格を失います。やむを得ない欠席と認められる場合は代替課題の提出で出席と見なす場合がありますので、適宜ご相談ください。</p>					
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30037	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	WONG Michelle	英語	月 2	1年 文一二(1-3,20)文三(1-3,5,7,9,11)理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要	<p>TED Talks - Discussions and Presentations</p> <p>The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.</p>					
成績評価方法	<p>40% Student-led discussion assignment 40% Group presentation assignment 20% Participation</p> <p>Full attendance and active participation are expected of all students.</p>					
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30038	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	愛甲 雄一	英語	月 2	1年 文一二(1-3,20)文三(1-3,5,7,9,11)理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要	国際政治を動かす非国家主体を英語で学ぶ 本コースは、Jeffrey Haynes, et al., World Politics: International Relations & Globalisation in the 21st Century (Sage, 2023), third edition の中に収められている一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。このリーディングを通じて、本コースの受講者は、国際政治の動向に影響を与える国家以外の様々な主体（国際機構・地球市民社会など）に関してその基本的な事実や理論上の問題点などが理解できるようになるとともに、国家中心主義的な見方を相対化させたより豊かな国際政治観を身に付けることができる。また、現代国際政治の様々な問題に関する英語で記されたニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。					
成績評価方法	本コースでは、以下の3項目の合計点を基準に、各受講者の最終的な成績の評価が行なわれる。 (1) 平常点（10点満点）：授業への貢献度などに応じた評価項目。授業時において発言を求められた場合の対応、グループ内での話し合いにおける積極度、小テスト（下記）の受験回数などをベースに、本項目の評価は行なわれる。 (2) 小テスト（30点満点）：本コースでは、第2回（4月8日）から第12回（7月1日）までの各授業が終了したその当日中に UTOL 上で受験可能な「小テスト」が、必須課題として課される。本項目の評価は、					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30039	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	三吉 美加	英語	月 2	1年 文一二(1-3,20)文三(1-3,5,7,9,11)理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要	19世紀後半から20世紀前半に書かれた優れた短編小説を深く味わう 作品をただ読むのではなく、その中の表現方法や起こっている事を通して見えてくる時代の風潮、当時の社会通念や文化表象などについて知識を深めながら、作品の世界を深く味わっていく。風景描写や会話のなかに登場する英語表現、助動詞や冠詞一つ、文体、時制にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目する。小説の中にさりげなく登場する階級意識、社会運動、ジェンダー、風俗習慣、ヨーロッパ的/米国的世界観の相違、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。 サスペンス・怪奇短編小説を検討しています。					
成績評価方法	テスト（期末試験＋小テスト含む） 80% 平常点（グループワーク時、授業時における自主的な発言などの積極性、課題への取り組みなど総体的判断） 20% なお、出席しただけで付与される点数はありません。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30040	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	堀越 庸一郎	英語	月 2	1年 文一二(1-3,20)文三(1-3,5,7,9,11)理一(4,35-36)
講義題目	楽園はどこにある—Marcus B. Huish, Happy England as Painted by Helen Allingham, R.W.S. (1903) を読む					
授業の目標概要	<p>リーディング主体の英語の授業ですが、ところであなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょうか。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、居心地のいい楽園。そこで永遠に繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつか、薄汚れた都会など離れ、緑のコテージに住んで、そういう「本当に確かなもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ているのです。</p> <p>この「楽園」としての農村を、ヴィクトリア朝イギリスの画家、ヘレン・アリンガム (1848-1926) の水彩画が描いています。うっとりするような、はかない夢のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのアリンガムの絵をふんだんに掲載した、画集のような伝記のような、マーカス・ポーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による 1903 年出版の本です。これを一緒に読んでいきます。</p> <p>このクラスがもっぱら扱うのは 120 年も前の、ヴィクトリア朝の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感ずる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度はウェブ検索などで調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですので、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません—現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イングランドの流麗な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。</p>					
成績評価方法	授業中の和訳に対する評価 (30%)、および学期末レポート (70% : 3~4 頁分の英文の和訳に訳注を付記したもの)。学期末レポートは UTOL で配布・回収します。					
教科書	その他。/Other 下記「履修上の注意」に詳細があります。					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定セメスター型） 月3

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30129	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	堀越 庸一郎	英語	月 3	1年 理一(11,16-17,23,27,31)
講義題目	楽園はどこにある—Marcus B. Huish, Happy England as Painted by Helen Allingham, R.W.S. (1903) を読む					
授業の目標概要	<p>リーディング主体の英語の授業ですが、ところであなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょうか。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、多少の悶着も厄介ごと、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、居心地のいい楽園。そこで永遠に繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつか、薄汚れた都会など離れ、緑のコテージに住んで、そういう「本当に確かなもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ているのです。</p> <p>この「楽園」としての農村を、ヴィクトリア朝イギリスの画家、ヘレン・アリンガム (1848-1926) の水彩画が描いています。うっとりするような、はかない夢のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのアリンガムの絵をふんだんに掲載した、画集のような伝記のような、マーカス・ポーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による 1903 年出版の本です。これを一緒に読んでいきます。</p> <p>このクラスがもっぱら扱うのは 120 年も前の、ヴィクトリア朝の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感ずる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度はウェブ検索などで調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですので、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません—現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イングランドの流麗な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。</p>					
成績評価方法	授業中の和訳に対する評価 (30%)、および学期末レポート (70% : 3~4 頁分の英文の和訳に訳注を付記したもの)。学期末レポートは UTOL で配布・回収します。					
教科書	その他。/Other					
ガイダンス	下記「履修上の注意」に詳細があります。 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30130	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	平沢 慎也	英語	月 3	1年 理一(11,16-17,23,27,31)
講義題目	アメリカのドラマと映画で学ぶ英語—〈よくある言い回し〉と〈よくあるメロディ〉に注目して—					
授業の目標概要	<p>主にアメリカの TV ドラマや映画、インタビュー動画などを題材にして、</p> <p>(a) 表現の仕組みを理解すること (b) その表現を丸ごと覚えること</p> <p>を両立させる学習の手本を示すと同時に、</p> <p>(c) アメリカ英語の母音、子音の発音（音の「崩れ」方のパターンを含む） (d) 音節の構造 (e) アメリカ英語の自然なリズム (f) アメリカ英語のイントネーションのパターン</p> <p>についても指導します。</p> <p>長期的な目標は、英語の実例が「単語」や「ある 1 つの音節における音程の上昇」などのマイクロな要素の連鎖ではなく、〈よくある言い回し〉と〈よくあるメロディ〉というもっと大きなかたまりの連鎖であると感じられるようになることです。</p> <p>ただしこのような感覚の習得には長い年月をかけた訓練が欠かせません。まずはこの約 3 ヶ月のセメスターの短期的な目標として、英語の実例から〈よくある言い回し〉と〈よくあるメロディ〉の知識を吸収するための発想法および調査方法を身につけることを目指しましょう。</p>					
成績評価方法	予習課題 20% 発音課題 20% 期末試験 60%					
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30131	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	野口 大斗	英語	月 3	1年 理一(11,16-17,23,27,31)
講義題目 授業の目標概要	アウトプットのための英語リスニング この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。					
成績評価方法	積極的な授業への参加（発言など）：10% 課題：15% 小テスト：15% 期末試験（教材以外の初見問題を含む）：60%					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30132	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	岩崎 徹	英語	月 3	1年 理一(11,16-17,23,27,31)
講義題目 授業の目標概要	元祖ミュージカルの台本を読む 『キャッツ』や『オペラ座の怪人』のロイド・ウェバーの約 100 年前、ヴィクトリア朝末期のロンドンで大流行し、英語圏に広まった「サヴォイ・オペラ」は、元祖ミュージカルとも言うべき喜歌劇だ。諷刺の利いたギルバートの台本（・歌詞）と軽快で親しみやすいサリヴァンの曲で、現在でも人気が高い。今学期は、レパートリーの中から、無実の死刑囚をロンドン塔から救出する物語で、もっともグランド・オペラ的とされる『ロンドン塔の衛兵』をビデオを鑑賞しながら読み、イギリス的ユーモアを味わう。洗練された英語で書かれた台詞、韻を踏んだ歌詞、それに時代背景や上演のエピソードなどについての詳しい注、と多様な文体にふれる機会にもなる。					
成績評価方法	試験の成績に出席、平常点を加味する。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30133	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	愛甲 雄一	英語	月 3	1年 理一(11,16-17,23,27,31)
講義題目 授業の目標概要	戦争・テロ・核兵器の問題を英語で学ぶ 本コースは、Jeffrey Haynes, et al., World Politics: International Relations & Globalisation in the 21st Century (Sage, 2023), third edition の中に収められている一部の章を教材として使い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。このリーディングを通じて、本コースの受講者は、今日でも国際政治における最大の懸案事項のひとつである戦争・テロ・核兵器をめぐる問題の基本的な事実や理論上の論点などが理解できるようになるとともに、この問題をどう克服したり解消していけばいいのかについて考察していくための基礎的な素養を身に付けることができる。また、現代国際政治の様々な問題に関する英語で記されたニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。					
成績評価方法	本コースでは、以下の3項目の合計点を基準に、各受講者の最終的な成績の評価が行なわれる。 (1) 平常点（10点満点）：授業への貢献度などに応じた評価項目。授業時において発言を求められた場合の対応、グループ内での話し合いにおける積極度、小テスト（下記）の受験回数などをベースに、本項目の評価は行なわれる。 (2) 小テスト（30点満点）：本コースでは、第2回（4月8日）から第12回（7月1日）までの各授業が終了したその当日中に UTOL 上で受験可能な「小テスト」が、必須課題として課される。本項目の評価は、					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30134	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	WONG Michelle	英語	月 3	1年 理一(11,16-17,23,27,31)
講義題目 授業の目標概要	TED Talks - Discussions and Presentations The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.					
成績評価方法	40% Student-led discussion assignment 40% Group presentation assignment 20% Participation					
教科書 ガイダンス	Full attendance and active participation are expected of all students. 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30135	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	三吉 美加	英語	月 3	1年 理一(11,16-17,23,27,31)
講義題目 授業の目標概要	19世紀後半から20世紀前半に書かれた優れた短編小説を深く味わう 作品をただ読むのではなく、その中の表現方法や起こっている事を通して見えてくる時代の風潮、当時の社会通念や文化表象などについて知識を深めながら、作品の世界を深く味わっていく。風景描写や会話のなかに登場する英語表現、助動詞や冠詞一つ、文体、時制にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目する。小説の中にさりげなく登場する階級意識、社会運動、ジェンダー、風俗習慣、ヨーロッパ的/米国的世界観の相違、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。 サスペンス・怪奇短編小説を検討しています。					
成績評価方法	テスト（期末試験＋小テスト含む） 80% 平常点（グループワーク時、授業時における自主的な発言などの積極性、課題への取り組みなど総体的判断） 20% なお、出席しただけで付与される点数はありません。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30136	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	英語	月 3	1年 理一(11,16-17,23,27,31)
講義題目 授業の目標概要	English Through Advertising and Advertising's Role in Society M3 The goal of this course is to assist students in understanding the relationships between advertising and the modern consumer-oriented society. By the end of this class, students will be able to present and discuss issues in a researched and structured manner. We will study advertising campaigns from TV, the Internet and print media, discover the sales messages contained in these campaigns and how they reach their consumer targets. We will also research the way similar products are marketed differently for different cultures or countries. In addition, we will evaluate the way different societies use PSAs (Public Service Announcements / 公共広告) to raise awareness of important issues such as Domestic Violence (DV), HIV/AIDS, substance abuse, etc. Topics covered will include: - TV Commercial Strategies - Print Advertisements Design Analysis - PSAs, CSR and cause marketing - Advertising controversies (political advertising, advertising tobacco and alcohol, advertising to children, gender and racial stereotypes in advertising.)					
成績評価方法	30%: Advertising Analysis Portfolio 20%: Learning Journal 10%: Report on Museum Visit (this may be replaced by an alternative task if the museum visit is not possible) 20%: Presentation 20%: Active contribution to the class					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定セメスター型） 月4

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30179	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	愛甲 雄一	英語	月 4	1年 文一二(10)理一(8,12)理 二三(8)
講義題目 授業の目標概要	戦争・テロ・核兵器の問題を英語で学ぶ 本コースは、Jeffrey Haynes, et al., World Politics: International Relations & Globalisation in the 21st Century (Sage, 2023), third edition の中に収められている一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。このリーディングを通じて、本コースの受講者は、今日でも国際政治における最大の懸案事項のひとつである戦争・テロ・核兵器をめぐる問題の基本的な事実や理論上の論点などが理解できるようになるとともに、この問題をどう克服したり解消していけばいいのかについて考察していくための基礎的な素養を身に付けることができる。また、現代国際政治の様々な問題に関する英語で記されたニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。					
成績評価方法	本コースでは、以下の3項目の合計点を基準に、各受講者の最終的な成績の評価が行なわれる。 (1) 平常点（10点満点）：授業への貢献度などに応じた評価項目。授業時において発言を求められた場合の対応、グループ内での話し合いにおける積極度、小テスト（下記）の受験回数などをベースに、本項目の評価は行なわれる。 (2) 小テスト（30点満点）：本コースでは、第2回（4月8日）から第12回（7月1日）までの各授業が終了したその当日中に UTOL 上で受験可能な「小テスト」が、必須課題として課される。本項目の評価は、					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30180	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	WONG Michelle	英語	月 4	1年 文一二(10)理一(8,12)理 二三(8)
講義題目 授業の目標概要	TED Talks - Discussions and Presentations The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.					
成績評価方法	40% Student-led discussion assignment 40% Group presentation assignment 20% Participation Full attendance and active participation are expected of all students.					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30181	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	平沢 慎也	英語	月 4	1年 文一二(10)理一(8,12)理 二三(8)
講義題目 授業の目標概要	<p>アメリカのドラマと映画で学ぶ英語—〈よくある言い回し〉と〈よくあるメロディ〉に注目して— 主にアメリカのTVドラマや映画、インタビュー動画などを題材にして、 (a) 表現の仕組みを理解すること (b) その表現を丸ごと覚えること を両立させる学習の手本を示すと同時に、 (c) アメリカ英語の母音、子音の発音（音の「崩れ」方のパターンを含む） (d) 音節の構造 (e) アメリカ英語の自然なリズム (f) アメリカ英語のイントネーションのパターン についても指導します。</p> <p>長期的な目標は、英語の実例が「単語」や「ある1つの音節における音程の上昇」などのマイクロな要素の連鎖ではなく、〈よくある言い回し〉と〈よくあるメロディ〉というもっと大きなかたまりの連鎖であると感じられるようになることです。</p> <p>ただしこのような感覚の習得には長い年月をかけた訓練が欠かせません。まずはこの約3ヶ月のセメスターの短期的な目標として、英語の実例から〈よくある言い回し〉と〈よくあるメロディ〉の知識を吸収するための発想法および調査方法を身につけることを目指しましょう。</p>					
成績評価方法	<p>予習課題 20% 発音課題 20% 期末試験 60%</p>					
教科書 ガイダンス	<p>プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30182	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	高橋 和子	英語	月 4	1年 文一二(10)理一(8,12)理 二三(8)
講義題目 授業の目標概要	<p>名作から学ぶ英語リーディング English Reading through Masterpieces 本授業では、英語を学ぶ大学生ならば理科系・文科系に関わらず、一度は英語で読んでおきたい名作の名場面を取り上げる。様々な名作を読むことを通して、英語力を向上させることを目標にする。 This class aims to get used to reading English texts of various literary materials. Students develop their English skills by reading famous scenes from masterpieces.</p>					
成績評価方法	<p>毎回の授業に関連したレポート及びディスカッション・プレゼンテーションの成果（60%） 最終レポート（40%）：詳細は授業で説明します。</p>					
教科書 ガイダンス	<p>授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30183	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	野口 大斗	英語	月 4	1年 文一二(10)理一(8,12)理 二三(8)
講義題目 授業の目標概要	<p>アウトプットのための英語リスニング この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。</p>					
成績評価方法	<p>積極的な授業への参加（発言など）：10% 課題：15% 小テスト：15% 期末試験（教材以外の初見問題を含む）：60%</p>					
教科書 ガイダンス	<p>プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30184	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	英語	月 4	1年 文一二(10)理一(8,12)理 二三(8)
講義題目 授業の目標概要	<p>Advertising, Visual Communication and Persuasion</p> <p>The goal of this course is to help students understand how images, shapes, colours and other forms of visuals are used to communicate. Through visual image and media, this course introduces students to communication from a non-textual perspective. The principles, theories, aesthetics, and techniques of visual communication will be discussed. Visual persuasion, photography, graphic design, culture and ethics will also be explored.</p> <p>We will study advertising campaigns, famous posters and paintings, influential photographs, and other significant examples of graphic design. By the end of this class, students will be able to present and discuss issues in a researched and structured manner.</p> <p>Topics covered will include:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Print Advertisements Design - Poster Design - Introduction to Typography - Visual and Linguistic Landscape <p>By the end of the course, students should be able to understand the basics of graphic design and use correct language to analyze and critique visual images. Students will also be able to better understand the power of images and their use in society.</p>					
成績評価方法	<p>30%: Visual Analysis Portfolio 20%: Learning Journal 10%: Report on Visual and Linguistic Landscape Field Study 20%: Presentation(s) 20%: Active contribution to the class</p>					
教科書 ガイダンス	<p>プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

英語中級（クラス指定セメスター型） 火1

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30273	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	西川 杉子	英語	火 1	1年 文一二(23)文三(15)理二 三(11,23)
講義題目 授業の目標概要		History Today を読む イギリスで出版されている歴史の教養雑誌 History Today に収録された小論文を読み、イギリスの文化・歴史を学ぶ。 History Today については図書館に入っているの、参考にするよ。また、テーマに関連した DVD などを視聴することもある。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		毎回の小テストおよび授業への参加度。 プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30274	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	田尻 芳樹	英語	火 1	1年 文一二(23)文三(15)理二 三(11,23)
講義題目 授業の目標概要		短編小説を読む この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、20 世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		平常の参加度と、期末テスト。 プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30275	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	松本 和子	英語	火 1	1年 文一二(23)文三(15)理二 三(11,23)
講義題目 授業の目標概要		はじめてのニュース英語 ニュース英語を通じて、リスニングによる理解力を伸ばすことを目指す。具体的には、イギリスの国営放送 BBC のニュースを通じ、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さに慣れることを目指す。はじめて英語のニュースを聞くような学生を対象としているため、すでにニュースを英語で聞いて問題なく理解できる学生はネイティブの先生の授業を履修することをすすめる。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		出席・参加・シャドイング・単語テスト・期末試験 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Timothy Knowles, Mayumi Tamura, Minne Tanaka, Mihoko Nakamura British News Update 2 金星堂 特に行わない。/Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30276	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	アンダル ジ ャクリーン	英語	火 1	1年 文一二(23)文三(15)理二 三(11,23)
講義題目 授業の目標概要		Colonial Encounters This reading-based course will use different texts to develop skills in English comprehension. The course will draw on fiction and autobiographical writing related to the colonial encounter between Britain and the Caribbean. It will be based on the work of the British writer Andrea Levy. Her writing has focused on Britain's long relationship with the Caribbean and the erasure of that history in contemporary Britain. However, her writing lends itself to broader universal and contemporary themes. Students will learn to engage with the language and ideas in the selected texts and to explore their responses to the readings in class.				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		The course will be evaluated based on participation, a presentation and a written assessment 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30277	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	朝岡 浩美	英語	火 1	1年 文一二(23)文三(15)理二 三(11,23)
講義題目 授業の目標概要	英語の動画を視聴し、英語でディスカッションやプレゼンテーションを行う。 本授業では、英語の総合的な能力を高めることを主目標としています。映像を使った教材を使い、リスニング力と読解力を養い、グループディスカッションを通じて、自分の意見を英語で話す練習を行います。ロジカルに自分の意見を言えるようになるために、ロジカルシンキングについても学びます。また、プレゼンテーションのテーマに基づいて、様々な角度から調べ、スライドを作成し、英語でプレゼンテーションを行い、プレゼンテーションとディスカッションのスキルを磨いていただきたいと思います。 本授業の目的は、以下の通りです。 (1) 英語の動画を視聴して、英語のリスニング力と読解力を伸ばす。 (2) 英語でのプレゼンテーションを通じて、プレゼンテーション力を高める。 (3) 様々なテーマに基づいて、ディスカッションを行い、自分の意見を英語で話すスキルを高める。					
成績評価方法	期末試験：50% グループプレゼンテーション：20% クラスディスカッション（授業への貢献）：20% 宿題：10%					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Makoto Shishido AFP World News Report 7 SEIBIDO 9784791972883					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30278	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	アルヴィ な ほ子	英語	火 1	1年 文一二(23)文三(15)理二 三(11,23)
講義題目 授業の目標概要	New York Times から"Cultural Awareness"を考える 目標) テキストの読解を通して、英語の表現を学ぶとともに、現代の様々な事象と世界の在りようを考え、自分の世界、自分の考えを広げる入り口とする。「読むこと」と「書くこと」は分かちがたく結びついていることを理解し、読解を通して、読む力と(できれば)書く力の両方を伸ばす。 概要) New York Times の記事を出発点として、"cultural awareness"について考察します。New York Times は、現代の社会状況について深い洞察のある記事が掲載され、それらの記事は、読者に自分を取り巻く社会、世界をどのように捉えるかを能動的に考えることを促します。そのような記事と関連する資料を読みます。テキストを読むということは、読者とテキストの対話です。テキストを読みながら、文脈を考え、調べ、テキストの外の世界とも対話しながら、書かれたテキストを自分の知的な糧として、自分と異なる他者への理解を深め、自分自身の文化的なアイデンティティへの理解を深め、自身のテキストを紡ぎ出す力を鍛えてください。					
成績評価方法	1)授業中の活動（口頭発表、ディスカッションへの参加等）と授業の準備、復習のために行うコメント、小課題などの提出物：60%、 2) 期末課題：40%。 1) と 2) を基本として、総合的に評価します。 期末課題は、幾つかの論述の設問からなる"take home"(持ち帰り)のレポート課題です。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook New York Times, 関連資料					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定セメスター型） 火5

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30528	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	藤尾 美佐	英語	火 5	1年 理一(24,33)理二三(9)
講義題目 授業の目標概要	世界でイニシアチブを取るための英語コミュニケーション能力 国際舞台で活躍するためには、英語力はもちろんのこと、卓越したプレゼンテーション能力や会議における会話管理など、自ら Initiative をとれる能力が不可欠である。本講義では、First Impression, Energy, Ethics などのトピックを通じて、会議での英語表現、さらにプレゼンテーション能力（可能であればパネル・ディスカッション能力）の育成に焦点を当てる。					
成績評価方法 教科書	授業は、英語と日本語の両方で行う（インストラクションにも極力英語を使用する予定）。 （オンラインか対面かに関しては、英語科目全体の指示に従う） 授業への積極的な参加・提出物(40%)・プレゼンテーション(30%)・期末テスト or レポート(30%) 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Dubicka, I & O'Keefee, M. Market Leader (Advanced: 3rd Edition Extra) Pearson 978-1-292-36108-6					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30529	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	高橋 和子	英語	火 5	1年 理一(24,33)理二三(9)
講義題目 授業の目標概要	Pronunciation and Listening 形式：第1週はオンライン（Zoom）で、それ以降は教室で行なう。 概要：英語発音とリスニング力の向上を目指すクラスである。特に発音訓練に重点をおくため、「発音だけでは自信がなく、自分が話した英語が聞き手に通じにくい」と感じている人が履修することをお勧めする。主に、発音記号に沿って注意すべき英語音声について学び、ひとつずつ発音練習をしていく。加えて、英語独特の音の連結、消失、弱化やイントネーション、リズムを学び、リスニングの訓練を行う。また、聞き手に理解してもらえるように、文章の音読やプレゼンテーションを行う。					
成績評価方法	目標：英語を聞き、話す際に重要である英語音声の基礎知識を習得し、実践で活かせる力をつけることが本授業の目的である。将来、国際的な場において英語で発信、発表するための確かな道具を手に入れよう。本授業の到達目標は次の通りである。(1) 英語音声を正しく理解し、発音できるようになる。(2) 日本人にとって紛らわしい英語発音を聞き分けられるようになる。(3) 専門用語を含む英文を、発音記号を調べ、正しく音読できるようになる。(4) 英語リスニング力を向上させる。 ・個別発音テスト 40%、リスニングテスト 20%、単語テストとレポート 20%、授業参加（出席、プレゼンテーションを含む）20% を総合して評価する予定である。 ・個別発音テストにおいては 44 問中 35 問以上正しく発音できることが必要である。 ・感染症対策など、状況によっては評価方法を多少変更しなくてはならない場合もあるが、個別発音テストに一番大きなウエートが置かれることは変わらない。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 鷺見由理 DVD&CD でマスター 英語の発音が正しくなる本 ナツメ社 13: 978-4816344640					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30530	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	牛村 圭	英語	火 5	1年 理一(24,33)理二三(9)
講義題目 授業の目標概要	New York Times で世界を読む New York Times に掲載された署名入り記事に注釈が付された教材を精読する。さまざまな今日の諸問題が、英語ではどのように表現されて論じられているかを知る機会とするにとどまらず、学生諸君の文理にわたる知的関心を高めることをも目指したい。					
成績評価方法 教科書	担当した訳文の発表を含めた平常点、そして学期末の筆記課題（または筆記試験）による。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook BEYOND BORDERS：『ニューヨークタイムズ世界見聞』 英宝社、2021年					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30531	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	リチンスキ ダン	英語	火 5	1年 理一(24,33)理二三(9)
講義題目 授業の目標概要	English Lectures on General Physics This course will provide lectures on a series of Physics topics selected to ensure a balance between presentation of basic concepts and terminology, diagrams and formulas as well as proper reasoning about the underlying principles and mechanisms, using adequate English language. Although mainly intended for students interested to major in sciences, effort is made to select stand-alone content, presented so that it could be accessible to those specializing in other areas as well. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on two fronts: (i) comprehension of the studied Physics topics and (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various scientifically-valid perspectives, analyze problems, provide solutions and envision applications.					
成績評価方法	Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70% W While emphasis in evaluation will not be on the mastering of the Physics content itself, highest grades will require a good performance with respect					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定セメスター型） 水1

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30558	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	松本 和子	英語	水 1	1年 理一(1-3,18,20-21)
講義題目 授業の目標概要	はじめてのニュース英語 ニュース英語を通じて、リスニングによる理解力を伸ばすことを目指す。具体的には、イギリスの国営放送 BBC のニュースを通じ、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さに慣れることを目指す。はじめて英語のニュースを聞くような学生を対象としているため、すでにニュースを英語で聞いて問題なく理解できる学生はネイティブの先生の授業を履修することをすすめる。					
成績評価方法 教科書	出席・参加・シャドイング・単語テスト・期末試験 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Timothy Knowles, Mayumi Tamura, Minne Tanaka, Mihoko Nakamura British News Update 2 金星堂					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30559	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	西川 杉子	英語	水 1	1年 理一(1-3,18,20-21)
講義題目 授業の目標概要	History Today を読む イギリスで出版されている歴史の教養雑誌 History Today に収録された小論文を読み、イギリスの文化・歴史を学ぶ。 History Today については図書館に入っているのので、参考にとよむ。 また、テーマに関連した DVD などを視聴することもある。					
成績評価方法 教科書	毎回の小テストおよび授業への参加度。 プリントを配布する。/Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30560	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	アンダル ジ ャクリーン	英語	水 1	1年 理一(1-3,18,20-21)
講義題目 授業の目標概要	Colonial Encounters This reading-based course will use different texts to develop skills in English comprehension. The course will draw on fiction and autobiographical writing related to the colonial encounter between Britain and the Caribbean. It will be based on the work of the British writer Andrea Levy. Her writing has focused on Britain's long relationship with the Caribbean and the erasure of that history in contemporary Britain. However, her writing lends itself to broader universal and contemporary themes. Students will learn to engage with the language and ideas in the selected texts and to explore their responses to the readings in class.					
成績評価方法 教科書	The course will be evaluated based on participation, a presentation and a written assessment. 教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30561	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	瀧野 みゆき	英語	水 1	1年 理一(1-3,18,20-21)
講義題目	プロフェッショナルのための共通語としての英語 Communicating in English as Professionals					
授業の目標概要	<p>プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働することを目標に、実践的な英語使用の考え方やスキルを学びます。プロフェッショナルとは、研究・専門職、ビジネス、公務員、国際協力など、多様なフィールドで、高度な専門性をもって仕事をする人を想定しています。</p> <p>英語を多様な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージし、必要なスキルを入門的に広く学ぶため、次の4つの大きなテーマを設けます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Networking：英語を学ぶグローバルな背景を考えつつ、英語を通して人間関係を築く 2) Presentation: 英語プレゼンテーションの基本ルールと効果的なプレゼンのやり方を、実際に短い英語プレゼンを作りながら学び、自分の考えを論理的に説得力をもって伝えられるようになる 3) Meeting：与えられたケースについてグループで問題解決のアイデアを交換・まとめる話し合いをし、最終成果をグループでプレゼンすることで、英語 Meeting に参加・リードをするルールを学び、英語で協働できるようになる 4) Negotiation：タスクを使って英語で簡単な交渉をすることで、英語の交渉の基本的な考え方を学ぶ <p>授業の活動は、2) Presentation と 3) Meeting に焦点をあて、1) と 4) は授業の多様な活動の中に織り込んでいきます。</p>					
成績評価方法	<p>成績の50%は、2回の個人英語プレゼンを重視し、その評価を反映します。</p> <p>個人プレゼンは、定められたテーマについて、3分程度のわかりやすいプレゼンテーションにまとめ、PowerPoint等を使って英語で行います。この評価は、単に流暢な英語で話すことより、英語で理論的に説得力のある構成を作ること重視します。また、授業で学ぶ英語プレゼンテーションの基本的なスキルを応用しているか、わかりやすい英語を使っているかも考慮します。</p> <p>15%は、グループでの Meeting の活動や授業内タスクの参加を反映します。</p>					
教科書 ガイダンス	<p>残 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30562	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	野口 大斗	英語	水 1	1年 理一(1-3,18,20-21)
講義題目	アウトプットのための英語リスニング					
授業の目標概要	この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。					
成績評価方法	<p>積極的な授業への参加（発言など）：10%</p> <p>課題：15%</p> <p>小テスト：15%</p> <p>期末試験（教材以外の初見問題を含む）：60%</p>					
教科書 ガイダンス	<p>プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

英語中級（クラス指定セメスター型） 木2

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30851	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	平賀 優子	英語	木 2	1年 文一二(7,11)文三(14)
講義題目	英語発音演習—発音力から聴解力へ—					
授業の目標概要	この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習（音読）は、模倣からのみでなく、音声学の理論（特に、IPA：International Phonetic Alphabet や音声変化）やオーバーラッピング、フォニックスを用いて行います。また、応用言語学に基づく英語学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。					
成績評価方法	学期末レポート、平常点					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中郷慶他 こうすれば英語が聞ける 英宝社					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30852	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	戸谷 陽子	英語	木 2	1年 文一二(7,11)文三(14)
講義題目	メディアの英語					
授業の目標概要	時事問題・政治・経済・国際関係・文化芸術・科学・テクノロジー・医療といった幅広いジャンルの話題を特集／収録したテレビ、ビデオ、ラジオ番組等、アメリカの報道メディアの番組（CBS, National Public Radio, New York Times Video 等）を視聴覚教材として視聴し、その上でワークシートを配布し、内容や語彙、用法を確認し、さらにトランスクリプトや関連記事の読解により理解を深め、知的な内容の報道番組をごく自然に理解する「実用レヴェル」の英語力と思考力を訓練することを目的とする。					
成績評価方法	小テスト 60%、期末テスト 40% (成績評価方法については、授業の形式（対面またはオンライン授業）に応じて変更する場合があります)					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30853	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小野 五弥子	英語	木 2	1年 文一二(7,11)文三(14)
講義題目	Gender and sexuality in Japan					
授業の目標概要	The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English about gender issues. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender equality, LGBT issues and sexual harassment, and compare how Japan and other countries perceive these issues. At the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys and write a report about it. このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー平等・同性婚・セクシャルハラスメント等で、日本と諸外国がこれらの問題をどのように捉えているかを比較、議論します。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をして、最終レポートを書きます。					
成績評価方法	Active class participation, including class discussions (25%) Weekly assignments (20%) Presentation (20%) Research report (35%)					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30854	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	中澤 恒子	英語	木 2	1年 文一二(7,11)文三(14)
講義題目 授業の目標概要	Little Miss Sunshine 2006年公開のアメリカのコメディ映画 Little Miss Sunshine を教材とする。Jonathan Dayton, Valerie Faris 監督、Abigail Breslin 主演、アカデミー作品賞ノミネート、助演男優賞 (Alan Arkin) 受賞。自然な英語を聞き取り、大意をつかみ、自分の言葉で内容や感想を伝える練習をする。映像によってストーリーの理解に努めた後で、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。英語細部の追求より、物語の展開、何がおかしくてどこが悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。					
成績評価方法	毎週の授業参加とクイズ (ディクテーション)、期末試験。欠席は3回までとし、4回以上の場合は理由に関わらず単位を認定しない。					
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定セメスター型） 木3

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30925	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小野 五弥子	英語	木 3	1年 文一二(21)文三(19)理二 三(4,17,20)
講義題目	Gender and sexuality in Japan					
授業の目標概要	The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English about gender issues. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender equality, LGBT issues and sexual harassment, and compare how Japan and other countries perceive these issues. At the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys and write a report about it. このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー平等・同性婚・セクシャルハラスメント等で、日本と諸外国がこれらの問題をどのように捉えているかを比較、議論します。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をして、最終レポートを書きます。					
成績評価方法	Active class participation, including class discussions (25%) Weekly assignments (20%) Presentation (20%) Research report (35%)					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30926	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	矢島 宏紀	英語	木 3	1年 文一二(21)文三(19)理二 三(4,17,20)
講義題目	英文リーディング演習—初期アメリカ史を題材に					
授業の目標概要	【概要】 英文を丹念に読む作業を通して分野を問わず学術の世界で通用する英語読解力（およびそれに基づく作文力）の強化を目指します。本授業で扱う英文はアメリカの歴史、思想、社会等に関するものです。論説記事、研究書の一部（通史の序章など）、論文等を読みます。扱う資料は受講者の人数と関心に依りて設定されます。 【目標】 ・アカデミックな英文を正確に理解するために必要となる解釈力と語彙力を高める。 ・やや難解な英文を簡潔かつ正確な日本語および英語で要約できるようになる。 ・アメリカの歴史、思想、社会に関する知識と解釈を知りアメリカについての理解を深める。					
成績評価方法	期末試験（60%）小テスト(15%) 発表（レジュメ含む）(25%) 上記を基準に、態度・貢献度（出欠状況含む）を加減して最終評価を決定する。 欠席数が授業回数の1/3を超えると単位認定不可とします。個人の過失によらない原因（交通機関遅延含む）による遅刻・欠席であっても、程度と頻度によっては単位認定のために追加の課題が課されます。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30927	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	平賀 優子	英語	木 3	1年 文一二(21)文三(19)理二 三(4,17,20)
講義題目	英語発音演習—発音力から聴解力へー					
授業の目標概要	この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習（音読）は、模倣からのみでなく、音声学の理論（特に、IPA：International Phonetic Alphabet や音声変化）やオーバーラッピング、フォニックスを用いて行います。また、応用言語学に基づく英語学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。					
成績評価方法	学期末レポート、平常点					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中郷慶他 こうすれば英語が聞ける 英宝社					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30928	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	坪井 栄治郎	英語	木 3	1年 文一二(21)文三(19)理二 三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>環境対応としての認知・行動についての英文を読む 物理的/社会的環境、それへの認知、それに基づく行動、の様々な側面について論じている英文を読むことを通して読解力の増強に努めるとともに関連事項についての理解を深めることを目的とする。 最終授業時に行う試験が60%、授業中の小試験・課題と授業への参加度・積極性が40%になる割合で評価する。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 教材はpdf化したものを順次UTOLにアップロードしていくので、各自ダウンロードすること。 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30929	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	中澤 恒子	英語	木 3	1年 文一二(21)文三(19)理二 三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Little Miss Sunshine 2006年公開のアメリカのコメディ映画 Little Miss Sunshine を教材とする。Jonathan Dayton, Valerie Faris 監督、Abigail Breslin 主演、アカデミー作品賞ノミネート、助演男優賞 (Alan Arkin) 受賞。自然な英語を聞き取り、大意をつかみ、自分の言葉で内容や感想を伝える練習をする。映像によってストーリーの理解に努めた後で、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。英語細部の追求より、物語の展開、何がおかしくてどこが悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。 毎週の授業参加とクイズ (ディクテーション)、期末試験。欠席は3回までとし、4回以上の場合は理由に関わらず単位を認定しない。 プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30930	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	戸谷 陽子	英語	木 3	1年 文一二(21)文三(19)理二 三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>メディアの英語 時事問題・政治・経済・国際関係・文化芸術・科学・テクノロジー・医療といった幅広いジャンルの話題を特集/収録したテレビ、ビデオ、ラジオ番組等、アメリカの報道メディアの番組 (CBS, National Public Radio, New York Times Video 等) を視聴覚教材として視聴し、その上でワークシートを配布し、内容や語彙、用法を確認し、さらにトランスクリプトや関連記事の読解により理解を深め、知的な内容の報道番組をごく自然に理解する「実用レベル」の英語力と思考力を訓練することを目的とする。 小テスト60%、期末テスト40% (成績評価方法については、授業の形式 (対面またはオンライン授業) に応じて変更する場合があります) 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

英語中級（クラス指定セメスター型） 金1

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31037	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	佐藤 洋一	英語	金 1	1年 文一二(25,27)理二三(13-14)
講義題目 授業の目標概要	Making bridge from comprehension to practice In this course, you will learn various kinds of English vocabulary and expressions necessary for practical business communication. You will be expected to develop your business English knowledge, including spoken and written communication and critical thinking skills, while learning various kinds of authentic English. In this course, students are expected to learn 1. Vocabulary and expressions for business English, especially for reading and listening, 2. Business English skills for effective spoken and written communication, 3. Strategic competence necessary for global business. By the end of this course, you will be able to: -Comprehend basic vocabulary and expressions for business English -Speak and write basic-level short sentences about business topics -Ask and answer questions about basic business issues in English, especially about intercultural business and management -Present your basic ideas about global business communication in English					
成績評価方法	Course orientation 5% Vocabulary topics 10% Weekly assignments (course video) 20% Weekly homework 20% Final exam 20% Final presentation assignment 15% Active Participation 10%					
教科書	Attendance is essential to your success in this course. Five unexcused lates o プリントを配布する。/Will distribute handouts Yoichi Sato, Steven William Smoley & Seisho Ano Strategic Management in Business English Harima Publishing (播磨書院) 978-4-87768-340-5 C6037 Please make sure to get the latest version of the textbook.					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31038	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	榎原 知樹	英語	金 1	1年 文一二(25,27)理二三(13-14)
講義題目 授業の目標概要	エッセイを読む この授業では、英語で書かれたエッセイの傑作を集めた Ten on Ten: Major Essayists on Recurring Themes と The Art of the Personal Essay: An Anthology from the Classical Era to the Present から 5~6 篇を取り上げて講読する。ジョージ・オーウェル、ヴァージニア・ウルフ、E・B・ホワイト、アニー・ディラード、ミシェル・ド・モンテーニュ（英訳）らが普遍性の高いテーマについて書いた随筆を読み込むことで、読解力を高め、さらには執筆上の工夫への理解を深めることを目標とする。					
成績評価方法	学期末に行う試験（40%）、小テストおよび授業内課題（30%）、授業参加状況（30%）で評価する。					
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31039	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	川崎 修一	英語	金 1	1年 文一二(25,27)理二三(13-14)
講義題目 授業の目標概要	「学校では扱われない英語の文法や構文」に関する英語文献を読むー世界最高峰の2大英文法書を中心に 本授業の目標は、一義的には学術的な英文を完璧に読むための読解力の養成です。また、学校文法で扱われることのない（にもかかわらず実際の英語では頻繁に確認できる）文法や構文に関する文献を読み、英語についての洞察を深めることを第二の目標とします。 なお、使用する教材は、世界最高峰の2大英文法書： Quirk et al (1985). A Comprehensive Grammar of the English Language. Huddleston and Pullum (2002). The Cambridge Grammar of the English Language. を中心に、第一級の研究者による文献を予定しています。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	毎回の小テスト（30%）と授業最終日の学期末試験（70%） プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31040	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小林 宜子	英語	金 1	1年 文一二(25,27)理二三(13-14)
講義題目 授業の目標概要	英語で書かれたエッセイを味わう 著者の身近な事柄や現代社会が抱える種々の問題をめぐり、鋭い観察と深い思索に基づいて書かれたエッセイ（随筆）の読解を通じて、英語の理解力や表現力を養うことをめざします。英米の雑誌や個人のエッセイ集に掲載された近年のエッセイの中から良質の文章を10篇ほど選び、それらを教材として用います。著者は Zadie Smith, Teju Cole, Ursula le Guin などの著名な作家で、気候変動、生物多様性、移民問題、家族、老い、アイデンティティなど、多様なテーマが扱われています。英文を細部まで正確に読み取る力を養うとともに、エッセイに扱われたテーマについて英語で考え、表現する力を磨きます。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	小テストの成績、課題への取り組み、授業への参加度、および期末試験の成績を総合して評価します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31041	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	坪井 栄治郎	英語	金 1	1年 文一二(25,27)理二三(13-14)
講義題目 授業の目標概要	環境対応としての認知・行動についての英文を読む 物理的/社会的環境、それへの認知、それに基づく行動、の様々な側面について論じている英文を読むことを通して読解力の増強に努めるとともに関連事項についての理解を深めることを目的とする。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	最終授業時に行う試験が60%、授業中の小試験・課題と授業への参加度・積極性が40%になる割合で評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 教材はpdf化したものを順次 UTOL にアップロードしていくので、各自ダウンロードすること。 特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定セメスター型） 金3

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31139	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小野 五弥子	英語	金 3	1年 文一二(17,22)文三(16) 理一(29,39)
講義題目	Gender and sexuality in Japan					
授業の目標概要	The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English about gender issues. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender equality, LGBT issues and sexual harassment, and compare how Japan and other countries perceive these issues. At the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys and write a report about it. このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー平等・同性婚・セクシャルハラスメント等で、日本と諸外国がこれらの問題をどのように捉えているかを比較、議論します。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をして、最終レポートを書きます。					
成績評価方法	Active class participation, including class discussions (25%) Weekly assignments (20%) Presentation (20%) Research report (35%)					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31140	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	榊原 知樹	英語	金 3	1年 文一二(17,22)文三(16) 理一(29,39)
講義題目	エッセイを読む					
授業の目標概要	この授業では、英語で書かれたエッセイの傑作を集めた Ten on Ten: Major Essayists on Recurring Themes と The Art of the Personal Essay: An Anthology from the Classical Era to the Present から 5~6 篇を取り上げて講読する。ジョージ・オーウェル、ヴァージニア・ウルフ、E・B・ホワイト、アニー・ディラード、ミシェル・ド・モンテーニュ（英訳）らが普遍性の高いテーマについて書いた随筆を読み込むことで、読解力を高め、さらには執筆上の工夫への理解を深めることを目標とする。					
成績評価方法	学期末に行う試験（40%）、小テストおよび授業内課題（30%）、授業参加状況（30%）で評価する。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31141	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	古田 直肇	英語	金 3	1年 文一二(17,22)文三(16) 理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要	<p>国際共通語としての英語 (English as a lingua franca)</p> <p>英語力を高めるために何よりも必要なものは、「大量のインプット」である。日本人学習者の英語力が伸び悩む最大の要因は、インプットの量の圧倒的な不足であることが多い（本当に英語力を伸ばしたいのであれば、まずは1000頁以上の英語の文章に触れることが絶対条件であり、出発点となる）。そこで本講義では、毎週、原書を1章ずつ、あるいは論文を1・2本ずつ読んでいき、一学期で200～300頁程度を読破することを達成目標とし、英語圏の教養人同様の読解力と読書習慣の涵養を目指したい。</p> <p>大量に読むためには、自分に関係があり、知的に面白い内容であることが望ましい。そこで、本講義では「国際共通語としての英語」というテーマを扱いたい。英語は今や国際語という発言をよく耳にするが、その意味するところを改めて考えていく。特に英語学習および英語教育において、それは一体いかなる意味合いを持つのだろうか。英米の言語として英語を学ぶ・教えることと、国際語として英語を学ぶ・教えることには、どのような差があるのだろうか。たとえば、発音の間違ひは、正されるべきなのか、それとも許容されるべきなのか。日本に蔓延するネイティブ幻想 (native speaker fallacy) を、どう捉えるべきなのか。こういった問題について、受講生とともに考えを深めていきたい。その中で、言語帝国主義や単一言語主義の弊害、規範主義の功罪、社会階級と言語の関係といったテーマも扱っていく。様々な文化的背景を持った多種多様な人々が混在する世界において、文化の違いを超えて相手の真意を的確に理解し、かつ自分の真意を適切に伝えるためには、どのような英語力が必要なのか。研究書や論文に紹介されている事例の分析を通して、多国間コミュニケーションにおいて要求される効果的なストラテジーを身につけてほしい。</p> <p>受講生は、事前に指定の文献を読んで、配布される Study Questions に答えておかなければならない。講義に加えて受講生によるディスカッションも行う予定だが、予習なきディスカッションは無意味なので、受講生は、必ず予習をした上で授業に臨まなければならない。受講生自身が自分の手と頭を使って下調べをして講義に臨んでいることを前提にして、教員は授業を行う。</p> <p><授業の到達目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際語としての英語について、専門的な知見に基づいて批判的に考え、自らの意見を論理的に発表できる。 ・異文化理解のために必要とされるコミュニケーション能力やストラテジーを理解し、応用することができる。 ・英語を母語としない人も含めて、様々な文化的背景を持った人々と英語を使用して意志の疎通ができる。 ・英語によって書かれた専門書・論文を大量に読みこなしていくことを通して、英語を読むことに対する心理的抵抗を低減し、英語を使って日常的に情報の摂取をすることができる。 					
成績評価方法	<p>Participation: 50%</p> <p>Final exam: 50%</p> <p>※成績評価方法の詳細については、初回授業で説明します。</p>					
教科書	<p>プリントを配布する。/Will distribute handouts</p> <p>Sandra Lee McKay</p> <p>Teaching English as an International Language</p> <p>Oxford University Press</p> <p>9780194373647</p> <p>購入の必要はありません</p>					
ガイダンス	<p>特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31142	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	那谷 洋太郎	英語	金 3	1年 文一二(17,22)文三(16) 理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要	<p>American Culture and Society</p> <p>This is an introductory course in sociology, with a focus on contemporary American culture and society. The main goal of the course is to reach an understanding of the current situation of America as a highly divided society. We will read sociological texts about American life from different eras. The readings will discuss important themes such as the changing American character, individualism and its relation to community, racial inequality, and cultural/political resentment. We will begin with books like <i>The Lonely Crowd</i> and <i>Habits of the Heart</i> to explore the tensions that exist between individual identity and social life. We will then look at more recent works that reveal how these problems are still unresolved and remain very relevant in the present time. Through close reading of texts and discussion in class, students will think about what it means to live in a democratic society and the challenges that are confronting the American democratic project.</p>					
成績評価方法	<p>Participation and Exercises (25%); Exam (25%); Research Paper (30%); Presentation (20%)</p>					
教科書	<p>授業中に指示をする。/Will specify at class time</p>					
ガイダンス	<p>特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31143	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	MENISH Marc Craig	英語	金 3	1年 文一二(17,22)文三(16) 理一(29,39)
講義題目	Innovative Public Speaking: Creating Dynamic Presentations in English					
授業の目標概要	This class will provide students with a strong foundation in understanding spoken English. Students will create and deliver powerpoint presentations in class which will then be discussed and evaluated. In addition to classroom exercises and homework assignments, students are encouraged to listen to English on their own as well.					
成績評価方法	Homework Assignments 20% Weekly Quizzes and Class Participation 20% In-class Presentations 20% Media Projects 20% Final Exam 20%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31144	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	志子田 祥子	英語	金 3	1年 文一二(17,22)文三(16) 理一(29,39)
講義題目	現代の短編小説を読む: Exploring Youth and Love					
授業の目標概要	この授業では英語圏の一般読者向けに書かれた短編小説を中心にさまざまなタイプの文章を読むことで、総合的な英語力の向上を目指します。語り手や視点、時制、話法等、小説に限らず文章を読む際に必要な英文解釈のこつを学ぶとともに、現代に求められる教養や洞察力、思考力を養うことが重要な目的となります。					
成績評価方法	授業内活動への積極的な参加と貢献（クイズ解答、ITC-LMS の Forums への投稿等も含む）20%；諸課題への取り組み（授業時間内に取り組みその場で提出する課題、授業後の Reflection 提出状況、中間課題等）80%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定セメスター型） 金4

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31186	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小野 五弥子	英語	金 4	1年 文一二(8,26,28)理二三 (21)
講義題目 Gender and sexuality in Japan						
授業の目標概要 The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English about gender issues. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender equality, LGBT issues and sexual harassment, and compare how Japan and other countries perceive these issues. At the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys and write a report about it. このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー平等・同性婚・セクシャルハラスメント等で、日本と諸外国がこれらの問題をどのように捉えているかを比較、議論します。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をして、最終レポートを書きます。						
成績評価方法 Active class participation, including class discussions (25%) Weekly assignments (20%) Presentation (20%) Research report (35%)						
教科書 教科書は使用しない。/Will not use textbook ガイダンス 特に行わない。/Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31187	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	鈴木 哲平	英語	金 4	1年 文一二(8,26,28)理二三 (21)
講義題目 英語文学の1200年（+TOEFL入門）						
授業の目標概要 ・学生さん一人ひとりが、英語文学の作品を選んで日本語で紹介する授業です。 ・具体的な作品をつうじて、中世から現代にいたる英語文学の歴史をごく簡単にたどります。 ・英語文学に関心のある方も、この先英語で文学に触れる予定の一切ない学生さんも歓迎です。 ・受験英語や世界史の知識も活かれます。 ・授業冒頭15分の枠を用いて、TOEFLの紹介と学習法に触れます。						
成績評価方法 ・授業内での発表：40% ・授業内テスト：20%（受講者数によってレポートに差し替えられることがあります） ・課題提出等：30% ・エクストラポイント：10%（発表・課題・テストで特に優れた活動が見られた場合に加点）						
教科書 教科書は使用しない。/Will not use textbook ガイダンス 特に行わない。/Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31188	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	志子田 祥子	英語	金 4	1年 文一二(8,26,28)理二三 (21)
講義題目 現代の短編小説を読む: Exploring Youth and Love						
授業の目標概要 この授業では英語圏の一般読者向けに書かれた短編小説を中心にさまざまなタイプの文章を読むことで、総合的な英語力の向上を目指します。語り手や視点、時制、話法等、小説に限らず文章を読む際に必要な英文解釈のこつを学ぶとともに、現代に求められる教養や洞察力、思考力を養うことが重要な目的となります。						
成績評価方法 授業内活動への積極的な参加と貢献（クイズ解答、ITC-LMSのForumsへの投稿等も含む）20%；諸課題への取り組み（授業時間内に取り組みその場で提出する課題、授業後のReflection提出状況、中間課題等）80%						
教科書 教科書は使用しない。/Will not use textbook ガイダンス 特に行わない。/Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31189	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	那谷 洋太郎	英語	金 4	1年 文一二(8,26,28)理二三 (21)
講義題目 授業の目標概要	American Culture and Society This is an introductory course in sociology, with a focus on contemporary American culture and society. The main goal of the course is to reach an understanding of the current situation of America as a highly divided society. We will read sociological texts about American life from different eras. The readings will discuss important themes such as the changing American character, individualism and its relation to community, racial inequality, and cultural/political resentment. We will begin with books like <i>The Lonely Crowd</i> and <i>Habits of the Heart</i> to explore the tensions that exist between individual identity and social life. We will then look at more recent works that reveal how these problems are still unresolved and remain very relevant in the present time. Through close reading of texts and discussion in class, students will think about what it means to live in a democratic society and the challenges that are confronting the American democratic project.					
成績評価方法	Participation and Exercises (25%); Exam (25%); Research Paper (30%); Presentation (20%)					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31190	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	MENISH Marc Craig	英語	金 4	1年 文一二(8,26,28)理二三 (21)
講義題目 授業の目標概要	Innovative Public Speaking: Creating Dynamic Presentations in English This class will provide students with a strong foundation in understanding spoken English. Students will create and deliver powerpoint presentations in class which will then be discussed and evaluated. In addition to classroom exercises and homework assignments, students are encouraged to listen to English on their own as well.					
成績評価方法	Homework Assignments 20% Weekly Quizzes and Class Participation 20% In-class Presentations 20% Media Projects 20% Final Exam 20%					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級・上級

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30234	S	英語中級	Christopher D. Hammond	英語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Sociology of Education and Technology The proliferation of technologies being sold both for educational purposes and to education institutions is often heralded as a means to empower learners, expand access to knowledge, and address inequality. However with this expansion comes the increasing entanglement of public education with private interests, issues of privacy and surveillance, the pedagogical challenges of educating for critical media literacy, and the reproduction of inequalities by the 'digital divide'. In this course we will take a sociological perspective to explore these and other issues in the rapidly evolving world of EdTech. We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore both instructor-and student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.					
成績評価方法	Weekly written assignments and active participation in class: 50%, Individual final research-based report: 50% (*completion of all components are required to receive a passing grade)					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30320	S	英語中級	橋川 健竜	英語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	学術英語の入門編 文科系の学術で用いられる英語によくみられる動詞の使い方、表現の組み立て方（日本語の漢字熟語とも通じるような表現）に気を配りながら、英語で書かれた入門書を読む。学問分野ごとの特殊な専門用語が比較的少ない歴史学の入門書を取り上げ、アメリカ合衆国の歴史を特定の角度から扱った書籍を対象に、数章を読むことを目標にする。同時に、基礎的だがやや高度で、大学卒業までに意味の広がりも含めて習熟したい英単語について、意識を高める。					
成績評価方法	出席、授業での報告、毎週の小テスト、期末レポート、期末試験による。学期中に数回、追加の課題も出すことを検討している。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 東京大学教養学部英語部会（編） 東大英単 東京大学出版会 978-4-13-082140-7					
ガイダンス	なお、上記の文献に加え、英文学術誌の論文から抜粋をして検討し、書籍と論文の文体を比較する予定。 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30321	S	英語中級	林 克彦	英語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	科学技術論文を読む 非専門家でも理解が可能な科学技術論文（言語学を基礎とした認知科学系を中心とする）を読解し、科学技術論文執筆のための構文と文章構成および科学関連語彙に関する理解を深める。週 2,000 語（4~5 頁）程度ずつ読み進んでいき、2~5 週でひとつの論文を読み終わる。議論の流れを掴みつつ、大事な部分を丁寧に読んでいくことを心がける。講義で使用する資料はプリントもしくはオンラインにて適宜配布する。また、論文から理解した内容を事例で考察する課題実習や議論を実施する。					
成績評価方法	予習報告状況、授業時間中の課題実習の状況（「授業の方法」参照）、学期末に行う試験を 20%, 30%, 50% 程度の割合で評価する。ただし、割合については、授業や学期末試験の実施形態に応じて変更する場合がある。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30324	S	英語中級	田尻 芳樹	英語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	短編小説を読む この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、20 世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。					
成績評価方法	平常の参加度と、期末テスト。					
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30778	S	英語中級	林 克彦	英語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	科学技術論文を読む 非専門家でも理解が可能な科学技術論文（言語学を基礎とした認知科学系を中心とする）を読解し、科学技術論文執筆のための構文と文章構成および科学関連語彙に関する理解を深める。週 2,000 語（4-5 頁）程度ずつ読み進んでいき、1~3 週でひとつの論文を読み終わる。議論の流れを掴みつつ、大事な部分を丁寧に読んでいくことを心がける。講義で使用する資料はプリントもしくはオンラインにて適宜配布する。また、論文から理解した内容を事例で考察する課題実習や議論を実施する。					
成績評価方法	予習報告状況、授業時間中の課題実習の状況（「授業の方法」参照）、学期末に行う試験を 20%、30%、50%程度の割合で評価する。ただし、割合については、授業や学期末試験の実施形態に応じて変更する場合がある。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30779	S	英語中級	清水 晶子	英語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	_Sexuality: A Very Short Introduction_ を読む OUP の Very Short Introduction シリーズから、セクシュアリティの入門書を読みます。 ジェンダーやセクシュアリティを英語で学術的に議論する際の基本的な文言や論の組み立てに慣れるとともに、セクシュアリティを文化的・政治的に理解するための基礎を身につけることを目標とします。					
成績評価方法	担当箇所の課題と通常のクラスディスカッションへの参加、学期末レポートを合わせて総合的に評価します。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Veronique Mottier Sexuality: A Very Short Introduction Oxford University Press 0199298025 Kindle 版を利用して構いません					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30319	S	英語中級	柳川 浩三	英語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Global Issues in Action: Tasks that Work 1. To better understand global issues and discuss them in English. 2. To share personal opinions, views, feelings, and experiences. To succeed in this course, you must get out of your chair and actively discuss global issues with partners, in small groups, and with the whole class. You will be asked to improvise, role play, hold debates, give presentations, and engage in other forms of structured discussion in English. The tasks in this course are designed to deepen your learning by nudging you out of your comfort zone. When you complete this course, you will have gained knowledge about the world, practical skills in using the English language, and experience in speaking out. The global issues of focus (poverty, nuclear threats, environmental issues, violations of human rights, and inequality) are selected to broaden your perspective by drawing your attention to different parts of the world.					
成績評価方法	Discussion 30 % Contribution and attitude 10 % Assignment 25% Essays 10% Presentation 25% (Group and Individual)					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Yanagawa, Kozo & Johnson Simon Global Issues in Action:Tasks that work Sanshusha (三修社)					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31071	S	英語中級	坪井 栄治郎	英語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	環境対応としての認知・行動についての英文を読む 物理的/社会的環境、それへの認知、それに基づく行動、の様々な側面について論じている英文を読むことを通して読解力の増強に努めるとともに関連事項についての理解を深めることを目的とする。					
成績評価方法	最終授業時に行う試験が60%、授業中の小試験・課題と授業への参加度・積極性が40%になる割合で評価する。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook 教材はpdf化したものを順次UTOLにアップロードしていくので、各自ダウンロードすること。					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31072	S	英語中級	小林 宜子	英語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	英語で書かれたエッセイを味わう 著者の身近な事柄や現代社会が抱える種々の問題をめぐり、鋭い観察と深い思索に基づいて書かれたエッセイ（随筆）の読解を通じて、英語の理解力や表現力を養うことをめざします。英米の雑誌や個人のエッセイ集に掲載された近年のエッセイの中から良質の文章を10篇ほど選び、それらを教材として用います。著者は Zadie Smith, Teju Cole, Ursula le Guin などの著名な作家で、気候変動、生物多様性、移民問題、家族、老い、アイデンティティなど、多様なテーマが扱われています。英文を細部まで正確に読み取る力を養うとともに、エッセイに扱われたテーマについて英語で考え、表現する力を磨きます。					
成績評価方法	小テストの成績、課題への取り組み、授業への参加度、および期末試験の成績を総合して評価します。					
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31074	S	英語中級	秦 邦生	英語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	英語文学作品の精読ならびに映像版との比較 まず英語で短編や中編小説を精読し、その後、それらを原作とする映像作品を考察することで、言語テキストと映像テキストとの比較を行います。授業全体としては、①英文読解力、②文体や形式に配慮した文学テキスト解釈、③技法や演出に注目した映像テキスト分析、④双方の深い理解にもとづく原作と映像テキストとの比較、⑤文学から映像への「アダプテーション（翻案）」に関する理解、⑥ミニ課題やプレゼンテーションを通じた発信力、という6つの力を、実践をつうじてやしなうことを目標とします。					
成績評価方法	平常点（発言や課題、プレゼンテーションなどを通じた授業への貢献）ならびに期末課題による総合評価。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31000	S	英語中級	松井 洋和	英語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	The Australian Embassy in Tokyo and Australia-Japan Relations を読む オーストラリア駐日大使館の歴史を多面的に扱った The Australian Embassy in Tokyo and Australia-Japan Relations を購読する。 本授業の目的は以下の通りである。 ①学術的な英語の文章に慣れ、その内容を正確に読解する能力を養うこと。 ②現在多くの面で緊密になっている日豪関係が、第二次世界大戦後にどのような歴史をたどってきたのかを理解すること。 ※ただし、オーストラリアについての事前知識は履修の前提としない。					
成績評価方法	平常点(授業への参加度と小テスト)：70% 期末試験(最終授業時間に行う)：30%					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Kate-Darian Smith, David Lowe The Australian Embassy in Tokyo and Australia-Japan Relations Australian National University Press 9781760465407 (online); 9781760465391 (print) テキストは以下の URL よりダウンロード可能である。 https://press.anu.edu.au/publications/australian-embassy-tokyo-australia-japan-relations					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31231	S	英語中級	田尻 芳樹	英語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	短編小説を読む この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、20 世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。					
成績評価方法	平常の参加度と、期末テスト。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30012	S	英語上級	サーギル ジ ェームズ ク リストファー	英語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Writing Myth, Reading Culture: An Introduction to Folklore Studies This course will provide students with a foundation in working in English to conduct studies of folklore. Working through a series of comparative case studies, your class activities will be based around group discussions, presentations, in-class readings and student-led work - each designed to help develop your verbal and analytic skills in English language. Students will examine folklore from a cross-cultural perspective, exploring folktales, ghost stories, myths and legends from the geographical East and West. As well as assessing the role of folklore from both contemporary and historical viewpoints, the class will also introduce students to methodological approaches in the investigation of folklore. You will be required to write a research paper and give short presentations in English, as well as to undertake various homework tasks throughout the course (readings, creative assignments, compiling research etc.). The class will be based on in-class discussion, written responses and presentation of ideas in English.					
成績評価方法	Attendance, Participation and Engagement: 20% Presentation: 30% Research Paper: 50% Students must both submit a research paper and conduct a presentation in order to pass this class.					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30236	S	英語上級	サーギル ジ ェームズ ク リストファー	英語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Geographies of Horror This course introduces students to the role of geography in literary and cinematic horror, exploring the ways in which writers and filmmakers have tried to imagine the supernatural qualities of the world that surrounds them. Starting with a short introduction to cultural geography, the classes will move on to discuss specific English language examples of gothic, monstrous and ecological horror. You will be studying the works of a range of influential writers, including; M.R. James, Lafcadio Hearn, and Ambrose Bierce. You will consider how the supernatural entities that appear in horror (ghosts, creatures, zombies etc.) can be seen to tell us about place and environment, expressing the complex relationship between people and the landscapes they inhabit. Using cultural geography as a backdrop for the course, students will examine the impact of horror on the way we think about and describe the threat of the natural world. A number of short readings will provide opportunities for weekly class discussions, written responses and brief presentations in English, and develop comprehension of the texts that accompany the course. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class activities and presentations. Furthermore, this course aims to help you develop your analytical skills in working with English language texts and audio-visual materials.					
成績評価方法	Attendance, Participation and Engagement: 20% Presentation: 30% Research Paper: 50% Students must both submit a research paper and conduct a presentation in order to pass this class.					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30237	S	英語上級	LANDAU Samantha	英語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Ghosts and Hauntings in Fiction and Folklore This course is an introduction to fiction and stories that concern hauntings, ghosts, and warped spaces in fiction and cinema, across sources from different geographical locations, including Japan, America (indigenous and immigrant/colonial), Britain, the Middle East, Africa, and Eastern Europe. In this class, students will approach stories about ghosts through the lens of cultural studies and historical contexts. In addition to stories about ghosts and haunted spaces, students will be introduced to social criticism, religious studies, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	Final Report: 40%, Midterm Report: 30%, In-class assignments and Participation: 30% 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30325	S	英語上級	サーギル ジ ェームズ ク リストファー	英語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	An Introduction to Cultural Geography This course will provide students with an opportunity to explore the complex terrain of cultural geography through English language texts. Starting with an overview of cultural geography, the course will then look at specific cultural, critical and aesthetic theory, helping students to reflect on the relationship between culture, nature and representation. Each class will focus on a particular cultural geographic theme (e.g. the culture-nature divide; mobility; the anthropocene; landscape and memory; urbanism and rurality; folklore and landscape). By the end of the course students will have a comprehensive understanding of the connections between people, landscape and the geographic imagination. The course is designed to develop your critical thinking, discussion and presentation, and reading skills and will therefore require you to read short academic articles and take part in class discussion on a weekly basis. You will be expected to prepare for classes in advance and play an active role in the discussion, presentation and defence of your ideas throughout the course. Students should be prepared to share their ideas with the rest of the class and take part in group work..					
成績評価方法	Attendance, Participation and Engagement: 20% Presentation: 30% Research Paper: 50% Students must both submit a research paper and conduct a presentation in order to pass this class.					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31001	S	英語上級	LANDAU Samantha	英語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	20th Century American Sci-Fi In this course, students will learn about the genre of Science Fiction and the political and social issues it concerned itself with during the 20th Century in the U.S. Through the study of short Sci-Fi fiction by American authors, issues such as climate change, gender inequality, and mental health, among other issues, will be deeply considered. Sci-Fi asks the reader not only to consider the problems of humanity and the environment humans live in, but also asks philosophical questions such as "what it means to be human." Through discussions, presentations, and written work, students will focus on how to approach Sci-Fi from an interdisciplinary standpoint, and develop their ideas about what steps society (and humanity) should take in the future to build a better world.					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	Final Report: 40%, Midterm Report: 30%, In-class assignments and participation: 30% 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31075	S	英語上級	LANDAU Samantha	英語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Ghosts and Hauntings in Fiction and Folklore					
授業の目標概要	This course is an introduction to fiction and stories that concern hauntings, ghosts, and warped spaces in fiction and cinema, across sources from different geographical locations, including Japan, America (indigenous and immigrant/colonial), Britain, the Middle East, Africa, and Eastern Europe. In this class, students will approach stories about ghosts through the lens of cultural studies and historical contexts. In addition to stories about ghosts and haunted spaces, students will be introduced to social criticism, religious studies, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.					
成績評価方法	Final Report: 40%, Midterm Report: 30%, In-class assignments and Participation: 30%					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31233	S	英語上級	LANDAU Samantha	英語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	20th Century American Sci-Fi					
授業の目標概要	In this course, students will learn about the genre of Science Fiction and the political and social issues it concerned itself with during the 20th Century in the U.S. Through the study of short Sci-Fi fiction by American authors, issues such as climate change, gender inequality, and mental health, among other issues, will be deeply considered. Sci-Fi asks the reader not only to consider the problems of humanity and the environment humans live in, but also asks philosophical questions such as "what it means to be human." Through discussions, presentations, and written work, students will focus on how to approach Sci-Fi from an interdisciplinary standpoint, and develop their ideas about what steps society (and humanity) should take in the future to build a better world.					
成績評価方法	Final Report: 40%, Midterm Report: 30%, In-class assignments and participation: 30%					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

総合科目L ドイツ語

ドイツ語初級(演習)①		開講区分	S
授業の目標・概要	発音練習・聴き取り・文法ドリル・読解や表現の練習などを行い、一列・二列の授業で学習した文法の知識の定着を図る。特に文法と会話の練習に重点を置く。 In dem Kurs werden überwiegend Grammatik- und Gesprächsuebungen durchgefuehrt, die sich an den Themen des Grammatikbuchs in der ersten und zweiten Reihe orientieren.		
成績評価方法	平常点(出席、宿題)および試験によって行う。 Regelmäßige Anfertigung der Hausaufgaben und Tests. Aktive Teilnahme wird vorausgesetzt.		
教科書	授業中に指示をする。/Will specify at class time 書名 著者(訳者) 出版社 ISBN		
関連ホームページ	http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30060	月 2	I・カウフマン	1年 文一二(21)
30187	月 4	EINS Wieland	1年 文一二(22)
30747	水 4	クリスティアン クリンク	1年 文一二(20)
30975	木 4	ククリンスキ ルーベン	1年 文三(15)
31192	金 4	オプヒュルス 鹿島	1年 文三(16)
31241	金 5	稲葉 治朗	1年 文科(TLP)
31242	金 5	斉藤 渉	1年 文科(TLP)

※TLP履修者は、対象クラスでTLPと指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30326	S	ドイツ語初級（演習）	板倉 歌	ドイツ語	火 2	1年 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習（準必修クラス指定科目） この授業では特に日常場面での表現に注目し、文法・会話・読解練習を通じて、一列・二列の授業で学修した文法知識の定着を図ります。					
成績評価方法	テストと平常点（提出物を含む）によって評価します。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31239	S	ドイツ語初級（演習） （TLP）	斉藤 渉	ドイツ語	金 5	1年 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級インテンシヴ（TLP クラス指定科目） In dem Kurs wird das in der 1.+ 2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben gleichermaßen geübt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A1, Kursbuch Hueber 978-3-19-501791-6					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31240	S	ドイツ語初級（演習） （TLP）	稲葉 治朗	ドイツ語	金 5	1年 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級インテンシヴ（TLP クラス指定科目） In dem Kurs wird das in der 1.+ 2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben gleichermaßen geübt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠のA1のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A1, Kursbuch Hueber 978-3-19-501791-6					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30781	S	ドイツ語初級（会話）	I・カウフマン	ドイツ語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級（会話）、Deutsch Konversationskurs für Anfänger/innen 初めてドイツ語を学ぶ学生を目指し、日常生活における基礎的なドイツ語会話の運用能力を養う。授業の目標はドイツ語圏における認定試験“Goethe Zertifikat A1”に必要なドイツ語能力の養成にある。会話の授業であるため、重点は口頭・聴解の練習及び語彙の増やすことにある。 Der Kurs richtet sich an Anfänger/innen. Geübt werden alltägliche Situationen. Ziel ist der Erwerb mündlicher Ausdrucksfähigkeiten auf dem Niveau des Goethe Zertifikats A1. Im Mittelpunkt des Unterrichts stehen Sprech- und Hörübungen sowie die Erweiterung des Wortschatzes.					
成績評価方法	平常点（授業への参加・宿題・出席率）・期末試験（口頭試験）を総合的に評価する。授業中の積極的な参加を高く評価する。 Mündliche Mitarbeit im Unterricht und die mündliche Prüfung werden zusammen gewertet. Schwerpunkt der Notengebung bildet die mündliche Mitarbeit im Unterricht.					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30238	S	ドイツ語初級（作文）	石原 あえか	ドイツ語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級（作文） 初修ドイツ語の文法学習と並行して、授業で学んだ知識を能動的に用いる練習を行い、文法的な規則や語彙の定着を図る。同時に、ドイツ語らしい発想や表現とは何なのかを考える機会を提供する。					
成績評価方法	平常点および試験によって総合的に評価を行う。平常点は、授業の積極的な参加（課題準備・提出や小テスト等もすべて含む）を前提に評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小林俊明 初めての独作文 Version 2 同学社 978-4-8102-0690-6					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30663	S	ドイツ語初級 （表現練習）	クリスティア ン クリンク	ドイツ語	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級（表現練習）、Deutsch Redemittelübungen für Anfänger/innen 初めてドイツ語を学ぶ学生を目指し、日常生活における基礎的なドイツ語会話の運用能力を養う。授業の目標はドイツ語圏における認定試験“Goethe Zertifikat A1”に必要なドイツ語能力の養成にある。会話の授業であるため、重点は口頭・聴解の練習及び語彙の増やすことにある。 Der Kurs richtet sich an Anfänger/innen. Geübt werden alltägliche Situationen. Ziel ist der Erwerb mündlicher Ausdrucksfähigkeiten auf dem Niveau des Goethe Zertifikats A1. Im Mittelpunkt des Unterrichts stehen Sprech- und Hörübungen sowie die Erweiterung des Wortschatzes.					
成績評価方法	平常点（授業への参加・宿題・出席率）・期末試験（口頭試験）を総合的に評価する。授業中の積極的な参加を高く評価する。 Mündliche Mitarbeit im Unterricht und die mündliche Prüfung werden zusammen verrechnet. Schwerpunkt der Notengebung bildet die mündliche Mitarbeit im Unterricht.					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30013	S	ドイツ語初級 (インテンシヴ)	ファイファー マティアス	ドイツ語	月 1	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級 (インテンシヴ) この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 レベルに必要な能力を養うことを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A1 レベルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。 Dieser Kurs richtet sich an Anfänger/innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache, die zeitgleich in den Kursen der 1.+2. Reihe deutsche Grammatik lernen. In Ergänzung dazu wird in diesem Kurs das grammatische Wissen durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben in der Praxis gefestigt. Der Kurs zielt das Niveau A1.1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER) an. Die Teilnehmer/innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A1.1.					
成績評価方法	授業への参加と宿題、場合によっては小テストが評価の基礎となる。特に、授業への積極的な参加を高く評価する。定期的な出席が必要である。 Die Teilnahme am Unterricht, Hausaufgaben und Tests bilden die Grundlage für die Bewertung. Aktive Teilnahme am Unterricht und regelmäßige Anwesenheit werden vorausgesetzt.					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Sandra Evans Menschen A.1.1 Kursbuch Hueber Verlag 978-3-19-361901-3 デジタル版は次のサイトから購入できます： https://shop.hueber.de/de/e-menschen-a1-1-kb-medien-ida-978-3-19-958601-2.html					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31234	S	ドイツ語初級 (インテンシヴ)	ファイファー マティアス	ドイツ語	金 5	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級 (インテンシヴ) この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 レベルに必要な能力を養うことを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A1 レベルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。 Dieser Kurs richtet sich an Anfänger/innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache, die zeitgleich in den Kursen der 1.+2. Reihe deutsche Grammatik lernen. In Ergänzung dazu wird in diesem Kurs das grammatische Wissen durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben in der Praxis gefestigt. Der Kurs zielt das Niveau A1,1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER) an. Die Teilnehmer/innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A1.1.					
成績評価方法	授業への参加と宿題、場合によっては小テストが評価の基礎となる。特に、授業への積極的な参加を高く評価する。定期的な出席が必要である。 Die Teilnahme am Unterricht, Hausaufgaben und Tests bilden die Grundlage für die Bewertung. Aktive Teilnahme am Unterricht und regelmäßige Anwesenheit werden vorausgesetzt.					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Sandra Evans Menschen A.1.1 Kursbuch Hueber Verlag 978-3-19-361901-3 デジタル版は次のサイトから購入できます： https://shop.hueber.de/de/e-menschen-a1-1-kb-medien-ida-978-3-19-958601-2.html					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30337	S	ドイツ語初級 (インテンシヴ) (TLP)	I・カウフマ ン	ドイツ語	火 2	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級インテンシヴ (TLP クラス指定科目) In dem Kurs wird das in der 1.+ 2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben gleichermaßen geübt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen.					
成績評価方法	この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					
教科書	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。					
ガイダンス	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A1, Kursbuch Hueber 978-3-19-501791-6					
	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30338	S	ドイツ語初級 (インテンシヴ) (TLP)	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	火 2	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級インテンシヴ (TLP クラス指定科目) In dem Kurs wird das in der 1.+ 2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben gleichermaßen geübt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen.					
成績評価方法	この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					
教科書	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。					
ガイダンス	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A1, Kursbuch plus interaktive Version Hueber 978-3-19-501791-6					
	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31015	S	ドイツ語初級 (インテンシヴ) (TLP)	I・カウフマ ン	ドイツ語	木 5	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級インテンシヴ (TLP クラス指定科目) In dem Kurs wird das in der 1.+ 2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben gleichermaßen geübt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A1, Kursbuch Hueber 978-3-19-501791-6					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31016	S	ドイツ語初級 (インテンシヴ) (TLP)	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	木 5	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級インテンシヴ (TLP クラス指定科目) In dem Kurs wird das in der 1.+ 2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben gleichermaßen geübt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A1, Kursbuch plus interaktive Version Hueber 978-3-19-501791-6					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30239	S	ドイツ語初級 (第三外国語)	EINS Wieland	ドイツ語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級 (第三外国語) この授業は、ドイツ語を学んだことがなく、第三外国語としてドイツ語を学びたい学生を対象としています。 Dieser Kurs richtet sich an Studierende, die noch über keine Deutschkenntnisse verfügen und Deutsch als dritte Fremdsprache lernen wollen.					
成績評価方法	平常点 (課題の提出) および期末のオーラル試験によって行う。積極的な参加を前提とする。 Regelmäßige Anfertigung der Hausaufgaben und mündliche Paar- oder Gruppenprüfung am Semesterende. Aktive Teilnahme wird vorausgesetzt.					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31002	S	ドイツ語初級 (第三外国語)	宮谷 尚実	ドイツ語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級 (第三外国語) 2セメスター (週1回1コマ) 通年でドイツ語の文法項目をひと通り習得する。四技能 (読む・書く・聞く・話す) の基礎を身につける。辞書を使えば平易な文章を充分理解できるようになる。					
成績評価方法	平常点 (継続的かつ積極的な出席、授業での活発な発言、ピア・ラーニングへの貢献など) および期末試験により総合的に評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 三瓶慎一 CDで学ぶドイツ語入門 [改訂版] 白水社 9784560066508					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31235	S	ドイツ語初級 (第三外国語)	工藤 達也	ドイツ語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級 (第三外国語) 1セメスターでドイツ語初級文法の全体を一通り学習します。原則として、1回の授業で教科書を1課ずつ進めます。 なお、初回はオンライン授業です。					
成績評価方法	試験と平常点にもとづいて評価します。詳細は授業中に指示します。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 清野智昭 Eva Wölbling ドイツ語の時間〈わくわくライブツィヒ〉 朝日出版社 978-4-255-25460-9					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30240	S	ドイツ語中級 (演習)	明星 聖子	ドイツ語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語中級 (演習) ドイツ語の初等文法を復習しながら、実践的な表現力、運用力、読解力を身につけます。					
成績評価方法	平常点 (出席、宿題、演習への参加等) および試験によっておこないます。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 前田良三/高木葉子 ドイツ語ナビゲーション 3.0 朝日出版社					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30327	S	ドイツ語中級（演習）	竹峰 義和	ドイツ語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語テキスト読解 ドイツ語文法の基礎知識をすでに習得した（1年次のドイツ語必修科目履修済み）学生が、ドイツ語テキストを実践的に読むことを通して、これまで培ったドイツ語能力をさらに発展させる。 テキストの内容は歴史や政治、時事的な話題など、「社会科」的な文献を選ぶ（ドイツの新聞や雑誌の記事を扱う予定）。 題材や難易度はリクエストに応じるので、積極的に授業に参加してください。					
成績評価方法	出席と授業に取り組む姿勢を主とする。平常点と学期末に行う期末試験の結果を合算して評価する。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31003	S	ドイツ語中級（演習）	有信 真美菜	ドイツ語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語中級（演習） ドイツ語の初等文法を復習しながら、実践的な表現力、運用力、読解力を身につけます。					
成績評価方法	平常点（出席、宿題、授業への参加等）および試験によっておこないます。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Diana Beier-Taguchi, 田中雅敏 Menschen in DACH 朝日出版社					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30339	S	ドイツ語中級（演習） （TLP）	速水 淑子	ドイツ語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語中級演習（TLP クラス指定科目） Der Kurs richtet sich an Studierende mit grundlegenden Kenntnissen der deutschen Sprache. Ziel des Kurses ist es, die Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben auszubauen und zu festigen, sodass am Ende des Kurses die Stufe B1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens erreicht wird. Die Lerner*innen sollen dann in der Lage sein, über Themen des alltäglichen Lebens, der Arbeit und Freizeit zu kommunizieren und über Erfahrungen, Interessen, Ansichten, Ziele und Pläne zu sprechen.					
成績評価方法	ドイツ語の基礎知識がある学生を対象としています。コースの目的は、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを開発・強化し、コース終了時に欧州共通参照枠のレベル B1 に到達するようにすることです。学習者は、日常生活、仕事、余暇などの話題についてコミュニケーションをとり、経験、興味、見解、目標、計画などについて話すことができるようになります。					
教科書	Beteiligung am Unterricht, regelmäßige Hausaufgaben und Vorbereitungen, Zwischentest und Abschlusstest 授業への参加、定期的な宿題・予習、中間試験、期末試験を総合に評価します。					
ガイダンス	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Anna Hila et al. Momente B1.1, Kursbuch plus interaktive Version Hueber ISBN 978-3-19-001793-5 学期後半には B1.2. を使用します。B1.2. は未刊のため販売され次第、購入方法をお知らせします 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31243	S	ドイツ語中級（演習） （TLP）	森井 裕一	ドイツ語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語中級演習（TLP クラス指定科目） Der Kurs richtet sich an Studierende mit grundlegenden Kenntnissen der deutschen Sprache. Ziel des Kurses ist es, die Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben auszubauen und zu festigen, sodass am Ende des Kurses die Stufe B1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens erreicht wird. Die Lerner*innen sollen dann in der Lage sein, über Themen des alltäglichen Lebens, der Arbeit und Freizeit zu kommunizieren und über Erfahrungen, Interessen, Ansichten, Ziele und Pläne zu sprechen. ドイツ語の基礎知識がある学生を対象としています。コースの目的は、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを開発・強化し、コース終了時に欧州共通参照枠のレベル B1 に到達するようにすることです。学習者は、日常生活、仕事、余暇などの話題についてコミュニケーションをとり、経験、興味、見解、目標、計画などについて話すことができるようになります。					
成績評価方法	Beteiligung am Unterricht, regelmäßige Hausaufgaben und Vorbereitungen, Zwischentest und Abschlusstest 授業への参加、定期的な宿題・予習、中間試験、期末試験を総合に評価します。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Julia Braun-Podeschwa et. al Menschen B1, Kursbuch Hueber 978-3-19-211903-3					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31076	S	ドイツ語中級（会話）	クリスティア ン クリンク	ドイツ語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Konversationskurs (Mittelstufe) - ドイツ語中級（会話） Dieser Kurs ist für Studierende mit Vorkenntnissen der deutschen Sprache konzipiert (Stufe A2-B1 des Europäischen Referenzrahmens). Im Mittelpunkt steht die Entwicklung der Kommunikationsfähigkeit. Die bisher erworbenen sprachlichen Fertigkeiten sollen gefestigt und automatisiert werden. Das Hörverständnis soll verbessert, der Wortschatz erweitert und die Ausdrucksfähigkeit ausgebaut werden. Besonders die mündliche Kommunikation soll gezielt gefördert werden. 初級程度の会話力を持つひとのための授業です。コミュニケーション能力を高めるために、すでに得た会話能力をいっそう確実にし、すらすらと話せるようにしましょう。また、聴き取り能力を向上させ、語彙を増やし、高度な表現力を身につけましょう。					
成績評価方法	Die Bewertung ergibt sich aus der aktiven Teilnahme im Kurs, den Ergebnissen der Hausaufgaben und einer Präsentation und/oder mündlichen Prüfung am Ende des Semesters. Regelmäßige Anwesenheit wird vorausgesetzt. 授業への積極性、宿題、プレゼンテーション、学期末の口述試験によって評価します。出席は					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30782	S	ドイツ語中級（作文）	クリスティア ン クリンク	ドイツ語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語中級（作文） Schreibübungen (Mittelstufe) 様々なテーマについてドイツ語で表現する練習をする。 In diesem Seminar lernen die Studierenden, wie man Texte auf Deutsch zu verschiedenen Themen schreibt. Sie erwerben die Fähigkeit, Texte zu gliedern, Inhalte zusammenzufassen und kritisch zu erörtern.					
成績評価方法	2度の課題提出。 2 benotete Texte.					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30664	S	ドイツ語中級 (インテンシヴ)	I・カウフマ ン	ドイツ語	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語中級 (インテンシヴ) / German Language (Intermediate) この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はSセメスターの「ドイツ語初級 (インテンシヴ)」を続け、ドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠のA2レベルに必要な能力を養うことを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A2レベルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。 Dieser Kurs ist die Fortsetzung des Kurses „German Language (Intensive)“ aus dem Sommer-Semester und richtet sich an Lernende mit geringen Vorkenntnissen (ca. A1) der deutschen Sprache. Durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben wird das erworbene Wissen erweitert und gefestigt. Die Lernenden üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Der Kurs zielt auf das Niveau A2 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER). Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A2.					
成績評価方法	授業への参加、宿題、定期的な課題によって総合的に評価する。中でも授業への積極的な参加を高く評価する。 Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. Schwerpunkt der Benotung bildet die aktive Beteiligu					
教科書	次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook Braun-Podeschwa, Julia et al. Momente A2 Kursbuch Hueber ISBN 978-3-19-501792-3					
ガイダンス	特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31802	S	ドイツ語中級 (インテンシヴ)	I・カウフマ ン	ドイツ語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語中級 (インテンシヴ) / German Language (Intermediate) この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はSセメスターの「ドイツ語初級 (インテンシヴ)」を続け、ドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠のA2レベルに必要な能力を養うことを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A2レベルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。 Dieser Kurs ist die Fortsetzung des Kurses „German Language (Intensive)“ aus dem Sommer-Semester und richtet sich an Lernende mit geringen Vorkenntnissen (ca. A1) der deutschen Sprache. Durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben wird das erworbene Wissen erweitert und gefestigt. Die Lernenden üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Der Kurs zielt auf das Niveau A2 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER). Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A2.					
成績評価方法	授業への参加、宿題、定期的な課題によって総合的に評価する。中でも授業への積極的な参加を高く評価する。 Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. Schwerpunkt der Benotung bildet die aktive Beteiligu					
教科書	次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook Braun-Podeschwa, Julia et al. Momente A2 Kursbuch Hueber ISBN 978-3-19-501792-3					
ガイダンス	特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30340	S	ドイツ語中級 (インテンシヴ) (TLP)	クリスティア ン クリンク	ドイツ語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語中級演習 (TLP クラス指定科目) Der Kurs richtet sich an Studierende mit grundlegenden Kenntnissen der deutschen Sprache. Ziel des Kurses ist es, die Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben auszubauen und zu festigen, sodass am Ende des Kurses die Stufe B1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens erreicht wird. Die Lerner*innen sollen dann in der Lage sein, über Themen des alltäglichen Lebens, der Arbeit und Freizeit zu kommunizieren und über Erfahrungen, Interessen, Ansichten, Ziele und Pläne zu sprechen.					
成績評価方法	ドイツ語の基礎知識がある学生を対象としています。コースの目的は、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを開発・強化し、コース終了時に欧州共通参照枠のレベル B1 に到達するようにすることです。学習者は、日常生活、仕事、余暇などの話題についてコミュニケーションをとり、経験、興味、見解、目標、計画などについて話すことができるようになります。					
教科書	Beteiligung am Unterricht, regelmäßige Hausaufgaben und Vorbereitungen, Zwischentest und Abschlusstest 授業への参加、定期的な宿題・予習、中間試験、期末試験を総合に評価します。					
ガイダンス	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Hila, Anna et. al Momente B1.1, Kursbuch plus interaktive Version Hueber 978-3-19-001793-5 学期後半には B1.2.を使用します。B1.2.は未刊のため販売され次第、購入方法をお知らせします。					
	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30825	S	ドイツ語中級 (インテンシヴ) (TLP)	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語中級演習 (TLP クラス指定科目) Der Kurs richtet sich an Studierende mit grundlegenden Kenntnissen der deutschen Sprache. Ziel des Kurses ist es, die Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben auszubauen und zu festigen, sodass am Ende des Kurses die Stufe B1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens erreicht wird. Die Lerner*innen sollen dann in der Lage sein, über Themen des alltäglichen Lebens, der Arbeit und Freizeit zu kommunizieren und über Erfahrungen, Interessen, Ansichten, Ziele und Pläne zu sprechen.					
成績評価方法	ドイツ語の基礎知識がある学生を対象としています。コースの目的は、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを開発・強化し、コース終了時に欧州共通参照枠 (CEFR) のレベル B1 に到達するようにすることです。学習者は、日常生活、仕事、余暇などの話題についてコミュニケーションをとり、経験、興味、見解、目標、計画などについて話すことができるようになります。					
教科書	Beteiligung am Unterricht, regelmäßige Hausaufgaben und Vorbereitungen, Zwischentest und Abschlusstest 授業への参加、定期的な宿題・予習、中間試験、期末試験を総合に評価します。					
ガイダンス	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Hila, Anna et. al Momente B1.1, Kursbuch plus interaktive Version Hueber 978-3-19-001793-5 学期後半には B1.2.を使用します。B1.2.は未刊のため販売され次第、購入方法をお知らせします。					
	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31017	S	ドイツ語中級 (インテンシヴ) (TLP)	クリスティア ン クリンク	ドイツ語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語中級演習 (TLP クラス指定科目) Der Kurs richtet sich an Studierende mit grundlegenden Kenntnissen der deutschen Sprache. Ziel des Kurses ist es, die Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben auszubauen und zu festigen, sodass am Ende des Kurses die Stufe B1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens erreicht wird. Die Lerner*innen sollen dann in der Lage sein, über Themen des alltäglichen Lebens, der Arbeit und Freizeit zu kommunizieren und über Erfahrungen, Interessen, Ansichten, Ziele und Pläne zu sprechen.					
成績評価方法	ドイツ語の基礎知識がある学生を対象としています。コースの目的は、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを開発・強化し、コース終了時に欧州共通参照枠のレベル B1 に到達するようにすることです。学習者は、日常生活、仕事、余暇などの話題についてコミュニケーションをとり、経験、興味、見解、目標、計画などについて話すことができるようになります。					
教科書	Beteiligung am Unterricht, regelmäßige Hausaufgaben und Vorbereitungen, Zwischentest und Abschlusstest 授業への参加、定期的な宿題・予習、中間試験、期末試験を総合に評価します。					
ガイダンス	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Hila, Anna et. al Momente B1.1, Kursbuch plus interaktive Version Hueber 978-3-19-001793-5 学期後半には B1.2.を使用します。B1.2.は未刊のため販売され次第、購入方法をお知らせします。					
	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31244	S	ドイツ語中級 (インテンシヴ) (TLP)	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語中級演習 (TLP クラス指定科目) Der Kurs richtet sich an Studierende mit grundlegenden Kenntnissen der deutschen Sprache. Ziel des Kurses ist es, die Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben auszubauen und zu festigen, sodass am Ende des Kurses die Stufe B1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens erreicht wird. Die Lerner*innen sollen dann in der Lage sein, über Themen des alltäglichen Lebens, der Arbeit und Freizeit zu kommunizieren und über Erfahrungen, Interessen, Ansichten, Ziele und Pläne zu sprechen.					
成績評価方法	ドイツ語の基礎知識がある学生を対象としています。コースの目的は、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを開発・強化し、コース終了時に欧州共通参照枠 (CEFR) のレベル B1 に到達するようにすることです。学習者は、日常生活、仕事、余暇などの話題についてコミュニケーションをとり、経験、興味、見解、目標、計画などについて話すことができるようになります。					
教科書	Beteiligung am Unterricht, regelmäßige Hausaufgaben und Vorbereitungen, Zwischentest und Abschlusstest 授業への参加、定期的な宿題・予習、中間試験、期末試験を総合に評価します。					
ガイダンス	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Hila, Anna et. al Momente B1.1, Kursbuch plus interaktive Version Hueber 978-3-19-001793-5 学期後半には B1.2.を使用します。B1.2.は未刊のため販売され次第、購入方法をお知らせします。					
	特に行わない。/Will not conduct guidance					

フランス語初級(演習)①

フランス語初級(演習)①		開講区分	S
授業の目標・概要	<p>一列・二列で文法および講読の基礎を学習していることを踏まえ、演習では発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。</p> <p>この授業科目は文科生を対象としたものであるが、理科生には、自由参加が可能な国際コミュニケーションの初級科目への積極的な参加を勧める。</p>		
成績評価方法	<p>平常点（宿題、出席、発言等）と期末試験で総合的に評価する。</p>		
教科書	<p>次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook</p> <p>書名 著者（訳者） 出版社 ISBN</p>		
関連ホームページ			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30189	月 4	デルヴロワ ミカエル	1年 文一二(26)
30426	火 3	COUCHOT Herve	1年 文一二(23)
30502	火 4	CAPEL Mathieu	1年 文一二(24)
30634	水 2	クリス ベルアド	1年 文一二(27)
30635	水 2	ファイフ ベアトリクス	1年 文一二(28)
30717	水 3	ファイフ ベアトリクス	1年 文一二(25)
30752	水 4	ファイフ ベアトリクス	1年 文三(20)
31148	金 3	クリス ベルアド	1年 文三(17)
31149	金 3	アルベリック ドリブル	1年 文三(19)
31193	金 4	アルベリック ドリブル	1年 文三(18)
30342	火 2	松井 裕美	1年 文科(TLP)

※TLP履修者は、対象クラスでTLPと指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30341	S	フランス語初級 (演習) (TLP)	伊達 聖伸	フランス語 ・イタリア語	火 2	1年 理科
講義題目	TLPフランス語演習 (1年次)					
授業の目標概要	TLP (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (TLP用)、そしてインテンシヴ・コース (TLP用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。					
成績評価方法	期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton Atelier Méthode de Français A1 DIDIER 9782278104680 https://didierfle.com/produit/latelier-a1-edition-2022-livre-livre-numerique-didierfle-app/					
ガイダンス	特定日に行う。/Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30328	S	フランス語初級 (会話)	アガエス ジ ュリアン	フランス語 ・イタリア語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	フランス語初級 (会話) / French Language (Introductory)					
授業の目標概要	発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や読解の応用練習などを行う。					
成績評価方法	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、QUIZ、テスト、定期試験によって評価をします。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30783	S	フランス語初級 (表現練習)	デルヴロワ ミカエル	フランス語 ・イタリア語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	フランス語初修					
授業の目標概要	一列・二列で文法および講読の基礎を学習していることを踏まえ、演習では発音や文法、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。他の義務教育フラン後科目に沿って改良するつもりです。それで他の一年生学生に比べてもうちょっと語彙の数を増やして文法をもう一回説明のチャンスが頂ける科目。 この授業科目は文科生を対象としたものであるが、理科生に対しては、これに相当するものとして、国際コミュニケーション「フランス語初級 (演習)」が開講されているので、積極的に参加してほしい。					
成績評価方法	平常点 (宿題、出席、発言等) と期末試験で総合的に評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook アルベリック・ドリブル、ベアトリックス・ファイフ、寺田寅彦 『Rythmes & communication (リズムコミ! フランス語会話)』 朝日出版社 978-4-225-35275-6					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31004	S	フランス語初級 (読解)	桐谷 慧	フランス語 ・イタリア語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	平易なフランス語の文章を読む					
授業の目標概要	この授業では、平易なフランス語で書かれた文章を、受講者の皆さんと一緒に読んでいきます。受講者のレベルに応じて、重要な語彙の確認、初級文法のおさらいなども並行して行う予定です。丁寧に文章を読むことを通して、フランス語読解の基本を身につけることを目指します。					
成績評価方法	また、受講者の希望も考慮しつつ、時事的、文化的、学術的文章を取り上げることにより、フランス語圏の文化や社会についての理解を深めることも目標とします。					
	平常点（授業への参加）、課題提出、学期末試験などにより評価を行います。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30241	S	フランス語初級 (インテンシヴ)	アガエス ジ ュリアン	フランス語 ・イタリア語	月 5	1年 文科 理科
講義題目	フランス語初級（インテンシヴコース）					
授業の目標概要	このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日1限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、アガエス）も受講しなくてはなりません。SセメスターとAセメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。					
成績評価方法	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、quiz、テスト、定期試験によって評価をします。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin L'atelier + niv .A1 (édition 2022) – cahier + didierfle.app DIDIER FLE 9782278108244					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30242	S	フランス語初級 (インテンシヴ)	アルベリック ドリブル	フランス語 ・イタリア語	月 5	1年 文科 理科
講義題目	フランス語初級（インテンシヴコース）					
授業の目標概要	このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、水曜5限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、ドリブル）も受講しなくてはなりません。SセメスターとAセメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。					
成績評価方法	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 北村亜矢子, ヴァンサン・デュランベルジェ マエストロ 1 実践フランス語初級 朝日出版社 978-4255353074					
ガイダンス	開講時に指示します（学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと）。 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30784	S	フランス語初級 (インテンシヴ)	アルベリック ドリブル	フランス語 ・イタリア語	水 5	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	フランス語初級 (インテンシヴコース) このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、水曜 5限の授業 (フランス語初級 (インテンシヴ)、ドリブル) も受講しなくてはなりません。SセメスターとAセメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。					
成績評価方法 教科書	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 北村亜矢子, ヴァンサン・デュランベルジェ マエストロ 1 実践フランス語初級 朝日出版社 978-4255353074					
ガイダンス	開講時に指示します (学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと)。 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30820	S	フランス語初級 (インテンシヴ)	アガエス ジ ュリアン	フランス語 ・イタリア語	木 1	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	フランス語初級 (インテンシヴコース) このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日 1限の授業 (フランス語初級 (インテンシヴ)、アガエス) も受講しなくてはなりません。SセメスターとAセメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。					
成績評価方法 教科書	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、quiz, テスト、定期試験によって評価をします。 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin L'atelier + niv .A1 (édition 2022) - cahier + didierfle.app DIDIER FLE 9782278108244					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30018	S	フランス語初級 (インテンシヴ) (TLP)	アルベリック ドリブル	フランス語 ・イタリア語	月 1	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP フランス語インテンシヴ・コース (1年次) TLP (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (TLP用)、そしてインテンシヴ・コース (TLP用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。					
成績評価方法 教科書	期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin L'atelier + A1 (édition 2022) Didier FLE 9782278104680					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30019	S	フランス語初級 (インテンシヴ) (TLP)	アガエス ジ ュリアン	フランス語 ・イタリア語	月 1	1年 文科 理科
講義題目	TLPフランス語インテンシヴ・コース (1年次)					
授業の目標概要	TLP (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (TLP用)、そしてインテンシヴ・コース (TLP用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。					
成績評価方法	春学期の目的: DELF のレベル A1 に達する 参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、QUIZ、定期試験によって評価をします。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin L'atelier + A1 (édition 2022) – Livre + livre numérique + didierfle.app Didier FLE 9782278104680 Date de parution en librairie : 2022/07/08					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31092	S	フランス語初級 (インテンシヴ) (TLP)	アガエス ジ ュリアン	フランス語 ・イタリア語	金 2	1年 文科 理科
講義題目	TLPフランス語インテンシヴ・コース (1年次)					
授業の目標概要	TLP (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (TLP用)、そしてインテンシヴ・コース (TLP用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。					
成績評価方法	春学期の目的: DELF のレベル A1 に達する 参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、QUIZ、定期試験によって評価をします。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin L'atelier + A1 (édition 2022) – Livre + livre numérique + didierfle.app Didier FLE 9782278104680 Date de parution en librairie : 2022/07/08					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31245	S	フランス語初級 (インテンシヴ) (TLP)	アルベリック ドリブル	フランス語 ・イタリア語	金 5	1年 文科 理科
講義題目	TLPフランス語インテンシヴ・コース (1年次)					
授業の目標概要	TLP (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (TLP用)、そしてインテンシヴ・コース (TLP用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。					
成績評価方法	期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin L'atelier + A1 (édition 2022) DIDIER 9782278104680					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30785	S	フランス語初級 (第三外国語)	黒木 秀房	フランス語 ・イタリア語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	フランス語初級					
授業の目標概要	フランス語の発音や初級文法を学ぶ。基本的な語彙や表現を身につける。					
成績評価方法	平常点（授業への参加度、小テスト等）と期末試験によって総合的に判断する。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 石井洋二郎 フランス文法要説（第3版） 朝日出版社 978-4-255-35258-9					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31077	S	フランス語初級 (第三外国語)	小西 英則	フランス語 ・イタリア語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	フランス語初級（第三外国語）					
授業の目標概要	フランス語の文法的な仕組みを一通り理解し、丁寧に辞書を引けば標準的な文章の意味が理解できるようになる。 フランス語の綴りと発音の関係を理解し、文章を正しく発音できるようになる。 学習した文法事項を用いながら、特定の身近な話題に関してフランス語で自然に会話ができるようになる。					
成績評価方法	平常点（授業への積極的参加、予習・復習状況、課題等）および学期末試験によって、総合的に判断する。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 太田浩一、前田保、渡辺仁 新・フランス語文法の<基礎> 駿河台出版社 978-4-411-00775-9					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30587	S	フランス語中級 (演習)	クリス ベル アド	フランス語 ・イタリア語	水 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Activités en français (français intermédiaire)					
授業の目標概要	Dans ce cours, les étudiants pratiqueront différentes activités pour améliorer leurs compétences en français. Nous ferons différents types d'exercices correspondant aux compétences décrites dans le CECR et requises pour l'obtention du DELF. - Compréhension écrite : lecture de petits textes (extraits de romans, fables, etc.) - Compréhension orale : extraits de films, d'émissions de télévision, etc. - Production orale : présentations, discussions, etc. - Production écrite : écriture créative, etc. Une place importante sera également accordée à la découverte culturelle (histoire, œuvres du patrimoine littéraire, société contemporaine, francophonie).					
成績評価方法	Participation et différents exercices en classe (contrôle continu 50%) et examen final (contrôle final 50%).					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30343	S	フランス語中級 (演習) (TLP)	郷原 佳以	フランス語 ・イタリア語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLPフランス語演習(2年次) TLP(トライリンガル・プログラム)履修生のための授業。一列・二列(文法と講読)、演習(TLP用)、そしてインテンシヴ・コース(TLP用)を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。					
成績評価方法 教科書	期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton L'atelier +A2 (édition 2022) Didier 9.7822781047e+12 https://didierfle.com/produit/latelier-niv-a2-edition-2022-livre-livre-numerique-didierfle-app/					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間 割 コード	開 講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
3089 8	S	フランス語中級 (演習) (TLP)	CAPEL Mathieu	フランス語 ・イタリア語	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLPフランス語演習(2年次) TLP(トライリンガル・プログラム)履修生のための授業。一列・二列(文法と講読)、演習(TLP用)、そしてインテンシヴ・コース(TLP用)を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。					
成績評価方法 教科書	期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton Atelier Méthode de Français A2, B1 didier 978-2-278-09300-7, 978-2-278-09302-1 https://didier.landing-hachette.fr/vosmanuelsfle/?utm_source=E-mail&utm_medium=nl&utm_content=&utm_campaign=DIDIER_NL_PROMO_FLE_VOS_MANUELS_EN_LIGNE_170320					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30088	S	フランス語中級 (会話)	ラタンジオ リリアンヌ	フランス語 ・イタリア語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Expression orale en français Ce cours propose un entraînement à l'expression orale à travers diverses activités orales. Il vise aussi à enrichir le vocabulaire des étudiants et à leur apprendre à faire des présentations orales.					
成績評価方法	Seront évalués la participation orale tout au long du semestre ainsi qu'une présentation orale (exposé). 授業参画(50%) Exposés 50%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31078	S	フランス語中級 (作文)	クリス ベル アド	フランス語 ・イタリア語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Atelier d'écriture : alimentation, cultures et mondialisation Dans ce cours, nous lirons quelques articles du livre des historiens Pierre Singaravélou et Sylvain Venayre, « L'épicerie du monde » (2022). Ce livre, sous la forme de petits textes sur différents aliments (le sucre des Antilles, les épices des Indes, etc.) nous invite à réfléchir sur les échanges commerciaux et culturels, ainsi que sur le phénomène de la mondialisation. Les étudiants écriront régulièrement de courts textes en prenant exemple sur ceux de « L'épicerie du monde ». Ce travail d'écriture sera l'occasion de réviser différents points grammaticaux de niveau intermédiaire et surtout de pratiquer différentes formes d'écritures (description, résumé, etc.).					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	Textes écrits pendant le semestre (contrôle continu 50%), examen en fin de semestre (contrôle final 50%). プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31005	S	フランス語中級 (表現練習)	ビゼ	フランス語 ・イタリア語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Introduction à la notion d'anthropocène Nous consacrerons ce premier semestre à l'anthropocène, notion devenue centrale dans le débat public international depuis sa popularisation en 2000, à travers des documents divers: cinéma, installations artistiques, articles scientifiques, documents statistiques.					
成績評価方法	Le contrôle est CONTINU. Les étudiants sont évalués sur deux travaux faits pendant et en fin de semestre. Les travaux sont individuels mais le travail préparatoire est nécessairement collectif.					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30665	S	フランス語中級 (読解)	赤羽 悠	フランス語 ・イタリア語	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	人文・社会科学のテキストをフランス語で読む 初級で学んだ文法知識を用いて、社会学、歴史学、哲学などの分野のテキスト読解に挑戦します。まずは文法や表現について細かく確認しつつ、フランス語の文章を正確に把握することを目指します。 どちらかといえばアカデミックな文章を扱う予定ですので、読解に多少苦勞するところがあるかもしれません。しかし、そのような文章が読めるようになれば自信もつくはずです。 フランス語の読解力を向上させたい方、また、フランスの社会学、歴史学、哲学にフランス語でじかに触れてみたい方の受講を歓迎します。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点（授業への参加）、学期末試験等により総合的に評価します。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30893	S	フランス語中級 (読解)	片岡 大右	フランス語 ・イタリア語	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	現代フランスのジャーナリズムに触れる フランス語学習の傍ら現代フランス社会をよりよく理解すべく、『ル・モンド』ほか、フランス語の新聞・雑誌・ニュースサイトの記事の読解を行う。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点（出席・授業への参加態度など）と学期末試験で総合的に評価する。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31079	S	フランス語中級 (読解)	斎藤 かぐみ	フランス語 ・イタリア語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	政治・社会分野の仏文を読む					
授業の目標概要	政治・社会分野の仏文を読みこなす素地を養う。					
成績評価方法	平常点および期末のテスト（または課題）により総合的に評価する。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30220	S	フランス語中級 (インテンシヴ) (TLP)	アルベリッ ク ドリブル	フランス語 ・イタリア語	月 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	TLPフランス語インテンシヴ・コース (2年次)					
授業の目標概要	TLP (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (TLP用)、そしてインテンシヴ・コース (TLP用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。					
成績評価方法	期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton L'atelier A2 Didier 978-2-278-09300-7					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30221	S	フランス語中級 (インテンシヴ) (TLP)	アガエス ジ ュリアン	フランス語 ・イタリア語	月 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	TLPフランス語インテンシヴ・コース (2年次)					
授業の目標概要	TLP (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (TLP用)、そしてインテンシヴ・コース (TLP用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。					
成績評価方法	期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton Emilie Marolleau Emilie Pommier Delphine Ripaud Marie Rabin L'Atelier + A2 Didier FLE 9782278104710					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30826	S	フランス語中級 (インテンシヴ) (TLP)	アルベリック ドリブル	フランス語 ・イタリア語	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLPフランス語インテンシヴ・コース (2年次) TLP (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (TLP用)、そしてインテンシヴ・コース (TLP用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。					
成績評価方法 教科書	期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton L'atelier A2 Didier 978-2-278-09300-7					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31060	S	フランス語中級 (インテンシヴ) (TLP)	アガエス ジ ュリアン	フランス語 ・イタリア語	金 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLPフランス語インテンシヴ・コース (2年次) TLP (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (TLP用)、そしてインテンシヴ・コース (TLP用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。					
成績評価方法 教科書	期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton Emilie Marolleau Emilie Pommier Delphine Ripaud Marie Rabin L'Atelier + A2 Didier FLE 9782278104710					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30452	S	フランス語上級 (読解)	伊達 聖伸	フランス語 ・イタリア語	火 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	近現代フランスの宗教と世俗を読む フランス語初級・中級で学んだ文法や構文をもとに、平易に見えて凝縮力と含意のあるテキストを正確に読解するとともに、深く理解する力を身につけます。また、近現代フランスを特徴づける共和国の思想を、多角的に理解することを目指します。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点と学期末試験 (もしくは課題) により総合的に評価します。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

総合科目 L 中国語

中国語初級(演習)①		開講区分	S
授業の目標・概要	一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。 注意事項：クラス別に開講するので、自分のクラスの演習を履修すること。		
成績評価方法 教科書	定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 書名 『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト』 著者(訳者) 毛 興華 出版社 ISBN		
関連ホームページ			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30057	月 2	張 ユエ	1年 文一二(13)
30059	月 2	林 立梅	1年 文一二(18)
30279	火 1	黄 海萍	1年 文三(11)
30422	火 3	李 佳リョウ	1年 文一二(19)
30431	火 3	喬 志航	1年 文三(13)
30744	水 4	中原 裕貴	1年 文一二(15)
30922	木 3	毛 興華	1年 文一二(16)
31035	金 1	斉 金英	1年 文一二(14)
31147	金 3	張 玉萍	1年 文三(14)
30858	木 2	鄧 芳	1年 文一二(17)文三(12)(TLP)
30859	木 2	李 彦銘	1年 文一二(17)文三(12)(TLP)

※TLP履修者は、対象クラスでTLPと指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31006	S	中国語初級（演習）	姚 毅	中国語	木 5	1年 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の基礎を固めるトレーニング 一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。					
成績評価方法 教科書	詳細は担当教員の指示に従うこと。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 毛 興華 『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト』 白帝社					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30243	S	中国語初級 (インテンシヴ)	賈 黎黎	中国語	月 5	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週2回をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』) 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。Sセメスターは5クラス開講し各クラス定員を20名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。 【A】 月5 賈黎黎先生 金2 毛興華先生 【B】 火2 賈黎黎先生 木5 毛興華先生 【C】 火2 毛興華先生 木5 賈黎黎先生 【D】 木1 毛興華先生 金2 賈黎黎先生 【E】 木1 李佳樑先生 金2 王英輝先生 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティブ、ニアネイティブの受講は認めません。 ☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は3月29日(9時)～4月2日(17時55)です。受付期間中に以下のURLにアクセスして「履修希望登録」フォームに必要な情報を記入してください。 https://forms.gle/ebqg3c2HPgbWgyvy5 ☆複数クラスの抽選にエントリーできますが、希望の優先順位に関係ありません。 ☆「履修希望登録」フォームを提出したら、控えが自動的にフォームに記入していただいたメールアドレスに送信されます。1時間以上経っても控えが届いていない場合は、迷惑メールフォルダ等を確認した上、terrymao2000@hotmail.com までお問い合わせください。 4月4日にUTASの授業用掲示板およびLMS UTOL (UTokyo LMS、旧 ITC-LMS) の本コース内に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。 【注意事項】当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようご注意ください。					
成績評価方法 教科書	小テスト、期末試験など 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシヴ 白帝社					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30329	S	中国語初級 (インテンシヴ)	賈 黎黎	中国語	火 2	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週2回をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』) 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。S セメスターは5クラス開講し各クラス定員を20名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。 【A】 月5 賈黎黎先生 金2 毛興華先生 【B】 火2 賈黎黎先生 木5 毛興華先生 【C】 火2 毛興華先生 木5 賈黎黎先生 【D】 木1 毛興華先生 金2 賈黎黎先生 【E】 木1 李佳樑先生 金2 王英輝先生 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティブ、ニアネイティブの受講は認めません。 ☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は3月29日(9時)～4月2日(17時55)です。受付期間中に以下のURLにアクセスして「履修希望登録」フォームに必要な情報を記入してください。 https://forms.gle/ebqg3c2HPgbWgyvy5 ☆複数クラスの抽選にエントリーできますが、希望の優先順位に関係ありません。 ☆「履修希望登録」フォームを提出したら、控えが自動的にフォームに記入していただいたメールアドレスに送信されます。1時間以上経っても控えが届いていない場合は、迷惑メールフォルダ等を確認した上、 terrymao2000@hotmail.com までお問い合わせください。 4月4日にUTASの授業用掲示板およびLMS UTOL (UTokyo LMS、旧 ITC-LMS) の本コース内に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。 【注意事項】当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようご注意ください。					
成績評価方法 教科書	小テスト、期末試験など 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシヴ 白帝社					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30330	S	中国語初級 (インテンシヴ)	毛 興華	中国語	火 2	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週2回をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』) 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。S セメスターは5クラス開講し各クラス定員を20名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。 【A】 月5 賈黎黎先生 金2 毛興華先生 【B】 火2 賈黎黎先生 木5 毛興華先生 【C】 火2 毛興華先生 木5 賈黎黎先生 【D】 木1 毛興華先生 金2 賈黎黎先生 【E】 木1 李佳樑先生 金2 王英輝先生 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティブ、ニアネイティブの受講は認めません。 ☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は3月29日(9時)～4月2日(17時55)です。受付期間中に以下のURLにアクセスして「履修希望登録」フォームに必要な情報を記入してください。 https://forms.gle/ebqg3c2HPgbWgyvy5 ☆複数クラスの抽選にエントリーできますが、希望の優先順位に関係ありません。 ☆「履修希望登録」フォームを提出したら、控えが自動的にフォームに記入していただいたメールアドレスに送信されます。1時間以上経っても控えが届いていない場合は、迷惑メールフォルダ等を確認した上、 terrymao2000@hotmail.com までお問い合わせください。 4月4日にUTASの授業用掲示板およびLMS UTOL (UTokyo LMS、旧 ITC-LMS) の本コース内に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。 【注意事項】当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようご注意ください。					
成績評価方法 教科書	小テスト、期末試験など 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシヴ 白帝社					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30821	S	中国語初級 (インテンシヴ)	李 佳リョウ	中国語	木 1	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>中国語の実践能力を養うためのトレーニング 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週2回をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』) 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。Sセメスターは5クラス開講し各クラス定員を20名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。</p> <p>【A】 月5 賈黎黎先生 金2 毛興華先生 【B】 火2 賈黎黎先生 木5 毛興華先生 【C】 火2 毛興華先生 木5 賈黎黎先生 【D】 木1 毛興華先生 金2 賈黎黎先生 【E】 木1 李佳樑先生 金2 王英輝先生</p> <p>☆基本的に初修者を対象とするためネイティブ、ニアネイティブの受講は認めません。 ☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は3月29日(9時)～4月2日(17時55)です。受付期間中に以下のURLにアクセスして「履修希望登録」フォームに必要な情報を記入してください。 https://forms.gle/ebqg3c2HPgbWgyvy5 ☆複数クラスの抽選にエントリーできますが、希望の優先順位に関係ありません。 ☆「履修希望登録」フォームを提出したら、控えが自動的にフォームに記入していただいたメールアドレスに送信されます。1時間以上経っても控えが届いていない場合は、迷惑メールフォルダ等を確認した上、terrymao2000@hotmail.com までお問い合わせください。 4月4日にUTASの授業用掲示板およびLMS UTOL (UTokyo LMS、旧 ITC-LMS) の本コース内に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。 【注意事項】当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようご注意ください。 小テスト、期末試験など 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシブ 白帝社</p>					
成績評価方法 教科書	<p>聞いて話す 初級中国語インテンシブ 白帝社</p>					
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30822	S	中国語初級 (インテンシヴ)	毛 興華	中国語	木 1	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>中国語の実践能力を養うためのトレーニング 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週2回をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』) 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。Sセメスターは5クラス開講し各クラス定員を20名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。</p> <p>【A】 月5 賈黎黎先生 金2 毛興華先生 【B】 火2 賈黎黎先生 木5 毛興華先生 【C】 火2 毛興華先生 木5 賈黎黎先生 【D】 木1 毛興華先生 金2 賈黎黎先生 【E】 木1 李佳樑先生 金2 王英輝先生</p> <p>☆基本的に初修者を対象とするためネイティブ、ニアネイティブの受講は認めません。 ☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は3月29日(9時)～4月2日(17時55)です。受付期間中に以下のURLにアクセスして「履修希望登録」フォームに必要な情報を記入してください。 https://forms.gle/ebqg3c2HPgbWgyvy5 ☆複数クラスの抽選にエントリーできますが、希望の優先順位に関係ありません。 ☆「履修希望登録」フォームを提出したら、控えが自動的にフォームに記入していただいたメールアドレスに送信されます。1時間以上経っても控えが届いていない場合は、迷惑メールフォルダ等を確認した上、terrymao2000@hotmail.com までお問い合わせください。 4月4日にUTASの授業用掲示板およびLMS UTOL (UTokyo LMS、旧 ITC-LMS) の本コース内に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。 【注意事項】当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようご注意ください。 小テスト、期末試験など 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシブ 白帝社</p>					
成績評価方法 教科書	<p>聞いて話す 初級中国語インテンシブ 白帝社</p>					
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31007	S	中国語初級 (インテンシヴ)	毛 興華	中国語	木 5	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週2回をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』) 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。Sセメスターは5クラス開講し各クラス定員を20名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。 【A】 月5 賈黎黎先生 金2 毛興華先生 【B】 火2 賈黎黎先生 木5 毛興華先生 【C】 火2 毛興華先生 木5 賈黎黎先生 【D】 木1 毛興華先生 金2 賈黎黎先生 【E】 木1 李佳樑先生 金2 王英輝先生 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティブ、ニアネイティブの受講は認めません。 ☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は3月29日(9時)～4月2日(17時55)です。受付期間中に以下のURLにアクセスして「履修希望登録」フォームに必要な情報を記入してください。 https://forms.gle/ebqg3c2HPgbWgyvy5 ☆複数クラスの抽選にエントリーできますが、希望の優先順位に関係ありません。 ☆「履修希望登録」フォームを提出したら、控えが自動的にフォームに記入していただいたメールアドレスに送信されます。1時間以上経っても控えが届いていない場合は、迷惑メールフォルダ等を確認した上、terrymao2000@hotmail.com までお問い合わせください。 4月4日にUTASの授業用掲示板およびLMS UTOL (UTokyo LMS、旧 ITC-LMS) の本コース内に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。 【注意事項】当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようご注意ください。 小テスト、期末試験など 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシブ 白帝社					
成績評価方法 教科書	小テスト、期末試験など 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシブ 白帝社					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31008	S	中国語初級 (インテンシヴ)	賈 黎黎	中国語	木 5	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週2回をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』) 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。Sセメスターは5クラス開講し各クラス定員を20名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。 【A】 月5 賈黎黎先生 金2 毛興華先生 【B】 火2 賈黎黎先生 木5 毛興華先生 【C】 火2 毛興華先生 木5 賈黎黎先生 【D】 木1 毛興華先生 金2 賈黎黎先生 【E】 木1 李佳樑先生 金2 王英輝先生 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティブ、ニアネイティブの受講は認めません。 ☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は3月29日(9時)～4月2日(17時55)です。受付期間中に以下のURLにアクセスして「履修希望登録」フォームに必要な情報を記入してください。 https://forms.gle/ebqg3c2HPgbWgyvy5 ☆複数クラスの抽選にエントリーできますが、希望の優先順位に関係ありません。 ☆「履修希望登録」フォームを提出したら、控えが自動的にフォームに記入していただいたメールアドレスに送信されます。1時間以上経っても控えが届いていない場合は、迷惑メールフォルダ等を確認した上、terrymao2000@hotmail.com までお問い合わせください。 4月4日にUTASの授業用掲示板およびLMS UTOL (UTokyo LMS、旧 ITC-LMS) の本コース内に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。 【注意事項】当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようご注意ください。 小テスト、期末試験など 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシブ 白帝社					
成績評価方法 教科書	小テスト、期末試験など 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシブ 白帝社					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31080	S	中国語初級 (インテンシヴ)	毛 興華	中国語	金 2	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>中国語の実践能力を養うためのトレーニング 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週2回をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』) 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。Sセメスターは5クラス開講し各クラス定員を20名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。 【A】 月5 賈黎黎先生 金2 毛興華先生 【B】 火2 賈黎黎先生 木5 毛興華先生 【C】 火2 毛興華先生 木5 賈黎黎先生 【D】 木1 毛興華先生 金2 賈黎黎先生 【E】 木1 李佳樑先生 金2 王英輝先生</p> <p>☆基本的に初修者を対象とするためネイティブ、ニアネイティブの受講は認めません。 ☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は3月29日(9時)～4月2日(17時55)です。受付期間中に以下のURLにアクセスして「履修希望登録」フォームに必要な情報を記入してください。 https://forms.gle/ebqg3c2HPgbWgyvy5 ☆複数クラスの抽選にエントリーできますが、希望の優先順位に関係ありません。 ☆「履修希望登録」フォームを提出したら、控えが自動的にフォームに記入していただいたメールアドレスに送信されます。1時間以上経っても控えが届いていない場合は、迷惑メールフォルダ等を確認した上、terrymao2000@hotmail.com までお問い合わせください。 4月4日にUTASの授業用掲示板およびLMS UTOL (UTokyo LMS、旧 ITC-LMS) の本コース内に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。 【注意事項】当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようご注意ください。 小テスト、期末試験など 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシヴ 白帝社</p>					
成績評価方法 教科書	<p>聞いて話す 初級中国語インテンシヴ 白帝社</p>					
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31081	S	中国語初級 (インテンシヴ)	賈 黎黎	中国語	金 2	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>中国語の実践能力を養うためのトレーニング 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週2回をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』) 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。Sセメスターは5クラス開講し各クラス定員を20名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。 【A】 月5 賈黎黎先生 金2 毛興華先生 【B】 火2 賈黎黎先生 木5 毛興華先生 【C】 火2 毛興華先生 木5 賈黎黎先生 【D】 木1 毛興華先生 金2 賈黎黎先生 【E】 木1 李佳樑先生 金2 王英輝先生</p> <p>☆基本的に初修者を対象とするためネイティブ、ニアネイティブの受講は認めません。 ☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は3月29日(9時)～4月2日(17時55)です。受付期間中に以下のURLにアクセスして「履修希望登録」フォームに必要な情報を記入してください。 https://forms.gle/ebqg3c2HPgbWgyvy5 ☆複数クラスの抽選にエントリーできますが、希望の優先順位に関係ありません。 ☆「履修希望登録」フォームを提出したら、控えが自動的にフォームに記入していただいたメールアドレスに送信されます。1時間以上経っても控えが届いていない場合は、迷惑メールフォルダ等を確認した上、terrymao2000@hotmail.com までお問い合わせください。 4月4日にUTASの授業用掲示板およびLMS UTOL (UTokyo LMS、旧 ITC-LMS) の本コース内に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。 【注意事項】当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようご注意ください。 小テスト、期末試験など 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシヴ 白帝社</p>					
成績評価方法 教科書	<p>聞いて話す 初級中国語インテンシヴ 白帝社</p>					
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31082	S	中国語初級 (インテンシヴ)	王 英輝	中国語	金 2	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週2回をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』) 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。Sセメスターは5クラス開講し各クラス定員を20名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。					
成績評価方法 教科書	【A】 月5 賈黎黎先生 金2 毛興華先生 【B】 火2 賈黎黎先生 木5 毛興華先生 【C】 火2 毛興華先生 木5 賈黎黎先生 【D】 木1 毛興華先生 金2 賈黎黎先生 【E】 木1 李佳樑先生 金2 王英輝先生 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めません。 ☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は3月29日(9時)~4月2日(17時55)です。受付期間中に以下のURLにアクセスして「履修希望登録」フォームに必要な情報を記入してください。 https://forms.gle/ebqg3c2HPgbWgyvy5 ☆複数クラスの抽選にエントリーできますが、希望の優先順位に関係ありません。 ☆「履修希望登録」フォームを提出したら、控えが自動的にフォームに記入していただいたメールアドレスに送信されます。1時間以上経っても控えが届いていない場合は、迷惑メールフォルダ等を確認した上、 terrymao2000@hotmail.com までお問い合わせください。 4月4日にUTASの授業用掲示板およびLMS UTOL (UTokyo LMS、旧 ITC-LMS) の本コース内に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。 【注意事項】当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようご注意ください。					
ガイダンス	小テスト、期末試験など 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシヴ 白帝社 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30014	S	中国語初級 (第三外国語)	林 立梅	中国語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語入門(2023年度Aセメスターの続き) 中国語学習の重要な基礎となる"発音"と"文法"を学ぶ。 この授業は同教員が担当したAセメスターの続きを行う(テキストの第9課から始める予定)。 授業の性質上30名を定員とする。					
成績評価方法	小テストや期末試験など 状況に応じて変更があるので担当教員の指示に従うこと。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 木村英樹、小野秀樹、陳蓉 北京の風 白帝社					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30331	S	中国語初級 (第三外国語)	黄 海萍	中国語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語初級(第三外国語) / Chinese Language (Introductory) 中国語学習の重要な基礎となる"発音"と"文法"を学ぶ。半年間のみ授業だが、続けて学習をしたい者はAセメスターに同じテキストで開講される、第三外国語の授業で継続的に履修することが可能である。授業の性質上40名を定員とする。初回授業で定員を超えている場合に抽選を行うので履修希望者は必ず出席をすること。					
成績評価方法	出席状況、授業中のパフォーマンス、課題、小テスト、期末試験などで総合的に評価する。					
教科書	課題、小テスト、期末試験などについては、学期途中で指示をすることで各教員の指示に従うこと。 授業に参加することが成績評価の前提であり、出席日数が三分の二未満の場合は不合格とする。					
ガイダンス	次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook 木村英樹・小野秀樹・陳蓉 著 『北京の風(改訂版)』 白帝社 9784891742492 特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31083	S	中国語初級 (第三外国語)	張 玉萍	中国語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の基礎 この授業は直接教授法を取り入れ、基本的に中国語で中国語を教えるものである。教員の一方的な説明に終始することなく、学生とのやり取りや学生同士の様々な形の練習を通して、中国語の表現力・思考力を次第に身につけるようにする。PEAKの学生向けとなっているため、できるだけ日本語は使わずに中国語で講義をする。SセメスターはI、Aセメスターはその続きのIIである。					
成績評価方法	出席、受講態度、発音練習、最後の発表などによって成績を判定する。詳しいことは初回授業の時に説明する。					
教科書	次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook 八木章好 おぼえチャイナ 1(Sセメスター) おぼえチャイナ 2(Aセメスター) 朝日出版社					
ガイダンス	特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30089	S	中国語中級(演習)	鍾 非	中国語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語作文 和訳に使われるテキストのデジタル・コピーまで許諾されるかは、少なくともZoom授業に関しては不明。それを考慮に入れて、中国語作文だけにする。教官の思い付き(日本語)をきわめて丁寧に中訳・添削する形で授業を進める。思い付きとは言え、レベルは初級と大違い。日常会話レベルの日中両国の言語を、慣用句(成語)にするのが要求される(例:日本語:羹に懲りて膾を吹く or 蛇に嘔まれて朽繩に怖じる; 中国語:小題大做 or 一年被蛇咬, 十年怕井繩)。同じ表現なのに、日中両国の言葉に相違点が少なからず存在していることを受講生に気づかせる。語彙テストをランダムに実施(一例。日本語: level1: 面白い、level2: 興味深い、level3: 腹を振る or 腹が振れる、level4: 臍で茶を沸かす。中国語: level1: 有趣、level2: 興味盎然 or 妙趣横生、level3: 捧腹大笑、level4: 忍俊不禁)。ちなみに、Level1ができれば、日常会話で相槌を打つことすら不可能。かたやlevel4が「お茶の子さいさい」だと思えば、nativeでも稀に見る。「覚えることだけが語学」だという悪しき先入観を、「考える語学」まで理路整然と高めるのが、目的。					
成績評価方法	平常点。					
教科書	教科書は使用しない。/ Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30823	S	中国語中級（会話）	何 珍時	中国語	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	中国語をマスターする条件は、発音、構文（仕組み）と語彙の3つです。この3つの条件さえ満たせば、誰でも中国語を身に付けることができます。ですから、「会話」と言っても、3つの条件なしに成り立つわけではありません。発音はもちろんのこと、ある程度中国語の仕組みが分からなければ、会話は成り立ちません。この講義は中級会話なので、一年生で学んだ文法理解と語彙の習得を前提に、さらに進んだ文法理解を深め、複雑な構文も学んだ上で、それを活かして、中国語で言われた内容を聞き取り、自分の考えたことを中国語で表現し、会話を行うこと					
授業の目標概要	授業の目標はまず、中国語の基本的な仕組み（文法）をきちんと理解すること、つぎに自分の考えたことをできるかぎり中国語で表現すること。これらの基礎作業の上に学んだ内容を活かしたテーマを設定し、それについて学生相互で基本的な会話（日常会話）ができるようにすること。以上が授業の目標です。会話の練習は、数回程度授業内で行う予定です。					
成績評価方法 教科書	出席、授業中の取り込む態度、試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 何珍時 ぐんぐんのびる中国語II 朝日出版社					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30517	S	中国語中級（会話）	喬 志航	中国語	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語中級会話 目標 長文読解能力を向上させることと、広範で複雑な話題についても明瞭に自分の意見を表現できることを目標とする。 中国語を使った研究を始める基礎的な力がある。 異文化の理解につとめ、多様な価値観への寛容性を身につけるよう期待する。 概要 中国語を一年間学習した学生を対象に、中国語の長文読解と文法事項を教え、そしてテーマごとに中国語会話の練習を行う。 中国語圏の歴史や文化、社会情勢などに関係するテーマについて、言葉の背景にある中国の社会、政治、文化、歴史などについての知識をも積極的に取り入れて、言葉の微妙なニュアンスを感じ取り、真のコミュニケーション能力を養うと同時に、異文化への理解力を培うように心掛けたい。 授業のはじめに、教員による本文の内容確認をし、関連する表現や文法事項について説明を行う。そのうえで、学生による発表・討論、またはディベートを行う。それを通じて、中国語による表現力を強化させていく。					
成績評価方法 教科書	平常点（出欠状況、授業参加への積極度など）、期末試験に基づいて評価する。平常点 30%，期末試験 70%。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 山下輝彦・路元 『知ってる？今の中国～衣食住遊～』 朝日出版社 978-4-255-45304-0					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31084	S	中国語中級（会話）	斉 金英	中国語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	中級中国語会話					
授業の目標概要	中級レベルの文法を習得しながら、中国や日本の現代文化や社会事情が織り込まれた会話に触れ、テーマごとの会話練習を通して、様々な場面における中国語の自然な言い回しを応用できる口頭表現力を培うことを目指す。					
成績評価方法	期末試験(60点)や授業への参加度(40点)により総合的に評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 及川淳子 『2年目の伝える中国語 自分のこと日本のこと』 白水社					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30332	S	中国語中級（作文）	李 洵	中国語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	中検2級の作文/sentence-making					
授業の目標概要	この授業は中国語検定試験2級レベルの構文を中心に学び、トレーニングを行う。中検2級の作文の基本をマスターすることを目指す。					
成績評価方法	出席・小テスト、課題、期末試験					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30767	S	中国語中級（読解）	石井 剛	中国語	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	魯迅『傷逝』を読む					
授業の目標概要	魯迅が1925年に完成した短編小説『傷逝』をピンイン付きのテキストで味読する。					
成績評価方法	授業参加の積極性と期末レポートを各50パーセント。 ただし、「参加の積極性」とは出席云々を意味しているわけではなく、授業中に行われるであろう議論や教員の解説に対する質問提起など、授業の進行に対する実質的な貢献度合いのことを意味している。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 魯迅（岸陽子、斎藤泰治編注） 傷逝 朝日出版社					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30894	S	中国語中級（読解）	及川 茜	中国語	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国近現代文学選読 紙の辞書に加えて種々のオンラインツールを活用しながら、中国近現代文学を味わうための基礎的な読解力を身につける。 作品の背景知識を得る過程を通じ、中国語の世界に分け入るために不可欠である歴史や社会への視野を広げる。					
成績評価方法 教科書	毎回の授業への貢献度（訳文の発表と討論）と各課の課題（訳文）提出、期末試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 関根謙, 吉川龍生, 松倉梨恵, 唐蔚 編著 文学の窓 中国語精読テキスト 東方書店 9784497220066					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31177	S	中国語中級（読解）	朝倉 友海	中国語	金 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	論説体を中心とした中国語への習熟 本授業では、中国語で中級以上に進むためには避けて通ることのできない「論説体」に習熟することを目標とする。論説体とは新聞報道などメディアの文体を中心に、アカデミックな場など広く用いられる中国語である。フォーマルな言語として口頭でも広く用いられるため、実用性の面から非常に重要なものとなっているが、漢文の伝統を色濃く残す文章語であり、初級で学ぶ口語表現とは大きく異なっている。本授業は、論説体の中国語に読解・聴取の両面で無理なく馴染むことを主眼とし、ニュース記事や論説記事を教材として用いた読解練習を中心に進めるが、併せて聞き取り能力も養う。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	授業参加および分担箇所の取り組みと習熟によって決める。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30895	S	中国語中級 （インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語中級インテンシヴ会話 中級インテンシヴ聴解をセットで履修することが望ましい。木曜日2限では、主に会話の訓練を行う。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	期末試験は行わず、受講態度、課題、口頭発表に基づいて評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31178	S	中国語中級 (インテンシヴ)	毛 興華	中国語	金 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	耳を澄ませてリスニングチャレンジ この授業では主に聞き取りの訓練を行う。 街中で録音した自然な会話を聞き、初級で習得した単語や構文を点検するとともに、日常会話やテレビの報道番組などが聞き取れることを目指す。					
成績評価方法 教科書	なお、会話中心の「中級インテンシヴ」(担当: 賈黎黎 先生)とセットで履修することをお勧めします。 授業中のパフォーマンス、小テスト、期末試験 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 孟国 主編, 井田綾 訳 街なかの中国語 東方書店 978-4-497-21208-5					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31085	S	中国語上級（演習）	秋山 珠子	中国語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	映像翻訳演習 本授業は、中国語の映像作品（劇映画、ドキュメンタリー、ビデオアート、オンラインコンテンツ等）の字幕翻訳の実習を通し、1) 言語・音声および映像が伝えるイメージを分析し、2) 的確な日本語に翻訳する力を身につけ、3) 既存の字幕翻訳ルールを再検討し、デジタル化、グローバル化が進む今日の映像文化にふさわしい字幕翻訳の方法を模索することを目標とする。またその過程で、映像翻訳の可能性/不可能性を考察し、作品の背景となる中国の社会や文化に関する理解を深めていく。(G8-10)					
成績評価方法	* 演習の性質上、人数多数の場合は抽選を行う。受講希望者はオンライン初回授業に必ず参加すること。					
教科書	提出物、授業貢献度（出席状況・授業への取り組み・発表など）と最終試験の成績から総合的に判断する。					
ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30090	S	中国語上級（会話）	賈 黎黎	中国語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語上級（会話） 中国語の実際の運用能力の向上を目的とする。					
成績評価方法	期末試験を行わず、課題発表や授業中のパフォーマンスに基づき評価を行う。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 孟国 井田綾 平野紀子 街なかの中国語 part2 東方書店 978-4-497-21209-2					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30733	S	中国語上級（作文）	王 欽	中国語	水 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語で学術論文を書く 中国語で書かれた論文をいくつか熟読し分析することで、中国語で学術論文の書き方を身につけることが本授業の目標である。テキストはすべて『二十世紀中国文学史論』から選ぶ。					
成績評価方法	期末レポート					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30824	S	中国語上級（読解）	張 政遠	中国語	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	西西を読む。					
成績評価方法	西西を読む。					
教科書	平常点100%					
ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31093	S	中国語初級 (表現練習) (TLP)	李彦銘	中国語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語 基礎トレーニング 演習 TLP (トライリンガル・プログラム) 履修生のための科目。中国語一列・二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。					
成績評価方法 教科書	期末試験と小テストなど 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 苏英霞 乐读——国际中文阅读教学课本 (1,2) 北京语言大学出版社					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30344	S	中国語初級 (インテンシヴ) (TLP)	白春花	中国語	火 2	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング (初級リスニング) この授業はトライリンガル・プログラム (TLP) の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。					
成績評価方法 教科書	授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 駒場中国語教育研究会 孙军悦、王雪萍、小野秀樹 現代漢語基礎 初級インテンシヴコース リスニング教材					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30345	S	中国語初級 (インテンシヴ) (TLP)	菊池 真純	中国語	火 2	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング (初級リスニング) この授業はトライリンガル・プログラム (TLP) の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。					
成績評価方法 教科書	授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 駒場中国語教育研究会 孙军悦、王雪萍、小野秀樹 現代漢語基礎 初級インテンシヴコース リスニング教材					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30346	S	中国語初級 (インテンシヴ) (TLP)	李彦銘	中国語	火 2	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング (初級リスニング) この授業はトライリンガル・プログラム (TLP) の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。					
成績評価方法 教科書	授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 駒場中国語教育研究会 孫军悦、王雪萍、小野秀樹 現代漢語基礎 初級インテンシヴコース リスニング教材					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30953	S	中国語初級 (インテンシヴ) (TLP)	白春花	中国語	木 3	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語 実践トレーニング (初級会話) この授業はトライリンガル・プログラム (TLP) の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。この授業はトライリンガル・プログラム (TLP) の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。					
成績評価方法 教科書	授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 毛悦 新目標汉语 口语课本 (1) 北京語言大学出版社 9787561932711					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31094	S	中国語初級 (インテンシヴ) (TLP)	鄧芳	中国語	金 2	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語 実践トレーニング (初級会話) この授業はトライリンガル・プログラム (TLP) の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。この授業はトライリンガル・プログラム (TLP) の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。					
成績評価方法 教科書	授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 新目標汉语 口语课本 (1) 北京言語大学出版社					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31095	S	中国語初級 (インテンシヴ) (TLP)	白 春花	中国語	金 2	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語 実践トレーニング (初級会話) この授業はトライリンガル・プログラム (TLP) の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。この授業はトライリンガル・プログラム (TLP) の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。					
成績評価方法 教科書	授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 毛悦 新目標汉语 口语课本 (1) 北京語言大学出版社 9787561932711					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30096	S	中国語中級 (インテンシヴ) (TLP)	白 春花	中国語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語 実践トレーニング (中級作文) この科目は前期 TLP(トライリンガル・プログラム)の一環に位置づけられている。対象となる学生は TLP 二年生、またはそれと同等以上の中国語能力を有していると認められる学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業では、日常的に良く使われる複文の文型をマスターするのが最初の目標であって、複文に慣れてから、本格的な作文を週に一回作成し、添削を通して、中国語の文章の書き方を少しずつ覚えていく。一学期の勉強を通して、普通の短い文章を書けることを目標とする。					
成績評価方法	平常点 50% 期末試験 50%					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中山時子・飯泉彰裕 中国語作文のための短文練習—中文造句 東方書店 978-4-407-99560-5					
ガイダンス	第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30347	S	中国語中級 (インテンシヴ) (TLP)	鄧 芳	中国語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語 実践トレーニング (中級作文) この科目は前期 TLP(トライリンガル・プログラム)の一環に位置づけられている。対象となる学生は TLP 二年生、またはそれと同等以上の中国語能力を有していると認められる学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業では、日常的に良く使われる複文の文型をマスターするのが最初の目標であって、複文に慣れてから、本格的な作文を週に一回作成し、添削を通して、中国語の文章の書き方を少しずつ覚えていく。一学期の勉強を通して、普通の短い文章を書けることを目標とする。					
成績評価方法	平常点 50% 期末試験 50%					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 中山時子・飯泉彰裕 中国語作文のための短文練習—中文造句 東方書店 978-4-407-99560-5					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30454	S	中国語中級 (インテンシヴ) (TLP)	鄧 芳	中国語	火 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング (中級会話) この授業は、トライリンガル・プログラム (TLP) の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、日常会話はもちろん、場面ごとに合う適切な表現を身につけることを目標とする。					
成績評価方法	授業態度・小テスト・期末試験等を総合して評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 新目標汉语 口语课本 (3) 北京语言大学出版社					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30954	S	中国語中級 (インテンシヴ) (TLP)	李彦銘	中国語	木 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語 実践トレーニング (中級作文) この科目は前期 TLP(トライリンガル・プログラム)の一環に位置づけられている。対象となる学生は TLP 二年生、またはそれと同等以上の中国語能力を有していると認められる学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業では、日常的に良く使われる複文の文型をマスターするのが最初の目標であって、複文に慣れてから、本格的な作文を週に一回作成し、添削を通して、中国語の文章の書き方を少しずつ覚えていく。一学期の勉強を通して、普通の短い文章を書けることを目標とする。					
成績評価方法	平常点 50% 期末試験 50%					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 中山時子・飯泉彰裕 中国語作文のための短文練習—中文造句 東方書店 978-4-407-99560-5					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31061	S	中国語中級 (インテンシヴ) (TLP)	菊池 真純	中国語	金 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング (中級会話) この授業は、トライリンガル・プログラム (TLP) の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、日常会話はもちろん、場面ごとに合う適切な表現を身につけることを目標とする。					
成績評価方法 教科書	授業態度・小テスト・期末試験等を総合して評価する。 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 新目標汉语 口语课本 (3) 北京语言大学出版社					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31180	S	中国語中級 (インテンシヴ) (TLP)	鄧 芳	中国語	金 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング (中級会話) この授業は、トライリンガル・プログラム (TLP) の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、日常会話はもちろん、場面ごとに合う適切な表現を身につけることを目標とする。					
成績評価方法 教科書	授業態度・小テスト・期末試験等を総合して評価する。 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 新目標汉语 口语课本 (3) 北京语言大学出版社					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30588	S	中国語中級（演習） （TLP）	菊池 真純	中国語	水 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語 読解を中心とした応用トレーニング この授業は、トライリンガル・プログラム（TLP）の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、いままで学んだ文法知識などをベースにさらに複雑な中国語の文章を読みながら読解能力をいっそう高めることを目標とする。 読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターするだけでなく、様々なジャンルの文章を吟味することを通して中国の歴史・社会・文化への理解をいっそう深める。					
成績評価方法 教科書	期末テストと小テスト、平常点 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 北京語言大学出版社 楽読 国際中文閲読教学課本 4 北京語言大学出版社					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30668	S	中国語中級（演習） （TLP）	菊池 真純	中国語	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語 読解を中心とした応用トレーニング この授業は、トライリンガル・プログラム（TLP）の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、いままで学んだ文法知識などをベースにさらに複雑な中国語の文章を読みながら読解能力をいっそう高めることを目標とする。 読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターするだけでなく、様々なジャンルの文章を吟味することを通して中国の歴史・社会・文化への理解をいっそう深める。					
成績評価方法 教科書	期末テストと小テスト、平常点 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 北京語言大学出版社 楽読 国際中文閲読教学課本 4 北京語言大学出版社					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31096	S	中国語中級（演習） （TLP）	菊池 真純	中国語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>TLP 中国語 読解を中心とした応用トレーニング</p> <p>この授業は、トライリンガル・プログラム（TLP）の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20名を超える場合は人数制限を行う場合がある。</p> <p>この授業の履修を通じて、いままで学んだ文法知識などをベースにさらに複雑な中国語の文章を読みながら読解能力をいっそう高めることを目標とする。</p> <p>読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターするだけでなく、様々なジャンルの文章を吟味することを通して中国の歴史・社会・文化への理解をいっそう深める。</p>					
成績評価方法 教科書	<p>期末テストと小テスト、平常点</p> <p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook</p> <p>北京語言大学出版社 楽読 国際中文閲読教学課本 4 北京語言大学出版社</p>					
ガイダンス	<p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

総合科目 L ロシア語

ロシア語初級(演習)①		開講区分	S
授業の目標・概要	正確な発音を身につけて、簡単なテキストを読む。内容を理解した上で、テキストに関して質疑応答ができるようにする。		
成績評価方法 教科書	平常点など。 プリントを配布する。/Will distribute handouts 書名 著者(訳者) 出版社 ISBN		
関連ホームページ			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30964	木 4	GUTOVA Ekaterina	1年 文一二(4)
30970	木 4	GRECKO Valerij	1年 文三(4)
30994	木 4	ゴロウィナ クセーニヤ	1年 文科(TLP)

※TLP履修者は、対象クラスでTLPと指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30734	S	ロシア語初級（演習）	GRECKO Valerij	ロシア語	水 3	1年 理科
講義題目 授業の目標概要	現代ロシア語の基礎 基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、パターン・プラクティスを通じて、聞く、話す、読む、書くという4つのスキルをバランスよく習得する。書かれたテキストだけでなく、ビデオなどのメディアも用いながら、ノンバーバル・コミュニケーションや言語を使用する際の態度についても学ぶ。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点（授業中の発言、発表）、課題の提出 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30993	S	ロシア語初級（演習） (TLP)	ゴロウイナ クセーニヤ	ロシア語	木 4	1年 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア語演習 (TLP) ロシア語でのオーセンティックな内容（教科書以外）を理解し、それについて議論することができるための基礎を作る演習です。カードなどを用いて、テーマごとの内容と表現を多く覚えます。ミニレクチャーや音楽を聞いたり、ビデオを見たりした後、単語とモデル表現を練習した上で、簡単な議論やディベート、ロールプレイをします。宿題は主として新しい単語の復習であり、ボキャブラリー増加を目指します。 ※この授業は TLP 生専用です。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	授業貢献度（出席+予習+宿題）、ナレッジ・チェック、学期末試験などで評価します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts Послушайте 1 Злагоуст 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31803	S	ロシア語初級（会話）	GRECKO Valerij	ロシア語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア語会話の基礎 ロシア語ネイティブの教員が担当する初心者向けロシア語会話の授業。基礎的なロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）を習得することを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 日常生活に密着した場面を設定して、会話練習を行う。また、毎回の授業で取り上げるトピックを通して、ロシアでの生活や社会事情、ロシア特有の習慣などについての知識を得る。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点（授業中での発言、発表）、課題の提出、小テスト プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30244	S	ロシア語初級 (インテンシヴ)	鳥山 祐介	ロシア語	月 5	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア語初級（インテンシヴ） 語学の勉強は反復が重要です。この授業では必修クラスの内容をフォローし、学んだ内容の定着を目指します。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	課題への取り組みと期末テストによって評価します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30786	S	ロシア語初級 (インテンシヴ)	GRECKO Valerij	ロシア語	水 5	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	現代ロシア語の基礎 基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、聞く、話す、読む、書くという4つのスキルをバランスよく習得する。 ※「初級インテンシヴ」は週2コマをセットでのみ履修できます。かならず月曜5限の授業と両方を履修してください。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点(授業中の発言、発表)、課題の提出、テスト プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30020	S	ロシア語初級 (インテンシヴ) (TLP)	GUTOVA Ekaterina	ロシア語	月 1	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP ロシア語初級(インテンシヴ) TLP生を対象にしたインテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。S Semesterではアルファベットを習得し、正確な発音を目指すところから始める。2コマセットで履修すること(月曜1限と金曜5限)。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	授業貢献度、提出課題、学期末試験などを考慮して総合的に評価する。 プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31246	S	ロシア語初級 (インテンシヴ) (TLP)	GUTOVA Ekaterina	ロシア語	金 5	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP ロシア語初級(インテンシヴ) TLP生を対象にしたインテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。S Semesterではアルファベットを習得し、正確な発音を目指すところから始める。2コマセットで履修すること(月曜1限と金曜5限)。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	授業貢献度、提出課題、学期末試験などを考慮して総合的に評価する。 プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30896	S	ロシア語初級 (第三外国語)	毛利 公美	ロシア語	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア語初級 ロシア語を初めて学ぶ人、初めから学び直したい人を対象にした授業です。正しい発音やイントネーションの確認から始め、初級レベルの文法・語彙・表現の習得を目指します。					
成績評価方法	評価の基準は小テスト(40%)期末試験(60%)を目安とし、平常点(予習復習・授業への取組み等)も加味して総合的に判断します。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 桑野隆 初級ロシア語 20課 白水社 9784560086148					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31009	S	ロシア語中級（会話）	ゴロウィナ クセーニヤ	ロシア語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>ロシア語中級（会話） 主に一年生時に初級（会話）を受講した学生を対象に、「聞く・話す」能力を育てていきます。 基礎文法・語彙の知識を確認しながら、会話にいかせる文法・語彙力の育成を目指します。ネイティブ・スピーカーの先生が聴取・発音・会話に関して高度な運用能力を育成します。 授業参加度（出席+課題+宿題）、小テスト、期末テスト。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30666	S	ロシア語中級（作文）	石井 優貴	ロシア語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>ロシア語中級作文 前置詞や接続詞の用法を中心とした文法事項を学び、ロシア語での表現能力を向上させることを目的とした授業です。 平常点（宿題への取り組みなど）、および小テストの成績によって評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30518	S	ロシア語中級（読解）	丸山 由紀子	ロシア語	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>ロシア語中級（読解） これまで学んだ文法事項、語彙を精読を通じて確かなものにすると同時に、さらに上のレベルの文法、語彙を身につけます。文法に注意を払い、文脈を考慮して適切な訳語を選定しながら丹念にテキストを読むことで、今後、各自が必要なロシア語文献を読むための基礎力を身につけることを目指します。 1. 授業への貢献度、担当箇所の和訳の完成度。 2. 学期末レポート。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30550	S	ロシア語中級 （インテンシヴ）	GRECKO Valerij	ロシア語	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>ロシア語会話表現（中級） ロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）をさらに伸ばすことを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 授業では日常生活や身近な話題に取材した短い文章やスキットなどを使って、会話練習を重点的に行う。日常的な場面でも使われる言い回しを習得し、語彙を増やすとともに、比較的複雑な構造をもった表現を正しく聞き取り、自分でも使えるようになることを目指す。また、毎回の授業で取り上げる題材を通して、ロシアでの生活や社会事情についての知識も身につける。 ※ロシア語を1年以上学習した者を対 平常点（授業中の発言、発表）、課題の提出 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31236	S	ロシア語中級 (インテンシヴ)	畔柳 千明	ロシア語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ロシア語文法：初級から中級へ					
授業の目標概要	ロシア語の基礎文法を習得した人を受講者に想定し、文法の学習を通じて、初級から中級への橋渡しをすることを目的とした授業です。初級の文法事項を復習するとともに、より発展的な内容についても学習します。					
成績評価方法	出席、復習課題、小テスト					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30791	S	ロシア語中級 (インテンシヴ) (TLP)	GUTOVA Ekaterina	ロシア語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	TLP ロシア語中級 (インテンシヴ)					
授業の目標概要	TLP 生2年生用のインテンシヴ授業である。週2コマ行い、ネイティブ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。					
成績評価方法	授業貢献度 (課題、宿題)、期末テストなどを考慮して総合的に評価する。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31220	S	ロシア語中級 (インテンシヴ) (TLP)	GUTOVA Ekaterina	ロシア語	金 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	TLP ロシア語中級 (インテンシヴ)					
授業の目標概要	TLP 生2年生用のインテンシヴ授業である。週2コマ行い、ネイティブ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。					
成績評価方法	授業貢献度 (課題、宿題)、期末テストなどを考慮して総合的に評価する。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30949	S	ロシア語中級 (第三外国語)	毛利 公美	ロシア語	木 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ロシア語中級演習					
授業の目標概要	ロシア語の既習文法を確認し、一步進んだ文法の理解や、より豊かな語彙・表現の習得を目指します。					
成績評価方法	課題への取り組みと最終試験により評価します。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30520	S	ロシア語上級 (演習) (TLP)	鳥山 祐介	ロシア語	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ロシア語上級 (演習) / Russian Language (Advanced)					
授業の目標概要	TLP ロシア語2年生は必ず履修する授業です。精読を繰り返しながら、中級文法の確認をし、語彙を増やし、読解力の向上を目指します。またテキスト内で触れられるロシアの多様な文化や歴史に触れるきっかけを作ります。					
成績評価方法	授業貢献度 (試験を行うこともあります)。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30091	S	ロシア語上級（会話）	GUTOVA Ekaterina	ロシア語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア語上級（会話） ネイティブ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。 ※前期課程（1・2年生）でこの授業を履修できるのは、「ロシア語既修」で入学した学生のみである。それ以外の学生は履修できないので注意すること。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	授業への積極的な参加、宿題提出状況を総合的に判断して評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31179	S	ロシア語上級（作文）	GRECKO Valerij	ロシア語	金 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア語の文章表現 ロシア語のさまざまな文体（日常会話、新聞や雑誌の記事、文学作品など）を読み、それらについてディスカッションし、ロシア語の文章を書く練習を行う。ロシア語運用能力をさらに高め、特に書く能力を向上させることを目指す。最終的にはエッセイやレポートをロシア語で書く能力を身につける。また、さまざまなスタイルの文章に触れることを通じて、ロシア文化やロシア事情に対する理解を深めることを目指す。 ※前期課程（1・2年生）でこの授業を履修できるのは、「ロシア語既習」で入学した学生のみです。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点（授業中の発言、発表）、課題、レポート プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30218	S	ロシア語上級（読解）	毛利 公美	ロシア語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア文学の名作を味わう さまざまな文学作品をロシア語で精読しながら、ロシア語の読解能力を高め、作家による文体の違いを理解する。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点（予習復習、授業への取組み、出来具合）により評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

総合科目L スペイン語

スペイン語初級(演習)①		開講区分	S
授業の目標・概要 成績評価方法 教科書 書名 著者(訳者) 出版社 ISBN 関連ホームページ ※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30052	月 2	松田 葉月	1年 文一二(7)
30056	月 2	AIT MORENO Isaac	1年 文一二(12)
30404	火 3	FERNANDEZ HERBOSO	1年 文一二(10)
30405	火 3	松田 葉月	1年 文一二(11)
30605	水 2	松田 葉月	1年 文一二(8)
30638	水 2	AIT MORENO Isaac	1年 文三(10)
30718	水 3	AIT MORENO Isaac	1年 文三(7)
30742	水 4	Fernando Yeng	1年 文一二(9)
30972	木 4	FERNANDEZ HERBOSO	1年 文三(8)
30973	木 4	AIT MORENO Isaac	1年 文三(9)
30246	月 5	松田 葉月	1年 文科(TLP)

※TLP履修者は、対象クラスでTLPと指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30015	S	スペイン語初級 (演習)	AIT MORENO Isaac	スペイン語	月 1	1年 理科
講義題目	スペイン語初級					
授業の目標概要	スペイン語初習者に必要とされる、基礎的な表現、文法、語彙を学びます。この授業の一番の目的は、スペイン語によるコミュニケーション能力を伸ばすことです。そのために、会話練習、聴解の練習、短い口頭発表などを通して、話す・聞くの実践に重点を置きます。実際的なコミュニケーションに必要な文章力を磨くために、書く練習も行います。授業はスペイン語ネイティブの教員が担当します。					
成績評価方法	出席および授業への積極的な参加: 5% 試験: 85% (35% x 2) 小テスト等: 10% * 欠席は正当な理由がある場合を除き 4 回まで。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30348	S	スペイン語初級 (演習) (TLP)	松田 葉月	スペイン語	火 2	1年 理科
講義題目	Español Básico TLP (Prácticas) TLP スペイン語演習					
授業の目標概要	Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。					
成績評価方法	Exámenes parciales y examen final: 70% Participación y tareas: 30% 小テストと期末テスト 70 点 平常点 30 点					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook スペイン語教材研究会編 Entre amigos 1 (2ª edición) (総合スペイン語コース初級 改訂版) 朝日出版社 978-4-255-55055-8					
ガイダンス	各人が大学生協駒場書籍部を通じて初回までに購入すること。 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31010	S	スペイン語初級 (会話)	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	スペイン語 (初級会話)					
授業の目標概要	練習を通して、文法とその機能についての内容を体系化し、生徒の理解を強化する。また、授業を通して学んだことを、それぞれの生徒が活用し表現できるようにすることを目指す。 その他に文法、単語のレベルを DELE A2 まで引き上げていく。					
成績評価方法	部分試験と小試験が 50%、最終試験と口述試験が 50%					
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31237	S	スペイン語初級 (会話)	エクトル シ エラ	スペイン語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	¿HABLAMOS? スペイン語での基本的なコミュニケーション。 スペイン語で日常生活について話せるようになることを目指す。 自己紹介、天気や家族、好きなこと、嫌いなこと、料理の簡単な感想、町の様子、過去にしたことや近い未来にしたいことについての会話の演習を行う。					
成績評価方法	スペイン語らしい発音や自然なイントネーションの習得を目指す。また、前学期で学習した規則動詞の現在形、現在進行形や近未来の復習をした上で、不規則動詞や再帰動詞を使った会話を習得する。 The course is recommended for students who want to learn basic Spanish and want to develop essential conversational skills.					
教科書 ガイダンス	参加 30%、宿題・パフォーマンス・態度・授業への貢献 30%、プレゼン 40% Participation 30%、Performance, attitude, homework 30%、Presentation 40%. プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31086	S	スペイン語初級 (作文)	見田 悠子	スペイン語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	スペイン語作文の基礎 辞書をひきながら、文法的に正しいスペイン語の単文を書けるようになることを目標とします。 近年では、Eメールやチャットアプリ、SNSを使ったコミュニケーションの機会が増えています。顔を合わせた対話の場では、その場で言い直したり、伝わったかどうか確認することもできますし、ジェスチャーで意図を伝えることもできます。しかし、短文を介したコミュニケーションにおいて意図を正確に伝えるには、文法的にも正確な文章が必要とされます。 この授業では、初級文法を復習しながら多くの練習問題をこなし、ゆっくりとスペイン語作文に慣れていきます。					
成績評価方法	レポートとして作文を提出してもらいます。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 木越勉、古川亜矢 表現のためのスペイン語作文 朝日出版社 978-4-255-55086-2					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30245	S	スペイン語初級 (インテンシヴ)	アルバロ ペ ラル ヒガン テ	スペイン語	月 5	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>Conversación en español スペイン語での会話 En la clase practicamos la conversación en español. Para eso estudiamos gramática y vocabulario. 本講義では、スペイン語で会話を練習します。そのために文法と語彙も学びます。 El objetivo del curso es que los estudiantes tengan habilidad y seguridad en la interacción oral en español y pueda tener conversaciones en español sobre diferentes temas (la familia, la casa, la universidad, los gustos, etcétera). Esto, además, la ayuda a mejorar en la comprensión auditiva, la comprensión lectora y la expresión escrita.</p>					
成績評価方法	<p>本講義では、履修者がスペイン語による口頭でのインターアクションの能力と確かさを身につけ、さまざまなテーマ（家族、家、大学、好きなことなど）についてスペイン語で会話することができることを目指します。さらに、補足的に、リスニング能力、読む能力、書く能力を身につけます。 期末試験 40% 期末レポート 20% 平常点 40% El profesor evalúa la habilidad de los estudiantes para tener conversaciones en español. Es importante la fluidez, la comprensión auditiva, el uso correcto de la gramática y el vocabulario. El profesor evalúa estos aspectos en las tareas de conversación de la clase. Es muy importante la participación en la clase. Al final del curso hay un examen.</p>					
教科書	<p>教員は履修者のスペイン語会話能力を評価して成績をつけます。会話のなめらかさ、リスニング能力、文法と語彙の正しさが重要です。授業において、これらの能力を、課題を通じて評価します。授業への参加がとても重要です。コースの最後には試験があります。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Juan Carlos Moyano, Josefa Vivancos, Raquel Rubio y María Yoldi. Entre amigos 1 Asahi ISBN978-4-255-55055-8 C1087</p>					
ガイダンス	<p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31011	S	スペイン語初級 (インテンシヴ)	AIT MORENO Isaac	スペイン語	木 5	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>スペイン語初級 必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。スペイン語初習者に必要とされる、基礎的な表現、文法、語彙を学ぶ。作文練習中心で、個人やグループでの様々なアクティビティなどで、実際にコミュニケーションしながら、文法や語彙の定着を図るようにする。授業はスペイン語ネイティブの教員が担当する。</p>					
成績評価方法	<p>出席および授業への積極的な参加: 5% 試験: 85% (35% x 2) 小テスト等: 10% * 欠席は正当な理由がある場合を除き 4 回まで。</p>					
教科書	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p>					
ガイダンス	<p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30349	S	スペイン語初級 (インテンシヴ) (TLP)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	火 2	1年 文科 理科
講義題目	Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシヴ					
授業の目標概要	Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。					
成績評価方法	Exámenes parciales y examen final: 70% 小テストと期末テスト 70 点 Participación y tareas: 30% 平常点 30 点					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook スペイン語教材研究会編 Entre amigos 1, 2da. edición. 朝日出版社					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31018	S	スペイン語初級 (インテンシヴ) (TLP)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 5	1年 文科 理科
講義題目	Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシヴ					
授業の目標概要	Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。					
成績評価方法	Exámenes parciales y examen final: 70% 小テストと期末テスト 70 点 Participación y tareas: 30% 平常点 30 点					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook スペイン語教材研究会編 Entre amigos 1, 2da. edición. 朝日出版社					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31097	S	スペイン語初級 (インテンシヴ) (TLP)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	金 2	1年 文科 理科
講義題目	Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシヴ					
授業の目標概要	Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。					
成績評価方法	Exámenes parciales y examen final: 70% 小テストと期末テスト 70 点 Participación y tareas: 30% 平常点 30 点					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook スペイン語教材研究会編 Entre amigos 1, 2da. edición. 朝日出版社					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31247	S	スペイン語初級 (インテンシヴ) (TLP)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	金 5	1年 文科 理科
講義題目	Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシヴ					
授業の目標概要	Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。					
成績評価方法	Exámenes parciales y examen final: 70% 小テストと期末テスト 70 点 Participación y tareas: 30% 平常点 30 点					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook スペイン語教材研究会編 Entre amigos 1, 2da. edición. 朝日出版社					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30016	S	スペイン語初級 (第三外国語)	松尾 俊輔	スペイン語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	1年間で学ぶ三外スペイン語 この授業は、スペイン語を第二外国語として履修していない学生を対象とし、1年間かけてスペイン語の基礎的な運用能力を身に付けることを目標としています。併せて、スペイン・ラテンアメリカの豊かな文化と歴史に触れる道を開きます。					
成績評価方法	文法事項をひとつひとつ身に付けていながら、スペイン語世界で通用する実践的なコミュニケーション能力（読む／書く／話す／聞く）の基礎を固めます。SセメスターとAセメスターを通してスペイン語の文法体系全体を学び、「ここまで来ればあとは生のスペイン語にぶつかるだけ」というレベルまで持っていくことが目標です。 Sセメスターの授業では、発音や簡単な挨拶から始め、基本的な動詞を用いた現在形と過去形の短い文章を作ることができるようになることを目指します。					
教科書	小テスト 10点×5=50点 期末試験（最終回） 50点 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学教養学部スペイン語部会 スペイン語学習の羅針盤 朝日出版社 978-4-255-55111-1					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30989	S	スペイン語中級 (演習)	アルバロ ペラ ル ヒガンテ	スペイン語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Conversación en español スペイン語での会話 El objetivo fundamental del curso consiste en que los estudiantes adquieran habilidad y seguridad en la interacción oral en español y puedan tener conversaciones con un hispanohablante sobre diferentes temas. 本講義では、履修者がスペイン語による口頭でのインターアクションの能力と確かさを身につけ、さまざまなテーマについてスペイン語話者と会話できるようになることを目指します。 También estudiamos la forma de escribir composiciones en español. Vamos a escribir composiciones sobre diferentes temas como la infancia, los viajes, la vida en el futuro, la salud o el trabajo. また、スペイン語で作文する方法を学びます。幼少期、旅行、将来の生活、健康、仕事などのテーマについて作文をしていきます。					
成績評価方法	期末試験 40% 期末レポート 30% 平常点 30% El profesor evalúa la habilidad de los estudiantes para tener conversaciones en español. Es importante la fluidez, la comprensión auditiva, el uso correcto de la gramática y el vocabulario. El profesor evalúa estos aspectos en las tareas de conversación de la clase. Es muy importante la participación en la clase. El profesor también evalúa la habilidad de los estudiantes para escribir composiciones en español. Es importante la ortografía, el uso correcto de la gramática y del vocabulario. Al final del curso hay un examen. 教員は履修者のスペイン語会話能力を評価して成績をつけます。会話のなめらかさ、リスニング能力、文法と語彙の正しさが重要です。授業において、これらの能力を、課題を通じて評価します。授業への参加がとても重要です。教師は生徒がスペイン語で作文を書く能力も評価します。 正しいスペルで書くこと、正しい文法、そして語彙で書くことが重要です。コースの最後には試験があります。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Paloma Trenado, Juan Carlos Moyano, Hanako Saito Por escrito 2 Dogakusha					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30827	S	スペイン語中級 (演習) (TLP)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	El mundo hispano en las noticias					
授業の目標概要	この授業ではコミュニケーションのために必要な実践練習を行います。1年次に学習した文法項目の復習を行い、文法を自分のものとすることをめざします。さらに発音を練習するとともに、スペイン語でのコミュニケーション能力を向上させ、スペイン語圏のさまざまな文化について学びます。ヨーロッパ言語共通参照枠のA1からA2レベルに対応しています。					
成績評価方法	授業への参加、ショートテスト、課題の提出、/ 口頭試験。 70%/30%					
教科書	次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook Nakajima, Satoko, Sato, Saichi, Taranco, David Es noticia Editorial Sanshusha ISBN: 978-4-384-4216-6 C 1805					
ガイダンス	特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30899	S	スペイン語中級 (演習) (TLP)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	El mundo hispano en las noticias					
授業の目標概要	この授業ではコミュニケーションのために必要な実践練習を行います。1年次に学習した文法項目の復習を行い、文法を自分のものとすることをめざします。さらに発音を練習するとともに、スペイン語でのコミュニケーション能力を向上させ、スペイン語圏のさまざまな文化について学びます。ヨーロッパ言語共通参照枠のA1からA2レベルに対応しています。					
成績評価方法	授業への参加、ショートテスト、課題の提出、/ 口頭試験。 70%/30%					
教科書	次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook Nakajima, Satoko, Sato, Saichi, Taranco, David Es noticia Editorial Sanshusha ISBN: 978-4-384-4216-6 C 1805					
ガイダンス	特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31219	S	スペイン語中級 (会話)	エクトル シ エラ	スペイン語	金 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	「¿CHARLAMOS?」スペイン語を通じた西洋式のコミュニケーション					
授業の目標概要	様々なトピックに触れながら、会話力を養う。 西洋式コミュニケーションのパターンを探り、慣用句を中心に エリプシス (省略法)、メトニミー (換喩)、メタファー (比喩) を学ぶ。曖昧で婉曲的な伝え方より、アサーティブでメタフォリックなコミュニケーションを目指す。 This is a course to learn new collocations, verbal periphrases, idioms and to practice conversation. The final exam is a presentation.					
成績評価方法	参加 30%、宿題・パフォーマンス・態度・授業への貢献 30%、プレゼンテーション 40%。 Participation 30%、Performance, attitude, homework 30%、Presentation 40%.					
教科書	プリントを配布する。/ Will distribute handouts					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/ Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31012	S	スペイン語中級 (読解)	内田 兆史	スペイン語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ラテンアメリカを中心としたスペイン語圏のニュース、講演、会話や曲を聞き取り、内容を理解することでスペイン語という視点を獲得し、世界を、あるいは日本を複眼的に眺める武器にしましょう。					
授業の目標概要	スペイン語を用いて世界を、日本を複眼的に眺める手段について学び、たとえばニュースについて日本や英語圏のメディアでの取り上げられ方とスペイン語世界での取り上げられ方との違いについて考察することにより、新たな視点から世界を眺められるようになる。					
成績評価方法	リスニングを含めた課題提出 40%、予習に基づいたテキスト読解 40%、期末課題 20%					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30787	S	スペイン語中級 (インテンシヴ)	Fernando Yeng	スペイン語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Curso Intensivo de Español Intermedio					
授業の目標概要	スペイン語基礎から続いて、基本文法の学習を進め、さらにこれらの知識を実際に運用できるようにするため、これらの文法項目が実際のコンテンツ内でどのように使用されているかを確認しながら、4技能（話す、書く、聞く、読む）のスキルを高めていきます。					
成績評価方法	平常点（毎回の授業への取り組み）40%、期末試験 60%として成績評価を行います。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook エウヘニオ・デル・プラド ・ 齋藤華子 ・ 仲道慎治 イメージ・スペイン語2 朝日出版社 978-4-255-55132-6					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31087	S	スペイン語中級 (インテンシヴ)	松田 葉月	スペイン語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Curso intensivo de español, nivel intermedio, composición					
授業の目標概要	El objetivo del curso es aprender a escribir correctamente en idioma español. Se busca dotar al alumno de los elementos claves e imprescindibles en la redacción de un texto, mediante la utilización de modelos y estructuras gramaticales apropiadas acordes al discurso seleccionado.					
成績評価方法	Participación en clase: 20 % Tareas: 40 % Examen (Ensayo): 40 %					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30350	S	スペイン語中級 (インテンシヴ) (TLP)	石橋 純	スペイン語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	スペイン語の歌					
授業の目標概要	20世紀スペイン語世界のポピュラー音楽の歌詞を精読、解釈、鑑賞する。 楽曲の背景や作者の情報についてのスペイン語文章も参考資料として読解する。					
成績評価方法	平常点、発表、期末課題などをもちいた評価を予定している。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30955	S	スペイン語中級 (インテンシヴ) (TLP)	棚瀬 あずさ	スペイン語	木 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>TLP2年生(文系)スペイン語中級 1年次に学んだ文法の知識を強化しながら、スペイン語の能力を、読む・聞く・書く・話すという4つの面で総合的に伸ばしていくことをめざします。 ・授業への参加状況と課題で評価します。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31098	S	スペイン語中級 (インテンシヴ) (TLP)	川崎 義史	スペイン語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Los misterios de Laura を読む スペインのテレビドラマ Los misterios de Laura の聞き取りとスクリプトの読解を通して、スペイン語力の更なる向上を目指します。 ・授業への参加状況と期末テスト(もしくは期末レポート)で評価します。 プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31099	S	スペイン語中級 (インテンシヴ) (TLP)	上 英明	スペイン語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>TLP2年生(文系)向けスペイン語中級演習 CEFR 準拠 A2 レベルのスペイン語運用能力を身につける目的で、演習形式で授業を行う。課題は多岐にわたるが、単なる読解にとどまらず、リスニング能力の向上、及び応用文法や口語表現の習得を行うことにも力点を置く。 課題提出 100% 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30219	S	スペイン語上級 (演習)	松田 葉月	スペイン語	月 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Práctica de español, nivel avanzado El curso de práctica de español avanzado tiene un triple objetivo: en primer lugar, consolidar y ampliar el conocimiento gramatical de los estudiantes a través de las cuatro destrezas lingüísticas (comprensión auditiva, expresión oral, comprensión de lectura y expresión escrita); a continuación, alcanzar una mayor fluidez oral; por último, fomentar el conocimiento por parte de los estudiantes de diversos temas relativos al mundo hispánico. Participación en clase: 20 % Tareas: 30 % Examen y presentación: 50 % 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>					

エラー! 指定したスタイルは使われていません。

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30950	S	スペイン語上級 (会話)	サンブラノ グ レゴリー	スペイン語	木 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>América Latina en su literatura. Principales tendencias de la narrativa (I).</p> <p>In this course, students will learn concepts such as "imagination", "fantasy" and "reality", related to Latin American literature, by reading some works of major authors. Students may improve their skills in Spanish language through readings and writing exercises. They may also strengthen aspects of grammar, syntax and vocabulary of Spanish.</p> <p>En este curso, los estudiantes aprenderán conceptos como "imaginación", "fantasía" y "realidad", relacionados con la literatura latinoamericana, mediante la lectura de algunas obras de los principales autores. Los estudiantes pueden mejorar sus habilidades en el idioma español a través de lecturas y ejercicios de escritura. También pueden fortalecer aspectos de gramática, sintaxis y vocabulario del español.</p>					
成績評価方法	<p>Exercises and Reports: 30%</p> <p>Class participation: 30%</p> <p>Presentation and Final Report: 40%</p>					
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook</p> <p>宇野和美、網野真木子 名作短編で学ぶスペイン語 Publisher Beret Publishing ISBN 978-4-86064-494-9</p>					
ガイダンス	<p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30897	S	スペイン語上級 (作文)	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>スペイン語による作文の授業</p> <p>Aprender a escribir bien en una nueva lengua requiere del aprendizaje de un género discursivo totalmente nuevo. Este curso de redacción tiene como fin dotar a los alumnos de las estructuras conceptuales imprescindibles que les permitan comprender el objetivo del texto y cómo realizarlo. El enfoque consiste en la introducción de los modelos conceptuales que permitan al estudiante reorganizar sus ideas y su entorno tanto dentro del aula como fuera de ella para facilitar el aprendizaje de este nuevo el discurso escrito en español. Los niveles de referencia de español que abordaremos son B1-B2 y C1.</p> <p>新しい言語で正しく書くことを学ぶには、まったく新しい論法を学ぶ必要がある。この授業では、文章を書く目的とその実行方法を理解できるようにするための基本的な概念構造を生徒に提供することを目的としている。授業の方法は、スペイン語で書かれたこの新しい論法の学習を容易にするために、生徒が自分の考えを教室の内外で再編成できるようにする概念モデルを紹介することである。</p> <p>授業で使用するスペイン語のレベルは前半が B1~B2、後半が C1 である。</p>					
成績評価方法	<p>Método de evaluación: La evaluación continua del trabajo diario en el aula y de la producción de textos que se pidan en la clase. 期末試験は実施しない。毎回の授業で課す課題によって評価する。</p>					
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook</p> <p>Arturo Escandón Trivium. Manual de composición escrita Liberas Press 978-4-909580-02-3</p>					
ガイダンス	<p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

総合科目L 韓国朝鮮語

※TLP履修者は、対象クラスでTLPと指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30177	S	韓国朝鮮語初級 (演習) ①	李 英蘭	韓国朝鮮語	月 4	1年 文一二(5)
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級(演習) この授業では、韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列・二列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には一列・二列の授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文をバランスよく練習し、一年間を通じて、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。					
成績評価方法	期末試験と平常点(出席、小テスト、課題、授業への参加度など)を総合的に評価する。 ※出席日数の3分の1以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。/Will specify at class time 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30428	S	韓国朝鮮語初級 (演習) ①	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 3	1年 文三(5)
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級(演習) この授業では、韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列・二列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には一列・二列の授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文をバランスよく練習し、一年間を通じて、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。					
成績評価方法	期末試験と平常点(出席、小テスト、課題、授業への参加度など)を総合的に評価する。 ※出席日数の3分の1以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。/Will specify at class time 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30298	S	韓国朝鮮語初級 (演習) ①(TLP)	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 1	1年 文科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級(演習) TLP この授業では、韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列・二列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には一列・二列の授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文をバランスよく練習し、一年間を通じて、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。					
成績評価方法	期末試験と平常点(出席、小テスト、課題、授業への参加度など)を総合的に評価する。 ※出席日数の3分の1以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。/Will specify at class time 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30297	S	韓国朝鮮語初級 (演習) (TLP)	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 1	1年 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級(演習) TLP この授業では、韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列・二列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には一列・二列の授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文をバランスよく練習し、一年間を通じて、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。					
成績評価方法	期末試験と平常点(出席、小テスト、課題、授業への参加度など)を総合的に評価する。 ※出席日数の3分の1以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。/Will specify at class time 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30519	S	韓国朝鮮語初級 (会話)	金 庚芬	韓国朝鮮語	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級(会話) 本授業は、初めの韓国朝鮮語の文字(ハングル)と発音の学習に続き、韓国朝鮮語の基礎知識を習得、活用しながら、「聴く」そして「話す」能力のトレーニングに重点を置く科目です。そのため、授業では「聴く」と「話す」練習用の様々な種類のアクティビティを行い、実践的な学びを目指します。					
成績評価方法	受講態度・授業への取り組み10%、小テスト20%、課題:20%、期末試験(筆記・口頭)50%を目安に総合的に評価します。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 世宗学堂 世宗韓国語会話1(初級) 延世大学校大学出版文化院 授業では、公開されている電子書籍および音源を使用予定のため、紙媒体は購入不要です。詳細は、初回の授業で説明します。 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30092	S	韓国朝鮮語初級 (インテンシヴ)	崔 泰源	韓国朝鮮語	月 2	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級 インテンシヴ 必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。					
成績評価方法	期末試験、課題、小テスト、授業への参加などで総合的に評価する。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。/Will specify at class time 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31059	S	韓国朝鮮語初級 (インテンシヴ)	ジ ミンギョ ン	韓国朝鮮語	金 1	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級 インテンシヴ 必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力を身につける。					
成績評価方法	期末試験、課題、小テスト、授業への参加などで総合的に評価する。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。/Will specify at class time 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30351	S	韓国朝鮮語初級 (インテンシヴ) (TLP)	朴 天弘	韓国朝鮮語	火 2	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 韓国朝鮮語 初級インテンシヴ一列 韓国朝鮮語 TLP の学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。					
成績評価方法	授業参加 (平常点)、小テスト、期末試験を実施して総合的に評価する。評価配分は以下の通りとする。 ○授業への取り組み：20% (宿題やミニエッセイなど) ○音声の課題：20% ○小テスト：20% ○期末試験：40%					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 서울대학교 언어교육원 I Love Korean 1 (사랑해요 한국어 1) 서울대학교출판문화원 9788952128744					
ガイダンス	初回の授業のときに指示をする。 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31100	S	韓国朝鮮語初級 (インテンシヴ) (TLP)	朴 天弘	韓国朝鮮語	金 2	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 韓国朝鮮語 初級インテンシヴ二列 TLP 韓国朝鮮語の学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。					
成績評価方法	授業参加 (平常点)、小テスト、期末試験を実施して総合的に評価する。評価配分は以下の通りとする。 ○授業への取り組み：20% (宿題やミニエッセイなど) ○音声の課題：20% ○小テスト：20% ○期末試験：40%					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 서울대학교 언어교육원 I Love Korean 1 (사랑해요 한국어 1) 서울대학교출판문화원 9788952128744					
ガイダンス	初回の授業のときに指示をする。 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30093	S	韓国朝鮮語初級 (第三外国語)	朴 天弘	韓国朝鮮語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級 A セメスター始まりの授業である (2023 年の A セメスターに引き続いて進める)。韓国語の基礎的な文法や表現を中心に初歩的な表現が使えるようになる。「読む」「聞く」「書く」「話す」という四つの力をバランスよく身につけることを目標として、数の数え方 (固有語)、過去形、日常的によく使う表現などがわかるようになる。					
成績評価方法	授業参加 (平常点)、小テスト、期末試験を実施して総合的に評価する。評価配分は以下の通りとする。 ○授業への取り組み：30% (宿題など) ○小テスト：30% ○期末試験：40%					
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30333	S	韓国朝鮮語初級 (第三外国語)	岩井 智彦	韓国朝鮮語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	韓国語入門・初級					
授業の目標概要	韓国語を本格的に身につけようとしている方を対象にした授業です。S・A 両セメスターの受講を前提として授業を進め、通年で初級レベルの韓国語力を確実に身につけることを目標とします。 Sセメスターは発音や文字等、入門レベルから始め、初級レベルの学習項目の前半部分を学びます。なお、履修にあたっては、必ず UTAS の授業計画、履修上の注意、学習上のアドバイスを確認してください。					
成績評価方法	全回出席が前提です。 課題・小テスト、期末テストで評価します。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 中島仁ほか 新・韓国語へのとびら 朝日出版社 978-4-255-55677-2					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30334	S	韓国朝鮮語初級 (第三外国語)	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語初級					
授業の目標概要	本授業は、韓国朝鮮語を初めて学習しようとする学生を対象としている。S・A 両セメスターの履修を前提にし、通年で初級レベルの韓国朝鮮語の表現や語彙を学び、日常生活の基本的な会話ができるようになることを目指す。Sセメスターでは、韓国朝鮮語の文字と発音をしっかり学んだ後、初級前半レベルの表現と語彙を学ぶ。 授業は、「韓国朝鮮語」のみで行う。					
成績評価方法	期末試験と平常点（出席、小テスト、課題、授業への参加度など）を総合的に評価する。 ※出席日数の3分の1以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。					
教科書	授業中に指示をする。/Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30453	S	韓国朝鮮語初級 (第三外国語)	金 庚芬	韓国朝鮮語	火 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語初級 (第三外国語)					
授業の目標概要	韓国朝鮮語の基本的なあいさつ表現、基礎語彙、基本的な助詞、用言の活用を学びます。自然な発音を身につけるための繰り返し練習、自己紹介の表現をはじめ、実践的な表現を学びます。教科書『チンチャ！チョアヘヨ！！韓国語1』を使い、新しい文法や表現の習得を中心に行います。 教室活動の他に、LMSを通して、お知らせ、課題、小テストがありますので、必ず確認してください。 自習用動画を毎回用意しますので下記 URL から視聴して下さい。毎週、単語の暗記や本文の読む練習などの予習と、授業後の学習内容の復習を持続することをお勧め					
成績評価方法	受講態度・授業への取り組み 10%、小テスト&課題：30%、期末試験（筆記・口頭）60%を目安に総合的に評価します。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 金庚芬・丁仁京 チンチャ！チョアヘヨ！！韓国語1 朝日出版社 9784255557021					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30900	S	韓国朝鮮語中級 (演習) (TLP)	李 英蘭	韓国朝鮮語	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語中級(演習) TLP					
授業の目標概要	本授業では、韓国朝鮮語の初級を学び終えた TLP 履修生を対象とし、中級レベルの語彙と表現の定着と応用をはかる。具体的には、中級表現の練習と同時に様々な文を読む、書く、聞く、話す練習を徹底的に行う。これを通じ、場面的に確かな表現を習得し、より高度な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目指す。					
成績評価方法	期末課題と平常点(出席、課題、発表、授業への参加度など)を総合的に評価する。 ※出席日数の3分の1以上を欠席した者や期末課題の未提出者は、成績評価の対象にならない。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。/Will specify at class time 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30017	S	韓国朝鮮語中級 (会話)	朴 天弘	韓国朝鮮語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語中級(会話) Korean Language (Intermediate)					
授業の目標概要	韓国朝鮮語初級から中級へつながる表現と語彙を学び、日常生活の会話ができるようにロールプレイを通して生きた会話の練習を目指す。したがって、積極的に授業参加するのが前提である。 授業は、できる限り、韓国朝鮮語で行う。 This course aims to acquire the necessary skills and knowledge needed to perform their conversation better. In this course, the students will learn					
成績評価方法	授業参加(平常点)、小テスト、期末試験を実施して総合的に評価する。評価配分は以下の通りとする。 ○授業への取り組み: 30% (ショートエッセイなど) ○小テスト: 30% ○期末試験: 40%					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook 酒勾康裕 /金重燮 ワイワイ話そう中級韓国語 朝日出版社 978-4-255-55706-9					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31088	S	韓国朝鮮語中級 (会話)	ジ ミンギョ ン	韓国朝鮮語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語中級(会話)					
授業の目標概要	様々な会話場面における語彙と文型を覚えていくことで、的確な表現・伝達ができるように練習する。また、韓国朝鮮語らしい表現法を身につけ、コミュニケーション能力の向上を目指す。					
成績評価方法	課題や授業参加などの平常点、小テスト、発表					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。/Will specify at class time 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30951	S	韓国朝鮮語中級 (作文)	鄭 宇鎮	韓国朝鮮語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語中級(作文) 韓国朝鮮語において日常生活に必要な文の読み書きが自由にできる程度の表現能力を身につけることを目指す。具体的には、中級レベルの語彙・表現を使い、短文の作文練習から徐々にパラグラフ作文まで発展していく。課題作文については教員による添削をみんなで共有し、よくある誤用や韓国朝鮮語の文の特徴についての理解を深める。					
成績評価方法	期末課題と平常点(出席、課題、発表、授業への参加度など)を総合的に評価する。 ※出席日数の3分の1以上を欠席した者や期末課題の未提出者は、成績評価の対象にならない。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。/Will specify at class time 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30335	S	韓国朝鮮語中級 (表現練習)	根本 理恵	韓国朝鮮語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語中級(表現練習) 言葉と文化の理解を中心に 韓国朝鮮語の初級教材を学び終えた学習者を対象とする。基礎知識を発展させることを目標に日常会話を取り入れながら語彙を増やす他、さまざまな文章に触れる機会を設けて変則活用や慣用句など、文法事項のまとめも行う。会話練習と読解練習はもちろんのこと、映画等の視聴覚教材を活用してヒアリングにも力を入れ、「聞く」「話す」「読む」「書く」力をバランスよく伸ばしたい。					
成績評価方法	平常点、課題の提出および期末テスト。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 生越直樹 韓国朝鮮語テキスト ことばの架け橋 中級表現編 白帝社 978-4-89174-962-0					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30768	S	韓国朝鮮語中級 (読解)	加藤 裕人	韓国朝鮮語	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	現代韓国語の文章の講読 やや長さのある韓国朝鮮語の文章を講読する。主に中級程度のテキストおよびインターネット上の時事的なニュース記事を扱っていく。これらの文章の読解を通じて、韓国語の文章を理解するために必要とされる中級程度の語彙や文法事項、表現等を習得するとともに、韓国語を自然な日本語に翻訳する技術を身に付ける。また、多様な文章の理解を通じて現代の韓国・朝鮮社会に対する理解を深める。					
成績評価方法	各課題文の翻訳文の提出、追加課題(補填措置)					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30299	S	韓国朝鮮語中級 (インテンシヴ) (TLP)	朴 天弘	韓国朝鮮語	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 韓国朝鮮語 中級インテンシヴ一列 韓国朝鮮語を集中的に学習したい人を対象に、「聞く」「話す」「読む」「書く」全領域における韓国朝鮮語能力の向上を目指す。初級で学んだ韓国朝鮮語の基礎内容を応用・表現する力をつけ、中級の文型や語彙を増やしていく。聞き取りや会話はもちろん、中級レベルの文章を読み、自分の考えを韓国朝鮮語でまとめられるように練習する。					
成績評価方法	授業参加（平常点）、小テスト、期末試験を実施して総合的に評価する。評価配分は以下の通りとする。 ○授業への取り組み：40%（宿題、課題、ミニエッセイなど） ○小テスト：20% ○期末試験：40%					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 서울대학교 언어교육원 사랑해요 한국어 4 / I Love Korean 4 서울대학교출판문화원화원 9788952128805					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31062	S	韓国朝鮮語中級 (インテンシヴ) (TLP)	朴 天弘	韓国朝鮮語	金 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 韓国朝鮮語 中級インテンシヴ二列 韓国朝鮮語を集中的に学習したい人を対象に、「聞く」「話す」「読む」「書く」全領域における韓国朝鮮語能力の向上を目指す。初級で学んだ韓国朝鮮語の基礎内容を応用・表現する力をつけ、中級の文型や語彙を増やしていく。聞き取りや会話はもちろん、中級レベルの文章を読み、自分の考えを韓国朝鮮語でまとめられるように練習する。					
成績評価方法	授業参加（平常点）、小テスト、期末試験を実施して総合的に評価する。評価配分は以下の通りとする。 ○授業への取り組み：40%（宿題、課題、ミニエッセイなど） ○小テスト：20% ○期末試験：40%					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 서울대학교 언어교육원 사랑해요 한국어 4 / I Love Korean 4 서울대학교출판문화원화원 9788952128805					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30990	S	韓国朝鮮語上級 (作文)	李 英蘭	韓国朝鮮語	木 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語上級（作文） 韓国朝鮮語においてより高度で専門的な文の読み書きができるよう、読解力と表現力の向上を目指す。具体的には、上級レベルの語彙や表現を使い、論理的な文の作成に取り組む他、日本語と韓国朝鮮語の文の違いを意識しつつ高度で自然な韓国朝鮮語の表現を身につけていく。授業は、主に「韓国朝鮮語」で行う。					
成績評価方法	期末課題と平常点（出席、課題、発表、授業への参加度など）を総合的に評価する。 ※出席日数の3分の1以上を欠席した者や期末課題の未提出者は、成績評価の対象にならない。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目L イタリア語

イタリア語初級(演習)①		開講区分	S
授業の目標・概要	会話、作文など、イタリア語の表現の練習を中心に行い、より実践的なコミュニケーション能力の習得と文法知識の定着をめざします。		
成績評価方法	平常点と定期試験（最終授業時）。		
教科書	授業中に指示をする。/Will specify at class time		
	書名		
	著者（訳者）		
	出版社		
	ISBN		
関連ホームページ	http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30062	月 2	DANIELI Daniela	1年 文三(6)
31136	金 3	マルコ ビオンディ	1年 文一二(6)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31089	S	イタリア語初級 (演習)	DANIELI Daniela	フランス語 ・イタリア語	金 2	1年 理科
講義題目 授業の目標概要	イタリア語初級演習(理科学むけ演習) 習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることをネイティブのイタリア語教員といっしょに目指します。生きたイタリア語の教材等を使って、理解力を高めながら、話したり書いたりする応用力を高め、コミュニケーション能力をみがきましょう。理科学むけの演習です。					
成績評価方法	学期末筆記試験(最終授業時)と平常点だけではなく、毎回の授業に積極的に参加しているか、総合的に評価します。 出席/欠席について 1)最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2)期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。 3)病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30769	S	イタリア語初級 (会話)	USICCO Francesca	フランス語 ・イタリア語	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	チャオとひとこと、イタリア語を始めよう ネイティブスピーカーの教員とともに、イタリア語の初歩を身につけながら、基本的なコミュニケーションと、自然な会話を学びます。文法事項の学習と会話練習を行います。文法に関する学びと練習に加え、生きた言葉として実際に使う演習が不可欠です。これにより基本的なイタリア語会話のやり取りを正確にできるようになります。					
成績評価方法	最終授業時の試験のみならず、平常点(授業への参加と積極性、宿題)を考慮して判定します。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30788	S	イタリア語初級 (会話)	USICCO Francesca	フランス語 ・イタリア語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	チャオとひとこと、イタリア語を始めよう ネイティブスピーカーの教員とともに、イタリア語の初歩を身につけながら、基本的なコミュニケーションと、自然な会話を学びます。文法事項の学習と会話練習を行います。文法に関する学びと練習に加え、生きた言葉として実際に使う演習が不可欠です。これにより基本的なイタリア語会話のやり取りを正確にできるようになります。					
成績評価方法	最終授業時の試験のみならず、平常点(授業への参加と積極性、宿題)を考慮して判定します。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31013	S	イタリア語初級 (会話)	DANIELI Daniela	フランス語 ・イタリア語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	イタリア語初級(会話) / Italian Language (Introductory)					
授業の目標概要	すでに習ったイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティブスピーカーの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。					
成績評価方法	学生の評価は、学期末(最後の授業)の筆記試験だけでなく、各授業への積極的な参加状況(筆記および口頭)、出席率(少なくとも3/4)も考慮されます。 出席/欠席について 1)最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2)期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。 3)病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。 / Will distribute handouts 特に行わない。 / Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30991	S	イタリア語初級 (作文)	大崎 さやの	フランス語 ・イタリア語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	イタリア語初級(作文)					
授業の目標概要	イタリア語の初級文法を学びながら、作文の練習をします。					
成績評価方法	平常点(出席、受講態度、課題提出)、および期末試験により評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。 / Will use the following textbook ディ・ルッソ、長神、西本 イタリア語練習問題集 白水社					
ガイダンス	第一回授業日に行う。 / Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30336	S	イタリア語初級 (インテンシヴ)	DANIELI Daniela	フランス語 ・イタリア語	火 2	1年 文科 理科
講義題目	イタリア語初級(インテンシヴ) / Italian Language (Introductory)					
授業の目標概要	すでに習ったイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティブスピーカーの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。					
成績評価方法	学生の評価は、学期末(最後の授業)の筆記試験だけでなく、各授業への積極的な参加状況(筆記および口頭)、出席率(少なくとも3/4)も考慮されます。 出席/欠席について 1)最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2)期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。 3)病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 / Will not use textbook 特に行わない。 / Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31090	S	イタリア語初級 (インテンシヴ)	野里 紳一郎	フランス語 ・イタリア語	金 2	1年 文科 理科
講義題目	イタリア語初級 - インテンシヴコース					
授業の目標概要	イタリア語における基礎文法の十分な理解と練習の実践					
成績評価方法	最終週に実施予定の「筆記試験」によるが、状況によっては平常点や課題レポートを加味する					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook マリーサ・ディ・ルッソ 長神悟 西本晃二 「イタリア語練習問題集」 白水社 4-560-00739-xc3087					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30094	S	イタリア語初級 (第三外国語)	野里 紳一郎	フランス語 ・イタリア語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	イタリア語初級 (第三外国語) I					
授業の目標概要	イタリア語の基本文法の理解。					
成績評価方法	学期末試験 (最終授業時)。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 東京大学イタリア語教材編集委員会 イタリア語のスタート 白水社 978-4-560-01763-0					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30789	S	イタリア語初級 (第三外国語)	野里 紳一郎	フランス語 ・イタリア語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	イタリア語初級 (第三外国語) I					
授業の目標概要	イタリア語の基本文法の理解。					
成績評価方法	学期末試験 (最終授業時)。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 東京大学イタリア語教材編集委員会 イタリア語のスタート 白水社 978-4-560-01763-0					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31238	S	イタリア語初級（第三 外国語）	大澤 麻里子	フランス語 ・イタリア語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	初級イタリア語 イタリア語共通教科書（東京大学イタリア語教材編集委員会編『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート』）を用いてイタリア語の基礎文法を学びます。第1課から第4課で学ぶ初歩的な文法事項（名詞、冠詞、形容詞、前置詞、動詞・補助動詞の直接法現在）について既習の方を対象にしています。独学でイタリア語を学ばれた方は初回の授業時に教員にご相談下さい。					
成績評価方法	今学期は教科書の第5課からスタートし、初級～中級レベルの文法の習得を目指します。また文法知識のインプットのみではなく、その知識を活用してアウトプット ・平常点：（授業での積極的な発言、授業後のフィードバックの提出、宿題・課題の提出） ・小テスト（各单元ごとに復習小テストを実施） ・プレゼンテーション（イタリア語でのプレゼンテーション） ・期末テスト					
教科書	で総合的に判断します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学イタリア語教材編集委員会編 Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 白水社					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30095	S	イタリア語中級 （会話）	マルコ ビオ ンディ	フランス語 ・イタリア語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Lingua italiana, livello intermedio 習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることがを旨します。生きたイタリア語の材料を使いながら、ことばとして理解する力を高めながら、話したり書いたりする能力や意欲を高めることが目標です。					
成績評価方法	学期末筆記試験（最終授業時）と平常点だけではなく、毎回の授業に積極的に参加しているか、総合的に評価します。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30992	S	イタリア語中級 （会話）	DANIELI Daniela	フランス語 ・イタリア語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	イタリア語中級表現練習（Lingua italiana, espressioni di livello intermedio） すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティブスピーカーの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。					
成績評価方法	成績評価の方法について 1)全授業回数のうち、2/3以上の出席が必須です。 【共通イタリア語／イタリア語中級（表現練習）】教師より出された課題/アクティビティを行い学期末に筆記または口述試験を受験する必要があります。 2)授業中の課題/アクティビティへの個人およびグループでの参加態度は評価の対象になります。 3)科目への興味や習得したいという熱意は評価の対象になります。 出席/欠席について 1)最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2)期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りてプリントを配布する。／Will distribute handouts					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30667	S	イタリア語中級 (表現練習)	マルコ ビオン ディ	フランス語 ・イタリア語	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	イタリア語中級表現練習 (Lingua italiana, espressioni di livello medio) すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティブスピーカーの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、ビデオ教材なども交えて、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。通年で開講していますが、セメスターごとに独立して受講することが履修上も内容としても可能です。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点と最終授業時の試験。それぞれの開講時の能力・経験を考慮し、受講を通しての達成度を評価します。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31014	S	イタリア語中級 (表現練習)	Diego Martina	フランス語 ・イタリア語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	イタリア語中級 (表現練習) 本講義では、イタリア語でのライティング、リーディング、リスニング、スピーキングという4技能をみかくことを主目的とします。ネイティブスピーカーの講師とともに、会話や作文の練習をしながら、言語能力を高めることを目指します。受講者の希望に応えながら、イタリアの漫画をはじめ、様々な教材を使用してイタリア文化をテーマにした授業を進めます。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	授業への取り組み、期末試験 (最終授業時) の結果をもとに総合的に評価します。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30735	S	イタリア語中級 (読解)	岡本 太郎	フランス語 ・イタリア語	水 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ダイアログを通してイタリア語の表現を探る イタリア映画の実際の映像とスクリプトなど、生のイタリア語を教材に、現代イタリア語のさまざまな表現について学習し、その文化的背景を考察します。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点と学期末のレポートで評価します。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30952	S	イタリア語中級 (インテンシヴ)	大崎 さやの	フランス語 ・イタリア語	木 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	イタリア演劇からイタリア語に親しむ イタリアの演劇作品を読むことを通し、読解力、文章力、会話力を身につける。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点とレポート その他。/Other 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31091	S	イタリア語中級 (インテンシヴ)	マルコ ビオ ンディ	フランス語 ・イタリア語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	イタリア語中級 (インテンシヴ) / Italian Language (Intermediate) 初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるための中級コース。読解・文法練習・作文を中心に運用能力をたかめる授業1コマと、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による授業1コマのあわせて2コマの両方を履修する。1年間の初修イタリア語学習の基礎の上に、イタリア語の総合的な能力を定着させ、さまざまな専門分野で運用するための能力を養成する。					
成績評価方法	成績評価の方法について 1)全授業回数のうち、2/3以上の出席が必須です。 2)【イタリア語中級 (インテンシヴ)】授業中に行われる2回の小テストと期末試験を受けることが必須です。小テストの欠席者は次の授業で実施しますので必ず願ひ出てください。 3)授業中の課題/アクティビティへの個人およびグループでの参加態度は評価の対象になります。 4)科目への興味や習得したいという熱意は評価の対象になります。 出席/欠席について 1)最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2)期末試験に欠席し					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30790	S	イタリア語上級 (会話)	マルコ ビオ ンディ	フランス語 ・イタリア語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法	Facciamo un passo avanti! Questo corso è rivolto sia per chi desidera esercitarsi nell'ascolto e nella conversazione per il livello avanzato (B1).. Per la valutazione si terrà conto delle presenze (di almeno 3/4), della partecipazione, dell'interesse per la materia, del risultato di un minitest a metà corso e di un test scritto finale.					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。/Will distribute handouts Nuovo Espresso 3 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30770	S	イタリア語上級 (作文)	マルコ ビオ ンディ	フランス語 ・イタリア語	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	イタリア語上級作文 (Lingua italiana- composizione di livello avanzato) L'obiettivo del corso è imparare come scrivere un testo accademico. Redarre un testo accademico non è una cosa facile, non lo è neanche nella propria lingua. Scriverlo in un'altra lingua porta la sfida a un nuovo livello. La scrittura accademica è piena d					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	Compiti durante il semestre e il test alla conclusione del corso 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

総合科目L その他外国語

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31301	S	アラビア語初級 (第三外国語)	竹村 和朗	アジア・日本研究 コース	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	アラビア語初級文法 アラビア語の基礎的な文法を解説します。1年間の学習を終えた時に、辞書を引きながらアラビア語の簡単な文章を読めるようになっていくことが目標となります。毎回、教科書の練習問題を課題として出しますので、復習は必須です。 諺に曰く、「道を長くする者は、歩みを倍にする (من استطال الطريق ضعف مشيه)」。					
成績評価方法 教科書	各課の課題と学期末に行う試験で評価します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 黒柳恒男・飯森嘉助 『現代アラビア語入門』 大学書林 978-4-475-01838-8 1999年。ただし、2009年2月刊行の第6版以降(誤植等訂正済み)を推奨します。					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31300	S	アラビア語初級 (第三外国語)	濱田 聖子	古典語・地中海諸 言語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	アラビア語初級(第三外国語) アラビア語初学者を対象に、文字の書き方・発音から始め、初級文法を概観する。授業では、アラブ諸国の共通語である正則アラビア語(文語・書き言葉)を扱い、1年間で基礎文法を網羅し、辞書を用いて、現代標準アラビア語の文章が読解できるようになることを目指す。					
成績評価方法 教科書	毎回の課題提出と学期最後のテストで評価します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 黒柳恒男・飯森嘉助 現代アラビア語入門 大学書林 9784475018388					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31302	S	アラビア語中級 (第三外国語)	濱田 聖子	古典語・地中海諸 言語	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	アラビア語中級(第三外国語) 母音符号の付いた比較的簡単な読み物を講読します。原則として初級文法を一通り終えた方が対象ですが、なるべく文法や語彙を確認しながら進めます。自分で辞書を引ながら、文章の意味が取れるようになることを目標とします。					
成績評価方法 教科書	授業での発表などによる。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Hans Wehr A Dictionary of Modern Written Arabic Spoken Language Services Inc. 0-87950-003-4					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31303	S	アラビア語中級 (第三外国語)	荻谷 康太	古典語・地中海諸 言語	金 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	アラビア語中級 (第三外国語)					
授業の目標概要	母音符号のついた正則アラビア語の読み物を講読します。アラビア語・英語辞典を引きながらアラビア語の短い物語などを正確に読み取れるようになることが目標となります。なお、本授業は、初級文法を一通り終えた方を対象とします。					
成績評価方法	担当となった箇所の訳読などによります。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31304	S	ヒンディー語初級 (第三外国語)	足立 享祐	アジア・日本研究 コース	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ヒンディー語 (初級)					
授業の目標概要	インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 6 億人超を有する「共通・標準ヒンディー語」を学びます。 1. 文字・音声、2. 名詞・形容詞の体系 (性・数・格)、3. 動詞の体系 (時制・相・法) を中心に学びます。 (指定テキストでは Unit 9 までを目標とします。)					
成績評価方法	小テスト・試験を行い、その合計点で評価します。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook R. Snell and S. Weightman Complete Hindi Teach Yourself Books 9781444106831					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31305	S	ヒンディー語中級 (第三外国語)	足立 享祐	アジア・日本研究コ ース	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ヒンディー語 (中級)					
授業の目標概要	インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 6 億人超を有する「共通・標準ヒンディー語」を学びます。ヒンディー語 (初級) の知識に基づき、実際のヒンディー語文を読むことで、より深い知識の獲得を目指します。					
成績評価方法	初回の授業を除き、毎回の予習の出来を評価します。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31306	S	インドネシア語初級 (第三外国語)	高地 薫	アジア・日本研究 コース	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>インドネシア語入門 (Indonesian language for beginners)</p> <p>インドネシア語はローマ字表記で、発音も日本人にとって比較的容易で、文法の簡易な言語である。この授業では、インドネシア語未修者を対象に、インドネシア語の基本的な文法と語彙を身につけ、基本的な読み書きができるようになることを目的とする。</p> <p>期末試験 その他。/Other 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31307	S	インドネシア語中級 (第三外国語)	高地 薫	アジア・日本研究 コース	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>インドネシア語中級 (Indonesian language for Intermediate Students)</p> <p>この授業では、インドネシア語既習者を対象に、原文の精読をする。</p> <p>インドネシア語は文法が簡易であるため、長文を読むには西欧諸語とは違った技術が必要となる。そうした技術を身につけることを目標とする。</p> <p>講読するテキストは新聞や雑誌の記事、エッセイ、短編小説など、広い分野から取り上げ、様々なスタイルの文章を用いる。</p> <p>演習の内容により評価する。</p> <p>その他。/Other 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31308	S	ベトナム語初級 (第三外国語)	野平 宗弘	アジア・日本研究 コース	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>ベトナム語入門 I</p> <p>ベトナム語を学習するにあたって基礎となる発音、文字の読み方、書き方から始め、基礎文法、簡単な会話表現を学ぶ。</p> <p>ベトナム語の基礎文法、初歩的な会話表現を習得することを目標とする。</p> <p>出席と課題提出および定期試験</p> <p>次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 三上 直光 ニューエクスプレス ベトナム語 白水社 978-4560067888</p> <p>第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31309	S	ベトナム語中級 (第三外国語)	岩月 純一	アジア・日本研究 コース	金 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>ベトナム語文献講読</p> <p>ベトナム語文献の初歩的な読解力を身につけることを目標とする。</p> <p>授業における音読、訳読を見て、総合的に判断する。</p> <p>教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30792	S	広東語初級 (第三外国語)	吉川 雅之	中国語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	香港広東語の入門と初級 広東語は香港と澳門（マカオ）で第1言語である他、中国国内では広東省・広西壮族自治区・海南省の華南3地域を覆うリング・フランカ（広域共通語）として、そしてベトナムやマレーシア、シンガポールを始めとする東南アジア及び世界の華僑社会では現地語や英語に次ぐ有力言語として、広く使用されています。中国語系言語の中では標準中国語（普通話）に次ぐ影響力を誇り、使用人口は全世界で約8000万人と推定されます。また文学作品・漫画・映画・歌謡曲・新聞雑誌記事などが広東語で書かれることも多く、香港を発信地とした文化的影響力が日本					
成績評価方法	1. 期末試験と小テスト、平常点から算出します。 2. 平常点については、授業中の積極的な態度・学習姿勢を重視します。 3. 小テストは随時行います。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 吉川雅之 香港粵語 [基礎会話] 白帝社 978-4-86398-094-5					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31310	S	ヘブライ語初級 (第三外国語)	飯郷 友康	アジア・日本研究 コース	月 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ヘブライ語文法初歩 古代中世イスラエル思想、近現代ユダヤ文化を研究するためにも、中東情勢を分析するためにも、ヘブライ語の知識は欠かせない。この重要な、そして面白い言語の初歩を、なるべく実用的、実践的に習得したいと思う。ひとまずの目標は、自力で辞書を検索できるようになること——すなわち、文法の基礎を把握すること。そして、ある程度の複雑な長文を理解し得る読解力を身につけること。					
成績評価方法	期末にレポートの提出を課す。					
教科書	以下「履修上の注意」「学習上のアドバイス」を参照せよ。					
ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30300	S	ペルシア語初級 (第三外国語)	前田 君江	アジア・日本研究 コース	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ペルシア語の文字と文法を学ぶ 【授業の概要】 本授業では、イランの公用語であるペルシア語を学びます。 アフガニスタンのダリー語、タジキスタンのタジク語などもペルシア語の兄弟言語で、一定程度の意思の疎通が可能です。また、ペルシア語では、アラビア語の文字28文字に独自の文字4文字をプラスした、32文字を用いて筆記しています。 ペルシア語はインドヨーロッパ語族インド・イラン語派。英語と文法感覚が似ているところも多く、また、覚えるべき文法事項が比較的少ないため、学習しやすい言語のひとつです。たとえば、男性・女性・中性など文法上の「性」がない					
成績評価方法	初回文字テスト（20%）、最終試験：筆記試験による文法テスト（80%）					
教科書	その他。／Other ITC-LMSよりダウンロード					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31248	S	セルビア・クロアチア語初級（第三外国語）	山崎 信一	ロシア語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	セルビア・クロアチア語（初級）					
授業の目標概要	セルビア・クロアチア語の初等文法をマスターし、簡単な会話能力を身につけることを目標とする。					
成績評価方法	学期末の試験による。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中島由美・野町素己 ニューエクスプレスプラス セルビア語・クロアチア語 白水社 978-4560088135					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31221	S	セルビア・クロアチア語中級（第三外国語）	山崎 信一	ロシア語	金 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	セルビア・クロアチア語（中級）					
授業の目標概要	セルビア・クロアチア語の初等文法の学習を終えた者を対象に、読解力を身につけるための文章講読の授業を行う。また、聞き取りや作文などを交えて、総合的な語学力の育成を目指す。					
成績評価方法	平常点による					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31101	S	ポーランド語初級（第三外国語）	福島 千穂	ロシア語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ポーランド語初級					
授業の目標概要	ポーランド語の初級文法を学び、運用能力の土台をつくることが目標である。文字と発音からはじめ、文法の基礎と基本の語彙を学んでいく。ポーランド語の正書法、格変化や活用は複雑であり、これらを身に付けることが学習の要である。					
成績評価方法	平常の授業への取り組み姿勢＋学期末試験					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 石井哲士朗、三井レナータ、阿部優子 ニューエクスプレス+ ポーランド語 白水社 978-4-560-08849-4					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31311	S	タイ語初級（第三外国語）	浅見 靖仁	アジア・日本研究 コース	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	タイ語初級（第三外国語）					
授業の目標概要	半年間で、タイ語の基本的な文法とタイ文字を修得することを目指します。 辞書を使えばタイ語の新聞や雑誌を読むことができるレベルに到達することを目指す人は、Aセメスターも継続して履修することを勧めます。Sセメスターの履修だけでも、タイを旅行する際、簡単な会話をしたり、看板に書かれているタイ文字を読んだりできるようになります。					
成績評価方法	宿題 10%、中間試験 10%、期末試験 80%					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 水野潔 ニューエクスプレスプラス タイ語 白水社 9784560087992					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31019	S	ポルトガル語初級 (第三外国語)	牧野 真也	スペイン語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ポルトガル語の基礎 ポルトガル語を初めて学習する人を対象としており、A セメスターの授業と併せて通年でポルトガル語の基礎的な文法を学びます。					
成績評価方法	授業最終日の筆記試験で評価しますが、欠席 1/4 以上で受験資格を失いますので留意してください。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30995	S	ポルトガル語中級 (第三外国語)	牧野 真也	スペイン語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ポルトガル語の基礎 ポルトガル語の初歩的な知識を有する者を対象としており、読解力と聴解力を身に付けることを目指します。					
成績評価方法	出席点 5 割 + 平常点 5 割 (講読の割り当て部分の発表など) で 60 点以上を合格とします。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31102	S	台湾語初級 (第三外国語)	蔡 承維	中国語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	台湾語初級 A 「台湾語」は、17 世紀以来、福建南部の泉州、漳州、廈門などから台湾に渡ってきた人々がもたらした言語である。台湾では、2300 万の総人口の 75% を占める 1700 万人の母語と推定される。この言語は、現代中国では「閩南語」と称し、母語話者もおよそ 1700 万と言われている。歴史的に東南アジアや欧米では、この言語を「福建語」と称している。インドネシア、マレーシア、シンガポール、フィリピンでは福建語は華語の方言の中で最も話者が多く、インドネシア語、マレーシア語においても福建語由来の語彙が 500 以上あるとの研究もある。					
成績評価方法	① 平常点 (学習態度、発音、会話力、毎回のコメントシート) 40% ② 自己紹介文 30% ③ 期末テスト 30%					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 村上嘉英 ニュースエクスプレスプラス台湾語 白水社 9784560088395 『ニューエクスプレス台湾語』も可					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31312	S	モンゴル語初級 (第三外国語)	荒井 幸康	アジア・日本研究 コース	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	モンゴル語 本授業は、夏学期履修者を前提とした授業である。 夏学期に引き続き、初歩的な文法および語彙を習得し、辞書をききつつ、新聞が読める程度の語学力を身につけることを目標とする					
成績評価方法	会話では、適切な質問文をつくり、5 分程度の会話を成立させること また、モンゴル語の背景にある文化を織り込んだ話題を購読で織り込み、モンゴル文化への理解を深める 毎回小テストを行う予定であるので、その点数と 最終テストおよび、授業での発言で評価する					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31313	S	トルコ語初級 (第三外国語)	高松 洋一	アジア・日本研究 コース	火 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	現代トルコ語初級文法入門 1/Elementary Modern Turkish Grammar 1 現代トルコ語の初級文法を習得する。S セメスター、A セメスターの通年で完結するトルコ語文法学習の前半に相当し、一年後には新聞・雑誌等のトルコ語のテキストを辞典をひきながら読めるようになることをめざす。会話の練習などは行わず、文法体系を身に付けることが中心となる。トルコ語は文法規則が厳格かつ整然としているので、最初にきちんと文法を身につけないと、簡単な文さえ作れないからである。その代わりあるところまでたどり着けば、日本語に発想が似ているので文章読解は非常に楽になるだろう。トルコ語学習を通じて異文化に対する					
成績評価方法 教科書	学期末に筆記試験を行って成績を評価する。筆記試験は、教科書の練習問題に準じた文法問題を出題する予定。 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 東京外国語大学 トルコ語専攻 編 『トルコ語文法 初級・中級 [改訂版]』 東京外国語大学生協同組合出版部 978-4-903386-18-8					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31314	S	トルコ語中級 (第三外国語)	高松 洋一	アジア・日本研究 コース	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	トルコ語中級文献講読 文献講読を通じて、現代トルコ語の初級文法をいちおう習得した者を対象に、既習・未習の文法事項を整理しつつ、語彙を増やしてトルコ語テキスト読解のスキルを身につけることを目標とする。どのようなテキストに 出会っても辞典さえあれば自分で問題を解決できるようになることを目指したい。 あわせて講読する文献の内容を通じて、トルコの社会・文化・歴史などに関する知識を深めることも期待したい。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	学期末に試験は行わない。毎回指名してやってもらう訳読によって評価する。 プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30247	S 1	日本語中級	大久保 雅子	日本語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	滑らかに話すための日本語発音 伝わりやすく自然な発音でコミュニケーションができるようになることを目標とする。また、大学での口頭発表等に必要発音の習得を目指す。授業の概要は以下のとおりである。 (1) リズムやアクセントなどの音韻知識を学びながら、発音練習および活動を行う。 (2) シャドーイング等の練習方法を活用し、発音学習方法を身につける。 (3) 自己評価・他者評価によって自分の発音上の問題点を把握し、発音を上達させる。					
成績評価方法	出席 10% 復習クイズ 20% 録音課題 30% 口頭発表 20% 授業中の課題 10% 課題レポート 10%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40019	S 2	日本語中級	大久保 雅子	日本語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	滑らかに話すための日本語発音 伝わりやすく自然な発音でコミュニケーションができるようになることを目標とする。また、大学での口頭発表等に必要 な発音の習得を目指す。授業の概要は以下のとおりである。 (1) リズムやアクセントなどの音韻知識を学びながら、発音練習および活動を行う。 (2) シャドーイング等の練習方法を活用し、発音学習方法を身につける。 (3) 自己評価・他者評価によって自分の発音上の問題点を把握し、発音を上達させる。					
成績評価方法	出席 10% 復習クイズ 20% 録音課題 30% 口頭発表 20% 授業中の課題 10% 課題レポート 10%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30021	S 1	日本語上級	奈良 夕里枝	日本語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	アカデミック・ディスカッション：テーマで考え議論するリベラルアーツ [1] Academic Discussion and Active Learning in Liberal Arts for Arts and Sciences [1] 文理横断的なテーマに関して、読解・聴解、資料収集、調査、協働談話タスク、ディスカッション、プレゼンテーション、 等、リベラルアーツの能動的協働活動を行う。これら一連の協働活動の中で、とりわけアカデミック・ディスカッショ ンを通して、日本語の諸技能の習得・上達を目指しつつ、現象・問題や他者の意見を的確に理解する力、資料を分析し データや論拠に基づき考え述べる力、自分の意見を構築し伝える力、議論し合う力、ディスカッションの相互行為を円 滑かつ効果的に行う力、ディスカッション談話の相互行為を通して考察を深め明確化する力					
成績評価方法	授業への出席・参加・能動的学習活動・ディスカッションを重視する。出席・授業活動、グループ・ペアワークへの貢 献度、ディスカッションへの参与・貢献、予習、課題、クイズ・テスト(振り返り・学習定着を目的とする)等を総合的 に評価する。					
教科書 ガイダンス	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 宮内泰介 グループディスカッションで学ぶ社会学トレーニング 三省堂 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30301	S 1	日本語上級	奥川 育子	日本語	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	アカデミックな場面におけるプレゼンテーションとリスニング この授業は、日本語上級・超級学習者を対象に、さまざまなアカデミックな場面でプレゼンテーションをおこなうため の技能習得を目的とする。授業で学生は、客観的事実に基づき自身の考えを明晰に伝えるための方略を学び、教員は学 生の発表に対し建設的なフィードバックを行う。さらに、洞察的で示唆に富む質問・コメントや活発な議論ができるよ う、ディスカッションの仕方やリスニングの技能も磨く。					
成績評価方法	出席・クイズ・課題・発表・授業への積極的な参加度等を総合的に評価する。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30793	S 1	日本語上級	木村 政樹	日本語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える：その4					
授業の目標概要	授業の目標：日本の近代文学を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。 授業の概要：いくつかの日本の近代文学をじっくり読むことで、言葉の意味や表現の豊かさを学ぶ。その際、時代背景や当時の社会状況について知ることで、日本文化についての理解を深める。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する。					
成績評価方法	授業への参加度・レポートをもとに総合的に評価する。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31020	S 1	日本語上級	胡 芸群	日本語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	アカデミックライティングとプレゼンテーション1（基礎編）					
授業の目標概要	この授業では、外国人留学生在が大学での学びに必要とされる、日本語によるアカデミックライティングとプレゼンテーションの能力を習得することを目指します。「基礎編」では、「大学での学び」をテーマに取り上げ、レポート作成に必要な日本語の表現や構成を学んでいきます。また、発表する際に必要となる基礎的な知識も学び、練習を重ねていきます。さらに、他の学生との議論、意見交換を通し、多角的な視点で物事を捉える姿勢を身につけていきます。					
成績評価方法	授業への参加状況（出席・ミニ課題への提出等を含む） 授業でのプレゼンテーション（学生同士の相互評価） 最終レポート					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40001	S 2	日本語上級	奈良 夕里枝	日本語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	アカデミック・ディスカッション：テーマで考え議論するリベラルアーツ [2]					
授業の目標概要	Academic Discussion and Active Learning in Liberal Arts for Arts and Sciences [2] 文理横断的なテーマに関して、読解・聴解、資料収集、調査、協働談話タスク、ディスカッション、プレゼンテーション、等、リベラルアーツの能動的協働活動を行う。これら一連の協働活動の中で、とりわけアカデミック・ディスカッションを通して、日本語の諸技能の習得・上達を目指しつつ、現象・問題や他者の意見を的確に理解する力、資料を分析しデータや論拠に基づき考え述べる力、自分の意見を構築し伝える力、議論し合う力、ディスカッションの相互行為を円滑かつ効果的に行う力、ディスカッション談話の相互行為を通して考察を深め明確化する力					
成績評価方法	授業への出席・参加・能動的学習活動・ディスカッションを重視する。出席・授業活動、グループ・ペアワークへの貢献度、ディスカッションへの参与・貢献、予習、課題、クイズ・テスト(振り返り・学習定着を目的とする)等を総合的に評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 宮内泰介 グループディスカッションで学ぶ社会学トレーニング 三省堂					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40020	S 2	日本語上級	奥川 育子	日本語	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	アカデミックな場面におけるプレゼンテーションとリスニング この授業は、日本語上級・超級学習者を対象に、さまざまなアカデミックな場面でプレゼンテーションをおこなうための技能習得を目的とする。授業で学生は、客観的事実に基づき自身の考えを明晰に伝えるための方略を学び、教員は学生の発表に対し建設的なフィードバックを行う。さらに、洞察的で示唆に富む質問・コメントや活発な議論ができるよう、ディスカッションの仕方やリスニングの技能も磨く。					
成績評価方法	出席・クイズ・課題・発表・授業への積極的な参加度などを総合的に評価する。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40098	S 2	日本語上級	木村 政樹	日本語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える： その5 授業の目標：日本の近代文学を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。 授業の概要：いくつかの日本の近代文学をじっくり読むことで、言葉の意味や表現の豊かさを学ぶ。その際、時代背景や当時の社会状況について知ることで、日本文化についての理解を深める。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する。					
成績評価方法	授業への参加度・レポートをもとに総合的に評価する。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40111	S 2	日本語上級	胡 芸群	日本語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	アカデミックライティングとプレゼンテーション2（発展編） この授業では、外国人留学生在が大学での学びに必要とされる、日本語によるアカデミックライティングとプレゼンテーションの能力を習得することを目指します。「発展編」では、アカデミックスキルを身につけるとともに、自ら問いを立て、問題を検討し、調査したデータなどを提示しながら分析、考察し、結論へと導く論理的思考力を鍛えていきます。さらに、授業内でテーマに沿った発表を行い、他の学生との議論、意見交換を通し、多角的な視点で物事を捉える姿勢を身につけていきます。					
成績評価方法	授業への参加状況（出席・ミニ課題への提出等を含む） 授業でのプレゼンテーション（学生同士の相互評価） 最終レポート					
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30828	S	古典語初級 (ギリシア語) I	上野 慎也	古典語・地中海諸 言語	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	古典ギリシア語の手ほどき					
授業の目標概要	古典ギリシア語で綴られた平易な文章を読解するための力を培う。					
成績評価方法	平常点と期末試験による。平常点とは、授業時間中、教科書の問題演習をする際に、自己の予習結果を発表する事で積み上がる点の事を謂う。「出席点」なるものは存在しない。ただし、授業回数の2/3以上を対面受講しない者は単位取得資格を喪うことに留意されたい。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 水谷智洋 古典ギリシア語初歩 岩波書店 978-4000008297					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31249	S	古典語初級 (ギリシア語) I	松浦 高志	古典語・地中海諸 言語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	古典ギリシア語初級(前半) Elementary Greek (first half)					
授業の目標概要	I. 目標 初級文法を一年かけて学び、古典ギリシア語で書かれた文章を、辞書と文法書を使えば読めるようにする。 II. 概要 Sセメスターの授業の主な内容は次の三つである。 A. ギリシア語アルファベット 24文字を覚える。 B. 名詞の格変化を覚える。 C. 名詞の格の概念を覚え、それにもとづいて短めの簡単な文を訳す。 ギリシア語アルファベットの多くの文字はローマ字と似ているので、Aは一週間～二週間かけてしっかり勉強すれば誰でも覚えられる。Bは誰でもある程度は覚えることができるが、覚える量が多いの					
成績評価方法	I. 概要 学期末試験(60点) 小テスト(15点) 提出課題(5点) 練習問題の発表状況(20点) レポートはギリシア語アルファベットの読み書きに関するもの。第1回、第2回授業後に課すが、やむを得ず第1回、第2回の授業に参加することができなかった学生は提出課題を後で提出することができる。 II. 採点基準 おおむね次のようになるように採点を行う予定である。 50点: 形態をある程度理解しており、練習問題を解いてきている。 65点: 形態をだいたい理解しており、練習問題を解く際にそれを用いている。					
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30901	S	古典語中級 (ギリシア語) I	上野 慎也	古典語・地中海諸 言語	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	古典ギリシア語散文講読					
授業の目標概要	古典期(前五～四世紀)のアッティカ方言で綴られた散文を精読する。初級で習得した文法の運用能力を錬磨し、実際の読解に必要な作品の背景について基礎知識を蓄える。					
成績評価方法	平常点と期末試験による。平常点とは、授業時間中、教科書の問題演習をする際に、自己の予習結果を発表する事で積み上がる点の事を謂う。「出席点」なるものは存在しない。 ※遠隔授業になった場合にも、履修者の平常点が積み上がるよう工夫するので、安心して受講されたい。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30022	S	古典語初級 (ラテン語) I	井上 秀太郎	古典語・地中海諸 言語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		ラテン語初級 辞書を使って独力でラテン語の簡単な文章が読めるように、基本的な文法事項を身につける。 平常点と期末テストに基づいて評価する 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 中山恒夫 (著) 『標準ラテン文法』 白水社 ISBN978-4-560-01761-6 特に行わない。/Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30794	S	古典語初級 (ラテン語) II	筒井 賢治	古典語・地中海諸 言語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		ラテン語入門 ラテン語の基本的な文法を2セメスターで一通り学び、辞書や文法書を使って原典テキストを読めるようにする。このSセメスターはその後半にあたり、下記教科書の第12課から開始する。 期末テスト。 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 中山恒夫 標準ラテン文法 白水社 4560017611 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30097	S	古典語中級 (ラテン語) I	井上 秀太郎	古典語・地中海諸 言語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		ラテン語散文講読 初級の授業で学んだことの上に立ってラテン語の散文を読み進めていく。基本的な文法事項を確認しつつ、辞書を使って独力でラテン語を読解する能力を身に付けることを目標とする。授業ではアウルス・ゲッリウスの『アッティカ夜話』を第1巻途中から読み進めていく。当作品はローマ帝政期の著述家ゲッリウスが、冬の夜を楽しく過ごせるようにとの意図で蒐集した逸話、随想集である。読み切り形式の興味深い話が多数収録されており、履修生も楽しく読み進めていくことが出来るであろう。 平常点に基づいて評価する。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30302	S	古典語初級 (サンスクリット語) I	梶原 三 恵子	文学部	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>サンスクリット初級文法 (I) 古典サンスクリット語の初級文法を習得し、平易なサンスクリット文を読解する運用力を養成することをめざす。Sセメスターは、文法の前半部(音論、名詞・形容詞の変化)を扱う。授業は文法の解説と練習問題による演習を組み合わせる。</p>					
成績評価方法	<p>サンスクリット語は古代・中世インドで宗教聖典および各分野の学術書に用いられた古典語である。仏教などを通してアジアの諸地域の文化にも少なからぬ影響を与えた。また、印欧比較言語学分野においては、ギリシア語・ラテン語とならぶ重要な位置を占める。サンスクリットを学ぶことは、古典教養の基礎を身</p> <p>毎週、授業内容を踏まえた何らかの課題を課す。練習問題や提出物を含む課題の遂行状況、出席状況、学期中に複数回行う小テストの点数、以上の総合により評価する。原則として全授業回数のうち三分の二以上の出席を要する(出席回数は各自で管理すること。回数についての個別の問い合わせには応じない)。 期末定期試験は行わない。</p>					
教科書	<p>次の教科書を使用する。/Will use the following textbook J.ゴнда サンスクリット語初等文法 春秋社 必携(最初の2回はまだ手元になくとも可)</p>					
ガイダンス	<p>特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30352	S	古典日本語	沖本 幸子	国文・漢文学	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>遊びをせんとや『梁塵秘抄』に見る古典日本語の世界 今様は院政期の流行歌です。紫式部の時代には庶民の間で流行、その後、白河院の時代頃から、宮廷の宴会芸として愛好され、とりわけ後白河院が今様に熱を上げ、その歌詞集と芸論書『梁塵秘抄』『梁塵秘抄口伝集』にまとめあげました。「舞へ舞へかたつむり」と蝸牛と戯れる様子の歌もあれば、「我が子は二十歳になりぬらん」とふらふら渡世する我が子を心配する歌、「恋しとよ君恋しとよ愛しとよ」とあまりにも率直につのる思いを歌い上げる歌などなど、和歌とは違う、庶民の日常の暮らしが透けて見える生き生きとした表現が真骨頂。明治時代には、唱</p>					
成績評価方法	<p>期末テスト、および、小レポート(予定。人数により変更もありうる)</p>					
教科書	<p>プリントを配布する。/Will distribute handouts</p>					
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>					

総合科目A 思想・芸術

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31103	S	言語構造論	大関 洋平	言語情報科学専攻	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	AIから学ぶ言語学入門 機械翻訳や ChatGPT など言葉を使う AI は自然言語処理と呼ばれ、急速に発展している。本授業は、AI が人間の言葉を理解するためには何が出来ていなければいけないか、という切り口から学ぶ新しい言語学入門である。具体的には、音声、形態、統語、意味、神経のトピックを対象として、人間の言葉（言語学）と AI の言葉（自然言語処理）の観点から概観する。					
成績評価方法 教科書	掲示板コメントおよび期末レポートを踏まえて、総合的に判断する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 大関洋平 『AIから学ぶ言語学入門』（執筆中） ひつじ書房					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30248	S	言語応用論	林 克彦	言語情報科学専攻	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	自然言語処理入門 テキストデータの統計的な処理・モデリングに関する基礎を学ぶ。特に、テキスト基本統計量、テキスト分類・クラスターリング、系列ラベリングに関する基礎を理解する。 後半は暗号文書解読などの題材を例として演習も行い、理解を深める。					
成績評価方法 教科書	成績評価については、作業と期末レポートの結果から習熟度を測る。 プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31460	S	外国文学	王寺 賢太	文学部	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	フランス文学のエチュード この授業は、文学部フランス語フランス文学研究室の教員がそれぞれ専門とする時代・作家・作品を取り上げて講義し、フランス文学の諸相を紹介し、前期教養課程の学生に人文学研究の手法と意義を分かりやすく提示することを目的としています。 フランス文学は時代順にあって人文主義、古典主義、啓蒙主義、ロマン主義、自然主義、シュルレアリスム、実存主義という文芸思潮をたどり、しかもそのすべてにおいて時代の先端をゆく作品を産み出してきました。一国文学でありながらヨーロッパ世界の精神史の流れを先取り、ないしリードしたとってよく、これをたどることによって、副産物として、世界文学への展望を容易に把握することもできます。現況はより複雑な様相を呈していて、哲学、社会学、人類学などの他の領域とこれまで以上に深く関わる形で文学が営まれています。まず基本を学ぶことで現在の状況への認識をさらに深めることが期待できます。					
成績評価方法 教科書	授業では、それぞれの文芸思潮のなかから、いくつかの代表的な作品を選び、翻訳の抜粋を読解することによって、その作品の魅力を説き明かす形で進められます。時代順にはこだわらず、担当教師がもっともおもしろいと思う作品を取りあげることになります。授業を手がかりに、気になる本があったらぜひその翻訳全体を読み通すことを希望します。文学の魅力と可能性を再発見する機会となることを目指します。					
ガイダンス	学期末に提出してもらう 4000 字程度のレポートに基づいて採点します。(詳細は授業期間中に指示します)。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31459	S	外国文学	阿部 公彦	文学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ジョナサン・スウィフトの『ガリヴァー旅行記』を読む</p> <p>授業の目標概要 18世紀英国文学の古典、ジョナサン・スウィフトによる『ガリヴァー旅行記』を原文で読む授業です。時代背景などを確認しながらも、読み物としてのおもしろさや英語の書き方の特徴を確認することを主眼とします。幼少期に絵本でしか読んだことがないという人は、英語の流麗さや明晰さにうるさかった著者がどのような文章を書いていたか読んでみてください。</p> <p>成績評価方法 出席点、平常点（発表など）、最終テスト</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Swift, Jonathan/ Rawson, Claude (EDT)/ Higgins, Ian (EDT) Gulliver's Travels Oxford University Press 9780199536849</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31461	S	外国文学	土肥 秀行	文学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 日本におけるイタリア文学史を時代ごと、トピックで追う</p> <p>授業の目標概要 日本においてイタリア文学（史）がいかに受けとめられてきたか、その受容史を通して、イタリア文学史とイタリア学自体の課題について考える。と同時にイタリア文学史についても理解を深める。授業においては、イタリア人文学の流入によって日本にどのようなイメージが形成されたか、どのように日本の人文学・社会に影響したか、日本の開国から今までの約150年の歴史について講じる。教科書として挙げる土肥・デサンティス編『イタリアの文化と日本—日本におけるイタリア学の歴史』（松籟社、2023）に沿って授業を進める。入手の上、講義で扱われる章を予め読む、そして復習としてまた読むよう求められる。</p> <p>成績評価方法 平常点および、課題への取組具合をみて総合的に判断する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 土肥秀行、ジョヴァンニ・デサンティス編 『イタリアの文化と日本—日本におけるイタリア学の歴史』 松籟社 9784879844361 2023</p> <p>ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31462	S	言語文化論	小林 正人	文学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 言語の多様性から考える言語学</p> <p>授業の目標概要 世界には6000から7000ほどの言語が存在すると言われるが、その構造は言語ごとに異なり、多様である。たとえば、「花子さんが（S）みかんを（O）食べた（V）」という内容を伝えるために、日本語のようにSOV語順をとる言語もあれば、英語のようにSVO語順をとる言語も存在する。さらにはVSO、VOS、OSV、OVSといった語順も存在し、多様である。しかし、完全に不規則というわけでもない。実はSOV言語とSVO言語だけで世界の言語の80%以上を占めており、人間の言語に「SがVに先行する」「VとOが隣接する」という傾向があることが分かっている。このような言語の特徴は、世界の言語を幅広く観察することによって初めて知ることができる。このような言語の多様性の問題は、言語を科学的に探求する学問である言語学 linguistics の研究課題のひとつであるが、この授業では、この言語の多様性に注目しながら、言語学という学問体系の導入をおこなう。世界のさまざまな言語の例をとりあげ、世界の言語の驚くべき多様性について学びながら、言語学とはどういう問題に取り組んでいるのかを議論する。</p> <p>成績評価方法 リアルタイムレポートならびに授業参加によって総合的に判断する。リアルタイムレポートは6月1日、7月14日に実施予定である。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31804	S	テキスト文化論	田尻 芳樹	言語情報科学専攻	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 授業の目標概要</p> <p>芸術と芸術家に関する小説を読む 「芸術」、「芸術家」という言葉はもはや死語に近いのかもしれませんが、現代にも芸術という現象は生きていますし、芸術家に類する存在もいます。芸術とはそもそも社会や人生にとって何を意味するのでしょうか？たとえば、芸術とは人生の苦難に打ち勝つ力を与えてくれるものであるというような考え方（ベートーヴェンが好例）は、今でも妥当するのでしょうか？芸術家は常識に反した奇人でしょうか？「技術」とは別の「芸術」という考え方はどのように誕生し、現代まで受け継がれているのでしょうか？この授業ではそのような問題を西洋と日本のさまざまな小説を読むことで考察していきます。</p> <p>成績評価方法 教科書 ガイダンス</p> <p>平常の参加度と期末レポート。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31104	S	記号論理学 I (文科生)	藤川 直也	哲学・科学史	金 2	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 授業の目標概要</p> <p>記号論理学の基本を学ぶ。 古典命題論理、いくつかの多値命題論理、様相命題論理、古典一階述語論理について、その統語論、意味論、タブローを習得する。上記の論理のそれぞれについて、モデルを用いた妥当性の証明、反例モデルの構成、タブローによる証明ができるようになることを目標とする。</p> <p>成績評価方法 教科書 ガイダンス</p> <p>学期末テストで評価する プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30249	S	記号論理学 I (理科学)	伊藤 遼	哲学・科学史	月 5	1年 理科 2年 理科
<p>講義題目 授業の目標概要</p> <p>古典命題論理、古典一階述語論理の統語論と意味論をさまざまな定理を実際に証明することを通じて学ぶ。 これらの事柄に関する基本的な概念や証明方法に習熟することを目標とする。</p> <p>成績評価方法</p> <p>学期末に実施する試験による。 (授業の実施状況によっては、学期末レポートや各回の練習問題への取り組みによる評価を行うことがある。)</p> <p>教科書 ガイダンス</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31250	S	記号論理学 I (理科学)	齋藤 浩文	哲学・科学史	金 5	1年 理科 2年 理科
<p>講義題目 授業の目標概要</p> <p>現代形式論理学入門 現代形式論理学の基礎としての命題論理・述語論理について、自然演繹の体系を通して学び、証明の方法に習熟するとともに、意味論の意義についても理解することを目指す。時間が許せば、若干の進んだ話題にも触れる。</p> <p>成績評価方法</p> <p>基本的に学期末の試験によって評価するが、試験実施が困難な場合は最終レポートによる評価に切り替えるとともに、授業時に提示する課題への回答状況を考慮する。</p> <p>教科書 ガイダンス</p> <p>プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30795	S	表象文化論	一條 麻美子	表象文化論コース	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イメージの「ヨーロッパ中世」 中世という時代を、その後のヨーロッパはどのように評価し、受容したのか。中世に創作された英雄叙事詩を軸に、それらの文化、芸術、政治世界での取り扱いを時代ごとに追いながら、ヨーロッパ中世がその実態以上にイメージとして、その後の歴史に影響を与えていく様を概観し、中世が繰り返しリバイバルする理由を考察する。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		学期末レポート 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31463	S	美術論	増記 隆介	文学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		美術史学入門 美術史学の入門として、日本美術史、東洋美術史、西洋美術史の各分野から、計6名の教員がオムニバス形式で講義を行う。芸術家や美術作品の調査、様式や図像、文字資料を使った検討、鑑定や作品の評価、美術館・博物館における美術展示の実際など、美術史学にかかわる様々な研究方法を概説するとともに、日本・東洋・西洋の古代から現代にいたる主要な研究トピックや国内外での研究動向を紹介する。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		毎回の授業で行う小課題、および期末のレポートによる。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31105	S	美術論	松井 裕美	表象文化論コース	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		西洋近現代アート入門 本授業では、西洋を中心とする近現代アートで核となる問いをそれぞれの講義の中でテーマティックに扱っていく中で、芸術がいかに近現代の消費社会と関わってきたのかについて理解を深めることを目的とします。近現代アートは、それ以前の芸術との断絶という切り口から理解される傾向にありますが、実のところ、個々の作品にはそれぞれに異なる歴史的背景や同時代背景があり、単一の「歴史」や「意図」で語ることが困難な側面があります。西洋近現代美術の基本的な流れを学びつつも、一つ一つの芸術作品や美術批評を読み解くことを手がかりとしながら、解釈のさまざまな手法を学ぶことが、この授業の目標です。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		期末レポート（70%）と平常点（30%） 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook デイヴィッド・コッティントン 現代アート入門 名古屋大学出版会 978-4-8158-1009-2 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31452	S	性の政治 I	羽生 有希	教養教育高度化機構	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>クィア理論 この講義では、フェミニスト／クィア・スタディーズにおける基本的な概念やトピック、議論を概観する。この際、とりわけインターセクショナルな分析の重要性に焦点をあてる。 そうすることで、ジェンダーやセクシュアリティが私たちの生活にいかに関与しているかを理解し、フェミニスト／クィア・スタディーズの視座から文化的事象を分析できるようにする。 具体的な到達目標は以下の通り。 ・フェミニスト／クィア・スタディーズにおける基本的な概念やトピックを理解し、現代文化を批判的に分析する ・社会規範に対する批判的な姿勢を身に付ける ・広義の社会正義にコミットするための土台を作る ・多様性の重要性を意識しつつ、また、その理念が現実化されていない現況を批判的に考察しつつ、その名のもとで見えなくされる特定の存在や身体について考える</p>					
成績評価方法	<p>【評価割合】 授業への積極的参与: 20% コメント: 20% ジャーナル: 20% ターム・ペーパー（学期末論文）: 40% 【成績評価についての注意】 ・連絡なく全授業回の3分の1以上欠席した場合、単位を与えない。 ・講師の警告を無視して、議論やコメントにおいて意図的に差別発言を繰り返した場合、単位を与えない（「授業の目標、概要」を参照されたい）。 ・ターム・ペーパーに極めて悪質な剽窃があった場合は、ターム・ペーパーの点数だけでなく、単位自体も与えない（「授業の目標、概要」を参照されたい）。</p>					
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30353	S	比較文化論	佐藤 光	比較文学比較文化 コース	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>比較文学比較文化研究入門／Introduction to Studies of Comparative Literature and Culture 比較文学比較文化とは、各国文学（英文学、日本文学など）の間の影響関係や対応関係を考察し、文化研究へ広げていく学問です。この授業では比較文学比較文化の研究事例を（1）英文学と出会った日本、（2）日本と出会った英文学、（3）アダプテーションの事例としてロンドンのミュージカル研究、という三つの観点から紹介します。歴史と文学と文化をあわせて考える実証研究の事例集です。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>学期末レポート 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30551	S	比較文化論	前島 志保	比較文学比較文化 コース	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>近代日本における出版・読書文化の大衆化 近代日本における出版・読書文化の大衆化の諸相を、定期刊行物（特に雑誌）の展開に焦点を当て、比較出版史的な観点から概観する。定期刊行物に書かれた（描かれた）言説・表象を分析する前に、まず、「言説・表象を盛る器」（メディア）としての定期刊行物自体に注目し、他メディアとの関連にも目配りしつつ、その文章表現・視覚表現の変容が、記事表象と読者、読者・編集部・専門寄稿家の関係性をどのように変えたのか考えていく。様々な研究の資料として扱われることが多い新聞・雑誌を、文化的産物としてとらえなおすことを目指す。</p>					
成績評価方法	<p>授業参加度、コメントシート、学期末レポートによって、総合的に判断する。コメントシート、学期末レポートは英語で書いても構わない。 （The final grade for the course will be determined by evaluation in the following areas: class attendance and participation; weekly reaction papers; final paper. While the lecture will be de</p>					
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31837	S	比較思想	八尾 史	文学部	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 授業の目標概要</p> <p>初期仏教の聖典とその思想 仏教がインドで誕生してから数世紀を経て、今日一般に初期経典あるいは原始経典とよばれる聖典群が成立してきた。これらの経典の言葉ははるかな時空間を超えて読者に訴えかける力をもつ一方で、当然ながら古代インド特有の思想的、社会的文脈を背負っている。この授業では、インドの宗教である婆羅門教やジャイナ教との比較を通して、初期経典の思想を解説する。さまざまな原典を邦訳を通して紹介するとともに、仏教要語をパーリ語やサンスクリット語といった古代インド言語に即して解説したいと考えている。古代の思想について自ら考え理解する力を養うことがこの授業の目標である。</p> <p>成績評価方法 教科書 ガイダンス</p> <p>毎回のリアクションペーパーと期末レポートにより評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31464	S	比較思想	渡辺 優	文学部	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 授業の目標概要</p> <p>神秘主義再考——もうひとつの知の系譜学 「神秘主義 (mysticism, mystique, Mystik)」は、19世紀半ば以降、「宗教の本質」にアプローチするうえでの特権的な主題とみなされ、洋の東西を問わず数多の思想家、宗教研究者たちを惹きつけてきた。他方でそれは、近代に確立する合理主義的・啓蒙主義的な知の覇権のなかで、「怪しい他者」(狂信、ヒステリー、超常現象…)として排除されたり、周縁化されたりしてきた。今日では、宗教学においても「神秘主義」はかつてそれが放っていたような魅力を失ってしまったと言えるかもしれない。</p> <p>本講義では、しかし、従来の神秘主義理解がそのなかに囚われてきた「近代神秘主義論」を相対化し、その重力圏から抜け出して、神秘主義を「別様の知」として語りなおすために、古代から現代に至る西洋霊性史を通覧する。とりわけ、体験中心主義的な神秘主義理解や、神秘主義のジェンダー化されたイメージを再考しながら、これまで看過されてきた別様の知脈を歴史のなかから掬いあげることを試みる。</p> <p>神秘主義は宗教の本質に直結しているという理解は今でも根強いだけに、神秘主義を問い直すことは私たちの宗教理解をより深く豊かなものとするにもつながるはずである。</p> <p>主として期末試験によるが、コメントなど授業への参加度も加味する。</p> <p>成績評価方法 教科書 ガイダンス</p> <p>プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31465	S	比較思想	菊地 達也	文学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 授業の目標概要</p> <p>イスラム教の形成 2003年のイラク戦争以降、イランを中心とする諸国家とサウディアラビアなどの国々との間の国家間対立がシーア派対スンナ派という宗派対立の枠組みで語られることが増えた。このような単純化された枠組みが信用に値するものでないことはすぐに分かるだろうが、シーア派とスンナ派の宗教上の争点は何か、その争点が政治とどのように関わり合っているのかについてはそれほど知られているわけではない。</p> <p>本授業では、ユダヤ教、キリスト教という同系統の宗教と比較しながら、預言者ムハンマド没後に生まれた幾つかの争点を巡る思想史を追い、それらの争点がシーア派、スンナ派といった宗派の形成にどのように関わっていったのかを分析し、ユダヤ教、キリスト教と一線を画すイスラム教思想史の特徴を明らかにする。その上で最終的には、最初期のイスラム思想と現代のそれとの異同を明確にすることを通じて、現在のイスラム教イメージを相対化する視座を獲得してもらいたい。</p> <p>成績評価方法 教科書 ガイダンス</p> <p>学期末レポートにより判定。授業時に取り組んでもらう課題(2、3回)も加味。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30222	S	東洋思想史	李 セボン	国文・漢文学	月 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	東アジアにおける明治日本の思想史：中村正直と福沢諭吉を手がかりに 本授業では、明治前期を代表する思想家である中村正直（1832-1891）と福沢諭吉（1835-1901）の議論を中心に、19世紀東アジアという思想空間において日本思想史が有する特徴やその文脈を浮き彫りにする。特に両者の思想を「儒学」という軸を立てて考察して行き、東アジアにおける「近代」を捉えなおす作業も行う。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	学期末試験（50%）＋リアクションペーパー（50%） 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31466	S	東洋思想史	横手 裕	文学部	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国思想入門 中国では伝統的に、儒教・道教・仏教が三教すなわち「三つの教え」の体系として並存し、それぞれが自らの思想教説を展開させつつ相互に影響を与えあい、中国思想の歴史を形成した。 この中国思想の歴史と内容について、最も重要なポイントを取り上げつつわかりやすく概説する。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	中間試験1回、定期試験1回の予定。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31827	S	東洋古典学	山崎 藍	国文・漢文学	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国古典を楽しむー動物・異類の描写を通して 様々な動物や異類を描いた漢詩や文言小説などを漢文で読みます。漢文読解に慣れてもらいつつ、中国古典文学を軸に西洋や日本などでの描写との比較も行います。上記を通して、動物の表象と併せ、中国の社会背景などへの理解を深めます。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	(1) 出席回数が全授業回数の3分の2を下回る場合は期末レポート提出の資格を喪失します（毎回、出席を取ります）。 (2) レポート課題（期末）70点、毎回のリアクションペーパー提出30点として評価します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30455	S	経済思想史	高見 典和	経済・統計	火 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	経済社会に対する理解の変遷 経済や社会がこれまでどのように論じられてきたかについて概説します。アダム・スミスやケインズといった経済学者の名前は、ほかの経済学の講義でも言及されますが、より詳細に、過去の著名な思想家の人物像や学説を紹介します。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	小テスト、レポート、期末テスト 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30250	S	社会思想史	森 政稔	社会・社会思想史	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	フランス革命後 19 世紀ヨーロッパの社会思想: 進歩と保守、立憲主義対独裁、政治と社会の関係の変容などをめぐって					
授業の目標概要	この社会思想史の授業では、過去の年度ではヨーロッパの近代形成期を主対象として、先立つ古代および中世の思想からの影響関係、16 世紀前半のルネサンスや宗教改革、ホッブズやロックら契約説が形成された時期、18 世紀西欧における啓蒙思想の展開と文明化の諸思想、アメリカの革命、そしてフランス革命を順次扱ってきた。今年度はフランス革命の影響を受けた 19 世紀前半の社会思想を広い観点から取り上げる。フランス革命が社会思想史的にも最重要な事件であることは疑い得ないが、その意義の評価は今なお深刻な論争の対象となっている。この革命は人民主権、民主主義、普遍的人権など今日の重要規範の起源をなすとともに、ナショナリズムの本格的な成立の起点でもあり、また残酷な独裁もここに始まっていると言える。このような多様な面を有する革命を受けて、19 世紀前半になされた、さまざまな立場からの革命後の社会構想をめぐる議論を検討することにより、革命によって本格化した近代の秩序とは何であったのかを明らかにすることを目的とする。					
成績評価方法	期末試験を行う予定です。論述タイプの問題を 5 問程度出題し、そのなかから 2 問を選択してもらい形式を考えています(変更になる可能性あり)。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

総合科目B 国際・地域

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30251	S	国際関係論	石田 淳	国際関係	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	戦争と平和の国際政治学 戦争と平和の問題を中心に、国際政治の概説的講義を行う。 ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルのガザ侵攻など、時事問題にも触れるが、決して時事解説ではない。国際政治の理解の仕方を開設する。 この講義では、関係者の同意に基づく価値配分として《政治》をとらえる（価値配分アプローチ）。そのうえで、この同意を確保する過程を《交渉》、交渉の結果として一定の基準について構成員の間に同意が成立している状態を《秩序》と概念化する。 このように定義された政治、外交交渉、国際秩序をキーワードとして講義を進める。					
成績評価方法	学期末試験					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中西寛・石田淳・田所昌幸 『国際政治学』 有斐閣					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31106	S	国際関係論	湯川 拓	国際関係	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	国際関係について理論的に考える 国際関係論（国際政治学）の入門的な講義であり、国際政治現象を分析的に理解するための「レンズ」あるいは「ものの見方」を得ることを目的とする。そのために国際関係論という学問における重要概念とその基本的操作について理解する。 入門的講義ということもあり、国際関係における様々な問題を広範に取り上げる予定である。 なお、講義期間中に一度、全員に授業内容についての質問の提出を求める。 これが成績の10%を占める。					
成績評価方法	期末試験：90% 課題提出：10%					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30354	S	国際関係史	川島 真	国際関係	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	東アジアの国際関係史 19世紀から21世紀に至る東アジア（東北アジア中心）の国際関係史について講義をおこなう。主に中国の外交史、現代外交について述べるが、適宜、日本や台湾の視点を取り入れ、朝鮮半島、東南アジアも視野に入れる。また、東アジアの現状についても言及する。現代から過去を振り返るのではなく、個々の時代にそれぞれの主体によって何が重視されていたか、どのように世界が見えていたのか、そこでどのような政策選択をしたのか、ということについて考察し、歴史的な連続性、変化・変容を見出す。現在の大学生はまだ旧学習指導要領の下で教育を受けているので、制度的には高等学校で世界史必修ではあるものの、それが十分にされていないこと、また理系の学生も参加することを考慮し、基礎的な事項に触れながら講義することをできる限り心がける。この講義を受講することにより、この東アジアという地域では、何がその時々の時代で重視されていたのか、何が選択されてきたのかということを理解し、歴史的な連続性と変容、さらに現在起きている東アジアの諸問題の原因や背景について考察する手がかりを得てほしい。					
成績評価方法	試験またはレポート。受講者数次第。試験にする場合でも、事前に問題を公開し、持ち込み可にして試験を行う。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 川島真・服部龍二 東アジア国際政治史 名古屋大学出版会 978-4815805616					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31107	S	現代国際社会論	榎本 珠良	国際関係	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 授業の目標概要</p> <p>【目標】 - 1990年代以降の開発と安全保障の融合や「人間の安全保障」概念が前提とする考え方およびそれらに基づく実践事例について理解したうえで、それらの課題やジレンマについても考察することができる。 - 2010年代後半以降（とりわけ2020年以降）に表面化した、開発と安全保障に関連する業界に対する批判や再考の動きを把握し、その展望を考察することができる。</p> <p>【概要】 冷戦終結後の国際政治学や国連等での政策論議においては、既存の「安全保障」概念が見直され、「人間の安全保障」といった概念が提示された。同時に、主に「南」における「新しい戦争」や暴力が問題視され、開発上の諸問題は戦争や暴力の発生リスクを高める要因とみなされた。研究や政策論議における開発と紛争予防や平和構築との境界線は曖昧化し、開発問題と安全保障問題は不可分のものとみなされていった。 本講座では、こうした認識に基づいて行われてきた研究や、条約等の合意形成、そして個々の現場での取り組みを紹介し、研究と実践の双方において生じた成果やジレンマ、課題を考察する。 とりわけ、講座の後半では、近年の#MeToo運動や新型コロナウイルス感染症をめぐる状況、Black Lives Matter運動の展開、ロシア・ウクライナ戦争やイスラエル・パレスチナの状況などを背景に生じてきた、開発・安全保障関連業界に対する批判や再考の動きに焦点を当てる。</p> <p>成績評価方法 期末レポート（1回）の内容にて評価を行う。 - 授業で習ったことを記述するのではなく、授業を聞いたうえで自ら調査を行い自ら思考した結果を示すような新規性・独創性のあるレポートを高く評価する。 - 盗用・剽窃には厳しく対応し、レポート作成の執筆要領も予め指定する。執筆要領に則り、文献の参照の仕方や参考文献表記などを適切に行うことが求められる。</p> <p>教科書 ガイダンス 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30355	S	地域文化論 I	浜田 華練	地域文化研究専攻	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 授業の目標概要</p> <p>スラヴ・ユーラシア研究の地平 この授業は、スラヴ・ユーラシア研究に関連する分野に携わる本学教員によるオムニバス授業です。2023年度A Semesterに開講された「地域文化論II」に引き続き、毎回異なる教員がそれぞれのテーマで講義を行うことで、学生が各分野の最先端の研究成果の一端に触れるとともに、日本では触れる機会が少ない「スラヴ・ユーラシア」諸地域の政治・社会・歴史・文化を「広く深く」学ぶことを目標とします。 「スラヴ・ユーラシア」は、かつて社会主義陣営に属していた中東欧・旧ソ連を包括する概念です。「スラヴ・ユーラシア」という語は、それを専門とする学問分野の外ではほとんど使われない上に、言語的・エスニシティ的な概念である「スラヴ」と地理的な概念である「ユーラシア」が並列しており、ごこちない印象を与えます。しかし、そのごこちなさが、地理的な境界、政治的な境界、言語・文化・エスニシティに基づく境界が複雑に入り組んでいるこの地域の内実をよく表しているともいえます。 必ずしも実態を正確に反映しているとはいえないものの、「スラヴ・ユーラシア」という語が術語化された背景には、冷戦期に存在した明確な政治的・軍事的一体性ではなく、歴史的にこの地域に存在してきたつながりと多様性の両方に寄り添おうとする研究者たちの試行錯誤がありました。しかし、「一体性」を取り戻すという名目で始められたロシアによるウクライナ侵攻が続く今、「スラヴ・ユーラシア」という概念と、その概念を用いる意義についても見直しが迫られています。こうした状況をふまえて、学生の皆さんには、全講義を通じて、「スラヴ・ユーラシア研究の地平」の、広がりだけでなく、その果て（限界）とその先（可能性）をも見極める意気込みをもって授業に臨んでもらいたいと思います。</p> <p>成績評価方法 出席とリアクションペーパーに基づいた平常点と、期末レポートの提出をもって評価します。レポートの執筆要領は、初回イントロダクション時に提示します。</p> <p>教科書 ガイダンス 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30996	S	地域文化論 I	SMITH Rodney、 橋川 健竜	地域文化研究専攻	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>AUSTRALIAN SOCIETY TODAY</p> <p>Australia is seen as a modern, pluralist, capitalist and democratic society; however, this description does not tell us much. How is Australia similar to, and different from, other modern, pluralist, capitalist and democratic societies? One answer that many Australians give to this question is that Australia is a particularly egalitarian society, one in which everyone gets a fair go, a good life is open to all, social distinctions do not matter, and people from different cultures and backgrounds mix easily. How accurate is that egalitarian self-image of Australian society? What challenges does it face in 2024? Have changes to Australian society in the last few decades undermined or reinforced equality in Australia?</p> <p>This course provides an introduction to contemporary Australian society to help students answer these questions. It will cover material equality (for example, wealth and income), social equality (for example, relations between Indigenous peoples and settler Australians), cultural equality (for example, education and leisure), and Australian attitudes toward equality. The focus will be on the distinctiveness of Australian society, with comparisons made to other countries. Students will engage with key features of Australian society via lectures, class discussions and activities, audiovisual and digital materials, and introductory readings. The course will provide an English language teaching environment designed to encourage development of learning, reading and writing skills in English, as well as an experience of Australian educational styles.</p> <p>Students who complete this course should:</p> <ul style="list-style-type: none"> •have an introductory knowledge of patterns of equality and inequality in Australian society •understand how Australians think about these patterns of equality and inequality •appreciate what social science approaches can tell us about the study of Australia •be able to undertake basic written and spoken social analysis in English. 					
成績評価方法	<p>The assessment tasks are designed to measure understanding of the course materials and topics. The tasks are designed to enable students to keep up with the readings set for study and to encourage progressive development of academic writing in English. Students must write all assessment tasks in their own words (except where they are quoting sources) and not use generative AI tools to help with their assignments.</p> <p>Assessment tasks</p> <p>1. Two short responses to issues in Australian society. These two exercises require students to read and think about the course readings for the weeks of October 19 and November 2 and write a brief focused response to the materials. These two exercises will prepare students for the longer essay by providing structured feedback on their reading and writing skills. The word length is 150-200 words for each response. Responses must be written in the students' own words. Worth: 10% for each response (20% total).</p> <p>Response 1: What do you think is the most important disadvantage facing Aboriginal and Torres Strait Islander peoples in Australia today? Due April 26.</p> <p>Response 2: What do you see as one of the main changes that has occurred in Australian society as a result of the introduction of multiculturalism? Due May 10.</p> <p>Further information on these exercises will be made available during the Semester.</p> <p>2. Case study. A short report or case study exploring an aspect of Australian sources covered in the first half of the course, drawing from the course materials. The word length is 500-600 words. Due: June 7. Worth 30%. Further information will be made available during the Semester.</p> <p>3. Topical essay. A more developed essay engaging with issues in Australian society, reflecting the overall themes of the course. The word length is 1000-1200 words. Responses must be written in the students' own words, except where students quote other sources. Proper referencing of sources will be required. Due: Exam period. Worth: 50%. Further information on this topical essay will be made available during the Semester.</p>					
教科書	<p>その他。/Other</p> <p>The list of weekly readings will be made available, including links for downloading, in the course homepage in ITC-LMS. Students are advised to refer to it regularly during the semester.</p>					
ガイダンス	<p>特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31108	S	地域文化論 I	藤崎 衛	地域文化研究専攻	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中世ヨーロッパの宗教と社会 ヨーロッパという地域を理解するために、「ヨーロッパ」的な文化と社会が形成された中世にまで時代をさかのぼり、特に宗教に注目することで当時の社会を理解することを目指します。中世のキリスト教と社会のかかわりを解説し、後半では特に教会ヒエラルキーの頂点にあったローマ教皇を取り上げます。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	学期末のレポートによる 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30796	S	比較地域史	齋藤 久美子	歴史学	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	オスマン史とクルド史の交わる場所 【授業の目標】アナトリア南東部の地政学的な特性と 16 世紀以降のアナトリア南東部の権力・社会構造の変容を検証することで、一政治体内における中心と周辺の関係について理解するとともに、現代トルコが抱える民族や宗派といった諸問題の背景についても理解を深めることを目標とします。 【授業の概要】本講義ではアラブ・イラン・トルコ世界の結節地域であるアナトリア南東部の歴史と社会に焦点をあてます。まず同地域の地理・歴史・社会構造を通して地域としての独自性や近隣地域との関係性を見ていきます。次にオスマン朝治下のアナトリア南東部についてオスマン朝の支配方法を様々な角度から考察し、オスマン支配によりアナトリア南東部の伝統的な政治・社会システムがどのように変容したのかを見ていきます。講義はパワーポイントを用いて進行しそれに対応したプリントを配布します。視聴覚教材も利用します。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	試験により評価します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31109	S	比較地域史	渡辺 美季	歴史学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	近世日中関係史 日本と中国は、絶え間ないヒト・モノの出入りを通じて、歴史を大きく共有してきた。本講義では、前近代の日中関係史、特に明の国際秩序の瓦解を経て日中両国の関係が再構築される 16-19 世紀前半（いわゆる「近世」）の両国の関係を、日本・中国双方の視点から、また琉球・朝鮮などのアジア諸地域の動きも視野に入れて、多元的に論じていく。なお単に通史として講義するのではなく、各時期を特徴づけるようなトピックを取り上げ、それに関わる史料の読み解きを通じて理解を深めることに重点を置きたい。二国の関係史を学ぶことで、それぞれの歴史を客観的に捉える視点を養ってほしい。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	授業内課題（3-4 回）にて評価し、期末試験・期末レポートは課さない。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31453	S	人種とジェンダー	福永 玄弥	教養教育高度化機構	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	脱帝国主義／植民地主義のために 東アジアにおけるレイシズムと〈ヘテロ〉セクシズムの交差					
授業の目標概要	<p>【授業の概要】 「思想が強い」「多様性を認めない立場も多様性として承認されるべき」「災害時に生理用品を提供しろと主張するのはわがままだ」といった主張が SNS で見られますが、こうした見解はしばしば差別解消を求めるマイノリティの声を抑圧する構造の中で（発話者の意図とは関係なく）政治性を帯びます。そもそも特定の主張に対して「思想が強い」とか「わがまま」などといって黙殺を呼びかけるとき、発話者はみずからの政治的立場をどのように認識しているのでしょうか。</p> <p>この授業では、差別とは何か、マジョリティ／マイノリティとはどのような概念であるかを説明したうえで、レイシズム（「人種差別」と訳されることもありますが「人種主義」とします）と〈ヘテロ〉セクシズム（「異性愛主義」としましょう）について講義をします。これらの基本的な知識を踏まえたうえで、日本を事例とし、近代化の過程で「人種」や「民族」といった言説がどのように活用されてきたか、それが〈ヘテロ〉セクシズムと結びついて大日本帝国の建設や植民地主義といったプロジェクトにいかなる貢献をもたらしたか、さらにはこれらの歴史が現代の東アジアにどのような影響を及ぼしているかを批判的に考察します。</p> <p>講義では東アジアの近現代史を扱いますが、日本史や世界史の専門的な知識がなくても理解できるよう授業を設計します。不安や疑問があれば初回の講義で確認してください。</p> <p>【授業の目標】 レイシズムや〈ヘテロ〉セクシズムとそれに関連する重要な概念について基礎的な知識を習得すること、東アジアの帝国主義／植民地主義の歴史を学ぶこと、そのうえで脱帝国主義／植民地主義のプロジェクトへの参与を促します。</p>					
成績評価方法	<p>成績評価はリアクションペーパー（各 30%）と期末レポート（各 70%）でおこなう。各項目の説明については以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> リアクションペーパー：講義の内容に関するコメントや質問など（300-1,000 字） 期末レポート：講義の内容に関連するテーマを自由に選択して論述する（3 千字程度） <p>履修に際しては、以下（後半掲載）の「履修上の注意」の項目をよく読むこと。</p>					
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30356	S	日本文化論 I	矢内 賢二	国文・漢文学	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	歌舞伎概説					
授業の目標概要	<p>歌舞伎の成立と発展の過程、及び演技・演出の特色について概説する。 適宜映像資料を視聴して理解の助けとする。 近世日本の演劇・芸能及び周辺文化について基礎的な知識を修得し、その表現の特質について理解することを目標とする。</p>					
成績評価方法	<p>期末レポート（60%）、授業への参加状況（40%）による。 毎回リアクションペーパーの提出を課し、成績評価の一部とする。</p>					
教科書 ガイダンス	<p>プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30252	S	日本文化論 I	村上 克尚	国文・漢文学	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	大江健三郎の短編小説を読む 大江健三郎(1935 - 2023)の短編小説を時代順に読んでいきます。後年川端康成に続く日本人二人目のノーベル賞作家となる大江は、1957年、東京大学在学中に「奇妙な仕事」で鮮烈なデビューを果たしました。しかし、なぜそのデビュー小説は、一五〇匹の犬を殺すという奇怪な内容を持たなければならなかったのでしょうか。この問いに答えるためには、同時代の日本の状況を詳しく知る必要があります。時代状況の確認と文学作品の精読を循環させていくことで、大江の文学作品が持っている可能性を取り出してみることを、この授業の目的としたいと思います。					
成績評価方法	授業参加 30%、期末レポート 70%で評価します。					
教科書	ただし、各受講生の事情に配慮しますので、相談ごとがあればいつでも申し出てください。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 大江健三郎 大江健三郎自選短篇 岩波文庫 978-4003119716					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31251	S 1	日本語日本文学 I (理科生)	田口 一郎	国文・漢文学	金 5	1年 理科 2年 理科
講義題目 授業の目標概要	頼山陽の漢詩 江戸の漢詩人、頼山陽の漢詩の代表作を編年順に解説していきます。 漢詩の基本的な知識を身につけ、漢詩独特の表現方法、発想法を学びます。日本文化や、多角的な言語表現のあり方についても考えていきたいと思います。					
成績評価方法	定期試験を行いません。持ち込み不可。 授業進行次第ではリアクション・ペーパーを書いていただく回があるかもしれません。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30552	S	日本語日本文学 II	黒岩 裕市	国文・漢文学	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	現代文学とジェンダー／セクシュアリティ研究 この授業では、ジェンダーやセクシュアリティの問題に注目しながら、現代の文学作品を読む。性規範からはずれるとみなされるような身体や欲望、関係性や生き方を描いた作品に光を当て、現代の日本で、ある性のあり方が主流化され、別の性のあり方が周縁化される際にはたらく力学を検討する。松浦理英子、藤野千夜、村田沙耶香の小説を取り上げる。文学作品を詳細に読み、自分自身の解釈を作り上げることと同時に、丁寧な読解からジェンダーやセクシュアリティの問題について考えることを目標とする。					
成績評価方法	学期末のレポート 70%、平常点（授業の課題、グループワークへの参加度） 30%					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 下の「履修上の注意・準備学習等」の欄に示した書籍を各自で用意すること（ただし、『夏の約束』は除く）。					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30357	S	西洋古典学	日向 太郎	地域文化研究専攻	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	アイスキュロスを読む					
授業の目標概要	ギリシア悲劇の三大作家といえば、アイスキュロス（525-455 BC）、ソポクレス（496-406 BC）、エウリピデス（484-406 BC）である。この授業では、アイスキュロスの作品を翻訳で読みながら、まずはギリシア悲劇について理解を深める。悲劇の題材は、多くの場合は神話である。しかし、アイスキュロスは『ペルシア人』で当時の現代史のできごと（ペルシア戦争）も扱っている。読解を通じて、ギリシア神話の世界に親しみ、前5世紀のギリシアの歴史を学んでゆく。このようにして、ヨーロッパの文化について基礎的な理解を得ることが目標である。					
成績評価方法 教科書	平常点と学期末レポート。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook アイスキュロス 『ギリシア悲劇』I ちくま文庫 978-4-480-02011-6					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30358	S	歴史社会論	山下 将司	歴史学	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	“世界帝国” 唐の出現とシルクロード					
授業の目標概要	近年、中国史の中でも大きく書き換えが進んでいるのが唐代である。唐代の中国ではシルクロードの繁栄によって国際的な文化が花開き、古代国家形成期にあった朝鮮半島や日本列島にも大きな影響をもたらしたとされる。では、なぜ7世紀から8世紀の中国に、唐のような「世界帝国」が出現したのだろうか？ これを解明するには、中国のみならず、北アジアの遊牧世界や中央アジアのオアシス世界にまで視野を広げる必要がある。本講義では、中央ユーラシア（北アジア・中央アジア）との関わりの中から唐王朝が出現した背景を探り、中国と中央ユーラシアとの密接な歴史的関係を理解することを目標とする。					
成績評価方法 教科書	平常点（リアクションペーパーなど、40%）と授業内での期末試験（論述式、60%）によって評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31110	S	歴史社会論	前田 弘毅	歴史学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	近世ユーラシア帝国としてのサファヴィー朝イランー「第二のオスマン帝国」との対比も踏まえて					
授業の目標概要	中東・中央ユーラシア・ロシア・東ヨーロッパ地域の現在に大きな影響を与えた近世ユーラシア帝国形成について、特にサファヴィー朝イラン（サファヴィー帝国）（1501年ー1736年）に注目して解説する。中でも、王朝の画期であるアッバース一世（在位 1587ー1629年）の治世に焦点をあてながら、近世におけるユーラシア帝国秩序再編について考察することで、ユーラシア史を構造的に理解することが出来るようになる。さらに同時代のオスマン帝国と比較することで、近世イスラーム帝国の特徴を理解する。 遊牧帝国かつシーア派教団国家としてのサファヴィー朝の出発点を確認した後、アッバース1世によるイスファハーンを結節点とした国土改造と軍事行政制度等の統治体制の変革を検討する。その上で、改革の担い手となったコーカサス出身「王の奴隷」集団やアルメニア商人について、政治的・文化的・宗教的「境界」を超えた集団の観点から捉え直す。こうした国家制度の諸問題について、同時代のオスマン帝国（大きな国制変革を経験し、「第二帝国」と呼ぶ研究者も存在する）の事例についても言及する。このほか、ペルシア語およびジョージア（グルジア）語史料等についても適宜紹介する。					
成績評価方法 教科書	平常点および中間レポート（50%）と授業内での期末試験（論述式を含む課題）（5c0%）によって評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 前田弘毅 アッバース一世 山川出版社 978-4-634-35045-8					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30797	S	近現代史	藤永 康政	歴史学	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	アメリカ合衆国（以下、アメリカと略します）の歴史のなかで、人種とジェンダーがもつ意味にはとても深くて重いものがあります。なかでも、公民権運動は、1964年公民権法と1965年投票権法という立法的成果を勝ち取り、アメリカ現代史のひとつの大きな転機となりました。他方、その後に興隆したブラック・パワー運動は、過剰に人種の矜持を強調し、時には暴力を唱導することでアメリカ社会の分断に寄与したと一般的には考えられています。					
授業の目標概要	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの政治制度について日本とそれとの比較の上で説明できるようになる ・公民権運動とブラック・パワー運動がアメリカ社会にもたらした変化を歴史学的に説明できるようになる ・アメリカ合衆国の近現代史の展開を人種とジェンダーを通じて説明できるようになる ・現代社会において人種が持つ意味を歴史学的に説明できるようになる。 					
成績評価方法	レポートと授業への貢献度で判断します					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31252	S	近現代史	井坂 理穂	歴史学	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	インドの近現代を語る－歴史家たちの悩み－					
授業の目標概要	この授業では、植民地期から独立直後までのインドの歴史を概観しながら、インド近現代を語る際の歴史家たちの悩みや模索、彼ららの間の歴史認識・叙述をめぐる論争などを紹介する。例えば、インド社会における宗教やカーストの捉えづらさ・語りづらさ、史料収集の難しさ、史料分析をめぐる試行錯誤、植民地支配の描き方をめぐる研究者間の論争などを具体的に説明する。Sセメスターを通じて、インド社会やインド近現代史に関する知識を身につけるとともに、歴史学とは何か、歴史を叙述するとはどのような行為であるのかを考察する。					
成績評価方法	学期末試験による。ただし課題も若干の割合で評価対象に含める。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31111	S	歴史と文化	長谷川 香	歴史学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	儀礼空間から読み解く皇都・東京――都市・建築史の視点から					
授業の目標概要	<p>「皇都」とは「天皇の住む都。天子の都。」を意味します。今日では、東京が「皇都」と形容されることはほとんどありませんが、近代に入り、東京奠都によって江戸城が皇居とされて以降、今日にいたるまで東京は「皇都」であり続けています。</p> <p>この授業では、都市・建築史の観点から、そのような近現代における「皇都」としての東京の側面を読み解きます。具体的には、都市を舞台とした国家や皇室に関わる儀礼に注目し、その儀礼空間（儀礼のための建築や会場、さらには皇居や御所から会場にいたるまでの経路）の分析を通して、近現代における天皇制と都市・建築の関係性について考えます。</p> <p>授業の前半では明治から昭和戦前・戦中期、後半では戦後も含めて扱います。</p> <p>都市や建築の具体的な「空間」の分析を通して社会や政治を読み解く都市・建築史の手法を学び、歴史的な観点から今日の都市や建築を理解することを目標とします。</p>					
成績評価方法	期末レポートで評価します。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30359	S	世界史論	後藤 はる美	歴史学	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	世界をいかに語るか——西洋史から考える この授業では、時間や空間の概念がめざましく変化する16～19世紀ヨーロッパ（とくにイギリス）の事例を中心に、過去の人びとが自らの世界をいかに認識し、記述したかを考える。世界を知ろうとする知的探求（自然誌、驚異、探検など）から、世界を把握しようとするなかで進んだ世界の数量化や視角化、移動に伴う世界認識/自他認識の変化まで、さまざまなトピックを取り扱う。これらを通じて、世界を語るという行為の歴史を考えることをめざす。					
成績評価方法	平常点と期末試験によって評価する。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30798	S	世界史論	杉山 清彦	歴史学	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中央ユーラシアの諸帝国——モンゴル帝国と近世帝国 近代以前の世界史の主な舞台となってきたのはユーラシア大陸である。その内陸域すなわち中央ユーラシアに住まう遊牧民とオアシス民こそが、世界の各地域を結びつけるとともに、地域を超えて世界史を動かしてきた。本講義では、東西交渉史の枠組みや、「中国やヨーロッパの周辺の異民族」といった見方からではなく、中央ユーラシアに視座を置いたユーラシア世界史の観点に立って、その最高潮期であるモンゴル帝国とそれに続くティムール帝国～大清帝国などの諸国家について概観する。それを通して、世界史理解の刷新をはかるとともに、「帝国」「国民国家」という国家形態についても理解を深める。					
成績評価方法	期末の論述試験を主とし、講義中随時課す小テストなどを加味して判断する。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31467	S	世界史論	島田 竜登	文学部	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	近代世界とアジア・日本 本講義では、16世紀以降の近代世界の諸相を検討しながら、グローバル化時代の現代に生きるわれわれにとって、世界史とは何かということを考える講義を展開します。15世紀末から、アメリカ大陸を含めた世界の一体化が急速に進展しました。モノや人、情報がグローバルなスケールで移動し、人々の生活が大きく変化し、現在のわれわれの住む社会を生み出していったのです。本講義は近年盛んとなっているグローバル・ヒストリーの立場から近代世界を考察し、その中でグローバル・ヒストリーだけでなく、東洋史や西洋史、日本史といった歴史学の諸分野の意義を考えてみたいと思います。					
成績評価方法	本講義は、いずれ文学部に進学し、東洋史、西洋史、日本史といった歴史研究を志す学生にはもちろん、社会科学や自然科学を専門とするも、とくに長期的な視点に立って現代を考えようとすることに関心のある学生にも有意義なものとなるでしょう。					
教科書 ガイダンス	期末レポート(80%)およびリアクション・ペーパー(20%)により評価を行います。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30253	S	文化人類学 I	オオツキ グラ ント ジュン	文化人類学	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	文化人類学入門 本講義では、現代社会のさまざまな側面を捉えるための文化人類学的視点を紹介する。そのため、この講義では文化親類学における基本的なテーマに着目し、民族誌的な事例を通して考察する。					
成績評価方法	講義で紹介される概念をより深く理解するために、この授業で各自簡単なフィールド調査（観察）を行う。街にでて、周りで起きていることを記録し、人類学的な概念が実生活の中でどのように現れているかを考察する。					
教科書 ガイダンス	ディスカッション・リフレクションペーパー、調査レポート x 2（2 - 3 ページ程度）、および期末レポート。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30829	S	文化人類学 II	浜田 明範	文化人類学	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	文化人類学入門－文化という発想を知る 文化人類学は、日本を含めた世界各地の様々な場所で暮らす人びとの生のあり方を記述・分析することで、私たちが「当たり前」と思っていることを再検討し、ときにそれとは異なる新しい発想を生み出す学問です。その際に、重要な基盤となってきたのは、比較という方法と文化という発想です。この授業では、比較の拠点となるような世界各地の事例を紹介しながら、文化という発想の有用性と欠点を学んでいきます。					
成績評価方法	毎回の授業で課すリアクションペーパーを通じた授業への参加（30%）と最終筆記試験（70%）で評価します。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30360	S	民族文化論	塚原 伸治	文化人類学	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	現代民俗学 民俗学と聞けば、古くさい文化について扱う学問、あるいは古いものを穿鑿する学問という印象があるかもしれない。しかし、実際の民俗学は近年大きな変化のただ中にあり、私たちが生きる現代社会や人びとの日常について探究する学問へと変貌しつつある。このような新しい民俗学の研究動向をここでは現代民俗学と呼んでおこう。					
成績評価方法	とはいえ、新しく生まれ変わりつつある民俗学も、これまでこの学問がたどってきた歴史の影響下にあることを忘れてはならない。そこで本講義では、あえて民俗学の最古の研究対象のひとつでもある祭り／祭礼をとりあげ、その現代的状況に触れながら、21 世紀における民俗学を構想する。民俗学の長年にわたる研究蓄積と近年の研究動向の間を往復することで、民俗学のものの見方についても適宜概説する。					
教科書 ガイダンス	毎回提出するリアクションペーパー（20%）と学期末のレポート課題（80%）で評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

総合科目C 社会・制度

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30902	S	法と社会	高橋 信行	法・政治	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	法と社会—コロナ危機と法					
授業の目標概要	<p>本授業では、「コロナ危機と法」を主題として、コロナ危機に付随して生じた様々な法的問題を取り扱う。その趣旨は以下の「授業の目標・概要」のとおりである。</p> <p>2019年末から始まった新型コロナウイルス（Covid-19）の感染拡大により、様々な社会問題が生じており、それに付随して法的問題も増え続けている。典型的には、人々の外出を抑制するために罰則付きの禁止命令を発することの憲法上・法律上の問題を挙げることができるが、それに限らず、感染者・濃厚接触者のプライバシー保護の問題や、ワクチン接種による副作用被害の救済問題、飲食店等に対する休業命令と損失補償といった点である。</p> <p>本授業では、これらのテーマについて解説を加えるが、前期課程科目としての特性上、法学を専攻することを予定していない者にも十分理解できるように、前提知識の説明から始める。例えば、「休業要請と損失補償」であれば、まずは憲法29条3項等の求める損失補償制度について説明した上で、コロナ危機で生じた新しい問題を取り上げることが予定している。また、「感染症対策における国と地方自治体の役割分担」であれば、憲法第8章の定める「地方自治制度」の概要を説明してからコロナ危機に関する問題をとりあげる。このように、法学に詳しくない者にも十分理解できるように配慮するため、授業の全てがコロナ問題に費やされるわけではないことに注意してほしい。</p> <p>また、2021年度（令和3年度）から始まった新しい授業である上に、関連する法律が頻繁に改正されたり、新しい判例が出たりすることも予想されることから、いわば「走りながら考える」授業となる。そのため、準備が必ずしも万全でないままに授業をすることもあり得るが、この点は予め容赦してほしい。</p> <p>また、コロナ危機は民法や刑法、労働法といった様々な法分野に関係するが、担当者は行政法を専攻する研究者であるので、主として公法（憲法と行政法）に関する法的問題を取り扱うので、本授業でカバーできる範囲はコロナ危機に関する法的問題の一部分にすぎないことにも注意してほしい。</p> <p>なお、本授業では毎回予習課題を提示するので、受講生は必ず教材を熟読して予習課題に解答してから授業に参加することが求められる。詳細については初回のガイダンス時に説明する。</p>					
成績評価方法	平常点（予習課題の解答状況・割合50%）と期末試験（割合50%）による。 詳細についてはガイダンス時に説明する予定である					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31253	S	日本国憲法	福岡 安都子	法・政治	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	教養としての憲法					
授業の目標概要	法学を必ずしも専攻しない学生も対象に、「日本国憲法」の基本的原理を、その歴史的背景にも配慮しつつ講義する。					
成績評価方法	平常点及び学期末試験による。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 高橋和之 『立憲主義と日本国憲法』 第5版 有斐閣（2020） 上記はシラバス入力時における最新版であるが、もし、授業開始時までの間にさらに新しい版が出版された場合にはそちらを使用するので、購入の際には注意すること。					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31456	S	現代と法	白石 忠志	法学部	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>現代と法 法学を学ぶと、どのような興味深い課題に出会い、かかわることができるのか。そのことの一端がわかるよう、法学部の教員のうち13名が、1人1コマずつ、いま関心を持って取り組んでいる具体的課題を紹介します。質疑応答の時間を多めに取ります。</p> <p>法学を学んだ経験が全くなくとも構いません。文科か理科かも問いません。2年生も歓迎しますが1年生を念頭に置いて進めます。</p> <p>第1回のことを含め、詳細については、まず、UTOLのこの科目の欄を見てください。そこで、詳しい情報を置く場所をお知らせします。</p> <p>得られると期待されるトランスファラブルスキルの例：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 法学の内容とキーパーソンに関する土地勘 ・ 法学の最先端を垣間見た経験 ・ その時代の法学の最先端の見付け方・調べ方 					
成績評価方法	主として定期試験によることとし、詳しくは、授業中やUTOLにおいてお知らせします。(2023年度の方法から変更)					
教科書	教科書は使用しない。/ Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/ Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30361	S	現代社会論	開沼 博	社会・社会思想史	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>現代社会論入門 「白書」と「メディア」から読み解く現代社会</p> <p>○本講義の目的 現代社会とはいかなる社会か。その秩序はいかに可能になり、また変更されようとしているのか。この根本的な問い、様々な解が存在し得る問いに自分なりに一定の答えを与え、これから社会に大きな変化が訪れた時にもそれを解釈するための「自分の中の軸」をつくることが本講義の目的です。</p> <p>(1) 現代社会を俯瞰的に把握するために、社会を構成する諸領域のおさえるべき事実を理解する (2) その過程で一定量の情報を短期間で自らの知識とする経験を反復する (3) 諸領域を越境しながら思考することで現代社会に共通する課題とそうではない課題とを峻別する、という3点を繰り返す中で、受講生各々が独自の視座を得ることを目指します。その際には、常にメディアにある情報を横目にいれながら社会と個人の関係とを意識します。現代社会とは何か。その根本に何があり、どんな特異性が存在するのか。その全体を見渡すことはますます難しくなっています。</p> <p>個人それぞれが自らの見える世界の内部に閉じこもり、またそれを加速するよう社会構造・情報技術等も高度化している。「それならそれで良い」と意識的に選択しているならまだ良いが、おそらくそうではない。多くの人は情報過多の渦の中に巻き込まれるに身を任せ、無意識のうちに狭い世界に引きこもりつつ、可処分時間を「自分ではない何か」に奪われ、休み無く走らせられ続ける感覚に疲弊している。</p> <p>未来への答えなき不安と期待値の低さ、現在の幸福と最小化・最適化された不満。その中であえて立ち止まり、自分と社会の足元・現在地を確認しなおすことに、いま大学で学ぶことの意義の一端はあるでしょう。</p> <p>受講にあたって、文理、所属・専攻、関心、進路の希望等々は問いません。</p> <p>【2013年度本登録実績：文一3名、文二3名、文三3名、理一4名、理二2名の計15名】</p> <p>○本講義の進め方 上記の目的に向け、本講義では中央省庁が刊行する白書を課題文献として、受講生にはその読解を前提に文書を作成し、議論する、という作業をしてもらいます。その際、常に白書の内容に関連するメディア上の情報を踏まえながらのアウトプットを積み重ねます。</p> <p>具体的には、課題文献を読んで各自のリアクションペーパーを作成した上でグループディスカッションをする「GD回」、全体討議をしレポートを作成する「全体討議回」を講義時間の中で交互に設定し進めます。前後半、それぞれの終わりに研究ノートを作成する「まとめ回」もあります。</p> <p>リアクションペーパーとレポートでは、メディア上に存在するニュース等関連情報を参照し、白書に示された現状や指針と、メディア上の情報との双方を批判的にとらえるようにしてください。</p> <p>【昨年度は「文部科学白書」「食料・農業・農村白書」「エネルギー白書」「外交青書」「防衛白書」を読みました】</p> <p>上記の「本講義の目的」を達成するためには、歴史的アプローチ(ex.過去の動向を大局的に捉え典型的な構造やパターンを抽出して考える)、理論的アプローチ(ex.個別事例を普遍的に説明できる概念や規則・式を参照したり記述したりしながら考える)、フィールドワークや定量データ分析など分析的アプローチ(ex.現場に生きる人の口述内容や意識調査、統計データに現れる見えていなかった現実を元に考える)といった方法がありえます。</p> <p>本講義は、その前段階で必要な事実を知る機会となります。難しいと思うかもしれませんが、もし可能であれば、各受講者が自分の知っている範囲で、自由にそれらの方法を組み合わせながら議論やレポートの作成をすることを歓迎します。他の講義・ゼミや課外活動で学んだ知識をアウトプットし血肉化する機会としても利用して頂ければと思います。</p> <p>学部1・2年生であれば、高校までの教科教育で学んだ内容や探究学習等で得た知識をもとに思考せざる得ない部分も大きいでしょうし、大学に来たからには、その枠を超えた思考を展開したいという関心を様々に持っている場合も少なくはないでしょう。それが将来の職業選択やキャリア形成の選択肢を増やすと予感している人もいるでしょう。例えば「SDGsについてより深く考えたい」「国際政治の勉強をして世界平和に貢献したい」「いずれ地方で暮らし高齢化やコミュニティ崩壊の問題に取り組みたい」「遠からず来る大規模複合災害に向けていまからできる防災や復興のあり方を構想したい」等々。</p> <p>それらの関心の上により深く思考するためには、歴史的・理論的・分析的アプローチなどの方法論的な「タテ糸」と、細分化され続ける個別領域・事例についての幅広く・精緻に構造化された理解によって燃られた「ヨコ糸」とで織られた一枚の布を可能な限り幅広く・分厚く自分の中に用意し携えておくことが必要です。</p> <p>その布は、難所を進む際には雨風から身を守り、立ち止まる際には落ち着いて休むための敷き布となり、旅の中で得た持ちきれないほどの宝物を遠方まで運ぶための包み布としても活きるでしょう。</p> <p>以下の割合で評価します。</p> <p>▼リアクションペーパー&グループディスカッション参加 40%</p> <p>▼全体討議参加&レポート 40%</p> <p>▼中間&最終研究ノート 20%</p> <p>毎回、何らかのアウトプットが求められることになるので、欠席すれば自動的に点数は減ることになります。ただし、コロナ感染等明確な欠席理由があり、出席の代替措置を希望する場合は、都度事前にメールにてご相談ください。</p>					
成績評価方法						
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30362	S	ジェンダー論	飯田 麻結	表象文化論コース	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	本講義は、フェミニズム理論やクィア理論の歴史的な展開を下敷き、ジェンダーやセクシュアリティ、身体への人文的アプローチを探究し、その上で様々な文化的事象を読み解くための多角的な視点を獲得することを目標とする。前半では主にフェミニズムの理論史の解説を行い、「インターセクショナリティ」といったキータームを紹介する。後半では具体的な事例を取り上げつつ、フェミニズム／クィア理論の現在における理論的動向を考察する。以上の基礎的な枠組みを踏まえ、学生は本講義を通じて得た知見を同時代的な議論へと敷衍する力を身に付けることが望ましい。					
授業の目標概要	毎回のコメントシートと、中間・期末レポートによって評価する。					
成績評価方法	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
教科書	特に行わない。／Will not conduct guidance					
ガイダンス						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30799	S	ジェンダー論	瀬地山 角	社会・社会思想史	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	セクシュアリティとジェンダーの社会学					
授業の目標概要	セクシュアリティとジェンダーについて、大学生として最低限知っておくべき知識を伝える講義です。前半のセクシュアリティ編については、「下ネタの講義」という誤解、風評被害に悩まされていますが、きちんと履修した学生さんはそのような感想を決して持たないはず。そういった愚かな反応がなぜ起きるのかも含めて、一貫した問題意識の下で「社会科学の立場から性を考える」とはどういうことなのかについて論じていきます。「本能」だと勘違いされている「性」を自然科学とは異なるアプローチで読み解きます。ジェンダー編は、みなさんの人生設計そのものに関わります。この講義は東大全体で女性の履修者がもっとも多いもので、優秀な女子学生の未来が、男子学生のそれとどう関わりを持つのかについても、この講義を通じて、考えてもらいたいと思います。新書を教科書として指定していますが、それに則って講義をするわけではありません。これでカバーされるのは講義の1～2回分です。講義で触れるいくつかの論点については、『ジェンダーとセクシュアリティで見る東アジア』の中でも言及しています。※このところ受講者が大幅に増加したことに伴い、SNS で不正確な情報が飛び交うようになりました。匿名の二次情報などに惑わされない程度のメディアリテラシーを持ってください。					
成績評価方法	期末試験					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 瀬地山 角 編著 炎上CMからよみとくジェンダー論 光文社新書					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30255	S	日本の政治	竹中 治堅	法・政治	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>日本の政治：危機の中の内閣総理大臣 岸田文雄政権が2021年10月4日に誕生した。岸田文雄首相は国際環境が大きく変化する中で、政権を担う。一方、政治資金問題がきっかけとなり国内政治も動揺している。こうした中で、「新しい資本主義」を掲げ、日本の経済力の底上げを図る一方、日本を取り巻く安全保障環境が大きく変化する中で、安全保障政策を見直し、防衛力の増強する方針である。</p> <p>日本はどのような国際環境の中に置かれているのか。その中で、岸田首相はどのような権力基盤に立ち、どのような政策を作ろうとしているのか。岸田首相の政策はそれ以前の安倍晋三首相や菅義偉首相の政策をどのように発展させているものなのか、違いは何か。</p> <p>本講義では国際環境の変化を踏まえつつ、日本の権力構造、政策決定過程の変容について理解できるようにする。ところで、2000年代以降の日本の政治を分析する上で一つのことを留意する必要がある。それは、1990年代から2001年にかけて日本の統治構造が大きく変革されたということである。この変革は日本の政治構造を大きくかえ、政治構造が変化する中で、長期政権や短期政権が現れている。また、多くの政権が現れては消える中でも、政策決定過程は確実に変化してきている。</p> <p>2024年度の「日本の政治」の目的は二つである。第一の目的は、現在日本政治の特徴を理解することである。具体的には二つのことを把握したい。一つは日本の統治構造の変化と現在の特徴を学ぶこと。二つは政策決定過程を観る目を養うことにある。このため岸田内閣、菅内閣、第二次・三次・四次安倍内閣の下における政策決定過程を掘り下げて分析する。</p> <p>また、講義と併せて、①戦後日本の政治の歩み、②現代日本の権力構造、政策決定過程を分析する代表的な本、論文をシラバスにそって講読することが、重要な履修条件となる。第二の目的は受講者にレポートの一つの書き方を修得してもらうことである。レポートを書くことの本質は単にレポートで取り上げるテーマについて 情報としての知識を身につけることにとどまるものではない。レポートを書く作業を通じてわからないことを調べる力、ものごとについて考える力、多くの事象を重要な点にしばって観察する力を養うことになる。</p>					
成績評価方法	<p>日本政治を見る力を養うために、本授業の受講者に多くのことを学んでもらいたい。従って、本講義の受講者は以下の三つの履修条件を満たすことが求められる。</p> <p>① 期末試験 講義内容を基に出題される期末試験を受験すること。</p> <p>② 課題 毎週出される課題を宿題として行い、提出すること。</p> <p>③ レポート作成 安倍・菅・岸田三政権の政策の一つを選んで、その政策決定過程について授業の内容を参考にしながら分析すること。課題、レポートの内容については第1回授業時に説明する。</p>					
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 竹中治堅 竹中治堅 飯尾潤 中北浩爾 上神貴佳・三浦まり 北岡伸一 コロナ危機の政治：安倍政権 vs, 知事 首相支配：日本政治の変貌, 日本の統治構造, 自民党：一強の実像, 日本政治の第一歩（新版）, 自民党 中公新書 中公新書 中公新書 有斐閣 中公文庫</p>					
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31454	S	性と身体 I	瀬山 紀子	教養教育高度化機構	金 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>フェミニズム障害論 1) 障害／障害者に関わる課題を、社会の課題として読み解く視点を獲得する 2) 障害の課題とジェンダー、セクシュアリティの課題の交差点で起きる課題について考え、障害／女性、またその交差点にいる障害女性の抱える課題について捉えることができるようになる 障害／障害者に関わる問題を、障害をもつ個人の側からではなく、社会の側の課題として捉える同時に、その社会の側の課題のなかに、ジェンダー、とりわけ、現代社会のなかで構造的に女性たちが抱えることとなってきた課題を読み込み、障害とジェンダーの交差点で起きてきた問題を捉える視点を獲得していく。</p>					
成績評価方法	<p>毎回のリアクションシート（30）、期末レポート（70）</p>					
教科書	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p>					
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31488	S	現代経済理論	渡辺 安虎	経済学部	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	経済学研究の現在を理解する					
授業の目標概要	<p>授業の目標：経済学に関心がない人が、学期末には経済学に興味を持つこと</p> <p>授業の概要：経済学とその関連分野の第一線で研究に従事している研究者が、それぞれの分野における研究の現状をわかりやすく解説し、経済学や関連分野のおもしろさや有効性についての理解が広がることを目標とする。</p> <p>経済学に興味のない人にこそ是非履修してほしいです。</p>					
成績評価方法	期末試験					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31254	S	現代経済理論	鍾 非	経済・統計	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>経済分析の基礎：「数学的因果関係」である関数から始まるミクロ経済学・マクロ経済学・数理統計学</p> <p>数学的因果関係は、$y=f(x)$という「関数」（一昔前の数学者だと「函数」（例えば、高木貞治）、function）によって表される。関数における因果の「極限的つながり」を示す「微分」（$\Delta x \rightarrow 0, \Delta y/\Delta x$、僕に言わせれば、「極限の分数」）について、（数学特有の厳密さを無視し）優雅に語ってみよう。紙幅の制限に配慮し、ほとんどの東大生にとって常識である微分の定義式を海馬に深く刻みつつ（場所とらず&面倒臭がり屋に最適）、「知的想像力」も少し働かそう（「ユーモア」という特製調味料を小さじ1/4096）。恋人を喜ばせるため、誕生日にプレゼントを贈る者（なかんづく大学生）が多い。「恋人の嬉しさ（y：果）」と「プレゼントの値段（x：因）」の間の数学的因果関係（増加関数にある数量関係）に注目したい（ただし、プレゼントの値段と嬉しさの度合いはいずれも数値化可能と仮定）。おにぎり一個に比べ、ドイツの高級車・ベンツ一台（$\Delta x_1 = \text{ベンツの値段} - \text{おにぎりの値段}$：大）をもらった後の恋人の嬉しさに雲泥の差（$\Delta y_1 = \text{省略}$：大）があることは至極当然であり、おにぎり一個と比べて幕内弁当ひとつ（$\Delta x_2 = \text{幕内弁当の値段} - \text{おにぎりの値段}$：小）を食べさせた後の恋人の喜びの僅かな増分（$\Delta y_2 = \text{省略}$：小）をも見逃さず、値段の僅差の商と比較する（$\Delta y_2/\Delta x_2$）のが、微分（正確には、「微分」に近し）。換言すれば、$\Delta y_1/\Delta x_1$は意味不明（or 数学的には無意味）。もちろん、「ゼロに限りなく近づく値段の極小な増分」（$\Delta x \rightarrow 0$）をより精確に強調したければ、（一番安いのがおにぎりであることを考慮に入れて）やや高価な幕内弁当を二番目に安い食パンに置き換えたほうが、もっと適切（ただし、食パンが高価な場合を除く）。微分の親戚は、積分（同じ事例による定義のユーモア溢れる展開は、ご想像にお任せしますよ）。本講義は、因果関係の大本を異なる角度から捉える微積分（文系の高校数学でも必修）の紹介を皮切りに、経済分析における様々な概念を、その数量的本質を深く掘り下げてしゃきつと解説。「ものの値段が上がれば、消費者はどれほど買い控えるか？」（ミクロ経済学）「一国の経済成長率が上昇すると、失業率はどう変わるか？」（マクロ経済学）「説明変数が1%上がると、従属変数はどう反応するか？」（数理統計学）などなど、ミクロ経済学（例えば「効用」）・マクロ経済学（例えば「比較静学」「動学」）・数理統計学（例えば「回帰分析」）にとって、微積分を出発点とする数量分析こそ、揺るがぬ礎。数、実数、有理数、無理数、関数、因果関係、微積分、指数関数、対数関数、行列（以上、文系の中学校・高校数学）、限界、平均、弾力性、（不）効用、価格、収入、予算制約、利潤、費用、極大（or 極小）化、FOC、消費者・生産者（or 企業）行動、市場、均衡（or 不均衡）、価格の自動調節機能（or 「（神の）見えざる手」）、競争、独占、市場の失敗、余剰、パレート最適（or 効率性）、国家（or 「政府の見える手」、習近平の台詞）、税、所得税、消費税、関税、公共財、モラル・ハザード、逆選択、ただのり、（不）平等、Gini係数、GDP、失業（率）、金利、貨幣、乗数効果、IS-LM 曲線、金融・財政、財政赤字（黒字）、腐敗（or 「政府の失敗」）、成長（率）、インフレ（デフレ）、確率、平均、偏差、偏差値、分散（標準偏差）、共分散、相関係数、最小二乗法（少なからぬ専門用語を掲げたものの、全部ではない；英文省略）といった重要な基本概念を深く掘り下げて吟味。なお、授業中に試験と似通った計算問題をも適宜出題・解答。「地に足のついた姿勢で、少年・少女の如く、根掘り葉掘りわからせる」のが、方針。絡み合った複雑な事柄を極めて平易に解説することに努める。「脳筋（≈知性）」をとことん鍛えるのにこだわった授業を心掛ける。たとえば、成長率の表し方（マクロ経済学）を紹介するとき、なぜ「e（Napier's Number）」という無理数をbaseとする指数関数（$\exp x$）およびその「いとこ」にあたる自然対数（$\ln x$）が決定的に重要であるかを、「逆関数」という指数関数と対数関数の関係にさかのぼって証明していく。一昔前、数学をほとんど使わぬ統計学のテキストを書いたある先生が、本のタイトルを「涙なし・・・」（ただし、詳細は未確認）とした。それと正反対の意味で、「涙・・・」を否定せず、講義のサブ・タイトルを「嬉し涙ありの経済分析」としてもなかなか興味深い。教育者の着眼点や意図が異なる、大層有益な意見対立だからだ。文系レベルの高校数学に強いアレルギーさえなければ、誰もが興味津々に受講可能。もちろん、理系受講生や数学を得意とする者を決して飽きさせない（恐悦至極）。一年生も二年生も他学部生も PEAK 生も聴講生も大歓迎（出席自由；計算のプロセスを重視）。テキスト（分量多し、全部読まなくていい。土産）、レジメ（テキストの一部＝試験範囲；全部必読）、過去問（詳細な解答を含む）は ITC-LMS (Information Technology Center-Learning Management System) にて公開（閲覧するには、履修登録が必要）。思えば、ノーベル賞経済学者 Paul Anthony Samuelson (neo-classical synthesis：新古典派総合) は名著 Foundations of Economic Analysis (経済分析の基礎) の扉に、「Mathematics is a language」という、彼が尊敬していた数学者・物理学者・物理化学者 Josiah Willard Gibbs (1839-1903) の言葉を引用した。本講義を通じてその素朴にして興味深い言葉の醍醐味を少しでも味わっていただければ幸い。世間にありふれた「物知りクイズ」（僕は大きい疑問）と一味、二味も違う、頭の体操でもある「IQ クイズ」（地頭のみで考えるクイズ）を、授業の翌日にネット出題（自信のある者は答えを zhongf@hotmail.co.jp まで送信）、翌々日に ITC-LMS で正解発表（& 正解者表彰）。クイズを一問出題しよう（偏差値 41）：「コロナ禍」とかけて、「数列の極限」ととく。その心は？ 答え：収束。ガイダンスの「こころ」（本質）を興味深く理解するには、初回 quiz の醍醐味をじっくり味わうのが、大前提。地頭のみで考えよう（以下の記述を、物知りクイズの達人（典型は「東大王」）にプレゼントする。「因果関係」という前述のキーワードを踏まえて言えば、「物知りクイズ」は「果」のみを追い求める無味乾燥な暗記作業に過ぎず、「因あっての果」や両者のつながりを理路整然と究明するのが、IQ クイズ（初ゼミのシラバス参照）。AI（人工知能）が日進月歩しているなか、生身の人間の存在価値を端的に示す IQ 指数を高めよう。博覧強記≠頭脳明晰。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>期末レポート（別途通知）。昔から方針転換。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30800	S	現代教育論	佐々木 英和	心理・教育学	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>教育・学校心理学 誰もが経験し、かつ言葉としても認知している「教育」。意識的であれ無自覚的であれ、この「教育なるもの」の定義を「教え育てること」として初期設定したり、「学校の中に教育が存在する」と決めつけてしまったりする人が多くないか。もし「学校で教師が子どもたちに教えることが教育だ」という固定観念にとらわれているのみだとすれば、そこに根源的な間違いが潜んでおり、それにより教育実践の可能性が大きく制約されてしまうし、それどころか難題の発生源となることもある。実際、不登校問題など、学校教育の現場で「教師－児童・生徒・学生」関係がうまくいかない背景として、教育者なりの「善意」に基づいた「べき論」が被教育者に一方的に押しつけられるために生じる心理的抑圧の問題が存在しているケースも少なくない。いずれにせよ、教育に対する「思い入れ」の強さがそのまま「思い込み」の強化に転じてしまう愚から脱する必要がある。</p> <p>上記のような立場を基本とする本講義は、教育的営為に関して、視野を拡大して把握し直せるとともに、柔軟かつ根本的な発想の転換が図れるような力量を涵養しながら、受講者なりの見識を醸成し創造的に論じられる力を育成することを主目的とする。そのための学習支援戦略は、主に以下の三つである。</p> <p>第一に、大前提として、授業構成を「一般教養の一分野としての教育を学ぶ」という発想と「教育を切り口として教養概念を問い直す」という発想との二本柱で成り立たせ、両者を交差させながら展開する。これにより、表層的には学校に焦点化されがちな教育問題の背景には、家族・地域社会・組織等における人間関係や各種メディアの影響などが複雑に絡みあっており、深みと広がりのある心理社会的問題が存在していることを確認する。</p> <p>第二に、「教育現場において生じる問題及びその背景」に効果的に迫っていくための手法として、教育問題を「教育の論じられ方の問題」として扱うことを出発点にして、教育学的知識や実践事例などを参照しながら、教育について多角的に検討することにより、受講者が抱えがちな諸々の固定観念を流動化させていく。特に、教育イメージを子どもや学校だけに限定しないとともに、それを「教える－教わる」関係から解放することにより開かれてくる様々な可能性および課題について考察していく。</p> <p>第三に、「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」を考える際に、「教えこみ」から「学びあい」への転換こそが、教育実践として有効であることを、単なる知的理解としてだけでなく、体験的に味わってもらおう。具体的には、受講者どうしでペアやグループを組み、お互いの話を傾聴しあう実習を行うことなどにより、親や子ども達、悩みを抱えた教師などに対する接し方を実感してもらい、コミュニケーション問題の解決に不可欠なスキルの基本を経験できるように配慮する。</p>					
成績評価方法	<p>学期途中と学期末とで2回程度レポートを実施し、それらを基本として成績評価する。この際、単に「こなす学び」の域にとどまらずに、「創り出す学び」の域に達しているかどうか、評価ポイントの一つになる。なお、授業出席等の日常的要素は、原則的に加点要素として扱う。</p>					
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 佐藤晴雄・佐々木英和 社会教育経営実践論 放送大学教育振興会 978-4-595-32315-7 講義内容に沿う形のプリントやパワーポイント等も配布する。</p>					
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30830	S	現代教育論	橋本 和幸	心理・教育学	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>教育・学校心理学 現代教育論 この授業では、「教育現場において生じる問題及びその背景」と「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」について、授業担当者の実務経験に基づいて説明する。 授業担当者は、スクールカウンセラーや教育相談所相談員という教育領域の心理臨床家（心の専門家）としての実践経験が有る。 具体的には下記の内容を取り扱う。 1. 教育現場において生じる問題及びその背景 いじめ、不登校、学業不振など。 2. 教育現場における心理社会的課題及び必要な支援 教育現場における社会心理的課題：友人関係、発達障害、精神疾患など。 学校内の支援体制と方法：教員による教育相談、スクールカウンセラーなど。 学校外の支援体制と方法：教育委員会、医療機関など。</p>					
成績評価方法	<p>学期中にレポートの提出を求める。レポートと期末試験の成績を総合的に評価する。</p>					
教科書	<p>プリントを配布する。／Will distribute handouts</p>					
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30025	S	教育臨床心理学	小堀 彩子	心理・教育学	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	臨床心理学概論					
授業の目標概要	臨床心理学は、多様な学派の理論をもとに、心理的援助を求めるクライアントの生活の質の向上をめざす学問である。臨床心理学を理解するためには、精神分析学、精神医学、認知行動科学、認知・発達・社会などの心理学諸分野の知識が不可欠である。本講義では、特に児童・思春期におこりやすい心理的問題や疾患を例にあげながら、臨床心理学の基礎となる理論や治療法について説明し、学生に臨床心理学の基本を理解してもらう。					
成績評価方法	期末試験（対面）60%、授業への参加度（リアクションペーパー）40%の配分で評価する。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31112	S	教育臨床心理学	石垣 琢磨	心理・教育学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	臨床心理学概論					
授業の目標概要	臨床心理学は、多様な個々のクライアントの具体的福祉向上をめざす、実践（心理臨床）のための「学」である。しかし、それを学問体系として、あるいは、科学として理解するためには、精神分析学や精神医学とならび、認知・発達・社会などの心理学諸分野の知識が不可欠である。本講義では、「発達」をキーワードに、「臨床心理学の成り立ち」についての理解を目的とする。					
成績評価方法	今回の講義では、学生諸君自身の身近な問題を題材に検討していきたいと考えている。					
教科書	期末試験を行う。					
ガイダンス	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 齋藤憲司・石垣琢磨・高野明 大学生のストレスマネジメントー自助の力と援助の力 有斐閣 978-4-641-17456-6 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31255	S	教育臨床心理学	前田 基成	心理・教育学	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	臨床心理学概論					
授業の目標概要	近年、いじめや不登校の問題行動のほか、自然災害や犯罪被害に関連して心のケア、カウンセリングということが社会的に注目されている。本講義では心の健康である精神保健、適応論と不適応、中学生・高校生の青年期に見られる問題行動などについて、その心理的メカニズムを臨床心理学の基礎知識に基づいて学習する。					
成績評価方法	定期試験（期末試験）による。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

総合科目D 人間・環境

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30363	S	環境物質科学	佐藤 守俊	化学	火 2	1年 文科 理科
講義題目	物質循環と環境化学					
授業の目標概要	環境問題は近年、高濃度汚染による局地的な被害（いわゆる公害問題）から低濃度汚染による地球規模の慢性被害へと、質的に変化を遂げてきた。環境中に排出された化学物質はどのような挙動をとり、どのような運命をたどるのであるか。そのことを考える際、忘れてはならない事は、もともと天然においても化学物質は動いているのであり、地球上での循環・滞留を繰り返しているという事である。 本講義では、環境化学・地球化学の立場から、環境中における種々の化学物質・元素の自然の分布とそれに対する人為の影響について検討する。具体的なテーマとしては、CO ₂ による地球温暖化、フロンによるオゾン層破壊、酸性雨などについても取り上げる。					
成績評価方法	定期試験で評価する。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30801	S	生態学	土畑 重人、 鈴木 準一郎	生物	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	生態学					
授業の目標概要	生態学は、身近な環境での生き物の生活史から、地球レベルでの生物圏の挙動や物質循環に至るまで、広いスケールを対象にする。同時に、個体内の遺伝的多様性、個体レベルでの種多様性、個体群（集団）や生物群集の動態と多様性、そして物質循環とエネルギー流を示す生態系に至るまで、多段階の階層性を持つことになるので、生態学の理解は多岐に渡り、一筋縄ではいかない面がある。しかし、それが自然界で生活している生き物と生態系の実態であり、生態学を学ぶ面白さでもある。 本講義の初回は生態学とはどのような学問かを紹介した後、前半（担当、鈴木）には主に植物生態の視点から、日本の自然の特徴／環境と生物の応答／環境条件と生物群集／陸域のバイオーム／生態系での物質とエネルギーの流れ／土壌の生態学などを地球温暖化の影響を考慮しつつ解説する。後半（担当、土畑）には、生物群集と多種共存の機構／生物の個体数変動／自然選択と生活史の適応進化／性選択と血縁選択／種間の相互作用と共進化／生態的過程と進化的過程の相互作用などを解説する。 全体として、基礎科学としての生態学だけに留まらず、人間社会との接点に位置する自然環境や生物多様性の保全、そして生態系への人為的負荷と地球環境への視点など、応用的な側面も併せて講義する。					
成績評価方法	成績評価は上記試験の成績を主資料とし、各回の事前課題・フィードバック（ITC-LMS 上で行う、任意）の提出については副資料とする。 上記に関して疑義がありましたら、土畑（dobata@g.ecc.u-tokyo.ac.jp）までメールをください。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30364	S	社会環境論	小田 隆史	人文地理学	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	自然と人間の関わりから考える災害と防災の地理学					
授業の目標概要	本講義では、自然環境と人間社会の関わりに着目し、災害に対する脆弱性、被災、支援、復興、教訓伝承と次なる災害への備えなど、一連の災害過程にみられる諸問題を、教員の専門である地理学的な視点を中心に多面的・多角的に理解していくための見方・考え方を習得することを目標とする。東日本大震災をはじめとする国内外の災害を取り上げる。授業内容のより詳しい説明は初回授業時に行う。					
成績評価方法	最終課題 その他、平常点（通常課題等）					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30223	S	社会生態学	永田 淳嗣	人文地理学	月 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>熱帯・亜熱帯地域の人文地理学 東アジア、東南アジアの熱帯、亜熱帯地域における、社会変容、資源利用、開発と環境の問題などを、具体的な事例に則して考えるとともに、人文地理学の基礎的な視点や方法論を学ぶ。 期末試験による。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30831	S	社会生態学	武者 忠彦	人文地理学	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>都市について地理学的に考える グローバル化や情報通信技術の進展、新自由主義政治の台頭などを背景に変わりゆく現代都市について、地理学的な見方や方法論を用いて多角的に考察することを目標とする。 レポート課題および演習問題によって評価する。試験は実施しない。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31113	S	地域生態学	森島 濟	人文地理学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>低緯度地域の自然環境と環境変化 気候は、緯度や海陸分布、標高といった気候因子の影響を受けて地域性を持ち、それに関連して人間が利用可能な自然資源にも差異が生じている。気候もまた変動し、人間社会はそれに対し、短期的にも、長期的にも適応しようとして続けている。本授業では、低緯度に広がる乾燥気候帯、熱帯気候帯にみられる多様な自然環境に着目し、その水資源や関連農業に関する、現地調査やモニタリング調査を題材に、地球環境の変化、火山噴火などの自然災害、資源を活用するための技術の導入がもたらす地域の変化に目を向け、地域生態の理解を深めることを目標とする。 課題レポートの提出によって評価する 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30171	S	人間行動基礎論 (理科生)	本吉 勇	心理・教育学	月 3	1年 理科 2年 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>心理学概論 人間は、環境から受け取った光や音の情報をもとに、外界のモノや出来事を認識し、過去の記憶や与えられた状況に応じて適切に反応し、また他の人間と相互作用することができる。このすぐれて知的な能力はすべて脳の情報処理によるものである。認知科学(cognitive science)とは、心理学・神経生理学・情報工学が密接に結びつきながら、その仕組みを解明し制御することをめざす巨大な学問領域である。 本講義では、多くの錯覚デモや模擬実験を体験しながら、知覚、認識、記憶、感情、思考、意識、社会性といった、人の心の基本的な仕組み及び働きを支えている脳情報処理の原理原則と、その背後にある生理学的・計算論的メカニズムの基礎を学ぶ。それによって、進化と学習が生み出した優れた情報処理マシンとしての脳と人間を理解するための知識と視点を身につけることをめざす。人工知能や脳信号解読を含めた脳工学技術や心理学の成り立ちにも触れる。 試験の成績、出席、その他の提出物、をもとに総合的に評価する。 (新型コロナウイルスの感染状況等により変更することがある) 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30026	S	認知脳科学	四本 裕子	心理・教育学	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	神経・生理心理学 認知脳科学、認知心理学、神経科学に関する幅広い分野の基礎を学ぶ。脳機能の各種測定法、脳刺激法を学ぶとともに、脳の構造やはたらき、脳の発達、感覚・知覚、記憶、睡眠など、さまざまな人間の認知的側面とそれに関連する脳のはたらきについて学ぶ。基本的な内容と合わせて、最近の研究によって明らかになった知見を紹介し、認知脳科学についての幅広い理解と興味をうながすことを目標とする。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	筆記試験 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30256	S	認知脳科学	石金 浩史	心理・教育学	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	神経・生理心理学 <目標> ・「脳神経系の構造及び機能」を説明することができる。 ・視覚の特性とその神経科学的基盤を説明することができる。 ・「記憶、感情等の生理学的反応の機序」を説明することができる。 ・「高次脳機能障害の概要」を説明することができる。 ・脳と心の関係を調べる実験的技法を研究に应用できる。 <概要> 本講義では様々な精神機能の実現に深く関与する「脳」を研究対象とする神経科学分野に関して、いくつかのトピックを選び、基礎的な知識から最新の知見まで紹介する。この分野は心理学・生物学をはじめとして医学・工学・物理学等が結集してその解明に突き進んでいる学際的なフロンティア領域であり、幅広くその応用が期待されている。そして、脳研究の知見は「我々がいかなる存在であるのか」ということを垣間見せてくれる。授業では「心の諸特性」とそれを司る「脳のメカニズム」がどのような実験手法で解明されてきたのかを、視聴覚教材を用いて体験しながら学ぶ。講義では、まず、脳が実現している私達人間の視覚・記憶・感情などの心的特性を学ぶ。また、脳神経系の構造及び機能を学んだ上で、視覚特性を説明する視覚系の概要や記憶・感情等の生理学的反応の機序を理解する。また、高次脳機能障害の概要を学び、そこから示唆されたことを証明した実験研究などを紹介する。さらに、心理・生物データの特性や標準的な科学的取り扱い、およびそれらに基づいた論理展開や解釈の仕方にも勉強した上で、原著論文のデータを交えつつ、「ニューロンの活動」から「皮質レベルの活動」、そして「行動や意識」のレベルにいたるまでの「脳」と「心」の関係を包括的に理解することを目指す。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	学期末試験により評価を行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30224	S	適応行動論	香田 啓貴	心理・教育学	月 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	人間の行動と心の進化についての生物学的理解					
授業の目標概要	<p>人間とは何か。根源的な問いに対して我々はどうのように探求すべきだろうか。教養学部はこの大問題に対して多様な方法論で究明するための研究者が結集した学際部局であるが、本講義では生物進化、とりわけ霊長類進化の視点でこの問題に迫る。今確認できる全ての生物は、同じ時間を経過して現在の種の形で生物進化を果たしている。生物種としての「ヒト」は、その進化の連続性の中で成立しており、身体や脳の設計、我々が営む社会構造に至るまで、ヒト固有と思われる生命現象も、全て生物進化の上で成立したと考えると良い。化石の痕跡に残らない行動や心といった現象も、生物進化の痕跡といえるだろう。こうした生物進化の視点で、心や行動の進化適応性を考慮し、それを理解する学問は、人間行動進化学、また、心理を理解する学問は進化心理学と呼ばれ、最先端の学際的教養分野である。</p> <p>本講義では進化論が近現代の人間観・世界観に与えた影響を概観した後、進化生物学の基本的な概念を学習する。加えて、講師の専門である霊長類進化に関わる最新の知見を解説しながら、霊長類の生物特徴とヒトの固有性について理解し、人類の進化史を学ぶ。これらの内容を踏まえた上で、身体や脳の設計とその進化を考慮して、そこから生じる行動と心について、ヒトとヒト以外の動物との共通性や相違点などの様々な例を挙げて、その進化について学習する。扱う主題としては、ヒトの言語や文化、社会の進化や養育行動などを想定している（講義の進捗や時折挿入する雑談などによって話題を多岐にわたって展開する）。「人間とは何か」という大きな問題に対し、従来の人文科学や社会科学にはなかった新しい文理融合的アプローチによって迫りたい。</p> <p>本授業の履修にあたって進化学の知識は前提としない。必要な概念についてはその都度解説する。</p>					
成績評価方法	期末試験(70%程度の選択問題と 30%程度の記述論述形式)による。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 長谷川寿一・長谷川真理子・大槻 久 進化と人間行動 第2版 東京大学出版会					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30669	S	社会行動論	北村 英哉	心理・教育学	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>社会・集団・家族心理学</p> <p>本授業は主に専門領域で言えば、心理学、なかでも社会心理学領域の講義を柱とし、家族心理学を補う。社会心理学は人間関係、集団関係の心理学領域であり、三面記事的な「社会」とは異なる。人間についても、自然法則、経済法則などといった他の分野と同様、あるいは独自の形で法則性が見られ、心理学とは人間を科学的に研究・解析してその法則性を樹立する学問分野である。イメージとしては行動科学、人間科学、認知科学といった用語の方が適合するかもしれない。一方、常に社会との関係性をも意識し、広く人文科学と社会科学をつなげる領域総合的な観点を有することも社会心理学の利点と魅力である。社会心理学分野は多岐にわたり、個人の行動分野から対人行動、自己、対人相互作用、集団過程、集合現象、家族関係など広く、経済学や政治学とも密接な関係をもつ隣接分野である。本講義は全体に目配りしながら、「対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程」、「人の態度及び行動」、「家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響」など、「公認心理師」の社会・集団・家族の選択科目分野が学べるような講義になっている。</p> <p>人間関係は誰もが一生経験し、どのような職業についても無関係であることはなく、しかしながら単なる「人間関係のノウハウ」のような通俗本に取り上げられているものとは異なる。その知見は、実験や調査などの実証研究を土台とし、定義された専門用語によってはじめて正確に描写、記述することができるきわめて専門的な知識である。その専門的知識は深めるほどに個人の独創的・創造的な応用によってより深く、鋭く日常と接続し、本人の技量にしたがって一生役立てていける知識基盤となる。そして重要なのはそれは自分ためだけでなく、他者のためにもなり、またそれは結局ひいては自分のためであることを利他行動の授業回において明確に示すであろう。また心理学は一般に方法の学問と言われるように、その内容だけでなく、研究方法、知の獲得の仕方に特徴と味わいがあり、物の見方の学習こそが一生用いていくことができる最も応用可能な点である。</p> <p>心理学は題材として人間を俎上に載せ、またその人間のひとは他でもない自分自身であるだろうが、だからと言ってそれは学ばずして十分理解できるものでもなく、そのパースペクティブを獲得することがなければ一生気づかずに過ごしてしまう貴重な知見を豊富に含んでいる。とりわけ進化的なパースペクティブや体内物質、遺伝についての知見は、自分自身で気づくには圧倒的に不可能なアイデアであったり、鋭く実証的な科学的知見であったりする。そもそも統計解析を重視する心理学にあって、人と環境の交互作用は知見の中心であるが、人は直観的に「交互作用効果」が理解できるように頭脳がしつらえられていない。これはきわめて現代的な進展であり、そうした学問の進展は生涯学び続けなければ、どんどん古びてしまうものである。</p> <p>世間で心理学や人間について誤った言説が溢れているのは人が容易に新たな知見を学習しないからであると言っていい。受講者は一生にわたってこれらの知識を現代人として更新して行ってほしい。そういう意味で本講義の目標はよりよい現代人になることであり、基本的な人間の性質というものへの感受性を高め、その捉え方についてより科学的なスタンスを自分自身に確立させることを目標とする。</p>					
成績評価方法	<p>期末試験によって70点、小課題を1回行い10点満点の採点を行う。</p> <p>リアクションペーパーを小レポートと捉え、各回2点を標準とする。初回の説明を参照。質問紙調査参加による加点もある。</p>					
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook</p> <p>北村英哉・大坪庸介 『進化と感情から解き明かす社会心理学』 有斐閣</p>					
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

スポーツ・身体運動実習		開講区分	S	
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。			
授業計画	第1回 種目選択（対面で実施予定：集合場所は教務課 HP や ITC-LMS で連絡する） 第2回から第13回 選択した種目での対面授業 天候等により授業実施場所が変更となることもあるので、9号館前の掲示板や UTOL のお知らせをよく確認すること。			
授業の方法	以上の授業計画は変更となることがある。その場合は UTOLS を使って連絡する。 第1回目の授業で種目選択を行う。各曜限の開講種目とその内容は種目選択の際に説明するが、身体運動科学研究室ホームページ（URL は後述）にも掲示する。希望者多数の場合は抽選となり、履修できない場合があるので注意すること。 基本的には選択した種目の実技を中心に授業が展開されるが、ルールの説明、技術の解説、研究内容の紹介など、講義の要素もある。実技と講義のバランスは種目や授業回により様々である。 ゴルフでは、東大検見川運動場でのラウンド実習が行われ、3回分の出席となる（詳しくは種目選択時に説明がある）。			
成績評価方法	出席：スポーツ・身体運動実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。			
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN			
履修上の注意	実習形式であり、また選択科目であることから、原則として授業は全て対面式で行う。したがって、対面で授業を受けられることが履修の条件である。ただし、雨天時の講義など実習でない部分についてはオンラインで実施する可能性もある。 種目選択後のキャンセルや種目変更は特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。 同一セメスターに2コマ登録することは可能であるが、希望者多数の場合は1コマ目の登録者が優先的に履修できる。 同一セメスターに3コマ以上登録することは認めない。			
学習上のアドバイス	必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。 盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内の Web シラバスを閲覧するには ECCS クラウドメールへのログインが必要である。 種目担当教員のメールアドレスは ITC-LMS のお知らせに掲載予定である。			
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30172	月 3	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2年 文科 理科
30365	火 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2年 文科 理科
30670	水 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2年 文科 理科
30832	木 1	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2年 文科 理科
31114	金 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2年 文科 理科

スポーツ・身体運動実習 (メディカルケア)		開講区分	S
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解(肌でわかる・体感する)のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体管理・操作技術を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。		
授業計画	第1回目 種目選択(実施場所は9号館前の掲示またはUTOLを参照すること、オンラインとなる可能性もある) 月3、火2、水2、木1、金2のいずれかでスポーツ・身体運動実習の種目選択に参加し、希望するメディカルケアコースの登録をする。出席できない(できなかった)場合は担当教員にメールで連絡する。		
授業の方法	第2回目以降 各自の選択した曜限での授業(原則として対面授業だが、一部はオンライン授業となる可能性もある) 各自の状況に応じて、各自に合った運動を処方して行う。 毎回目誌をつけて、自己の状況を確認する。		
成績評価方法	出席:身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席(遅刻、早退、見学を含む)はきわめて重視される。 達成度:各自が選択したコース・実技種目と共通基礎実習に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。		
教科書	その他:態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。 教科書は使用しない。/Will not use textbook		
履修上の注意	書名 著者(訳者) 出版社 ISBN 実習形式であり、また選択科目であることから、原則として授業は全て対面式で行う。したがって、対面で授業を受けられることが履修の条件である。ただし、ガイダンスなど実習でない部分や一部の実習についてはオンラインで実施する可能性もある。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。		
学習上のアドバイス	基本的には健康診断等で保健センターから指示された者が受講するが、本人の申し出があって担当教員が認めた場合は受講できる。また学期途中でも運動に制限が生じた場合はメディカルケアコースに移動すること、また回復により元の授業に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談すること。 盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。		
関連ホームページ	後述する関連ホームページ内のWebシラバスを閲覧するにはECCSクラウドメールへのログインが必要である。 https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30027	月 1	スポーツ・身体運動実習 (メディカルケア3)	実技担当	2年 文科 理科
30257	月 5	スポーツ・身体運動実習 (メディカルケア1)	実技担当	2年 文科 理科
30303	火 1	スポーツ・身体運動実習 (メディカルケア3)	実技担当	2年 文科 理科
30589	水 1	スポーツ・身体運動実習 (メディカルケア2)	実技担当	2年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30833	S	身体運動科学	八田 秀雄	スポーツ・身体運動	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	運動生理生化学					
授業の目標概要	<p>運動におけるエネルギー代謝の知識を得て、それを日々の運動による健康増進や競技のトレーニングに役立てる日常的に運動をすることの重要性を理解する</p> <p>生きていることはエネルギーを生み出していることである。そしてエネルギーは基本的には糖や脂肪からミトコンドリアが酸素を利用してATPの形で生み出されている。運動時にはさらにエネルギー必要量が高まる。そこで本講義では運動時を中心に糖や脂肪がどう代謝されているのかを中心にして、運動時における体内の変化を学ぶ。運動することはエネルギー消費量が高めるが、それだけが運動の効果ではない。運動を継続することで体内の状況をよくすることができる。エネルギー代謝の知識を活かし、今後の健康維持にどのように運動を取り入れていけばよいのかを学ぶ。また健康増進だけでなく競技におけるエネルギー代謝に関する内容も話題として取り上げる。</p> <p>また乳酸及び運動と疲労に関する内容も多い。乳酸は糖からできるエネルギーであり、老廃物ではなく、無酸素状態からできるものではない。乳酸ができるから疲労するのではなく、むしろ疲労するような運動をしているので、それに対処するためにできるのが乳酸である。</p> <p>世の中脂肪燃焼がよくいわれるが、あるサプリメントを摂ったからといって脂肪がどんどん減るようなことはあり得ない。運動で代謝を高めるから脂肪が減るのである。また運動では必ず糖を利用するが、糖を利用することは無駄なことではなく、糖尿病の予防になり、結果としては脂肪の減量にも結びつく。そこでこの講義でのもう一つの柱は、おかしな健康情報がいかに多いのかについても学ぶことである。お茶を飲むだけで脂肪が減るかのようなおかしな情報を鵜呑みにせず振り回されない姿勢＝メディアリテラシーを身につけることも。本授業の目標である。</p> <p>自分自身のことだが、本年度で定年となることから、これまでを振り返るような内容も付け加える予定。</p>					
成績評価方法	<p>レポート 2回が主体 それに若干の平常点を加える予定</p> <p>レポート</p> <p>中間（6月初め締め切り予定） 期末（7月後半締め切り予定）</p> <p>ITC-LMS にファイルをアップロード</p> <p>ファイルはできるだけ pdf にし（ワードは可）、図などの使用も可</p> <p>内容は講義内容に関連していること（全般のまとめ、自分のトレーニングを考える、関連した論文内容から考察する他）分量、内容も含めて大人の判断</p>					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30098	S	健康スポーツ医学	福井 尚志	スポーツ・身体運動	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	健康スポーツ医学					
授業の目標概要	<p>現代生活では身体を動かす機会が少なくなったことで健康がさまざまに障害されることが多くなった。糖尿病、高血圧、脂質異常症、心臓病、脳血管障害などの生活習慣病がその代表であるが、肩こりや腰痛も運動の不足と関連している。これらの健康障害を改善しまた予防するためにスポーツがすすめられる。一方、スポーツを過度に行ったことでかえって健康を害する人もいる。運動のしすぎによって病気になり、あるいはスポーツ中に怪我や障害を負うことも少なくない。スポーツ障害の原因は何か、予防のために何をすればよいか、また障害が起った場合スポーツ復帰のためにどういうことをすればよいかを考え研究するのがスポーツ医学である。本講座では内科、整形外科、精神科、産業医、歯科の専門家から現代人が知っておくべき健康医科学、スポーツ医学などの医学的知識および健康に関する知識を学ぶ。</p>					
成績評価方法	<p>筆記試験（講義を分担する教員がそれぞれ出題する）</p> <p>教員によっては出席状況も考慮して評価する場合がある。</p>					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30305	S	身体運動メカニクス	竹下 大介	スポーツ・身体運動	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	スポーツ動作を科学する 身体運動メカニクスでは、身体と運動をキーワードに、特にスポーツ動作について、自然科学的な研究成果を体系的に講義する。この授業では、通常、健康であれば意識外に追いやられる「身体や運動」について再認識し、それを自然科学的観点から直視して深く考えること、そしてダイナミックなスポーツ動作の成り立ちをバイオメカニクスの観点から理解することを目的とする。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	出席点とレポート プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30259	S	情報メディア基礎論	渡邊 英徳	情報メディア委員会	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	本講義では、情報を“ストック”／“フロー”化するメディアとしての「データビジュアライゼーション」と「デジタルアーカイブ」を作成しながら、情報とメディア・社会の関わりについて考えます。 できごとは、多様な人々の視点を内包しています。多面的な資料を“ストック”した「デジタルアーカイブ」は、できごとの実相を伝えていくための基盤となります。そして「データビジュアライゼーション」によって、アーカイブ化された資料の内容が視覚化され、コミュニケーションが創発して“フロー”が生まれます。 本講義ではまず、各人（各チーム）が定めたテーマに沿ってデータを収集し“ストック”します。次いで、2D/3D 地図に情報をマッピングし、データビジュアライゼーション／デジタルアーカイブを作成します。そして“フロー”化の実践として、成果物をウェブ公開します。 授業では、GIS ソフトウェア「ArcGIS」、3D 地図作成サービス「Re:Earth」を使用します。また、随時、データビジュアライゼーションとデジタルアーカイブの最新動向についてレクチャー（ゲスト講師含む）を行ないます。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	1) 情報を“ストック”し、“フロー”化するメディアとしての「データビジュアライゼーション」と「デジタルアーカイブ」のありようを学ぶ 2) ArcGIS, Re:Earth などの使い方を学び、今後の学習・研究において活用していく素養とする 3) レクチャー（ゲスト講師含む）を通して、デジタルアーカイブ・情報メディアについての最新の知見を身に付ける。 出席：50% 成果物：50% で評価します。チーム作業とした場合は、各人の貢献についても評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30260	S	科学技術基礎論 II	渡部 麻衣子	哲学・科学史	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	科学技術とジェンダー 科学技術の実践に参加する女性が少ないという現状は、なぜ生じ、それはなぜ問題なのでしょう。この授業では、1999年に米国で出版され、2002年に翻訳書が出版されたロンダ・シービンガーによる著作『ジェンダーは科学を変える！？』を教科書に、国内外の最近の事例を挟みながら、科学技術とジェンダーの関係を学びます。ジェンダーという視座は、科学技術が「社会における多様性（共生社会）の実現」とどのような関係を持つ営みであるのかに関心を持ち、理解を深めるのに有効な基点となるでしょう。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	出席：50% 小レポート：20% 最終レポート：30% 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook ロンダ・シービンガー（小川真理子、東川佐枝美、外山浩明訳） ジェンダーは科学を変える？医学・霊長類学から物理学・数学まで 工作舎 4-87502-362-6 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31257	S	現代倫理	高橋 哲哉	哲学・科学史	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		赦しと和解の現代倫理 国家、民族など集団間の抗争によって生じた傷をいかに克服し、和解にもたらずか。20世紀末以来のグローバル化によって世界に広がったこの問題は、罪と罰、責任、復讐と赦し等をめぐって、現代倫理の一大テーマでもある。ホロコースト（ショアー）から植民地主義の再審まで、戦後世界の歴史を背景に、ハンナ・アーレント、カール・ヤスパース、ウラジーミル・ジャンケレヴィッチ、ジャック・デリダらの哲学的思考を辿り、この問題に導入する。イスラエル・パレスチナの問題まで至るのを目標とする。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		学期末試験を予定する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31455	S	フェミニズム科学論	飯田 麻結	教養教育高度化機構	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		本講義は、科学的な知の生産におけるフェミニズムの視点を、女性科学者の歴史的な位置づけだけでなく、科学の客観性・価値中立性に対する批判、生殖技術の発展、AI/AL 研究に代表されるデジタルな領域を含む同時代的な事象、人新世などの新たな思想的潮流との接続といった側面から取り上げる。この講義を通じて、学生は科学的言説におけるジェンダーの非対称や権力関係についての理解を深め、その研究対象としての「身体」がどのように形づくられてきたのかに関して考察する力を身に付けることが期待される。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		毎回のコメントシートと、中間・期末レポートによって評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30366	S 1	システム論	福永 アレックス	情報・図形	火 2, 金 2	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		システム論 「システム」とは、相互に影響を及ぼしあう要素から構成されるまとまりや仕組みであり、その概念は分野横断的に幅広く応用されている。例えば、国や企業等の社会システムはたんなる人の集合ではなく、複雑な社会システムである。一方、インターネット等の複雑な人工物も、たんなるコンピューターの集合でなく、「システム」である。本授業ではこのような複雑なシステムを理解、構築、操作する為に役立つ汎用モデル化技術を紹介する。一方、これらのモデル化技術の本質的な限界についても考察する。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		レポート（期末レポート、中間レポート） 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31436	S	現代工学基礎 I	加藤 浩徳	工学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	国際プロジェクトと社会イノベーション わが国は戦後から 70 年以上が経過する間、急速な少子高齢化など多様な社会構造の変化を経験し、国内経済の様々な仕組みが曲がり角を迎えていることを受けて、近年多方面で構造改革が叫ばれている。一方でグローバル化の進展とともに人・カネ・モノ・情報が国境を超えて容易に移動するようになり、世界標準（グローバルスタンダード）が押し寄せてくるとともに、地球環境問題のようにグローバルスケールで取り組むべき課題も山積している。持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向け、これからは、コミュニティのような地域社会で貢献できる人材とともに、国際社会で活躍できる人材が求められている。工学は、このような国際的課題を解決するための技術を生み出し、それが活用される社会的条件を踏まえながら実践的に課題解決に取り組む学問である。なかでも社会基盤学は、環境・エネルギー問題、自然災害、貧困や格差といった国際社会の様々な問題に対し、人類社会を支える技術を基礎とした社会イノベーションを構想・実践してきた。本講義では、国際機関や企業と協力して先進国・途上国の課題に取り組む教員が、自身が参画する具体的な国際プロジェクトの事例を紹介しながら、社会基盤学からみた現代工学のあり方を議論する。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	出席および、事例講義のレポートにより成績評価を行う。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31439	S	現代工学基礎 I	杵淵 郁也	工学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	流体工学入門 -流れが拓くものづくり- 液体や気体の「流れ」を理解し制御する工学分野である流体工学は、生体内の血流のような微小なスケールから航空機や更には海洋の流れのような巨大なスケールまで様々な対象に展開され、科学技術による豊かな社会の実現に貢献している。本講義では、一見とらえどころのない「流れ」の運動を取り扱う流体力学の基礎を解説した後に、流体力学が活用されている様々な工学応用のトピックスを紹介する。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	出席とレポートにより評価する。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31437	S	社会システム工学基礎 I	羽藤 英二	工学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	東京のインフラストラクチャー 東京は世界有数のメガシティである。単に巨大であるだけでなく、緻密なインフラシステムを有する先端性、日本最大の城下町江戸の血を引く歴史性、豊かな海に面し繊細な地形と川に恵まれた 自然性など、多様多彩な特徴や魅力を潜在的に備えたユニークな大都市である。同時に幾度も深刻な災害に襲われ、その都度再生してきた復興都市でもある。本講義では社会基盤を構成するそれぞれの専門学術領域の立場から東京のインフラストラクチャーを論じることを通じて、現代都市を構成する社会基盤と都市そのものを理解し考えるための視座と機会を提供するものである。					
成績評価方法	1)課題内容：2回のレポートの合計によって評価します(各50点)。1～13 までの講義において、それぞれレポート課題が提示されます(講師が講義中に課題を指示します。感想を書かせる場合もあります)。分野1-2で課題を一つ、分野3-4で課題を一つそれぞれ選んで、レポートをA42枚をLMSに提出。100点満点で採点。2回提出された場合のみ、成績評価の対象となりますので、注意してください。なお、3回以上の提出は認めません。					
教科書 ガイダンス	2)提出方法：レポートは、原則として、ITC-LMS上にpdf形式で提出するものとします。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31438	S	社会システム工学基礎 I	田尻 清太郎	工学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	「建築空間のデザイン&リサーチ」 建築学の扱う範囲は多岐に渡り、意匠、計画、歴史、構造、構法、材料、環境といった全ての分野が、現実の社会と密接に関係している。建築学の目的は、これら諸分野の技術を統合し、様々な社会的な課題を空間的に解決したり、新しい建築空間の創造を通じて、来たるべき社会のあり方を指し示すことである。本授業は、建築学、そして建築実務における諸分野の専門家による多様な講義を通じて、建築における最新の研究事例、また建築が直面する様々な現代的課題や、それらに対する具体的なアプローチ、解決手法を学ぶことを目的とする。					
成績評価方法	各回のレポートを担当教員が採点し、総合して成績を決定する。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31440	S	総合工学基礎 I	小野 靖	工学部	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	核融合実験基礎講座－人工太陽は創れるか？－ 海中の重水素の原子核を融合して無尽蔵のエネルギーを得る核融合エネルギー開発は、いわば人工太陽の研究といえます。エネルギー問題の最終解と位置づけられる人工太陽＝核融合開発は、ようやく実用炉が見渡せる段階となり、現在、工学実証のための国際熱核融合炉 ITER を建設する一方で、その先にある経済性の高い原型炉の開発が進み、この数年はベンチャー企業まで生んでいます。 この授業は、講義と実験を組み合わせた「新しいタイプの核融合エネルギー開発の入門授業」といえます。 講義では、核融合炉の原理、特に核融合炉の心臓部である炉心プラズマ閉じ込めと関連技術について理解を深めると共に、軽水炉に対抗しうる経済性の高い核融合炉実現へ進むための最新の研究動向について紹介します。 また、専門に進むための入門実験として東京大学本郷の核融合プラズマ閉じ込め実験を実際に体験し、プラズマの振る舞いについて考えてもらいます。美しく輝くプラズマの挙動を観察し、考える中で、核融合エネルギー開発の現状と将来について理解を深めていただければ幸いです。					
成績評価方法	7月27日、28日は2日間をかけた学生実験を行います。27日冒頭には授業で教えた範囲について30分程度の確認テスト（要勉強）も行います。評価は7月27日の確認テストと出席、実験レポートで行います。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31445	S	生体医工学基礎 I	宮田 完二郎	工学部	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	バイオマテリアル入門-医療への貢献 今日の生物工学や遺伝子工学、医療工学などの目覚ましい発展により、従来の医療では困難であった疾患の早期発見や再生医療、遺伝子治療などの高度先進医療も現実のものになり始めています。工学の領域でも、このような医療福祉に対する社会的要請に応じて、医用材料、すなわちバイオマテリアルの研究・開発が注目を集めています。この講義では、高度先進医療を支える先端バイオマテリアルについて様々な角度から紹介し、工学と医学・生物学の融合により切り拓かれる未来型医療について、皆さんと一緒に考えていきます。バイオマテリアルの入門として、バイオマテリアルの基礎から最先端研究までを紹介します。					
成績評価方法	レポートおよび出席					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31450	S	生体医工学基礎 I	南 豪	工学部	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 化学生命工学基礎</p> <p>授業の目標概要 「化学」によって我々は自らの創造力を駆使し、自然界に存在する分子を手本に、自然界にはない方法で新たな機能を持つ分子や美しい構造を次々に生み出すことができます。 「生命」は化学物質の変換を精妙に行い自律的に活動を続ける複雑なシステムです。生命を「化学」の視点で眺め、理解することは、我々自身を深く知ることになるのはもちろんのこと、生命現象を巧みに操り、役立てるという目標につながります。 21世紀の人類社会がかかえる課題解決のためにはや欠かすことが出来ない「化学」と「生命工学」、そして両者の融合による「化学生命工学」。「化学生命工学」は我々の生活にどれくらい浸透し、我々の明日をどのように変え、未来に貢献していくのか？ これらの領域が果たす役割の重要性と魅力について、各講師が日本・世界の動向や、時に最新の成果も交えながら分かりやすく紹介します。 本講義では、有機化学、合成化学、触媒化学、グリーンサステナブルケミストリー、高分子化学、超分子化学、分子生物学、生化学、タンパク質工学、細胞工学、酵素工学、抗体工学、糖鎖工学、ケミカルバイオロジー、バイオイメージング、創薬、などのトピックについて扱う予定です。 化学生命工学科のホームページ(http://www.chembio.t.u-tokyo.ac.jp/)から本講義の紹介・最新情報のページにアクセスできます。</p> <p>成績評価方法 2回のレポートの提出と受講態度により総合的に評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。/Will not use textbook</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31448	S	環境・エネルギー工学基礎 I	西林 仁昭	工学部	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 最先端化学を理解する化学基礎</p> <p>授業の目標概要 現在、化学が取り扱う範囲は、環境やエネルギーなどの分野に加え、バイオ、医学、およびエレクトロニクスなど幅広い領域に広がっている。その結果、従来の化学の基礎のみでこれら最先端化学を理解することが困難になっている。そこで、本講義では、最先端化学を理解するために必要な化学の基礎を学ぶことを目的とする。触媒、高性能電池、自己組織化、ソフトマテリアル、分析デバイス、一分子バイオ、分子設計、人工光合成、有機エレクトロニクスなど最先端の高度な化学を理解するための基礎を学ぶ。</p> <p>成績評価方法 出席点とレポート点による総合評価 →毎回の出席（65点）として、講義の感想を提出すること（ITC-LMSの課題で提出） →レポート（35点）は興味を持った講義を1つ選び、その内容に関して独自に調査してA4用紙2枚程度にまとめて提出すること。締切は7月16日火曜日（締切は最終講義より1週間後、ITC-LMSで提出）</p> <p>教科書 教科書は使用しない。/Will not use textbook</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31441	S	環境・エネルギー工学基礎 I	小野 靖	工学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 エネルギー環境論 —サステナブルな社会は実現できるか—</p> <p>授業の目標概要 エネルギーは我々の日常から最先端の科学技術まですべての人間活動を生み出す根元といえます。エネルギーなしに考えられる技術は何一つ無いことは明らかですが、そのエネルギーをいかに作りだし、輸送し、制御して、人間が使いやすい形で利用していくかはまさに今世紀の最重要課題といえます。システムの構築次第で社会全体が効率的に働いたり、逆に危機に際して大混乱に陥ることも想定され、社会活動や地球環境を決定する第一義の技術なのです。この講義ではそのエネルギー・環境技術の現状はどんなものか？未来技術はどうあるべきなのか、最新技術はどこまで進んだのか？数人の教官が体系的な講義を行います。エネルギー発生では火力、原子力、核融合、太陽光、風力、シェールガス・オイル、バイオマス、燃料電池、エネルギー輸送では超高压送電、水素エネルギー、スマートグリッド、電力貯蔵ではSMES、エネルギー利用ではエネルギーシステム、交通システム、電気自動車、環境保全技術・・・等々、新聞を賑わす最新技術がどんなものなのか、各分野の専門家による講義とプリンストン大学教授の特別講演を含む、一部英語を織り交ぜた授業で理解を深めてもらう予定です。</p> <p>成績評価方法 評価は期末試験と出席で行います。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。/Will not use textbook</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31449	S	環境・エネルギー工学基礎 I	伊藤 大知	工学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 授業の目標概要</p> <p>化学システム工学入門 一次世代社会のための化学と材料ー 本科目では、化学システム工学の基本的な考え方を理解するために、人間社会が直面している課題（エネルギー、気候変動、環境汚染、安全とリスク、超高齢化社会など）を取り上げながら、化学システム工学の方法論がどのような解決策を提示できるのかについて講義と議論を行います。 特に、エネルギー変換化学、環境化学、環境安全学、材料デバイス工学、医用工学の分野を取り上げ、各分野で最先端の研究を行っている工学部化学システム工学の教員が講義を行います。</p> <p>成績評価方法 教科書 ガイダンス</p> <p>出席 および レポート提出 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31446	S 1	環境・エネルギー工学基礎 I	白岩 隆行	工学部	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 授業の目標概要</p> <p>環境・基盤マテリアル入門 我が国を支えてきたものづくり、すなわち製造業やその技術の発展には、経験や感覚を要する職人の育成はもとより、そのプロセスの根幹となる原理原則に則った技術革新もまた重要である。多くの材料や製品は原料から素材を作り、合成・加工することにより生産されているが、製品寿命を終えると循環されるという持続可能な新たなものづくりシステム構築も促進されつつある。中でも、ベースメタル、セラミックス、ポリマーなど社会の基盤を支えるマテリアルの循環システムやその機能が我々の生活にもたらす影響は非常に大きい。マテリアル循環プロセスにおいては古くは公害、今は CO2 問題、資源・エネルギー問題と枚挙に暇がなく、人類の持続的繁栄に直結している。また、密かに進化し続ける鉄鋼材料が、スカイツリーやゲートブリッジの出現をもたらし、ボディの高強度軽量化による自動車の燃費や安全性を大きく向上させている。 これらのプロセス技術やパフォーマンス設計を支える学理を体系化した学問領域が、環境・基盤マテリアル工学である。物質や材料を取り扱う工学の基本であり、教養学部で学ぶ物質科学を広くベースにしている。 本講義では、入学直後の皆さんが高校で学んだ物理や化学の知識から、環境・基盤マテリアル工学を通して、自然現象からものづくり技術、パフォーマンス設計、そして持続可能社会への繋がりを理解することを目標とする。その近道として、ものづくりのベースとなる熱力学や力学の基本を理解した上で、社会を支える基盤マテリアルの創成やその循環プロセス設計について、実例を交えて紹介する。</p> <p>成績評価方法 教科書 ガイダンス</p> <p>出席および講義時間中に課すレポート 2 回 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31457	S	ヘルス・サイエンス概論	小西 祥子	医学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 授業の目標概要</p> <p>ヘルス・サイエンスへの招待 人の健康にまつわる様々な問題を解決するためには、生命科学・行動科学・情報科学・社会科学などの多様なアプローチを統合した学際的努力が必要です。そのためには、生化学・生理学・解剖学・遺伝学などの生命現象の基礎をなす学問だけでなく、疫学・生物統計学・医療倫理学・精神保健学・医療経済学・人類生態学・国際保健学・人口学などの保健・医療に関わる応用学問の実践が不可欠です。本授業では、医学部・健康総合科学の教員が行っている健康社会の実現を目指した実際の研究活動事例を通して、現代が抱える「ヘルス・サイエンス」の問題と将来展望について学びます。</p> <p>成績評価方法 教科書 ガイダンス</p> <p>試験 100% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31458	S	看護学概論 I	仲上 豪二朗、麦 田 裕子、高橋 聡明、阿部 麻里	医学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>生きることを支える科学 高度に医療技術が発展してきた現代社会では、逆説的ではあるが、疾患を抱えたまま生活する者は多くなり、また、健康への様々なニーズが顕在化してきている。このような社会では、従来の医学モデルでは解決できない様々な課題が生じ始めてきている。特に少子高齢化が高度に進んだ日本においては、この社会を看護学モデルで扱い新たな対処方法を構築することに対する社会的期待が高まっている。つまり、生きることを支える学問である看護学は、人々の健康問題を、身体的、精神的、社会的、霊的に捉えることで、より人々に適合したケアを提供することが出来る。本講義では、看護学の概要と特徴を提示し、今日的な健康問題を解決するための最新の研究成果を紹介することで、今後の看護学発展による国民の健康向上への道筋を議論する。</p>					
成績評価方法	<p>各回の授業への出席および各回で提示するレポート課題より評価する。 成績評価対象となる条件は、レポートが授業全 13 回中 9 回以上提出されていること。 【出席評価】履修登録期間中の授業（第 1 回、2 回）は遅刻・欠席の場合も出席点は減点対象にならない（出席点の評価は第 3 回以降の授業で行う）。 【レポート評価】毎回の授業内で提示される小レポートにより行う。レポートは授業に出席した回に限り提出することができる。課題内容および提出方法の詳細は、授業内で各授業担当講師が説明する。原則として、UTOL での課題提出、提出期限は</p>					
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31476	S	環境と生物資源	宮下 直、安田 仁 奈、鈴木 牧、藤 田 剛、瀧本 岳	農学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>生物多様性と保全 いま、地球環境は激変の時代にあり、生態系の劣化や生物種の絶滅が急速に進んでいる。これは我々人類にとっても重大な問題となっている。水、土、大気、食糧、どれをとっても我々の生活に不可欠であり、そうした「自然の恵み」を抜きにして人類の将来を語ることはできないからである。本講義では、特に生物の豊かさを意味する「生物多様性」に焦点を当て、それが維持されている仕組みや、劣化の実態とその背景要因、生物多様性の保全や再生、そして持続的な利用の在り方の視点から、生物と人間社会の関係性を語る。</p>					
成績評価方法	<p>具体的には、最初の 2 回で講義全体の枠組みを概説した後で、生態学の基本理論に基づいた生態系のダイナミズムを紹介する。次いで、海、山、里山といった現場に焦点を当て、それぞれの生態系の構造や機能、そこで起きている諸問題とその解決法を紹介する。そして最後には、生物多様性の価値について、それが生み出される仕組みも含めて「生態系サービス」の観点から論じる。</p>					
教科書	<p>レポートに出席点を加味 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 宮下 直・瀧本 岳・鈴木 牧・佐野光彦 生物多様性概論：自然のしくみと社会のとりくみ 朝倉書店</p>					
ガイダンス	<p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31477	S	食糧と環境	伊藤 直樹、岡田 茂、高橋 一生、 黒木 真理	農学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>海洋生物資源の特性と利用</p> <p>地球表面積の70%を占める水圏（海洋および陸水）は、潮干帯から沿岸、外洋、深海、熱帯域、極域、陸水に至る多様で変異に富む環境で構成される。そして、これらの水温、塩分、水圧等の大きく異なる棲息環境に、バクテリア、プランクトンなどの微小な生物から各種の無脊椎動物、魚類、大型ほ乳類に至る多種多様な生物が進化的に適応放散し、独自の生活史を発展させてきた。</p> <p>水圏には地球上のほぼすべての動物門が棲息しており、その多様性は陸上の比ではない。また、中には、水中での生活を可能にするため陸上生物では見られない特殊な器官やユニークな代謝経路を発達させた種も多い。そして、これら多様な生物の相互作用により、複雑で豊かな生態系が形成されてきた。このような水圏生態系にはまだまだ未解明の現象が多く、そこにこそ未知の利用可能性や新たな研究領域の発展可能性を秘めたフロンティアが存在する。</p> <p>一方、広大に見える水圏でも、そこに棲息する生物量は有限である。水圏生態系における物質循環および生物生産の仕組みを理解し、ヒトと水圏生態系の関わりあい方、および再生可能資源としての水圏生物の持続的有効利用のあり方を探ることは、これからの自然共生型の持続可能な社会を構築していくうえでの鍵となる。</p> <p>本講義では、水圏に棲息する生物およびそれをとりまく環境を対象に、(1)水圏環境および生態系内での物質循環と生物生産について理解すること、(2)食料資源、生化学資源、エネルギー資源などの観点から水圏生物の持続的有効利用に向けた知識を習得すること、を目標に授業を進める。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>出席状況および講義終了後に出される期末レポートの内容をもとに評価する。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31478	S	森林環境資源学	蔵治 光一郎、 FARAHNAK MOEIN、齋藤 暖 生、楠本 大、三浦 直子、水内 佑輔、 安村 直樹、藤原 章 雄、浅野 友子、鎌 田 直人、福井 大	農学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>森の成長、森と癒し、森と水</p> <p>世界の森林が危機的な状況にあり、植林によって環境問題に貢献していることをアピールする企業のCMがTVや新聞に頻繁に流されている。その一方で、日本の国土の68.5%は森林に覆われている。日本は世界有数の森林大国であり、森林は日本最大の「地主」である。さて、皆さんは、このような広大な面積をもつ森林の実態を、どれだけ知っているだろうか。</p> <p>高校までの生物や地理で、生き物としての樹木や森林に生息する動物、世界の森林の分布などを勉強した人は多いだろう。しかし森林の全体像を知るためには、森林内で何が起きているかを知る自然科学や、森林を取り扱うための技術といった「理系のアプローチ」だけでなく、森林の歴史、経済・経営、法制度、行政・財政といった「森林と人とのかわり」＝「文系のアプローチ」の両方をあわせて学ぶことが不可欠である。その意味で、森林は、東京大学前期課程の総合科目で学ぶ対象として最もふさわしい対象の一つである。</p> <p>森林を学ぶための場として、東京大学は、北海道、東京、千葉、埼玉、山梨、静岡、愛知の7県に、山手線の内側の面積の5倍以上の面積の森林を演習林として保有しており、その面積は、東京大学の全キャンパス面積の99%を占めている。</p> <p>本講義は、駒場キャンパスの教室で、東京大学を卒業して社会で活躍する皆さんが教養として知っておくべき「森林の基礎の基礎」についての講義と、演習林で開講する1泊2日のフィールドワーク（現地講義）をあわせて行うことで、森林を机上での学習と実体験により総合的に理解することを目的として開講する。フィールドワークでは、現場に常駐して教育研究を行っている教員の指導のもと、森林の現物に触れるとともに、教員と学生のディスカッションを行う。※受講人数は45名に制限します。受講希望者が45名を上回った場合はセレクションを行います。</p> <p>※講義室での講義を8回行い、別に、1泊2日のフィールドワークを行います。フィールドワークは以下の1～3から1つを選んで参加します。1～3にはそれぞれ定員がありますので希望の場所に行けるとは限りません。また、もし空きがあれば、複数のフィールドワークに参加することもできます。</p> <p>1. テーマ：森の成長 場所：千葉演習林（千葉県鴨川市） 日程：5月25日（土）、26日（日）</p> <p>2. テーマ：森と癒し 場所：富士癒しの森研究所（山梨県山中湖村） 日程：6月1日（土）、2日（日）</p> <p>3. テーマ：森と水 場所：生態水文学研究所（愛知県瀬戸市） 日程：6月8日（土）、9日（日）</p>					
成績評価方法	<p>講義室での講義の出席、講義のレポート、フィールドワークのレポートの3つの得点を合算して評価する。2つ以上のフィールドワークに参加し、それぞれレポートを提出した学生は、各フィールドワークのレポートの最高得点をフィールドワークの得点とする。</p>					
教科書 ガイダンス	<p>プリントを配布する。／Will distribute handouts</p> <p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31479	S	水と土の環境科学	西村 拓、高木 強 治、乃田 啓吾、細井 文樹、吉田 貢士、西 田 和弘、吉田 修一 郎、溝口 勝	農学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	食をささえる水と土の環境科学					
授業の目標概要	<p>2022年に80億人を越えた人口を養っていくためには、食料生産の維持・増大は欠かせない。主食である穀物の生産量が、灌漑農地面積に比例して造材してきたことは、我々日本人が当たり前と思っている「水」を「土」にどのように与えるかで食料生産が左右されることを示している。</p> <p>2015年9月の国連サミットで採択されたSDGsを達成するためには、自然環境との調和を図りつつ食料生産の基盤を整備するとともに快適な地域空間を創出する必要があるが、これは容易ではない。特に、植物の生育に不可欠な水と生態系存立の基盤である土、さらに地域空間における物質循環に関する科学と技術が不可欠である。</p> <p>この講義では、食料生産、いわゆる農業について、生産効率向上の工夫や持続的な農業生産に関する課題を紹介するとともに農業に関連して生じている様々な環境問題やそのメカニズムを社会的背景と物質循環についての基礎知識やモニタリング技術を含めてわかりやすく解説する。</p> <p>この講義によって、普段気にしていない水と土を巡る物質循環の科学の私たちの社会・生活における重要性が理解できるようになることを期待する。</p>					
成績評価方法	出席を前提としてレポートで評価する。講義全体に関わる総合的な課題を1つだし、これについて各履修者がレポートを作成・提出する。提出期限は7月下旬を予定しているが、具体的な日付は講義開始時にアナウンスする。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31480	S 1	住環境の科学	青木 謙治、恒次 祐子、斎藤 幸恵	農学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	人と木と木造建築					
授業の目標概要	<p>地球温暖化などの環境問題に対し、木材の適切な利用を核とした資源循環型社会への移行が世界的に求められています。本講義では、森林資源から木造建築に至るまでの様々な観点で「人と木と木造建築」について学んでいきます。すなわち、木材の微細構造から基礎的物性などに関する基礎知識や、未利用資源あるいはリサイクル利用に関する社会科学的な分野の基礎知識等を学び、木材を有効活用してつくられる製材・木質材料（集成材・合板・繊維板等）の特徴や、木造住宅・中大規模木造建築に至るまでの生産・流通などについて学び、木造建築の設計に必要な基礎知識や様々な木造建築の事例、および居住空間等木材を使用した環境のアメニティ等について学習します。</p>					
成績評価方法	各教員における出席点とレポート点を集計して評価する。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31489	S	心身の実践科学	佐々木 司	教育学部	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>現代の社会を生きる心身の知恵</p> <p>この授業は、急速に変化する現代社会を生きていく上で、またそのような社会の中で相互扶助による貢献を第一義とする市民的エリートとして成長するために不可欠な心身の実践科学とその知識について、理論と実践両面から学ぶことを目的とします。インターネットや SNS の急速な普及（四半世紀前にはこの世に存在しなかった）と情報氾濫、生活の24時間化・国際化、産業構造の変化、これらに伴う対人関係の変化など、現代のわれわれを取り巻く環境と状況は加速度的に変化し続けています。このような変化は、当然ながら、心身の健康、ストレス、学習に大きな影響を及ぼし、人間関係、将来設計、社会での適応のあり方、精神疾患などにも影響を及ぼしています。これらは学生の皆さんの現在の生活のみでなく将来の社会人としての活躍にも当然ながら深く関係する問題です。この授業では、教育学部身体教育学コースでの研究内容を紹介しつつ、生活習慣、学習、脳、精神医学、社会など様々な観点からこれらの問題について考えていきます。この中には、相談支援研究開発センターの教員が担当して行う、学生支援の実際した講義も多数含まれます。この講義での学習を通じ、学生生活における健康の維持・向上とともに、将来の社会での活躍のあり方について考えを深める上でも必要な知識とスキルを習得してもらえればと思います。</p> <p>なお平成 27 年度から開始された学生同士の相互扶助を目的としたピアサポートプログラムに参加希望の学生には、特に履修を勧めます。学生ピアサポーター（一定の研修プログラムを修了した本学学生を相談支援研究開発センター長が認定）として必要な基礎知識の習得に必須の講義が含まれます。当然ですが、それ以外の学生の履修も大いに、かつ平等に歓迎します。</p>					
成績評価方法	<p>毎回レポートを授業時間内に課す。 （成績はその評価によって行う。期末試験は行わない）</p>					
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

総合科目 E 物質・生命

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30367	S	振動・波動論	鈴木 康夫	物理	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>振動・波動論 音や光は我々が生存してゆく上で決定的に重要な情報を担い、音楽、美しい景色、絵画、写真と生活に喜びを与えてくれる。 音と光は共に波動現象の典型例であるが、我々の知的興味を引き付ける振動・波動現象は身近なところに数多く存在する。 たとえば、ブランコはどうして漕げるのだろうかとか、海の波はどうして波打ち際で砕けるのだろうかなど。 また、建造物や製品の設計においても、振動・波動の影響は欠かせない。 このように我々の日常と密接に関わっている振動・波動現象を、物理学の基本法則により根本的に理解することがこの講義の目的である。 その内容は古典的な場の理論の初歩を含み、引き続き量子力学、場の量子論を学ぶ者にとっては必須なものでもある。 主な項目は以下の通りであるが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に*印のついた項目は省略される場合がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 序論 1 自由度系の振動 <ul style="list-style-type: none"> ・単振動 ・減衰振動 ・強制振動、共鳴、Q 値 *パラメーター励振 *簡単な非線形振動 連成振動 <ul style="list-style-type: none"> ・2 自由度系 ・基準振動、うなり ・N 自由度系 1 次元の波動 <ul style="list-style-type: none"> ・弦、弾性体、気柱 ・縦波と横波 ・波動方程式 ・反射と透過 *波のエネルギー *インピーダンス フーリエ級数、変換の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・考え方、基本事項、線形性 ・波束 ・位相速度と群速度 *不確定性関係 *6. 2, 3 次元の波 <ul style="list-style-type: none"> *波動方程式 *平面波 *球面波 *水の表面波 *反射と屈折 *干渉、回折 					
成績評価方法	定期試験の結果とレポートにより評価する。定期試験が 9 割ほどレポート評価は 1 割程度。授業の出席や演習問題は成績評価には影響なし。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 小川正男 振動・波動 裳華房 978-4-7853-2088-1					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31258	S	振動・波動論	深津 晋	物理	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>振動・波動論 音や光はわれわれの生存をかけた情報伝達を担う手段である一方で、音楽、美しい景色、絵画、写真などを通じて生活に潤いを与えてくれる。 音と光は波動現象の典型例であるが、意外に身近なところにも振動・波動現象は数多く存在する。 しかもそのいくつかはわれわれの知的好奇心をおおいかき立ててくれる。 たとえば誰かが知っているブランコ。どのようにすればうまく漕ぎ出せるのか、その原理は必ずしも自明でない。 また海の波が波打ち際で砕けてしまう現象もよく目にはするものの説明は容易でない。 実は、建造物や製品の設計においても振動・波動の影響への考慮が欠かせない。 このように日常と密接に関わる振動・波動現象の物理を根本から深く理解することがこの講義の狙いである。 なお、振動・波動の考え方は、場の理論の基礎をなすものであり、今後、量子力学、場の量子論等を学ぶ上で必須である。 以下に主な項目をあげるが、*印は省略される場合がある。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>期末試験と期間中に出題される課題による総合評価。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31116	S	相対論	大川 祐司	物理	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>特殊相対性理論 特殊相対性理論の基礎についての講義を行う。 相対性の概念、相対論以前の光の伝播の問題、相対論における異なる慣性系間の座標変換である Lorentz 変換、テンソルを用いた共変的な記述、相対論的な力学、Maxwell 方程式の相対論的共変性などについて、基本的に教科書に沿って講義を行うが、教科書がなくても理解できるように板書を行う。 高校で習う数学および物理学の知識を前提とし、大学で電磁気学を履修していなくても十分に内容が理解できるように講義を行う。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>定期試験 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 風間洋一 相対性理論入門講義 培風館 978-4563023218 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30262	S	量子論	筒井 泉	物理	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>量子論とは何か：その源泉と現代物理への流れ この講義では、量子論の幕開けから現代の量子物理学・量子情報科学に至る道筋を概観し、相対性理論と共に現代物理学を支える量子力学の基本的な構成と物理的な意義について、自然なかたちで理解することを目標にしている。人類の伝統的な自然観に基づく19世紀までの古典物理学では何が問題として残されていたのか、そしてこれを解決するために、どのような過程を経て20世紀初めに量子力学が構成されることになったのか、さらにそれから百年を経た21世紀の今日に至るまでにどのような発展があったのかについて、時代を追って説明を行う。これらの講義を通して量子物理学とは何かを知り、その基礎と根柢にある革新的な自然観をできるだけ正確に習得できるようにしたい。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>レポート課題の答案提出による成績評価。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30834	S	統計物理学	堀田 知佐	物理	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		<p>統計物理学</p> <p>統計物理は、自然界の身近なマクロな現象をマイクロなレベルから解き明かす、現代物理学の基礎的な学問である。鉄は何で磁石に引かれるのだろうか？ゴムは良く伸びるけど、手を離せばもとに戻ってしまう、そんな身近な疑問も、分子、原子、電子といったマイクロな構成要素が 無数に集まって統計的にどう振る舞うかを定式化すれば 簡単明瞭に理解することができる。</p> <p>熱力学では抽象的なマクロ変数をもとに熱平衡という概念を扱った。その際にエントロピーという一見正体不明の物理量が出てきただろう。</p> <p>ところが統計物理の言葉では、そのエントロピーの正体も少数の原理を仮定するだけで、実に明快に定義することができるのである。</p> <p>また最近、多くの場面で話題になる機械学習やデータ解析、量子情報などで扱われる話題は、統計力学的な素養と深い関係にある。</p> <p>本講義では、統計物理の枠組みを初歩から理解し、そのうえでゴムや磁石などの問題を具体的に取り上げ、物理学の面白さを知ってもらい、また物理的なものの見方を理解してもらおうことを目標にする。</p>				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>定期試験をもとに評価する。場合によってはレポートを学期内に課すこともある。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30368	S	現代物理学	押川 正毅	物理	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		<p>複素解析と物理学</p> <p>「虚数」を含む複素数を考えることによって複素解析という美しく豊かな数学が生まれる。</p> <p>人間が直接観察できる現象は自然数や実数で表現されるようにも思われるが、量子力学に代表されるように、物理学でも複素数が本質的に重要となる。本講義では、複素解析のさまざまな応用を通じて物理学のいくつかの興味深いトピックを議論する。</p> <p>なお、2022年度と2023年度の「現代物理学」は立川裕二氏 (Kavli IPMU) が担当したが、今年度は2017～2019、2021年度に続き押川が担当する。</p>				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>レポート提出による。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31117	S	物理科学 I (文科学)	守田 佳史	物理	金 2	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要		<p>理論物理学の技法</p> <p>理論物理学の技法を実験結果の理解および(量子)デバイス操作を念頭に学ぶ。</p> <p>その過程でサイエンス、とくに古典/量子物理の基礎を身につける。</p> <p>そして現代(そして未来)のテクノロジーとの関連も議論する。</p> <p>基礎から学ぶので予備知識はなくても入り口にはたてます (が、その場合、その先ではそれ相応の自習も要求されます)。</p>				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>成績は数回のレポートをベースに決定する (ので、期末テストは行わない予定です)。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30369	S	物質化学（文科生）	青木 優	化学	火 2	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	<p>科学リテラシーを身につける一助としての現代化学入門 「化学」は、様々な物質の構造、性質、反応性を学び、研究する「自然科学」の一分野として発展してきた。本授業では現代化学の基礎を、身近な物質や社会問題と関わるトピックスを通して解説する。数式は最小限にとどめ、図や表を使うことで「化学の基礎的な考え方」を視覚的に理解できるような講義を目指す。 取り上げる具体的な項目として以下を予定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 原子の構造と性質 2. 分子の構造と性質 <ul style="list-style-type: none"> ・分子の形と化学結合 ・原子・分子の観測 3. 集合体の状態について <ul style="list-style-type: none"> ・水・二酸化炭素の化学 ・集合体の状態とエネルギー 4. 化学反応について <ul style="list-style-type: none"> ・化学反応と化学熱力学 ・アンモニアの合成 ・オゾンの生成、破壊 5. 化学物質の機能と社会への活用 <ul style="list-style-type: none"> ・グラフェン、カーボンナノチューブ、フラレン ・有機半導体 					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>課題レポート（授業期間内の3回と最終レポートの計4回）で評価する。（予定） プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31475	S	基礎方程式とその意味	濱口 幸一、 蘆田 祐人	理学部	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>基礎方程式とその意味を考える 物理学がもつ「基礎方程式」（基本法則といってもよい）を掘り下げその意味を考える。本講義の前半では、現代物理学の大きな柱である量子力学を扱う。後半では、拡散方程式と波動方程式を軸にして、物質やエネルギーの流れを記述する方程式を扱う。基本的事項を学んだのち、教科書では必ずしも扱われない、いくつかの興味深い話題に焦点を当て深掘りする。特に、拡散方程式や波動方程式と、量子力学・非エルミート物理・くりこみ群・機械学習との関連について考える。</p>					
成績評価方法	<p>成績評価は前半と後半を合わせて行う。 前半パートは5/28(火)実施予定の中間試験により評価を行う。 後半パートはレポートにより評価を行う。</p>					
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31474	S	分子化学概論	大栗 博毅	理学部	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	分子化学概論／Introduction to Molecular Chemistry					
授業の目標概要	ナノテクノロジーやバイオテクノロジーなどの新しい技術の出現と発展により、物質や生命が機能するしくみを分子レベルで理解し、制御することが可能になってきています。しかし一方で、化学を基盤とした基礎科学や応用科学が急速に発展していく中で、高校化学と専門課程の化学に求められる基礎知識とのギャップが広がりつつある。本講義では、将来、化学のみならず生命科学や物質関連科学を志向する1・2年生に必須となる最新の化学の考え方を、理学部化学科の教員がわかりやすく解説します。この講義の目的は、学部初年次のレベルから化学研究の最前線に至る道筋を明らかにすることです。 /With the emergence and advancement of new technologies such as nanotechnology and biotechnology, it is becoming possible to understand and control the mechanisms by which materials and living organisms function at the molecular level. However, as basic and applied sciences based on chemistry continue to rapidly develop, the gap between high school chemistry and professional chemistry courses is widening. In this lecture, faculty members of the Department of Chemistry in the Faculty of Science will clearly explain the latest concepts in chemistry, which are essential for first and second year students who aim to study not only chemistry, but also life sciences and material-related sciences in the future. Our goal is to reveal the pathway from the level of a first-year undergraduate to the forefront of chemical research.					
成績評価方法	出席および試験による。詳しくは講義中に説明する。					
教科書	授業中に指示をする。/Will specify at class time					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31491	S 1	化学薬学概論	浦野 泰照	薬学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ケミカルバイオロジー I (化学からみたケミカルバイオロジー)					
授業の目標概要	医薬を創製し、人類の健康を守ることは薬学の大きな目標の一つである。この目標のために、薬学では、生体や疾患の仕組みを解明するための研究、薬や毒などの物質と生体との相互関係を解明するための研究、生体に有用な物質を創製するための研究などが、互いに連携をとりながら日夜進められている。本講義では、薬学研究の中から主として有機化学あるいは物理化学研究を取り上げ、これらの研究が新薬の創製にいかにか重要であるかを平易に解説する。					
成績評価方法	レポート提出と授業態度(出席等) レポート評価と出席は1:1の重みづけで成績付けをする。ただし、レポート2回の提出が無かったり、出席が全く無くレポートだけを提出した場合は不可とする。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30370	S	超分子化学	平岡 秀一	化学	火 2	2年 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>分子認識と分子自己集合 殆どの場合、分子は孤立して存在するというより、常に他の分子と相互作用している。特に溶液中では、必ず分子間における相互作用が存在する。このような分子間相互作用は分子骨格を形成する化学結合（共有結合）に比べても弱いですが、分子間相互作用が生命系の複雑な仕組みと深く関わり、秩序立ったシステムの形成・維持に寄与している。本授業では、ほぼ全ての分子間相互作用を扱い、さらに分子間相互作用の理解を深めるため、分子軌道により解釈される共有結合との比較も行う。</p> <p>水素結合やファンデルワールス力は分子間相互作用の一つで、高校化学の教科書でも取り扱われている。しかし、分子間相互作用について、いくつかの基本的な疑問がある。水素結合はどのような元素間で形成されやすく、なぜそうなるのか？DNAの塩基対は水素結合で形成されているが、ATペアよりGCペアの方が強いのはなぜか？単に水素結合の数だけで説明して良いのか？タンパク質はポリペプチドから形成され、アミド間の水素結合により一義構造へ折り畳まれるが、なぜアミド結合が選ばれたのか？なぜ水に溶けにくい物質は水を嫌って集合化するのか？また、水以外にこのような特性を示す溶媒は存在するのか？ファンデルワールス力は分子間相互作用の中で最も弱いですが、無視できるほど弱いのか？分子が自発的に集合し、秩序構造を形成する自己集合という現象は、生命システムの形成に欠かせないが、どうやって自己集合体が形成されるのか？自己集合も化学反応の一つだが、その反応機構は、一般的な化学反応と同じような考え方で解釈できるのか？</p> <p>本授業では、これらの問題について「分子間相互作用」というキーワードをもとに合理的に考え、結論を導き出していく。</p>					
成績評価方法	各回の講義の振り返りと期末試験により評価します。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 平岡秀一 溶液における分子認識と自己集合の原理 サイエンス社 978-4-7819-1403-9					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

基礎化学	開講区分	S
授業の目標・概要 成績評価方法 教科書 関連ホームページ	<p>「化学」は単に物質の名前を覚えたり、反応式を暗記するような学問ではなく、基礎的な概念に基づいて、多様な物質の構造や性質を体系的かつ包括的に扱う学問である。本講義では、高校で学んだ化学の知識を基礎として、化学が関わる身近な現象や最先端の技術を題材にしながら、その根底にある化学的な概念をできるだけ平易に解説する。これによって、化学の学問体系を大づかみに理解するとともに、化学の面白さを学ぶことを目標とする。また、本講義は、化学系の基礎科目や専門的な内容を扱う総合科目を学ぶための入門的な役割をもつ。本講義で扱う主な項目を以下に示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 物質の構成（原子の構造、分子の形成、固体の構造と物性、光と分子） 2. 物質の変化（熱力学の法則、化学平衡、反応速度論） 3. 有機化合物（構造と結合、有機電子論、分析化学、触媒化学） 4. 機能性分子と生体関連分子（高分子化学、超分子化学、核酸、タンパク質） <p>各担当教員の UTAS シラバスを参照の事。 その他。/Other 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN</p>	
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること		

時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30229	月 5	内田 さやか、井上 将行	1年 文科 理一(1-11)理二三(1-8)
30314	火 2	山口 和也、寺尾 潤	1年 文科 理一(12-18)理二三(9-12)
30777	水 5	桐谷 乃輔、江島 広貴	1年 文科 理一(26-32)理二三(13-16)
31065	金 2	高鍋 和広、滝川 浩郷	1年 文科 理一(33-39)理二三(17-20)
31228	金 5	山田 鉄兵、野崎 京子	1年 文科 理一(19-25)理二三(21-24)

有機反応化学		開講区分	S
授業の目標・概要	<p>理科生はクラス指定された曜日・時間帯で受講する。この科目では、有機化合物の構造・性質・反応・機構について学ぶ。以下に標準的な講義項目を示す。ただし、項目の順序や内容は各教員によって若干異なる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 序論 <ul style="list-style-type: none"> 物質化学における有機化学の位置づけ。 炭素が関与する化学結合 <ul style="list-style-type: none"> 炭素の原子価状態，正四面体モデル，混成軌道，電気陰性度と結合の極性 メタン，エチレン，アセチレンの分子軌道 (σ 軌道と π 軌道) 異性現象と立体化学 <ul style="list-style-type: none"> 異性体，立体配座，立体配置，不斉現象，キラリティー，RS 表示 有機化合物の性質 <ul style="list-style-type: none"> 分子間力，水素結合，分散力，酸と塩基，共役系，芳香族性 有機化合物の反応およびその機構 <ul style="list-style-type: none"> 脂肪族求核置換反応，脱離反応，付加反応，付加環化反応，転位反応，芳香族求電子置換反応，カルボニル化合物の反応 一次反応，二次反応，反応中間体，反応遷移状態，化学平衡 目的化合物の合成 <ul style="list-style-type: none"> 逆合成解析，生理活性物質の合成，機能物質の合成 		
成績評価方法 教科書	<p>担当教員の UTAS シラバスを参照の事。 その他。/Other 書名 著者 (訳者) 出版社 ISBN</p>		
関連ホームページ			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30002	月 1	中室 貴幸	2 年 文科 理一(11,13-18,22)理二三(10-13,19,22)
30776	水 5	阿部 郁朗、森 貴裕	2 年 文科 理一(1-3,5,8-10,19,27-29,32)理二三(1-4,7,9,20-21)
31043	金 1	野本 貴大	2 年 文科 理一(4,6-7,12,20-21,23-25)理二三(16-18,23-24)
31064	金 2	岩崎 孝紀	2 年 文科 理一(26,30-31,33-39)理二三(5-6,8,14-15)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31442	S	物質・生命工学基礎 I A	竹中 充	工学部	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	半導体から AI・量子まで 現代の高度情報化社会は、パソコンやスマートフォンなどの個人のデバイスから、インターネットやデータセンターといった社会インフラまで、あらゆるレベルで半導体技術に支えられています。さらに、電気自動車の増加や太陽電池などの再生可能エネルギーの普及に伴い、電気エネルギーを制御するパワー半導体の役割もますます重要性を増しています。我々の生活は半導体に包まれ、現代社会のあらゆる面で半導体技術が基盤となっており、人工知能社会や量子情報社会の到来に伴い、さらにその重要性は増しています。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	本講義では、半導体の基礎物理やトランジスタの動作原理を学び、さらには光通信やそのための半導体デバイス、パワー半導体の最先端技術についても解説します。これらの基礎的な知識を深めることで、半導体がどのようにして我々の生活や社会に影響を与えているのかを理解します。 さらに、半導体が基盤技術となる人工知能 (AI) の基礎や最先端デバイス・回路、量子コンピューター・量子センシングの基礎についても探求します。これらの最先端技術がどのようにして半導体技術と結びついているのか、そしてそれらがどのように未来社会を形成するのかを理解することで、半導体を支える未来社会全体を俯瞰する視点を養います。 この講義を通じて、半導体の基礎から AI・量子技術まで、幅広い視野を持つことができます。そして、これらの知識を基に、未来の技術社会を理解することを目指します。 数回のレポートを課して、成績を決定する。期末試験は行わない。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31444	S	物質・生命工学基礎 I B	古澤 明、 小芦 雅斗	工学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	量子コンピューター入門 量子コンピューターの研究は、微細加工技術が進歩し、情報処理を担う「素子」が原子レベルに近づきつつある今日、当然の流れと言えよう。「素子」が原子レベルに近づくと、その動作はニュートン力学ではなく量子力学という運動法則に支配される。そこでは、アインシュタインとボーアの論争に代表されるシュレーディンガーの猫状態や EPR 相関（一種のテレパシー??）が実際に起こる。量子コンピューターでは、これらの摩訶不思議な「量子効果」を用いて、情報のやり取りや情報処理を行う。この講義では、量子コンピューターの原理と現状についての入門的な講義を行う。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	前半、後半それぞれの課題に対するレポートおよび出席状況を考慮して評価を行う。 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 宮野健次郎、古澤 明 量子コンピューター入門 日本評論社 978-4-535-78479-6 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30306	S	動物科学	道上 達男	生物	火 1	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	大学教養で学ぶ動物科学 本講義では、1年生で履修した生命科学 I 及び II の内容を踏まえた上で、動物の分類、機能、構造などに関する基礎的な内容を概説する予定です。具体的には授業計画に記載した内容（「キャンベル生物学原書 11 版」の 32-34 章、40-51 章に対応）を予定していますが、順序や区切りは変更される可能性がありますので、詳細は初回時に説明します。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	対面による試験を予定しています。また、1～2 回程度、簡単な小テストを実施するかもしれません。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30371	S	植物科学	末次 憲之	生物	火 2	2年 文科 理科
講義題目	植物科学					
授業の目標概要	植物科学の基礎的なことを学ぶ。植物の分類、形態、発生、生理反応などを概説する。					
成績評価方法	期末試験と講義の2、3回に一度程度で行う小テスト(計4回を予定)で評価。出席や授業態度も重視。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30802	S	植物科学	池田 啓	生物	水 5	2年 文科 理科
講義題目	植物自然史/Natural history of plants					
授業の目標概要	植物の生き様や多様な形を作る仕組みを学ぶことで、植物の多様性を体系的に理解できるようになることを目標とする。 植物の個体レベルで見られる生理現象(成長や環境応答など)の仕組みと植物の進化したプロセスを分子レベルまで還元して解説する。 The aim of this course is to gain systematic understanding on plant diversity. You can learn molecular mechanisms of physiological phenomena in plants and the evolutionary process of plants.					
成績評価方法	期末試験と小テスト。 ※主に期末試験の点数を元に評価する。小テストの結果を平常点として評価に加える。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30372	S	進化学	市橋 伯一、 土松 隆志	生物	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	進化生物学					
授業の目標概要	生物はどのように起源し、共通の祖先からいかにして多様化してきたのか。生物は変化し続ける環境にどのように適応し、多様な仕組みや形態を獲得してきたのか。進化学は、野外調査、進化実験、遺伝子情報解析、計算機シミュレーションなどの手法を駆使して、これらの問いに答えることを目指している。本講義では、ダーウィンによる自然選択理論や木村資生による分子進化の中立説といった現代進化学の基本的枠組みを解説した上で、生物のめくるめく進化の不思議を多くの具体例と共に解説し、その背景にある理論と方法論を理解することを目標とする。また、気候変動への生物の応答予測や工学への応用など、近年の進化学の多様な展開についても紹介する。					
成績評価方法	期末試験および毎回の google form による回答により評価する。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31118	S 1	現代生命科学 I (文科生、理一生)	矢島 潤一郎	生物	金 2	1年 文科 理一 2年 文科 理一
講義題目 授業の目標概要	現代生命科学 I 生命科学の進展は我々の予想をはるかに上回っています。それでも「生命とは何か」といった根本的な問題や、新型コロナウイルスへの対応等、解決すべき点が多々あります。社会に生命科学の知識を還元するためには、文系・理系の枠を超えた知の構築が必要となります。「生物学のようなサイエンスを暗記物にしてしまった」これまでの日本社会の風潮により、文系の人によるサイエンスの理解と理系の人によるサイエンスの理解が大きく乖離してきました。このサイエンスの理解の乖離が、1980-90年代以降、日本がより高い水準の技術立国へと躍進する機会に、官民が(結果として)正しい判断をできず、テクノロジーに関する競争力低下の一因という可能性があります。ウイルス操作技術・原子力の平和利用など、日本社会で科学的な議論が熟さないのもこうした理解の乖離が一因とも考えられます。本講義では、「生命とは何か」を考えつつ、知識偏重ではなく、物理や化学などの知識も総動員し、原理原則やメカニズムの理解から生命システム(の基礎)を理解する努力をしましょう。こうする取り組みで、「生物学を暗記物にしてしまった」ことで日本社会に残る多くの課題を払拭するヒントを得ましょう。					
成績評価方法	平常点と定期試験					
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40115	S 2	現代生命科学 II (文科生、理一生)	阿部 光知	生物	金 2	1年 文科 理一 2年 文科 理一
講義題目 授業の目標概要	植物が周囲の環境とどのように会話して形をつくるのか？ 植物の発生現象に関するさまざまな内容を理解することを目標とする。 植物特有の発生現象に焦点を当て、環境に応じて姿・形を変えていく植物の発生の面白さを学んでいく。単なる知見の紹介にとどまらず、研究の内容や歴史に触れながら講義を進めていく。					
成績評価方法	授業後の小課題と学期末のレポート課題によって評価する予定ですが、受講人数次第で変更する可能性もあります。変更の際は授業中にお知らせします。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 東京大学生命科学教科書編集委員会 現代生命科学 第2版 羊土社 978-4-7581-2091-3					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31473	S	現代生物学	種子田 春彦	理学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	現代生物学/Modern Biology 現代生物学の目標は、生命現象の基本原則(普遍性)と多様性がどのような仕組みで生み出され、また、それらがどのような過程を経て進化してきたのか、という問題について、本質的理解を得ることにある。このため多様な生命現象を対象として、分子・ゲノム、オルガネラ、細胞、組織、器官、個体、集団に至るさまざまなレベルで研究がなされている。本講義では、今まさに進展しつつある最先端の生物学について、その基礎と発展を学ぶ。具体的には、理学部生物学科で人類学・動物学・植物学の各分野を担当する教員が、それぞれの専門研究分野について概説した後、当該分野の最新の研究成果を紹介し、今後、解決されるべき重要課題について講義する。この講義を通じて生物学の面白さを見出し、人類発展における生物学の意義を考えてもらうことを期待している。					
成績評価方法	出席点を重視し、期末の試験と合わせて評価する					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31472	S	人類科学	井原 泰雄	理学部	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>人間の本質にせまる科学 生物としてのヒトをあつかう自然人類学の視点から、人類の進化、ヒトの特異性、現代社会におけるヒトの科学について学習し、我々自身に関する理解を深める。</p> <p>出席およびレポートにより評価する。</p> <p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 井原泰雄、梅崎昌裕、米田稷（編） 人間の本質にせまる科学：自然人類学の挑戦 東京大学出版会 978-4-13-062228-8</p> <p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31471	S	生物情報科学	豊島 有	理学部	水 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>生物情報科学 生命科学の最先端の分野である生物情報科学についての基礎をオムニバス形式で紹介する。生物情報科学研究に必要とされる生命科学と情報科学の双方の基礎的な知識と技術を習得する。</p> <p>この科目の評価方法は、原則、対面形式での期末試験と出席による。</p> <p>ただし、状況に応じてオンライン形式や、小テストの積み上げなどに変更になる可能性もあるので、ITC_LMS 上の掲示などに注意すること。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31490	S 1	生物薬学概論	三浦 正幸	薬学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>ケミカルバイオロジーⅡ（生物系薬学からみたケミカルバイオロジー） 医療が発達したといわれる現在においても、治療が難しいあるいは治療手段すらない病気が多く、これらの疾患に対する新しい医薬品の開発・創製（創薬）が切望されています。創薬の出発点は治療標的の同定、すなわち病気の鍵となる標的分子の発見とその作用機序の解明にあります。この理解に基づき医薬品の候補となる化合物（低分子有機化合物から生体高分子までを含む）を探索し、安全かつ有効な医薬品が開発されていきます。こうした研究には、「化学的観点あるいは化学的手法を用いて生命現象を解明すると同時に、生体機能を制御する学問分野」であるケミカルバイオロジーの視点が極めて重要です。</p> <p>病気は身体の中で日常的に営まれている正常な生命活動の破綻により惹起されます。つまり病気の理解のためには正常な生命活動のメカニズムを十分に理解することが不可欠です。実際、生命科学研究の進展により新しい病気の発症機構が次々と明らかになっており、生命科学研究の最先端が薬学研究のフロンティアでもあります。本授業科目では、ケミカルバイオロジーの視点から、生物系薬学分野での最先端の研究結果を織り交ぜながら紹介し、創薬への貢献について解説します。</p> <p>授業への出席とレポートの提出による。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30835	S	惑星地球科学 I (理科生)	黒川 宏之	宇宙地球部会	木 1	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要	地球惑星科学入門 I : 現在の惑星地球の姿 / Introduction to Earth and Planetary Science I: Planet Earth today 惑星地球科学 I・II を通じて、我々が暮らす惑星地球の姿およびその起源・進化を理解する。惑星地球科学 I では現在の地球の姿を中心に、その表層環境 (大気・海洋) と気候、内部構造 (地殻・マントル・核)、ダイナミクス、物質循環について解説する。地球をその他の惑星と比較しながら理解するため、太陽系や太陽系外の惑星系についても紹介する。 / Through Earth and Planetary Science I and II, we aim to understand the planet Earth on which we live, as well as its origin and evolution. Planetary Earth Science I focuses on present-day Earth, outlining its surface environment (atmosphere and oceans), climate, internal structure (crust, mantle, and core), dynamics, and material cycling. In order to understand Earth in terms of comparative planetology, other planets in the solar and extrasolar systems will also be introduced.					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	中間レポートと期末試験によって評価する。 教科書は使用しない。 / Will not use textbook 特に行わない。 / Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30099	S	惑星地球科学 II (理科生)	中村 尚、 升本 順夫	宇宙地球部会	月 2	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要	地球気候の形成・変動と大気海洋システム ノーベル平和賞にも輝いた 2007 年発表の IPCC (気候変動に関する政府間パネル) 第 4 次評価報告書は、地球温暖化と環境変化に関する社会の大きな関心と呼んだ。だが、2011 年の原発事故を経て、地球温暖化への日本社会の関心は一見低下したかに見えた。一方、実際 2018 年以降毎年の暖候期に経験したように、社会に大きな影響を及ぼす猛暑、豪雨・早魘 (寒候期の豪雪・寒波) などの異常気象への関心は防災・減災上の観点から益々高まりつつあり、異常気象と地球温暖化との関連性が依然として議論されている。実際、2023 年の平均気温は世界的に見ても我が国でもこれまでにない高温を記録し、北日本周辺でも記録的な「海洋熱波」を観測した。こうした折、一昨年夏 IPCC から第 6 次評価報告書が発表され、地球温暖化への関心が再び高まりつつある。ノーベル物理学賞に輝いた眞鍋淑郎博士が早くから予見した通り、人間活動による CO2 など大気中の温室効果気体濃度の急速な増加と地上気温の顕著な上昇傾向は紛れもない事実である。IPCC 評価報告書では、今世紀末までに顕著な温暖化が予測されており、海面上昇や海水域の顕著な減少、海洋の酸性化、中緯度大陸の乾燥化など、地球環境に及ぼす深刻な影響が懸念されている。国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成も、地球温暖化・気候変動問題の解決なくしては困難であろう。我が国でも原発事業が縮小される中、再生可能エネルギーへの移行が順調に進まない限り、温暖化リスクがさらに高まる可能性も否定できない。そうした中、2015 年末に「パリ協定」が締結されて地球温暖化に対する世界的な取組みが開始され、日本政府もようやくその方向に舵を切った。 このように、地球温暖化に対する様々な緩和策や適応策が採られつつある中、まず求められるのは地球気候の成立ちとその過去から現在に至る変遷、さらには温暖化のメカニズムと予測される気候の将来変化に関する科学的理解である。本講義の目的は正にそれであって、地球温暖化を環境問題として社会倫理の観点から論じたり、温暖化の事実や予測をただ受け容れた上でその対策について論じたりすることでもない。平均状態として温暖化しつつある大気海洋系も、内在する自然変動のために常に揺らぎ、過去に例のない極端な天候が生じやすくなっている。最新の研究により、温暖化シグナルがこうした自然気候変動パターンの変化として現れやすいこと、それ故に温暖化シグナルの地域予測にある程度の不確実性が不可避なこと、さらには 10 年規模の長期自然変動により地球温暖化が加速したり停滞したりすることなどが示唆されている。よって、気候系の自然変動や天候変動のメカニズムの理解を深めることも、温暖化した将来の防災・社会適合上の観点からも重要である。 本講義では、受講者が高校で地学を履修してこなかったことを前提とし、地球気候の成り立ちや大気・海洋の循環やその変動のメカニズムの基礎を解説したのち、地球温暖化やオゾンホールに代表される人為的気候変化のメカニズムや予測されている気候への影響について解説する。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	期末試験により行なう。詳細は 7/8 の授業で説明する。 教科書は使用しない。 / Will not use textbook 特に行わない。 / Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31470	S	地球惑星物理学入門	橘 省吾	理学部	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	物理で理解する地球惑星科学 地球惑星でおこる多くの現象は、物理学的なアプローチで研究されている。たとえば、気象は流体力学、地球内部は固体物理学、宇宙空間はプラズマ物理学、惑星形成は天体力学などを基礎としてさまざまに展開している。本講義では、このような物理学について基礎方程式を示すとともにその背景にある物理的意味を詳説し、具体的にそれがどのように最新の地球惑星物理学研究の中で使われているかを講義する。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	出席と期末試験。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30173	S	惑星地球科学実習	澤木 佑介	宇宙地球	月 3, 月 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	惑星地球科学実習 科学は自然現象の観察、データ収集とその取り扱い、解釈という三つの過程を経て論じられ、発展してきました。特に、地球科学は野外実習を通して体験的に科学を学ぶことができ、それらを身近に体験することのできる学問です。本実習では野外観察・室内実験・実習とその議論を通して、地球科学のみならず、科学的なものの考え方を学びます。 使用する道具や材料の数に限りがあるので、受講者希望者数が予定数(40人)を超えた場合は、初回授業時に抽選等による選択を行います。 月曜日、火曜日の2回同じ授業を行うので、いずれかの曜日を選択して下さい。また、本授業は3、4限の2コマ続きで行います。					
成績評価方法	実習・実験の参加状況、授業態度、レポートによります。 また、全出席が必須です。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 都城秋穂、久城育夫 岩石学1 共立全書 購入する必要はありません。					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30456	S	惑星地球科学実習	澤木 佑介	宇宙地球部会	火 3, 火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	惑星地球科学実習 科学は自然現象の観察、データ収集とその取り扱い、解釈という三つの過程を経て論じられ、発展してきました。特に、地球科学は野外実習を通して体験的に科学を学ぶことができ、それらを身近に体験することのできる学問です。本実習では野外観察・室内実験・実習とその議論を通して、地球科学のみならず、科学的なものの考え方を学びます。 使用する道具や材料の数に限りがあるので、受講者希望者数が予定数(40人)を超えた場合は、初回授業時に抽選等による選択を行います。 月曜日、火曜日の2回同じ授業を行うので、いずれかの曜日を選択して下さい。また、本授業は3、4限の2コマ続きで行います。					
成績評価方法	実習・実験の参加状況、レポート、授業態度によります。 また、全出席が必須です。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 都城秋穂、久城育夫 岩石学1 共立全書 購入する必要はありません。					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31021	S	宇宙科学 I (理科生)	諏訪 雄大	宇宙地球部会	木 5	1年 理科 2年 理科
講義題目 授業の目標概要	宇宙物理入門 / Introduction to Astrophysics 宇宙で起こる様々な現象は、物理を用いた観測や理論に基づいて理解が進んでいる。本講義では、こうした宇宙物理という体系の一端を体感するとともに、現在の宇宙観について学ぶことが目標である。 / Various phenomena occurring in the universe are being understood through observations and theories based on physics. The goal of this lecture is to experience a part of this system known as astrophysics, and to learn about the current view of the universe.					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	中間レポートおよび期末試験。 教科書は使用しない。 / Will not use textbook 第一回授業日に行く。 / Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30373	S	宇宙科学 II (理科生)	松原 隆彦	宇宙地球部会	火 2	1年 理科 2年 理科
講義題目 授業の目標概要	宇宙論の基礎と概要 宇宙は全体としてどのようなものなのか、どのようにして今の姿になり、どのような成り立ちをしているのかを明らかにしようとする宇宙論について、入門的な基礎と概要を講義する。私たちは宇宙の中でどのような場所にいるのか、現在までに明らかになっている科学的知識の範囲を学ぶ。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	各回の出席確認を兼ねた感想提出、および、期末試験もしくはレポート課題提出を元に評価する 教科書は使用しない。 / Will not use textbook 第一回授業日に行く。 / Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30225	S	宇宙科学実習 I	吉田 慎一郎	宇宙地球部会	月 4, 月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	コンピュータを使用した宇宙科学実習 この授業では、国内外の天体望遠鏡や宇宙望遠鏡による天体の観測データを用い、受講者が実際に手を動かして天体の物理的および天文学的情報を引き出す方法の基礎を学びます。また宇宙科学の理論に現れる基本的な方程式をコンピュータで解きながら簡単な数値計算手法を学びます。 場所:KOMCEE-EAST 5階 宇宙実習室					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	レポートによる。 教科書は使用しない。 / Will not use textbook 第一回授業日に行く。 / Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31222	S	宇宙科学実習 I	吉田 慎一郎	宇宙地球部会	金 4, 金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	コンピュータを使用した宇宙科学実習 この授業では、国内外の天体望遠鏡や宇宙望遠鏡による天体の観測データを用い、受講者が実際に手を動かして天体の物理的および天文学的情報を引き出す方法の基礎を学びます。また宇宙科学の理論に現れる基本的な方程式をコンピュータで解きながら簡単な数値計算手法を学びます。 場所:KOMCEE-EAST 5階 宇宙実習室					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	レポートによる。 教科書は使用しない。 / Will not use textbook 第一回授業日に行く。 / Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30226	S	宇宙科学実習 II	日下部 晴香	宇宙地球部会	水 3, 水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	宇宙科学の問題に対するデータ処理と数値計算 情報教育棟の計算機を使い、観測によって得られた星、星団、銀河、宇宙の大規模構造などの天文のデータ処理や、天体の運動に関する数値計算を、自ら行うことにより、現在明らかになっている宇宙像を認識する。また、それに伴いプログラミング言語やグラフィックスの初歩を学習する。データ処理や数値計算に必要なプログラミング言語の予備知識は特に要求しない。プログラミング言語には主に python を用いる。受講希望者が多数の場合は抽選を行う。1回目の授業で抽選に関する説明を行い、2回目の授業までに当選者を発表する。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	出席、実習課題、レポート課題によって行う。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31800	S	宇宙科学実習 II	日下部 晴香	宇宙地球部会	木 3, 木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	宇宙科学の問題に対するデータ処理と数値計算 情報教育棟の計算機を使い、観測によって得られた星、星団、銀河、宇宙の大規模構造などの天文のデータ処理や、天体の運動に関する数値計算を、自ら行うことにより、現在明らかになっている宇宙像を認識する。また、それに伴いプログラミング言語やグラフィックスの初歩を学習する。データ処理や数値計算に必要なプログラミング言語の予備知識は特に要求しない。プログラミング言語には主に python を用いる。受講希望者が多数の場合は抽選を行う。1回目の授業で抽選に関する説明を行い、2回目の授業までに当選者を発表する。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	出席、実習課題、レポート課題によって行う。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30263	S	惑星地球科学 I (文科生)	小宮 剛	宇宙地球部会	月 5	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	地球惑星科学概論 I / Introduction to Earth and Planetary Sciences 1 人類が生活する惑星地球の構成および進化の基本を理解する。地学の基礎を包括的に学ぶ授業として、惑星地球の全体像と進化を説明する。					
成績評価方法	学期末試験を授業の最終日に行う。またはレポートにする。 出席をとり、成績に反映させる。					
教科書 ガイダンス	出席は授業中に ITC-LMS を用いて小テストを行い、代行する。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30029	S	宇宙科学 I (文科生)	鈴木 建	宇宙地球部会	月 1	1年 文科 2年 文科
講義題目	天文学・宇宙物理学の基礎的内容 Introductory Astronomy and Astrophysics					
授業の目標概要	宇宙における天体現象が、現代科学の手法を用いてどのように理解されているのかを、自ら噛み砕いて把握することが、本講義の目標である。					
成績評価方法	期末試験 + 中間レポート					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31481	S	微生物の科学	勝山 陽平、川崎 寿、岩間 亮、宮 永 顕正、有岡 学、新井 博之、 福田 良一、水口 千穂、足立 博之	農学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	微生物のバイオテクノロジー					
授業の目標概要	バイオテクノロジーは、ヒト以外の生物、特に微生物が保持する様々な能力を人類のために役立てることを目的とした科学技術である。アルコール飲料の醸造に端を発するこの技術は数千年の歴史を持つ。現代では食糧生産、環境浄化、医薬品生産などを通じて社会を支える重要な科学技術である。また、最近では遺伝子組換え技術の発展に伴い、進化学や合成生物学、ゲノム編集といった新たな概念が生まれ、バイオテクノロジーの応用範囲は広がりがつつあり、持続可能な社会を構築する上で重要な技術の一つである。本講義では、バイオテクノロジーを支える主要な学問である応用微生物学を中心に、これが食糧、医薬そして学問の発展などに果たしている意義を、私たちが現在行っている研究を例に挙げつつ講義する。それを通してバイオテクノロジーの中身を正確に理解し、応用微生物学（バイオテクノロジー）と現代社会の関係を把握することを目標にする。					
成績評価方法	試験の成績を主（80点満点）とし、出席点（20点満点）も用いる。試験は、第2回授業以降の9人の教員が1問ずつ出題（ただし、勝山は各講義について1題ずつ出題予定）する中から、5問を選択して解答する。試験では、自分のノート（コンピューターでメモを取っている人は、そのプリントアウトは持ち込んでよい）、授業で配布した資料のプリントアウトのみ持ち込みを許可する。出席は、第4回授業以降の10回の授業で確認する。一回の出席を2点の出席点とする。その他の詳細は、第1回授業でのガイダンスで告知する。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31482	S	植物医科学	山次 康幸、 前島 健作	農学部	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	植物医科学概論 世界人口は、2050年には90億を突破すると予想されていますが、それを養う食糧生産の増加率は鈍り、人口増加率の半分にも達しません。そんな中で世界の食糧生産のうち三分の一が微生物病や害虫病、雑草害、生理病、気象害などからなる「植物病」によって失われていることはあまり知られていません。これは世界の飢餓人口を十分に養える量です。この危機的な状況を克服するには、植物を病気から守り、治療する研究を推進する必要があります。一方で、近年の環境問題への意識の高まりとともに、持続性の高い先端農業への転換が強く期待されています。農業や遺伝子組換え作物に変わりうるものとして植物圏微生物叢やゲノム編集作物などが注目を集めています。これら幅広い研究課題を担う学問分野が「植物医科学」です。植物医科学は世界が協調して取り組むべき開発目標 SDGs の17のゴールのうち、生産、陸上資源、イノベーション、エネルギーなど実に10のゴールに密接に関連する重要な研究分野です。 植物医科学は「植物基礎医科学」と「植物臨床医科学」の二つの側面を持ちます。植物病を防ぐには「なぜ植物は病気にかかるのか」という根本的な疑問についてメカニズムを徹底的に究明する必要があります。そのために最先端の分子生物学、ゲノム科学、AI、バイオイメージング、バイオテクノロジーなど多面的なアプローチにより日々研究が進められています。これらを含む学問領域が「植物基礎医科学」です。 一方、我が国だけで2万種類以上もある植物病を診断し、治療・予防する学問領域が「植物臨床医科学」です。この領域では、「植物基礎医科学」で得られた基礎的な知見を農業現場に活かすことを目的に、最先端の遺伝子組換え技術、ゲノム編集技術、バイオインフォマティクスなどを駆使して、植物病の診断・治療・防除・予防のための高度先端臨床技術の開発を行います。さらに、生産現場で発生する植物の病気を診断し治療する「植物医師」の養成と組織化を担う社会科学研究分野をも包含します。					
成績評価方法 教科書	本講義では、植物学、微生物学、分子生物学から社会科学までを含む極めて幅広い学問領域である「植物医科学」について、基礎から最先端にわかりやすくかみ砕いて紹介し、「植物医科学入門」の講義構成を心掛けました。植物・微生物・昆虫の関わりについて、分子レベルの課題から有機農業、ゲノム編集作物、環境保全など社会的課題に至るまで平易に紹介し、広く普遍的な生命現象を俯瞰できるように構成しています。この分野にはこれまで触れたことのない方々が多いと思います。この講義を通じて皆さんが日頃見過ごしているに違いない身近にたくさんある植物の病気や植物環境微生物に興味をもって頂き、食糧・環境問題にそれらが深く関わっていることを知って頂きたいと考えています。					
ガイダンス	テストと出席等により評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 難波成任 植物医科学(第2版) 養賢堂 9784842505848 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31483	S	応用動物科学 I	杉浦 幸二、片岡 直行、 武内 ゆかり、 田中 智、伯野 史彦、 伊藤 公一、村田 幸久、 三條場 千寿、清川 泰志、 後藤 康之、角田 茂、 松脇 貴志、高橋 伸一郎	農学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	動物生命科学へのいざない 哺乳動物が持つ複雑で多様な生命現象、新たなバイオテクノロジーについて最新の情報を含め、オムニバス形式で解説する。授業内容は、哺乳類生殖学・感染症学・ペットの問題行動・発生工学・記憶と学習・アレルギーの科学・栄養学・RNA学・ワクチンの科学などが挙げられ、広範な話題が提供される。					
成績評価方法	出席数と毎回の講義に関するレポートや講義内で行われるテストにて評価します。試験日を設けたテストは行いません。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31484	S 1	食の科学	山内 祥生、三坂 巧、喜田 聡、内田 浩二、東原 和成、鈴 木 道生、永田 宏次	農学部	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	食に関する生命科学 食は、ヒトの生命活動に不可欠であり、栄養素の供給のみならず、香りや味覚を介して感覚を刺激し、さらに体内において疾病の発症を遅延・予防する機能性も発揮する。また一方で、バランスを欠いた食生活は糖尿病や脂質異常症などの生活習慣病の原因になっており、生活習慣病に起因する疾患は世界の主要な死因の一つとなっている。本講義では、食の持つ多様な機能について、多面的角度から学ぶことを目標とする。					
成績評価方法	出席、授業内小テストにより厳格に評価する。(期末テストは実施しない。) 各講義終了前に講義内容に関する小テストを実施します。講義を注意深く聴き、理解できたかを問う問題を出題します。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31485	S 1	天然物の科学	中嶋 正敏、奥田 傑、 鈴木 道生、永田 宏 次、藤井 壮太	農学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	生命を支える生理活性物質/Bioactive Compounds Supporting Life 生物が作り出す分子の実体解明から天然物科学がスタートした。それらの中には、生殖、発生・分化、成長、恒常性維持などにおいて、きわめて微量で特有の作用を示すものがある。これらを総称して、「生理活性物質」と呼んでいる。農学部ではこれまで、最先端の精製・構造解析技術を取り入れることで、ビタミン、薬理活性物質、ホルモン、フェロモンなど様々な生理活性物質の発見に成功してきた。新たな生理活性物質の発見は、生命の理解を飛躍的に深化させると同時に、人類の生活の向上に大いに貢献する。そして今日では、生物に関するゲノム情報など多彩な情報の蓄積に伴い、生理活性物質の探索は新たな局面を迎え、従来では全く想定されなかった分子が次々と発見されるに至っている。本科目では、新たな生理活性物質の発見に挑戦している教師陣による講義を通じて、生理活性物質化学の考え方や研究の現状について学ぶ。					
成績評価方法	講義の出席(第2回～第7回)と各回の授業後に提出するレポートで総合的に評価します。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31486	S 1	生物素材の科学	山口 哲生、五十嵐 圭 日子、岩田 忠久、齋藤 継之、横山 朝哉	農学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	バイオマスの科学 「バイオマス」とは、動植物などから生まれた生物(bio)資源(mass)の総称で、再生可能素材・再生可能エネルギーの原料として、近年急速に注目が集まっています。地球温暖化対策、循環型社会の構築、農山村の活性化、地域環境の改善など様々な方面での活用が望まれており、化石資源の乏しい我が国において次世代社会での利用が期待されている重要な資源です。					
成績評価方法	本講義では、高校までの勉強で触れられることがなかったバイオマスに関する基礎を学ぶことができ、さらに地球上に存在する様々なバイオマスの化学的・生物学的変換に関する最新の研究およびバイオマスを材料として利用するための最先端の技術などに関して知識を深めることを目標としています。					
教科書 ガイダンス	授業の最終回、授業と同じ時限に、対面で筆記試験を実施する予定です。ただし、コロナの状況次第で変更になる可能性がありますので、ITC-LMSのお知らせ欄は事前に確認してください。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31487	S	森の生物学	久保田 耕平、池田 紘士、福田 健二、益 守 眞也、松下 範 久、鎌田 直人	農学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	森の生物学：共存する森林生物					
授業の目標概要	<p>森林は、生物多様性のもっとも高い生態系のひとつである。そこでは、多種多様な植物、動物、微生物が互いに影響（相互作用）し合いながら、それぞれを取り巻く環境条件に適応して繁殖し、共存している。</p> <p>森林内の植物は、取り巻く光環境や水環境に自らを適応させ、光合成により有機物を生産して、森林全体の物質収支を支えている。動物は、その植物を食べて有機物を得ている。さらに、植物や動物の遺体を分解して有機物を無機化するのには、菌類などの微生物の役目である。分解された有機物は、やがて再び植物によって有機物へと合成されていく。こうして、森林内で主役を演じる三者の間を有機物が巡っていくが、有機物の受け渡しに平行して、三者の間では、様々な相互作用が起こっている。例えばナラ類は、異なる光条件下でそれぞれの環境に適するよう、生理機能や樹形を変化させる。また、ブナアオシャチホコやスギカミキリはブナやスギの葉や幹を餌にするが、樹木は摂食を防ぐ様々な仕組みを発動して危害を抑制する。森林内には、植食性動物だけでなく、動物や菌類を捕食したり寄生したりする動物も多数生息しており、それらの間でも多種多様な相互作用が繰り返されている。一方、林床の落ち葉や枯れ木には、腐朽菌が生息しており、有機物の分解を進めている。その他微生物には、マツタケのようにマツの根に共生して植物の生長を助けたり、逆にたらけ病菌のように様々な樹木に甚大な病害を与えたりして、直接的に樹木と相互作用するものもいる。</p> <p>この講義では、このような森林で見られる樹木の環境への適応と植物-動物-微生物間の複雑な相互関係を、多面的に紹介し、解説する。</p>					
成績評価方法	毎回の授業の終わりに授業内容に関する課題を与える。また、期末に試験を行う。これらを採点して合計で評価を行う。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31259	S	自然現象とモデル	長谷川 宗良	統合自然科学科	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	自然現象とモデル					
授業の目標概要	<p>授業の目標、概要：自然科学では様々な現象のモデル化を行い、観測結果とモデルに基づいた計算結果を比べることで、モデルの成否を判断し、良いモデルは科学理論として受け入れられる。本講義では、物質の性質、すなわち物性科学にテーマを絞り、自然現象がモデルによっていかに説明されるか学んでもらう。</p> <p>例えば、リニアモーターカー、スーパーコンピューター、量子通信技術といった最先端の科学技術は、物質の性質、例えば電気伝導度、比熱、屈折率、磁性などを巧みに制御することによって機能している。これらの性質は、物質中の電子の応答の結果である。</p> <p>しかし、物質中の電子は、莫大な数があり、直感の通じない量子の世界にあるため、物質の性質と電子応答を関係づけるのは困難である。このため、電子の応答を上手にモデル化し、また多数の粒子に特有な現象をモデル化することで、物質の性質と電子の応答の関係を解説する。</p> <p>本講義は、統合自然科学科・物質基礎科学コースの物理・化学の教員により行われ、実験を専門とする教員は演示実験を取り入れ、理論を専門とする教員はエレガントな学問体系や理論モデル、コンピュータを利用した先端的な科学について分かりやすく解説する。</p>					
成績評価方法	出席およびレポート					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31119	S	先進科学 I α	野口 篤史	先進科学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	量子技術と量子コンピュータ (アドバンスト理科) 「量子コンピュータ」この単語を聞いたことがあるだろうか。 近年、大学だけでなく、大企業やベンチャー企業までもが量子コンピュータの開発や応用を目指した研究を進めており、夢のコンピュータである量子コンピュータを使える世界が音を立てて近づいてきている。量子コンピュータが扱う量子情報を担う物理系は、分子や原子からなるものから、超伝導体の電気回路からなる人工的な素子まで様々なものが研究されてきた。この講義では、量子コンピュータが扱う量子ビットの基礎を学ぶ。また、授業の中では IBM Q Experience が提供する超伝導量子コンピュータ実機を使用可能なクラウドサービスを利用し、量子アルゴリズムを実際にプログラムし、量子コンピュータにて実行する演習を行う。また、授業の後半ではハードウェアとしての超伝導量子コンピュータの仕組みやその他の量子技術について解説する。 python の記述経験や量子力学への知識の有無は問わないので、量子コンピュータ・量子力学に興味のある学生を歓迎します。 受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時にレポート課題によって数学などに関する基礎学力の確認と量子力学への学習意欲に関する調査を行い選抜する。その結果、受講対象者をアドバンスト理科のホームページに掲載する。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	学期中の演習レポートをもとに評価する。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30803	S	先進科学 II α	市橋 伯一	先進科学	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	生命進化概論 (アドバンスト理科) 「生物学は進化という観点が無いと何も理解できない」というのは進化生物学者のドブジャンスキーの言葉である。生物とは自然界で唯一進化する能力をもつ存在である。生物はおよそ 40 億年前に化合物の集まりとして誕生し、その後数億年を経て原核生物、真核生物、さらに多細胞生物へと進化し、ヒトが誕生した。いまや自然界はスケールの異なる無数の生物で埋め尽くされている。なぜ生物は進化するのだろうか？ いかなる仕組みでこんなにも多種多様に進化し得たのだろうか？ どこから来て、そしてどこへ行くのだろうか？ そこにはどんな法則や傾向があるのだろうか？ これらの答えを得るために、今現在も数多くの科学者が研究を続けている。本講義では、これまでに行われてきた生命進化の研究を紹介し、実際に進化の計算機シミュレーションを通じてその研究の一端を体験してもらおう。これにより進化という現象を計算機の中に再現できるようになり、生命進化の何が当然で、何が奇跡だったのかを理解できるようになる。 本講義では講義とあわせて受講者に python を使って進化シミュレーションを行ってもらおう。シミュレーションにはプログラミング技術が必要であるが、意欲さえあればこれまでの経験は問わない。必要な知識は授業中に身につけることができる。進化という現象は生物学を学ぶだけではなく、最適化のアルゴリズムとしても、そして私たち人間の特性を知るためにも重要な知識である。生物の知識の有無や理系文系を問わず意欲のある受講者を歓迎する。 なお、受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時に生命科学の基礎学力の確認と学習意欲に関する調査を行う。その結果、1 週間以内に、第二回以降の受講対象者の学生証番号を発表する。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	毎回の小レポート 本科目では初回ガイダンス時にあらかじめ基礎学力と意欲の面で優秀な受講者の選抜を行うため優 3 割ルールの適用外となっており、3 割を超えて優を与える場合もあります。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31120	S	先進科学Ⅲα	柳澤 実穂	先進科学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>物理学による生命の記述（アドバンスト理科）</p> <p>「生命の神秘」を見たとき、それを物理学で説明できたならば、その「神秘さ」は失われてしまうのでしょうか。あるいは、「物質の神秘さ」をもたらすのでしょうか。皆さんの答えがそのどちらであったとしても、生命現象の根底には数多くの物理法則が存在しています。例えば、細胞運動ではタンパク質溶液の液体-固体相転移（ゾルーゲル相転移）やタンパク質の反応拡散波が鍵となります。また近年、細胞内ではタンパク質や核酸が会合し、膜を持たないオルガネラとして機能することが分かってきました。この現象は相分離と呼ばれ、その原理はドレッシングで生じる水・油の分離と同じものです。試験管中でみられる相分離や相転移といった現象は、理論的に記述できるものの、少量かつ非平衡な細胞内での振る舞いとは異なる点も多くがあり、物理的に説明できない現象も多く存在します。こうした溝を埋めるべく、生物学と物理学が協力して研究を展開してきています。本講義では、物理学で説明できる（はずの）物質と生物の境界を明確化することで、現在の物理学で説明できる「物質の神秘さ」や説明できない「生命の神秘さ」を味わうことを目指します。そのため、物理学は得意ではないけれど好きな生物学を極めたい、あるいは、生物学は得意ではないけれど物理学を極めたい、という方を歓迎します。</p> <p>本講義の前半では、ソフトという力学的性質の定義から、従来の気体・液体・個体とは異なるソフトマター全般の力学的性質について理解します。その後、生物細胞を題材に力学や熱力学、統計力学の知識を総動員しながら、生命を特徴付ける「生物の形、物質の移送、運動」といった現象について物理的に表現します。さらに、状況が許せば、物質である人工細胞と生細胞を実際に観察したり、マイクロキャピラリーと呼ばれる非常に細いガラス管やレーザーピンセットを直接操作する、生物らしさの体験も行います。</p> <p>本講義では、議論やデモ実験を行うため、受講人数を20人程度に制限します。受講希望者が20名を超える場合には、ガイダンス後に基礎学力の確認と、生物学と物理学の複合領域への学習意欲に関する調査による選抜を行います。</p>					
成績評価方法	授業における質疑や発表の様子とレポートをもとに評価します。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

総合科目 F 数理・情報

微分積分学続論		開講区分	S
授業の目標・概要	多変数の微分積分学における様々な基本的手法を取り上げ、例を中心として必要な理論を学び、具体的な問題を扱えるようにする。数学・物理学はもちろんのこと、幅広い理学・工学で用いられる重要かつ有用な手法を取り扱うので、将来少しでも数学的道具を使うのであれば必須の内容である。		
成績評価方法 教科書	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。/Will specify at class time		
関連ホームページ	書名 著者（訳者） 出版社 ISBN https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/advanced_calculus.html		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30374	火 2	権業 善範	2年 文科 理科
30375	火 2	関口 英子	2年 文科 理科
31022	木 5	松尾 厚	2年 文科 理科
31023	木 5	原下 秀士	2年 文科 理科

常微分方程式		開講区分	S
授業の目標・概要	種々の量の時間発展は、多くの場合、常微分方程式を用いて記述できる。また、電柱の間にぶら下がった電線の形状や屈折する光の経路をはじめ、さまざまな曲線の幾何学的性質を常微分方程式によって特徴付けることができる。常微分方程式は、自然科学や工学、社会科学などの多くの分野で重要な役割を演じている。この講義では、常微分方程式の理論的基礎を学ぶとともに、幾つかの重要な具体例を取り上げ、それぞれの方程式の解法と解の性質について解説する。これらの内容の理解には、微分積分学、および線型代数学で学んだ固有値・固有ベクトルに関する基礎知識が必要となる。したがって、本講義はこれらの知識の総合的応用篇であるとともに、進んで偏微分方程式論を学ぶための入門篇でもある。		
成績評価方法 教科書	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポート等を含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN		
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/ode.html		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
30811	木 1	坂井 秀隆	2年 文科 理一(1-10,32)
30812	木 1	橋本 義武	2年 文科 理一(11-17)
30813	木 1	今井 直毅	2年 文科 理一(18-24)
30814	木 1	田中 公	2年 文科 理一(25-31)
30815	木 1	河澄 響矢	2年 文科 理一(33-39)
30816	木 1	白石 潤一	2年 文科 理二三(1-2,5,7-11,17)
30817	木 1	岩木 耕平	2年 文科 理二三(3-4,13-16,18,21)
30818	木 1	逆井 卓也	2年 文科 理二三(6,12,19-20,22-24)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30100	S	ベクトル解析	大島 芳樹	数学	月 2	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ベクトル解析 1年生で学んだ「微分積分学」において実数を値に持つ関数の微積分を扱ったが、自然科学では運動する点の速度のようにベクトルに値を持つ時間の関数や、各点の電荷密度のように空間上の関数などが、よくあらわれる。さらに電磁気学における磁場のように、空間上の関数であってベクトルに値を持つものが扱われることも多い。ベクトルに値をもつ関数はベクトル場と呼ばれ、実数に値をもつ通常の関数はスカラー場とも呼ばれる。そのような種々の関数があられ、微積分学的な性質とベクトルのもつ性質が組み合わさって重要な役割を演じる自然現象が、電磁気学や流体力学をはじめとして数多くの場面で見かけられる。本科目では自然現象の記述と考察に適用できるそのような数学的枠組みについて解説する。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30101	S	ベクトル解析	田中 公	数学	月 2	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ベクトル解析 1年生で学んだ「微分積分学」において実数を値に持つ関数の微積分を扱ったが、自然科学では運動する点の速度のようにベクトルに値を持つ時間の関数や、各点の電荷密度のように空間上の関数などが、よくあらわれる。さらに電磁気学における磁場のように、空間上の関数であってベクトルに値を持つものが扱われることも多い。ベクトルに値をもつ関数はベクトル場と呼ばれ、実数に値をもつ通常の関数はスカラー場とも呼ばれる。そのような種々の関数があられ、微積分学的な性質とベクトルのもつ性質が組み合わさって重要な役割を演じる自然現象が、電磁気学や流体力学をはじめとして数多くの場面で見かけられる。本科目では自然現象の記述と考察に適用できるそのような数学的枠組みについて解説する。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31121	S	ベクトル解析	葉廣 和夫	数学	金 2	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ベクトル解析 1年生で学んだ「微分積分学」において実数を値に持つ関数の微積分を扱ったが、自然科学では運動する点の速度のようにベクトルに値を持つ時間の関数や、各点の電荷密度のように空間上の関数などが、よくあらわれる。さらに電磁気学における磁場のように、空間上の関数であってベクトルに値を持つものが扱われることも多い。ベクトルに値をもつ関数はベクトル場と呼ばれ、実数に値をもつ通常の関数はスカラー場とも呼ばれる。そのような種々の関数があられ、微積分学的な性質とベクトルのもつ性質が組み合わさって重要な役割を演じる自然現象が、電磁気学や流体力学をはじめとして数多くの場面で見かけられる。本科目では自然現象の記述と考察に適用できるそのような数学的枠組みについて解説する。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31122	S	ベクトル解析	関口 英子	数学	金 2	2年 文科 理科
<p>講義題目 授業の目標概要</p> <p>ベクトル解析 1年生で学んだ「微分積分学」において実数を値を持つ関数の微積分を扱ったが、自然科学では運動する点の速度のようにベクトルに値を持つ時間の関数や、各点の電荷密度のように空間上の関数などが、よくあらわれる。さらに電磁気学における磁場のように、空間上の関数であってベクトルに値を持つものが扱われることも多い。ベクトルに値をもつ関数はベクトル場と呼ばれ、実数に値をもつ通常の関数はスカラー場とも呼ばれる。そのような種々の関数があらわれ、微積分学的な性質とベクトルのもつ性質が組み合わさって重要な役割を演じる自然現象が、電磁気学や流体力学をはじめとして数多くの場面で見かけられる。本科目では自然現象の記述と考察に適用できるそのような数学的枠組みについて解説する。</p> <p>成績評価方法 教科書 ガイダンス</p> <p>主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30264	S	解析学基礎	足助 太郎	数学	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 授業の目標概要</p> <p>解析学基礎 解析学の要である無限操作を誤りなく扱うには深い理解が必要である。この講義では、実数の連続性と ε-δ 論法に基づき、数列や関数列の収束などの解析学の基礎となる概念をきちんと取り扱うことによって理解を深める。</p> <p>成績評価方法 教科書 ガイダンス</p> <p>原則として定期試験による。小テストやレポートを課した場合にはそれらも含めて評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30804	S	解析学基礎	金子 宏	数学	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 授業の目標概要</p> <p>解析学基礎 解析学の要である無限操作を誤りなく扱うには深い理解が必要である。この講義では、実数の連続性と ε-δ 論法に基づき、数列や関数列の収束などの解析学の基礎となる概念をきちんと取り扱うことによって理解を深める。</p> <p>成績評価方法 教科書 ガイダンス</p> <p>主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30836	S	数理科学概論 I (文科 生)	斎藤 毅	数学	木 1	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 授業の目標概要</p> <p>数理科学概論 I 文科生向けに一変数関数の微分法の基本的な考え方から始めて、二変数関数の偏微分法の基礎と応用ならびに重積分に関する基礎的な内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を理科学向け総合科目「微分積分学統論」で学ぶことができるが、そのためには「数学 II」「数理科学概論 II」もあわせて履修しておくことが望ましい。</p> <p>成績評価方法 教科書 ガイダンス</p> <p>主として定期試験によるが、担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 岡本和夫 新版 微分積分 実教出版 9784407361209 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30376	S	数理科学概論Ⅲ(文科 生)	葉廣 和夫	数学	火 2	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	集合と代数的構造 集合は数学の重要な基礎の一つであり、さまざまな構造が集合を用いて構成される。この講義では、この講義では集合論の基本的な事項と、集合から作られる主に代数的・組み合わせ的な構造について解説する。 授業中に指示する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30377	S	統計データ解析Ⅱ	小池 祐太	数学	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	データサイエンス入門 統計データ解析Ⅱでは、統計ソフトウェア R の説明の後、高次元大規模データに潜む相関構造を発見し計量する多変量解析、および時系列データの基本的な解析法を学ぶ。統計手法の運用とデータハンドリングを実習することに加え、微分積分学、線型代数学等の前期課程数学と連携し、数理科学的側面を意識しながら、実験を介して統計手法の合理性と体系を感得する。 レポートによる。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30805	S	統計データ解析Ⅱ	小池 祐太	数学	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	データサイエンス入門 統計データ解析Ⅱでは、統計ソフトウェア R の説明の後、高次元大規模データに潜む相関構造を発見し計量する多変量解析、および時系列データの基本的な解析法を学ぶ。統計手法の運用とデータハンドリングを実習することに加え、微分積分学、線型代数学等の前期課程数学と連携し、数理科学的側面を意識しながら、実験を介して統計手法の合理性と体系を感得する。 レポートによる。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31123	S	統計データ解析Ⅱ	鎌谷 研吾	数学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	データサイエンス入門 統計データ解析Ⅱでは、統計ソフトウェア R の説明の後、高次元大規模データに潜む相関構造を発見し計量する多変量解析、および時系列データの基本的な解析法を学ぶ。統計手法の運用とデータハンドリングを実習することに加え、微分積分学、線型代数学等の前期課程数学と連携し、数理科学的側面を意識しながら、実験を介して統計手法の合理性と体系を感得する。 レポートによる。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

図形科学 B		開講区分	S
授業の目標・概要	3次元立体形状の図的表現および形状処理について、手描作図に基づいた図法幾何学を通して学び、立体形状の把握・伝達・構想能力を養う。 主な項目は以下のとおり。		
	1. 投影法		
	1.1 投影—投影の原理,各種投影法		
	1.2 軸測投影,透視投影		
	2. 正投影による空間図形の表現と解析		
	2.1 点・直線・平面—主・副投影,直線の実長,平面の実形,交わり		
	2.2 基本的立体—多面体,(円)錐,(円)柱,球,その他の曲面		
	2.3 基本立体の交わり—切断,相貫		
成績評価方法	出席点、講義期間中に課したレポートおよびセメスター末試験。		
教科書	授業中に指示をする。/ Will specify at class time		
	書名	【入力可】	
	著者(訳者)	【入力可】	
	出版社	【入力可】	
	ISBN	【入力可】	
関連ホームページ			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30075	月 2	奈尾 信英	1年 文科 理科 2年 文科 理一(5-6,8,29)理二三(1-3,6-9,20-22)
30644	水 2	館 知宏	1年 文科 理科 2年 文科 理一(12-14,38)理二三(5,12-13,16,18-19,23)
30724	水 3	金井 崇	1年 文科 理科 2年 文科 理一(10,15,18,23,27-28,30,35)
30754	水 4	椎名 久美子	1年 文科 理科 2年 文科 理一(7,11,16-17,19,24,36-37)
30936	木 3	腰原 幹雄	1年 文科 理科 2年 文科 理一(1-4,9,21,26,31-34)
31201	金 4	横山 ゆりか	1年 文科 理科 2年 文科 理一(20,22,25,39)理二三(4,10-11,14-15,17,24)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30378	S	図形科学演習 I	館 知宏、 三木 優彰	情報・図形	火 2	2年 文科 理科
講義題目	ポロノイ図、透視図、曲線折紙					
授業の目標概要	<p>目標： 形状を用いた思考は、言語や数式を用いたものとは本質的に異なるプロセスで理解や創造を飛躍的に手助けする。また図や模型製作による表現は、設計（デザイン）・製造分野における共同作業に欠かせないコミュニケーション手段でもある。本授業では、手描き製図と模型制作を通じて諸概念の図形的理解を深め、設計および、形を通した諸科学現象の解明のための基礎技能を修得する。</p> <p>概要： 1. 様々な物理現象に現れるポロノイ図について幾何学的理解を深め、平面図形のオフセット、二次曲線でできた Medial Axis の作図を行う。 2. 線織面・可展面について学び、立体の切断と可展面の展開の作図、曲線折紙の製作を行う。 3. 視覚における透視投影の仕組みについて理解し、実際に立体形状の透視図を作成する。</p>					
成績評価方法	<p>課題に対して評価を行い総合点で評価する</p> <p>評価ポイント 1. 作図・製作の正しさ：理論を理解し正しいプロセスで作図・製作をすること 2. 幾何学的工夫：それぞれの幾何学の性質を理解したうえで、それを用いて表現に活かす創作上の工夫 3. 表現の明確性：制作物で、形状や上記の幾何学的工夫が明確に伝わる工夫</p>					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30806	S	図形科学演習 II	山口 泰	情報・図形	水 5	2年 文科 理科
講義題目	グラフィクスプログラミング					
授業の目標概要	Python プログラミングを通じて、2次元および3次元コンピュータグラフィクスの基礎について学習する。					
成績評価方法	<p>基本的には課題(毎週全 12 or 13 回)で評価する予定である。 場合によって学期末の筆記試験を実施する可能性もある。 プリントを配布する。／Will distribute handouts</p>					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30001	S	基礎統計	安藤 雅和	経済・統計	月 1	1年 文科 理一(1-10)理二三 (1-6,8) 2年 文科 理一(1- 7,36-38)理二三(6,8,14,16)
講義題目	基礎統計					
授業の目標概要	<p>統計学は、日常生活や社会で起こる様々な現象を観察し、そこから得られる数値データを分析（記述、検証など）して、その現象の法則性を探っていくことを目的としている。近年のコンピュータの普及に伴い、容易にソフトウェアを用いてデータ分析ができるようになってきたが、データの特性や分析の目的に応じた統計手法を用いるためには、統計学の基礎的概念を理解し、数値結果を適切に評価する能力を身につける必要がある。そこで、本講義では、統計学の基礎的概念と統計手法について解説し、どのように現実の問題に適用されているのかを身近な例を用いて説明する。通常、データには対象について知りたいと思う性質とは無関係な変動が加わる可能性があり、そのような偶然的な変動は、確率論の法則に従うものと考えられるため、確率論についても取り上げることにする。そして、確率論を背景にして体系づけられた統計的推測について、推定と仮説検定を通して学ぶ。受講後には、新たな問題に直面した時に自ら統計分析を行い問題解決ができるようになることを目指す。</p>					
成績評価方法	成績は、期末試験(60%)、レポート(40%)により総合的に評価する。括弧内は目安。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 倉田博史・星野崇宏 入門統計解析 新世社 ISBN978-4-88384-140-0					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30230	S	基礎統計	倉田 博史	経済・統計	月 5	1年 文科 理一(26-30)理二三 (12-13,21-24) 2年 文科 理一(23-27,29-30,39)理二三 (5,13,18,24)
講義題目 授業の目標概要	統計学入門 本講義では、初めて統計学を学ぶ学生を対象に、データ解析・統計学の考え方と実際について、その基本事項を解説する。対象は文理を問わない。専門学部で諸科学を学ぶ際に特に重要な、確率分布(=現象のモデル化)、独立同一分布性(=同一条件の下での繰り返し実験)、統計的推測(=データから母集団への推論)の考え方を理解することに焦点を当てる。					
成績評価方法 教科書	期末試験による。 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 倉田博史・星野崇宏 入門統計解析 新世社 978-4-88384-140-0					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30978	S	基礎統計	宮田 敏	経済・統計	木 4	1年 文科 理一(13-18)理二三 (7,11,14-16) 2年 文科 理 一(20-22,31-35)理二三 (12,17,23)
講義題目 授業の目標概要	基礎統計 統計学とは、調査や実験で得られたデータを基に、そのデータを生み出した背景因子の関係を推測する方法を提供する学問である。本講義は、統計学に初めて触れる初学者を対象に、統計学とデータ解析の基本的な概念と手法を紹介する。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	宿題(50%) 中間試験(20%) 期末試験(30%)の結果により、総合的に評価する。括弧内は目安。 プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31063	S	基礎統計	元山 斉	経済・統計	金 2	1年 文科 理一(11-12,19-25) 理二三(9-10) 2年 文科 理 一(8-10,13-14,28)理二三(1- 4,7,9-10,19)
講義題目 授業の目標概要	統計学入門 本講義では、初めて統計学を学ぶ学生を対象に、データ解析・統計学の考え方と実際について、その基本事項を解説する。専門学部で諸科学を学ぶ際に特に重要な、確率・確率分布(=不確実性をも伴う現象のモデル化)、独立同一分布(=同一条件の下での繰り返し試行)、標本分布・統計的推測(=データから母集団への推論)の考え方を理解することに焦点を当て、推定と検定を行う方法を身に着けることを目標とする。					
成績評価方法 教科書	期末試験による。 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 倉田博史・星野崇宏 入門統計解析 新世社 978-4-88384-140-0					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31227	S	基礎統計	河合 玲一郎	経済・統計	金 5	1年 文科 理一(31-39)理二三 (17-20) 2年 文科 理一 (11-12,15-19)理二三 (11,15,20-22)
講義題目 授業の目標概要	統計学入門 本講義では、初めて統計学を学ぶ学生を対象に、データ解析・統計学の考え方と実際について、その基本事項を解説する。対象は文理を問わない。専門学部で諸科学を学ぶ際に特に重要な、確率分布(=現象のモデル化)、独立同一分布性(=同一条件の下での繰り返し実験)、統計的推測(=データから母集団への推論)の考え方を理解することに焦点を当てる。					
成績評価方法	期末試験による。					
教科書	授業中に指示をする。/Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31024	S	計算機プログラミング	松島 慎	情報・図形	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	プログラム構成論 本講義は、データを扱うためのモデルについて学ぶことを目的とする。前半では、プログラミングの基礎となる代表的なデータ構造、例えば、リスト、スタック、キューなどが活用できるようになる。後半ではデータ分析の基礎となる代表的な方法論、例えば、線形分類や相関分析などが活用できるようになる。					
成績評価方法	演習への参加、課題レポートの完成度					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30379	S 1	計算機システム概論	森畑 明昌	情報・図形	火 2, 金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	計算機システム概論 計算機システムは現代の情報化社会の基盤となっています。本講義では、計算機システムについて、様々な側面から、それがどのように構成されているか、それを設計・利用する上で理解しなければならない基本原理は何か、ということ学びます。 具体的に扱うトピックは以下の通りです。					
成績評価方法	1. 計算機アーキテクチャと高速化技術 2. Operating System 3. データベースシステム 4. 分散・並列処理 5. 科学技術計算 6. 人工知能 7. セキュリティ 8. プログラミング言語 学期末のレポート課題によって評価する。レポートは ITC-LMS から提出すること。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31469	S	計算の理論	小林 直樹、 河原林 健一	理学部	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 授業の目標概要</p> <p>計算の複雑さと形式的意味論 計算は、小学校で学ぶ四則演算から始まって、高校までに多項式・関数そしてその微分・積分など様々なものを学ぶ。高校では、教科情報でコンピュータによる計算も少し学び、プログラミングも経験しているだろう。大学では、より高次の計算を対象として学び、情報科学技術が社会基盤となった現代における基盤的学問として理工系分野ではどの分野でも、社会科学分野でもかなりの分野で勉学していくことになる。</p> <p>本講義は、情報科学の立場から、計算を科学していく。計算とは、何らかの機構を用いて入力情報から所望の条件を満たす出力情報を得る過程であり、人間が自ら能動的に得ることができる操作である。その立場からは、自然界の種々のことも計算という観点で解釈して、新たな世界を開くこともできる。ここでの計算は、高校までのものと違い、理論として確固たる基盤をもつ対象であり、その神髄を知ることは次世代の情報科学技術を創出し、今とは違った情報社会を構築していくことにつながる。</p> <p>講義は、大学1, 2年次の学生を対象に、このような計算の理論をわかりやすく講義し、人類が自ら操作して得る新たな科学としての情報科学を理解することを目指す。計算の理論を学ぶことにより、知能に関する研究も自らの視野に入れることができるようになり、そのような方向も示すことにより、初学者を計算と知能を最先端で研究する情報科学の理論にいざなう。</p> <p>成績評価方法 レポート提出。 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31443	S	情報システム基礎 I	古関 隆章	工学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 授業の目標概要</p> <p>情報システム基礎 I 「足からロケットまで---走る／飛ぶ／探る科学入門」 人や物を効率良く運ぶことが、文明社会の成立に欠かせず、移動手段を提供する技術が、我々の生活の基本を支え、そして生活を楽しく豊かにするために大切です。実際、日常的な生活の中で、自動車や鉄道などの身近な交通は不可欠なものとなっていることを実感しているでしょう。人々は太古の昔から、速くて、快適で、便利な移動手段を求めてきました。近年は、これに加えて、安全性への意識も高まっており、環境への負担の少ない交通、高齢社会への移行に伴い「交通弱者でも移動の自由が奪われない」バリアフリーに対応した交通など、移動手段の「質」に対する要求もさらに高いものとなっています。このような様々な要求に応える「運ぶ」営みのために、電気や情報の技術が貢献できることは多く、交通における電気・電子・情報技術の役割はますます大きくなっています。</p> <p>本講義では、このような視点から、電気エネルギーおよび情報通信や計算機技術を積極的に用いて人や物を「うまく」運ぶ方法論をオムニバス形式で解説します。高校や教養学部で習う物理や数学の延長上にどのようにこれらの技術が構築されているかをできるだけわかりやすく具体的に解説するとともに、最新の研究動向を紹介します。</p> <p>成績評価方法 講義への参加状況と、期末レポート 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31451	S 1	モデリングとシミュレーション基礎 I	菅野 太郎	工学部	火 2, 金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>コンピュータモデルで社会を観る－社会システムデザインのための科学的アプローチ 社会問題の解決や社会制度設計に役立てるために、人の行動データや WEB 上のビッグデータから統計、数理、認知科学、社会科学、計算機科学などの原理に基づいて様々な人間集団や社会のモデルを構築し、エージェントシミュレーション、ネットワークシミュレーション、インタラクティブシミュレーションなどのコンピュータシミュレーション技術を用いてその振舞いをダイナミックに予測、解析する手法が注目されつつある。本講義では、こうした社会モデリングとシミュレーション技術を活用した社会システムデザイン・分析の代表例と最新の適用事例について紹介しその可能性について議論する。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>1 「社会システムのモデリングとシミュレーションのための基礎知識」 1.1 基本用語と社会システムデザインの概要 1.2 ヒューマンモデリング I (ヒューマンモデルとは) 1.3 ヒューマンモデリング II (チーム・組織・インタラクション) 1.4 コンピュータシミュレーションの使い方 (理解・予測と検証、発見と共創) 2 「基本モデルの紹介」 2.1 ライフゲームと創発性 2.2 社会心理モデルとゲーム理論 3 「応用例の紹介 (金融市場のモデリングとシミュレーション)」 3.1 金融市場の特徴と金融データの統計解析 3.2 金融市場のモデリング 3.3 金融市場のコンピュータシミュレーション 3.4 金融市場制度設計に向けて 4 「まとめ」 4.1 まとめ</p> <p>出席と期末レポートによって評価 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31447	S 1	モデリングとシミュレーション基礎 I	澁田 靖	工学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>python プログラミングによるマテリアルデザイン マテリアル(材料)工学に関連する物理・化学モデルを python プログラミングにより実装し、数値解析の基礎を修得していただきます。また機械学習の例題を通じてマテリアルズインフォマティクスについての理解を深めます。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>講義への出席と毎回の講義で出題する課題に対するレポートにて評価。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>					

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31693	S	西洋史学へのいざない	長井 伸仁、菊地 重仁、 北村 陽子、勝田 俊輔、 池田 嘉郎	文学部	月 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		高等学校などでは外国の歴史は、「世界史」として教えられています。しかし東大を始めとする多くの大学では、外国史は「西洋史学」や「東洋史学」の形で学ぶ／研究することになっています。もちろん、こうした枠は絶対的なものではなく、西洋と（日本を含めた）東洋との関係も研究のテーマとなり得ます。近年の「グローバル・ヒストリー」の隆盛は、そうした地域横断型の歴史研究の一例です。 その一方、我々の生きてきた世界において、ヨーロッパは単なる一地域にとどまらぬ個性をもち、他の地域に対して、良きにつけ悪きにつけ大きな影響を与えてきました。この授業では、そうしたヨーロッパの歴史について考えるための手がかりを皆さんに提供することを目標としています。					
成績評価方法		学期末の試験によって成績を評価します。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31638	S	化学システム工学で拓く未来 社会	伊與木 健太	工学部	月 5	2	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		化学システム工学科の教員が、持続可能な未来社会を創るための化学と工学を最新の研究を紹介しながら分かりやすく説明します。以下のテーマを学びます。 【環境・エネルギー分野】 ・光触媒で太陽エネルギーを水素に変換する ・大気環境汚染を計測し、解決する ・データの力で材料を開発する 【医療分野】 ・化学とバイオの力で病気に立ち向かう ・診断・治療ナノシステムを化学で創る ・化学と工学で創薬にイノベーションを起こす 「化学と社会のつながり」を考えたい学生諸君の参加を歓迎します。教員や大学院生と交流する機会も設けます。希望者には本郷キャンパス・化学システム工学科研究室見学会も案内します（参加は自由です）。 ※このゼミは4月8日（月）6限（18：45～）にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。					
成績評価方法		主に出席・レポート					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特定日に行う。／Will conduct guidance at another time					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31692	S	東洋史学の新天地	吉澤 誠一郎	文学部	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		21世紀の世界が大きく動いているなか、歴史学にも新しい視点が次々に登場してきています。歴史学とは単に過去の事実を並べ立てる学問ではありません。常に問題意識を研ぎ澄まし、我々人類はどこから来て、どこにおり、そしてどこに向かうかを日々真剣に考え、そのうえで過去にアプローチしているのです。 この授業では、文学部で東洋史学を担当している教員が、それぞれ得意とする領域からトピックを選んで、歴史学の新しい波を紹介します。					
成績評価方法		学期末にレポートを課します。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

学術フロンティア講義

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31628	S	サイバネティクス入門 ー物理・人・社会を繋げる情 報科学の先端ー	天野 薫	工学部	火 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>サイバネティクスとは、生物を含む自然系、機械を含む人工物、さらにはこれらを含む社会について、その基本構造を統一的に捉えることを指向した科学技術の概念である。生物が環境中の情報を計測し、処理し、自ら行動として環境に働きかける一連の流れを、信号処理、通信、さらにフィードバック制御に関わる数学で捉える。その上で、この原理を人工物に応用することで、自ら考え、判断・学習し、行動できる知的な機械を実現する方法論へ展開する。数学者ウィーナーによって1947年に創始されたこの学問体系は、生物、機械、社会を含むあらゆる物理的現象に関わる基本構造の抽出と、機能の設計・解析・制御などの方法論として今でも発展し続けており、脳工学、生体工学、バーチャルリアリティ、システム科学、人工知能(AI)などの現代的工学技術の礎のひとつとなっている。</p> <p>この授業は、最先端の工学技術に関する講義と研究室の見学を通して、サイバネティクスの基本概念を理解してもらうことにある。様々な事象に対して、数学・物理学・情報学を駆使した現象の解析やモデル化を通し、新しい原理や方法論あるいは機構やシステムを創り出し、様々な分野での応用を可能にする工学の考え方や実際の最先端の研究に関し、工学部計数工学科システム情報工学コースの教員がオムニバス形式で紹介する。ブレインマシンインタフェース、バーチャルリアリティ、ロボティクス、音声・画像信号処理、生体医用工学といった最先端かつ広範な話題に触れることができ、しかも、それらが計測・解析・制御というサイバネティクスの共通の原理で語られることに驚きを覚えるであろう。人間の能力をいかにして機械などの人工物が獲得できるかを知る上でも、数学・物理学・情報学の基礎がどのように実践され役立つかを学ぶ上でも、人間とAIを含む機械が共生する将来像を考える上でも、この科目は充実した学識に触れる良い機会を提供できる。また、実際の研究現場を見学することにより、講義内容がどのような環境で着想され、育てられ、発展しているのかを見ることがもできる。</p> <p>具体的には以下に挙げるような、認識、行動、物理、情報、総合の5分野にわたるテーマに関する講義と研究室見学を行う。具体的な講義の内容の詳細と日程およびレポートの提出要領二関しては、掲示および初回の講義で案内する。</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは4月5日(金)6限(18:45~)Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>レポート提出と出席によって成績評価する。 授業中に指示をする。/Will specify at class time 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31836	S	気候と社会	江守 正多	教養教育高度化機構	火 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>本講義では、現代社会の最重要課題の一つである気候変動問題について、受講生が最新の研究知見を含めて俯瞰的に学び、自ら考える契機を得ることを目標とする。</p> <p>地球の気候システムはさまざまな時間スケールで変動しており、それにかかわる海洋環境の変化や極端気象の発生などの自然現象は、生態系はもちろん農林水産業といった人間社会の営みに影響してきた。20世紀後半以降、気候の温暖化が顕著となり、科学的な評価にもとづき、産業革命以降の文明社会が排出してきた温室効果ガスがその原因であることが明らかになっている。温暖化による社会への負の影響を最小限に抑えるため、2050年までに二酸化炭素の正味排出をゼロにするカーボンニュートラルが国際的な流れとなってきた。</p> <p>気候変動あるいは地球温暖化の問題は、もはや自然科学の枠を超えている。気候変動を理解し予測する理学的なアプローチ、気候変動の影響を明らかにする農学・水産学・生物学的アプローチ、カーボンニュートラルを実現する工学的なアプローチに加えて、将来の社会の在り方に依存する温室効果ガスの排出経路推定、気候正義に代表される社会の格差解消に対する公共政策、個人から組織、国家までのさまざまな階層でカーボンニュートラルを達成するための行動変容など、人文社会科学的なアプローチを組み合わせたトランスフォーマティブサイエンスの実施が必要である。そこで本講義では、変わりゆく気候のもとで持続可能な社会を実現するための分野横断的な自然科学・社会科学・人文科学研究を俯瞰する。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>各回の短いエッセイ課題(平常点に相当) 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31701	S	気候物理学入門 ~移ろいゆく気候の科学~	三浦 裕亮	理学部	火 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		気候変動や気象は、物理学を中心とする様々なアプローチで研究されている。例えば、大気・海洋の流れを記述する流体力学、地球と宇宙のエネルギー交換を記述する大気放射学、雲の生成と消滅を記述する雲微物理学、大気と海洋の間の相互作用、気候予測に具体的手段を提供する気候モデルなど、さまざまに展開している。本講義では、気候変動や気象、大気海洋大循環を記述する基礎方程式を示すとともに、それがどのように使われているかを講義する。 複数講師によるオムニバス。					
成績評価方法		各回あるいは複数回ごとに、気候・気象の科学で使う基礎的な方程式を示し、その物理的な意味とともに、その式がどのように使われるのか具体的現象を例に解説する。					
教科書		出席とレポート。4回のレポートは全ての提出を必須とする。					
ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31715	S	Medical Biology 入門 ：生命現象から病気の治療へ 多様な医学研究	菅谷 佑樹	医学部	火 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		当講義は、文系理系を問わず全科類の学生に向けて、医学部の教員によって行われる講義である。本学医学部では、「解明されていないこと、解決法が求められていることに対して新しい医学を発信する」、すなわち広い意味で医学研究を推進する人材の育成を目指している。本講義はその一環として行われる。 新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより社会が大きな変革を迫られたが、一方で mRNA ワクチンなどの新しい技術によってこれまでにない速いペースで感染症の克服が進んでいる。また、ゲノム編集を用いた生理機能の解明や遺伝子情報を活用したテーラーメイド医療など、医学研究の発展とそれに向けられた興味は学際的で多岐にわたる。こうした最先端の医学研究の背後には長年にわたる地道な基礎研究の積み重ねがあるが、そこに携わる研究者から直接研究についての考え方やより深い背景を学ぶ機会は驚くほど限られている。高校まではこうした最先端の医学研究を研究者自身が深く紹介するカリキュラムはほとんどなかったのではないだろうか。そこで将来多方面で活躍するだろう本学のみなさんに、この大学の医学系研究科で行われているこれらの研究活動についてなじみを持ってもらいたいと考え、本講義を企画した。2024年の講師陣と内容は以下を予定している。					
成績評価方法		本授業は出席と提出するアンケートの記入内容で成績評価を行う。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31643	S	UT チャレンジャーズ・ギルド C	廣瀬 明、 永綱 浩二	工学部	火 6	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>ITの普及と発展により、我々の身の回りには新しい製品やサービスが登場し、時として生活スタイルを大きく変えたり、ビジネスの枠組み自体に大きな影響を与えたりすることがある。購買者や利用者として製品やサービスが提供するメリットを享受することはたやすいが、逆に購買者や利用者を興奮させたり、目を見開かせたりする製品やサービスを創造することは容易ではない。では、購買者や利用者を「これはすごい!」、「これは便利だ」、「これは心地よい」、「これは楽しい」と言わせるモノを創ってみようではないかというのがこのゼミの狙いである。</p> <p>まずは、「作ってみた」というレベルから開始して、最終的には製品やサービスが果たす「社会的なゴール」を意識したレベルのモノづくりに取り組んで欲しいと考えている。従って、ゼミに参加するにあたっては何にチャレンジしたいのか、具体的な目標を持って臨んでもらいたい。個々のゼミ生の目標に基づき、専門家による指導を受けたり、製造現場を見学に出向いたりしたいと考えている。また、構築した応用システムは、完成後、想定される利用者に試用してもらい、利用者の評価を受ける予定である。さらに、本ゼミでは起業を支援した実績があり、起業にチャレンジしたい学生諸君の参加を大いに歓迎する。</p> <p>※受講人数：10名 ※開講場所：駒場 KOMCEE 3階 K301号室 受講を希望する学生は、永綱 (t-ngtma@g.ecc.u-tokyo.ac.jp) までメールで申し込みこむこと。(希望者多数の場合には抽選)</p> <p>ガイダンス/Guidance： 合同ガイダンスが設定される場合(別途周知される予定)にはこれに参加する。 個別ガイダンスは第一回講義の4月9日18:45からオンラインで行う。 https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/236291390</p> <p>----- ※このゼミは4月5日(金)6限(18:45~)Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p>						
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>ガイダンス、講義、実習、システム構築、事業計画書、プレゼンテーション、発表会への参加。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31653	S	環境安全衛生入門 -身のまわりのリスクから学 び、安心へつなげる- Introduction to Environmental Health and Safety	飯本 武志	環境安全本部	水 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>ふと目を向ければ、私たちの身のまわりには様々なリスクがあることに気がきます。安全で安心な社会の実現には、身のまわりの環境や安全についての多角的な視点と理解が必要です。本講義では、身近な話題から自然災害に至るまで、現在我々が抱えている諸問題とその解決に向けたアプローチについて、各分野の専門家が対話形式を盛り込んでわかりやすく解説します。文系・理系を問わずすべての学生を対象とし、将来の我が国を担う皆さんが環境と安全の分野に対して正しく興味をもち、安心へとつながる道筋を自分で考えることができるようサポートします。</p>						
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>原則、最低9回の出席を要し、レポートの内容によって可否を判定する。 詳細については初回の講義の中で説明する。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31703	S	数理科学の研究フロンティア： 宇宙、物質、生命、情報	河東 泰之	数理科学研究科	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		本講義では、宇宙の起源、物質の起源、生命の進化、情報と人工知能などの現代科学のフロンティアを、最前線の若手研究者が数理科学という切り口で俯瞰する。授業担当教員がモデレータとなり、理化学研究所の若手研究者をゲストに招き、以下の話題を議論する。ゲスト氏名と話題は、松井千尋「対称性から見る世界ーマイクロからマクロへー」、田中章詞「機械学習入門」、坂崎貴俊「大気変動の数理」、金澤輝代士「確率論と統計物理学、経済物理学」、ジェフリー・フォーセット「生物のゲノムと進化」、本多正純「量子コンピュータを使ってみよう」、日下部佑太「複素解析学における剛性と柔軟性」である。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		出席の把握のため、毎回、質問感想等をミニレポートとして提出してもらう。出席状況により可否を評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31798	S	デジタル空間社会 における研究と社 会実装最前線	関本 義秀、渡邊 英徳、上田 宏生、 中村 和彦、伊藤 恵理、横矢 直人、 大津 優貴、稲田 晴彦、栗栖 大輔、 小林 博樹、鎌倉 夏来、出口 敦、 小泉 秀樹、布施 孝志、樋野 公宏、 田浦 健次朗、佐藤 洋一、 川崎 昭如、木村 伸吾、山崎 俊彦、 今須 良一、小島 茂明	デジタル社 会空間連携 研究機構	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>概要：</p> <p>都市や森林・海洋などの空間を、IoT デバイスや衛星データなどの多様でダイナミックな時空間データに基づき理解することができるようになってきています。本授業では、こうした時空間ビッグデータに関連する分野横断的な学術研究の最先端に触れ、社会を取り巻く課題に対して、データを軸に多角的なアプローチで検討する視点や俯瞰的な思考力を取得することを目的とします。</p> <p>目的：</p> <p>複雑化・多様化する社会の諸事象の関係性を様々なデータを用いて分野横断的かつ俯瞰的に捉え、新たな視点での課題解決へのアプローチを導出する力が求められるようになってきます。そのために、本授業では、空間情報を用いて地球環境や都市環境をどのように捉え、また空間をめぐる様々な課題にどのようにアプローチすることができるのかを学びます。都市社会や自然環境の変動、自然災害、農業、経済、公衆衛生など多様な研究領域での最新の研究成果や社会実装の最先端に触れます。空間情報を軸とした具体的なアプローチや解決手法を学び、データ駆動型の思考法や新たな視点を取得することは、今後、環境や都市、社会基盤等の諸問題について自ら問いを立てて、またその間に対するアプローチを考える上で活かせることでしょう。</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> -- デジタル化など社会を取り巻く変化や、デジタル空間社会実現に向けた可能性、課題や複雑性について理解する -- さまざまな空間情報を収集し、それらを分析し、問いに対する答えを導くまでのアプローチを理解する -- デジタル空間社会データの可能性や限界、課題を理解した上で、データに基づいたアプローチに関する問を立てたり、その間に対するアプローチに関する自分の意見や考えを発展させることができる 					
成績評価方法		学生は4回、講義に関する小レポートの提出が求められます（好きなものを4回選んで頂き、感想をA4 1頁以上書く。サマリーではなく、感想ですので御注意ください）。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31672	S	歴史資料と地震・火山噴火	加納 靖之	地震火山史料連携研究機構	木 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>【概要】 東京大学の地震研究所と史料編纂所が連携して設立された地震火山史料連携研究機構では、地震学者と歴史学者が協力して史料の収集・編纂と分析と、地震活動や火山活動の長期的な情報を提供するデータベースの構築を行っている。この連携研究機構が提供する講義では、歴史資料（史料）を用いた地震・火山噴火の研究について、背景となる知識やこれまでの成果、今後の展望について解説する。全体を理解するために必要な概論ののち、東北地方太平洋沖、南海トラフ、内陸活断層の地震、首都圏の地震について、具体的な事例－貞観地震、慶長の豊後地震と畿内（伏見）地震、宝永・安政の南海地震、安政の江戸地震、宝永の富士山噴火や天明の浅間山噴火などを取り上げ、歴史学および地震学・火山学のそれぞれの立場から説明する。どのように歴史資料を読みとき、どのように現象を理解するのかを学び、また、異分野融合研究の意義や在り方に触れる。 授業は、杉森玲子（史料編纂所）・及川 亘（史料編纂所）・前野 深（地震研究所）・加納靖之（地震研究所）が分担する。</p> <p>【目標】 ・歴史学や地震学の基礎を、具体的な事例を通して学ぶ ・複数の研究分野からのアプローチでより深く現象を理解できることを知る ・これらの研究のおもしろさや解決すべき課題について考える</p> <p>【こんな人に来てほしい】 文系理系を問わず、歴史、地球、防災などに関心のある人。また、本や資料を読むのが好きな人、観察や観測をもとに推理するのが好きな人など。 （参考）地震火山史料連携研究機構の概要 地震火山史料連携研究機構は、東京大学の地震研究所と史料編纂所が連携して設立されました。この学際的な研究機構では、歴史学者と地震学者が協力して史料の収集・編纂と分析を実施し、日本における地震活動や火山活動の長期的な情報を提供できる科学的なデータベースを構築しています。このような歴史時代のデータは、地震や火山の危険性の長期的な予測には不可欠です。</p>						
成績評価方法	<p>レポートによる評価 レポートの内容（予定）：講義で扱った地震（噴火）の一つを選び、レポートを作成する。講義内容に自分で調べたことを加えてまとめること。</p>						
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 加納靖之・杉森玲子・榎原雅治・佐竹健治 歴史のなかの地震・噴火 東京大学出版会 9784130637169</p>						
ガイダンス	<p>※スライドや配布資料が必要な情報は提供する予定。 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31627	S	数理工学のすすめ	松尾 宇泰、郡 宏、 佐藤 一宏、高安 敦、 松田 孟留、谷川 眞一、 定兼 邦彦	工学部	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>数理工学とは、工学的問題解決のための数的手法を（必要とあれば新しい概念や原理も）創り出す学問のことで、 (http://www.keisu.t.u-tokyo.ac.jp/ も参照してください。) 本講義では、数理工学において、どのようにして、新しい原理や数的手法が開発され、発展していったか（発展しつつあるか）について、実例を交えて解説します。とくに、以下の7つの話題を扱います。</p> <p>[数理工学のすすめガイダンス + 数値解析入門] 科学・工学で現れる多くの数学的問題は、計算機の助けなしには解けません。「数値解析」は、そのために計算機で数学の問題をどう解くかを考える学問です。この「数値解析」の初歩を学びます。</p> <p>[簡潔データ構造] ビッグデータを圧縮したまま処理するデータ構造について説明する。</p> <p>[統計モデリング入門] データをもとに現象の理解や予測を行うための統計モデリングの考え方について、いくつかの例を用いて解説します。</p> <p>[可制御性スコア] 可制御性スコアはある凸最適化問題の一意解で、大規模ネットワークの状態ノードの重要度を可制御性の観点から定量化する新概念です。この概念について説明します。</p> <p>[動的現象のモデリング入門] 自然、人工物、社会には複雑な動的現象が多く存在し、それらを理解・制御するためには数理モデリングと解析が不可欠です。モデリングがどのようになされるか、またどのような解析方法があるのか、いくつかの例を用いて解説します。</p> <p>[計算幾何学入門] 科学・工学の諸問題に現れる幾何データを計算機上で効率的に取り扱うための理論やアルゴリズムを、いくつかの例を用いて解説します。</p> <p>[暗号と量子アルゴリズム] 暗号理論の概要と量子アルゴリズムによる影響を踏まえた近年の研究状況を説明し、暗号の安全性と関わりのある量子アルゴリズムの説明を行います。</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは4月5日（金）6限（18：45～）Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p>					
成績評価方法		7テーマの講義のうち4テーマについて、講義内容のまとめと感想、自分自身でさらに調べた事、講義中の例題の解などをレポート形式で提出する。 詳しくはUTOLを参照。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31709	S	「現代の数学 ー その源泉とフロンティア ー」	小木曾 啓示	数理科学研究科	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		高等学校で学んだ数学、大学の前期課程で学ぶ数学が、どのように現代の数学につながっているか、現代の数学の研究の源泉はどこにあり、どのようなことがわかっているか、何を求めて研究が行われているかということ、最前線で活躍する数学者がいくつかのトピックについて数回ずつ解説する。					
成績評価方法		出席とレポートによる合否判定で行う。レポートは4名の先生の中から一人選んでその先生の講義に対するレポートを出してください。（提出方法の詳細は初回ガイダンス時に指示します。）					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31616	S	エネルギー・情報・産業をつ なぐ機械工学	村上 存	工学部	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>授業の目標概要</p> <p>機械工学は、材料、熱、流体、運動など、さまざまな現象の探究を基盤に、人間の知と連携する情報・ソフトウェア、優れた人工物の設計・デザインなどを加えた、総合的な学問体系として発展しています。本講義は、機械工学科の教員および産業界の外部講師により、メカ、エネルギー、情報など機械工学の最新技術や産業・社会における貢献を、分かりやすく解説します。</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは4月5日(金)6限(18:45~) Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p> <p>成績評価方法 出席(50%) およびレポート(50%)</p> <p>教科書 教科書は使用しない。/ Will not use textbook</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。/ Will conduct guidance at first time</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31656	S	悦ばしきイタリア地中海	村松 真理子	イタリア地中海コース	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>授業の目標概要</p> <p>2013年度から教養学部後期課程に「イタリア地中海研究コース」が発足しているが、広く前期課程の学生にも古代中世の地中海文化圏やイタリア語文化圏に親んでもらうことを目的とする講義シリーズを学術フロンティア講義として隔年で開講している。</p> <p>講師は、後期課程の上記コースに関与する教員に加えて、全体の半数程度はコース外から気鋭の専門家を招いて、地中海世界に関するさまざまな分野の最新の研究と知見にふれる。</p> <p>毎回のコメントペーパーとレポート</p> <p>成績評価方法 教科書 教科書は使用しない。/ Will not use textbook</p> <p>ガイダンス 特に行わない。/ Will not conduct guidance</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31673	S	30年後の世界へ ——ポスト2050を希望に変える	石井 剛	教養学部	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>授業の目標概要</p> <p>東京大学東アジア藝文書院(East Asian Academy for New Liberal Arts, EAA)は2019年度から毎年、「30年後の世界へ」を共通テーマとしてこのオムニバス講義を開講し、様々な角度から「世界」を問うてきました。世界はわたしたちの外側にあるのではなく、わたしたちが世界を創っているのだと言えます。世界を問うとは、既成の価値を疑いながら未来に関与することです。問いは智慧を発動させ、その智慧を育むのが大学という場所です。この講義は大学の役割を行為的に表現し、大学の新たな価値を生み出す実験なのです。特に2023年度は「空気の価値化」という命題を学内外だけでなく社会と連携しながら問うてきました。</p> <p>さて、30年後の世界はどうなっているのでしょうか。気候変動の影響を最小限に抑えるための目標として、多くの国々が炭素排出量実質ゼロ(カーボン・ニュートラル)実現の期限に定めているのが2050年です。しかしその実現がきわめて難しいことはいまや半ば公然の事実になりました。たとえ目標が達成されたとしてもそれで気候危機が解決されるわけではなく、わたしたちはその後も長期にわたって、自らの文明が生み出した様々な災害——自然災害、戦争、圧政、貧困など——の中で生きていかなければなりません。わたしたちは、21世紀の後半に向かって、長い危機の時代を生きていくことになります。これこそは、「30年後の空気」が規定するわたしたち人類の基礎条件です。そこで、2024年度は「30年後」を越えて、この「危機の空気/空気の危機」の中から希望を見いだすべく、以下の三つの柱を中心に皆さんと議論したいと思います。</p> <p>1 復興の技法。人は他と共同しながらつねに自らを変容させ、成長していきます。危機を変容や成長を促す好機であるのとらえるなら、「復興」とは人間の变容と成長のプロセスそのものであると言えるでしょう。危機の中からわたしたちはどのような復興のあり方を想像するのでしょうか。またテクノロジーはどのような役割を果たすべきでしょうか。</p> <p>2 ロゴスの複雑化。世界は分断の時代に入ったと言われます。20世紀までの世界を支えてきた政治制度の枠組みは地殻変動のように長期にわたる大きな変革を被りつつあります。いまの世界を構成している政治のロゴスは十全なものではないのかも知れませんが、世界をあらわす(表す/現す/著す)ロゴスを豊かにすることが不可欠でしょう。</p> <p>3 惑星時代の人間。人新世やプラネタリー・バウンダリーなどの概念は、近代的な人間観の改変を促しています。「人間」とは何か?この終わりなき存在論的問いを、人間を棲まわっているこの地球という環境との連続の中で再び定義することは可能でしょうか。可能であるとして、それはいかにして可能になるのでしょうか。</p> <p>「30年後の世界」に希望をもたらすのは、他ならぬわたしたち自身です。皆さんと「問い」を共にして、この講義をポスト2050に向けた希望の出発点にしたいと思います。</p> <p>成績評価方法 リアクションペーパーの提出 教科書 教科書は使用しない。/ Will not use textbook</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。/ Will conduct guidance at first time</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31713	S	ノーベル物理学賞と地球の未来	酒井 明人	理学部	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>理学系研究科 Youtube 上にて公開中の「ほのぼの物理キーワード辞典」で紹介した物理学（物性物理、宇宙物理、素粒子物理、量子情報、生物物理など）における最先端トピックスを通して、全13回のオムニバス形式でわかりやすく説明する。テーマは、近年のノーベル物理学賞の対象分野を中心に、まだ研究として若く教科書にも掲載されていない分野から、ビッグサイエンス、地球温暖化に関わる分野等、幅広く俯瞰的な内容となっている。</p> <p>講義内容は、物理学進学希望者はもちろん、社会で科学技術を用いた職業を志す者、科学技術を対象として計画立案する者、理学系の教職を目指す者も、物理学の最先端を把握し、将来の糧として身につけるべき内容となっている。本講義を通して、物性物理から南部博士が素粒子の対称性の破れを導き、逆に素粒子として考えられたワイル粒子が物性物理で発見されるなど、各分野が相互に、そしてダイナミックに影響しあいながら発展していく学問が「物理学」であると捉えてほしい。</p> <p>さらに、理学の区分を超えて、金融系への応用*1はよく知られているところだが、最近では生成 AI への貢献も始まっている*2。気候変化*3/地球温暖化の対策やマネジメントを志す者には言うまでもなく、真鍋博士のノーベル賞受賞で広く知られる通り、その基礎は物理学である。また、現代社会を駆動する情報技術は、量子物理学から生まれた量子1.0（トランジスタ、レーザー、核磁気共鳴等）と呼ばれる技術だが、近年は量子2.0と呼ばれる量子コンピュータ、量子センサ、量子通信等の研究開発に各国政府*4の後押しで莫大な投資がなされ、数百のスタートアップが起業され、大手企業も参入し、コンソーシアムが続々立ち上がっている。</p> <p>物理学×AI、物理学×金融、物理学×情報、物理学×地球温暖化、物理学×政経、物理学×医療 全く異なる分野が物理学をベースにあるいはツールにして新たな領域を築きつつある。我々はここでも歴史的転換点を目撃しつつある。特に、国の政策立案を志す者の場合、諸外国の政策担当者は研究者出身であることも多いことから、そのカウンターパートとして対等に渡り合うには、物理学に対する一通りの理解が求められるだろう。</p> <p>講師陣は第一線で活躍する研究者で駒場での交流を非常に楽しみにしており、講義中は、研究はもちろん、研究生活からキャリア形成まで積極的に質問を受け付ける。本講義を受講することで、物理学分野の最先端動向を俯瞰的にとらえることができるとともに、自身の将来のキャリアパス形成の参考情報を得ることができるため、是非このチャンスを逃さないでほしい。</p> <p>*1: 高安美佐子, “経済に物理学は役立つか?”, 日本物理学会誌, 2016年 71巻 11号 p. 732. *2: Steve Nadis, “The Physical Process That Powers a New Type of Generative AI”, Quanta Magazine, Sept 19, 2023.</p>					
成績評価方法		出席とレポート					
教科書		教科書は使用しない。/ Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。/ Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31641	S	海研究のフロンティア I	早稲田 卓爾	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>本講義は、東京大学海洋アライアンスを構成する教員による、駒場キャンパス、本郷キャンパス、柏キャンパスの実験施設の見学と講義を通して、海洋研究の最先端に触れることが目的である。例えば、海中ロボットの実験施設、船体運動を計測する大水槽、海洋生物などを研究する施設、洋上風車の研究をする施設、海洋の流れのメカニズムを解明する実験装置などを見学することができます。</p> <p>講義に関する追加情報は、以下に記載されます。 http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/</p> <p>----- ※このゼミは4月5日（金）6限（18：45～）Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。 -----</p>					
成績評価方法		出席および講義アンケート					
教科書		教科書は使用しない。/ Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31677	S 1	これからの食糧生産を支える 植物・土壌科学	大塚 重人、妹尾 啓史、 中嶋 正敏、藤原 徹、 小林 奈通子、 柳澤 修一、岡田 憲典	農学部	月 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		今世紀半ばには 90 億人を超える予想されている世界の人口を支えるためには作物生産性の向上が必須である。そのためには、土壌が有する物質変換や肥沃度維持の仕組み、植物の養分吸収や栄養環境適応の仕組みを明らかにして生産性向上に結び付けることが必要である。また、問題土壌や環境変動下での作物生産、雑草を克服した作物生産は今後の重要課題であり、劣悪な土壌や病害虫などのストレスに耐性を持つ作物の育種や、根寄生雑草を防除する新たな化学的手法が開発されている。一方、生産性向上と環境保全を両立した農業技術の開発が地球環境と地域環境の保全のために重要である。本授業科目では、このような研究に携わっている農学部の教員による最先端の講義を行う。					
成績評価方法		各回の講義について興味深いと感じた点、印象に残った点を 400 字程度以内にとりまとめ、ITC-LMS の課題提出にテキスト直接入力してください。提出の締切りは講義の翌々日の水曜日午後 5 時とします。なお、5/7(火)の講義の分については翌々日 5/9(木)午後 5 時が締切りとなります。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31617	S	UT-ONE (1 年生全員向けの 仲間づくり & 企業訪問 : S1)	長藤 圭介	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>どうすれば、3000 人の新入生から科類を超えた最高の仲間を作れるのか？</p> <p>UT-ONE は、1 年生 3000 人全員で同時進行を目指す超大規模なプロジェクト実践型講義です。受験勉強には答えがありましたが、社会では答えがない問題や問題の発見に取り組みます。そのために、大学では「自分の興味があることに仲間と共に挑戦する」プロジェクト実践教育が重要。本講義は、そのための「仲間集めとの出会い」を提供する、アントレプレナーシップ教育の入門編です。駒場では非常に珍しいですが社会に出ると毎日のようにやることになるグループワーク中心の講義です。この講義が終わるころには、「こんなことをやってみたいんだけど、一緒にやらない？」と声を掛け合える仲間ができることを目指します。</p> <p>S1 では興味のある企業への訪問を、S2 では企業が出したテーマに対する提案を、同じ興味を持つ 1 年生と共にを行います。</p> <p>S1 : 企業訪問 大企業・スタートアップ・個人事業主の 3 種のリストから現地訪問して話を聞いてみたい 1 社を選び、マッチングした仲間とランチしつつ日程調整や質問項目を整理し企業担当者ともやり取りし、平日夕方などに企業を訪問して 60~90 分お話を伺い、レポートを提出 最後にいろいろな企業に行った受講者が集まる 60 分程度のオンライン共有会に参加して単位取得</p> <p>S2 : 企業訪問 or 企業提案 上記の企業訪問をもう一社行うか、企業が出したテーマのリストから提案してみたい 1 社を選び、マッチングした仲間とランチしつつアイデアを考えて企業担当者に提案し、その反響をレポートとして提出 最後にいろいろな企業に行った受講者が集まる 60 分程度のオンライン共有会に参加して単位取得</p> <p>S1,S2 の両方を受講すれば主題科目に必要な 2 単位が取得できます。</p> <p>より多くの人が参加しやすいよう、ビデオ配信や配布資料をスマホで見つつ、マッチングした 1 年生同士で週に 1 回程度ランチ相談会をしながら進めていけるようデザインされていますので、気軽にご参加ください。</p> <p>起業やイノベーションに興味がある方はもちろん、サークルとは違う形で科類を超えた「プロジェクト仲間」と出会いたい、創造的な協働作業を楽しみたいと思える自分になりたいと思うすべての 1 年生を歓迎します。</p> <p>----- ※このゼミは 4 月 5 日 (金) 6 限 (18 : 45~) Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。</p>					
成績評価方法		1) UT-ONE の Slack への参加、2) チームの検討回の写真の Slack 投稿 1 回、3) 企業への訪問 (S1) ないし提案 (S2) 後の感想フォーム提出、4) オンライン共有会への参加の 4 つで総合的に判断					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31618	S	UT-ONE (1年生全員向けの 仲間づくり & 企業提案 : S2)	長藤 圭介	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>どうすれば、3000人の新入生から科類を超えた最高の仲間を作れるのか？ UT-ONEは、1年生3000人全員で同時進行を目指す超大規模なプロジェクト実践型講義です。 本講義の全体像はS1のUT-ONEをご覧ください。S1,S2両方受講を想定していますが、S2だけの受講も可能です。 興味のある企業への訪問か、企業が出したテーマに対する提案のどちらかを、同じ興味を持つ1年生と共にいきます。 企業訪問 (S1と同じ内容を別の企業に実施) 大企業・スタートアップ・個人事業主の3種のリストから現地訪問して話を聞いてみたい1社を選び、 マッチングした仲間とランチしつつ日程調整や質問項目を整理し企業担当者とやり取りし、 平日夕方などに企業を訪問して60~90分お話を伺い、レポートを提出 最後にいろいろな企業に行った受講者が集まる60分程度のオンライン共有会に参加して単位取得 企業提案 企業が出したテーマのリストから提案してみたい1社を選び、 マッチングした仲間とランチしつつアイデアを考えて企業担当者に提案し、その反響をレポートとして提出 最後にいろいろな企業に行った受講者が集まる60分程度のオンライン共有会に参加して単位取得</p> <hr/> <p>※このゼミは4月5日(金)6限(18:45~)Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <hr/>						
成績評価方法	<p>1) UT-ONEのSlackへの参加、2) チームの検討回の写真のSlack投稿1回、3) 企業への訪問ないし提案後の感想フォーム提出、4) オンライン共有会への参加の4つで総合的に判断</p>						
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook						
ガイダンス	特定日に行う。/Will conduct guidance at another time						

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31658	S	ゲーム理論： 人間関係と多様性を科学する	松井 彰彦	経済学部	月 1	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	TBA						
成績評価方法	TBA						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
30102	S	An introduction to the key physical principles underpinning the whole of modern chemistry, focusing on key ideas from quantum mechanics, molecular statistics and thermodynamics.	ウッドワード ジョナサン ロジャー	PEAK 前期	月 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	This course aims to provide a comprehensive introduction to the key ideas in Physical Chemistry with a focus on Quantum Mechanics and Thermodynamics. By the end of the course, students should be able to 1) Understand the failure of classical mechanics. 2) Explain the key principles of quantum mechanics. 3) Rationalize the structure of atoms based on quantum mechanics. 4) Explain why the periodic table has the form that it has. 5) Describe the models of chemical bonding and use these models to predict the shapes and stabilities of molecules. 6) Understand the structure of gases including the effects of intermolecular forces. 7) Make calculations based on the kinetic theory of gases 8) Understand the relationship between the properties of individual molecules and of bulk samples. 9) Appreciate the significance of the Boltzmann distribution 10) Understanding key ideas in thermodynamic including work, heat, enthalpy, entropy and Gibbs energy. 11) Applying the basic concepts of thermodynamics to chemical equilibria						
成績評価方法	The course is evaluated based on in class participation and a final examination. The class participation is assessed in terms of the work done on the classrooms problems as a team as well as the performance in live quizzes. Timely completion and submission of the weekly worksheets is an important part of the assessment, so be advised to focus your attention on these from the outset.						
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31675	S	科学技術・イノベーションと ポリティクス	FACIUS Michael	東京カレッジ	月 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>なぜ、ある国々が特定の科学技術に長けているケースがあるのか？資源が豊富な国々の中でも科学技術・イノベーションの速度が異なる理由は？イノベーションの阻害要素となるものは？この授業では科学技術・イノベーションと政治の相互作用について、科学技術・イノベーション研究をスタート地点とし、政治学の分野を融合するかたちで検討する。日英両方のリーディング課題とプレゼンテーションを通して、テキストの読み方（論点や研究手法の整理）を学び、今後の研究活動に活かせるスキルを伸ばすことにも取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 科学技術・イノベーションと政治の相互作用について、どういった議論が展開されているのかを理解すること ○ 科学技術・イノベーション研究分野の基礎的な用語や分析の枠組みを理解すること ○ 学際的な視点からの議論を身につけること 						
成績評価方法	<p>学期末レポート、日本語 2,000 字程度または英語 1,000 字程度 (pass or fail): 100%</p>						
教科書	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p>						
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
30773	S	Introduction to Qualitative Research Method: Interview Research	高橋 史子	PEAK 前期	月 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p><Overview> This course is designed to familiarize students with qualitative research method, particularly focusing on interviews used in sociology, anthropology, educational studies, and other fields in social sciences. From Week 1 to 4, we will learn what qualitative research is, how it is used and designed in social science research through reading assignments and lectures and discuss its significance and limitations. From Week 5 to 13, we will learn how to conduct research using interviews. We will also actually conduct interviews and analyze data, by establishing a common theme in the entire class, developing interview questions, recruiting collaborators, and conducting the actual interviews. Then, we make interview transcripts to analyze. On Week 13, each students is expected to give a presentation about the findings of the data.</p> <p><Objectives> Students will be able to</p> <ul style="list-style-type: none"> - understand the basic theories involved in what qualitative methods are and how they are practiced - critically discuss the significance and limitations of qualitative methods, and - conduct interviews with attention to research ethics. 						
成績評価方法	<p>Attendance and Reading Assignment: 30% Assignment 1 (Interview Transcript): 35% Assignment 2(Final Presentation): 35%</p>						
教科書	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p>						
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31676	S	北アフリカの歴史と文化 (マグリブ入門)	渡邊 祥子	東洋文化研究所	月 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>この授業では、北アフリカ・マグリブ地域（今日のアルジェリア、チュニジア、モロッコに当たる地域）の歴史と文化に対する理解を深めるため、日本語または英語で読んだり、視聴したりできる教材（翻訳や創作物も含む）を用い、その内容を議論する。教材の理解に必要な歴史的背景や分析方法についての知識を補うため、教材と一緒に短めの学術論文も読んでいく。現代日本とは異なる価値観や歴史的・文化的文脈の中で書かれた旅行記、外交文書、地図などの史料（ただし言語上の制約のため、この授業では翻訳を多く用いる）を読みこなし、歴史に題材をとった創作作品を批評することを通じて、北アフリカの歴史と文化を知り、北アフリカにまつわる様々な言説やイメージを参加者が自分なりに解釈できるようにすることを目指す。</p> <p>参加者には、毎回事前配布する課題テキスト（基本的には英語または日本語の教材1～2点と、学術論文1本のセット）を必ず事前に読むことが課される。授業日にはまず、講師による講義で背景知識を学んだうえで、講義終了後に行うディスカッションに積極的に参加することが期待される。ディスカッションをスムーズに進めるうえでの手がかりにするため、いくつかの設問に対して授業で学んだ内容を答えたり、自分の意見を述べたりする形式のリアクションペーパーを講義終了後の授業中に記入・提出してもらう。リアクションペーパーの設問は、課題テキストとともに事前配布するので、授業前に分かるところは記入をはじめてもらってよい。</p> <p>マグリブ地域やイスラーム文化、植民地史に関心がある参加者を歓迎する。中東・北アフリカ史、アラビア語およびフランス語の基礎的な知識があることが望ましいが、いずれも必須条件とはしない。</p>					
成績評価方法		<p>ディスカッションの形式と成績評価方法は以下のとおり。</p> <p>(1) 出席者数が20人以上の場合、ディスカッションの形式はグループワーク方式。 授業ごとの出席者数が20人以上の場合、受講者を複数のグループに分け、リアクションペーパーの設問をグループで完成させてもらい、代表者に報告してもらうグループワーク方式でディスカッションを行う。グループワーク方式の場合、個人の貢献の評価をするのは技術的に困難なので、出席点のみ。</p> <p>(2) ディスカッション（19人以下の場合）の成績評価は加点方式とし、出席点をより重視する方法とする。 出席者数が19人以下の場合、全員でのディスカッションを行う。この場合の成績評価も、出席点を基本点とし、ディスカッションに貢献した参加者に加点をする形とする。なお、参加者ができる限り平等な発言機会を得られるよう、講師が発言者を指名する場合がある。</p> <p>(3) リアクションペーパーの内容は細かく採点しない。 リアクションペーパーの内容について細かい採点は行わない。出席・受講の確認と、受講者と講師のコミュニケーションのために利用する。</p>					
教科書 ガイダンス		<p>授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31607	S	『世界開発報告』を読む 2024S	森川 想	工学部	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>最新版の『世界開発報告』を会読します。講師は開発の専門家ではありませんが、開発を学ぶことは、先進国・途上国を問わず現代社会の課題を見つめることに直結すると考えています。報告そのものや、その根拠となっている文献をクリティカルに読み、議論することで、社会課題解決のために世界各国で行われているプラクティスの可能性や限界、科学技術（社会科学・自然科学）と公共政策の関係等について考え、見直す機会としていただければ幸いです。ガイダンスは第一週にZoomにて実施します。この日時に出席できない方は別途相談もできますのでその場合はメールでご連絡ください。</p>					
成績評価方法		<p>議論への貢献</p>					
教科書 ガイダンス		<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31649	S	「宇宙の中身と宇宙の外側」 The Universe and its contents	松村 知岳	カブリ数物連携宇宙 研究機構	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		我々はどこからきたのか、という問いはシンプルかつ深遠な問いである。この問いを突き詰めていくと、宇宙の始まりを考えざるを得ない。宇宙の中身は我々を含め何が入っているのか？ここでのキーワードは、ブラックホール、ニュートリノ、ダークマター、そしてダークエネルギー。また、そうした中身を内包する宇宙はどう始まり、どう成長して、どう終わりを迎えるのか。こうした問いに対して、物理学というアプローチから見た現在の宇宙の理解、そしてまだ残る謎について専攻する分野を問わず一緒に考える。なるべく質疑応答の時間を設けることで双方向の授業を目指す。素朴な質問などでも歓迎である。 `Where did we come from?` This is such a simple and yet fundamental question to address. This question inevitably leads us to the beginning of the Universe. What does the Universe contain within it? We have keywords, e.g. blackhole, neutrino, dark matter, and dark energy. Also, how did the Universe begin and evolve? Eventually, how will it end? We introduce these questions and the front line of research using the current knowledge of physics today. We also introduce the effort to go beyond the current knowledge of physics. We try to have bi-directional discussions instead of one-way lectures.					
成績評価方法		レポート提出。 Report submission.					
教科書		教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31661	S	国際政治の新しい課題	鈴木 一人	公共政策大学院	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		現代の国際政治は伝統的な国家間関係だけでは説明できない。一方ではアメリカの超大国としての地位が衰退し、中国の台頭やロシアなどの地域大国の影響が増しているが、他方で、世界は自由貿易を基調とした、グローバル市場の統合が進み、高度に相互依存関係にある。こうした中で国際政治を学ぶ上で必要なコンセプトをきちんと理解し、その上で国際政治の現状を理解するための基礎となる知識と解釈を身につけることを目的とする。					
成績評価方法		授業での発表と議論：50% 期末レポート：50%					
教科書		次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 白鳥潤一郎・高橋和夫 現代の国際政治 放送大学教育振興会 2022年3月出版予定					
ガイダンス		特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31679	S	動物細胞研究法入門	田中 智、片岡 直行、伯 野 史彦、杉浦 幸二、 後藤 康之	農学部	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		動物の生命現象を解明しようという努力は、個体の観察から始まったことは言うまでもない。これが組織、そして細胞へと機能の解析が進んだのは、「細胞培養」という技術が開発されたことに依るところが大きい。細胞は、分離して培養することができる生物の最小単位と言われている。これらの細胞を用いて、それぞれの細胞に特異的な生命現象や、普遍的な現象の機構などを検討できるようになったのは大きな進歩である。その後、遺伝子工学技術が開発され、動物細胞に外来遺伝子を導入し高発現したり、内在性遺伝子の発現を抑制したりすることも可能となった。この技術の開発により、細胞レベルで、興味がある遺伝子の機能、これがコードするタンパク質の機能などを調べることができるようになり、細胞生物学的研究が開花した。本講義では、このような動物細胞を用いた研究の原理と手法、実例などを紹介、動物細胞を用いた研究で何ができるのかを知ることを目標とする。 ----- ※このゼミは以下の日程で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。 【日程】2023年4月18日(木) 18:45~19:45 ①駒場キャンパス 1313教室もしくは1323教室を予定(教室の確定は3月下旬頃) -----					
成績評価方法		出席と理解度テスト					
教科書		教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31705	S	数理物理への誘い －解析力学と相対性理論－	加藤 晃史	数理科学研究科	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>現代的な物理学は難しいと考えられがちだが、数学的構造と物理的内容を区別してそれぞれをきちんと理解すれば、教養レベルの数学と物理の知識で十分に理解可能である。本ゼミナールは、解析力学と相対性理論を題材として数理物理の広大な世界への入門としたい。</p> <p>予備知識としては1年次に学ぶ力学、線形代数、微積分、微分方程式などの基礎的な知識（特にベクトル空間の基底、テイラー展開や合成関数の微分の連鎖律など）を仮定するが、未修であっても必要に応じて適宜解説する予定である。わずかな基本原理を仮定し、論理的な考察によって驚くべき結果を次々と見出したアインシュタインら先人達の驚きを追体験しよう。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席・レポート・質問や発表等のゼミへの貢献度などで評価する。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31708	S	抽象数学の手ざわり	斎藤 毅	数理科学研究科	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>現代の数学の対象は、集合に付加的な構造を定義することで構成される。同種の構造をもった集合をひとまとめにして圏としてとらえることで、対象それ自体よりもその間の関係を表す射を重視する視点に導かれる。さらに、圏相互の関係は関手としてとらえられる。このような抽象的な考え方を、具体的な例をとおして学ぶ。</p>					
成績評価方法 教科書		<p>黒板での発表のほか、レポートによって評価する。</p> <p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook</p> <p>斎藤 毅 抽象数学の手ざわり 岩波書店 9784000297059</p>					
ガイダンス		<p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31717	S	実践的プログラミング	金子 知適、 中丸 智貴	情報・図形	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>プログラミングによる問題解決では、与えられた問題に対して、適切なアルゴリズムを考えることと、それを正確にプログラムとして実現することの両方が必要となる。本授業では「国際大学対抗プログラミングコンテスト」などに出題された問題を題材として、アルゴリズムを考えてプログラムを作る能力を実践的に養うことを目指す。プログラミングの経験を受講の前提とする（授業では文法等は解説しない）。詳細は http://www.graco.c.u-tokyo.ac.jp/icpc-challenge/ を参照のこと。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>演習問題の解答状況およびゼミへの参加状況によって評価する</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31719	S	シングルセル生命科学・医学入門 —細胞を深く知って生命科学・医学 を理解しよう—	野村 征太郎	医学部	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>大学では生命科学や医学といった生命に関する勉強をしたい。そういう学生を対象に、最先端の研究手法を駆使した生命科学・医学研究を体験するゼミを開講します。これまで生物をしっかりと学習していない学生でも十分に学べる内容からスタートします。</p> <p>生命の最小構成要素が「細胞」であることは皆さんもご存知かと思います。この「細胞」を深く知るための新しい解析技術、シングルセル解析によって生命科学・医学研究が大きく変わっています。本ゼミは、この最先端技術によって「細胞を深く知って生命科学・医学を理解する」ことを目指しています。基礎編・応用編・発展編の3部に分けて、講義を展開していきます。</p> <p>基礎編（4回）では、細胞とは何か？ 遺伝子とは何か？ といった基本的な概念から、細胞が構成する社会（生命現象）を理解するための講義形式の授業をします。これまで生物学を勉強していなかった学生でも十分に理解できる構成としており、講師と学生とのインタラクティブな講義展開で内容の定着を図ります。</p> <p>応用編（4回）では、基礎編で学んだ知識に基づいて、生命科学・医学における重要な生命現象（発生や疾患）をシングルセル解析で理解しようとする最先端の本格的な研究論文を講師と一緒に読み進めます。科学論文における論理の流れ、データのプレゼンテーション、その解釈の仕方、さらには将来展望に至るまで、アカデミックな内容を徹底的に理解できるようにします。</p> <p>発展編（4回）では、基礎編・応用編と学んできた知識と経験に基づいて、実際にシングルセル研究で行う実験・解析を体験するとともに、グループを組んで個別の生命現象を対象としたデータセットを用いて解析を行い、プレゼンテーションをすることによってアカデミアで必要となるスキルを磨きます。</p> <p>本ゼミに参加していただければ、生命科学・医学研究の基礎から最先端までを知ることができ、将来どのような分野で生きていくにも大事なスキルを身につけられるでしょう。特に予習は必要なく、授業中にインタラクティブな講義を展開しますので、ひとりでも多くの学生に参加していただきたいと思います。</p>						
成績評価方法 教科書	<p>授業に取り組む姿勢、授業後の課題に対するレポート、プレゼンテーションにより評価します。</p> <p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook H. Lodish 他（監訳：堅田利明他） 分子細胞生物学 第9版 東京化学同人 9784807920518</p>						
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31724	S	未来の学びを考える	中澤 明子	教養教育高度化機構	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>小学校から大学まで、教育・学習を取り巻く状況は日々変化しています。2000年以降、大学では「アクティブラーニング」や「国際化」などの取り組みが多く行われるようになりました。また初等中等教育（小学・中学・高等学校）でも、「アクティブラーニング」や「GIGA スクール構想」などの取り組みが行われています。2022年には ChatGPT が登場し、生成 AI の教育活用などについても議論が始まっています。それでは、未来の学びはどうなるのでしょうか。</p> <p>本授業の目的は、教育・学習に関する文献（章・節など短い分量）を読み、ゲスト講師の講義を聞いて教育実践を知り、文献・事例の内容や自身の経験（過去・現在）の意味を理解した上で、未来の学びがどうなるかを自分なりに考えることです。またその過程では、学期を通じてクラスのメンバーと「未来の学びがどうなるか」について議論し、自身の考えを深めていきます。文献の内容や学期を通じた議論を踏まえて、最終的には個人で考えた「未来の学び」（10年後を想定）を発表・共有します。</p> <p>・授業の目標 授業を通じて、次のことを達成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育・学習に関する文献を読み内容を説明できる 2. 教育・学習に関する問いに対してグループで議論できる 3. 過去や現在の教育・学習に関するトピックや事例を列挙できる 4. 自分の教育・学習経験を、理論・事例と関連づけて示せる 5. 「未来の学び」について、クラスのメンバーと議論し、自分の意見を示せる 6. 理論・事例や自身の経験、学期を通じた議論を踏まえ、自分なりの未来（10年後を想定）の学びのあり方を示せる 						
成績評価方法	<p>最終成果物＝小レポート（物語形式）（600～1500字以内、「10年後の未来で誰が、どこでどのように学んでいるか」の内容とその理由・根拠を実際の場面を説明する物語の形式でまとめる）（50%）、平常点＝授業への出席（毎回のふり返りシートの提出）（50%）</p>						
教科書	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p>						
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31723	S	露ウ戦争を理論的に考える	中村 長史	教養教育高度化機構	火 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【概要】 ロシア・ウクライナ戦争（露ウ戦争）の発生から2年が経とうとしている。この間、メディアの報道等を通じて日々の戦局について詳しく知る機会は多くあった。一方、以下のような点については、どうだろうか。「戦争はなぜ起きたのか」、「戦争はなぜ終わらないのか」、「戦争は国際秩序にどのような影響を及ぼすのか」、そして「そもそも戦争をどのように捉えればよいのか」。日々の戦局を追うのに精一杯で（あるいは倦み疲れて）、こうした点を深く考える機会がなかったとすれば、私たちは「木を見て森を見ず」といった状況になってしまっているのかもしれない。戦争が私たちの感情を激しく揺さぶるものである以上、目の前の事態を追いかけるのは自然なことではある。しかし、「森」をも捉えたいと思うならば、国際政治学における理論研究の蓄積を使わない手はない。一般的・抽象的な思考を学んだうえで、それを活かして露ウ戦争という個別的・具体的な事案を少し引いたところから考えたい。本演習は、そうしたニーズに応えるためにある。</p> <p>【目的】 本演習で学んだ概念と事例を使いこなして、露ウ戦争の構図や原因、対応策を自分の頭で考えられるようになる。</p> <p>【到達目標】 ①学んだ概念に関するキーワードについて正確に説明することができる ②露ウ戦争が起こった原因について、複数のキーワードを比較したり組み合わせたりして体系的に説明することができる ③露ウ戦争が終わらない原因について、複数のキーワードを比較したり組み合わせたりして体系的に説明することができる ④露ウ戦争が国際秩序にもたらす影響について、複数のキーワードを比較したり組み合わせたりして体系的に説明することができる ⑤露ウ戦争の捉え方について、複数のキーワードを比較したり組み合わせたりして体系的に説明することができる</p>					
成績評価方法		各回のコメントシート（各回のキーワードについて理解できたこと、疑問に思ったこと、さらに知りたくなったことをまとめて提出する）によって評価する。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31731	S	「子ども」を取り巻く現代の諸問題	山岡 あゆち	教養教育高度化機構	火 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【授業の目標】 現代の子どもや青少年を取り巻く様々な問題について、社会科学の視点から学ぶことを目指します。学校という具体的な場所を中心にとりあげて、問題を自分事としてひきつけて考え、問題に社会がどう向き合うべきか、自分はどう向き合っていくかを考えます。</p> <p>子どもや青少年を取り巻く様々な問題のうち一部を取り上げ、実情や学術的知見をとりあげながら課題を分析します。それらの問題について、知識を身に付けるだけでなく、問いのない問題について、対話をしながら、他者を尊重しながら自分の意見も尊重して、何人かで協働しながら考えるということを目指します。対話の中でも意見の差異が生じた際に、それをどう扱うかということも体験しながら学んでいきます。心理的な安全とは何か、相手を尊重した対話の姿勢などについても、協働学習の中で実際に身に付けていくことを目指します。インクルーシブ教育などのキーワードに関心がある方も、こういったきーわどを耳にするけども、正直どうなんだろう・・・と思っている方も、いろいろな立場の方の対話によって議論を深めていきます。またいくつかの理論的な枠組みも含めた問題の多角的な捉え方をできるようにすることを目指します。</p> <p>【授業の概要】 授業では、障害などの特性について、児童虐待、いじめ、不登校・ひきこもり、非行、貧困・社会的孤立・教育格差などの子どもを取り巻く問題についてゲスト講師を迎えながら問題の実態について学び、課題について議論を行います。これらの問題を踏まえて、どのような社会にかわっていくか、ということを経験という場を例として取り上げて、具体的にどのように向き合っていくかどうかを最終回に向けて議論を行っていきます。</p>					
成績評価方法		<p>・授業への参加状況 55%</p> <p>授業への出席 33 (1回3点×全11回)</p> <p>授業内のグループワークや議論への貢献 22 (1回2点×全11回)</p> <p>・ミニプレゼンの評価 45%</p>					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31650	S	Whose charity is it anyway? Roles of charities in the UK and other countries.	Tomoko Kamishima	グローバル教育セン ター	火 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>Activities of charitable organizations in the UK are diverse, ranging from supporting people in needs, looking after the environment, to funding medical research. Charities are firmly embedded in the daily lives of Brits where their importance cannot be overestimated. For example, the swift development of COVID-19 vaccines in the UK, as opposed to that in Japan, may be partly due to generous money provided by medical research charities.</p> <p>In recent years, charitable organizations in the UK, many of which started as a small-scale voluntary organization, became professionalized. In size, budget and membership, many modern charitable organizations operate like companies where their CEOs may be brought from outside of grassroots members. Consequently, many charities now have power to influence decision-making processes by politicians who, in turn, may contribute to the charity's coffers from general taxation. There is evidence that some charities now act as a government's "arm" meaning charities may perform "governmental work" while scrutiny and accountability may not be as rigorous.</p> <p>In this course, the students will learn the funding mechanisms and operation of charitable organizations using British charities as examples. The first case study is the Wellcome Trust, one of the largest UK medical charities that contributed to decoding the human genome. The second case study is OXFAM, one of the most prominent over-sea aid charities that caused international sex-for-aid scandal. Students then evaluate the merit and demerit of large/global charities and small/local charities. Finally, students will select a charity and make a presentation to persuade the audience to support a good cause of their choice.</p>					
成績評価方法		P/F. Grades are based on discussion, presentation and participation in class activities.					
教科書		教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
30554	S	モダン Web システム開発入門	松島 慎	学生による全学自由 研究ゼミナール	火 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>コンピューターの急速な性能向上を背景に、ソフトウェアの重要性は以前にもまして高まっています。この全学自由研究ゼミナールでは、主に Web システムの開発技術について扱います。これは、頒布の容易性やデスクトップ・モバイルを超えた可搬性などの理由から、Web は近年のアプリケーション開発における主流のプラットフォームとなっているからです。</p> <p>カリキュラムは、HTML や CSS、JavaScript といった基本的な Web 技術に始まり、バックエンドサーバー (Node.js) の開発やリレーショナルデータベース (PostgreSQL) の基礎を扱います。その後、グループに分かれて開発演習を行います。毎回の課題に取り組むことで、カリキュラム終了時には、独力で Web サービスが公開できるようになるでしょう。</p>					
成績評価方法		出席のみ。					
教科書		教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31626	S	物理学汎論	沙川 貴大	工学部	火 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>物理学は、力学、熱力学、電磁気学、量子力学、…等といくつもの科目にわけて講義されることが多いが、実際は人類の膨大な思考の積み重ねによって、一つの統一された学問を形成している。そこで本講義では、歴史と最新の発展をふまえて、物理学の全体像を三部構成で俯瞰することを目標とする。</p> <p>まず第一部では、相対性理論を解説する。時間の遅れやローレンツ収縮などの不思議な現象を通して、時空や対称性といった物理学の基本的な考え方を学ぶ。</p> <p>第二部では、「光子」を題材にして量子力学をゼロから学び、ミクロな世界の物理法則が如何にマクロな世界とは異なっているかを議論する。さらに、量子暗号や量子テレポーテーションなど、量子力学の性質をフル活用した最先端の量子情報技術の紹介を通して、量子力学をより深く理解することを目指す。</p> <p>最後に第三部では、統計力学について解説を行い、マクロな自然現象がミクロな粒子の集団的振る舞いによってどのように記述されるかを述べる。さらにフェルミ粒子やボーズ粒子といった異なる統計性をもつ粒子の集団的振る舞いの違いを示すことで、低温状態で現れる超伝導や超流動といった多彩な物性の発現を理解することを目指す。</p>					
成績評価方法		レポートによる。					
教科書		教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31664	S	作曲＝指揮	伊東 乾	情報学環	火 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	管弦楽やオペラなど 西欧古典に根を持つ音楽の演奏 ならびに作曲の基礎実技を扱う。共通の出発点はソルフェージュにあり、指揮に関してはP.ブーレーズと担当者のメソッドを、作曲に関しては履修者の準備に合わせて適切に検討して取り扱う。東京芸術大学・同大学院など在学生とシャフルして行う場合がある。						
成績評価方法 教科書	出席と簡単な実技・レポートなどを併用 教科書は使用しない。/Will not use textbook 伊東 乾 スペクトラル・コンダクティング 東京大学出版会						
ガイダンス	第一回授業日に行く。/Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31702	S	考える力を養う /コントラクトブリッジ	浅井 潔	理学部	火 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	コントラクトブリッジを基礎から学び、判断力・分析力を駆使し、確率に基づいた最適プレイを選ぶ考え方を実践を通じて身に着ける。 コントラクトブリッジは、カード（トランプ）を使用して行う競技であり、チェス、囲碁、将棋と共に頭脳スポーツと呼ばれている。本講義では、Zoom とオンラインブリッジを組み合わせたオンラインでブリッジの基礎を学ぶ。 担当教員は日本リーグに参加している上級者である。本授業は公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟の協力を得る。						
成績評価方法	合格・不合格： 宿題の成績、授業への出席実績、および実習でのプレイに基づいて行う。 7/2、7/9 の渋谷ブリッジセンターで行う実習おへの出席を必須とする。						
教科書	授業中に指示をする。/Will specify at class time Web 上で教材を提供する。						
ガイダンス	第一回授業日に行く。/Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31674	S	DIFFERENT DIMENSIONS OF BILINGUALISM	FACIUS Michael	東京カレッジ	水 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	What does it mean to be bilingual in a globalizing world? Where does bilingualism meet culture, medicine, music, education, and business? This course aims to present bilingualism from different points of view, focusing on the idea of interdisciplinarity between linguistics and other sciences. It will discuss the world's transition from assimilation to multiculturalism. It will reveal the main definitions of bilingualism, diglossia, and multilingualism. Cases from Japan and Europe will illustrate the differences between three different bilingual-bicultural societies. One of the lectures will focus on the changes in the bilingual human brain. A separate class with an experimental part will explain the connections between bilingualism and communication through music as a base for innovative research. The participants will have the opportunity to listen to guest lectures regarding the importance of bilingualism in the field of business communication as well as to participate in a workshop on the methods used to teach the Japanese language in a multilingual environment. At the end of the course will be held a workshop on conducting a multilingual anonymous survey and writing a scientific text. Writing a short text for a bilingual blog is the main task to complete the course. After successfully completing this course, you will						
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ●Have learnt several definitions and classifications of bilingualism ●Be familiarized with specific cases of bicultural bilingualism ●Have basic knowledge about the changes in the bilingual human brain ●Be able to explore new paths in scientific research related to music and bilingualism ●Be familiar with the use of bilingualism in the field of business communication ●Know some methods to teach the Japanese language to a multilingual group of people ●Have learnt how to conduct a multilingual anonymous survey ●Be able to write a scientific text Writing a short bilingual text (Japanese and English) for creating a bilingual blog 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行く。/Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
30737	S	Introductory course in linear algebra, continued	松尾 厚	PEAK 前期	水 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>Phenomena in natural and social sciences are usually complicated, and seldom described by linear equations. However, Linear Algebra is still powerful and effective in describing essential parts of the phenomena by linear approximation. Thus Linear Algebra has vast applications.</p> <p>Linear Algebra will further provide basics for considering linear spaces that appear in quantum mechanics or Fourier analysis. The ideas in Linear Algebra are broadly utilized in sciences and engineering, including agriculture, medicine, and economy, as well as in mathematics and physics.</p> <p>Although Linear Algebra is simple and clear in theory, one needs to be familiar with abstract concepts in mathematics to properly deal with it in practice. It is important for students to keep on deepening their understanding by working with exercise and related problems.</p>						
成績評価方法	<p>Mainly by final examination, while the score of mid-term exam, quizzes, homework notes, and attendance may possibly be taken into account.</p>						
教科書 ガイダンス	<p>プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
30772	S	「問題解決のための思考法」 (通称：宇野ゼミ)	宇野 健司	学生による全学自由 研究ゼミナール	水 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>通称「宇野ゼミ」 大手シンクタンク（総合研究所）出身のプロフェッショナルによるMBA（ビジネススクール）形式のディスカッション授業です。</p> <p>講義を一方的に聴講するのではなく、アクティブラーニング型で学生同士がフレンドリーに意見交換するタイプのゼミなので、結果として例年みんなが非常に仲良くなります。</p> <p>内容としては、企業の組織論・経営戦略論、個人のキャリア形成など実践的なテーマを取り上げます。</p> <p>ディスカッションを通じ、「自分の意見を堂々と表明する」「他人の意見を尊重し、誠意を持って傾聴する」「批評・批判よりも、問題解決型の前向きな意見交換を行う」「柔軟かつ適切に議論をまとめる」など、社会人になってからも必要なコミュニケーション・スキルを育成します。</p> <p>また講師の体験談（海外大学院MBA留学、専門スキル習得、就活、転職など）をもとに、「皆さんの将来キャリアをどう築いて行けば良いのか？」などについても、現実的なアドバイスをします。</p> <p>授業の目的は、</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ディスカッション・スキルを身に付けること (2) 自分のキャリアについて考えること (3) 講師・クラスメイトから刺激を受け、意識を高め、将来に向けてより自発的に行動できるようになること <p>一定の問題意識を持った意欲的な学生の参加を希望します。</p> <p>※双方向でのディスカッション授業の性質上、例年、講師・クラスメイトがとても親密になり、授業外でも友好的なコミュニケーションとなり、卒業後も存続しています（皆さんが8期生になります）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「海外留学」 （東大の中で、交換留学に行く人が一番多いゼミだと思います。昨年度はゼミ生100人、一昨年度は80人が留学決定。個別にアドバイスして皆さんの背中を押しています。ゼミ生以外でも相談に乗っていますので、気軽に声をかけて下さい） ○「進振り」（ゼミ生向けに説明会を実施） ○「起業」 ○「コンサル、外資金融」（ゼミ生向けに選抜コミュニティ説明会を実施） ○「資格試験」 ○「就職活動」（希望者には個別に相談に乗っていますし、毎年オープンチャットで情報提供しています） ○「イベント企画」（駒場祭や五月祭などにゼミで参加） ○「ボランティア活動」（高校生との交流など教育分野が中心） ○「課外活動」（朝日新聞などメディアと一緒に活動） ○「授業外交流」 <p>などで、気の合う仲間が多数できると思います。</p> <p>※履修希望者が定員を大幅に超える場合が多いので、第2回までに授業に参加するようにしてください。</p> <p>定員を超えた場合の対応は、第1回（4/10）および第2回（4/17）授業で詳細を説明します。 （それ以降でも、いつでも個別に上記メールで相談して来て下さい）</p> <p>※例年、LINEグループやSLACKやGoogleドライブなどを使って、緩やかなコミュニティを形成しています。講師・ゼミ生間の距離が近く、とても仲良くしています。</p> <p>（東大生であれば授業を履修していなくても参加できます。宇野ゼミLINEグループは、一昨年度は約400人超、昨年度は500名でした。水曜4限に予定が入っている人にも柔軟に対応しますので、いつでも気楽にメールなどで問い合わせに来て下さい。また希望者には、1人30分ずつZOOMによる個別面談で、公私にわたる何でも相談に乗っています。昨年度は、約150人と授業外に1対1でオンラインで会話しました。いつでも誰でもゼミ生以外でも歓迎しますので、どうぞ！）</p>						
成績評価方法	<p>授業への参加度による評価（テスト、レポート等の提出はありません）</p>						
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
30807	S	Introduction to Classical Mechanics	ドローネー ジャン ジャック	PEAK 前期	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		This calculus-based Classical Mechanics course provides the foundation for further study of physics and engineering. Quizzes in the class and written examination at the end of the course. 教科書は使用しない。／Will not use textbook A reference textbook can be found below https://openstax.org/details/books/college-physics 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31662	S	日本古代・中世の日記を 読もう	遠藤 珠紀	史料編纂所	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		日本には古い時代の日記が多く伝わっています。この授業では藤原道長の『御堂関白記』など、おおよそ 11 世紀～16 世紀の様々な日記を取り上げ、精読することで、当時の政治・社会・文化などに触れていきたいと思ひます。文章の内容はもちろんです、それぞれの日記の形態、記主の立場、同じ案件に関する複数の日記の比較など複合的に考えることで、何が読み取れるのかを探っていきたいと思ひます。史料批判の技術も身に付けていきましょう。 自身の担当回の報告、他の人の報告に対するディスカッションへの参加、授業後のコメントなどによります プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31699	S	East West Interactions and the Formation of Modern Society	松原 健太郎	法学部	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		You are now a student at the University of Tokyo. People tell you it's the best university in Japan. At the same time, if you mean to make your way in the wider world not limited to Japan, you know you still have a long way to go. What this course tries to do is to provide the student with an intellectual framework, or a basic skill-set, that would allow them to maximise the effect of an education in this university, when applying it to a career in the wider world. The knowledge that you acquire from your specialised courses, while important, will only be one part of what you are expected to learn at (a top) university. You will be required to be able to explain how you, as an individual, connect and contextualise the knowledge acquired (separately) in the different courses you have chosen to study. Moreover, if your background is going to include study at the University of Tokyo, it would be difficult for others not to assume that that context would have something to do with a profound understanding of Japan and its place in the world. This course tries to provide the opportunity to build up such a context that could be presented in a convincing manner. Evaluation will be based on participation (including a presentation), a final paper. 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31700	S	最新の宇宙像	峰崎 岳夫	理学系研究科	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		近年、宇宙観測の技術は急速に発展を遂げており、私達人類が持つ宇宙像は、大きく塗り替えられている。最先端の宇宙観測とその成果を、理学系研究科附属天文学教育研究センターに所属する様々な分野の専門家がわかりやすく紹介する。天体現象だけでなく観測手法についての解説も行う。天文学の知識を系統的に与えることが目的ではなく、多様な宇宙の姿やその観測技術・研究手法に興味を持ってもらい、科学的な思考方法に慣れてもらうことに主眼をおく。 レポートにより評価を行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31710	S	グラフの表現論	伊山 修	数理科学研究科	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		有向グラフ（以下, quiver）とは点と矢印からなる構造であり, 数学における様々な対象を記述するために用いられる. quiver の表現とは, その各点にベクトル空間を対応させ, その各矢印に線型写像を対応させたものである. quiver の表現論とは, 与えられた quiver の表現の全体を調べることであり, 代数の表現論の典型例として重要である. 本講義では線型代数のみを前提知識として, 前半で直既約表現の分類に関する Gabriel の定理を解説する. 後半では, 表現全体の成す構造である圏の概念と, それを扱うために必要な Auslander-Reiten 理論を概説する予定である.					
成績評価方法		レポートによる.					
教科書		教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31714	S	生命科学の最前線	深谷 雄志	定量生命科学研究所	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		定量生命科学研究所で行われている研究を題材に, その分野の歴史や最新の知見をオムニバス講義形式で紹介する。					
成績評価方法		成績評価はレポートをメインとする。					
教科書		教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31729	S	【アクセント×東大】 私たちが今ほしい未来を提言 ーインサイト探求、アイデア創 出、アイデア検証、企業への提案 まで体験しよう！	高橋 史子	教養教育高度化機構	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>いま世界は目まぐるしく変化しています。なぜならば、デジタル化が進んだからです。例えば、昨日まで知らなかったサービスが突然現れ、私たちの生活を根底から変えることもあります。</p> <p>みなさんは「生成 AI」をご存知でしょうか？生成 AI の 1 つの ChatGPT に聞いてみると、「生成 AI は、機械学習の一分野であり、新しいデータを作り出すことができる技術です。例えば、絵や音楽の自動生成が可能です。従来の AI は与えられたデータから予測や分類をするのに対し、生成 AI は新しいデータを作り出すことができる点が異なります」と教えてくれます。</p> <p>2022 年にリリースされた ChatGPT を皮切りに、生成 AI を活用した様々なサービスが生まれています。2023 年日本財団の調査によると、17-19 歳の 36.1% が生成 AI を使ったことがあるそうです。もちろんビジネスの世界でも、生成 AI を業務や新サービスに取り入れる活動が活発化しています。みなさんが社会に出るころには、「生成 AI がなかった世界が信じられない」と思うほど、世の中に浸透したサービスになっているでしょう。</p> <p>驚くべきスピードで新商品・サービスが生まれる現代は、「正解がない不確実な世界」といえます。大企業だからといって、必ずしもヒット商品・サービスが生まれるわけではありません。特に、実際にやってみないと成功するかわからない新規事業については、アクセントの調査によると、立ち上げに成功したと躊躇なく言える経営幹部はわずか 6% にとどまっています。</p> <p>それでは正解がない不確実な世界で、成功する新商品・サービスを生み出すためには、どうすればよいのでしょうか？その答えの 1 つとして、ユーザ視点での課題・インサイト（潜在的な欲求）の見極めと、新商品・サービスを素早く市場投入する仕組みを活用できることが重要です。</p> <p>私たちアクセントは、世界有数の総合コンサルティング企業として、世界中の様々な企業と一緒に、新しいサービスをビジネスとして実現させてきました。その経験と実績を活かし、本授業では、初学者を対象に、アクセントの現役コンサルタントと共に、新商品・サービスを生み出すプロセスを身に付けることを目的としています。</p> <p>具体的には、課題・インサイトを抽出・深掘りし、デザインシンキングという手法で“今ほしい未来”の新しいアイデアを生み出します。そしてそのアイデアをもとに簡易プロトタイプ（検証のためのサービス・もの）を素早く作成・検証し、最終発表ではストーリーテリング（ビジネスを「物語」を通して表現する手法）を活用して、実際の企業の方へプレゼンします。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を客観的に分析する手法を学ぶことで、インサイトを抽出・深掘りする ・デザイン思考を学び、UX（ユーザ体験）、ビジネス、テクノロジーなどの視点を踏まえてソリューションを考える ・最適なプロトタイプを素早く作り、ユーザ評価を的確に分析・反映する手法を学び、実践する ・ストーリーテリングをもとに人を説得する技術を学び、発表する ・グループマネジメントやグループコミュニケーションを通じて、ビジネスにおけるコラボレーション力を向上させる ・「私たちが今ほしい未来は何か？」という正解がない「問い」に対して、自分なりの解をみつける技法を学ぶことで、不確実な世の中も楽しめるようになる。 						
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りフォーム（80%）…各回で学んだ知識、概念、理論に関する簡単な復習。疑問点や感想も書いてください ・発表（20%）…第 13 回授業で発表を行います。教員（10%）、アクセント社員（10%）。評価基準は以下の通りです。 <p>◎評価基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備への貢献（各チーム担当のアクセント社員が評価） <ul style="list-style-type: none"> ・チームワークへの貢献：授業の中でチームメンバーと交流し、チームワークの向上に寄与する。また、チームにとって有益と思える内容は、積極的にフィードバックを行うことができる。 ・アイデア出しへの貢献：多様な視点を持って活動に参画し、自分のアイデアを話すことができる。また他者からの意見を取り込むことで、アイデアを進化させることができる。 ・アウトプットへの貢献：グループワークに順応するとともに、新たな、または不慣れなタスクにも積極的に取り組むことができる。また、与えられたパートのタスクを期日を守ってこなすことができる。 ・発表への貢献（教員、アクセント社員が評価） <ul style="list-style-type: none"> ・内容のわかりやすさ：ストーリーテリングの手法で、伝えたいことを簡潔にわかりやすく話すことができる。 ・話し方の適切さ：聞き手を意識して、はっきりした発音で話すことができる。また発表時間を大幅に超えないようにコントロールできる。 ・質疑応答のわかりやすさ：質問者の意図を理解して、受け答えができる。質問内容がわからない場合は、質問者に質問して内容を確認することができる。 						
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31736	S	平和のために東大生ができること	岡田 晃枝	教養教育高度化機構	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>戦争を知らないどころか、核戦争に巻き込まれる危険が真剣に議論されていた冷戦すら過去のものとなってから生まれた世代は、戦争体験や被爆証言をどのように受け継いでゆけばよいのか。特定の国民・民族・個人の歴史証言を記録する意味とは何か。そしてそれは世界の平和に寄与するものたりえるのか。このゼミでは軍縮と平和について、感情論に陥らず、イデオロギー色をできるだけ排して、学び合い、語り合う。</p> <p>昨年度に引き続き、SDGs（持続可能な開発目標）のGoal16「平和と公正をすべての人に」をテーマに、中央アジア諸国を事例として、ソ連からの政治・経済・社会の移行期に生じた（あるいは生じている）さまざまな問題を「体制移行国の課題」として取り上げる。とくに 2022 年初頭に大きな政治的混乱を経験し、ロシアのウクライナ侵攻以降ロシア人やロシア企業の流入で国内状況が変化しているカザフスタンに注目する。関連する文献を多数読むほか、映像資料なども利用する予定である。</p>						
成績評価方法	授業への貢献度による						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31828	S	Road to 2050 エネルギー・環境・ビジネス	瀬川 浩司	社会・社会思想史	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>日本は「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、2030年には温室効果ガスの排出量を2013年度比でマイナス46%とし、さらに50%の高みに向けて努力する方針を示している。本講義ではこれらの現状と課題について取り上げる。民間でも、ESG投資の広がりやRE100宣言企業の増加に加えグリーンイノベーションに関する取り組みが広がっている。2050年カーボンニュートラル達成に向けた政策目標も様々な分野で決められている。本講義では、幅広い視点から2050年カーボンニュートラルに向けた戦略を議論する。</p>						
成績評価方法	発表会とレポート						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31730	S	20年先輩のリアルを知りにいく ーきくこととつたえることのワー クショップ	高橋 史子	教養教育高度化機構	水 6	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

◆ゲスト講師
浅利雅士（楽天株式会社）
～2003年東京大学教育学部卒。数社での勤務経験のなかで、他人の話を聞いてサービスを考えたり、社内のメンバーの話を聞いてプロジェクトマネジメントに活かしたりする作業を多く行ってきたそうです。自身でもさまざまな研修やワークショップに参加し、他人の話を聞くということを大事にしてきたという経験を活かし、ご協力いただいています。

<概要>

このゼミでは、受講者の多くのみなさんよりおよそ20年先輩である東大卒業生に会いに行き、入学からこれまでの20年間を振り返るような話をきいてきてもらいます。仕事の話やプライベートの話、趣味の話などなど、何が話題の中心になるかわかりませんが、話をきいてきた上で、みなさんにゼミでその話を共有していただきます。受講生一人が卒業生一人の話をききにいき、クラス全体できいてきた話をできるだけ、そのまま伝えるという作業をします。最終的には受講者数と同じ数だけの卒業生の過去20年の話をできるだけ知っている状態になることを目指しています。

さて、「きく」ということをあなたは普段どれくらい意識的に行っているでしょうか。また、他人の話をどれくらい「きく」ことができているのでしょうか。そして、他人の話を聞く際に、どのような姿勢で、どのような考えを持って聞き、どのようなリアクションをしているのでしょうか。

卒業生の話をききに行く前に、このゼミでは、「そもそも私は他人の話をどのようにきいているのだろうか」という、素朴な疑問を基に、自分自身がどのような話のきき方をしているかを徹底的に知ることを目指します。「正しい」聞き方やコミュニケーションスキルを磨くというようなことを目指しているわけではありません。もしかすると、このゼミを受けたあとに、受講者の皆さんそれぞれにとっての「正しいきき方」や「より良いきき方」というものができるようになるかもしれません。が、それ自体はこのゼミの目的ではありません。あくまで、自分のきき方の「現在地」を知る、それがこのゼミの目指すところです。

<授業の目標>

- 自分が他人の話を聞くときに、どのように聞いているかを知る。
- 話の聞き手の姿勢や態度が話し手にどのような影響を与えるかを知る。
- 話し手、聞き手によって、話の内容がどのように変化するかを理解する。
- 自分が持っているフレームワークや仮説から離れて他人の話をきけるようになる。
- 相手の話に対して、要約を試みたり、評価をしたり、アドバイスをしたりせずにきけるようになる。
- 一緒にゼミに参加する人の話をできるだけありのままきく。
- できるだけ多くの先輩の東大入学後からこれまでを振り返った話を知っている状態になる。
- “20年先輩”から聞いた話を、他人に伝えられるような形でまとめる。

<ゲスト講師からのメッセージ>

駒場を離れてから、だいたい20年くらいになります。自分も周りの友人も、本当に多様な人生を歩んでいます。大学生の頃には、卒業後の生活にこんなにも多様なストーリーがありうるなんて全く想像もつきませんでした。

仕事の肩書だけを見れば、民間企業で働いていたり、起業してたり、弁護士だったり公務員だったり研究者だったりします。でも、どんなことを得意として働いているか、それまでどんな経験をしてきたか、それを純粹にきいてみると、それぞれに全く異なる多様な働き方・生き方があったりします。そうした先輩のリアルを駒場の頃の僕が知っていたら、今とはまた異なるかたちでの人生の選択があったかもしれない。そんな思いからこの講義を企画しました。

みなさんにはこの13回の講義を通じて、できるだけ多くの先輩のできるだけリアルな卒業後のストーリーを知ってほしいと思っています。しかも、先輩の“かっこいい”プレゼンテーションや完成されたインタビュー記事からではなく、みなさん自身が話をききにいき、この場所でシェアすることを通じて。そうすることで、できるだけリアルな部分が残った、みなさんからの距離が近いストーリーが知れるんじゃないかと思っています。

ただし、「話し手が言いたいことは何か」と要約することに集中したり、事前に立てた仮説を検証したり、内容の良し悪しや優劣をジャッジしたりするようなききかたでは、そうした話はとらえられません。だから、どうすればありのままの話がきけるのかを数回に渡って一緒に考えるところから、講義をスタートしていくつもりです。その後、僕たちが用意した先輩リストの中からみなさんに対象を選んでもらい、各々でストーリーをきいてきてもらおうと思います。その結果をここにいるみなさんが何らかの方法でシェアしあって、結果としてみなさんができるだけ多くの先輩のリアルを知っている状態になる。というのが理想の進み方です。

基本的にはこの手順通りに、事前に毎回やることを決めて進めていきますが、様子をみながら変えていく可能性はありますのでご了承ください。

また、きくゼミといっても、インタビューのテクニックの講義ではないですし、先輩から将来へのアドバイスをもらおうというものでもないです。なので、すぐに役立つ類の話はないかもしれません。でも、人の話をじっくりきいてみることやその話をもとにみなさんで対話することを通じて、何かが強く心に残るだろうということだけは保証します。

概要は以上です。これから約3ヶ月間、20年のリアルを一緒に味わってみましょう。

成績評価方法

8割以上の出席。30分以上の遅刻は欠席扱いとします。
各回の振り返りや課題などに取り組み提出すること。文字にして共有してもらいたいと思います。

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
30837	S	Decision Analysis practice	前田 章	PEAK 前期	木 1	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		This course serves as a practice session of the Decision Sciences course that has been offered in the autumn semester. It is designed to provide students who have taken that course with an opportunity to deepen their understanding of the theory and practice in Decision Analysis. Each student in this course will work on a group or individual project. The goal of the project is to identify, formulate, and solve a real world decision problem. First four weeks are review sessions. On the fifth week, students will start their project work, aiming at final presentations on the last two weeks.					
成績評価方法		Grading (either "Pass" or "Fail") is based on performance in the project work. No final exam.					
教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
30957	S	Multi-variable calculus	寺田 至	PEAK 前期	木 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		After augmenting some materials on integration of single variable functions, we continue to study calculus for multivariable functions. In particular, we will extend many of the basic concepts we learned so far to functions of two or more variables. Although many of the ideas that we developed for single variable functions will carry over naturally, there exist intrinsic differences between single and multivariable functions. So sometimes we need new tools and new ideas. In this course we introduce partial derivatives, multiple integrals, and their applications. If time permits, we will also introduce some concepts in vector calculus.					
成績評価方法		Final exam, plus some auxiliary tests given during lectures.					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間 割 コ ード	開 講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
3173 3	S	自然科学サロン 2024S シーズン 4 (コーヒーと)	鹿島 勲	教養教育高度化機構	木 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

何の変哲もない身近にあること・現象への気づき、さまざまな学問領域への自由な横断
=====

====

“考えるトレーニング”の場を
サロン形式で提供
授業中の軽作業・実験
日常生活を発端とした

- ▶ SalonQ (授業課題)
- ▶ グループ / 個人で着目した課題
- ▶ ゲスト講師によるレクチャー

様々な視点・観点から考える
* 知の再連結 *

多角的な思考・共同作業・対話
良質な気晴らしの反復が
文理を超越したバランス感覚を養う

自然科学サロンとは？

身近な自然科学体験を通じた批判的思考の育成を主たる目的としています。サロン形式で進行、とてもリラックスした環境で、①作業実験、②課題 (個人)、③課題 (グループ) の繰り返し、④グループ実験・調査の発表に取り組みます。本サロンは、教養としての自然科学講義としての範囲を超え、教員も交えた共同作業の体験や対話を通じ、逆算のアプローチから解放され自由に考える練習、多様性を受け入れアイデンティティを確立する場になりうることを期待し、随時履修生のフィードバックを授業に還元しながら試験的に開講しています。

自然科学サロンは、自然科学という分類が与えられた学問領域での普遍性・独創性への探求、その醍醐味の紹介、と同時に、工学、人文科学、芸術、音楽、歴史、文化、数理科学、時事ニュースなど、異なる領域をも恐れずに自由に飛び回る、そういった気風、「駒場らしい」教養教育の追求を目指したゼミです。Semester前半は、SalonQ という課題とグループ作りを兼ねた交流を中心に進行します。Semester中盤から後半にかけては、グループ/個人で、着目した課題に取り組み、最終回ではその調査・検討内容を発表します。また、SalonQ に関連する研究・開発を行う研究者をゲスト講師として招聘する特別レクチャー (3回) も予定しています。

今シーズン 2024S は、コーヒーを起点に主に生物・化学系の話を中心に自然科学サロンします。

ゲスト講師による講義

* 公演日はガイダンスで周知する。
* 順不同・敬称略
「コーヒーと健康」
落合 龍史
花王株式会社 生物科学研究所 主席研究員
花王株式会社 ヒューマンヘルスケア研究所
https://www.kao.com/jp/healthscience/report/report066/report066_04/
「コーヒーと水」
堀 まゆみ
特任助教、自然科学サロン コアメンバー
専門分野：環境分析化学
東京大学 教養学部 教養教育高度化機構 EX 部門
https://www.u-tokyo.ac.jp/focus/ja/people/k0001_01823.html

目的

- ・ 知の再連結
- ・ 多角的な思考のトレーニング
- ・ 良質な気晴らし

SalonQ とは

SalonQ は、日常生活に何気なくあること、ニュースなどでよく見聞きすることを発端とした疑問もしくは、授業時間内に行う軽作業や実験に関して、まず、①個別に考え回答、②グループでディスカッションして回答、③個別にグループワークを振り返り、④また①にもどり SalonQ を継続する。知の再連結を促進・反復するワークの流れのこと。

【ガイダンス】
初回授業 Zoom に実施
Zoom セッション情報は下記 URL から確認
<https://forms.gle/P4zjwRUktYk2m1M46>

【教室】

KOMCEE EAST 3 階 教育開発用実験室
 Google Map: <https://goo.gl/maps/dmcwqNjYiUmNuvW88>

【問い合わせ先】

kashima+salon@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

【授業ホームページ】

URL : https://www.isaokashima.c.u-tokyo.ac.jp/news_archives/0010Salon2024S

成績評価方法

SalonQ への回答・提出と発表により総合評価する。80 点以上で合格。

項目 (点)

SalonQ への回答・提出 (50)

発表 (50)

合計 100

教科書

教科書は使用しない。/Will not use textbook

ガイダンス

第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31734	S	インターセクショナリティ概論	福永 玄弥	教養教育高度化機構	木 3	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		インターセクショナリティ (intersectionality) とは、人種やエスニシティ、ジェンダー、セクシュアリティ、階級、障害といったさまざまな権力関係の「交差性」を指し、これらが人びとの関係や日常的な経験に対してどのように影響を及ぼすのかを検討する概念であり、分析ツールでもある。 近年、インターセクショナリティは英語圏だけでなく日本でも関心を集め、学術雑誌や記事の特集、専門書の翻訳などが相次いでいる。しかし英語由来の概念を日本に「応用する」ことへの批判、分析ツールとして「不十分である」とする批判、さらには不理解や誤解に起因する不適切な「利用」も少なくない。 このゼミでは、人種やエスニシティ、階級、ジェンダーやセクシュアリティの交差的な相互作用と格闘してきたブラックフェミニズムの運動や思想を手がかりに、インターセクショナリティの来歴を確認するところから始める。次に、インターセクショナリティの学術領域における展開に注目し、資本主義とレイシズムや〈ヘテロ〉セクシズムの交差性を批判的に探求する論考を読み解く。最後に、インターセクショナリティを取り入れた日本の研究成果を検討する。これらをとおして、単一的で普遍的な「主体」を想定したりシングル・イシューの政治を志向したりするのではなく、さまざまな権力関係がいかに相互に関連し合っているかを認識し、社会正義を実現するためのラディカルな思考力を養う。					
成績評価方法		授業に対する貢献度（発表やディスカッションへの参加）と期末レポートを総合して評価する。成績評価の割り当てはそれぞれ 50%とする。					
教科書		教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31726	S	こまとちゃんゼミナール ～駒場図書館で学ぶ大学生のための 情報検索・収集・発信スキル	山上 揚平	教養教育高度化機構	木 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		「こまとちゃんゼミナール」は、教養学部生のホームライブラリーである駒場図書館を活用しながら、大学での学習、研究はもちろん社会に出てからも役に立つ、情報の検索収集、そして活用の技術を身に付ける為の授業です。駒場図書館や情報システム部の協力のもと、大学図書館の様々な機能や学内で利用できる膨大な情報リソースの使いこなしを、グループワークを含む課題実習を通して学びます。 また講義や図書館見学などを通して、図書館という施設や制度自体についての理解も深めることが目指されます。 学期の終わりには、授業で磨いた情報検索・収集スキルを活かして、駒場図書館所蔵の資料を発信する実習を行います。駒場図書館内の展示スペースをお借りして、会期 2 週間ほどの展示企画(公開)の開催を目指します。					
成績評価方法		出席状況、授業への貢献度、成果課題の内容によって合否判定を行う。					
教科書		教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31829	S	国際環境エネルギー経済学 「2050年カーボンニュートラル実現に向けて」	瀬川 浩司、 松井 英生	社会・社会思想史	木 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

本授業は、新型コロナ禍、ウクライナ戦争、パレスチナ戦争により大混乱に巻き込まれている世界情勢の中で、極めて厳しい状況下にあるわが国経済社会が今後発展していくための方途を探ること、特に2050年を目指してカーボンニュートラルを実現していくための課題を分析すること、及び経済社会のあらゆる分野に活用され始めており近い将来において人間の職を奪い去るのではないかと懸念されているAIの躍進の状況下においてAIに負けない人材になるための人間力の向上を図ることを目的としています。

1. 電気、石油、ガスの三大エネルギーは、経済社会に定着して必要不可欠なものとなっており、現代生活においては、いつでも簡単に使えるものとして空気のような、あって当たり前のような存在となっております。しかし、東日本大震災において、これらエネルギーの経済社会における重要性が再認識されました。すなわち、これらエネルギーが無くなると経済社会は立ち行かなくなるということです。

以降、国を挙げてエネルギー問題の議論がなされて来ております。マスコミなどを通じて表に出ているのは原子力発電の議論が中心に感じられますが、本問題は、わが国経済社会の在り方のみならず、わが国の安全保障問題にも直結する重要課題であり、実際はもっと幅が広くかつ奥が深い問題であります。同時に国際的に地球環境問題も重要課題として議論がなされており、

再生可能エネルギーの開発が進んでおります。エネルギー問題と地球環境問題は表裏の関係にあり、密接に関連して議論がなされております。2020年菅政権は、2050年に向けてカーボンニュートラルを実現していく方針を打ち出しましたが、これは我が国経済社会システムを抜本的に変革させるものであり、人々のライフスタイル、価値観、文化までも大きく変化させるものであります。この実現に向けて経済社会のあらゆる分野で脱炭素に向けた取り組みが始められましたが、どれも簡単な課題ではなく、総合的に対応していく必要があります。国が国中の英知を集めて将来ビジョンを創り、その具体的実施を官民協力して進めることが必要不可欠であります。

2. カーボンニュートラルを実現していくためには、先ずエネルギー問題についての実情を理解することが必要です。エネルギーが無ければ、人々の生活は勿論のこと、経済社会は成り立たないのであり、エネルギーの輸入が貿易収支に大きな影響を与え、更には、エネルギーコストの上昇は、経済社会活動に大きなインパクトを与え、国に発展を左右します。加えて、エネルギー資源獲得競争は、紛争を惹き起させたり、国際的軍事情勢に影響を与えるばかりでなく、原子力発電政策のあり様により世界の安全保障問題にも大きな影響を与えます。また、化石燃料によるエネルギー活用は地球環境問題を引き起こします。

3. 国際環境エネルギー問題の扱い方如何によって今後の明るい我が国の将来像が見えてくると言っても過言ではないと思います。逆に言えば、国際環境問題に関する取り組みを間違えれば、わが国の先行きを不透明にすると言っても過言ではないと思います。

このような難しい課題を内在しているエネルギー問題について、脱炭素、すなわちカーボンニュートラルの実現を目指すということは極めて難しい課題で、エネルギー問題に上手く対応することによってクールでスマートな日本の実現を図っていくことができると思います。

4. 一方、アメリカのトランプ大統領の出現を契機に、従来正しいと信じられていた新自由主義、グローバリズム、自由貿易といった概念に疑問が呈せられております。アメリカ第一主義の名の下、保護主義的概念が台頭してきております。この背景には様々なものがありますが、一つにはアメリカがシェールガス、シェールオイルの開発生産により、エネルギーの輸入に頼る必要がなくなりエネルギーセキュリティの立場が極めて強固になったことが挙げられます。バイデン政権になり方向性に変化が見られましたが、米国内の政治状況から依然として先行きは不透明であると思います。更に脱炭素関連の技術を巡って中国の台頭が世界経済社会に大きな影響を与えかねない状況となっております。

このように今まさにエネルギー情勢等の変化によって世界の経済社会の価値観やルールに大きな変化が起きつつある重要な時期であると思います。

5. また新型コロナ禍、ウクライナ戦争、パレスチナ戦争等により世界的に政治経済状況が危機に瀕しており、それを受けて社会状況も差別が台頭するなど混乱が生じており、世界経済社会のブロック化が進展する恐れが出てきています。例えば新型コロナのみならず今後の新しい感染症の侵入を抑えるとともに、それぞれの国の戦争への立ち位置から自国に有利な経済社会を目指して世界のブロック化が進む恐れがあると言えます。そのような状況下において各国が自国の経済社会の発展を図るためにはエネルギーの安定的確保が必要不可欠で、今後ますますエネルギー確保をめぐる競争が激化する可能性が高いと思われます。このような厳しい状況下においてカーボンニュートラルを実現していくためには解決すべき課題が山積してあります。

6. そこで、本講義は、経済社会の帰趨を左右する国際環境エネルギー問題の実情を説明し、近い将来に経済界、官界、政界、学会、マスコミなどにおいて我が国を支えることとなる聴講生が、そのリーダーシップをとるに当たり参考となる考え方の材料を提供することを目的とします。したがって、細かい事象やデータを覚えるのではなく、エネルギーを巡る大きな流れを理解できるよう解説をします。

経済産業省においてエネルギー行政の最前線で政策立案に携わっている若手の官僚達を議題に応じて4名程ゲスト講師として迎えて、カーボンニュートラルを実現していくための課題について、再生可能エネルギー政策などの実状と政策立案の裏話などを披露して頂きます。

また、わが国トップの再生可能エネルギー関連スタートアップ企業の経営者の方をゲスト講師として迎えて、民間企業における実業の具体的な内容や起業に関する苦労話や成功話などを披露して頂きます。

7. 更にAI、ロボットの進展により人間の仕事がAIなどに置き換わって行く可能性があるかと危惧されていますが、このような懸念の払拭に資するよう、コミュニケーション能力や人間らしい判断力、構想力、など人間力を磨くための方途につき解説します。これは、社会に出て活動をする際に必要不可欠な人間力の向上に役に立つと思います。

8. 後半の授業において、グループディスカッションをするほか、環境エネルギー問題に限らず聴講生からの様々な質問に答える機会を設けます。

9. 若手の官僚たちによる、政府における政策立案に際しての裏話などの講義もあることから、文科系、理科系の全ての学生にとって有意義であると考えます。

講義のポイントは、以下の通りです。

1. 石油、ガスの太宗は中東地域で賦存している。
2. 中東地域は、民族上、宗教上の対立などにより紛争が頻繁に勃発している。
3. 石油、ガスの利権確保などを目的に欧米ロシアなどの列強が中東地域の紛争に加担して、彼らの代理戦争の様相を呈している。
4. 我が国は、エネルギーの9割以上を輸入に依存している。
5. エネルギーが途絶すると我が国経済社会は立ち行かなくなる。
6. 東日本大震災時の福島原発事故を契機に純国産エネルギーであるとともに地球温暖化対策に貢献する原子力発電に対して反対論が台頭している。
7. 地球温暖化問題への対応が国際的に高まっている。この観点から、2050年に向けてカーボンニュートラルを実現していくために再生可能エネルギーの開発と導入促進が喫緊の課題となっている。さらにあらゆる産業において脱炭素の取り組みが進めて行くことが求められている。
8. 原子力発電がほとんど停止している現状において、雇用の喪失、地域経済の疲弊、産業構造の変化、経済の停滞などが生じることに加え、代替燃料としての石油、ガスの輸入が大幅に増大して貿易収支を赤字傾向に悪化させている。
9. 核燃料サイクル政策の帰趨が不明確になったことにより、使用済み燃料の処理問題とプルトニウム処理問題が大きな課題となっている。
10. 原子力爆弾に直結する恐れのあるプルトニウム管理問題は世界の安全保障問題として最重要な課題となっている。
11. ウクライナ戦争、パレスチナ戦争により原油価格の大幅な上昇が世界の政治情勢、軍事情勢に大きな影響を及ぼしており、世界の国家間の枠組みに変化をきたす恐れが生じている。
12. COP26までに多くの国がカーボンニュートラルを宣言したが、目標年次が日米欧は2050年、中国、ロシアは2060年と違うなど各国とも国益を睨んでしたたかに対応するという経済戦争の側面があり、またこれまで志向されてきたグローバル化の動きとは相反するブロック化の動きが強まる恐れがあり、各国間でのエネルギー獲得競争が激化する恐れがある。
13. 電力・ガスに自由化、石油産業の再編など我が国エネルギー産業が大変革期を迎えている。
14. 以上のような最近の世界を揺るがす様々な状況変化の下で、今後の我が国の豊かな経済社会を実現していくために、今後の国際環境エネルギー政策の在り方が極めて重要になっている。
15. デジタル化、AIの進展の下で、AIを使いこなせる資質を持った社会人となるために人間力の向上が求められている。

成績評価方法

国際的視点に立って、環境・エネルギー問題、カーボンニュートラル、経済関連の事象について、それぞれの関連性などに関し大筋把握した上で、2050年に向けてカーボンニュートラルの実現を目指す今後の我が国経済社会のあり方について聴講生の皆さんがそれぞれの考え方を自由にまとめるための材料を提供することを目的とした講義であることから、正解、不正解を評価するような試験は行わず、それまでの講義を踏まえて聴講生の皆さんから国際・環境・エネルギー問題に関するご自身の考え方についてのレポート（A4ペーパー1～2枚以内。）を提出して頂き、その内容が総合的にかつ論理的に整理されているかにより評価いたします。

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31025	S	日本舞踊の実施 浴衣着付けの実施 盆踊りの実施	孝藤 右近	学生による全学自由 研究ゼミナール	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>世界で日本舞踊、和エンターテイメントのショーを展開してきた講師の孝藤右近が、日本舞踊(盆踊り)を通じ世界に通用する日本の美である型や所作、また全国に存在する数々の盆踊りを歴史と共に教えていくことで日本文化を身につけていきます。</p> <p>その他に浴衣(着物)を自分で着れるように着付けも実施し、浴衣(着物)を1人で着れるようになります。</p> <p>※講義では、踊りの実施は洋服で行います。講義のスケジュールの中に浴衣の着付けがはいるります。</p> <p>グローバルな現代社会で日本特有の価値である着物を着て踊りが出来ることは、それだけでコミュニケーションを深めることができ、自分自身のアイデンティティーとなり世界に羽ばたく自身の強みを持たせてくれます。</p> <p>さらには盆踊りを習得にすることにより、地元や地域の祭りへの参加や指導ができるようになり、伝統文化の継承につながります。</p> <p>和の心を養い、豊かな世界観を身につけていきます。</p>						
成績評価方法	<p>履修の日数が最低限越えていること。</p> <p>課題になる盆踊りを履修の中で</p> <p>上手下手ではなく振りを覚え、意味合いを理解し踊れるようになること。</p>						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31647	S	週刊・福島復興知学講義	秋光 信佳	アイソトープ総合センター	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>2011年に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故により、放射性物質による広範な環境汚染と超学際的な諸問題が発生した。</p> <p>国難とも呼ぶべき大災害に対し、東京大学を含めた全国の大学関係者が被災地・福島に赴き、多様な復旧・復興活動を行った。その過程で多くの智恵と知識（これらを「復興知」と定義する）が蓄積された。本講義では、被災地・福島で活動してきた各分野の専門家が、①放射線に関する基礎的知識、②社会科学的視座からの諸課題の分析、③実践的アプローチ（復興農学、廃炉研究、まちづくり、放射線利用研究、ドローンなどの新産業創出の取り組み、など）を通じた次世代型復興学について体系的に講義する。</p> <p>この講義を通じて、専門課程に進学する前の学生に、社会科学、災害研究、リスク・コミュニケーション研究、政策研究、農学、工学、理学、医学、放射線影響学、など多様な分野を融合した「復興知学」を身につけてもらい、災害の多い日本の未来を総合的に設計できる人材育成を目指す。そして、日本ならではの新しい学問領域を世界に発信できる人材の育成を目指す。</p>					
成績評価方法 教科書		<p>出席を重視した評価を行う。また、課題レポートや講義中の発言（質問）も 勘案する。</p> <p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 秋光 信佳 編溝口 勝 編 福島復興知学講義 東京大学出版会 978-4-13-052030-0</p>					
ガイダンス		<p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31671	S	大気海洋科学の最前線	佐藤 克文、白井 厚太郎、 今田 由紀子、齊藤 宏明、 横山 祐典、沖野 郷子、小 畑 元、青山 潤、伊藤 幸 彦、朴 進午、鈴木 健太 郎、阿部 彩子、濱崎 恒二	大気海洋研 究所	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>大気海洋研究所では、大気圏・海洋圏・岩石圏・雪氷圏・生命圏などを含む地球表層の諸現象に関する基礎科学を推進しています。これらの分野に跨がる 13 名の講師によるオムニバス形式で授業を行い、大気海洋研究所のアクティビティを伝えたいと考えています。張り切って講義を行いますので、是非覗いてみて下さい。</p>					
成績評価方法 教科書		<p>出席率と毎時間行う小テストないしレポートの内容をふまえて判定する。授業中の発言を重視します。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p>					
ガイダンス		<p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31678	S	農作物を知る	河鱈 実之、本多 親子、津釜 大侑、郭 威、内田 圭、大森 良弘、若林 侑、角井 宏行、 加藤 洋一郎、細井 文樹、矢 守 航、海津 裕	農学部	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>私たちが日常的に食べたり、観賞したりする農産物は、どのように生産され、どのような特徴があるのだろうか。その特徴を、伝統的な栽培方法から最新の技術まで、生態系との関係、社会や文化との関係などを、文系の学生にもわかりやすく解説する。本セミナーを通じて、人類にとって不可欠な食料・農産物の持続的生産に関わる問題や、農業の新しい取り組みについてより具体的に学び、農業問題を身近なものとして考えてもらいたい。</p>					
成績評価方法 教科書		<p>出席とレポート</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p>					
ガイダンス		<p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31721	S	文化遺産のポリティクス Politics of Cultural Heritage	宮崎 彩	教養教育高度化機構	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>文化遺産が保護されてきた歴史や現状を振り返りながら、国内外の開発や政治問題が文化遺産に与える影響を理解し、国際社会や地域の人々の生活における意義を構造化できるようにすることを目的とします。文化遺産が持つ意味合いを理解し、その地域創生と国際関係に与える影響について考え、国内外の社会問題を批判的に分析できるような視点を身につけます。</p> <p>到達目標： 1：文化遺産をめぐる基礎的な知識を身につけることができる。 2：さまざまな文化遺産に関する問題について、実社会と結びつけながら自らの問いを立てることができる。 3：自ら立てた問いに対して専門的な知識に基づいて分析・考察できる。</p> <p>授業概要： 人々の文化的な活動によって生み出された有形・無形の文化遺産は、後世に伝えるためにこれまで様々な形で守られてきました。本講義では、その中でも特に現在の社会で認識される文化遺産概念を国際社会に広めた、ユネスコの取り組みに焦点を当てます。国際条約の成り立ちから運用までのプロセスを学びながら、「文化遺産」と社会の関係性について考えます。まず、1972年に誕生した世界遺産制度の背景にある、各国で発展してきた文化財保護制度や概念形成の積み重ねや、戦争や開発という社会の歴史と制度の変革を学びます。そのうえで、実際に世界遺産条約が運用される中で、国際社会が直面する様々な現状と課題について一つずつ見ていきながら、世界遺産の将来的な在り方（国際社会へのインパクト、コミュニティとの共存、持続可能な開発目標との関係性）について考えます。</p> そのうえで、世界遺産とそれにかかわる取り組みに直接かかわる世界各国の専門家にオンラインまたはオンサイトで特別講義をしていただきます。様々な層のアクター（政府、市民、研究機関、企業）との関係性を実際に見たうえで、将来的な文化遺産の保全活用の在り方を考えます。					
成績評価方法		グループワーク、授業への貢献 30% 課題の提出状況及び質的評価 70%					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		授業前に必読文献を共有 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31663	S	地球社会におけるリアリズム の探求	馬路 智仁	社会・社会思想史	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>この授業では、グローバル化した地球社会における今日的問題を論じた英文記事を分析し、議論を重ねることで、どのような分野に進もうともその基礎的体力となる、知識と情報分析能力、そして「自立した思考」の獲得を目指します。誰かの受け売りではなく、自分の目で見て、自分の頭で考え、自分の言葉で表現する能力（仮に「思考のリアリズム」と呼びます）を培うことが、本授業の最大の目的です。同時にこの授業では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現代的課題をめぐる英文記事の分析を通じて、この世界で何が起きているか、この世界はどのような方向に向かおうとしているかを知り、日本の位置を相対的に捉える視点を獲得すること、 ● 思考のリアリズムを培い、独立した個、そしてその表裏として、他者を正面から理解し協働する能力を養うこと、 ● 今後それぞれの進路においてリーダーシップを発揮する人材となるための知的体力を身につけること、を目標とします。 <p>なお本ゼミは、履修人数を18名前後に制限します。そのため選考を行いますので、「履修上の注意」を読んでください。授業での報告・ディスカッション、小論文を基に評価する。</p>					
成績評価方法		授業での報告・ディスカッション、小論文を基に評価する。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31680	S	地球医のすすめ ：タネ蒔く農学部有志	高橋 伸一郎、吉岡 拓如、 乃田 啓吾、加藤 洋一郎、 萬木 孝雄、福田 良一、五 十嵐 圭日子、岩田 洋佳、 樋口 洋平、関澤 信一、永 田 宏次、潮 秀樹、田中 智、橋本 禪	農学部	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	<p>皆さん、これから人類はどのように地球上で生きていったら良いと思いますか？本講義は、そんな疑問を持った学生の皆さんと一緒に、農学の観点から地球の未来を考えることを目標としています。</p> <p>『農学』とは、有限な資源を前提として、人類の安定した生存と心地よい生活に貢献する「実学」です。生物が生息している空間は、すべて農学がカバーすべき学問領域であり、分子、細胞、組織、個体レベルは言うまでもなく生態系、そして地球レベルに至るまでが、研究対象となっています。農学では、自然科学だけではなく、社会・経済学、そして人文学の手法も動員して、総合科学的に問題を捉える必要があります。</p> <p>人類は誕生以来、微生物、植物や動物、鉱物など、地球上のあらゆる「もの」を利用して生きてきました。この活動は人類の生活を豊かにすると同時に、経済価値を優先した産業開発が、私たちのかけがえのない地球に大きなダメージを与えてきたことは、皆が認めるところだと思います。この危機に行政的には、生物多様性の観点から「愛知目標」や「科学と政策の統合 (IPBES)」、人間活動の観点から「持続可能な開発目標 (SDGs)」などが設定されました。人類の衣食住を多方面から支えてきた学問領域『農学』においても、持続可能で環境調和型の科学技術の確立が喫緊の課題となっています。そういう意味では、ヒトを含めた生物の共存共生のため、地球上の生物資源を利用することで起こした問題を俯瞰的に洗い出して、総合科学の力で解決していくことが、「農学」の使命といえます。こういう観点から、農学部では、100年後の地球を考える、One Earth Guardians 育成プログラムを推進しています。</p> <p>農学部は多くの専修や専攻、附属施設から構成されています。この講義は、農学部の広報室メンバーの教員を中心に、農学部教員の有志が担当します。本講義では、生物の共存共生に今後我々人類が何をしていくべきかを抽出した後、いろいろな専修・専攻・附属施設の教員が、それぞれの課題の解決法につながるような農学領域の情報を提供し、これを基に出席者が農学を通じて地球のために何ができるかを考え、議論、解決法を提案することを最終ゴールとしています。</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは以下の日程で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。 【日程】2023年4月18日(木) 18:45~19:45 @駒場キャンパス 1313教室もしくは1323教室を予定(教室の確定は3月下旬頃)</p> <p>-----</p>						
成績評価方法	出席と意見交換、提案の策定						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行く。/Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31706	S	証明と計算機	植田 一石	数理科学研究科	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>アリストテレスは「ニコマコス倫理学」で、「主題に応じて厳密さの程度を使い分けることは、教養ある人間の証であり、数学でいい加減な証明を認めるのは、修辞学に厳密性を求めるのと同じくらい愚かなことである」と言った。</p> <p>しかし、数学における「厳密な証明」の概念は時代とともに変化している。現時点で最も厳密だと考えられている概念として形式的証明(formal proof)があるが、高度な厳密性の代償として、自明に思われる主張の証明も長大なものになる。従って、数学をこのレベルで厳密に記述するには、計算機の使用がほぼ不可欠になる。</p> <p>このゼミナールでは、計算機を用いた形式的証明について学ぶ。</p>						
成績評価方法	発表を中心とした授業への参加による。試験やレポートは課さない。						
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Jeremy Avigad, Leonardo de Moura, Soonho Kong and Sebastian Ullrich, with contributions from the Lean Community Theorem Proving in Lean 4						
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31722	S	ライフデザインから考える 国際協力と SDGs	田中 英三郎	教養教育高度化機構	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		SDGs (Sustainable Development Goals) は、2015 年の国連総会で採択された世界が連携して優先的に取り組む社会目標である。これは、17 のゴール、169 のターゲットからなり、今日私たちが直面する環境問題、貧困、社会格差、人権侵害、紛争等の解決や、大規模自然災害への対応に関連している。本講義では、様々な分野の実務家を招いて、そのライフヒストリーに焦点を当てながら、SDGs 課題との関連を紹介していただく。また、参加自身のこれまでの人生史も振り返りながら、これから私たちが「誰一人取り残さない世界」の実現に向けてどのように行動できるかを議論する。					
成績評価方法		レポート 50%、講義への参加状況（出席、発言、発表等） 50%					
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31725	S	オープン教材をつくろう！	中澤 明子	教養教育高度化機構	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		インターネットには、さまざまな教材（テキストや動画など）があふれています。また自分で教材を作成して公開することも容易になっています。教育機関が作成した教材などをオンライン上で公開するなど、教育をオープンにする動き（オープンエデュケーション）も広がっています。 なぜオープンエデュケーションに関連する取り組みが行われるようになったのでしょうか。そして、わかりやすい教材を作るには、どのような点に気をつけ、どのように作成すればよいのでしょうか。 本授業の目的は、オープンエデュケーション（教育のオープン化）、教材設計の理論・方法について理解することです。また、それらの知識をより深く理解するため、オープンエデュケーションについて調べ、インターネットで誰でも自由に使えることを想定した教材（Open Eduactional Resources/オープン教材）を作成します。そして、作成した教材（スライドやテキストベースの教材の PDF）を実際にウェブサイトで公開することを目指します。さらに、一連の授業を通じて教育・学習のあり方についても考えます。 なお、本授業で扱う教材設計の理論・方法は、教材だけでなく授業づくりや日常生活における「教える」ことにも役立ちます。オープンエデュケーションや教材づくりだけでなく、「教える」ことについても学ぶことができます。 ・授業の目標 授業を通じて、次のことを達成します。 1. オープンエデュケーションやオープン教材の定義を説明できる 2. オープンエデュケーションやオープン教材の事例を列挙できる 3. 教材設計の理論と手順、注意点を説明できる 4. グループで教材を設計できる 5. グループで教材を作成できる 6. 教材設計の理論に基づいて他者の教材を評価できる					
成績評価方法		毎回のふり返しシートの提出（40%）、グループワーク/ディスカッションへの参加・貢献（20%）、学習成果物の評価（40%）により総合的に評価します。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31727	S	耳を啓く、音を創る ～感性と知性の協働のための サウンドデザイン入門	山上 揚平	教養教育高度化機構	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>「耳を啓く、音を創る」は、様々な社会的・文化的な音に囲まれて生きる私たちにとっての「聴くこと」を深く理解する為に、世界に耳を澄ますと共に、自ら世界に音を付けてみるというアプローチを試みる授業です。社会の一線で「音付け」に携わる方々をゲスト講師としてお招きし、ワークショップや創作実践を通して、様々なサウンドデザインの思想と技術を学びます。そこから、自分と自分を取り巻く世界との「音」を介した関わりに、新たな気付きを得ることが本授業の目標となります。</p> <p>2024年度Sセメスターは「映像」と「ビデオゲーム」の2ジャンルを取り上げます。</p> <p>●ゲスト講師紹介 西岡龍彦（第3～5回） 作曲家、東京藝術大学名誉教授。東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科創設に関わり17年間勤務。コンサート作品、コンピュータミュージック、環境音楽、イベントや映像のための音楽を作曲。牟岐礼のペンネームでNHKのドキュメント番組、美術番組、ドラマ、放送技術研究所の22.2マルチチャンネル音響システムによる音楽を担当。 田中治久（hally）（第7～9回） ゲーム史／ゲーム音楽史研究家。チップチューンと呼ばれる領域を専門に作編作曲家やエンジニアとしても活動しており、ビデオゲームへの楽曲提供、ライブ活動、音楽配信プロデュース、サウンドトラックCD制作協力など多方面に実績がある。主著に『チップチューンのすべて』（誠文堂新光社）、『ゲーム音楽ディスクガイド』（監修,P-VINE）など。</p>					
成績評価方法		出席状況、授業への貢献度、成果発表の内容によって合否判定を行う。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31732	S	塀の向こうには誰がいるのか` 犯罪と刑事司法の多角的理解	山岡 あゆち	教養教育高度化機構	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【授業の概要】 あなたの思う「犯罪者」はどんな人でしょうか。そして犯罪の原因は一体何なのでしょう。この授業では、日本の非行・犯罪の実情や課題について、架空事例やデータを解釈しながら犯罪学、犯罪心理学及び司法福祉の観点から実情を体感し、学びます。専門書などの文献を読んで学ぶ刑事司法の実際には、生々しいほどの「人」の存在や「人生」があります。また、刑事司法を学ぶことから、同時に非行・犯罪の背景にある貧困、虐待、障害、社会的孤立、依存症など社会の抱える様々な課題が浮き上がってきます。この授業ではこれらの社会の問題についても扱います。</p> <p>授業の多くの回では、実際に、刑事司法に携わる司法・犯罪領域の対人援助職（主に犯罪心理学）、弁護士などの法曹、NPO 法人の職員、そして当事者の方などをゲスト講師としてお招きし、実情についての講義をしていただくオムニバス形式で行います。講義では、GW などを取り入れながら、刑事司法が抱える課題やその背景にある課題について、議論をしながら考えます。</p> <p>正解のない問いを一緒に考えてみませんか。</p> <p>【授業の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非行少年・犯罪者の再犯防止の課題を中心に刑事司法の様々な問題について犯罪学、犯罪心理学や司法福祉の観点から知る。 ・非行・犯罪の背景にある社会課題について考える。 ・犯罪被害者支援の課題について学ぶ。 ・刑事司法に携わる法曹や司法犯罪領域の対人援助職、NPO 職員などの実務家、当事者など様々な立場の人の話や考えを聞き、刑事司法について多面的な視点を持ち、キャリアについて考える。 ・犯罪学の諸理論を学び、実情を踏まえてその理論について考える。 					
成績評価方法		<p>・授業への参加状況 ``66% 授業への出席 33（1回3点×全11回） 授業への参加態度 33（1回3点×全11回） ・授業中の参加態度 ``13% ・プレゼンの評価 ``21%</p>					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31799	S	現代中東基礎講座 I	鈴木 啓之	教養学部 (スルタン・カブース・グローバル中東研究寄付講座)	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>【授業の目的】 この授業では、現代中東の諸相を横断的に学び、現代社会を理解するための基礎教養を身につけていきます。</p> <p>【到達目標】 (1) 中東地域で起きた出来事について、具体例を3つ以上挙げて説明することができる。 (2) 中東地域での事象を事例として、自らの意見を述べることができる。 (3) 関連する3点以上の言葉を、因果関係で結びつけて整理し、示すことができる。 (4) 任意のテーマについて、関連するキーワードを3点以上用いて論述することができる。 (5) 自らの関心に引きつけて、中東地域の具体的な事象を論じることができる。 (6) 中東地域に関わる任意のテーマに関して、自ら参考文献を調べ、まとめることができる。</p>						
成績評価方法	<p>・以下の3点の項目から評価します</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グループワークへの参加・発言 (5点:達成目標の①、②に対応) 2. ボーナス課題 (各10点を加点:達成目標の③に対応) 3. 学期末プレゼン (45点:達成目標の④、⑤、⑥に対応) <p>・上記を総合して以下の基準で評価します (合:50以上、否:49以下、#:評価なし)</p> <p>・100点満点ではないので、奇妙に見えるかもしれませんが、得点が50点を超えれば「合」、下回れば「不合」とします</p> <p>・適宜ボーナス課題(各10点)があるので、欠席した場合や理解を深めたい方は参加してください</p>						
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31694	S	漢籍を読む	陳 捷、平澤 歩	文学部	金 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>中国の古典籍(漢籍)の抜粋を原文(漢文)で読みます。 古典として現在に伝わる文献には、様々な読み方を許容する大らかさがあり、その大らかさ故に時代を越えて様々な価値観を持つ人たちに読み伝えられて来ました。本講義では『論語』『老子』等の代表的な漢籍とそれに対する注釈を読みながら、様々な時代の思想家たちがこれらの漢籍をどのように理解したのかを考えて行きます。 漢籍を読むことを通じて、千年前・二千年前の知識人たちの繋がりを感じ取り、我々の中にある伝統文化を再発見することを目指します。</p>						
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>授業中の発表で評価する。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31260	S	グラフィックデザイン概論	保田 容之介	学生による全学自由 研究ゼミナール	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>講義の目標：デザインの本来の意味である「設計」という機能的な側面を概論的に解説し、基礎教養とすることで、将来各分野を牽引していく学生がデザインの視点から新たな価値を生み出すことを期待しています。</p> <p>講義の概要：機能性と美しさを両立するという狭義の意味での「デザイン」はますます日常生活と切り離せない身近な存在になりました。例えばそれはみなさんが近い将来に頻繁に使用するプレゼンテーション資料のレイアウトなどでも感じ取ることが出来るでしょう。</p> <p>本講義では現役のデザイナー / クリエイティブディレクターにより、論理的・学術的な視点で「デザイン」をひもといていきます。</p> <p>座学としてグラフィックデザインの歴史から始まり、色などの基礎教養、書体解説、写真技法、デジタルツール解説などのデザインの実務で使用する知識や、UI/UX などの基礎知識を学び、積極的に手を動かして考えを発表するワークショップやフィールドワークも行います。</p> <p>それによって講義の外でもデザインを楽しみ、将来各分野を牽引していくみなさんがデザインの視点から新たな価値を生み出すことを期待しています。</p> <p>是非本講義を経る前と後の視点の変化を実感してください。</p>						
成績評価方法	出席及び授業内課題						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31667	S	社会と技術が相互に影響するイノベーションを学び、創ろう ～自動運転の技術・法制度・サービス・ビジネス～ Learn and try innovations with interaction between society and technology: Technology, legislation, service and business on Connected and Automated Vechiles (CAV)	大口 敬	生産技術研究所	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>自動運転を社会に実装するには、技術の進展だけではなく、法制度、自動運転を活用して行うサービス、それらを持続可能にするためのビジネスモデルなど包括的な観点で検討することが必要である。本ゼミナールでは、自動運転をひとつの例として最新の技術に触れ、多角的な検討が必要なイノベーションを社会に実装する上で必要な視点を学ぶことを目的とする。具体的には、全学の多様な専門領域の研究者から最新の取り組みを学び、それをもとに学生間で議論をし、最終的に持続可能で社会にインパクトを及ぼす自動運転の活用方法をグループで提案していただく。中間・最終発表が単位要件であるが、ぜひ積極的に講義や議論にも参加いただきたい。</p> <p>本学では、既存の組織の枠を超えた学融合による新たな学問分野の創造を促進するため、複数の部局等が連携して研究を行う「連携研究機構」が多数設置されている (https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/schools-orgs/centers/integrate.html)。この講義は、本学の中でも極めて早い時期に設立されたモビリティ・イノベーション連携研究機構 (UTmobI, https://utmobi.u-tokyo.ac.jp/) の全面的な協力を得ている。UTmobI には、本学の生産技術研究所、新領域創成科学研究科、空間情報科学研究センター、法学政治学研究科、工学系研究科、情報理工学系研究科、未来ビジョン研究センター、先端科学技術研究センターのメンバーが参画し、主に自動運転をテーマとした連携研究を行っている。この講義では、テーマに関する理解を深めるとともに、このような分野を超えた連携研究の一端も体験していただく。</p> <p>また、本ゼミナールは一般社団法人モビリティ・イノベーション・アライアンスが主催する「モビリティを活用したビジネス・イノベーション・コンテスト (M-BIC)」とも連携している。M-BIC は全国の大学・大学院・高等専門学校生を対象に、自動運転/自動化モビリティを活用したビジネスプランの提案をテーマにビジネスコンテストを実施している (最優秀賞金 20 万円)。本ゼミナールでは、過去の M-BIC の講義の動画や提案アイデアを大いに参考にしていきたい (https://m-bic.jp.org/2023/idea/)。また、興味のある学生には、このコンテストに参加いただくことを強くお勧めしたいし、本ゼミナールの最終発表で提案するアイデアをこのコンテストでも提案していただく機会を提供するものである (書類選考あり)。</p> <p>The social implementation of CAV is only available with integration of different aspects such as technology developments, legislation, service with CAV, and business models to achieve sustainability. The objective of this Seminar is to learn the issues related to social implementation of innovation such as CAV with the knowledge on cutting-edge technologies related to CAV. After receiving several information from leading researchers, the participating students are requested to conduct group work and to propose a measure utilizing CAV technology which has social sustainability and high social impacts through discussions in their group. Intensive participation is strongly recommended and the evaluation will be based on mid-term and final presentations.</p> <p>This Seminar fully supported by "Mobility Innovation Collaborative Research Organization" (UTmobI, https://utmobi.u-tokyo.ac.jp/), which is an integrating system of eight Graduate Schools and Affiliated Research Institutes in UTokyo led by Institute of Industrial Science.</p> <p>This Seminar is also collaborated with the "Contest for students to compete for business plan ideas that utilize automated mobility" (M-BIC) organized by "Mobility Innovation Alliance Japan" (https://mobilityinnovationalliance.org/). Students are recommended to check and learn the contents of past M-BIC information (https://m-bic.jp.org/2023/idea/), and also strongly recommended to apply for the coming contest M-BIC 2024.</p>						
成績評価方法	個人ワークの中間発表(4/26)及びグループワークの最終発表(7/12)で成果を発表することで単位を認定する						
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31695	S	ドイツ文学への誘い ー近代ドイツ文学について考えるー	大宮 勘一郎	文学部	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	近代ドイツ文学は、ドイツ、ヨーロッパのみならず、日本の近代文学にも大きな影響を与えてきました。この授業では、ドイツ文学の中でも知名度の高いテキストを読み、それらが発表当時のドイツにおいて何を問いかけたのか、また紹介されたのちの日本においていかなる役割を果たしたかを考えてゆきます。						
成績評価方法	平常点およびレポート						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31697	S	理系のための法学入門（駒場版）	白石 忠志	法学部	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>【本郷で、学部後期課程・大学院の学生を対象として「理系のための法学入門」という下記のような授業を開講するため、それとほぼ同じ内容の授業を、学部前期課程の学生にも（別のコマに、駒場で）提供しようとするものです。】</p> <p>理系の皆さんが研究成果を社会実装するときには、法に関する相場観やリテラシーが必要となります。そうした相場観やリテラシーをつかんでいただくとする講義です。</p> <p>……というのが、この講義の最も格好良い説明ですが、「理系のための」という修飾には、法について特に何もご存じない方々のための、という意味合いも含まれています。全体の概要、つかみ方、調べ方、などを、基本から講義します。したがって、文系、そして、法学部・法学政治学研究所の学生であっても、道に迷っている場合や、学び直しをしようという場合など、履修してもらって構いません。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼自動運転、AI と著作権、iPhone のアプリ供給ルートの開放、など、理系の学生にとっても関心があるのではないと思われる話題を導入に使い、その背景にある、民法、著作権法、競争法、などについて、制度の概要や調べ方を説明します。（取り扱う話題や法分野は、変更の可能性があります。） ▼また、並行して、担当教員の専門である競争法の分野での外国当局のプレスリリースなどを定期的に読み、英語の法的表現や国際的な動きを垣間見ます。 ▼ゲスト講演も実施する予定です。単に聴講するだけでなく、内容に関する予習もします。欧州におけるロビイング、日本での政策立案、などについて、お話を伺う方向で検討・準備しています。詳しくは4月にお知らせします。 <p>具体的な進め方や成績評価方法は、履修者の人数が3人か40人かによって大きく変わります。期末試験は行いません。日頃からリアクションを寄せてもらい、Semester終盤に2000字程度の長くない成果エッセイを書いてもらうことになるかと、2024年1月のシラバス執筆時点では考えていますが、詳しくは、様子を見て、4月中にはお知らせします。得られると期待されるトランスファラブルスキルの例：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法に関する相場観やリテラシー（思考枠組み） ・基本的な法分野の体系的概要把握の経験 ・法情報の調べ方 						
成績評価方法	「授業の目標、概要」のとおりです。						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31698	S	法律実務家からみた「法律を学ぶことのススメ」 法律を学ぶことの意義、楽しさ、将来への実益などについて、検事、弁護士としての経歴を有する法律実務家の観点から、様々な法律、法分野、国や社会の制度について、事例を交えながら、わかりやすく講義する授業。	梅林 啓	法学部	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>私たちの社会や生活は、あらゆる面において、法律によって規制されている。「規制」というのは、自由を奪うという側面もあるが、法律がなければ、無秩序な社会になるだけなので、法律は私たちに平穏な生活をもたらすツールでもある。法律は、誰に対しても否応なしに適用されるものなので、法律を知っていることは生きていくための武器になる一方で、法律を知らないことで損をすることも多い。</p> <p>法律を学ぶことは難しいと感じている人も多いかもしれないが、全ての法律を知る必要はない。法律を学ぶコツを知れば、必要なときに法律を知りに行くこともできる。ただ、法律は深く学べば興味は尽きない学問でもある。</p> <p>この授業は、検事として16年、弁護士として17年の実務経験を有する教授が、法律を学んだことのない学生を対象に、法律を学ぶことの意義、楽しさ、将来への実益について、様々な切り口から講義することを内容とする。そして、社会に出たときに、法律を学んだことがどう役立つかを理解し、法学部によるさらなる学業への意欲に繋げることを目標とするが、法学部に進学しない人にとっても、法律を学ぶことに興味を持つことを目標とする。</p>					
成績評価方法		出席とレポート					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31718	S	情報システム利用入門	松島 慎、 中丸 智貴	情報・図形	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>一般的な情報システムの利用方法を初歩から学ぶ。情報システムのモデル、端末の操作方法、応用ソフトウェアの基本的な利用を中心とする。情報に関する深い理解や高度な機構の理解は対象としない。</p>					
成績評価方法		課題レポート提出による合格・不合格					
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31735	S	トランスジェンダー・スタディーズ	清水 晶子	教養教育高度化機構	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>トランスジェンダー・スタディーズは、フェミニズム／クィア理論、思想哲学、社会学、文学、医学など、学際的な知を取り入れながら、さらにトランス・アクティヴィズムの歴史を背景に発展してきた分野である。この科目では、トランスジェンダー理論やトランスジェンダーの歴史に関する文献講読をメインに授業を進める。担当教員が重要な概念や議論を紹介したうえで、少人数でのディスカッションを行う。近年、トランスジェンダーに対する社会的関心がトランスナショナルに高まりを見せ、その性／生を一元的に捉えたり病理化したりする文化的背景のもとで嫌悪や差別が深刻化しているが、トランスジェンダーの人々が直面する様々な制度的・社会的・文化的な障壁への考察を促しつつ、人間の性を男女のカテゴリーに二元化するイデオロギーや制度に対する批判的思考力を身につけることを目的とする。</p>					
成績評価方法		授業への参加貢献度：50% 学期末レポート：50%					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31326	S	タイ医学ゼミナール	宮原 由佳	学生による全学自由研究ゼミナール	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。</p> <p>【こんな方にオススメの集中講義です】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイ古式ケアで、肩こりや疲労を癒したい！ ・ヘルスプロモーションに興味がある！ ・「ケア」について学びたい！ ・UNESCO 認定：無形文化遺産（タイ古式マッサージ）＆世界の記憶（ルーシーダットン（タイ古式ヨガ））のエッセンスを学びたい！ ・タイの伝統医学に興味がある！ ・タイの統合医療の現状について知りたい！ ・タイ文化について知りたい！ <p>=====</p> <p>【ゼミ目標】</p> <p>タイでは伝統的な「タイ医学」を統合医療やヘルスプロモーション政策に組み込む等、多岐に渡り活用しています。ゼミでは「タイ医学」を通じて「タイ古式ケア法」を学び、「セルフケア」「他者へのケア」について考察を深めていきます。</p> <p>【ゼミ概要】</p> <p>理論編：タイにおけるタイ医学の概要や活用法について多面的に学びます。</p> <p>実技編：タイ伝統医療の中で行われているタイ古式ケア療法（タイ古式マッサージ・ルーシーダットン（タイ古式ヨガ））を学びます。日常の中で疲れや凝りを癒し自己免疫力を高めてくれる‘古の智慧’を、皆と一緒にレッスンをしながら体感とともに学びを深めていきます。「セルフケア法」を主軸に「他者へのケア法」も盛り込みながら行っていく予定です。</p> <p>※ワットポー タイトラディショナル メディカルスクール（タイ王国第一級王立ワットポー寺院）にて、外国人として初めて伝統に基づいた本格的な修養を積み講師として認定された宮原が、多国籍にわたる方々への施術・指導経験をベースに行う東大生のためのスペシャルゼミです。</p>					
成績評価方法		出席とレポートによる総合評価					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31654	S	最先端の生命科学研究を駒場で体験する /Experiencing cutting-edge life science research at Komaba	吉本 敬太郎	教養学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>教養学部後期課程（理系）・統合自然科学科の「統合生命科学コース」には、ライフサイエンス研究の若きトップランナーが集結し、生命科学のフロンティアを開拓しています。本ゼミの履修学生は、最先端の研究を展開している研究室に数名ずつ配属され、未解明の研究課題に実際に取り組んでもらいます。</p> <p>研究の進め方は教員と相談して決めます。研究室によって曜限を指定する場合、指定しない場合、集中して行う場合があります。セメスターの最後に、履修者全員が参加して成果報告会を開催する予定です。</p> <p>統合生命科学コースの特徴は、先端性と多様性である。准教授が独立した研究室を運営できるため、26もの研究室がある。その研究テーマは極めて多様であり、分子生物学や細胞生物学、植物生理学といった理学的な基礎研究から、神経科学、内分泌学といった医学的な研究、そして、創薬などを目指した薬学・農学・工学的な研究まで多岐にわたる。ノーベル生理学・医学賞を受けたオートファジー研究が駒場で開始されたという事実が象徴するように、流行にとらわれない独創性の高い研究が行われている。実験や理論などのアプローチ法も多彩である。若き教員が柔軟な発想で、先端的でチャレンジングな研究テーマを選び、熱心に学生を指導するのみでなく、教員自らが現場に立って実験をしている研究室も多い。</p> <p>生命科学が大好きで、新しい分野を切り拓きたいという熱い思いを持つ学生を歓迎する。また、文系から理系への転向を考えている学生も受講できる。教科書で学ぶことの先にある生命科学の最先端を体験して欲しい。</p> <p>担当教員と研究テーマ（テーマと教員は変更・増減する可能性があります）：</p> <p>野本 貴大 切らない手術 ケミカルサージェリー・ドラッグデリバリーシステム</p> <p>道上 達男 ツメガエル胚の形づくりに力はどうに関わるか</p> <p>晝間 敬 植物と共生する微生物の未知の機能の探索</p> <p>吉本 敬太郎 核酸医薬の分子設計と機能評価</p> <p>加納 純子 染色体末端テロメア/サブテロメアの分子機能の解明</p>					
成績評価方法		研究への取り組みや成果報告会での発表をもとに評価します。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特定日に行う。／Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31655	S	生命の普遍原理に迫る 研究体験ゼミ	石原 秀至	生物普遍性研究機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>授業の目標概要</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため注意すること。 東京大学生物普遍性連携研究機構 (Universal Biology Institute, UBI) に関連する研究室で研究体験型のゼミをおこなう。 過去半世紀にわたる生命科学の進展により、我々は生体内で起こる分子レベルの反応の詳細や、それに関わる分子種についての膨大な知識を集積してきた。一方で、それら分子が総体として織りなす「生きている状態」とは、そもそもどう ういう状態なのか？そして、そのような状態を特徴付ける法則や原理は何か？このような基本的な問題について、我々 人類はまだほとんど理解できていない。この問いは生物学のみに閉じた課題ではなく、現象の記述と理解に必要な数理 科学の発展や、新たな実験・計測技術の開発を必須とする。この意味で現代生命科学は科学諸分野のフロンティアを押 し広げるとともに、これらを再統合する現場ともなっている。UBI では、生物に共通する普遍的な法則とメカニズムの解 明を目指し、従来の生物学の枠を越えて、数理科学、理論物理、分子生物学、生物物理学、進化生物学、有機化学、ナ ノバイオテクノロジー、細胞イメージングなど、広範な分野の研究者が共同で研究に取り組んでいる。 本ゼミでは、通常の学生実験や授業とは異なる、最先端の科学研究の現場を体験する機会を提供する。履修者は下記の いずれかの研究室に配属し、学問分野の垣根を越えた、分野横断的な科学研究に触れながら、基本的な実験技術やデー タ解析手法を学習したり、数理演習や計算機実習を通じて理論研究の基礎を学んだりする。未知の分野にチャレンジし、 将来的に自ら新しい分野を開拓していこうと思う意欲的かつ野心的な学生を歓迎する。</p> <p>担当教員</p> <p>【駒場キャンパス】</p> <p>澤井 哲: 細胞のナビゲーションを、実験的・理論的に理解する 若本 祐一: 細胞表現型ゆらぎと適応・進化の関係を探る実験研究 石原 秀至: 生命現象の数理モデルのシミュレーション 豊田 太郎: 人工細胞観察デバイスを微細加工技術で創って、人工細胞を実際に観察する 市橋 伯一: 原始的なポリマーゼを設計してみよう 柳澤 実穂: 生命現象をソフトマターの視点から明らかにする実験的研究 (駒 II キャンパス) 大泉 匡史: 大規模な神経活動データにおける神経情報表現の構造の解析 晝間 敬: ディープラーニングを用いた植物根系の自動定量技術の開発 小林 徹也: 生体情報処理や自己複製・進化の理論的研究(駒場 II キャンパス)</p> <p>【本郷キャンパス】</p> <p>古澤 力: 進化過程の計算機シミュレーションによって何が解るか？ 岡田 康志: 顕微鏡を作って生きた細胞を計測する 伊藤 創祐: 情報理論や確率的な熱力学を用いた生命現象の理論研究 杉村 薫: 組織成長の定量生物学</p> <p>【柏キャンパス】</p> <p>郡 宏: 生物リズムの実データ解析・数理モデルのシミュレーション 石川 麻乃: 分子と生態を横断し、生物の適応進化を理解する 最新の情報は以下を参照。 https://rcis.c.u-tokyo.ac.jp/education/</p> <p>成績評価方法 研究への取り組み方、研究の達成度、報告会での発表等から総合的に判断する。 教科書 教科書は使用しない。/Will not use textbook ガイダンス 特定日に行う。/Will conduct guidance at another time</p>							

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31660	S	駒場すずかんゼミナール 「学藝饗宴」	鈴木 寛	公共政策大学院	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>爛熟期を迎えた19世紀末フランスのサロン、とりわけ詩人マラルメの「火曜会」を範とする本ゼミは、文部科学副大臣も務めた東京大学公共政策大学院教授の鈴木寛(すずかん)主催のもと、『学藝饗宴』と題して学術と藝術を総合する教養教育を目指すものである。</p> <p>「すずかんゼミ」として四半世紀に亘り開講されてきた歴史を持ち、2017年度より新たに本題にて開講されている本ゼミの主な授業内容は、ゼミ生同士の対話および各界の第一線で活躍するゲストを講師に招き行うセッションである。過去にお招きした講師の方々については、是非下記のX(旧Twitter)ページにて確認してほしい。</p> <p>本ゼミは、特定の問題についての答えを与えるものではない。むしろ、関心のある領域をそれぞれが見出し、頭から離れなくなるような問いを得ることを目的とする。問いに際して、論理や経験から答えを導こうとするだけでなく、個々人が自らの真善美を追求し、感性を磨きあげることに重きをおく。分からないものの分からないさに好奇心を抱き自らの血肉として結実させようと試みる学生を歓迎する。</p> <p>※本講義は集中講義形式の授業であるが、履修者・OB/OG・オムニバス講師等が主体的に開催する毎週のサブゼミが火曜日19~21時に行われる。集中講義も基本的に同時時間帯である。このサブゼミに毎回参加できることが履修に際しての前提条件となる。</p> <p>※選考をガイダンス時に行い、受講者を若干名に限定する。</p> <p>※過去の選考課題、その他の詳細はX(旧Twitter)ページ(https://twitter.com/minervakomaba)を参照すること。</p>					
成績評価方法		集中講義ならびにサブゼミへの積極的な参加と貢献をもって評価の対象とする。					
教科書		教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス		特定日に行う。/Will conduct guidance at another time					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31665	S	学部学生のための研究入門コース-UROP1 (Undergraduate Research Opportunity Program 1)	川越 至桜	生産技術研究所	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。</p> <p>駒場リサーチキャンパスにある生産技術研究所(生研)では、IT、ナノテクノロジー、バイオや環境の分野を始めとした、工学全般における様々な最先端の研究を行っている。このような先端研究について、従来の受動的な授業とは異なり、自分自身の手を動かしながら研究を進め、実験や実習を通して実践的に学んでいくのが、本ゼミナールの特徴である。</p> <p>研究テーマに関しては、生研で行われている数々の研究から興味のあるテーマを選択する。授業の形態としては、選択したテーマを研究している研究室の一員として、設定した目的や計画のもと研究を進め、最後に研究成果の発表を行う。具体的な方法、内容や日時などの研究の進め方については、研究室の教員と相談しながら決めること。</p> <p>このような実際の研究プロセスを体験することにより、研究のノウハウを学んでいく入門コースである。</p> <p>授業内容や研究テーマの詳細については、ホームページ(http://www.oshimalab.iis.u-tokyo.ac.jp/UROP/)を参照のこと。</p> <p>※履修人数を20名に制限する。</p> <p>※開講場所：生産技術研究所</p> <p>※ガイダンスは、4月8日(月)および4月10日(水)の2日間、12時20分よりオンラインにて行う。2回とも同一内容で実施。</p>					
成績評価方法		日頃の研究への取り組み、報告書、および研究発表により、成績を評価する。					
教科書		授業中に指示をする。/Will specify at class time					
ガイダンス		特定日に行う。/Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31682	S	伊豆に学ぶプラス S 上級編 「感じる・考える・行動する」 サイクルの発動	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【注意】この自由研究ゼミは対面で実施します 【注意】成績報告に間に合わない</p> <p>この講義の最大の目標は、伊豆ゼミ運営に関わる学生スタッフの育成と組織化である。学生スタッフとは一ゼミ生でありながら、伊豆ゼミをよく理解するファシリテータとしてゼミにおいて自律的に活躍してゼミの目指すべき方向性を示す、伊豆ゼミの中核となる存在である。大役であればこそ、大きく成長する機会となるであろう。大役と聞いてちょっと尻込みする貴方・貴女へは、「それができる様に育てるのがプラスの講義です」「案ずるより産むが易しです」と励ましたい。</p> <p>この講義のもっと具体的な目標は、全学体験ゼミ「伊豆に学ぶプラス初級編」の事前講義と事後講義を企画・運営することである。その背景には、伊豆に学ぶへのより深い理解が重要であることは言うまでもない。</p> <p>本講義「伊豆に学ぶプラス上級編」は、伊豆ゼミの果実を確かなものにするために、真剣に考え・顧みて、議論することを大切にする。最近の若者を支配する「空気を読む」ことを強要するような雰囲気には、異を唱えたい。同じるばかりに気が行つては、自由にとことん議論して真に和するということがないのではないかと心配になる。和して同ぜず。色々な背景を背負った受講生同士が異なる意見を吐露し合い、むしろ意見が違っても大切に思っている根っここの部分が同じであったり共通性があったりすることに気付くこと、そういう仲間の存在のありがたさを知ることを実現する「場」を本ゼミに具現したい。受講生同士のつながりから、己と社会のつながりをいかに構築していくかを模索し、社会の一員として環境保全に取り組むべきと強く意識できることを期待したい。学生が主体となり、自由に学ぶ「場」を実現すること、それが全ての伊豆に学ぶシリーズに共通する理念であり、伊豆に学ぶプラス生（上級編）が果たす役割である。総合大学ならではの面白さを追求したいと考えている。</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは以下の日程で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。 【日程】2023年4月18日（木）18：45～19：45 @駒場キャンパス 1313 教室もしくは 1323 教室を予定（教室の確定は3月下旬頃）</p> <p>-----</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>授業態度、取組姿勢を重視し、プレゼンテーションとファシリテーションの質を評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31683	S	獣害問題とは何の問題か S (自由自主の企画系ゼミ) ～獣だけの話ではない。見えにくい 防災問題や国土荒廃の連環～	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>これまで全学体験ゼミ・全学自由研究ゼミを通して多くの東大生に接する機会をいただき、気づいたことがあります。それは、東大生は効率よくスマートに動きたい思いが強く、スマートに片づけられないことを遠ざけがちであるということ。もちろん、全員がそうだと決めつけるつもりはありません。</p> <p>君の大切なものは何？ どういう価値観で生きているの？ 社会とどう向き合って生きていくつもりなの？ と尋ねると、以下の様に回答する東大生がかなり高い割合でいます。 自分は何がしたいのか分からない・決められない。 それを決めずに入れる東大を選んだと言い、 大学でやりたいことを今探しているところなので、その問いには直接答えることはできません。 しかし、大学に入っても自身の価値観は固まらず、進振り制度に直面しても自分が何をしたいのか、何をすべきなのかということ自分で決められずに、右往左往していないでしょうか。結局自分で決められずに、何となく皆が行きたがる人気の高い学科が良さそうに思えてくる。とても人気が高いと点数が足りなかつたりする。すると、自分の点数と見比べて、自分の点数で行ける中で一番点数が高そうなところを選んだりしてしまう。 そのような調子で過ごして、果たして自分の頭で考え、判断したことになるのでしょうか？ 林業について。全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」で学生に日本林業の今後の展望を尋ねると、利益を出せない以上は林業が停滞するのはやむを得ないという、大人の意見が返ってくる人が多いです。ってゆーか、そんな答えしか返ってきません！ 東大生は、涼しい顔をして大人の意見を言うだけで満足する人が多いと思います。「林業は難しい」という答えは現時点の状況を端的に表わしているという点で、試験の解答としては正解なのかもしれません。しかし、そう片づけてしまえば、それで仕舞いです。そこからはもう何も新しいことが生まれて来そうにもありません。</p> <p>東大生の皆さんには、是非、新しい何かを生み出す原点や原動力になっていただきたい。それが「伊豆に学ぶ」や「森に学ぶ」など一連の全学ゼミで皆さんにお伝えしたいことです。</p> <p>全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ」で初めて獣害を意識したという方には、もう少しじっくりと向き合っていたきたい。それが獣害問題とは何の問題かということ。</p> <p>もちろん、伊豆に学ぶの受講生ばかりではなく、獣害問題について考えてみたい、考える必要を感じる、重要なんだろ</p>					

うけどどこか他人ごとになってしまうという、普通の東大生に「皆で考える」場を提供するゼミにするつもりです。それらについて、ただ考えるだけでなく、考えたことを交流させる「場」を本ゼミに実現させて、それを拡大して学園祭にも「場」を作り広げることを一つの具体的な目標とします。

本自由研究ゼミはこれまで、学園祭においてイノシシビザやイノシシソーセージの燻製を来訪者に提供する取り組みを通して、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」で扱ったイノシシ被害の問題が南伊豆地域に存在していることを伝えてきました。

講義タイトルにはあえて「獣害問題」と書きました。

なぜ、野生動物と人との軋轢が増しているのでしょうか。

「オオカミを絶滅させてしまったからシカやイノシシが増えている。他所から捕食者オオカミを再導入すればこの問題は解決する」

という話を耳にすることがあります。

オオカミの再導入で問題は簡単に解決するのでしょうか？

問題はそれほど単純ではないと思われます。

オオカミを再導入する前に、なぜ日本人はニホンオオカミを絶滅させてしまったのかということにはしっかりと向き合う必要があるはずです。

ニホンオオカミと日本人との間に軋轢があり、その結果としてニホンオオカミを絶滅させることになったのであれば、他所から再導入するオオカミと私たちとの間に軋轢が生じないことを前提に話を進めることは合理的ではありません。

現代社会は複雑であるがために、私たちを取り巻く様々な関係が希薄になっています。それがために、諸処において自分と対象物・対象事象との繋がりに実感が伴いません。その結果として当事者意識を持っていないことになってしまい、それが問題をさらに深刻化させているという、負のスパイラルの見本のような状態と言えます。「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」ゼミではこれらの気付きを得た学生さんが多数います。

ゼミ中に得たその「感覚」も、そのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。

本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」とは違った視点得て、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。

この自由研究ゼミの目標は「林業問題」の解決策を提案することではありません。

複雑な問題に対して簡単に「解」を出そうとはせずに、複雑な問題とじっくりと向き合うことを目標とします。

大学入学試験では、正しい解を素早く出すことが求められるので、多くの東大生はついつい結論を急いでしまいがちではないか。入試であれば、回答欄に不正解を記そうが、何も書かずにいようが、0点であることに変わりません。偶然か何かのハズミで正解する可能性があるならば、記入しないよりも何らかの解答を記すべきだと教わります。

しかし、今の話題は大学入試ではないので、テキトーな答えを書き入れて、さっさと思考を終わらせることが上策と言えるでしょうか。答えが出ないことと向き合うことは、東大生がもっとも不得手とすることかもしれません。皆さんが社会に出てから向き合うことは、一筋縄では行かないことが多く、最短距離で正解に直行する思考方法はあまり役に立たない。そのこと知ることは決して無駄なことではありません。

答えが出せない複雑な問題は、人任せにして、自分ほうまく避けて通ればよいのでしょうか。

本ゼミでは、受講生が希望すれば、南伊豆を訪ね獣害の現場を視察するという選択肢を生み出すことができます。全学体験ゼミ「続伊豆に学ぶ_イノシシソーセージ作りと林業体験はどう繋がる？」はまさにそのために立ち上げた器に当たるものです。

本ゼミと合わせてそれらのゼミ作りに関わりませんか。

さて、前述した様に、

このゼミでは五月祭・駒場祭に「獣害問題とは何の問題か」企画を打ち出します。

問題の本質が何であるのかを一緒に考えるきっかけを提供するのがこの企画の狙いです。

学園祭企画を創作していきましょう。

本ゼミでは大菩薩峠を訪ね、増え続けるシカが森林にどんな影響を及ぼすのか、実態をご覧いただくことから始めます。大菩薩峠はハイカーに人気ある山域で、多くのハイカーが足を運びます。ハイカーにはシカの影響がどの様に伝わっているのか、日本人の自然観察眼についても実態をご覧いただきたい。

興味がわいたら、森に学ぶ(森林・林業を意識する低山歩きS2)にてさらに山の実情を見に行くことをお勧めします。獣害の現場を視察し、罠を作り、仕掛けたいとか、害獣をジビエと捉えて手作りイノシシソーセージを作ってみたいとかのご希望があれば、東京大学体験活動プログラム「伊豆の体験活動 獣害編」への参加をお勧めします。

さて、本ゼミは自由自主の企画系ゼミですので、

「獣害問題とは何の問題か」という論点を社会に発信してもらいます。

問題の本質が何であるのかについて、周りを巻き込んで一緒に考えるきっかけを提供する、そういった体験をしてもらうことがこの企画の狙いです。

何を発信するのか

どう発信するのか

自由と自主で行動するのが大の苦手という方、少しでも克服したいと、初めの一步を踏み出そうという方を応援する、そのようなゼミにしたいと思っています。

※講義の目標：自主・自律に動けるようになること。様々な問題を他人ごとにしなない気分を身に付けること。

※このゼミは以下の日程で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

【日程】2023年4月18日(木) 18:45~19:45

①駒場キャンパス 1313教室もしくは 1323教室を予定(教室の確定は3月下旬頃)

授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。

教科書は使用しない。/Will not use textbook

第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time

成績評価方法

教科書

ガイダンス

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31684	S	日本は林業を放棄してよいのか S (自由自主の企画系ゼミ) —日本国民は国土面積の 25%に 及ぶ人工林をどうするつもり？	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

これまで全学体験ゼミ・全学自由研究ゼミを通して多くの東大生に接する機会をいただき、気づいたことがあります。それは、東大生は効率よくスマートに動きたい思いが強く、スマートに片づけられないことを遠ざけがちであるということ。もちろん、全員がそうだと決めつけるつもりはありません。

君の大切なものは何？
 どういう価値観で生きているの？
 社会とどう向き合って生きていくつもりなの？

と尋ねると、以下の様に回答する東大生がかなり高い割合でいます。
 自分は何がしたいのか分からない・決められない。
 それを決めずに入れる東大を選んだと言い、
 大学でやりたいことを今探しているところなので、その問いには直接答えることはできません。

しかし、大学に入っても自身の価値観は固まらず、進振り制度に直面しても自分が何をしたいのか、何をすべきなのかということ自分を自分で決められずに、右往左往していないでしょうか。結局自分で決められずに、何となく皆が行きたがる人気の高い学科が良さそうに思えてくる。とても人気が高いと点数が足りなかつたりする。すると、自分の点数と見比べて、自分の点数で行ける中で一番点数が高そうなところを選んだりしてしまう。

そのような調子で過ごしていて、果たして自分の頭で考え、判断したことになるのでしょうか？
 林業について。全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」で学生に日本林業の今後の展望を尋ねると、利益を出せない以上は林業が停滞するのはやむを得ないという、大人の意見が返ってくる人が多いです。ってゆーか、そんな答えしか返ってきません！ 東大生は、涼しい顔をして大人の意見を言うだけで満足する人が多いと思います。「林業は難しい」という答えは現時点の状況を端的に表わしているという点で、試験の解答としては正解なのかもしれません。しかし、そう片づけてしまえば、それで仕舞いです。そこからはもう何も新しいことが生まれて来そうにもありません。

東大生の皆さんには、是非、新しい何かを生み出す原点や原動力になっていただきたい。それが「伊豆に学ぶ」や「森に学ぶ」など一連の全学ゼミで皆さんにお伝えしたいことです。

全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」で初めて林業を意識したという方には、もう少しじっくりと向き合っていたきたい。それが「日本は林業を放棄してよいのか」ということ。

もちろん、「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」の受講生ばかりではなく、「林業」について考えてみたい、考える必要を感じる、重要なんだろうけどどこか他人ごとになってしまう、という普通の東大生に「皆で考える」場を提供するゼミにするつもりです。

それらについて、ただ考えるだけでなく、考えたことを交流させる「場」を本ゼミに実現させて、それを拡大して学園祭にも「場」を作り広げることを一つの具体的な目標とします。

日本は国土面積の7割近くが森林で覆われています。その40%に当たる1,000万haが人工林です。人工林は管理をし続けないと、健全性を保つことができず、また、収穫し、再造林しなければ若返り(更新)が担保されません。それらを担うのが林業です。

人工林を天然林に戻すという考え方もありますが、それを実行するにしても林業が機能しなければ、樹種を変えていくというアクションを起こすことができません。

現在の日本において、林業には全方位に解決しなくてはならない問題があると言っても過言ではありません。林業従事者が少ない問題、森林所有者の問題(500万haにおよぶ森林が私有地であり、所有者の3/4は5ha以下の小面積所有、そして所在不明案件が10万件に及ぶなどの問題)、獣害の問題、コストの問題(大型草本の問題や獣害の問題とも関係する)など、枚挙すれば切りがありません。

そういった問題一つ一つへの理解と、社会全体に理解を広めることが、日本が林業を手放すという選択肢を選択しないために不可欠なことなのでしょう。

企画系自由研究ゼミはこれまで、学園祭においてイノシシビザやイノシソーセージの燻製を来訪者に提供する取り組みを通して、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」で扱ったイノシシ被害の問題が南伊豆地域に存在していることを伝えてきました。

しかし、林業についてじっくりと考えて、発信するという機会は持てずに過ごしてきました。

満を持して、とは申しませんが、この度、垣根を低く設定して林業を考え発信するゼミを立ち上げることにしました。講義タイトルにはあえて「日本は林業を放棄してよいのか」と書きました。

現代社会は複雑であるがために、私たちを取り巻く様々な関係が希薄になっています。それがために、諸処において自分と対象物・対象事象との繋がりに実感が伴いません。その結果として当事者意識を持っていないことになってしまい、それが問題をさらに深刻化させているという、負のスパイラルの見本の様な状態と言えます。「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」ゼミではこれらの気付きを得た学生さんが多数います。

ゼミ中に得たその「感覚」も、そのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。

本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」とは違った視点得て、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。

この自由研究ゼミの目標は「林業問題」の解決策を提案することではありません。

複雑な問題に対して簡単に「解」を出そうとはせずに、複雑な問題とじっくりと向き合うことを目標とします。

大学入学試験では、正しい解を素早く出すことが求められるので、多くの東大生はついつい結論を急いでしまいがちではないか。入試であれば、回答欄に不正解を記そうが、何も書かずにいようが、0点であることに変わりません。偶然か何かのハズミで正解する可能性があるならば、記入しないよりも何らかの解答を記すべきだと教わります。

しかし、今の話題は大学入試ではないので、テキトーな答えを書き入れて、さっさと思考を終わらせることが上策と言

えるでしょうか。答えが出ないことと向き合うことは、東大生がもっとも不得手とすることかもしれません。皆さんが社会に出てから向き合うことは、一筋縄では行かないことが多く、最短距離で正解に直行する思考方法はあまり役に立たない。そのこと知ることは決して無駄なことではありません。

答えが出せない複雑な問題は、人任せにして、自分はいまうまく避けて通ればよいのでしょうか。

本ゼミでは、受講生が希望すれば、南伊豆を訪ね獣害の現場を視察するという選択肢を生み出すことができます。全学体験ゼミ「続伊豆に学ぶ__イノシシソーセージ作りと林業体験はどう繋がる？」はまさにそのために立ち上げた器に当たります。

本ゼミと合わせてそれらのゼミ作りに関わりませんか。

さて、前述した様に、

このゼミでは五月祭・駒場祭に「日本は林業を放棄してよいのか」企画を打ち出します。

問題の本質が何であるのかを一緒に考えるきっかけを提供するのがこの企画の狙いです。

学園祭企画を創作していきましょう。

※学園祭に自分たちの企画を出展することを目標とする

 ※このゼミは以下の日程で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

【日程】2023年4月18日(木) 18:45~19:45

@駒場キャンパス 1313 教室もしくは 1323 教室を予定(教室の確定は3月下旬頃)

成績評価方法
 教科書
 ガイダンス

授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。

教科書は使用しない。/Will not use textbook

第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31728	S	ブランドデザインスタジオ 29 「リベラルアーツ」起点で、 「スタートアップ」をつくる	真船 文隆、 山上 揚平	教養教育高度化機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

●プログラムについて

※参加者同士で交流・対話しながら進めるワークショップ形式の授業となります。

『正解のない問いに、共に挑む』特別教育プログラムです。参加者の皆さんが今後、広く社会一般で活用し得る「共創」の手法を、「21 KOMCEE (理想の教育棟)」を舞台に、東京大学×博報堂ブランド・イノベーションデザインのコラボレーションにより学んでいただきます。現役の広告会社社員、ブランド・コンサルタントがプログラム・デザインおよびファシリテーションを担当します。参加者でプロジェクトチームを結成し、チームでテーマに関するリサーチや分析、アイデア発想、プレゼンテーション制作を行ってもらうことを予定しています。

【URL】<http://www.bdstudio.komex.c.u-tokyo.ac.jp/>

●テーマについて

今期は、『「リベラルアーツ」起点で、「スタートアップ」をつくる』と題し、リベラルアーツを活用しながら、自ら問い、事業を起こす(起業する、スタートアップを立ち上げる)ことを体感しながら学んでいただきます。

近年、「好きを仕事に」などの言葉が流行し、自分のやりたいこと、進むべき方向を自身で考えられる素質が求められています。しかし、「好きなこと」や「やりたいこと」を問われて、すぐに答えられない人もいないのでしょうか。そんなときに、リベラルアーツ——人間を種々の拘束や強制から解き放って自由にするための知識や技能を指す言葉——の精神が大切になってくるのではないかと私たちはそう考えます。

この授業の前半では、幅広い知識や多様な考え方に触れ、仲間たちとアイデアや想いをぶつけ合うなかで、自身の価値観を揺さぶり、これまでの自分の思考や経験の限界にとらわれない自由な発想を育て、そこから、自分らしい独自の問いや義憤、偏愛、好奇心を出会っていただきたいと思っています。

授業の後半では、生み出した自分らしい問いや義憤・偏愛・好奇心をもとに、スタートアップを立ち上げるための事業アイデアの創造に挑戦いただきます。問いを作るだけでは、社会に変革を起こすことはできません。それを形にし、社会とのつながりを見つけ出し、ビジネスの成長と社会課題の解決を同時に実現するような事業を生み出すことが目標です。そのサポート役として、株式会社博報堂の新規事業開発の専門家たちが登場。彼らの豊富な経験と知識を通じて、アイデアを現実のビジネスに変える方法を学びます。

この授業の最終プレゼンテーションの場には、起業経験者など専門家をお招きし、アドバイスをいただく予定です。実際に事業として動き出すための貴重な第一歩になるかもしれません。

新しい取り組みであるこの授業は、予測不可能な展開も含んでいます。しかし、研究もビジネスも、「想定外」の事態がほとんど。正解のない問いを自ら作り、アイデアを共有・社会実装する過程を、自由に楽しむことのできる皆さんをお待ちしております。「リベラルアーツ」に学んで視野や思考を自由に広げながら、皆さん自身の興味・関心を発掘し、世の中に発信したい事業アイデアに落とし込むまでのプロセスや難しさ、面白さを、ぜひ体験してください。

詳しくは4月11日(木) 17:30~開催されるガイダンス兼体験ワークショップで説明しますので、ご関心を持っていただけた方はぜひご参加ください。

成績評価方法

全ての授業への参加を前提に、個人ワークの提出内容、グループワークへの貢献、最終プレゼンテーション内容により評価します。

教科書

教科書は使用しない。/Will not use textbook

ガイダンス

第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31738	S	企画の研究所 — 心と社会を動かすコ ミュニケーション —	桑田 光平	教養教育高度化機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>授業の目標概要</p> <p>この講座は、人の気持ちの動かし方を考える研究を行います。 人の気持ちが動くとき、社会は動く。そのスイッチを探していきたい。 心と社会を動かすコミュニケーションを実践してきた電通のクリエイティブと 東京大学が手を組んで、あたらしい企画の研究所を立ち上げます。 さて。 みなさんが、将来やりたいことは何でしょうか。 社会のためになることをやりたい。あたらしい体験を生み出したい。 研究で多くの人を救いたい。サービスを立ち上げたい。 人の数だけやりたいことはあるのかもしれませんが。 これらには共通項があります。 それは、「人の心と社会を動かす」ということ。 気持ちが動かないと、人は動きません。 サービスを受ける人は何に喜ぶのか。 社会のための行動は、どんな気持ちを動かすべきなのか (説教くさいと動かなかったりしますよね)。 AIが発達し、人間性への回帰が重視される中、 人の気持ちへの向き合いは、より重要になっていくはず。 私たちは、長年にわたって人の気持ちをさまざまな表現手法で動かしてきました。 映像、言葉、体験、空間、ビジュアルなどジャンルは多岐にわたります。 その中心にあるのが「企画」です。 人の気持ちを考えて、動かすためのアイデアと手段。 それが、「企画」という技能。 たとえば、ゴミ拾いをしようと言っても動かない人でも 「ルールがあるゴミ拾いの競争という企画」にしたら動くかもしれません。 これからの世界において、「企画」はより重要になっていくと考えています。 それは、ビジネスでも表現でも生活でも生きる力になります。 しかし、人の気持ちを動かす「企画」は属人的であり体系化されていません。 そこで、このプロジェクトでは「企画」にもう一度向き合います。 人の気持ちとは何なのか。どういう時に動くのか。 動かすための表現にはどんな技術があるのか。 映画、漫画、音楽、ファッション、落語、短歌。 人の気持ちを動かすものは何を内包しているのか。 目指すのは、誰もが「企画」を力にする社会。 この無謀なプロジェクトの1期生となるあなたとの出会いを、楽しみにしています。 ■進め方について 各回テーマを持ちながらも、大きく4つの力を鍛えていきたいと考えております。 見る力：課題を見つける。表現を見る。世界を見る目の解像度を上げる。 分析する力：伝え方を収集する。人の気持ちが動く瞬間を収集する。類型化して一般的な手法にしていく。 表現する力：人の心を動かす企画をする。それに伴う表現方法を学ぶ。 実践する力：実際のクライアント（予定）を巻き込んで、上記の研究を実践する。 このどれもが、社会人、表現者の基礎体力となるような力となるのは間違いありません。 研究のみならず表現・実践まで落とし込んでいくことが、本授業の醍醐味となるはずです。 全ての授業への参加を前提に、個人ワークの提出内容、グループワークへの貢献、プレゼンテーションの内容により評価します。</p>							
<p>教科書 ガイダンス</p>		<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31691	S 1	高エネルギー光科学の先端と 社会実装／Advanced High Energy Photon Science and its Social Implementation	原田 慈久	物性研究所	月 4	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>本講義シリーズでは、日本の先端科学技術を支える大型施設として注目を集める高輝度X線光源「放射光・X線自由電子レーザー」と「大強度レーザー」を用いた光科学の最先端で今が行われているのかを知るために、開発の一端を紹介しつつ、これらを用いて導かれた最新の物理・化学分野における発見や、真に産業に活かす使い方を紹介し、高エネルギー光科学の目指す未来について語ります。</p> <p>また任意参加で、2024年8月上旬頃に、2024年4月より仙台で運用を開始する3GeV放射光施設「NanoTerasu」の見学と、そこで働く若手研究者・シニア研究者との交流の場を用意しています。</p> <p>In this lecture series, we will discuss the development of synchrotron radiation and X-ray free electron laser, highly brilliant X-ray light sources, and high-power lasers that are gaining attention as large facilities supporting cutting-edge science and technology in Japan, as well as the most recent discoveries in physics and chemistry using these light sources and how they are really utilized in industry. The future of high-energy photon science will also be addressed.</p> <p>In addition, we are planning a tour of "NanoTerasu", a 3GeV synchrotron radiation facility that will begin operations in Sendai in April 2024, with optional participation in early August 2024.</p> <p>We are preparing a chance for participants to interact with both young and senior researchers working at the facility.</p>						
成績評価方法	<p>各授業で小テストを実施しその場で回収またはメール提出、第7回終了後にレポート課題提出。</p> <p>小テストとレポート課題で適宜点数配分し成績評価を行う。</p> <p>第8回の見学は任意参加のため成績評価には含まれない。</p> <p>A quiz will be given in each class and collected on-site or by e-mail, and a report will be requested after the Session 7. Grade Evaluation will be assigned based on the quiz and the report, and points will be allocated accordingly.</p> <p>The field work at Session 8 is optional and is not included in the grade evaluation.</p>						
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31832	S	「経済安全保障」 の基本文献を読む	玉井 克哉、 井形 彬	先端科学技術研究セ ンター	火 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>現在の世界は、激動の中にある。</p> <p>冷戦終結後の約30年間、世界経済の基調は「グローバル化」であった。物とサービスの貿易を自由化し、知的財産権の保護水準を斉一化しようとするWTO協定が、1995年に発効した。製造業のサプライチェーンは全世界に延び、各国の国民経済は「フラット化」し、それでも残る国や地域の特色を現地で享受させる観光産業が隆盛となった。その間、わが国はこの変化によく対応できず、国際的地位は低下を続けた。</p> <p>いまや、この基調が大きく変わろうとしている。軍民融合や千人計画、一帯一路などを通じて戦略的な経済安全保障政策を進めてきた習近平体制の中国は対外政策を更に強硬にしてきており、特に台湾をめぐる情勢は日に日に緊迫している。これに対する米国の反発姿勢は、バイデン政権下でますます強まってきた。この米中対立の激化により、既存の国政政治の枠組みが変化してきただけでなく、AUKUS、クワッド、IPEFといった、新たな枠組みが成立しつつある。そして、ロシアのウクライナ侵略戦争という既存国際秩序へのあからさまな挑戦は、さらに大きな不安定要因を形成している。これに伴って国際経済も大きく変化しており、日本を含む各国の法や企業のビジネスにも、深刻な影響が及んでいる。</p> <p>担当教員（玉井克哉）は法学者であるが、知的財産法や行政法などの分野で、日本のルール形成に従事してきた。また、冷戦終了期のドイツ、世紀転換期の米国に留学した経験があり、法学の影響力の強い社会でのルール形成の現場を観察してきた。その立場から、現在の急激な変化を踏まえたルール形成戦略を研究対象にしており、積極的な提言を行っている。</p> <p>担当教員（井形彬）は国際政治・経済安全保障の研究者であるが、経済安保に関する最先端の議論を国内外の政策決定者や有識者と頻繁に行っている。</p> <p>また、武見綾子准教授（グローバル合意形成分野）が随時参加する予定である。同准教授は、国際的なヘルス・セキュリティと保健政策の専門家であり、マッキンゼーでコンサルタントの経歴や、世界保健機関（WHO）での職歴も有しており、2023年2月から、先端研において「グローバル合意形成分野」を立ち上げる、気鋭の研究者である。</p> <p>このゼミでは、法律と政治という異なる視点から「経済安全保障」について研究してきた担当教員二人と共に、今後の日本の大戦略について議論し、理解を深める機会を提供する。</p>						
成績評価方法	<p>全学自由研究ゼミナールは、通常の科目とは異なり、「合」「否」によってのみ評価することとされている。毎回の授業に参加しクラスの議論に貢献した場合は、「合」となる。</p>						
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31720	S 1	国連と文化 1	井筒 節	教養教育高度化機構	水 3	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>戦争の惨害から将来の世代を救い、全ての人の人権と尊厳を守り、自由の中で社会的進歩と生活水準の向上を促進する決意のもとに創設され、2025年に80周年を迎える国連。「誰一人取り残さない」ことを目標に、子ども、若者、障害のある人、HIV/エイズと共に生きる人々、高齢者、先住民、難民、国内避難民、移民、そしてLGBTIの包摂とエンパワメントに力を入れています。</p> <p>国連教育科学文化機関（UNESCO）憲章に「戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」とあるように、国際社会では、これまでの軍事・経済・政治を中心とした視点に加え、人間の心のウェルビーイングに目を向けた国際的パートナーシップの必要性に注目が集まっています。</p> <p>人々の心に働きかけるためには、文化や芸術が大きな役割を担います。よって、この授業では、国連システムの基礎や、2030年までの国際優先事項である「持続可能な開発目標（SDGs）」について学びながら、心の交流や文化・芸術の力に注目した、未来志向の国際協力について考えます。</p>					
成績評価方法		授業への参加とレポートにより評価を行います。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31648	S 1	素粒子実験の最先端	樋口 岳雄	カブリ数物連携宇宙 研究機構	水 5	1	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		<p>素粒子標準理論の成立とその限界を示すとともに、限界を超える新しい素粒子理論に従う現象の探索を進める様々な素粒子実験を紹介します。また、最先端の素粒子実験を行っている茨城県つくば市の高エネルギー加速器研究機構を訪問し、Belle II実験などの施設見学を行います。</p>					
成績評価方法		原則として講義への出席状況によって成績を評価します。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31659	S 1	国家のグランドデザインを描く ～政策立案シミュレーション～	仲 浩史	公共政策大学院	木 4	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>現在、日本の経済・社会はかつてない変化に直面しており、社会保障や国と地方の在り方といった様々な制度について改革が求められていると同時に、経済の再生や気候変動問題をはじめとする政策課題への対応が必要とされています。また、国際社会や世界経済の情勢も日々刻々と変化する中で、国際社会との関わりも新しいフェーズに入っています。こうした構造変化への処方箋が「政策」になります。とりわけ、国家のリソース配分を通じて、大きな構造変化や個別の社会課題に対応していくことが、政府の重要な役割になっています。本講義では、国家財政という視点を踏まえ、日本の将来を考えつつ、様々な課題にどのように対応していくかという点について、現役の財務省職員とともに政策立案の体験を通して考えていきます。受講生の皆様には、経済・社会を見る目を養いつつ、政策を通じた課題解決に取り組んでいただきます。学生ならではの新しい角度から、自由な発想で大胆な提言がなされることを期待しています。行政や政策立案に関心がある学生はもちろんのこと、広く社会の在り方に関する議論が好きな学生や具体的な社会課題の解決に興味を持つ学生の参加をお待ちしています。</p>					
成績評価方法		授業への出席によって、合否判定を行います。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31834	S	読み紡ぐ政治学・読み破る政治学 -多読・乱読・精読そして議論を楽しむゼミ-	牧原 出	先端科学技術 研究センター	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>このゼミは対面で行います。説明会もまた第一週に対面で開催します。もっとも体調など個々の学生の状況に応じて、オンラインでの参加を認めてハイブリッドで開催することもあります。なお、授業前にオンラインでの講義や打ち合わせがある学生については、東大先端研の牧原研究室でオンラインで視聴するスペースを用意しますので、事前に申し出た上でオンラインの打ち合わせなどに参加した上で、対面のゼミに参加して下さい。</p> <p>牧原研のYouTubeチャンネルに、ゼミの概要を配信していますので、そちらをご覧ください。 URLは https://www.youtube.com/channel/UCjmHAPyMqKTnE1NKAK_k6hg など、過去のものも含めて適宜参照してみてください。どうしても説明会に参加できないが（できなかったが）受講を希望する学生については、個別に contact@pha.rcast.u-tokyo.ac.jp までご連絡ください。</p> <p>また事前に質問などがあれば、個別ないしはグループでのオンラインのプレゼミを開始します。上記アドレス宛にご質問など投げてください。</p> <p>今年で12年目となるこのゼミでは、多読、乱読、ときに精読を心がけ、古今東西の政治学に関する本を「読み紡ぐ」そして「読み破る」ことを目標にします。「読み紡ぐ」は歴史をひもとき、互いの議論をたないでいくという意味をこめ、「読み破る」はこれまでの自分の読みを乗り越えていくことを目標としています。毎週1冊本を読んで短いペーパーを書いて全員が事前にそれを読んだ後、ゼミが始まります。ゼミでは、いくつかのペーパーを取り上げて、全学生が意見を言う、質問をする、応答する、質問を重ねる、といった議論を繰り返します。もちろん人の意見をじっくり聞くことも大事です。教員はできるだけ議事進行に努めますが、ここぞというときには今学生に必要と判断したコメントを出すようにします。学生同士の議論が基本です。そこから何が得られるのでしょうか。もちろん政治と政治学についてよりよい読みを目指して理解を深めることはとりあえずの目標です。しかしそれだけではありません。まずは自分の考えを構築してみましょう。その上で他の学生からの質問に驚いたり新たに考えたりすることで、一冊の本に対する多様な理解があることを知るでしょう。集合知としての本に対する理解というものがあることに気づいてほしいと思います。そこから初めて自分の読みが広がります。このように自分の読みを深め広げることこそが、これから勉学を深めたり、研究に踏み込んだり、自分の人生を生きぬく力を得ることができるのです。</p> <p>こうした読書とそれについての思索・議論は、海外の大学の授業では基本的な開講形態です。また文理の学問分野の違いから言えば、このゼミでの読書とそれについての議論とは、理系にとっての実験がそうであるように、文系にとっての「実技」です。理系の人は、もう一つの「実験」の授業と思って参加していただいでかまいません。読書自体は特別なことではないのですが、毎回気心の知れた多くのメンバーと読書して語り合う経験は、皆さんにとって特別貴重な経験となるでしょう。</p> <p>ゼミでは、そのためにいろいろな仕掛けを用意しています。ゼミ生同士で読書会をしたい人たちは、先端研の牧原研の自習室を自由に利用することができます。著者同席の回や、「私の勧めの一冊」という回もあるでしょう。ゼミ終了後恒例のブック・サロン、ブック・トリップ、ラボ・アドベンチャーも可能な範囲で行うことを考えています。すでの多くの修了生がいますが、これらは修了生も一部参加することがあり、読書を重ねた先輩からいろいろな話を聞いたり、議論したりすることができるでしょう。また、夏休みには「合宿」（宿泊が難しい場合は、一日講義室でゼミを行う形をとります）を行います。合宿で何をするかは未定ですが、ここ数年、夏合宿は重要と目される本の集中的な講読、後期に継続開講するゼミでの冬合宿は本に関するドキュメンタリーを製作することが課題でした。</p> <p>※受講人数：あらかじめ制限はしない。</p>					
成績評価方法		平常点による。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31646	S 1	アカデミックアントレプレナーという生き方 ～越境する人生～	梶川 裕矢	工学部	金 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>様々な分野やセクター、組織等を横断、越境しつつ、学術、事業、政策等において、次々と新たなフロンティアを切り拓いてきたアカデミックアントレプレナーとも呼ぶべき教員や博士課程修了生等が、これまでの来歴や学術的達成、ならびに、社会的インパクトについて講義を行う。講義を通じて、受講生が今後の自らの人生やキャリア、学修計画を考える契機や参考となることを授業の目標としている。</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは4月5日（金）6限（18：45～）Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p>					
成績評価方法		講義への出席ならびに質疑応答に基づいて合否を定める。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特定日に行う。／Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31797	S 1	エネルギー・経済産業政策 を考える	飯田 誠	先端科学技術研究セ ンター	金 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		本講義の目標は、社会の変遷に対する我が国の政策動向について理解を深め、今後の持続可能な社会を構築していくための政策の在り方について学ぶ。現役の経済産業省の方を講師に迎え、それぞれが実際に関わった政策・戦略などについてご紹介いただく。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		出席状況、小課題および最終レポートにて評価する 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31614	S	カーボンフリー社会のための 燃焼の科学	鈴木 雄二	工学部	集中	1	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		炎を使った料理が人類を人類たらしめたという説がある一方、最近では「モノを燃やすのは悪」という風潮が広まっています。「燃やす」という行為は必然的に環境に悪影響を与えるのでしょうか？本ゼミナールでは、カーボンフリー社会のための燃焼について講義と実験を通じて学びます。 近年、カーボンニュートラルの達成は緊急の課題となっていますが、国土が狭く平野の少ない日本では再生可能エネルギーで需要を全て賄うことは困難です。そのため、自然エネルギー由来の水素、あるいは水素の運び手としてのアンモニアをカーボンフリー燃料として海外から輸入し、火力発電所、工業プロセス、船舶などで燃焼させて用いるための取組みが精力的に行われています。 本ゼミナールでは、国内外のエネルギー事情、カーボンフリー燃料の燃焼、宇宙における燃焼についての講義と、燃焼の先端計測の実験を通じて、将来のエネルギー変換でさらに重要性が増す水素、アンモニア燃料について学習します。 ----- ※このゼミは4月5日（金）6限（18：45～）Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。 -----					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		出席および発表会での評価 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31615	S	空飛ぶ車を実現するための機 械工学	柳本 潤	工学部	集中	1	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		○工学部機械工学科が提供するゼミナールです。柳本研究室（機械材料学）と泉・波田野研究室（破壊強度学）が共同して実施いたします。 空飛ぶ車には、社会インフラ、法制度のみならず、「車」そのものをどのようにして実現し製造するのか？を考え、技術開発を進めねばなりません。 機械である「車」を実現し社会に普及させるためには、空を飛ぶための推進系に加え、軽量の構造体（車体）を、地上を走行する車と同じ程度まで安価に製造せねばなりません。本ゼミナールでは、空飛ぶ車を実現するための、超軽量車体構造材料および構造について、調査、設計、解析を行います。 1. 空飛ぶ小型トラック・自動車に利用される骨格・スキン材料 空飛ぶ小型の個人用移動体に利用できる骨格・スキン材料を開発します。軽量、高い強度、安全性、量産性と価格など考慮する必要があります。 現在航空機に広く利用されている、炭素繊維強化プラスチックと薄板金属材料との組み合わせ、あるいは、炭素繊維強化プラスチックのみ、などを利用して新たな薄板素材の提案、設計、製作と評価に取り組みます。 2. 衝撃緩和設計を体験してみよう 空飛ぶ車などの乗用車両には高い安全性が要求されます。近年では、自動車やノートパソコンなどの精密機器において、高い衝撃吸収構造が実現されています。本ゼミでは、衝撃緩和設計を体験してもらいます。高いところから卵を落とすように設計する「エッグドロップコンテスト」に倣って、身の回りにある段ボールなどで、衝撃緩和構造を作ってもらい、性能評価をします。 ----- ※このゼミは4月5日（金）6限（18：45～）Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。 -----					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		出席とレポートを勘案して決定します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31621	S 1	ナノマイクロ 3D アートを探 求しよう	AN Qi	工学部	集中	1	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		1. バイオミメティクスおよびナノマイクロ 3D 構造創製法の基礎を学ぶ 2. 自然界のマイクロ 3D 構造を、先端顕微観察機器で、高分解能観察し、その芸術性を堪能するとともに、物理的機能を考察する。 ----- ※このゼミは4月5日(金)6限(18:45~)Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。 -----					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		出席、発表内容、レポートにより評価する。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特定日に行う。/Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31622	S 1	3次元スキャナ・プリンタを使 ったデジタルものづくり体験	AN Qi	工学部	集中	1	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		物体の形状をスキャンする装置を用いて、3次元形状をコンピュータに取り込み、そのデータ処理について実習する。 また、処理したデータを3Dプリンタで出力し、オリジナルの物体との比較をし、再現性の確認を行う。 ----- ※このゼミは4月5日(金)6限(18:45~)Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。 -----					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		出席、発表内容、レポートにより評価する。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特定日に行う。/Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31623	S 1	ウェアラブル体感型 VR シス テムを作ってみよう	AN Qi	工学部	集中	1	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		布などウェアラブルな基板のうえに電子回路を精密に配線、実装する精密組み立て技術の基礎を学ぶ。さらに、この精密組み立て技術で作ったウェアラブルセンサ、アクチュエータを用いて、振動等をフィードバックする体感型 VR システムの構築を試みる。講義と実習を交えた体験型講義形式で学ぶ。 ----- ※このゼミは4月5日(金)6限(18:45~)Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。 -----					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		出席、実習成果、レポートにより評価する。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特定日に行う。/Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31681	S 1	伊豆に学ぶプラス S 初級編_1 「感じる・考える・行動する」 サイクルを回してみよう!	鴨田 重裕	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		本ゼミは、本ゼミの他に主宰者が展開している全学体験ゼミや自由研究ゼミの学びに継続性を付加する目的で立ち上げる全学自由研究ゼミです。本ゼミに関わるには、必ず「核」となるゼミを履修することが必要です。つまり、本ゼミを単独で履修することはできません。できないと申すより、単独履修では意味がないと申し上げるべきかも知れません。主題科目では机上では学べない様々な学びを得ることができます。ただ、残念なことに1回受講して終わりにしてしまうことが多く見受けられます。そこに継続性を持たせることによって、その可能性を大きく膨らませる、それが本ゼミの真の狙いです。タイパを気にされる向きには、絶対に向いていないゼミです。真の学びを求める者だけにご参集いただきたい。とても実験的な取り組みです、この大実験と一緒に向き合ってみませんか。 自由研究ゼミ「伊豆に学ぶプラス初級編」は、体験ゼミ「森に学ぶ」や「伊豆に学ぶ 自然の恵みを活かす技」の単な					

るオプションではありません。体験ゼミの学びを確かなものにするために、真剣に考え・顧みて、議論する時間を一緒に過ごすゼミです。体験ゼミで体験したことを教材として、その体験を出発点として考えることを通して、大学で学ぶということのイメージをつかんでもらうことを目標とします。あれこれ考えることを無駄と思うような方、タイプ重視の方には全く不向きなゼミです。本ゼミを担当する教員が展開する数個の体験ゼミと自由研究ゼミを併せて履修する必要がありますを繰り返しになります。明記しておきます。

- ①大学とは何であるかとちゃんと考えたことはありますか。
 - ・学生が学ぶ機関でしようという答えは、不正解ではありません。
 - ・専門的な考え方や技術を身に着けるところという答えも然り。
 - ・友達を作るところという答えは、正解でないこともないと思います。
- ②君たちは大学生になりましたが、日頃、真面目に議論する機会はあるでしょうか。
 - ・議論しようなんて言うと、面倒くさがられるから、とても話を振れない
 - ・言い争いは避けたいので、クラスメートやサークル仲間とは表面的な話ししかない
 - ・議論の中で自分を曝け出すと、そこへ土足で踏み込まれそうで怖い

「伊豆に学ぶプラス初級編」では大学における学びとは何であるのかということにしっかりと向き合います。社会を知り、社会との接点を考えることがとても重要だということは分かっているつもりだけど、ゆっくりと考える余裕がないと言う人も、自由研究ゼミ「伊豆に学ぶプラス初級編」では、忙しい日常生活から離れ、日中のアクティビティを振り返ることを重要なきっかけとして、自分自身の感覚や考え方と向き合うことができます。大学生同士の議論を通して、自分一人では気づくことができなかつたことを、お互いに補填し合う、そういう体験をしてもらうことを一つの目的としています。

自由研究ゼミ「伊豆に学ぶプラス初級編」は、学生の自由な議論を大切にします。まずは、議論するという土俵の上に、ほんの少しの勇気をもって上がってください。議論しやすい雰囲気作りを自由研究ゼミ「伊豆に学ぶプラス上級編」の学生が手伝ってくれるので、初めての方もしっかりと議論に加わることができます。不安や心配は無用です。伊豆ゼミのコミュニティが肌に合わないとお感じの場合は、その後関わらなければ良いだけです。失うものは何もありません。

本ゼミの参加条件は2つあります。一つは真面目に議論する気持ちを持つこと、もう一つは真面目に議論している人を茶化さないことです。

この二つはとても大切ですので、条件を満たさない場合は退場していただくことがあります。その2点だけ、しっかりとご理解いただくことが、最低の条件です。

最近の若者を支配する「空気を読む」ことを強要するような雰囲気には、異を唱えたい。同じるばかりに気が行つては、自由にとことん議論して真に和するということがないのではないかと心配になります。和して同ぜず。色々な背景を背負った受講生同士が異なる意見を吐露し合い、むしろ意見が違っても大切に思っている根っこの部分が同じであったり共通性があったりすることに気付くこと、そういう仲間存在のありがたさを知る「学びの場」を具現したいと考えています。受講生同士のつながりから、己と社会のつながりをいかに構築していくかを模索し、社会の一員として、どの様に社会と関りを結ぶのかをじっくりと考える機会としていただきたい。それは今後の大学生活をどの様に過ごすべきかを考える上で、とても重要なことになるはずで。

学生が主体となり、自由な「学びの場」を実現すること、それがこれまで伊豆に学ぶシリーズが追求してきた共通理念です。総合大学ならではの学びの面白さを追求したいと考えています。タイプ至上主義では絶対に立ち入ることができない領域に一步足を踏み入れることができるかも知れません。

※このゼミは以下の日程で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

【日程】2023年4月18日(木) 18:45~19:45

@駒場キャンパス 1313 教室もしくは 1323 教室を予定(教室の確定は3月下旬頃)

成績評価方法
教科書
ガイダンス

積極的に活動に取組む姿勢を最重視する。
教科書は使用しない。/Will not use textbook
特に行わない。/Will not conduct guidance

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31711	S	未来を拓く化学	小澤 岳昌	理学部	集中	1	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要	地球レベルから生命現象までの広範な物質世界を、分子レベル、分子集合体レベルで解明し、新しい自然観を探究する現代化学のフロンティアを講ずる。化学の各分野の教員が、最先端の研究について易しく解説し、化学の未来について考える。講義中に研究室見学を行う。 ガイダンスは4月8日6限(18:45~)に行う(予定)。						
成績評価方法 教科書 ガイダンス	出席 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特定日に行う。/Will conduct guidance at another time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31801	S	スポーツ自主分析科学研究入門	佐々木 一茂、 秋山 英文	スポーツ先端科学連 携研究機構	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

東京大学スポーツ先端科学連携研究機構＝UTSSIにて、2024年度から新たに、「スポーツ自主分析科学研究」をテーマとする全学ゼミを開講します。前期Sセメスターに「スポーツ自主分析科学研究入門」(1単位)を開講し、後期Aセメスターに「スポーツ自主分析科学研究実践」(1単位)を開講する予定です。

担当教員は、総合文化研究科の佐々木一茂、工藤和俊、中澤公孝、物性研究所の秋山英文です。

この全学ゼミは、スポーツを題材に、データ計測・解析・統計処理など科学的ツールを含めた分析を行い、自主的な研究を実践し体得する企画です。運動部などで選手としてスポーツをやっている学生、アナリストとしてデータ分析を行っている学生、その他、同好会・地域クラブ・趣味などでスポーツの上達や分析に興味をもつ一般の学生に、研究を試行してもらうためものです。UTSSIの教員がガイダンスやアドバイスを行います。

大学は、学問の中心たる場所です。「学問」は、人類がこれまでに得てきた知識や方法を、体系的に整理しつつ積み上げたものです。「研究」は、先人がまだ答えを得ていない未解決の問題を解き明かす活動です。研究の積み上げにより、学問領域は常に発展しています。現在までに積み上げられた学問を「勉強」「学習」することは重要ですが、単にそれを行っているだけでは、研究にはなりません。研究は、もっと能動的で創造的な活動です。未解明の問題に着目し、深く興味を持ち、解決の手段を自分で見つけ、あるいは新たに創り出し、正解にたどり着く活動が、研究です。

論語の中に、「子曰く、学びて思わざれば則ち罔し(くらし)、思いて学ばざれば則ち殆し(あやうし)」という一節があります。学習と研究の両者の重要性を説いています。勉強が中心の高校生とは異なり、大学生には研究とその魅力を是非知って欲しいです。

社会人の多くも広義には研究をしています。新しい味を生み出そうとする料理人、新しい販路を開拓しようとする営業職、新製品や新サービスを開発したい技術者など、いくらでも例示できます。東京大学の学生は、既にかんがりの勉強や学習を経験し、それらに長けている人も多いです。一方で、研究は殆ど未経験でしょう。大学生が、早く研究に接してその面白さを感じ、学部卒業時には社会や大学院で本格的な研究を開始できるようになって欲しいと、大学教員たちは強く願っています。

スポーツに真剣に取り組む選手たちは、殆ど皆、日々強い意欲を持って、自分の技量向上の糸口を探し、課題克服の試行錯誤を重ね、上達に努めています。いわば、自分自身の技量能力向上をテーマにした研究をしているわけです。研究は、一見、難しいもののようにも感じますが、実は、スポーツ選手にとっては身近な活動です。指導者・先輩・教本などに習うのが勉強や学習であり、自分で考えて試行錯誤を繰り返して上達の道を切り拓くのが研究でしょう。

研究においては、対象となるテーマに強い興味・好奇心など動機を持つことが重要なポイントです。「三度の飯より××が好き」という表現がありますが、××は野球、サッカー、ゴルフなどかもしれません。スポーツ選手やスポーツ好きな人は、既に、研究テーマに恵まれているのです。あとは、研究のスキルを身に着ければ、面白い有意義な研究ができ、自分の上達も達成できるのではないかと思います。

大学の学問として行う研究では、論理性や客観性が重要で、「科学」のアプローチを用います。この全学ゼミでも、各人が興味をもつスポーツのテーマに対して、計測、データ、統計、分析、計算、シミュレーション、数学、物理など、様々な学問の科学的な知識や方法を活用して、研究を試みたいと思います。

例えば、

- 新しい計測技術を使って自分や友人のデータを取る。
- 取得したデータに対して、自分の視点からの分析・統計処理を加え、考察する
- ボールや用具や体の動きをモデル化し、シミュレーションし、機構を理解する
- 自分で練習法や練習器具をつくり、データを取り、効果を検証する
- 他者が出しているデータ・動画・解説・論文などを調査し、自分なりに整理・体系化する
- 上記の組合せ

などが想定されます。より具体的な例は、ゼミの中で議論したいと思います。

以上のような趣旨で、このゼミの標題を「スポーツ自主分析科学研究」とし、前期Sセメスターに「入門」(1単位)を開講し、後期Aセメスターに「実践」(1単位)を開講する予定です。

前期Sセメスターの「入門」では、まず、担当教員が、スポーツの自主分析を科学的に行う研究の例や手法の紹介・指導などを行います。それらを参考にして、学生自身に、研究テーマや進め方を立案してもらいます。個人単位でもグループ単位でも構いません。自分(たち)の興味あるスポーツ関連の課題についてどんな研究を行いたいのか、さらに、どんなデータの収集や分析、シミュレーション、調査など、科学的なアプローチを使って研究を進めるかなどの具体的な計画を考案してもらいます。8月に発表の場を設け、研究テーマの立案ができた学生やグループにはそれを発表してもらい、皆で討論をしたいと思います。期間中、質問や相談に応えるための機会をオンラインで設けます。

なお、予定では、後期Aセメスターの「実践」では、自分で決めたスポーツ科学のテーマで、学生自身に研究を実施してもらうことを考えています。集中講義形式で、中間発表や最終発表の場を設けます。また、期間中、質問や相談に応えるための機会をオンラインで設けます。もし、面白い研究が進んだ場合には、スライドを用いた発表のみではなく、成果をレポート、公表記事、論文などにまとめることも目指します。一方、中間時点で上手く研究が進まない学生には、適宜、担当教員が状況を聞きアドバイスをしています。研究は、必ずうまくゆくとは限りません。むしろ、順調に進まないことの方が多いです。順調に進まないときでも、その記録を残し、その状況を発表したりレポートにまとめることは極めて重要です。皆で、その発表を聞き、レポートに目を通し、議論することで、新展開が生まれ膠着状態を脱出できることが良くあります。このようにして、学生に身近なスポーツのテーマで「研究」というものを体験してもらうことがゼミの目標です。

授業計画

- 4月11日(木) @zoom 6限 (19:00-20:30) ガイダンス
- 4月20日(土) @駒場(対面) 3限 (13:15-14:45)
講師：佐々木一茂、 標題：骨格筋の量・質とその変化について
- 4月20日(土) @駒場(対面) 4限 (15:10-16:40)
講師：中澤公孝、 標題：野球の神経科学的アプローチ
- 5月11日(土) @駒場(対面) 3限 (13:15-14:45)

講師：工藤和俊、 標題：運動技能の「伸びしろ」について
 5月11日(土) @駒場(対面) 4限(15:10-16:40)
 講師：秋山英文、 標題：百万人のゴルフ研究
 8月1日(木) @駒場(対面) 3-4限(13:15-16:40) 発表会
 初回ガイダンスを、オンラインで実施し、2回目以降は、集中講義形式(3日間)で、対面で実施します。
 可能であれば、補助的に、オンライン参加や、録画視聴が出来るようにする予定です。
 上記授業予定に加えて、質問や相談に応えるための機会をオンラインで設けます。
 ガイダンスや授業・質問のためのオンライン(zoom)接続の URL や連絡事項は、この全学ゼミの UTOL(次期 LMS)、もしくは UTAS 掲示板でお知らせします。

成績評価方法 発表会での発表、レポート提出により、評価する。授業を聞くのみでは、単位は出ない。
 教科書 教科書は使用しない。/Will not use textbook
 ガイダンス 特定日に行う。/Will conduct guidance at another time

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31830	S 1	最先端バイオテクノロジー開発・生命科学研究への誘い @駒場 II キャンパス Invitation to Advanced Biotechnology Development and Life Science Research @ Komaba II Campus	大澤 毅、 太田 禎生	先端科学技術研究センター	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>本ゼミは、駒場 II キャンパスにおいて行われている最先端の生命科学やバイオテクノロジーの研究開発の内容を、学部生の皆さんに伝え、実際の研究に触れ、関わっていくきっかけとすることを目指しています。駒場 II キャンパスにおいて行われている先端生命科学研究に関しては、システム生物医学ラボラトリーズ (Laboratories for Systems Biology and Medicine: LSBM) のホームページ (https://www.lsbm.org) に掲載しています。</p> <p>【先端研とは】 学部生のみなさんが主に学ぶ駒場 I キャンパスから歩いてすぐの所、駒場 II リサーチキャンパスにある先端科学技術研究センター (先端研) は、「学術の発展と社会の変化から生じる新たな課題へ機動的に挑戦し、人間と社会に向かう先端科学技術の新領域を開拓することによって、科学技術の発展に貢献することを目的とする」研究所です。</p> <p>【LSBM とは】 LSBM は、次世代生命医科学を開拓すべく有機的に協働する、バーチャルな十以上の研究室集合体です。主に先端研のメンバーを中心として理学・工学・情報科学・医学の研究者が、積極的なコラボレーションを展開しています。 This seminar aims to inform undergraduate students about the cutting-edge life science and biotechnology research and development taking place at the Komaba II campus, and to provide them with an opportunity to experience and become involved in actual research. Information about the advanced life science research being conducted at the Komaba II campus is posted on the Laboratories for Systems Biology and Medicine (LSBM) website (https://www.lsbm.org). The Research Center for Advanced Science and Technology (RCAST), located on the Komaba II Research Campus, a short walk from the Komaba I Campus where most undergraduate students study, is dedicated to "contributing to the advancement of science and technology by taking on new challenges arising from academic development and social change, and by exploring new areas of advanced science and technology for the benefit of humanity and society." LSBM is a virtual group of more than ten laboratories that collaborate organically to pioneer the next generation of biomedical science. LSBM is a virtual group of more than ten laboratories that collaborate organically to pioneer the next generation of biomedical science.</p>						
成績評価方法	<p>本授業は出席と提出するレポートの内容で成績評価を行う。 Grades for this class will be based on attendance and the content of the reports to be submitted.</p>						
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。/Will not use textbook 特定日に行う。/Will conduct guidance at another time</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40283	S 2	植物栄養学入門	藤原 徹、大森 良弘、 反田 直之、山崎 清 志、神谷 岳洋	農学部	月 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		地球上の生態系は植物抜きでは成り立たない。植物の成長には例外なく無機栄養を吸収する必要がある。植物の無機栄養の吸収は植物の生育を促進し人類に恵みをもたらす一方で、物質の移動をもたらし環境に大きな影響を与える。人類の活動がさらにその影響を大きくしている。本講義では植物と栄養の関わりを多様な観点から考え、植物の進化における栄養吸収の役割や、文明が起こって以来、人類の活動が、植物の持つ特性によって恩恵を受けるとともに、制限もされていることを理解するとともに、それらを踏まえて将来の展望について議論する。					
成績評価方法		出席とレポートによって評価する。					
教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40282	S 2	環境浄化・保全の微生物学	野尻 秀昭、原 啓文、 鈴木 研志、水口 千穂	農学部	水 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		我々は豊かな生活を享受して、現代の生活を謳歌しているが、その裏側では燃料、溶剤、農薬などの様々な化成品が毒性物質として環境を汚染し、我々自身や野生動植物を含むエコシステム自体の劣化を招いている。このような環境汚染問題は年々深刻さを増しており、早急な対策が求められるのは言うまでもない。難分解性で毒性のある有機物による環境汚染の浄化においては、物理・化学的な処理に加えて、微生物を用いた環境浄化手法（バイオレメディエーション）も有効な選択肢の一つとなりうる。また身近な分野では、我々の家庭や工場などから排出される有機系排水の処理でも、微生物による排水処理がメインの処理技術として長く利用されている。 このように、環境・エコシステムを守るために目に見えない微生物の力は、実際に利用されている。この全学自由ゼミナールでは、環境分野における微生物利用の実際を紹介する講義と、土壌汚染浄化を企業で実施している専門家や化学物質管理の専門家の話を聞く機会を提供した後、微生物利用が鍵となる環境問題を選択してもらい、調べた結果の発表や教員との議論を通じて問題解決の方策を練り上げてもらう。その過程を通して、環境分野での微生物利用についての現状を理解してもらうと共に、方策を議論するプロセスを見ることで技術・社会・コストなど環境問題を幅広く捉える視点を醸成することを目的とする。					
成績評価方法		各回の参加・議論への参加の様子と、最終日での発表によって成績を判定する。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40275	S 2	コンピューター・マイクロチップを作ろう	池田 誠	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		【注意】 この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。 半導体集積回路（VLSI）の動作に接し・それを実際にデザインすることでその理解を深めることを目指す。特にソフトウェア・ハードウェアの類似性に関しての違いを理解する。さらには設計したマイクロチップを使用したコンピュータをプログラマブル半導体デバイスであるFPGAにプログラミングすることで動作していることを確認する。 ----- ※このゼミは4月5日（金）6限（18：45～）Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。 -----					
成績評価方法		講義に対する積極性、コンピュータマイクロチップに対する理解度合いおよび設計した作品の機能・性能・完成度合いにより判定する					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40276	S 2	【電気電子情報全学ゼミ】 神経回路で地下の宝探しに挑 戦しよう	夏秋 嶺	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。 本郷キャンパスあるいは駒場IIキャンパスにある電子・情報系の研究室にて集中開催する。 受講するためには、ガイダンスに出席して履修許可を得ること（人数調整のため）。 電気電子工学科・電子情報工学科の研究室に仲間入りする。普段研究室で行われている最先端の研究から1週間で実施可能なテーマを選び、教職員や大学院生の指導を受けて、1・2年生諸君が主体となって研究を進める。日ごろの受け身の実験とは異なり、貴方たち自身で考えて行動し、未知の結果を得る醍醐味をぜひ味わってほしい。 われわれ人間は、人の顔を一目で見分けられます。これは普通のコンピュータには難しい芸当です。実は脳の中の神経回路（ニューラル・ネットワーク）は、人の顔の認識が得意だけでなく、壁の模様の中のわずかなシミなども簡単に見つけ出すことができ、そのような「パターン処理」が得意です。その原理を使って、地中に埋められた地雷を見つけ出す地中レーダの実験を体験してみましょう。 体験実験のポイントは次の2つです。まず、あなた専用の高周波アンテナを自作して、地中を探るためのレーダ・システムを構築します。あなた自身のユニークなアンテナを作製してください。次に、実際に物体を地中に埋めてレーダ情報を取得し、「自己組織化マップ」とよばれるニューラル・ネットワークを上手に使うことで、地雷が見えるかどうか試してみます。レーダと脳機能を結びつけることで、難しい仕事が実行可能になることを体験してください。</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは4月5日（金）6限（18：45～）Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p>					
成績評価方法		8/9に行われる合同発表会にて成果報告をすることにより単位を取得する。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特定日に行う。／Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40277	S 2	【電気電子情報全学ゼミ】 ワイヤレスで電力を送ろう	成末 義哲	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。 本郷キャンパスあるいは駒場IIキャンパスにある電子・情報系の研究室にて集中開催する。 受講するためには、ガイダンスに出席して履修許可を得ること（人数調整のため）。 電気電子工学科・電子情報工学科の研究室に仲間入りする。普段研究室で行われている最先端の研究から1週間で実施可能なテーマを選び、教職員や大学院生の指導を受けて、1・2年生諸君が主体となって研究を進める。日ごろの受け身の実験とは異なり、貴方たち自身で考えて行動し、未知の結果を得る醍醐味をぜひ味わってほしい。 ワイヤレス電力伝送はスマートフォン等のモバイル機器の充電をはじめとして応用が広がっている。このゼミでは、基本的なワイヤレス電力伝送システムを自身の手で実装することにより、その動作原理を理解する。そのなかで、最新の研究でも活用する計測器等の操作を体験する。</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは4月5日（金）6限（18：45～）Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p>					
成績評価方法		実施期間中(8月1週目を予定)研究室にて実験・実習を行い、合同発表会にて成果報告をすることにより単位を取得する					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40278	S 2	電子・情報系合同体験ゼミ: 「MEMS を作ろう」	三田 吉郎	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【注意】 この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。</p> <p>【電子・情報系合同体験ゼミについて】</p> <p>本講義は、電気電子工学科・電子情報工学科の研究室に仲間入りする。普段研究室で行われている最先端の研究から1週間で実施可能なテーマを選び、教職員や大学院生の指導を受けて、1・2年生諸君が主体となって研究を進める。日ごろの受け身の実験とは異なり、貴方たち自身で考えて行動し、未知の結果を得る醍醐味をぜひ味わってほしい。</p> <p>【本ゼミ「MEMS を作ろう」について】</p> <p>微小電気機械システム(Micro Electro Mechanical Systems)は、世の中の森羅万象(フィジカル)とデジタル(サイバー)世界との橋渡しをする「センサ・マイクロマシン」と呼ばれる基幹部品(デバイス)であり、世界中で活発に研究開発が行なわれている。本講義では「まずは作って考える」、武田先端知ビルスーパークリーンルームで、自分の手で設計したMEMS共振器を作り、測り、考察するという、実践的で楽しい実習を実施する。</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは4月5日(金)6限(18:45~)Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p>					
成績評価方法		<p>全体ガイダンス(初日)、ゼミへの出席、発表会に出席し主体的に関わった者に単位を与える。</p> <p>日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意のこと。</p>					
教科書 ガイダンス		<p>教科書は使用しない。/Will not use textbook</p> <p>特定日に行う。/Will conduct guidance at another time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40280	S 2	デジファブでアクセサリを 铸造してみよう	大竹 豊	工学部	集中	1	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		<p>铸造技術は古来から存在する金属加工法です。その铸造を最新のデジタルファブリケーション設備でスマートに行うことを体験することを目標にします。</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは4月5日(金)6限(18:45~)Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p>					
成績評価方法		<p>出席、発表内容、レポートにより評価する。</p>					
教科書 ガイダンス		<p>教科書は使用しない。/Will not use textbook</p> <p>特定日に行う。/Will conduct guidance at another time</p>					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40284	S 2	伊豆に学ぶプラス S 初級編_2 「感じる・考える・行動する」 サイクルを回してみよう！	鴨田 重裕	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>授業の目標概要</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。 【注意】本ゼミは対面で実施します。リモート受講はできません。 【注意】本ゼミだけを受講することはできません。体験ゼミ「伊豆に学ぶ 自然の恵みを活かす技」を併せてお申し込みください。</p> <p>自由研究ゼミ「伊豆に学ぶプラス初級編」は、体験ゼミ「伊豆に学ぶ 自然の恵みを活かす技」の単なるオプションではありません。体験ゼミの学びを確かなものにするために、真剣に考え・顧みて、議論する時間を一緒に過ごすゼミです。「伊豆に学ぶ」体験を一層充実したものにして、大学で学ぶということについて考えるゼミです。なお、体験ゼミの夕食後に、この自由研究ゼミの時間を連日確保しています。体験ゼミと自由研究ゼミ、重複履修をお勧めします。</p> <p>①大学とは何であるかとちゃんと考えたことはありますか。 ・学生が学ぶ機関でしようという答えは、不正解ではありません。 ・専門的な考え方や技術を身に着けるところという答えも然り。 ・友達を作るところという答えは、正解でないこともないと思います。</p> <p>②君たちは大学生になりましたが、日頃、真面目に議論する機会はあるでしょうか。 ・議論しようなんて言うと、面倒くさがられるから、とても話を振れない ・言い争いは避けたいので、クラスメートやサークル仲間とは表面的な話しかしない ・議論の中で自分を曝け出すと、そこへ土足で踏み込まれそうで怖い</p> <p>「伊豆に学ぶプラス初級編」では大学における学びとは何であるのかということにしっかりと向き合います。社会を知り、社会との接点を考えることがとても重要だということは分かっているつもりだけど、ゆっくりと考える余裕がないと言う人も、自由研究ゼミ「伊豆に学ぶプラス初級編」では、忙しい日常生活から離れ、日中のアクティビティを振り返ることを重要なきっかけとして、自分自身の感覚や考え方や向き合うことができます。大学生同士の議論を通して、自分一人では気づくことができなかつたことを、お互いに補填し合う、そういう体験をしてもらうことを一つの目的としています。</p> <p>自由研究ゼミ「伊豆に学ぶプラス初級編」は、学生の自由な議論を大切にします。まずは、議論するという土俵の上に、ほんの少しの勇気をもって上がってください。議論しやすい雰囲気作りを自由研究ゼミ「伊豆に学ぶプラス上級編」の学生が手伝ってくれるので、初めての方もしっかりと議論に加わることができます。不安や心配は無用です。伊豆ゼミのコミュニティが肌に合わないとお感じの場合は、その後関わらなければ良いだけです。失うものは何もあり本ゼミの参加条件は2つあります。一つは真面目に議論する気持ちを持つこと、もう一つは真面目に議論している人を茶化さないことです。</p> <p>この二つはとても大切ですので、条件を満たさない場合は退場していただくことがあります。その点だけは、しっかりとお伝えしておきます。</p> <p>最近の若者を支配する「空気を読む」ことを強要するような雰囲気には、異を唱えたい。同じるばかりに気が行つては、自由にとことん議論して真に和するということがないのではないかと心配になります。和して同ぜず。色々な背景を背負った受講生同士が異なる意見を吐露し合い、むしろ意見が違っても大切に思っている根っこの部分が同じであったり共通性があったりすることに気付くこと、そういう仲間存在のありがたさを知る「学びの場」を具現したいと考えています。受講生同士のつながりから、己と社会のつながりをいかに構築していくかを模索し、社会の一員として、どの様に社会と関りを結ぶのかをじっくりと考える機会としていただきたい。それは今後の大学生活をどの様に過ごすべきかを考える上で、とても重要なことになるはずで。</p> <p>学生が主体となり、自由な「学びの場」を実現すること、それがこれまで伊豆に学ぶシリーズが追求してきた共通理念です。総合大学ならではの学びの面白さを追求したいと考えています。</p> <p>----- ※このゼミは以下の日程で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。 【日程】2023年4月18日(木) 18:45~19:45 @駒場キャンパス 1313 教室もしくは 1323 教室を予定(教室の確定は3月下旬頃) -----</p> <p>成績評価方法 積極的に活動に取組む姿勢を最重視する。 教科書 教科書は使用しない。/Will not use textbook ガイダンス 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40293	S 2	高齢者にやさしいまちづくり入門	五十嵐 歩	医学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。 高齢化が進む我が国において、高齢者の生活を多面的に支える地域包括ケアシステムの推進が謳われている一方、それぞれの地域においてどのような地域システムをどのように構築するかという方法論は確立していない。地域の特性や住民ニーズに合致した地域システムを実現するためには、地域の多様なメンバーが協働してまちづくりに取り組む必要がある。</p> <p>本授業では、①東京都日の出町と協働した官学連携による「高齢者にやさしいまちづくり」のプロセスから、まちづくりの基本的な方法論を学び、②そのひとつである地域の健康課題をアセスメントする手法を、実践を通じて習得することを目標とする。</p> <p>本授業は2日間の集中講義とし、自治体が主催する「町民大学」の参加者と共同で学ぶ。</p>						
成績評価方法	出席、グループワークへの参加状況、成果物等から総合的に評価する。						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

全学体験ゼミナール

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31707	S	多変数関数の微分	高木 俊輔、 清野 和彦	数理科学研究科	月 5	2	1年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>理系の1年生がSセメスターに学ぶ熱力学では、物理的な状態を表す関数が多変数関数であるため、状態の変化は多変数関数の微分によって表されます。しかし、大学に入学したばかりの1年生のほとんどは多変数関数の微分どころか多変数関数に触れたことさえありません。一方、多変数関数の微分が数学の講義で扱われるのは(S1タームで少し扱われるものの)S2タームの後半からAセメスターにかけてで、しかも、3,4回目で足早に説明されることがほとんどです。そこで、このゼミナールでは、熱力学の講義に間に合うことにも配慮しながら多変数関数の微分を13回かけてゆっくりと学びます。必要なことは熱力学の講義でも説明されるし、少し待てば数学の講義でも学ぶ内容なので、数学が気になって熱力学の内容に集中できない人や、数学が苦手で見ただけで数学の記号が出てきただけでめまいがして熱力学どころではなくってしまう、というような人を念頭において話を進める予定です。</p> <p>なお、熱力学の物理学としての内容には一切触れないし、熱力学で使う数学のすべてを網羅するものでもありません。逆に、熱力学には出てこなくても多変数関数の微分の観点から外せない内容は扱います。あくまでも数学の授業なので、誤解のないようにお願いします。また、1変数関数の微分をよく理解していることを前提にしないので、多変数関数の微分とはどんなものかということに興味のある文系の学生も歓迎します。</p>					
成績評価方法		「授業の方法」に書いた毎回課す問題の答案で評価します。詳しいことは第1回の資料を参照して下さい。第1回の資料は4月1日(第1回の一週間前)までにUTOLにアップロードする予定です。					
教科書		プリントを配布する。/Will distribute handouts					
ガイダンス		特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31657	S	図書館・文書館・博物館の裏側に迫る ：制度・経営・資料管理の実際	石原 俊時、 森脇 優紀、 矢野 正隆、 小島 浩之	経済学部	火 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>図書館・文書館・博物館は大学での学習や研究になくはならない施設であるとともに、過去から受け継いだ人類の知的営為により生まれた資料類を未来へと繋ぐ架け橋としての社会的使命をもった施設でもある。この授業では図書館・文書館・博物館の裏側を実体験することで、これらを支えする制度・経営のしくみや、現場での資料管理(調査・整理・保存・公開など)の実態を知り、デジタル全盛の時代に現物資料を保存する意味や重要性を理解し、これらの施設を大学生活や社会の中でどのように活用すべきかを学ぶ。</p> <p>この目標を実現するために、この授業では(1)講義、(2)学内外の図書館・文書館・博物館のバックヤード等の見学、(3)体験実習を組み合わせる行う。</p>					
成績評価方法		出席とレポートにより評価する。					
教科書		教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行く。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31669	S	ピアサポートマインド入門	高野 明	相談支援研究開発 センター	火 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>ピアサポートとは、仲間(同じ立場にある者)同士による相互援助のことです。大学の学生支援活動としてピアサポート活動が広く活用されるようになっており、各大学で様々な取り組みが行われています。</p> <p>本ゼミナールでは、同じピア(仲間)という立場、お互いを尊重する関係性を構築すると共に、学生の自己成長や対人支援教育に寄与するピアサポート活動を軸として、相互支援の基礎を含む実践的な学習・体験を行います。実践の基となるコミュニケーション学習と、社会的支援について実習として体験し、自分・相手・仲間を尊重し行動できるピアサポートマインドの獲得を目的とします。</p>					
成績評価方法		授業での発表や毎回授業で実施するレポート作成をもとに評価します。					
教科書		教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行く。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31668	S	工学研究の最前線を支える 実験装置を体感・体験する！	徳本 有紀	生産技術研究所	火 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>学における基礎的学習やこれをベースに展開する研究が、その後どのように社会に還元され実装されるかを実感する機会はこれまであまり無かったであろう。本体験ゼミナールでは、工学研究を対象に、これが実社会とどのように結びついているか、その社会実装に向けてどのような工夫がなされているかについて、工学研究の実験的・実証的研究のために本学で活躍している試験装置や、普段は見かけることあまり無い実験機器、可視化装置を実際に間近に見て体験することにより、工学研究の最前線・最先端の現場をより身近に臨場感を持って知り、理解を深めることを目的とする。本体験ゼミナールでは、これらの装置やそこから生み出される研究成果の理論的内容や背景を理解するというより、むしろこのような装置から社会に直接的・間接的に役立つアウトプットが生み出されている実態を「知ってもらおう」ことに主眼を置いており、したがって文系、理系を問わず、実物を間近に見て体験することに興味を持つ学生諸君の参加を期待している。</p> <p>※ガイダンスは4月9日（火）の5限（17:05-18:35）にオンラインで実施することを予定している。</p> <p>※体験型講義であるため、現地実習に参加可能な学生のみ履修を制限する。また希望者多数の場合はくじ引き等で受講生を選抜することがある。</p>					
成績評価方法		出席点とレポート提出により評価する。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31620	S	飛行ロボットを作って飛ばす	土屋 武司	工学部	水 5	2	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>飛行ロボットとは無人航空機（ドローン）である。室内で飛行する大きさ数10cm～1m程度、重量数100gの飛行ロボットを自ら設計、製作し飛行させることを目標とする。小さくても飛行ロボットには航空工学の要素が詰まっており、講義、実習を通じてこれを理解する。</p> <p>※このゼミは4月8日（月）6限（18：45～）にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p>					
成績評価方法		授業への参加、貢献度による。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31624	S	ゲームデザイン論 ～先端技術が生み出す新しいあそび～	苗村 健	工学部	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>先端技術を駆使した新しい「あそび」として、さまざまな「ゲーム」が、産業的にも文化的にも大きな功績を残してきました。この全学体験ゼミナールでは、人類にとっての「あそび」とは何なのかを考え、その中で未来の「ゲーム」はどうあるべきかを発想するための基礎を体験的に学びます。</p> <p>ゲーム制作においては、あそびとしてルールを作る・相互の関係性を結ぶ・ストーリーを空想する・身体を使うなどの要素を考慮するだけでなく、エンジニアリングやマーケティングの側面も重要になります。これらを総じて「ゲームデザイン論」と称し、総合的な学びの機会とします。</p> <p>※このゼミは4月8日（月）6限（18：45～）にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p>					
成績評価方法		出席と企画発表の成果で評価します。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31639	S	「ディープテック起業家への招待」	坂田 一郎	工学部	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【背景】

本講座における「ディープテック起業家」とは、①技術の新規性をコアバリューとし、②産業への大きなインパクトを与え、③グローバル 이슈に取り組み世界への展開ポテンシャルを持つような事業（＝そのような事業を行う企業を「ディープテック企業」と呼んでいる）を立ち上げられる人材を指す。「研究開発型企業」と呼ばれることもあり、総じて高い学術的専門性、多くの時間や資金を要することが特徴である。分野例としては AI、ロボティクス、ゲノム・バイオ、素材、環境・エネルギー、量子コンピューター、ブロックチェーン、IoT・通信、宇宙、農・食などがあげられる。

近年、日本の製造業における国際競争力の低下が懸念されている中、上述した「ディープテック企業」と言えるようなスタートアップ/ベンチャー企業が少ないことが日本産業の課題と言われている。東京大学からは 500 社以上のベンチャー企業が生まれているものの、IT アプリケーション・ソフトウェア領域などに偏っており、本学が持つ、多様で先進的な研究成果を生かした起業はまだ少ないのが現状である。これは、日本の産業における課題感とも軌を一にする。この課題解決に向け、本講座は東京大学が寄付企業 4 社と協力し、①ディープテック起業家の育成 ②起業家育成のための教育フォーマットの構築 ③スタートアップエコシステムの創造 の 3 点を目指して設立された。

学部 1-2 年生向けに開講される S セメスターの講座においては、参加学生が将来ディープテック起業を現実的な選択肢とできるよう、現時点での参加者各自の特性・知的好奇心・興味領域に応じ、熱意・アイデアを発散し合い、共に高めていく場を創出する。

東京大学は「東京大学ビジョン 2020」において、東京大学自体を「地球と人類の為に貢献する公共財」と位置付けた。参加学生においては、教室内での講師-学生間での学びに留まらず、校内や社会における多様なステークホルダーとの繋がりを存分に活かし、自らの学知が将来の社会変革を駆動するといった気概で臨んでいただきたい。

(過去の受講者の声なども参考になります。 <https://entredtu.t.u-tokyo.ac.jp/testimonials-dt2023s/>)

【目標】

- i. 新たな技術や発想のもとで、新規事業などを通じた社会的価値の持続的創出に挑戦する姿勢（アントレプレナーシップ）が醸成されること
- ii. 講座を通じた対話と自己の内省を通じ、「将来何を実現したいか、誰のどのような課題をどのような技術を用いて解決するか」を深化・進化させること
- iii. 講座修了後に自ら飛躍できるアクションを行えること。そのために必要な知識や経験を得るのみならず、必要な学内外の人や機会との繋がりも獲得すること

【講義概要】

i. 将来何を実現したいか、誰のどのような課題をどのような技術を用いて解決するかを、視座を同じくする学生間チームで練り上げていく。多様な学生、本学第一線の教授陣、企業との密な関わりを通じ、学術の卓越性を基に将来地球規模の課題解決を行える人材輩出を目指す。

ii. 履修（単位取得対象）は東京大学学部 1-2 年生（文理、科類不問）ほか、単位互換協定校在籍生とする。マインドとしては、将来世界最先端の研究に取り組みたい、グローバルな社会課題を解決する新規ビジネスを考えてみたい、技術の事業化に関心がある、起業に関心があるという学生を歓迎する。

iii. 3-4 年生の学部生については履修（単位取得）対象とはならないが、フィールドワーク参加（本履修生の一員としてチームング・現地ヒアリング・ピッチに参加）を希望する学生については、申込内容を見て検討する。聴講も歓迎する。

iv. 授業は、各回の事前課題、講義、講演、FW（フィールドワーク）、発表で構成する。全体を通じて、一般的なインプットベースではなく、学生のアウトプットに重きを置く。後半の発表は 1~4 名程度のチームでの発表を想定しており、チームングについては起業の「リアル」に沿う形で、学生同士の発表から各自で仲間を集める形式とする。FW については、授業外の時間に、学内の研究室や企業へのヒアリング、現場リサーチ（工場見学等）を行ってもらう可能性がある。最終発表に選ばれた学生は藤井総長の前で発表を行う予定。

v. 優秀生に関しては、将来のディープテックユニコーン企業輩出を目指すコミュニティ「DICE(=Deep Innovation Creation Ecosystem)」に招待する。ここでは、海外研修、国内外の専門家との分野別少数勉強会、担当講師陣や過去の受講生との総会等を用意する。昨年度の海外研修は、ロンドン・シリコンバレー・ボストン&ニューヨークと、イノベーション都市 3 拠点に受講生を派遣し、Stanford University や MIT をはじめとする Top 大学の研究室やインキュベーション施設への訪問、スタートアップとの情報交換、現地学生同士の交流などを実施した。

vi. 本講座の担当教員・サポート企業は以下の通り。

- 1. 担当教員：
 - a. 工学系研究科教授/総長特別参与 坂田 一郎（講座代表）
 - b. 工学系研究科教授/産学協創推進本部副本部長 各務 茂夫
 - c. 工学系研究科教授 松尾 豊
 - d. 工学系研究科准教授 田中 謙司
- 2. サポートいただくアントレプレナーシップ専門企業：
 - a. 株式会社経営共創基盤 (IGPI)
 - b. KDDI 株式会社
 - c. 株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ (UTECH)
 - d. 株式会社松尾研究所

※このゼミは 4 月 8 日（月）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

成績評価方法
教科書
ガイダンス

出席状況、小レポート、グループワーク、発表等への取り組みを総合的に勘案する。
教科書は使用しない。/ Will not use textbook
第一回授業日に行う。/ Will conduct guidance at first time

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31704	S	じっくり学ぶ数学 I	高木 俊輔、 牛腸 徹	数理科学研究科	金 5	2	1年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>数学を学ぶ上で微積分学と線型代数学は最も基本的なものです。そこで、論理的な順番には余りこだわらずに、微積分学や線型代数学における基本的な考え方を順番に取り上げて、何をどう考えているのかとか、何がアイデアなのかということになるべくはっきりした形で説明してみようと思います。それにより、正規の数学の講義と合わせて、皆さんにより良く微分積分学や線型代数学を身につけていただく助けになればと考えています。</p> <p>一応、ゼミは講義形式で行おうと考えていますが、時間の余裕のある方には演習問題を解いて頂く時間を取りたいと思っています。また、文系の方でも十分理解していただけるのではないかと思いますので、文系、理系を問わず、興味のある方でしたらどなたでも歓迎します。</p> <p>※授業登録はできませんが、もう一度、数学をじっくり学び直したいと思われる2年生の参加も歓迎します。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>問題を解いたノート提出 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31737	S	囲碁で養う考える力	森畑 明昌	教養教育高度化機構	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>囲碁は、古い歴史を持つ日本の伝統文化であるばかりでなく、国際的にも広く普及し親しまれている頭脳のスポーツである。本ゼミナールでは、囲碁のルールを学び、お互いの実戦を通じて、判断力、分析力、洞察力、集中力などを養う。指導に際しては日本棋院の全面的な協力を得る。囲碁は初めての人を対象として、基本のルールから教える。</p> <p>第1回にオンラインでガイダンスを行い、履修希望調査 (ITC-LMS で提出) をふまえ受講者「40名」を決定する。</p> <p>※受講可能人数は40名 ※受講者は囲碁の未経験者・初心者に限る ※ガイダンスはオンラインで、セレクション後の講義は対面で行う。オンラインでの参加はできない。 講義への参加状況をもとに可否を判定する。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 石倉昇・梅沢由香里・黒瀧正憲・兵頭俊夫 東大教養囲碁講座 -ゼロからわかりやすく 光文社 (新書) 978-4334034108 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31608	S	ロボット競技を体験しよう A	國吉 康夫	工学部	金 6	2	1年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>ロボット競技とは、決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである。ルールを徹底的に分析し、討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し、機械工学、電子工学、情報工学、人工知能を学び、身につけ、協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する。勝つためには、訴求力あるプレゼン資料の作成や、力を発揮する組織運営、あらゆる事象を想定した危機管理など、文系的能力も不可欠である。</p> <p>本ゼミでは、これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで、一つの具体的目標に向けて、全員が徹底的に頭脳を振り絞り、創造力を発揮することで、総合的に人間力を高めることを狙う。</p> <p>専門的な知識は前提としない。文理問わず興味を持った人に来てもらいたい。</p> <p>本ゼミは1年S semesterのAから2年A semesterのDまでで構成される。Aに参加した学生には、基礎からの講義および実習を行い、基礎的な知識・技能の習得をまず達成する。その後、次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことで学習効果が十分に得られるが、どうするかは本人の自由である。</p> <p>発展的な内容を体験したい学生や、本格的なロボットの企画設計、製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は、「NHK 学生ロボコン」に参加するチーム「東京大学 RoboTech」の活動への参加も歓迎する。</p> <p>講義はオンライン実施予定である。対面講義の実施が可能な状況の場合、機械加工に関する安全講習および実習は集中講義形式をとり、本郷で行う（土曜、日曜、長期休暇中に行う場合がある）。</p> <p>※関連 HP : https://tuk.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限(18:45~)に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p>					
成績評価方法		<p>講義および実習への参加度合いにより、合格・不合格を判定する。</p> <p>各学生の得意分野を積極的に評価する。たとえば、文系の学生で機械加工等が得意でなくとも、論理的分析やプレゼン資料作成で評価するなど、多様性を重んじる。</p>					
教科書 ガイダンス		<p>教科書は使用しない。/Will not use textbook</p> <p>第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31609	S	ロボット競技を体験しよう C	國吉 康夫	工学部	金 6	2	2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>ロボット競技とは、決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである。ルールを徹底的に分析し、討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し、機械工学、電子工学、情報工学、人工知能を学び、身につけ、協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する。勝つためには、訴求力あるプレゼン資料の作成や、力を発揮する組織運営、あらゆる事象を想定した危機管理など、文系的能力も不可欠である。</p> <p>本ゼミでは、これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで、一つの具体的目標に向けて、全員が徹底的に頭脳を振り絞り、創造力を発揮することで、総合的に人間力を高めることを狙う。</p> <p>専門的な知識は前提としない。文理問わず興味を持った人に来てもらいたい。</p> <p>本ゼミは1年S semesterのAから2年A semesterのDまでで構成される。Aに参加した学生には、基礎からの講義および実習を行い、基礎的な知識・技能の習得をまず達成する。その後、次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことで学習効果が十分に得られるが、どうするかは本人の自由である。</p> <p>発展的な内容を体験したい学生や、本格的なロボットの企画設計、製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は、「NHK 学生ロボコン」に参加するチーム「東京大学 RoboTech」の活動への参加も歓迎する。</p> <p>講義はオンライン実施予定である。対面講義の実施が可能な状況の場合、機械加工に関する安全講習および実習は集中講義形式をとり、本郷で行う（土曜、日曜、長期休暇中に行う場合がある）。</p> <p>※関連 HP : https://tuk.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限(18:45~)に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p>					
成績評価方法		<p>講義および実習への参加度合いにより、合格・不合格を判定する。</p> <p>各学生の得意分野を積極的に評価する。たとえば、文系の学生で機械加工等が得意でなくとも、論理的分析やプレゼン資料作成で評価するなど、多様性を重んじる。</p>					
教科書 ガイダンス		<p>教科書は使用しない。/Will not use textbook</p> <p>第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31610	S	フォーミュラレーシングカーを作る A	山崎 由大	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。</p> <p>本ゼミでは9月に開催が予定されている自動車技術会主催の「学生フォーミュラ日本大会」に出場する電気駆動フォーミュラレーシングカーの企画、設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。これにより、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、工学の基礎を身に付け、更には自分の進むべき道を見つけることを目標とする。</p> <p>自動車産業が総合産業であるのと同じく、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは興味の有る分野の仕事を見つけ、進める。このため本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系全ての学生を対象とする。水曜日の5・6限に駒場(あるいはオンライン)で、あるいは土・日等の休日に本郷で行う集中講義形式とする。(詳細日程はゼミ参加者で相談して決める)</p> <p>授業では電気自動車の基礎、ものづくりの基礎を講義・演習(この部分を必修とする)を通して教える。それらの基礎の上に、希望者に関しては「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動に参加してもらい、フォーミュラレーシングカーの企画から設計、製作、試験、改良などの一連の作業に取り組み、仮想的企業活動を体験する。</p> <p>本ゼミは1学年Sセメスターの「フォーミュラレーシングカーを作るA」に始まり、Aセメスターの「同B」・・・と各セメスターに開講するが、Sセメスター開講のAで基礎を教える。2年次以降の学生でも一連のゼミを受講する場合は最初に「フォーミュラレーシングカーを作るA」を受講すること。「フォーミュラレーシングカーを作るA」を受講した学生は「同B」以後の受講を可能とする。「同B」以後のゼミは、主に輪講形式で実施する。更に専門課程進学後の3年から4年夏に掛けては工学部共通科目「創造的ものづくりプロジェクト」の1テーマとして、修士1年に対しては工学系研究科共通科目「創造性工学プロジェクト」の1テーマとして設定されており、文科系であっても他学部聴講あるいは他研究科聴講の形で受講できる。</p> <p>具体的製作活動は「学生フォーミュラ日本大会」出場チームである「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動として行う。製作活動は本郷キャンパス工学部8号館地下2階0069号室「メカノデザイン工房」及び「工学部ものづくり実験工房」で行う。</p> <p>※安全教育を実施します(対面予定)。これは実習受講のために必須なので、受講希望者は必ず出席すること。出席できない場合は、事前に草加まで連絡すること。</p> <p>※開講場所;講義;駒場あるいはオンライン、実習;本郷キャンパス工学部8号館地下2階0069号室「メカノデザイン工房」他</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限(18:45~)にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p> <p>※学術フロンティア講義のうち「化学システム工学で拓く未来社会」のみ、4月8日(月)6限(18:45~)で説明を実施します。</p>						
成績評価方法	必修項目への出席およびプロジェクトへの参加度合いにより、合格・不合格を判定する。						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。/Will distribute handouts 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31611	S	フォーミュラレーシングカーを作る C	山崎 由大	工学部	集中	2	2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。</p> <p>本ゼミでは9月に開催が予定されている自動車技術会主催の「学生フォーミュラ日本大会」に出場する電気駆動フォーミュラレーシングカーの企画、設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。これにより、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、工学の基礎を身に付け、更には自分の進むべき道を見つけることを目標とする。</p> <p>自動車産業が総合産業であるのと同じく、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは興味の有る分野の仕事を見つけ、進める。このため本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系全ての学生を対象とする。水曜日の5・6限に駒場(あるいはオンライン)で、あるいは土・日等の休日に本郷で行う集中講義形式とする。(詳細日程はゼミ参加者で相談して決める)</p> <p>授業では電気自動車の基礎、ものづくりの基礎を講義・演習(この部分を必修とする)を通して教える。それらの基礎の上に、希望者に関しては「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動に参加してもらい、フォーミュラレーシングカーの企画から設計、製作、試験、改良などの一連の作業に取り組み、仮想的企業活動を体験する。</p> <p>本ゼミは1学年Sセメスターの「フォーミュラレーシングカーを作るA」に始まり、Aセメスターの「同B」・・・と各セメスターに開講するが、Sセメスター開講のAで基礎を教える。2年次以降の学生でも一連のゼミを受講する場合は最初に「フォーミュラレーシングカーを作るA」を受講すること。「フォーミュラレーシングカーを作るA」を受講した学生は「同B」以後の受講を可能とする。「同B」以後のゼミは、主に輪講形式で実施する。更に専門課程進学後の3年から4年夏に掛けては工学部共通科目「創造的ものづくりプロジェクト」の1テーマとして、修士1年に対しては工学系研究科共通科目「創造性工学プロジェクト」の1テーマとして設定されており、文科系であっても他学部聴講あるいは他研究科聴講の形で受講できる。</p> <p>具体的製作活動は「学生フォーミュラ日本大会」出場チームである「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動として行う。製作活動は本郷キャンパス工学部8号館地下2階0069号室「メカノデザイン工房」及び「工学部ものづくり実験工房」で行う。</p> <p>※安全教育を実施します(対面で実施予定)。これは実習受講のために必須なので、受講希望者は必ず出席すること。出席できない場合は、事前に草加まで連絡すること。</p> <p>※開講場所;講義;駒場あるいはオンライン、実習;本郷キャンパス工学部8号館地下2階0069号室「メカノデザイン工房」他</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限(18:45~)にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p> <p>※学術フロンティア講義のうち「化学システム工学で拓く未来社会」のみ、4月8日(月)6限(18:45~)で説明を実施します。</p> <p>必修項目への出席およびプロジェクトへの参加度合いにより、合格・不合格を判定する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。/Will distribute handouts</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31612	S	小学生にもものづくり教育を行う 「ものラボ」キャンプ	杉田 直彦	工学部	集中	2	1年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>○工学部・機械工学科が提供するゼミナールです。下記の2名の教員が担当します。</p> <p>杉田直彦 教授 吉崎れいな 助教</p> <p>本プロジェクトでは、小学生を対象とした「創造的なものづくりワークショップ」をプロジェクトに参加する学生で開発・実践します。学生はどのようにしたら小学生に創造的なものづくりを楽しんで学んでもらえるかを検討し、ワークショップの企画・運営を行います。これにより、ものづくりにおける難しさ、楽しさはどこにあるかを小学生の眼を通して改めて考え、学生がものづくりの魅力を再発見し、課題解決に取り組みます。このワークショップに参加する子供が、ものづくりの楽しさを体感し、エンジニアを志すきっかけを作ります。</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限(18:45~)にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席を勘案して決定します。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31613	S	小学生にもものづくり教育を行う 「ものラボ」キャンプ	杉田 直彦	工学部	集中	2	2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>○工学部・機械工学科が提供するゼミナールです。下記の2名の教員が担当します。</p> <p>杉田直彦 教授 吉崎れいな 助教</p> <p>本プロジェクトでは、小学生を対象とした「創造的なものづくりワークショップ」をプロジェクトに参加する学生で開発・実践します。学生はどのようにしたら小学生に創造的なものづくりを楽しんで学んでもらえるかを検討し、ワークショップの企画・運営を行います。これにより、ものづくりにおける難しさ、楽しさはどこにあるかを小学生の眼を通して改めて考え、学生がものづくりの魅力を再発見し、課題解決に取り組みます。このワークショップに参加する子供が、ものづくりの楽しさを体感し、エンジニアを志すきっかけを作ります。</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限(18:45~)にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席を勘案して決定します。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31619	S	スタートアップ・トレーニング (駒場)	長藤 圭介	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>テクノロジー×デザイン×ビジネスのスタートアップ手法を社会実装を通じて身に着けるソニー社会連携講座のトレーニング・パートです。自分の頭で考え、手を動かして作り、足を運んで使ってもらう事を繰り返すことで、圧倒的な体験と野心的な未来構想を生み出す新規事業開発の次世代リーダーになります。本郷近隣の東京芸術大学・デジハリの学生や現役の社内起業家と共に活動。人生を賭けて挑みたいことを本気で見つけたい人を、文理・学年問わず歓迎します。</p> <p>TRAINING：スタートアップの考え方とやり方を演習を通じて身に着ける講義 EVENT：プロジェクトのテーマとチームを作るサークル活動 PROJECT：原体験を胸に社会実装に挑むサークル活動</p> <p>の3つで構成される社会連携講座の講義 (TRAINING) パートで、同じ Zoom に東大の全学年全学科、東京芸大、デジタルハリウッド大学の3大学の学生が混成し、5.6人のチームに分かれて講義を行う3大学連携のオンライン講義です。参加者が70名を超える場合は選考となる可能性があります。社会連携講座の全体像や具体的な曜日・カリキュラムについてはオリエンテーションや公式サイトを確認してください。</p> <p>単独説明会：4月上旬にオンラインで60分開催 合同説明会：工学部の合同説明会にて3分程度説明、上記の単独説明会の URL を共有 公式サイト ※2024年3月末に更新予定 https://ignite-your-ambition.com</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限(18:45~)にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p>					
成績評価方法		出席とアイデアシートの提出					
教科書		教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス		特定日に行う。/Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31632	S	応用化学の最先端研究を体験し てみよう B	鈴木 康介	工学部	集中	2	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>本授業では、工学部応用化学科の研究室で表記題目に関する最先端の化学実験を実施して、研究室の研究活動を体験することで化学に対する理解を深めることを目的とする。</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限(18:45~)にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p>					
成績評価方法		実験への参加状況で評価する。					
教科書		教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス		特定日に行う。/Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31633	S	化学システム工学が拓く環境を 体験しよう！	脇原 徹	工学部	集中	2	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要	<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>「化学システム工学のアプローチを用いた環境分野の研究の最前線を体験する」 具体的には、ナノ空間材料“ゼオライト”を取り上げ、現在の環境問題にどのように貢献しているのか、また、今後どのような貢献が期待されるかを学びます。 “ゼオライト”は、シリコン・アルミニウム・酸素から構成され、その構造の中に分子サイズの空間を持っている結晶材料です。その空間を制御することで、触媒・吸着・イオン交換などの様々な機能を持たせることができ、人類が直面する様々な環境問題への応用が期待されています。 本ゼミは、駒場 II キャンパスにある小倉研究室、本郷キャンパスにある脇原研究室、の2か所で行います。状況が許せば講義は駒場 II キャンパス、対面演習（ゼオライト合成実験、吸着実験）は本郷キャンパスで実施したいと考えており、4月の段階で詳細を決定する予定です。</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは4月8日（月）6限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p>						
成績評価方法	出席、レポートにより評価する。						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31634	S	化学システム工学が拓くエネルギーを体験しよう！ "Experience energy research frontier opened up by Chemical System Engineering."	TUNG CHUN CHIH	工学部	集中	2	1年 理科 2年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

「化学システム工学のアプローチを用いたエネルギー分野の研究の最前線を体験する」
具体的には、「リチウムイオン電池」と「水の電気分解」を取り上げ、それぞれどのようなデバイス・技術なのか、エネルギー問題の解決にどのように貢献するのか、について学びます。
リチウムイオン電池は、スマートフォンやノートパソコンなどに使われている繰り返し充電可能な電池です。最近では、電気自動車や電力貯蔵用途としての採用も進んでおり、エネルギー密度の更なる増加が求められています。本ゼミでは、まだ実用化されていない新材料を含むさまざまな電極を用いてリチウムイオン電池を作製し、その充放電特性の違いを評価します。それにより、リチウムイオン電池の構造と反応メカニズム、更なる高性能化に向けた課題について学びます。
一方で、電気エネルギーを化学エネルギーに直接変換するプロセスとして電極触媒反応があります。電極触媒を用いることで、例えば再生可能エネルギー由来の電力を駆動力とし、水から水素を製造することができます。本ゼミでは、この水電解プロセスのカソード反応である水素発生反応に焦点をあて、種々の電極触媒を実際に調製し、かつその電極としての性能を評価します。その体験を通じて、電極反応やその反応機構についての理解を深め、本プロセスの課題について学びます。

※このゼミは4月8日(月)6限(18:45~)にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。

"Experience the research frontier in the field of energy using a chemical system engineering approach."
Specifically, we will focus on "lithium-ion batteries (LIB)" and "water electrolysis," and learn what kind of devices and technologies they are, and how they contribute to solving energy problems.
Lithium-ion batteries (LIB) are rechargeable batteries used in smartphones and laptop PCs. Recently, they have been increasingly adopted for electric vehicles and power storage applications, and there is a demand to further increase the energy density. In this seminar, we will fabricate LIBs using various electrodes, including new materials that have not yet been put to practical use, and evaluate differences in their charge-discharge properties. By doing so, students will learn about the structure and reaction mechanism of LIBs and the issues that need to be addressed to further improve their performance.
On the other hand, electrocatalytic reaction is a process that directly converts electrical energy into chemical energy. Using electrocatalysts, hydrogen can be produced from water, for example, using electricity derived from renewable energy as the driving force. In this seminar, we will focus on the hydrogen production reaction, which is a cathodic reaction in the water electrolysis process, by actually preparing various electrocatalysts and evaluating their performance as electrodes. Through this experience, students will deepen their understanding of the electrode reaction and its reaction mechanism, and learn about the issues involved in this process.

成績評価方法
教科書
ガイダンス

出席による評価/Attendance
教科書は使用しない。/Will not use textbook
特に行わない。/Will not conduct guidance

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31635	S	化学システム工学が拓く 医療・バイオを体験しよう！	伊藤 大知	工学部	集中	2	1年 理科 2年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

化学システム工学のアプローチを用いた様々な医療・バイオ研究の最前線を体験する。
以下の4つの研究テーマを全4回で体験してもらう予定です。
1) 医用材料：幹細胞封入インジェクタブルハイドロゲルを体験する。
2) ナノ医療診断：発光するナノ粒子を用いたがん診断を体験する。
3) 生体分子解析：色の変化で毒を検出することができるバイオセンサを作成する。
4) 再生医療：幹細胞を高効率に大量培養する方法を体験する。

※このゼミは4月8日(月)6限(18:45~)にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。

成績評価方法
教科書
ガイダンス

出席による評価
教科書は使用しない。/Will not use textbook
特定日に行く。/Will conduct guidance at another time

全学体験ゼミナール

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31636	S	Informatics, Chemistry, and Engineering	SARA SAMIR REYAD BADR	工学部	集中	2	1年 理科 2年 理科
<p>授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>Data science has become a vital tool in today's world. This course explores some of its applications in the chemical and pharmaceutical industries. Together we learn how data science can help design new processes and products to advance society and protect the environment. The course will involve a brief introduction to programming tools available, in addition to the mathematical and statistical background required for data analysis.</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限(18:45~)にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>成績評価方法 Attendance, engagement, and short report 教科書 教科書は使用しない。/Will not use textbook ガイダンス 特定日に行う。/Will conduct guidance at another time</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31637	S	化学システムとしての製薬工場	杉山 弘和	工学部	集中	2	1年 理科 2年 理科
<p>授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>最新鋭の医薬品工場を見学し、「化学システム」としての理解を目指します。実施は6月15日(土)を予定しています。まず午前中に中外製薬浮間工場(JR埼京線北赤羽駅徒歩約15分)を訪問し、最新・大規模製造ラインを見学します。見学する工場では、バイオ医薬品(抗体医薬品というタンパク質からなる薬で、抗がん剤などに使われる)が製造されています。見学後、本郷キャンパスに移動し、見学内容をさらに理解するための講義とディスカッションを実施します。製薬工場のみならず、様々なプロセスを「化学システム」としてとらえるための視点を学びます。</p> <p>※受け入れ人数に制限があるため、事前登録制とします。申し込みのメールは東大ECCSアカウントから送信し、下記事項を含めてください。人数が多い場合には、申込内容をもとに選抜を実施します。受講可能者にはこちらから通知します。</p> <p>1) 名前・学籍番号 2) 連絡先メールアドレス 3) 志望動機(製薬に対する興味、化学システム工学に対する興味を、それぞれ含めてください)</p> <p>締め切り: 4月12日(金) 連絡先: 化学システム工学専攻 滋山 旭昇 a-shigeyama@pse.t.u-tokyo.ac.jp</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限(18:45~)にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>成績評価方法 工場見学への参加とレポート 教科書 教科書は使用しない。/Will not use textbook ガイダンス 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31642	S	海で学ぶ －臨海実験所における海洋体験実習－	早稲田 卓爾	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】対面授業（実習）に参加可能な学生のみ履修を制限する</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。海洋という幅広い分野を総合して考えることの出来る人材の育成および、海洋関連研究者・大学院生の活動を支援することが、機構「海洋アライアンス」の目的である。本講義は、海洋アライアンスに関連する教員が、東京大学三崎臨海実験所において行う学部1・2年生を対象とした体験ゼミナールである。臨海実験場は1886年にわが国最初の、世界でも最も古い臨海実験所の一つとして設立された。本講義では、海洋生物学だけでなく、広く理学・工学・農学における海洋分野の研究に関連する実習演習を、短期集中講義（宿泊施設を利用した合宿）として実施する。実験所内の最新設備を利用した実習、近隣の海浜における自然観察、定員25名の実習船臨海丸（17トン）における航海実習などを行う。また、専門教員が関連するレクチャーを行う。http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/</p> <p>以下は平常時に行われている実習内容です。</p> <p>臨海実験所施設の改修に伴い、内容が大幅に変更する予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨海丸による乗船実習（ブランクトンネット、ROV観察） ・臨海丸レーダー・ソナー見学 ・和船の操船実習 ・ROV操作実習（棧橋にて） ・棧橋での灯火採集 ・採集生物の分類 ・顕微鏡による生物観察 ・海岸での地質見学 ・海水分析 ・Short Lecture Series <p>※受講人数：10～15名程度に制限する。 ※ガイダンス：4月初め（工学系ガイダンスで紹介） ※開講期間：8月x日－8月x日の間の3日間 ※開講場所：東京大学三崎臨海実験所</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは4月5日（金）6限（18：45～）Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p>					
成績評価方法		アンケートおよびレポートをもって可否を判断する。					
教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31644	S	東京大学アントレプレナーシップ・サマー・ブートキャンプ (UTokyo Entrepreneurship Summer Bootcamp)	各務 茂夫	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。世界が直面する様々な問題の課題解決に主体的に貢献できるベンチャーマインドに溢れた東大生を育成するために、学部1・2年生を対象としたアントレプレナーシップ教育の短期集中プログラム（ブートキャンプ）を実施する。</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは4月8日（月）6限（18：45～）にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p>					
成績評価方法		①クラス討議での貢献（30%）②演習・グループワークでの貢献（30%）③レポート（40%）					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特定日に行う。／Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31652	S	最先端メディカルゲノムサイエ ンスを体験する	松田 浩一	新領域創成科学研 究科	集中	2	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>メディカル情報生命専攻に所属する教員が実施する体験的プログラムに参加することで、現代生物学・基礎医学研究の最先端の現場を体験することができます。</p> <p>合わせて、実施キャンパスの見学説明も行いますので、実際の大学院での研究がどんな雰囲気のところ、どのように行われるのかを直接肌で感じ取り、今後の進路選択にも役立つ貴重な経験が出来るでしょう。</p> <p>★履修ガイダンスとして、下記メディカル情報生命専攻 HP の「カリキュラム」→「教養学部生へ」→『全学体験ゼミナール』を是非訪問してください。</p> <p>『S セメスター開催予定プログラム』（履修者は下記から一つを選択できます）</p> <p>(1) 佐藤 佳 先生「最先端のウイルス研究を体験しよう！」</p> <p>(2) 糸川 昌成 先生「医学研を体験しよう！ ー来て・見て・触れて医学研ー」</p> <p>※ 詳細や更新内容については、メディカル情報生命専攻のホームページ 【URL】：http://www.cbms.k.u-tokyo.ac.jp に掲示するので随時確認してください。</p> <p>※ 各プログラムは、それぞれの実施キャンパス、実施期間、予定日時が異なります。また、UTAS への履修登録に加え、別途メールで実習申込を行い採択される必要があります。詳細情報は「授業計画」を参照してください。</p> <p>各プログラム責任者からの出席状況を取りまとめこれに基づき評価(合格、不合格、欠席)を決定する。</p>					
成績評価方法							
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31666	S	工学体験ゼミー科学技術を伝え る STEAM なツールをデザイン するー	川越 至桜	生産技術研究所	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>工学や科学技術は、私たちの暮らしに深く関わる分野であり、実社会と密接に結びついている。一方で、これまでに学習してきた基礎的内容や、基礎がベースとなっている研究が、その後どのように社会に実装されているのかといった、科学技術と社会とのつながりを実感する機会は少ない。</p> <p>本授業では、工学や科学技術を通して、基礎学習が研究や社会にどのようなつながっているのかを実感することを目的とする。自ら手を動かして簡単な実験等を体験し、ディスカッションを通して、工学や科学技術の社会的意義や役割を理解していく。また、STEAM (Science, Technology, Engineering, Arts, and Mathematics) 的な領域を横断した学際的な視点から、科学技術を一般社会に伝えるツールを考え、デザインしていく。</p> <p>※履修人数を 15 名に制限する</p> <p>※開講場所：生産技術研究所（駒場 II リサーチキャンパス）</p> <p>※ガイダンスは、4月9日（火）および4月11日（木）の2日間、12時20分よりオンラインにて行う。2回とも同一内容で実施。</p>					
成績評価方法		レポートの内容、および、授業への参加状況、参加意欲、発表・発言の内容や積極性などを総合的に加味して評価する。					
教科書 ガイダンス		授業中に指示をする。／Will specify at class time 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31670	S	空間デザイン実習	松本 文夫	総合研究博物館	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>空間デザインを通して「アイデアをカタチにする」体験するのがこの授業の目標である。概念と形象をつなぐことは、アートやデザインなど多くの創造的活動の根幹をなす作業である。この授業では、受講者自身が空間デザインのアイデアを立案し、具体的なカタチをつくりあげるまでを実習する。概念構築と形態創造における独創的かつ意欲的な取り組みに期待する。空間設計の知識や模型制作の経験は必要としない。文系/理系に関わらず、デザイン・造形・建築などに関心があれば、ぜひ履修してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年4月11日(木)5時限(17:05～)に授業ガイダンスを実施する。 ・当授業の履修希望者は、UTOLに登録された小課題を4月13日(土)22:00までに提出すること(必須)。 <p>履修希望者が予定数を上回るときは、この小課題によって選抜を行う。</p> <p>※履修人数：20名に制限する。 ※開講期間：2024年6月8日(土)、6月15日(土)、6月22日(土) ※開講場所：駒場キャンパス(1号館159教室)</p>					
成績評価方法		提出作品の内容により評価する。					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31685	S	房総の常緑樹林で森林動態を学ぶ	楠本 大、竹本 周 平、鎌田 直人	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。一見、変化の無いように見える森林であるが、長期の視点ではダイナミックな変化が起きている。たとえば、草原から森林への遷移初期は強い光を好み成長の早い先駆樹種(陽樹)が優占するが、その後、暗い場所でも生育できる遷移後期樹種(陰樹)が成長し、先駆樹種と置き換わる。一方、森林の樹冠を構成する樹木が老衰で枯死したり強風等で倒れたりすると、林冠ギャップが形成され、林床では実生が発芽したり稚樹が成長する。このようなギャップは森林内でパッチ状に発生し、また遷移段階や構成種の違いから、森林の構造は空間的・時間的にモザイク状を呈している。…などと高校の生物では習ったかもしれないが、その教科書の知識は果たしてフィールドの現場で通用するだろうか？本ゼミナールでは、千葉演習林が位置する房総丘陵のモミ・ツガの針葉樹が混交する常緑広葉樹林を対象として、森林生態学の基本的な調査方法を自ら実施し、得られたデータと実際の森林の観察を通じて、リアルな森林動態を学ぶことを目的とする。</p> <p>※最大履修受入人数を12名とする。希望者多数の場合は抽選を行う。</p> <p>----- ※このゼミは以下の日程で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。 【日程】2023年4月18日(木) 18:45～19:45 @駒場キャンパス1313教室もしくは1323教室を予定(教室の確定は3月下旬頃)</p> <p>-----</p>					
成績評価方法		出席と発表・レポートで評価します。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31686	S	森のフィールドワーク入門 Introduction to Fieldwork in the Forest	齋藤 暖生、楠本 大、三浦 直子、竹本 周平、前原 忠、藤原 章雄、福井 大	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>昨今、グリーン・トランスフォーメーション (GX)、ネイチャーポジティブといった政策目標が掲げられるなど、自然環境を保全しつつ活用していくことは、現代社会における喫緊の課題となっている。</p> <p>この課題には社会全体として取り組む必要があるが、その前提となるのが、自然環境をよく理解することである。自然環境を理解するには、現場において情報を得ること、すなわちフィールドワークが必須となる。自然環境には予見が難しいリスクが多くあり、また、自然環境において客観的で検証可能な情報を得ることは簡単ではない。つまり、フィールドワークには、一定の知識とスキルが必要となる。</p> <p>森林は、国土の 3 分の 2 を覆う、日本において最も身近な自然環境の一つである。東京大学は、教育および研究の利用に供するため、全国に 7 か所の演習林がある。演習林は、森林という自然環境においてフィールドワークを学ぶ上で格好の施設である。本講義は、演習林において、フィールドワークの基礎知識および調査スキルを学ぶことを主眼とする。実際のフィールド (演習林) において、多様なフィールドワーク経験を持つ演習林教員とともに、入門的なフィールドワークを体験する。</p> <p>※受講可能人数：野外実習での安全管理のため 15 名までとする。受講希望者がこれを上回る場合は抽選を行う。</p> <p>※ガイダンス：4 月 15 日 5 限に行う。</p> <p>※現地講義の時期と場所：5 月 11～12 日に千葉演習林 (千葉県鴨川市) で、8 月 1～2 日に富士癒しの森研究所 (山梨県山中湖村) で実施する。</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは以下の日程で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>【日程】2023 年 4 月 18 日 (木) 18 : 45～19 : 45 @駒場キャンパス 1313 教室もしくは 1323 教室を予定 (教室の確定は 3 月下旬頃)</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席 (原則として全参加) および、現地講義終了後のレポートによって評価する。</p> <p>教科書は使用しない。/Will not use textbook</p> <p>特定日に行う。/Will conduct guidance at another time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31696	S	オホーツクの自然と文化遺産に 学ぶ	森先 一貴	文学部	集中	2	2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>南北に長く連なる日本列島では、地域ごとの気候環境に応じた生活様式が生まれ、また隣接大陸の諸文化との影響関係もあいまって、多様な歴史を歩んできました。北海道のオホーツク海沿岸地域はそうした特徴が顕著な地域の一つです。一年を通じて乾燥傾向にあり、冬季は寒さの厳しい地域です。北東からの強い季節風は沿岸にそって砂丘を発達させ、真冬には流水を吹き寄せることでも有名です。ただし、冬には氷に閉ざされるこの土地も、アザラシやトドといった海獣類にとっては豊かな恵みの海でもあり、人々にこの地方特有の生活の糧をもたらしてきました。</p> <p>こうした独特の環境を背景に、オホーツク海沿岸地域では古くから独自性の高い物質文化・精神文化が発達してきました。本ゼミでは、オホーツク海沿岸地域の歴史を長く研究してきた人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設を拠点に、オホーツクの自然とそれが育んできた文化、それらの相互関係を、文化遺産を通じて学びます。具体的には、座学とエクスカージョンを通じてオホーツク地域の地形景観、植物相、動物相を理解してもらいます。そのうえで、こうした自然を舞台として育まれた人類文化を、生業や居住のあり方、社会や精神文化のあり方に着目しながら、実際の出土遺物や遺跡現地の見学を通じて探究します。これらの理解を通じて、人と自然の歴史的関係を体験的に学び、日本列島の多様な地域文化とそれが育まれるメカニズムについて、オホーツク地域をフィールドに自らの体験を通じて考えてもらうことを目指します。</p> <p>このオホーツク地域を代表する遺跡に、史跡・常呂遺跡があります。常呂実習施設が中心となって調査を進めてきた遺跡で、縄文文化から擦文文化・オホーツク文化にかけての 2,000 を超える竪穴住居跡が砂丘上の林の中にいまでも窪みとして残る姿は壮観です。国の史跡として現在整備が進む史跡・常呂遺跡をケーススタディとして、文化遺産の保護についても学びます。</p> <p>文化遺産を通じて人と自然の相互作用を読み解くことができ、そこから現在や未来を照らす多くの示唆を得ることができます。オホーツク地域を舞台に、文化遺産の今日的解読に取り組んでみましょう。</p> <p>受講態度 (50%) 及び最終日のレポート (50%) により評価。</p> <p>教科書は使用しない。/Will not use textbook</p> <p>特定日に行う。/Will conduct guidance at another time</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席 (原則として全参加) および、現地講義終了後のレポートによって評価する。</p> <p>教科書は使用しない。/Will not use textbook</p> <p>特定日に行う。/Will conduct guidance at another time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31712	S	化学の最前線を体験する	一杉 太郎	理学部	集中	2	1年 理科 2年 理科
<p>授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。数人のグループを単位として理学部化学科の研究室に加わり、教員の指導の下、最先端の化学に関する実験を経験する。通常の学生実験とは異なり、各研究室において、現在研究が繰り広げられている、まさに「生きた」化学を体験する。本ゼミにより、化学研究のフロンティアに触れるとともに、基本的な研究の進め方や考え方、最新の実験設備の使用法や付随する技術を学ぶ。実験終了後には、成果発表会を開き、グループごとに研究の意義、実験の結果などについて報告する。同報告会を通し、研究成果のアピールの仕方やプレゼンテーションに関するスキルについても会得する。</p> <p>※受講人数：20 名程度 ※ガイダンス：4月8日（月）5限（17:05～）にオンラインで実施。URLはUTOL（旧ITC-LMS）で告知する。分子化学概論の講義と合同でガイダンスを行う。 ※開講場所：理学部化学本館、西館、東館 ※開講期間：8月5日（月）6日（火）7日（水）の3日間を予定している。</p> <p>成績評価方法 出席ならびに研究成果発表会における発表内容をもって成績を判定する</p> <p>教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>ガイダンス 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31716	S	医学に接する	石川 俊平	医学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開予定である。参加する学生を4～6人のグループに分け、医学部の研究室や病院の医局における、現在の医学を実際に体験してもらう授業です。</p> <p>平日の夕方に実施する定期コースと、夏休みを利用して実施する集中コースの2つがあります。「授業計画」を確認し、履修希望者は4月4日（木）のガイダンスに必ず出席すること。</p> <p>成績評価方法 「合格」または「不合格」で判定 出席状況が大きな比重を占めます。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>ガイダンス 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40279	S 2	エネルギー資源の「開発」を学ぶ	小林 肇	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。</p> <p>現代社会の基盤を支える一次エネルギー源の約6割は石油・天然ガスに依存している。これら石油、天然ガスを含む地下資源の鉱床の探査、掘削、生産の一連の工程を「開発」と呼ぶ。石油産業は世界で最も巨大な産業の一つであり、石油企業大手（石油メジャー）の純利益は一社で4兆円を超えるが、その7-8割は「開発」部門での収益である。</p> <p>一方、エネルギー資源の約96%を海外から輸入している日本では、この「開発」を身近に感じる機会は少ない。しかし、先進国の中で石油産業が基幹産業となっていないのは日本だけであり、世界的には石油メジャーは収益力の強い超優良企業の代表と見なされている。また、近年のシェールガス革命でも明らかのように、資源開発は新技術が世界情勢を直接変革する技術革新の現場でもある。</p> <p>本体験ゼミナールでは、エネルギー資源の乏しい日本において貴重な資源開発の現場である国内のガス田を見学し、エネルギー資源の開発と、資源開発に関わる技術システムを実フィールドで学習する。また、海外の開発現場におけるエネルギー資源開発の最先端の紹介及びその開発・生産された化石燃料を環境負荷を最小限に抑えて有効に活用する水素利用等の取り組みの紹介を通して、エネルギー資源の開発から生産・利用のそのライフサイクルの中での環境負荷低減・地球温暖化防止に向けての取り組みへの理解を深める。学生は、資源開発の実際とそのエンジニアリングセンスをこの体験を通して習得する。</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは4月8日（月）6限（18：45～）にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p>					
成績評価方法		産業と技術の理解には、現場で直接学んだ知識を自身でまとめ、体系的に捉え直すことが重要である。資源開発の現場を見学した後、そこで学んだ知見をまとめたレポートで成績を評価する。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行く。／Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40285	S 2	伊豆に学ぶ自然の恵みを活かす技（夏） Learning at Izu: skills and arts to utilize nature's gifts	齋藤 暖生、 井上 広喜、 鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。</p> <p>樹芸研究所は伊豆半島の南端、静岡県南伊豆町に立地する東京大学演習林の一つである。この研究所は、第二次世界大戦中、熱帯・亜熱帯産の特用樹木の研究施設として設立された歴史を持つ。東京大学演習林の中で、樹芸研究所の特徴として以下の2点が挙げられる。熱帯・亜熱帯の植物を多く扱っている点、および樹木をはじめとした森林植物の加工過程に重点が置かれている点である。</p> <p>特に後者の特徴は、本講義の主題に深く関わる。樹木は、私たち人間が価値を見出し、あるいはさらに手を施すことによって「恵み」となる。この研究所が追求する「樹芸」とは、樹木をはじめとした森林の様々な資源を、より有効に人間社会に活かそうとする人間の技や営みである。</p> <p>本講義は、樹芸研究所および周辺地域における体験を伴う現地集中講義を主体とする。本講義が行われる地域は、伊豆半島の南端であり、どの地域からもアクセスは容易ではない。しかし、こうした地域にも多くの人々が暮らしてきたし、また、その歴史も長い。このことは、この地域にある自然を「恵み」として活かす「眼差し」や「技」が、古くから存在してきたことを意味する。</p> <p>日本は小資源国である、という定説がある。この定説において、人が自然から「恵み」を創り出す能力は、捨象されていると言ってよい。本講義は、この人が持つ能力の可能性を理解することを目標とする。そして、この能力は、単に机上の知識で十分に理解できるものではない。実際に現地を歩き、自然から恵みを得るための作業に身を投げ、頭と体をフル動員して理解してもらいたい。</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは以下の日程で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>【日程】2023年4月18日（木）18：45～19：45 @駒場キャンパス 1313 教室もしくは 1323 教室を予定（教室の確定は3月下旬頃）</p> <p>-----</p>					
成績評価方法		出席（原則として全参加）および、現地講義終了後のレポートによって評価する。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行く。／Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40286	S 2	東大の別荘「癒しの森」で心も 体もリフレッシュ A gateway to self-care in a stressful society: on the campuses and a university forest (iyashinomori)	福井 大、近藤 伸介、齋藤 暖生、三浦 直子、藤原 章 雄、後藤 晋、浅野 友子	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。

現代社会において、職場等におけるストレス対策は極めて重大な課題となっている。厚生労働省によれば、強いストレスを感じている労働者は6割にのぼる。メンタルヘルスに不調をきたし休職や離職を余儀なくされる例、新卒就業者が早期に離職する例が多く報告されている。このようなストレス問題は労働者に限ったものではなく、キャンパス内においても無視はできない。東京大学においても、多くの学生が日常的に不安や悩みを抱えており、メンタルヘルスに問題を抱える学生が少なくないことが報告されている。

このような問題を克服するには、ストレスを生みにくい社会づくりを目指すと同時に、個人のストレス対処能力を高めることも重要である。個人がストレスに対処する上で必要とされる能力として、自らの異変に早く気付けること、そしてそれへの自分なりの解決方法を実行できること、が指摘されている。このような自己対処をセルフケアというが、これはキャンパスライフをより豊かに送るために、また卒業後の人生においても重要な能力となる。

本講義は、各人のセルフケアの能力向上の支援することを目的に、メンタルヘルスに関わる基礎的知識・応用事例について講義し、体験を通じて身近な環境を活用したセルフケアの可能性を学ぶことを目標とする。

本講義は、大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所（山梨県山中湖村）が中心となって企画する科目である。富士癒しの森研究所は、2011年より「癒し」を軸に森林環境を社会に活かす実践的研究として「癒しの森プロジェクト」に取り組んできた。2021年度からは、「続・癒しの森プロジェクト」として学内での連携強化を掲げており、本講義はその一環として、医学部附属病院および生産技術研究所の教員の協力を得て講義を構成する。

富士癒しの森研究所を拠点とした現地講義は2泊3日を予定している。研究所内に立地する東京大学山中寮内藤セミナーハウスは、東京大学の構成員は誰もが利用することができる。本講義を通じて、自然環境や東京大学の施設をフルに活用したセルフケアの可能性を体験していただきたい。

※受講可能人数：野外実習での安全管理のため40名までとする。受講希望者がこれを上回る場合は抽選を行う。

※ガイダンス：6月6日（木）5限に第1回講義とともに行う。

※駒場キャンパスにおける事前講義：9月2日（月）に2コマ実施する。具体的な時間、講義室は受講者に直接連絡する。

※現地講義開講期間：9月11日（水）に東京での現地講義を実施したのち、富士癒しの森研究所（山中寮）に移動する。9月12日（木）の終日、富士癒しの森研究所での現地講義を行う。9月13日（金）に東京に移動し、東京での現地講義を行う。

※このゼミは以下の日程で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

【日程】2023年4月18日（木）18：45～19：45

@駒場キャンパス 1313教室もしくは1323教室を予定（教室の確定は3月下旬頃）

成績評価方法
教科書

出席（原則として全参加）および、現地講義終了後のレポートによって評価する。

その他。/Other

東京大学富士癒しの森研究所

東大式 癒しの森の作り方：森の恵みと暮らしをつなぐ

築地書館

978-4-8067-1608-2

ガイダンス

特定日に行う。/Will conduct guidance at another time

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40287	S 2	森に学ぶ (ふらの) 北海道の大地に学ぶ	鴨田 重裕、尾張 敏 章、田中 延亮、平 尾 聡秀、鈴木 智之	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は主題科目単位を埋め合わせる目的には不向きです。いわゆる単修ではありません。結構大変かも知れませんが、楽しく学べるゼミです。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される可能性があります。主題科目の単位が足りない人には不向きです。

【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講することができます。オンライン受講はできないのでご注意ください。

【注意】この授業は高校時代に山岳部やワンダーフォーゲル部に所属した人を対象とするものではありません。山野に興味あるけど、山岳サークルはちょっと敷居が高いかなと思う人に、安全に山を楽しんでもらう機会と、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらう機会を作るために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。

伊豆で実施してきたゼミでは伝えきれない、自然を感じる部分を重点的に本ゼミにてお届けしたいと思っています。伊豆ゼミとセットでの履修をお奨めします。

北海道・富良野と聞いて何を思い浮かべるでしょう。東大北海道演習林！と答える人はもしかして演習林通？ もちろんそういう答えを期待している訳ではありません。でも、この体験ゼミ受講後、それはきっと強く印象に残ることでしょう（と書くのは簡単）。でもこのゼミではその北海道演習林にはすぐには行きません。演習林にほど近い山を歩くことから始まります。十勝山系富良野岳。（ずっと演習林を見たいという方には、もうひとつの冬の体験ゼミをお奨めします。）《富良野岳（ふらのだけ）は、北海道中央部にある山である。標高1,912m、大雪山の南西部から連なる十勝岳連峰の最南端に位置する。火山ではあるが、山麓の安政火口を除き、古い時代に活動を終えたと考えられる。そのため、安政火口近辺を除いて全山高山植物が豊富で、特に山頂部は夏の時期は広大なお花畑が広がる。隣接する十勝岳が有史以来の激しい噴火のため、山頂部に植物に乏しいのと対照的である。出典：フリー百科事典『ウィキペディア』》

富良野岳はこれまでに登った数ある北海道の山の中でもお気に入りの一つです。自然、自然と言うけれど、手つかずの自然など日本のどこにもほとんど残っていません。北海道の山上も例外ではありませんが、大自然を感じるにはうってつけの場所です。いつ行ってもその大きさに圧倒されます。大自然のただ中に身を置いて、人間の小ささを感じてみよう。そして、自分が押しつぶされそうになっている日頃の重大問題のことを考えてみよう。何かしら道が開けるかも知れませんか。このゼミでは、少なからぬ百名山登山家に見受けられるような、ただ頂上に立つことを主目的とするようなせわしない登り方はしません。ゆっくりと、足下の植物たちを観察しながら、空気を、日差しを、そして歩くことそれ自体を楽しみながら歩くので、とくに健脚でなくても大丈夫。大自然を十分に満喫したそのあとに、今度は人が向きあう森「東大北海道演習林」に向きあってもらいます。そこでは人が自然に向き合う営み、すなわち林業という第一次産業を意識してみましよう。大方の日本人は日本は先進国だと思っていて、先進国とは第一次産業を捨て高次産業にシフトするものだと思っている節がないでしょうか。本当にそうですか？自然の中にどっぷりと身を置いたことで、内にちょっと変化が起った君たちには、たっぷりとその様なことを考えてもらいたい。答え（正解）は出ないかも知れませんか。何が正解であるかが重要なのではなくて、君達がどれだけ向き合うことができるかが重要なのだと思います。よく考えたあとで、仕上げにもう一度大自然の中に身を置いていただきます。

ところで、日本の国土は7割近くが森林に覆われていることをあなたは当然ご存じのはずですが、その7割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、あなたは考えてみたことはありますか？

山林のことは林業関係者に任せておけば良いでしょうか？ 自分はそういう方面に就業しないから考えなくても良いのでしょうか？ 人任せ、あるいは誰かの考えに盲従していても、国土が取り返しのつかないことになる心配はないと思えますか？

いま現在、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくいと言われていています。儲からない産業には資本が投下されにくい（資本主義から見放される）。すべてを資本主義的な価値観で判断するのであれば、日本の山林は放置するのが最も合理的であるということになってしまいます。しかし、その判断はあくまでも資本を投下して、その投下に見合った回収を期待できるかどうかという価値観によるものに過ぎません。現状を放置すると、例えば獣が増えて植生を壊滅させます。植生を失うと、豊かであった土壌が簡単に流亡することになります。土壌の流亡は規模を増したときには、大規模に近辺の植生もろとも土石を下流に押し流すことになります。その様な時、下流の人の営みに甚大な影響が出ないと言いたいでしょうか。災害ばかりではありません、豊かな土壌を失うことは、生産性を失うことと同義です。一度失えば、それを簡単に取り戻すことはできません。

私たちが生きる現代社会の特徴
私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることもその一因であるでしょう。しかし、仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身に着けるという、いわば生活習慣によって観察できない状態・考えられない状態に追い込まれていると捉えることができます。

このゼミでは忙しく歩くような山歩きはしません。周囲の林や植物をゆっくりと観察できるくらいの歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩き、時に立ち止ることで見える量も質も大きく異なってきます。ブラックボックスに立ち向かうためにはゆっくりと思考する姿勢が何よりも大切になります（ゼミ中にたまに少しだけ先を急ぐことがあるかも知れませんが、そんな時はどうぞ笑って許してください）。

このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。
何か正解を見つけた山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんが、一つだけ正解がある様な問題とは限りません。よく考えてみることで、それ自体がこのゼミの目的と言えます。

本ゼミで自分が何を感じたか、感じたことを出発点として何を考えたか。そして、それをどの様に自分の行動に落とし込んでいくことができるか。

感じる・考える・行動するのサイクルを回そう。これは伊豆ゼミシリーズにも共通する理念です。本ゼミをきっかけに、これらのゼミを母体とするコミュニティに残り、どう行動するか部分の大学生の内に何か一つでも実現できたならば、あなたの生き方が大きく変わるかも知れない。

※このゼミは以下の日程で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

全学体験ゼミナール

【日程】2023年4月18日(木) 18:45~19:45 @駒場キャンパス 1313教室もしくは1323教室を予定(教室の確定は3月下旬頃)	
成績評価方法	講義の受講態度と課題(レポート等)により可否を判定する。 無断欠席およびレポート提出が無い場合は不合格となります。
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特定日に行く。/Will conduct guidance at another time

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40292	S 2	海の生命科学入門	菊池 潔、細谷 将、平瀬 祥太郎	農学部	集中	2	1年 理科 2年 理科

授業の目標概要	<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。 日本は海に囲まれた島国ですが、学生たちが海の科学を体験的に学ぶ機会は多くありません。本ゼミナールでは浜名湖という現場を通して、水圏生物を対象とした研究の一面を学ぶことをめざします。 浜名湖は狭い水路で太平洋とつながった海水・汽水湖です。入り口が浅く、奥が深い浜名湖の物理化学的な構造はどうなっているのでしょうか。そこではどのような生物が、どのように生息しているのでしょうか。それらはどのように生まれ発達していくのでしょうか。そして人々は水の中の生物生産をどのように利用して来たのでしょうか。これらを考えることで、海の科学の入り口に立ちます。 ※受講人数：6-12名程度に制限する。 ※開講場所：附属水産実験所 静岡県浜松市浜名区舞阪町弁天島 ※体験実習期間：未定。</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは以下の日程で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。 【日程】2023年4月18日(木) 18:45~19:45 @駒場キャンパス 1313教室もしくは1323教室を予定(教室の確定は3月下旬頃)</p>
成績評価方法 教科書 ガイダンス	出席と学習状況で可否を決めます。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40302	S 2	アイデアを形にするモノづくり体験 ～ロボットから家電まで～	川原 圭博	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>人工知能や、バーチャルリアリティ、自動運転や3Dプリンタによるものづくり革命など、情報技術が今の時代の社会変革を牽引していると言っても過言では無い。今の時代、社会に出た後、どのような夢を実現するにおいても、情報技術を活用しない訳にはいかない。世界中でソフトウェアエンジニアが枯渇しており、腕利きのソフトウェアエンジニアは高待遇で迎え入れられている。とはいえ、ものづくりやプログラミングで必要となる知識は多岐にわたり、未だ初学者にはハードルが高い存在であることは確かである。 本ゼミは、ものづくりやプログラミングに興味はあるけれど、どこから手をつけていいかわからない、もしくは、初学者から中級者へのステップアップを目指したいと思っている人に、コンセプト立案から、ものづくり、そしてプレゼンテーションまでを一気に体験することができる機会を提供することを目的としている。 作るモノは、参加者一人一人が決める。例えば、日常の不便を解消する IoT デバイスやロボットなどなんでも構わない。ものづくりと、プログラミングの基礎を学ぶために、BBC Micro:bitのような初学者でも取りつきやすいシングルボードコンピュータを活用し、ものづくりのノウハウを体得し、流れを習得することに主眼を置く。</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限(18:45~)に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。</p>
成績評価方法 教科書 ガイダンス	最終発表をした人に単位を認定する。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特定日に行く。/Will conduct guidance at another time

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31629	S	バイオマテリアル作り体験	坂田 利弥	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>人工臓器に代表される医療機器やバイオセンサなどに用いられる材料をバイオマテリアルと呼ぶ。バイオマテリアルの中には、骨などを代表するセラミックス、金属材料、センサなどには半導体材料、さらには血管などに使われる高分子材料がある。本講義では、高分子・半導体で機能性バイオマテリアルを作る体験をする。また生体と材料が接した際に起こる反応を細胞実験やバイオセンサを通して学ぶ。(内容は年によって若干変わります)</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限(18:45~)にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席、レポート 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特定日に行く。/Will conduct guidance at another time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31630	S	感動体験！ 鉄の世界から未来を眺める	松浦 宏行	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。皆さんは「鉄鋼」という言葉にどのようなイメージを持っていますか。「鉄は国家なり」、「鉄は産業の米」などと言われるように遥か以前より国家・産業・社会の基盤となる重要なキーワードとして捉えられています。鉄鋼材料は過去から現在に渡って社会の基盤材料として活躍し、今後もその位置は変わることはありません。</p> <p>本講義では鉄鋼材料の製造プロセスを学び、さらにその理解を深めるために、生産現場、つまり「製鉄所」を見学します。日本の製鉄所は100年以上の歴史と技術と先人の努力を蓄積し、世界随一の製造技術と効率を発揮しています。高さ100mにも及ぶ「高炉」や1600℃以上の溶鋼が作り出される「転炉」、総延長1km以上の「熱間圧延工程」など、いずれもテレビで見かけたことがあると思いますが、実際にそこでどのようなものができるように作られ、そして最先端の製造技術が具体的にどうやって活かされているのか現場を通して学びます。</p> <p>また、SDGsやカーボンニュートラルなど、鉄鋼材料製造技術の更なる発展に不可欠な観点で今後を概観します。日本の製造業の根幹である鉄鋼材料を生み出す現場とその技術、そしてそこで働く方々の想いを一緒に学びましょう。</p> <p>※※※注意事項※※※ 製鉄所の受入人数制限によって、希望者数によっては履修者を抽選で決定する可能性があります。</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限(18:45~)にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>※このゼミの詳細は2024年4月9日(火)6限にZoomで開催のマテリアル工学科3ゼミ合同説明会にて説明致します。履修希望者は★必ず★出席してください。どうしても難しい方は事前にメールにてご相談ください。ZoomのURLはUTOLで周知いたします。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>講義履修・製鉄所見学・レポート 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特定日に行く。/Will conduct guidance at another time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31631	S	超高分解能電子顕微鏡で観る物質中の原子のならば	伊藤 剛仁	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>本体験ゼミでは、世界最高性能の電子顕微鏡を用いて物質中の原子像の観察に挑戦します。原子観察における原理や仕組みを学びます。物質中の原子1つ1つを並べて、物質の機能や性質を自在にデザインできたら・・・というナノテクノロジーの夢に、少しずつ近づいている最先端技術の一端を実感してほしいと思います。本ゼミの個別ガイダンス(マテリアル合同)を別途行います。参加希望者は出席して下さい。</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限(18:45~)にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>実験や講義への参加による評価 授業中に指示をする。/Will specify at class time 特定日に行く。/Will conduct guidance at another time</p>					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31645	S	医工学ってなんだろう?!	太田 誠一	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>予防・診断・治療が一体化した未来型医療システムをつくる学問分野として、「医工学(バイオメディカルエンジニアリング)」があります。医工学は物理・電気・機械・化学・材料・生命科学の学問分野を有機的につなぎ、革新的な医用技術を創製することで、人類の健康と福祉の増進に貢献することを目指す分野です。</p> <p>本講義では、工学系研究科・バイオエンジニアリング専攻の教員が中心となり、研究室での実習体験という形式で、「医工学ってなんだろう?！」を分かりやすく体験してもらうことを目指します。</p> <p>https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campusquare.do?flowExecutionKey=_c03BCADDF-0E09-482D-F159-E73AA416384C_kb105E877-8DF1-A633-9231-809758DD796D#tabs-2</p> <hr/> <p>※このゼミは 4 月 8 日 (月) 6 限 (18:45~) に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>※ゼミの受講には、履修登録のみではなく、班分け等のために別途申込が必要です。受講希望者はバッチまでに、必ず以下の URL から申し込みを行ってください。詳細は上記の工学部合同説明会の際に説明します。</p> <p>【申し込みバッチ】4月19日(金)</p> <p>【申し込み用 URL】</p> <p>https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc62lr1km6v4HtjL84tiGDdv6aeXe9Qo2YgaWvGjHHLkfrgg/viewform?usp=sf_link</p> <hr/> <p>成績評価方法 出席と理解度による総合的評価</p> <p>教科書 教科書は使用しない。/Will not use textbook</p> <p>ガイダンス 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>							

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31687	S 1	森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩き_1 (秩父ゼミ) 【注意】対面授業(野外実習≒山歩き)に参加可能な学生のみ履修を制限します。	鴨田 重裕 平尾 聡秀	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>近年、日本では「線状降水帯」による甚大なる気象害が毎年のように発生するなど、「異常」なほどの気象害が常態化しています。しかし、これは地球規模で洪水と渇水が頻発していることの一面を捉えているに過ぎません。ご存じの様に日本は食料自給率が低いので、世界の穀倉地帯が干ばつや大水害に見舞われれば直ちに大きな影響を受けることになります。食料問題ばかりのためではありませんが、気候変動への取り組みやレジリエントな社会づくりの重要性は増えています。さて、そんな喫緊の課題が山積みになっているなか、日本社会は十分な取り組みができていますか。ところで、日本の国土は7割近くが森林に覆われていることをあなたは当然ご存じのはずですが、その7割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、あなたは考えてみたことはありますか？</p> <p>山林のことは林業関係者に任せておけば良いのでしょうか？ 自分はそういう方面に就業しないから考えなくても良いのでしょうか？ 人任せ、あるいは誰かの考えに盲従していても、国土が取り返しのつかないことになる心配はないと思えますか？</p> <p>いま現在、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。</p> <p>日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくいと言われていました。儲からない産業には資本が投下されにくい(資本主義から見放される)。すべてを資本主義的な価値観で判断するのであれば、日本の山林は放置するのが最も合理的であるということになりかねません。しかし、その判断はあくまでも資本を投下して、その投下に見合った回収を期待できるかどうかという価値観によるものに過ぎません。現状を放置すると、例えば獣が増えて植生を壊滅させることが起こり得ます。植生を失うと、豊かであった土壌が簡単に流亡することになります。土壌の流亡は規模を増したときには、大規模に近辺の植生もろとも土石を下流に押し流してしまうこともあるでしょう。その様な時、下流の人の営みに甚大な影響が出ないと考えることには無理があります。災害ばかりではありません、豊かな土壌を失うことは、生産性を失うことと同義です。一度失うと、簡単に取り戻すことはできません。</p> <p>【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講することができます。オンライン受講はできないのでご注意ください。</p> <p>【注意】この授業は山岳部やワンダーフォーゲル部の出身者向けではありません(拒むものではありません)。歩くことが億劫でない限り、誰でも参加することができます。山野に興味ある人に、安全に山を楽しんでもらい、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。</p> <p>あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか(好きになりそうでしょうか)。</p>							

このゼミでは東京近郊の身近な山と、奥秩父のあまり人が訪れない山を歩きます。林業を意識しながら歩いたり、目の前の森林の来し方行く末を思いながら山を歩いたりする機会を提供することを目的とする講義です。自然豊かな秩父の山の奥の方と、人里に近い低山とを歩き比べてみましょう。どちらが自分好みか、優劣をつける様な価値を持ち込みがちですが、ここは是非両方の良さを知る機会にさせていただきたいと思えます。

森林・林業を意識する？

山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、日常をすっかり忘れて、ただ歩くことだけに気持ちを向かわせることができます。それはそれでよいものです。

その様に無心に山野を歩くのも好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を少し持って歩くことを提案します。意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたい。そこで見えたコト・モノもちろん大切ですが、この体験ゼミでは自分の意識をコントロールすることで見えるコト・モノに変化が生じることを体験し、その体験の意味をしっかりと噛みしめていただきたいのです。このゼミで林業を自分で意識できるようになれば、いろいろなコト・モノに目を向ける姿勢を身につけることになるでしょう。

私たちが生きる現代社会の特徴

私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることがその大きな要因の一つでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身につけるという、いわば生活習慣によって観察できない状態・考えられない状態に追い込まれていると捉えることはできないでしょう。

このゼミでは忙しなく歩くような山歩きはしません。まわりの植物をゆっくりと観察できるくらいの歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩き、時に立ち止ることで見える量も質も大きく異なってきます。ブラックボックスに立ち向かうためにはゆっくりと思考する姿勢が何よりも大切になります(ゼミ中にたまに少しだけ先を急ぐことがあるかも知れません。そんな時はどうぞ笑って許してください)。

このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。

何か正解を見つけに山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんが、一つだけ正解がある様な問題とは限りません。よく考えてみることで、それ自体がこのゼミの目的と言えます。

手つかずの奥山の様子と資源利用を行う人工林と、両方を意識して歩いてみると何が来て来るのでしょうか。自分が何を感じたか、感じたことを出発点として何を考えたか。そして、それをどの様に自分の行動に落とし込んでいくことができるか。

感じる・考える・行動するのサイクルを回そう。これは伊豆ゼミシリーズにも共通する理念です。本ゼミをきっかけに、これらのゼミを母体とするコミュニティに残り、どう行動するか部分を大学生の内に何か一つでも実現できたならば、あなたの生き方が大きく変わるかも知れない。

※このゼミは以下の日程で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

【日程】2023年4月18日(木) 18:45~19:45

@駒場キャンパス 1313 教室もしくは 1323 教室を予定(教室の確定は3月下旬頃)

成績評価方法

講義の受講態度と事後レポートの内容により可否を判定します。

レポート提出が無い場合は不合格になります。

レポートは内容により可否を判定します。大学生のレポートのレベルに達していると認められない場合は不可とします。山行の感想文の様なものとは認められません。

三回の山行への出席が必要。

「森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩き_1」

「森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩き_2」

それぞれが1単位。

1山行ないし2山行+レポート合格の場合は「1ゼミ」に

教科書は使用しない。/Will not use textbook

特定日に行う。/Will conduct guidance at another time

教科書

ガイダンス

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31688	S 1	森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩き_2 (秩父ゼミ) 【注意】対面授業(野外実習≒山歩き)に参加可能な学生のみ履修を制限します。	鴨田 重裕 平尾 聡秀	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

近年、日本では「線状降水帯」による甚大なる気象害が毎年のように発生するなど、「異常」なほどの気象害が常態化しています。しかし、これは地球規模で洪水と渇水が頻発していることの一面を捉えているに過ぎません。ご存じの様には日本は食料自給率が低いので、世界の穀倉地帯が干ばつや大水害に見舞われれば直ちに大きな影響を受けることになります。食料問題ばかりのためではありませんが、気候変動への取り組みやレジリエントな社会づくりの重要性は増えています。さて、そんな喫緊の課題が山積みになっているなか、日本社会は十分な取り組みができていますか。ところで、日本の国土は7割近くが森林に覆われていることをあなたは当然ご存じのはずですが、その7割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、あなたは考えてみたことはありますか？

山林のことは林業関係者に任せておけば良いでしょうか？ 自分はそういう方面に就業しないから考えなくても良いのでしょうか？ 人任せ、あるいは誰かの考えに盲従していても、国土が取り返しのつかないことになる心配はないと思えますか？

いま現在、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。

日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくいと言われていました。儲からない産業には資本が投下されにくい(資本主義から見放される)。すべてを資本主義的な価値観で判断するのであれば、日本の山林は放置する

のが最も合理的であるということになりかねません。しかし、その判断はあくまでも資本を投下して、その投下に見合った回収を期待できるかどうかという価値観によるものに過ぎません。現状を放置すると、例えば獣が増えて植生を壊滅させることが起こり得ます。植生を失うと、豊かであった土壌が簡単に流亡することになります。土壌の流亡は規模を増したときには、大規模に近辺の植生もろとも土石を下流に押し流してしまうこともあるでしょう。その様な時、下流の人の営みに甚大な影響が出ないと考えることには無理があります。災害ばかりではありません、豊かな土壌を失うことは、生産性を失うことと同義です。一度失うと、簡単に取り戻すことはできません。

【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講することができます。オンライン受講はできないのでご注意ください。

【注意】この授業は山岳部やワンダーフォーゲル部の出身者向けではありません（拒むものではありませんが）。歩くことが億劫でない限り、誰でも参加することができます。山野に興味ある人に、安全に山を楽しんでもらい、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けです。誰でも参加できます。

あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか（好きになりそうでしょうか）。

このゼミでは東京近郊の身近な山と、奥秩父のあまり人が訪れない山を歩きます。林業を意識しながら歩いたり、目の前の森林の来し方行く末を思いながら山を歩いたりする機会を提供することを目的とする講義です。自然豊かな秩父の山の奥の方と、人里に近い低山とを歩き比べてみましょう。どちらが自分好みか、優劣をつける様な価値を持ち込みがちですが、ここは是非両方の良さを知る機会にさせていただきたいと思えます。

森林・林業を意識する？

山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、日常をすっかり忘れて、ただ歩くことだけに気持ちを向かわせることができます。それはそれでよいものです。

その様に無心に山野を歩くのも好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を少し持って歩くことを提案します。意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたい。そこで見えたコト・モノももちろん大切ですが、この体験ゼミでは自分の意識をコントロールすることで見えるコト・モノに変化が生じることを体験し、その体験の意味をしっかりと噛みしめていただきたいのです。このゼミで林業を自分で意識できるようになれば、いろいろなコト・モノに目を向ける姿勢を身につけることになるでしょう。

私たちが生きる現代社会の特徴

私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることがその大きな要因の一つでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身につけるといって、いわば生活習慣によって観察できない状態・考えられない状態に追い込まれていると捉えることはできないでしょうか。

このゼミでは忙しく歩くような山歩きはしません。まわりの植物をゆっくりと観察できるくらいの歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩き、時に立ち止ることで見える量も質も大きく異なってきます。ブラックボックスに立ち向かうためにはゆっくりと思考する姿勢が何よりも大切になります（ゼミ中にたまに少しだけ先を急ぐことがあるかも知れません。そんな時はどうぞ笑って許してください）。

このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。

何か正解を見つけに山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんが、一つだけ正解がある様な問題とは限りません。よく考えてみることで、それ自体がこのゼミの目的と言えます。

手つかずの奥山の様子と資源利用を行う人工林と、両方を意識して歩いてみると何が見えて来るのでしょうか。自分が何を感じたか、感じたことを出発点として何を考えたか。そして、それをどの様に自分の行動に落とし込んでいくことができるか。

感じる・考える・行動するのサイクルを回そう。これは伊豆ゼミシリーズにも共通する理念です。本ゼミをきっかけに、これらのゼミを母体とするコミュニティに残り、どう行動するかを部分で大学生の内に何か一つでも実現できたならば、あなたの生き方が大きく変わるかも知れない。

※このゼミは以下の日程で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

【日程】2023年4月18日（木）18：45～19：45

@駒場キャンパス 1313 教室もしくは 1323 教室を予定（教室の確定は3月下旬頃）

成績評価方法

講義の受講態度と事後レポートの内容により可否を判定します。

レポート提出が無い場合は不合格になります。

レポートは内容により可否を判定します。大学生のレポートのレベルに達していると認められない場合は不可とします。山行の感想文の様なものとは認められません。

三回の山行への出席が必要。

「森に学ぶ_林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩き_1」

「森に学ぶ_林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩き_2」

それぞれが1単位。

1山行ないし2山行+レポート合格の場合は「1ゼミ」に

教科書

ガイダンス

教科書は使用しない。/Will not use textbook

特定日に行う。/Will conduct guidance at another time

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31689	S 1	続伊豆に学ぶ __イノシシソーセージ作りと林 業体験はどう繋がる？_1	鴨田 重裕	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。</p> <p>※講義の目標：自主・自律に動けるようになること。様々な問題を他人ごとにしなない気分を身に付けること。学園祭企画につながる企画を検討すること。</p> <p>これは二つの自由自主の企画系ゼミ 31683「獣害問題とは何の問題か S」、および 31684「日本は林業を放棄してよいのか S」受講生のための全学体験ゼミです。実験的な講義であるので、一般の受講生を受け入れることは行いません。いずれかの全学自由研究ゼミと併せて履修するようにしてください。</p> <p>自由研究ゼミでは普段は考えずに通り過ぎてしまいがちである林業や獣害の問題に正面から向き合ってみます。自由研究ゼミの目標は「林業問題」の解決策を提案することではありません。複雑な問題に対して簡単に「解」を出そうとはせずに、複雑な問題とじっくりと向き合うことを目標とします。答えが出ないことと向き合うことは、東大生がもつとも不得手とすることかもしれません。皆さんが社会に出てから向き合うことは、一筋縄では行かないことが多く、最短距離で正解に直行する思考方法はあまり役に立たない。そのこと知ることは決して無駄なことではありません。答えが出せない複雑な問題は、人任せにして、自分はどうも避けて通ればよいのでしょうか。</p> <p>その中で、君たち自身に必要な体験をリストアップして、実際にプログラム化して実現する取り組みになります。本ゼミ「続伊豆に学ぶ__イノシシソーセージ作りと林業体験はどう繋がる？」はまさにそのために立ち上げた器に当たるものです。</p> <p>「イノシシの罠を作り、実際に仕掛けてみたい」という話になれば、それを実現するプログラムを組み上げましょう。そのサポートはお任せください。</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは以下の日程で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>【日程】2023年4月18日(木) 18:45~19:45 @駒場キャンパス 1313 教室もしくは 1323 教室を予定 (教室の確定は3月下旬頃)</p> <p>-----</p>					
成績評価方法	授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。						
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook						
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31690	S 1	続伊豆に学ぶ エネルギーの森作り 早生樹を植えて、あなたもちょっとSDGsに参加してみませんか	鴨田 重裕	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>授業の目標概要</p> <p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されません。履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>【注意】本ゼミは千葉県にユーカリ苗の植林を実施します。リモート受講はできません。我が国の一次エネルギー自給率は11%ほどでとても低い。全方位でエネルギー自給率を上げる取り組みがなされるべきです。</p> <p>洋上風力や太陽光パネルは参加するにはちょっと敷居が高いかも知れない。学生のあなたにも手軽に参加できるSDGsの取り組みがあります。</p> <p>それは早生樹を植えて、エネルギーの森を作ること。</p> <p>昔々あるところにおじいさんとおばあさんが住んでいました。おじいさんは山に柴刈りに・・・</p> <p>このよく聞く昔話の冒頭にもあるように、人類は長い歴史の中でずっと森林資源をエネルギー利用してきました。70年前くらいに燃料革命が起こり、先進国と言われる国々では主に化石燃料が重用されるようになり、森林資源がエネルギー利用されることはほとんどなくなりました。その結果わが国では薪炭利用されていた雑木林は放置され、ドングリを着ける木々が巨大化して、様々な問題(カシノナガキクイムシの蔓延や獣に栄養豊富なドングリを供給するなど)の原因になっています。</p> <p>第二次大戦後、木質資源の枯渇を背景とした拡大造林によってスギ・ヒノキ・カラマツの針葉樹人工林の面積は倍増し、1000万haに及びました。木質資源の需要を見込んで拡大造林をおこなったのですが、現在は住宅着工件数は減少し、木質資源がだぶついています。1000万haの人工林を抱えた状況では、需給バランスが悪いと言わざるを得ない状況です。</p> <p>伐期を迎えたスギ林を伐っても使う当てがない、つまり人工林が余っているという状態が見えてきています。話を変えます。2019年に千葉県に上陸した台風15号を覚えているでしょうか。家屋の損壊もさることながら、大停電が起こり、なかなか復旧できなかったことは大きな衝撃でした。停電の復旧が進まなかった原因として、溝腐れ病を患ったサンプスギが至る所で倒れて電線に掛かってしまったといいます。溝腐れ病で材質が悪く使い物にならないために、山野に放置されてしまったことが原因です。誰が悪いと言えるものではありませんが、森林資源を利用しないまま放置すれば、同様の大停電を繰り返す可能性が高いことは自明です。</p> <p>この体験ゼミの背景には、そのサンプスギをバイオマス発電の燃料として活用する取り組みがあります。これは自明の負の遺産とちゃんと向き合う取り組みとして評価することができます。使い道が無いサンプスギも燃やせば発電の足しになります。バイオマス発電が動いていることの重要性を垣間見る思いがします。</p> <p>皆伐した跡地をどうするか？ また、スギを植える？ スギが余っていることは上述した通りです。 同じサンプスギを植えれば、また溝腐れ病を患う可能性があります。 あなたなら、もう一度スギを植えますか？ 今回は皆さんに早生樹ユーカリ植栽に参加してもらうことにしました。 スギ・ヒノキではなく ドングリを着けるコナラ・クヌギでもなく ユーカリを植えるということが、どういうことであるか、是非、じっくりと考える機会にしてください。 持続可能なゴールが見えるでしょうか？</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは以下の日程で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。 【日程】2023年4月18日(木) 18:45~19:45 @駒場キャンパス 1313教室もしくは1323教室を予定(教室の確定は3月下旬頃)</p> <p>-----</p> <p>成績評価方法 教科書 ガイダンス</p> <p>積極的に活動に取組む姿勢を最重視する。加えて事後レポートの内容で評価する。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特定日に行う。/Will conduct guidance at another time</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40281	S 2	英語で拓く工学世界への扉 / Opening the Gateway to the World of Engineering in English	秋山 友香	工学部	火 2	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>1. 授業内容 本ゼミナールは講義＋ワークショップで構成される Content and Language Integrated Learning (CLIL; 内容言語統合型学習)型の授業です。 「留学や海外での就職に興味はあるけど、実際どのような準備が必要なのか分からない・・・」 「工学部に行きたいとは思ってはいるけど、工学の知識を使って将来どのようなことができるのかイメージできない・・・」 「工学者はどんな場面でどのような英語を使うのか分からない・・・」 このような疑問を抱いた学生に最適な授業となっています。</p> <p>1.1【講義】 国外の機関で留学・研究・技術開発の経験を積んだ研究者や企業の方々、そして言語習得・国際交渉を極めた達人(以下ゲストスピーカー)の体験談を英語で聞き、それについて話し合います。ゲストスピーカーには、スウェーデン王立大学で博士号を取得した東大工学系研究科の教授、留学をせずともプロの通訳となった言語習得の達人、海外の技術を日本に輸入するために幾度となく国際交渉を行ってきた東大卒の企業マンの方などをお招きする予定です。</p> <p>1.2【ワークショップ】 国際交渉の仕方、英語の履歴書や Eメールの書き方、グループプレゼンテーションの仕方などを扱います。第二言語習得理論やストラテジーも扱う予定です。</p> <p>2. 目的 世界への扉を拓くのに不可欠な英語力、異文化間能力(intercultural competence)を習得し、工学の分野での世界展開に興味を持ってもらうこと、リンガ・フランカ(Lingua Franca; 共通語)としての英語に触れることを目的としています。</p> <p>3. 授業の特徴 教員も講演者も日英バイリンガルですが、授業の使用言語は英語とします。教員との連絡もすべて英語で行います。 ※1. このゼミは 4月8日(月)6限(18:45～)に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ※2. 履修者の上限は 25 人です。履修希望者が 25 人の上限を超えた場合、授業初日に行うアンケートの内容を考慮し、2週目の授業までに教員が選抜し、その結果をメールします。</p> <p>In this seminar, we will have the privilege of listening to lectures by guest speakers who have engaged in study, research, and technical development outside of Japan and/or who are experts of language acquisition and international negotiation. These lecturers will be conducted in English. We will discuss their success stories as well as challenges they have faced in establishing their international career. The class will also cover a wide range of topics, such as effective strategies for managing international negotiations, approaches to learning a second language strategically, and guidance on writing a resume/CV, composing emails, and delivering presentations in English. Through engaging in these activities, students will acquire essential English skills that will help them "open the gateway to the world of engineering." They will also gain a deeper understanding of engineering and its global development. It is important to note that English will be the primary language used throughout the seminar, and students are expected to communicate with the instructor and guest speakers in English. *If you are interested in taking this class, please attend the guidance via Zoom on April 8th (Mon) in the 6th period.</p> <p>----- ※このゼミは 4月8日(月)6限(18:45～) Zoom にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p>					
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席・授業への積極的な参加 / Active participation ・リアクションペーパー / Reaction papers ・ファイナルプロジェクト / Final project 						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 / Will not use textbook 特定日に行う。 / Will conduct guidance at another time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40288	S 2	森に学ぶ__森林・林業を意識する 低山歩き S2_1 (低山ゼミ) 【注意】対面授業(野外実習≒山歩き)に参加可能な学生のみ に履修を制限します。	鴨田 重裕 平尾 聡秀	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。

近年、日本では「線状降水帯」による甚大なる気象害が毎年のように発生するなど、「異常」なほどの気象害が常態化しています。しかし、これは地球規模で洪水と渇水が頻発していることの一面を捉えているに過ぎません。ご存じの様に日本は食料自給率が低いので、世界の穀倉地帯が干ばつや大水害に見舞われれば直ちに大きな影響を受けることとなります。食料問題ばかりのためではありませんが、気候変動への取り組みやレジリエントな社会づくりの重要性は増し続けています。さて、そんな喫緊の課題が山積みになっているなか、日本社会は十分な取り組みができていますでしょうか。ところで、日本の国土は7割近くが森林に覆われていることをあなたは当然ご存じのはずですが、その7割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、あなたは考えてみたことはありますか？

山林のことは林業関係者に任せておけば良いでしょうか？ 自分はそういう方面に就業しないから考えなくても良いのでしょうか？ 人任せ、あるいは誰かの考えに盲従していても、国土が取り返しのつかないことになる心配はないと思えますか？

いま現在、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。

日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくいと言われていました。儲からない産業には資本が投下されにくい(資本主義から見放される)。すべてを資本主義的な価値観で判断するのであれば、日本の山林は放置するのが最も合理的であるということになりかねません。しかし、その判断はあくまでも資本を投下して、その投下に見合った回収を期待できるかどうかという価値観によるものに過ぎません。現状を放置すると、例えば獣が増えて植生を壊滅させることが起こり得ます。植生を失うと、豊かであった土壌が簡単に流亡することになります。土壌の流亡は規模を増したときには、大規模に近辺の植生もろとも土石を下流に押し流してしまうこともあるでしょう。その様な時、下流の人の営みに甚大な影響が出ないと考えられることには無理があります。災害ばかりではありません、豊かな土壌を失うことは、生産性を失うことと同義です。一度失うと、簡単に取り戻すことはできません。

【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講することができます。オンライン受講はできないのでご注意ください。

【注意】この授業は山岳部やワンダーフォーゲル部の出身者向けではありません(拒むものではありませんが)。歩くことが億劫でない限り、誰でも参加することができます。山野に興味ある人に、安全に山を楽しんでもらい、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けです誰でも参加できます。

あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか(好きになりそうでしょうか)。

このゼミでは東京近郊の身近な山を歩きます。林業を意識しながら歩いたり、目の前の森林の来し方行く末を思いながら山を歩いたりする機会を提供することを目的とする講義です。人里に近い低山と、低山を歩くゼミにしてはちょっと高標高な山とを歩き比べてみましょう。どちらが自分好みか、優劣をつける様な価値を持ち込みがちですが、ここは是非両方の良さを知る機会にさせていただきたいと思えます。

森林・林業を意識する？

山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、日常をすっかり忘れて、ただ歩くことだけに気持ちを向かわせることができます。それはそれでよいものです。

その様に無心に山野を歩くのも好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を少し持って歩くことを提案します。意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたい。そこで見えたコト・モノももちろん大切ですが、この体験ゼミでは自分の意識をコントロールすることで見えるコト・モノに変化が生じることを体験し、その体験の意味をしっかりと噛みしめていただきたいのです。このゼミで林業を自分で意識できるようにすれば、いろいろなコト・モノに目を向ける姿勢を身につけることになるでしょう。

私たちが生きる現代社会の特徴

私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることがその大きな要因の一つでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身につけるといって、いわば生活習慣によって観察できない状態・考えられない状態に追い込まれていると捉えることはできないでしょうか。

このゼミでは忙しく歩くような山歩きはしません。まわりの植物をゆっくりと観察できるくらいの歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩き、時に立ち止ることで見える量も質も大きく異なってきます。ブラックボックスに立ち向かうためにはゆっくりと思考する姿勢が何よりも大切になります(ゼミ中にたまに少しだけ先を急ぐことがあるかも知れませんが、そんな時はどうぞ笑って許してください)。

このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。

何か正解を見つけない山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんが、一つだけ正解がある様な問題とは限りません。よく考えてみることで、それ自体がこのゼミの目的と言えます。

手つかずの奥山の様子と資源利用を行う人工林と、両方を意識して歩いてみると何が来て来るのでしょうか。自分が何を感じたか、感じたことを出発点として何を考えたか。そして、それをどの様に自分の行動に落とし込んでいくことができるか。

感じる・考える・行動するのサイクルを回そう。これは伊豆ゼミシリーズにも共通する理念です。本ゼミをきっかけに、これらのゼミを母体とするコミュニティに残り、どう行動するかの部分を大学生の内に何か一つでも実現できたならば、あなたの生き方が大きく変わるかも知れない。

※このゼミは以下の日程で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

【日程】2023年4月18日(木) 18:45~19:45

①駒場キャンパス 1313 教室もしくは 1323 教室を予定（教室の確定は 3 月下旬頃）

成績評価方法

講義の受講態度と事後レポートの内容により可否を判定します。
 レポート提出が無い場合は不合格になります。
 レポートは内容により可否を判定します。大学生のレポートのレベルに達していると認められない場合は不可とします。
 山行の感想文の様なものはレポートとは認められません。
 三回の山行への出席が必要。
 「森に学ぶ__森林・林業を意識する低山歩き S2_1」
 「森に学ぶ__森林・林業を意識する低山歩き S2_2」
 それぞれが 1 単位。
 1 山行ないし 2 山行+レポート合格の場合は「1 ゼミ」に単位を付けます。
 3 山行+レポート合格の
 教科書は使用しない。/Will not use textbook
 特定日に行く。/Will conduct guidance at another time

教科書
ガイダンス

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40289	S 2	森に学ぶ__森林・林業を意識する低山歩き S2_2（低山ゼミ） 【注意】対面授業（野外実習≡山歩き）に参加可能な学生のみ に履修を制限します。	鴨田 重裕 平尾 聡秀	農学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。
 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。

近年、日本では「線状降水帯」による甚大なる気象害が毎年のように発生するなど、「異常」なほどの気象害が常態化しています。しかし、これは地球規模で洪水と渇水が頻発していることの一面を捉えているに過ぎません。ご存じの様に日本は食料自給率が低いので、世界の穀倉地帯が干ばつや大水害に見舞われれば直ちに大きな影響を受けることになります。食料問題ばかりのためではありませんが、気候変動への取り組みやレジリエントな社会づくりの重要性は増しています。さて、そんな喫緊の課題が山積みになっているなか、日本社会は十分な取り組みができていますでしょうか。ところで、日本の国土は 7 割近くが森林に覆われていることをあなたは当然ご存じのはずですが、その 7 割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、あなたは考えてみたことはありますか？

山林のことは林業関係者に任せておけば良いでしょうか？ 自分はそういう方面に就業しないから考えなくても良いのでしょうか？ 人任せ、あるいは誰かの考えに盲従していても、国土が取り返しのつかないことになる心配はないと思えますか？

いま現在、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。

日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくいと言われていました。儲からない産業には資本が投下されにくい（資本主義から見放される）。すべてを資本主義的な価値観で判断するのであれば、日本の山林は放置するのが最も合理的であるということになりかねません。しかし、その判断はあくまでも資本を投下して、その投下に見合った回収を期待できるかどうかという価値観によるものに過ぎません。現状を放置すると、例えば獣が増えて植生を壊滅させることが起こり得ます。植生を失うと、豊かであった土壌が簡単に流亡することになります。土壌の流亡は規模を増したときには、大規模に近辺の植生もろとも土石を下流に押し流してしまうこともあるでしょう。その様な時、下流の人の営みに甚大な影響が出ないと考えることには無理があります。災害ばかりではありません、豊かな土壌を失うことは、生産性を失うことと同義です。一度失うと、簡単に取り戻すことはできません。

【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面授講できる学生のみが受講することができます。オンライン受講はできないのでご注意ください。

【注意】この授業は山岳部やワンダーフォーゲル部の出身者向けではありません（拒むものではありません）。歩くことが億劫でない限り、誰でも参加することができます。山野に興味ある人に、安全に山を楽しんでもらい、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けです誰でも参加できます。

あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか（好きになりそうでしょうか）。

このゼミでは東京近郊の身近な山を歩きます。林業を意識しながら歩いたり、目の前の森林の来し方行く末を思いながら山を歩いたりする機会を提供することを目的とする講義です。人里に近い低山と、低山を歩くゼミにしてはちょっと高標高な山とを歩き比べてみましょう。どちらが自分好みか、優劣をつける様な価値を持ち込みがちですが、ここは是非両方の良さを知る機会にさせていただきたいと思います。

森林・林業を意識する？

山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、日常をすっかり忘れて、ただ歩くことだけに気持ちを向かわせることができます。それはそれでよいものです。

その様に無心に山野を歩くのも好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を少し持って歩くことを提案します。意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたい。そこで見えたコト・モノももちろん大切ですが、この体験ゼミでは自分の意識をコントロールすることで見えるコト・モノに変化が生じることを体験し、その体験の意味をしっかりと噛みしめていただきたいのです。このゼミで林業を自分で意識できるようになれば、いろいろなコト・モノに目を向ける姿勢を身につけることになるでしょう。

私たちが生きる現代社会の特徴

私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることがその大きな要因の一つでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身につけるといって、いわば生活習慣によって観察できない状態・考えられない状態に追い込まれていると捉えることはできないでしょう。

このゼミでは忙しくなく歩くような山歩きはしません。まわりの植物をゆっくりと観察できるくらいの歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩き、時に立ち止ることで見える量も質も大きく異なってきます。プ

ラックボックスに立ち向かうためにはゆっくりと思考する姿勢が何よりも大切になります(ゼミ中にたまに少しだけ先を急ぐことがあるかも知れません。そんな時はどうぞ笑って許してください)。

このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。

何か正解を見つけに山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんが、一つだけ正解がある様な問題とは限りません。よく考えてみることで、それ自体がこのゼミの目的とも言えそうです。

手つかずの奥山の様子と資源利用を行う人工林と、両方を意識して歩いてみると何が見えて来るのでしょうか。自分が何を感じたか、感じたことを出発点として何を考えたか。そして、それをどの様に自分の行動に落とし込んでいくことができるか。

感じる・考える・行動するのサイクルを回そう。これは伊豆ゼミシリーズにも共通する理念です。本ゼミをきっかけに、これらのゼミを母体とするコミュニティに残り、どう行動するか部分の大学生の内に何か一つでも実現できたならば、あなたの生き方が大きく変わるかも知れない。

※このゼミは以下の日程で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

【日程】2023年4月18日(木) 18:45~19:45

@駒場キャンパス 1313教室もしくは1323教室を予定(教室の確定は3月下旬頃)

成績評価方法

講義の受講態度と事後レポートの内容により合否を判定します。

レポート提出が無い場合は不合格になります。

レポートは内容により合否を判定します。大学生のレポートのレベルに達していると認められない場合は不可とします。山行の感想文の様なものとは認められません。

三回の山行への出席が必要。

「森に学ぶ」森林・林業を意識する低山歩き S2_1」

「森に学ぶ」森林・林業を意識する低山歩き S2_2」

それぞれが1単位。

1 山行ないし 2 山行+レポート合格の場合は「1ゼミ」に単位を付けます。

3 山行+レポート合格の

教科書


教科書は使用しない。/Will not use textbook

ガイダンス

特定日に行う。/Will conduct guidance at another time

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40290	S 2	続伊豆に学ぶ エネルギーの森作り 早生樹を植えて、あなたもちょっとSDGsに参加してみませんか	鴨田 重裕	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。</p> <p>【注意】本ゼミは千葉県にユーカリ苗の植林を実施します。リモート受講はできません。</p> <p>我が国の一次エネルギー自給率は11%ほどでとても低い。全方位でエネルギー自給率を上げる取り組みがなされるべきです。</p> <p>洋上風力や太陽光パネルは参加するにはちょっと敷居が高いかも知れない。学生のあなたにも手軽に参加できるSDGsの取り組みがあります。</p> <p>それは早生樹を植えて、エネルギーの森を作ること。</p> <p>昔々あるところにおじいさんとおばあさんが住んでいました。おじいさんは山に柴刈りに・・・</p> <p>このよく聞く昔話の冒頭にもあるように、人類は長い歴史の中でずっと森林資源をエネルギー利用してきました。</p> <p>70年前くらいに燃料革命が起こり、先進国と言われる国々では主に化石燃料が重用されるようになり、森林資源がエネルギー利用されることはほとんどなくなりました。その結果わが国では薪炭利用されていた雑木林は放置され、ドングリを着ける木々が巨大化して、様々な問題(カシノナガキイムシの蔓延や獣に栄養豊富なドングリを供給するなど)の原因になっています。</p> <p>第二次大戦後、木質資源の枯渇を背景とした拡大造林によってスギ・ヒノキ・カラマツの針葉樹人工林の面積は倍増し、1000万haに及びました。木質資源の需要を見込んで拡大造林をおこなったのですが、現在は住宅着工件数は減少し、木質資源がだぶついています。1000万haの人工林を抱えた状況では、需給バランスが悪いと言わざるを得ない状況です。</p> <p>伐期を迎えたスギ林を伐っても使う当てがない、つまり人工林が余っているという状態が見えてきています。</p> <p>話を変えます。2019年に千葉県に上陸した台風15号を覚えているでしょうか。家屋の損壊もさることながら、大停電が起こり、なかなか復旧できなかったことは大きな衝撃でした。停電の復旧が進まなかった原因として、溝腐れ病を患ったサンプスギが至る所で倒れて電線に掛かってしまったといいます。溝腐れ病で材質が悪く使い物にならないために、山野に放置されてしまったことが原因です。誰が悪いと言えるものではありませんが、森林資源を利用しないまま放置すれば、同様の大停電を繰り返す可能性が高いことは自明です。</p> <p>この体験ゼミの背景には、そのサンプスギをバイオマス発電の燃料として活用する取り組みがあります。これは自明の負の遺産とちゃんと向き合う取り組みとして評価することができます。使い道が無いサンプスギも燃やせば発電の足しになります。バイオマス発電が動いていることの重要性を垣間見る思いがします。</p> <p>皆伐した跡地をどうするか？ また、スギを植える？ スギが余っていることは上述した通りです。 同じサンプスギを植えれば、また溝腐れ病を患う可能性があります。 あなたなら、もう一度スギを植えますか？ 今回は皆さんに早生樹ユーカリ植栽に参加してもらうことにしました。 スギ・ヒノキではなく ドングリを着けるコナラ・クスギでもなく ユーカリを植えるということが、どういうことであるか、是非、じっくりと考える機会にしてください。 持続可能なゴールが見えるでしょうか？</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは以下の日程で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。 【日程】2023年4月18日(木) 18:45~19:45 @駒場キャンパス 1313教室もしくは1323教室を予定(教室の確定は3月下旬頃)</p> <p>-----</p> <p>成績評価方法 教科書 ガイダンス</p> <p>積極的に活動に取組む姿勢を最重視する。加えて事後レポートの内容で評価する。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特定日に行く。/Will conduct guidance at another time</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40291	S 2	続伊豆に学ぶ __イノシシソーセージ作りと林 業体験はどう繋がる？_2	鴨田 重裕	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。 ※講義の目標：自主・自律に動けるようになること。様々な問題を他人ごとにしなない気分を身に付けること。学園祭企画につながる企画を検討すること。 これは二つの自由自主の企画系ゼミ 31683「獣害問題とは何の問題か S」、および 31684「日本は林業を放棄してよいのか S」受講生のための全学体験ゼミです。実験的な講義であるので、一般の受講生を受け入れることは行いません。いずれかの全学自由研究ゼミと併せて履修するようにしてください。 自由研究ゼミでは普段は考えずに通り過ぎてしまいがちである林業や獣害の問題に正面から向き合ってみます。自由研究ゼミの目標は「林業問題」の解決策を提案することではありません。複雑な問題に対して簡単に「解」を出そうとはせず、複雑な問題とじっくりと向き合うことを目標とします。答えが出ないことと向き合うことは、東大生がもっとも不得手とすることかもしれません。皆さんが社会に出てから向き合うことは、一筋縄では行かないことが多く、最短距離で正解に直行する思考方法はあまり役に立たない。そのこと知ることは決して無駄なことではありません。答えが出せない複雑な問題は、人任せにして、自分はいま避けて通ればよいのでしょうか。 その中で、君たち自身に必要な体験をリストアップして、実際にプログラム化して実現する取り組みになります。本ゼミ「続伊豆に学ぶ__イノシシソーセージ作りと林業体験はどう繋がる？」はまさにそのために立ち上げた器に当たるものです。 「イノシシの罠を作り、実際に仕掛けてみたい」という話になれば、それを実現するプログラムを組み上げましょう。そのサポートはお任せください。</p> <p>※このゼミは以下の日程で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。 【日程】2023年4月18日(木) 18:45~19:45 @駒場キャンパス 1313 教室もしくは 1323 教室を予定(教室の確定は3月下旬頃)</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40294	S 2	 身近な生命科学実習 / Molecular Biology in our daily lives	鹿島 勲	教養教育高度化機構	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。 * 対面授業に参加可能な学生のみ履修を制限 * 実験三昧・研究室体験 * 少人数制 * 生命科学分子生物学実験入門編 * 体験を通じた“考えるトレーニング”</p> <p>この授業では、分子生物学の入門編に相当する実験体験を、実質6日間の集中講義で開講します。特色は、文理の垣根を越えた少人数制、可能な限り個別最適なプログラムになるような授業デザインになっています。実習は、大きく分けて2つのパートに分けることができます。前半の A パートは、共通課題としてマグロ属魚類の魚種類判別実験を通じて、基礎的なスキルと、考え方を身に着けます。後半の B パートでは、前半で学習した内容を活用し、自由課題に取り組みます。最終日は、各自の取り組んだ内容をラボミーティング形式で発表を行います。</p> <p>A パート 基礎的な実験スキルと考え方の習得</p> <p>マグロの切り身の味や形状からその種別を判別・評価することは、魚の専門家でない限り極めて難しい。では、どうしても誰でも正確に再現的にマグロの種別を判別できるであろうか？ 本実習では、分子生物学的手法を用いたマグロ属に属する魚の種別判別実験の体験を通じて、1. 基礎的な実験スキル・考察方法習得、2. ニュースなどでもよく出てくる DNA、PCR といった生命科学用語・技術の理解を目的とする。</p> <p>【実習の流れ】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本実習内容の説明 ② マグロから DNA 抽出 ③ 遺伝子増幅法 (PCR 法) による DNA の増幅と DNA 配列特異的切断酵素による切断 ④ DNA 断片を電気泳動により分離して検出 ⑤ 得られた DNA のパターンからマグロの種別判別 ⑥ サンガーシーケンス解析によるマグロの種別判別 ⑦ 結果に関する発表および、ディスカッション 					

B パート
自由課題を通じた“考えるトレーニング”

上記の既定の作業に加え、参加している学生各自の学習到達度・実験の進行度合いに個別に対応し、初心者でも理解可能なシンプルな課題を個人／グループに随時与える。Web 検索、過去のプリント集、生成 AI を利用しても、答えは簡単には見つからない。各自／グループは、実験を自らデザインして各種の検討を行う必要もある。規定の実習の作業内容に追加するこの“考えるトレーニング”、答えが確定していない課題に挑戦する体験、楽しみながら実習に取り組んで欲しい。

【ガイダンス】

下記の履修登録希望届フォームへアクセス、本実習ホームページと合わせてガイダンス動画を閲覧し、履修を検討すること。履修には、人数、日程の調整が必要であるため、必ず下記のフォームを送信すること。

<https://forms.gle/FR5hojoid9FLkYnZA>

個別に対応が必要な場合は、メールでその旨ご連絡ください。

【実習実施日】

Day1 2024 年 8 月 1 日 (木) 13:00~18:00

Day2 2024 年 8 月 2 日 (金) 13:00~18:00

Day1* 2024 年 8 月 5 日 (月) 13:00~18:00

Day2* 2024 年 8 月 6 日 (火) 13:00~18:00

Day3 2024 年 8 月 7 日 (水) 13:00~18:00

Day4 2024 年 8 月 8 日 (木) 13:00~18:00

Day5 2024 年 8 月 9 日 (金) 13:00~18:00

◎Day6 2024 年 8 月 13 日 (月) 13:00~18:00

上記の実習実施日のスケジュールで原則開講。*は、個別指導のため二度開催するので、どちらかの日程に参加する。

◎は発表会、必ず出席する必要がある。定期試験や個別の事情により、実習実施日に参加できない学生は、必ず事前にその旨を連絡すること。相談の上、予備日から振替をすることが可能な場合がある。

【問い合わせ先】

✉ kashima+MolBioDailyLife@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

===En===

* Restricted only students who can participate in face-to-face classes

* Introduction to Molecular Biology Experiments

* Experiments a lot & "thinking training"

This course is essentially a six-day intensive course that provides the experimental experience equivalent to an introduction to molecular biology. The course is characterized by small class sizes that transcend the boundaries between the humanities and sciences, and by a class design that is as individualized as possible to create the best possible program. The practical training is divided into two main parts. In the first half, Part A, participants will learn basic techniques and concepts through experiments to identify fish species of the genus Tuna as a common subject. In the second half, Part B, participants will work on free assignments, building on what they learned in the first half. On the last day of the course, participants will make a presentation in the lab meeting style.

💡 #DIYbiology

Guidance

Participation in English will be handled on an individual basis. This is in order to propose the best-individualized schedule and program. For inquiries, please send an e-mail to the address below.

✉ kashima+MolBioDailyLife@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

Schedule of the practical course

The lab will be open from Thursday, August 1, 2024, through Monday, August 13, 2024. During this period, actual attendance for 6 days is required for credit; a lab meeting-style presentation will be held on August 13 for all participants.

成績評価方法

④出席、⑤実験ノートの提出、⑥課題の提出、⑦プレゼンテーションにより評価する。※安全管理上、レクチャーを受講しない学生は実験に参加することはできない。詳細は、ガイダンス時に確認すること。

===En===

Grading for this practical training will be done as follows. A grade of 80% or higher is required to pass the course and receive credit. For safety reas

教科書

教科書は使用しない。/Will not use textbook

ガイダンス

特定日に行う。/Will conduct guidance at another time

「国際研修」の履修について

国際研修の各授業では、以下の共通目標が定められている。

異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現場を体験し、グローバルな視野を養う機会を得る。

授業内容としては、(1) 海外の学生との合同学習などを含む短期の海外研修、(2) 海外教育機関との海外での共同教育プログラム、(3) 海外の学生との日本国内での研修、(4) 海外の教育機関が提供するプログラムを利用した研修、といったさまざまな活動がある。そのような機会によって得られる成果が、主題科目の単位として認定される。

国際研修の受講にあたっては、海外渡航経験の有無は問わない。国際研修はむしろ、学生にとっては初めての海外経験を、後押しする科目である。進んで自分の視野を開こうとする、学生の積極的な参加姿勢がのぞまれる。

授業によっては、参加者の選抜を行ったり、ある水準以上の語学力を求めたりする場合がある。研修のため海外に渡航する前に事前講義が実施される授業や、他の科目の履修が条件とされる授業もある。履修科目登録期間後に選抜の結果が発表される授業もある。その場合は履修を希望する授業にまず登録し、選抜にもれた場合は履修科目確認・訂正期間に登録を削除すること。また、履修が許可された後から出発までの期間の履修の辞退は、担当教員に膨大な負担をかけることになるので、あらかじめ十分に授業内容、渡航に際する留意事項、費用を確認して履修登録すること（履修を取りやめることで学生個人に対して生じるキャンセル料は原則学生負担になる）。学生が負担する費用については、授業によって異なる。それぞれの授業のシラバスを参照し、ガイダンスに出席して説明を受けること。

※国際情勢・諸外国の動向により、例年と開講形態や研修内容等が大幅に変更になる可能性があるため、履修にあたっては必ず最新のシラバスを UTAS で確認すること。

国際研修

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40120	S 2	ミュンヘン大学 ドイツ語サマースクール	川喜田 敦子	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要 ■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】 この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。 「国際研修」科目では、異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現状を体験し、グローバルな視野を養う機会を得ることを目標とする。 ミュンヘン大学 Ludwig-Maximilians-Universität München で約 2 週間ドイツ語集中講座を受講し、実践的なドイツ語能力習得を目指す。午前中は話す、聞く、書くを中心としたドイツ語集中コース、午後や週末はドイツ・ヨーロッパ事情の講義やワークショップ、ドイツの社会や文化に触れる研修等を行う。 成績評価方法 授業への積極的な参加と、帰国後のレポート（4000 字程度）の提出（メールによる提出）。 教科書 教科書は使用しない。/Will not use textbook ガイダンス 特定日に行う。/Will conduct guidance at another time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40121	S 2	開発と貧困：フィリピン国際研修	樋渡 雅人、 受田 宏之	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要 ■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】 この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。 フィリピン国際研修では、夏季休業中に二週間、フィリピンの様々な地域（マニラ首都圏、中部ルソン、西ビサヤ、南タガログの各地方）の都市と農村を訪問します。 目的は、フィリピンが直面する社会問題とその解決に向けた取り組みについて、実際に市井の人々から話をうかがいながら理解を深めること、および協定校の学生とディスカッションやゲームを通じて交流をはかることにあります。 本研修は、2023 年度に退職される中西徹先生が 20 年以上にわたって実施してきた研修プログラムを引き継ぐものです。 成績評価方法 研修への貢献と報告書の内容に基づいて評価します。 教科書 教科書は使用しない。/Will not use textbook ガイダンス 特定日に行う。/Will conduct guidance at another time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40122	S 2	スペイン語 TLP 研修 (サマープログラム)	宮地 隆廣	集中	2	2年 文科 理科
授業の目標概要 ■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】 この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意してください。 本研修は、スペイン語 TLP の 2 年生の希望者を対象とするサマープログラムで、9 月前半に 2 週間ほどメキシコに滞在する。 定員を 20 名前後としており、それを超える申請のある場合は選抜を行う。 大学で習得したスペイン語を積極的に使うこと、さらにはそれを通じて協定校の学生ら現地の人たちと交流することを目標としている。 具体的な訪問地として、首都のメキシコシティとグアナファト州を考えている。 メキシコシティでは、2 つの協定校（EL COLEGIO DE MEXICO と UNAM）を訪問し、UNAM 付属の語学学校にてインテンシブなコースをスペイン語でのプレゼンテーションやミニ講義の受講等の様々な活動に励むほか、博物館や史跡の見学も行う。グアナファト州では、世界遺産であるグアナファト市内やサンミゲルアジェンデを訪れるほか、歴史的な価値のある町や村を訪問する。 新型コロナウイルスなどに起因する感染症が再び深刻化した場合、オンラインで実施する。 成績評価方法 現地での活動状況と修了後のレポートによって評価する。 教科書 教科書は使用しない。/Will not use textbook ガイダンス 特定日に行う。/Will conduct guidance at another time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40123	S 2	中国語サマースクール	伊藤 徳也、 菊池 真純	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。</p> <p>【注意】現時点では渡航する「対面型」プログラムの予定だが、必ず以下の「関連ホームページ」で今年度の実施予定を確認すること。</p> <p>夏休みを利用した中国語集中特訓講座。 オール中国語の授業を3週間開講する。 サマースクールの3週間はすべて国際研修としての団体行動。 中国語の授業だけでなく、3週間全ての活動がこの研修の内容です。多くの規則、ルールに厳格に従っていただきます。</p> <p>個人的自由行動の時間はありません。 実施期間：8月4日（日）～8月25日（日）予定 応募要領：「関連ホームページ」参照 *応募締切、選抜試験日時、説明会、事前研修会、事後反省会、レポート締切等は決まり次第「関連ホームページ」に掲示します。 ※以上 2024/2/2 内容更新</p>					
成績評価方法	<p>課程をすべて修了して南京大学海外教育学院から修了証を得、さらに、東大での事後反省会に参加し、教員が指定する報告書を提出すれば、「国際研修」の単位が授与される。</p>					
教科書	その他。/Other					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40124	S 2	ソウル大学校 韓国語研修サマープログラム	三ツ井 崇	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。</p> <p>TLP 韓国朝鮮語を履修している2年生および共通韓国朝鮮語（前期課程において総合科目Ⅰ系列の韓国朝鮮語）の中級以上の授業を履修している（履修したことがある）者を主たる対象として、ソウル大学校での語学研修を行う。会話を中心とした実践的な韓国朝鮮語力を身に付けることを目的とする。また、また、アクティブ・ラーニングや文化体験などを通じて韓国の社会や文化について学ぶ。</p> <p>現地での活動状況、修了試験によって評価する。</p>					
成績評価方法	現地での活動状況、修了試験によって評価する。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特定日に行う。/Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40125	S 2	The University of Tokyo Summer Internship Program in Kashiwa (UTSIP Kashiwa)	伊藤 耕一	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。</p> <p>【注意】開講日程の都合上、この授業を履修する場合は、S セメスター/S2 ターム開講の他授業を履修することができないので、注意してください（開講日程の異なる集中講義等を除く）。</p> <p>Students attending this course cannot take credits for other courses in S semester or S2 term, except for intensive courses whose schedule does not overlap with this course.</p> <p>UTSIP Kashiwa is an international internship program provided by the Graduate School of Frontier Sciences (GSFS: 新領域創成科学研究科) where Junior Division students can study together with undergraduate students from abroad in laboratories as well as in lectures. The program will be conducted in English.</p>					
成績評価方法	<p>Students are required to submit a short report on their lab activities and research results, together with the slides used in the final presentation. The evaluation is based on these as well as comments on their achievements from the professor in charge of the lab.</p>					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40126	S 2	中国社会文化研修 ～深思北京 2024	伊藤 徳也、朱 芸綺	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要 ■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】 この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。 【注意】 この授業は開講日程の都合上、参加申し込みが通常と異なるため留意してください。 【注意】 この国際研修の内容は必ず「関連ホームページ」を確認してください。 事前研修（毎週授業）：S2 ターム期間中の数回の予定 北京渡航：9月中旬予定 （以上、詳しいことが決まり次第「関連ホームページ」に掲示するので、要注意） 北京は中国の首都であり、政治の中心であります。そして、現代アートに代表される新しい文化発信の中心であり、京劇に代表される伝統文化の中心でもあります。北京はじつにさまざまな顔を持つ重層的な場所です。本研修はその科目名「中国社会文化研修 深思北京 2024」に示されているように、中国の政治的・文化的中心「北京」を多角的に考察する視点を提供するプログラムです。 研修期間中は、団体行動となります。様々な多くの規定、ルールに厳格に従っていただきます。自由行動の時間はありません。引率教員からの数々の指示にはもれなく従って下さい。種々の締切も厳守して下さい。						
成績評価方法 研修中のパフォーマンスと研修後提出課題を総合して評価する。 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40127	S 2	イタリアで考古学を体験する	村松 真理子	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要 ■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】 この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。 【注意】 この授業は、開講日程がまだ流動的なので、留意してください。 ナポリ近郊、ソンマ・ヴェスヴィアーナ市にある本学の研究施設で考古学発掘を体験する。ローマ時代のヴィラ建築で、発掘の現場がどのようなものか見学するだけでなく、専門家と現地学生と一っしょにその作業を体験する。国際的チームの発掘現場の作業やネットワークにふれると同時に、ナポリ近郊の他の発掘調査や研究機関・考古学博物館等を訪ね、現地の文化遺産と記憶の継承の問題についても考える。 事前学習や帰国後の成果発表会への参加および現地での活動ぶりを考慮し、あわせて帰国後の最終レポートで評価。						
成績評価方法 プリントを配布する。／Will distribute handouts 教科書 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time ガイダンス						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40128	S 2	TLP フランス語夏季研修	寺田 寅彦	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要 ■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意 1】 この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。 【注意 2】 本国際研修（TLP フランス語夏季研修）は 8 月あるいは 9 月にかけてアンジェ市（フランス）での研修実施を予定するものの、感染拡大状況次第で A セメスターに延期、あるいはオンライン交流、あるいは国内研修に切り替える（あるいは研修自体を中止する）ものとする。6 月に実施有無を決定予定だが、場合によっては決定が 7 月上旬になることもある。 【注意 3】 この授業は選抜試験を 6 月、夏季研修を 8～9 月頃に実施予定。S2 タームの履修確認訂正期間（2024 年度は 6/11-14）までに選抜が終わらない可能性もあるため、その場合は、選抜者に別途通知する。 新型コロナウイルス感染症拡大のため不開講となる可能性が十分にある。 【授業の目標、概要】 アンジェ市（Angers）フランスでフランス語研修を行いフランス語の運用能力を高め、学生交流を行うことで高い国際感覚を養う。各国の学生と授業だけではなくエクスカッションや各種催しを通じて交流の現場を体験し、またホームステイ（予定）を通じて異なる言語・文化の環境に触れてグローバルな視野を養う機会を得る取り組みを行う						
成績評価方法 研修への参加状況と現地での学習成果、提出物（ブログ原稿）。 教科書 授業中に指示をする。／Will specify at class time ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance						

PEAK 科目

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31328	S	哲学・倫理(PEAK)	オデイ ジョン	PEAK 前期	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Introduction to Philosophy This course is an academic introduction to philosophy, inviting students to engage with core philosophical questions. It examines themes such as the search for objective moral principles, the philosophical justifications for government, the nature and limits of human knowledge, the problem of consciousness, the debate between determinism and free will, and the epistemological status of science.					
成績評価方法	Class participation in discussion: 30% Exam: 70%					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Matthew Chrisman and Duncan Pritchard (Editors), Philosophy for Everyone. Routledge (2017).					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30956	S	ことばと文学(PEAK)	逆井 聡人	PEAK 前期	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Japanese Literature after 1945 After the collapse of the Japanese Empire in 1945, the empire's former domains came under occupation by Allied Forces. Several reformations took place to transform the region from an empire to a nation-state. However, the legacies of Japanese imperialism remained throughout "Japan's long post-war." In this course, we will read works of the postwar Japanese literature as windows to survey significant and controversial issues in Japan such as gender equality, nuclear disaster, economic disparity, and minority problems. We will also examine texts in detail to consider how each text critically approaches social issues.					
成績評価方法	Classroom Contribution (discussion & comment sheet): 30% Presentation: 40% Final Paper: 30%					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Osamu Dazai (Donald Keene) No Longer Human New Directions 9780811204811					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30023	S	思想・芸術II(PEAK)	LIN Jean	PEAK 前期	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Exploring the Boundaries of Art This course philosophically explores the blurring boundaries of contemporary art by discussing institutional critique in art, conceptual art, appropriation art, fashion, cuisine, non-Western art, and philosophical definitions of art.					
成績評価方法	In-class participation 50% / Mid-term exam 25% / Final exam 25%					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

PEAK 科目

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30024	S	思想・芸術IV(PEAK)	中井 真木	PEAK 前期	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Japanese fashion across time According to a famous Japanese cat, the history of human beings is simply the history of clothing. This course explores developments in Japanese clothing and fashion from prehistory to the end of the 19th century. Through the analysis of both visual and textual sources, students will examine how clothing and fashion illustrate political, economic, and societal characteristics of the time. The course objectives are as follows: 1) provide students with opportunities to familiarize themselves with diverse cultural heritages, 2) develop students' skills in critical analysis of visual and textual sources, 3) develop skills in discussing historical and cultural topics.					
成績評価方法	Contribution to class discussion: 25% Conscientious completion of homework assignments: 25% Essay project, which may include one presentation: 40% Exhibition review as a make-up for shortened class time: 10%					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30736	S	歴史(PEAK)	前島 志保、酒井 悠	PEAK 前期	水 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Modern Japan in the Wider World This course offers a broad introduction to the socio-cultural and intellectual history of Japan since the 19th century in transnational perspective. Our understanding of modern Japanese history has benefited immeasurably from the expansion of the field of global history in recent years. Yet, the West's instrumental role in the onward flow of civilisational development to the rest of the world is seldom questioned in modern global history at large. In contrast, this course introduces methods, concepts, and theories that could be used to look at Japan's global past outside of West-centric and nation state-centric global narratives. By shifting our lens from international to transnational, state to non-state, and imperial to non imperial, it demonstrates how the perspective of transnational history—a way of doing history that transcends the nation-state—could depart from a singular understanding of time and space based on the historical experience of the West, and open up fresh historical understandings based on the diversity and multitude of global historical experiences.					
成績評価方法	Course Objectives - Introduce understandings of transnational history and intellectual history as they relate to modern Japan - Understand problems, methods, and paradigms in the historiography of modern Japan - Develop skills of analysis and interpretation of historical texts and contexts - Acquire foundational knowledge and skills to open up new directions in modern Japanese history writing 25% Participation 25% Presentation 50% Writing Assignment					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

PEAK 科目

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30254	S	国際・地域Ⅱ (PEAK)	曾根 康雄	PEAK 前期	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	China's political economy and its role in the world This course focuses on China's political economy and its future role in the world. In this course, students will study the economic development of China, its political and economic system, and its position in the global order. The course will also cover some current issues. Students will build a foundation which is required to understand the second largest economy in the world. The course will be conducted in English. The course will cover the following topics: a) China's political economy, b) reasons of successful economic development, c) features of policy-making, d) impact of China's rise for the rest of the world, e) China's role in the global order, and f) current issues (political events, US-China relationship, currency policy etc).					
成績評価方法 教科書	Grading will be done based on a) active participation in class (50%), b) written examination (50%). プリントを配布する。／Will distribute handouts Kroeber, Arther R. China's Economy : What Everyone Needs to Know (2nd Edition) Oxford University Press 9780190946463 published in 2020					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31329	S	国際・地域Ⅲ (PEAK)	鈴木 早苗	PEAK 前期	金 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Introduction to regionalism: how do states cope with neighbors? Regions have been increasingly important to analyze international cooperation, partly because each region has distinctive features affecting nature of cooperation. This course aims to understand how states cope with their neighbors. Beginning with introduction of theoretical perspectives on regionalism, this course invites a wide range of issues on regionalism; from security to economic, and other issue areas. It also gives opportunities to share phenomenon of regionalism in various regions; Europe, Americas, Africa, Middle East, Asia.					
成績評価方法 教科書	Participation (40%), final exam (60%) プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31256	S	社会・社会思想 (PEAK)	滝田 祥子	PEAK 前期	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Introduction to Japanese Social Theory Using the textbook specifically aiming at bridging a longstanding gap between Eastern and Western social theory, this course will offer an opportunity for students to explore the rich diversity of social-theoretical critique in contemporary Japanese social theory.					
成績評価方法 教科書	Class participation and presentations: 50% Final paper: 50% 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Anthony Elliott, Masataka Katagiri and Atsushi Sawai eds. Japanese Social Theory: From Individualization to Globalization in Japan today Routledge 978-0-415-67145-3					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

PEAK 科目

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30553	S	社会・制度II (PEAK)	ジロドウ イザベル	PEAK 前期	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Introduction to Earth System Law and Governance					
授業の目標概要	In light of the potential far-reaching epistemological, ontological, ethical and normative implications of the Anthropocene, this course examines the complex, multi-scalar law and governance challenges arising from within an Earth System. Through interactive lectures, classroom discussions based upon pre-assigned readings, case studies and the elaboration of a joint mini-project, students: 1) reflect from the critical perspective on the possibility to develop an intra-, inter- and trans-disciplinary analytical framework to better understand and respond to the legal dimensions of earth system governance; 2) discuss which normative foundations could help govern the full spectrum of Earth System relationships in a way that promotes planetary justice; and 3) examine which legal means could facilitate transformative earth system governance for long-term sustainability.					
成績評価方法	Active participation in group/classroom discussions: 30%. Three 600-word write-ups: 30%. Final mini-project (organization of a roundtable + individual 1200- word essay): 60%.					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30521	S	社会・制度III (PEAK)	成田 大樹	PEAK 前期	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Introduction to Economic Policy					
授業の目標概要	This course is designed to supplement a standard introductory course of economics and will discuss some of the fundamental concepts of economics, with a focus on examination of economic policies. Drawing on the basics of microeconomics with references to some more contemporary frameworks (asymmetric information, game theory, behavioral economics, etc.), the course will provide conceptual foundations for evaluating various types of economic policy, including trade policy, antitrust policy, policy on income inequality, and macroeconomic policies. While the knowledge of advanced mathematics is not required for course participation, the students should note that the lectures will include discussions of some mathematical economic models. Meanwhile, although the course mainly targets students who have already studied introductory economics, it sets no prerequisites for registration and is open to all students.					
成績評価方法	1. Short exercises Short exercises directly related to contents of each lecture will be given. 2. Longer assignments Two problem sets of several technical questions and a final essay assignment will be given throughout the semester.					
教科書	その他。/Other N. Gregory Mankiw Principles of Economics Cengage Learning 9780357722718 The lectures will loosely follow this book, but its purchase is not mandatory.					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

PEAK 科目

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31115	S	心理(PEAK)	渡辺 安里依	PEAK 前期	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Introduction to Psychology This is an introductory course that will provide an overview of psychology. The course introduces basic concepts of psychology, including biological, developmental, and social explanations of human and animal behaviour, and how they apply to our everyday settings. Through discussions on various scientific approaches used in the field of psychology, the course provides opportunities for students to broaden their perspective, to pursue their interest, and to think critically.					
成績評価方法 教科書	class participation, quizzes, exam その他。/Other					
ガイダンス	No textbooks assigned (handouts for assigned readings will be given out during class) 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30997	S	スポーツ・身体運動実習 I (PEAK)	竹下 大介、 結城 笙子、 高橋 謙也	PEAK 前期	木 4	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Recreational activities for the promotion of fitness and wellness Provide an understanding of the fitness components and the importance of good strength, flexibility and endurance in physical health and wellness. Expose students to variety of activities that can be incorporated into a daily lifestyle. Apply the training principles for the management of the fitness components.					
成績評価方法 教科書	Attendance and reports. 教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30261	S	身体運動科学(PEAK)	竹下 大介、 結城 笙子、 高橋 謙也	PEAK 前期	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Exercise and health science: Application of physiological concepts for the promotion of fitness and wellness The course is designed to provide a theoretical basis for understanding the physiological responses to exercise and the adaptations that occur during exercise. The lecture/discussion areas include the wellness concept, nutrition and support system of the body (cardiovascular, respiratory, metabolic, musculoskeletal and nervous) function. Upon successful completion of the course, students will understand the physiological adaptations that occur following exercise training, the benefits of exercise and the health risks associated with inactivity.					
成績評価方法 教科書	Basically by reports 教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

PEAK 科目

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30771	S	エネルギー工学の基礎 (PEAK)	河野 龍興	PEAK 前期	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ニュートラルを実現する再生可能エネルギー、水素エネルギーについて					
授業の目標概要	／Renewable and hydrogen energy for carbon neutrality 2050年のカーボンニュートラルを実現するためには、何が必要でしょうか？実現の有力候補となる再生可能エネルギー、水素エネルギーに関する講義を行います。					
成績評価方法	／What will it take to achieve carbon neutrality in 2050? Lectures will be given on renewable energy and hydrogen energy, which are leading candidates for realising this goal. 出席率及びレポートで評価します					
教科書	／Attendance and reports are evaluated.					
ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30227	S	生態学の基礎(PEAK)	シェファースン リチャード	PEAK 前期	月 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Fundamentals of Ecology (Basic Ecology)					
授業の目標概要	To provide students with a foundational understanding of ecology and evolution					
成績評価方法	Participation: 10%, Final exam: 90%. There is a potential of extra grading from a field trip.					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31223	S	統計学(PEAK)	シェファースン リチャード、 プラナスシッジャ イザク	PEAK 前期	金 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Fundamentals of Statistics					
授業の目標概要	To provide students with a basic knowledge of probability and statistics, and to introduce students to scientific programming using R, the statistical programming language.					
成績評価方法	Class and Homework (40%), Final exam (60%)					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

